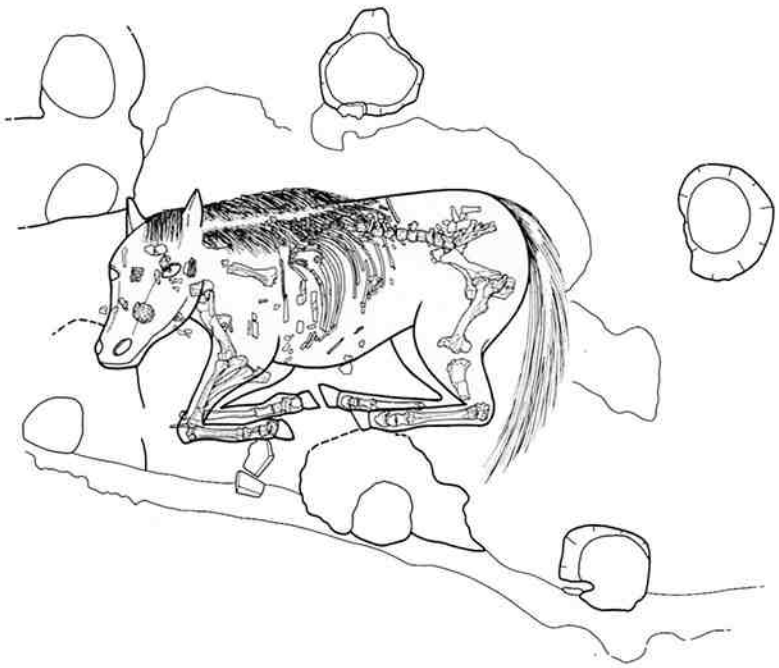
沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書　第２集

# 天界寺跡（Ⅰ）

－首里杜館地下駐車場入り口新設工事に伴う緊急発掘調査－



平成13年（2001年）3月

沖縄県立埋蔵文化財センター

①調査地区北側

②調査地区南側

巻首図版 1

③遺物集中部（てー12）

④石敷遺構（せー 18･19）

⑤石垣（た･ちー14）

⑥敷石遺構（さー18）

⑦掘り込み遺構（ちー13）

⑧階段状遺構（せ･そー17･18）

⑨ウマ埋葬遺構（たー13）

⑩ヤコウガイの蓋集中部（す･せー18･19）

巻首図版 2

⑪本土産磁器

⑫沖縄産施釉陶器

巻首図版 3

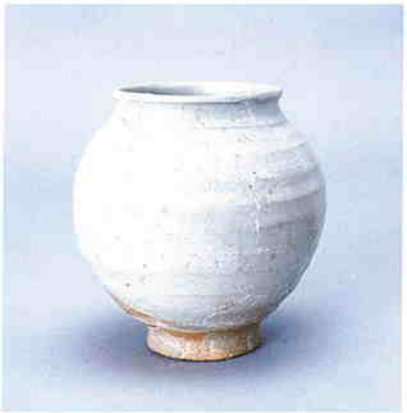
⑬青磁　碗・皿

⑭染付　碗・鉢・皿、鉄釉染付　杯

⑮瑠璃釉　皿

⑯陶質土器　鍋・蓋・杯

⑰褐釉陶器　壺・急須・擂鉢



⑱白磁　壺

⑲天目茶碗

巻首図版 4

⑳ヤコウガイの蓋（集中部より）

㉑ヤコウガイ製品

巻首図版 5

# 序

本報告書は平成８年度に実施した旧天界寺跡東地区の緊急発掘調査の成果をまとめたものです。本発掘調査は沖縄県土木建築部から依頼を受け、沖縄県教育庁が分任事業として実施したものです。出土品の整理につきましては、平成12年度に開所した沖縄県立埋蔵文化財センターが実施し、この度報告書を刊行することが出来ました。

県民の熱い要望により、復帰後に始まった首里城の復元整備は、正殿、南殿、北殿などの建物をはじめ、御庭、奉神門などが次々と復元され、威容を誇った琉球王国王城の在りし日の姿を蘇らせつつあります。それとともに、首里城周辺の公園整備も進められており、今や首里城は沖縄の観光名所となっております。

旧天界寺の発掘調査もこのような首里城周辺整備に伴うもので、新設された市道から首里杜館の地下駐車場への出入り口の新設計画に伴うものです。新設された市道の部分及びその周辺については、那覇市教育委員会が発掘調査を実施し、その成果も報告されております。

県教育庁が今回発掘調査を実施した地域は、那覇市教育委員会が発掘調査を行った地点の東側、首里杜館に西に面する地域であります。この地域は、昭和の初期に造られた石積みの擁壁が５メートルもの高さで残っておりました。そのために、調査前はそれ以前の遺構状況の把握は出来ませんでした。

このような状況で発掘調査を行った結果、石敷遺構、ウマの埋葬遺構、琉球石灰岩の岩盤を長方形に掘り込んだ遺構、石の階段、石敷遺構など多くの遺構とともに貿易陶磁器など多種多様な遺物も出土し、往時の天界寺の様子がある程度復元できるような成果を上げることが出来ました。天界寺は尚泰久王により創建された尚家の菩提寺で、『球陽』や『琉球国由来記』などにも記録されております。本報告書が首里城研究の基礎資料として、活用されれば幸いです。

末尾になりましたが、発掘調査および資料整理の際にご指導・ご助言を賜りました諸先生方、ご協力を賜りました関係各位に対し心から御礼申し上げます。

平成13年　3月

沖縄県立埋蔵文化財センター
所　長　　知念　勇

# 例　　言

1、本書は平成８年度に実施した、首里杜館地下駐車場入り口新設工事に係る緊急発掘調査の成果をまとめたものである。
2、調査は、沖縄県土木部都市計画課からの分任事業として沖縄県教育庁文化課が実施した。
3、資料整理作業は、平成11年度までは県文化課が行い、平成12年度からは県立埋蔵文化財センターが引き続き実施した。
4、本書に使用した１／25000地形図は国土地理院発行の資料によった。
5、本書に表した高度値は海抜高である。
6、資料整理にあたり、下記の方々に各遺物の鑑定、または同定をお願いした。記して謝意を表したい。

陶　磁　器（五十音順）
池　畑　耕　一　氏（鹿児島県教育庁文化課）
大　橋　康　二　氏（佐賀県教育庁文化財課）
鈴　田　由紀夫　氏（佐賀県立九州陶磁文化館）
手　塚　直　樹　氏（鎌倉考古学研究所）
橋　本　久　和　氏（大阪府高槻市教育委員会）
石　　器…神　谷　厚　昭　氏（沖縄県立博物館）
獣骨・魚骨…金　子　浩　昌　氏（早稲田大学考古学研究室）

8、本書の編集は島袋春美、仲與根ゆかりの協力を得て島袋洋が行った。
編集・校正：池原直美、瑞慶覧尚美、玉城恵美利、玉城照美
9、各章の執筆分担は次の通りである。

島　袋　　洋……第Ⅰ章～Ⅲ章、第Ⅳ章、第Ⅴ章第１節、第４～８節、第10節、第15節、第Ⅵ章
當　銘　清　乃……第Ⅴ章第17節、第19節、第26節
島　袋　春　美……第Ⅴ章第２節、第３節、第９節、第11節、第12節、第13節、第16節、18節、第21節、第24節、第27節、第28節、第32～38節、第39節－1、第40節
田　里　一　寿……第Ⅴ章第14節、第20節、第22節、第23節
古　屋　聡　洋……第Ⅴ章第29節、第30節
藤　崎　　京……第Ⅴ章第25節
宮　平　真由美……第Ⅴ章第31節
金　子　浩　昌……第Ⅴ章第39節－2

10、遺物の写真撮影は長田剛、宮崎典子による。
11、発掘調査で出土した遺物及び、実測図・写真等の記録は全て、沖縄県立埋蔵文化財センターにて保管している。

# 目　次

**巻首図版**
**序**
**例言**
**報告書抄録**
第Ⅰ章　調査に至る経緯 …… 1
　第1節　調査に至る経緯 …… 1
　第2節　調査体制 …… 1
第Ⅱ章　位置と環境 …… 3
第Ⅲ章　調査経過 …… 6
第Ⅳ章　層序と遺構 …… 10
　第1節　層序 …… 10
　第2節　遺構 …… 13
第Ⅴ章　出土遺物 …… 29
　第1節　青磁 …… 29
　第2節　白磁 …… 42
　第3節　染付 …… 47
　第4節　青磁染付 …… 57
　第5節　鉄釉染付 …… 57
　第6節　瑠璃釉 …… 58
　第7節　ベトナム産陶磁器 …… 62
　第8節　翡翠釉 …… 62
　第9節　天目茶碗 …… 63
　第10節　三彩・銅緑釉・褐釉磁器・宜興窯 …… 64
　第11節　中国産色絵 …… 68
　第12節　黄釉磁器 …… 68
　第13節　褐釉陶器 …… 70
　第14節　タイ産半練土器 …… 74
　第15節　タイ産陶磁器 …… 75
　第16節　本土産磁器 …… 79
　第17節　本土産陶器 …… 90
　第18節　沖縄産施釉陶器 …… 98
　第19節　沖縄産無釉陶器 …… 123
　第20節　陶質土器 …… 136
　第21節　瓦質土器 …… 145
　第22節　土器 …… 149
　第23節　硬質土器 …… 151
　第24節　類須恵器 …… 152
　第25節　円盤状製品 …… 153
　第26節　煙管 …… 156
　第27節　骨製品 …… 158
　第28節　貝製品 …… 160
　第29節　銭貨 …… 162
　第30節　青銅製品 …… 165
　第31節　鉄製品 …… 168
　第32節　ガラス玉 …… 168
　第33節　坩堝 …… 168
　第34節　陶板 …… 168
　第35節　石器・石製品 …… 170
　第36節　瓦 …… 173
　第37節　磚 …… 176
　第38節　獅子 …… 176
　第39節　自然遺物 …… 179
　　1．貝 …… 179
　　2．骨 …… 183
　第40節　ガラス製品 …… 190
第Ⅵ章　総括 …… 196

# 図　目　次


第 1 図　古地図に見る天界寺 …… 3
第 2 図　沖縄本島及び那覇市の位置 …… 4
第 3 図　天界寺の位置（那覇市歴史地図より）…… 5
第 4 図　発掘調査の範囲（完掘状況）…… 8
第 5 図　グリット設定（完掘状況）…… 9
第 6 図　層序 …… 11
第 7 図　主な検出遺構配置 …… 12
第 8 図　石垣（た・ち－14）…… 13
第 9 図　石囲い遺構（た－14）…… 13
第 10 図　ウマの埋葬遺構（た－12）…… 14
第 11 図　ウマの埋葬模式図（想定図）…… 14
第 12 図　石積み遺構（つ・ち－9）…… 15
第 13 図　土壙（た・ち・つ－11～13）…… 16
第 14 図　石敷遺構（せ－18）…… 17
第 15 図　①～③階段状遺構（せ・そ－16・17）
④階段状遺構構築状況 …… 19
第 16 図　敷石遺構（さ－17・18）…… 18
第 17 図　土壙・溝状遺構・舛状遺構（し・す－15～18）… 21
第 18 図　ヤコウガイの蓋集中部（す・せ－18）…… 22
第 19 図　柱穴・土壙検出状況（平面図）…… 23
第 20 図　柱穴・土壙断面（地山面）…… 25
第 21 図　青磁（1）碗 …… 37
第 22 図　青磁（2）皿 …… 38
第 23 図　青磁（3）鉢・盤・蓋・把手・擂鉢 …… 39
第 24 図　青磁（4）壺の蓋・壺・香炉・脚・小碗 …… 40
第 25 図　青磁（5）水注・壺・瓶・小鉢・香炉・その他 … 41
第 26 図　白磁（1）碗・小碗・皿・瓶・灯明皿 …… 45
第 27 図　白磁（2）皿・碗・瓶・杯・壺・香炉 …… 46
第 28 図　染付（1）碗 …… 52
第 29 図　染付（2）碗・小碗・皿 …… 53
第 30 図　染付（3）皿 …… 54
第 31 図　染付（4）鉢・浅鉢 …… 55
第 32 図　染付（5）杯・瓶・蓮華・蓋・その他 …… 56
第 33 図　青磁染付・鉄釉染付・瑠璃釉 …… 61
第 34 図　ベトナム産陶磁器・翡翠釉 …… 62
第 35 図　天目茶碗 …… 63
第 36 図　三彩・銅緑釉・褐釉磁器・宜興窯 …… 67
第 37 図　中国産色絵・黄釉磁器 …… 69
第 38 図　褐釉陶器（1）壺 …… 72
第 39 図　褐釉陶器（2）水注・擂鉢・急須・瓶・壺 …… 73
第 40 図　タイ産半練土器 …… 75
第 41 図　タイ産陶磁器 …… 78
第 42 図　本土産磁器（1）…… 85
第 43 図　本土産磁器（2）…… 86
第 44 図　本土産磁器（3）型紙摺り　碗 …… 87
第 45 図　本土産磁器（4）…… 88
第 46 図　本土産磁器（5）…… 89
第 47 図　本土産陶器　産地・時代別変遷 …… 91
第 48 図　本土産陶器（1）擂鉢・壺 …… 94
第 49 図　本土産陶器（2）小碗・碗・皿・鉢・土瓶 …… 95
第 50 図　本土産陶器（3）急須・壺・鍋・香炉・土瓶・瓶 …… 96
第 51 図　本土産陶器（4）袋物・型物・擂鉢・鉢・壺・瓶・蓋 … 97
第 52 図　沖縄産施釉陶器（1）碗 …… 110
第 53 図　沖縄産施釉陶器（2）碗 …… 111
第 54 図　沖縄産施釉陶器（3）小碗 …… 112
第 55 図　沖縄産施釉陶器（4）皿 …… 113
第 56 図　沖縄産施釉陶器（5）鉢・皿・小鉢 …… 114
第 57 図　沖縄産施釉陶器（6）鉢 …… 115
第 58 図　沖縄産施釉陶器（7）鉢 …… 116
第 59 図　沖縄産施釉陶器（8）鍋・壺 …… 117
第 60 図　沖縄産施釉陶器（9）急須 …… 118
第 61 図　沖縄産施釉陶器（10）急須・水注・酒器 …… 119
第 62 図　沖縄産施釉陶器（11）蓋 …… 120
第 63 図　沖縄産施釉陶器（12）瓶・灯明具 …… 121
第 64 図　沖縄産施釉陶器（13）火取・香炉・火炉 …… 122
第 65 図　沖縄産無釉陶器（1）碗・皿・瓶・その他 …… 130
第 66 図　沖縄産無釉陶器（2）壺 …… 131
第 67 図　沖縄産無釉陶器（3）甕 …… 132
第 68 図　沖縄産無釉陶器（4）鉢 …… 133
第 69 図　沖縄産無釉陶器（5）擂鉢 …… 134
第 70 図　沖縄産無釉陶器（6）火炉・急須・瓶 …… 135
第 71 図　陶質土器（1）蓋・鍋 …… 141
第 72 図　陶質土器（2）火炉・その他 …… 142
第 73 図　陶質土器（3）急須・灯明皿 …… 143
第 74 図　陶質土器（4）鉢・その他 …… 144
第 75 図　瓦質土器（1）鉢・擂鉢・その他 …… 147
第 76 図　瓦質土器（2）火炉 …… 148
第 77 図　土器 …… 150
第 78 図　硬質土器 …… 151
第 79 図　類須恵器 …… 152
第 80 図　円盤状製品 …… 155
第 81 図　円盤状製品の大きさと素材の相関 …… 154
第 82 図　煙管 …… 156
第 83 図　骨製品　歯ブラシ・箸・ボタン・板状製品 …… 159
第 84 図　貝製品 …… 161
第 85 図　銭貨（有文）…… 163
第 86 図　銭貨（無文）…… 164
第 87 図　青銅製品　簪 …… 167
第 88 図　青銅製品・鉄製品・その他 …… 169
第 89 図　硯・石製品 …… 171
第 90 図　石器・石製品 …… 172
第 91 図　明式軒丸・軒平模式図 …… 173
第 92 図　瓦（1）軒丸・獅子 …… 177
第 93 図　瓦（2）軒平・その他 …… 178
第 94 図　ヤコウガイ蓋の大きさ分布 …… 179
第 95 図　ヤコウガイ殻の残存部 …… 180
第 96 図　ヤコウガイ蓋の残存部 …… 180
第 97 図　ヤコウガイ殻と蓋の模式図 …… 180
第 98 図　ウマ右上顎骨臼歯拓影 …… 185
第 99 図　ウマ右脛骨 …… 186
第100図　遺構の主な出土遺物 …… 198


# 図　版　目　次


図版 1　上：調査地区全景、下：調査地区南側 …… 200
図版 2　遺構検出状況Ａ …… 201
図版 3　遺構検出状況Ｂ …… 202
図版 4　遺構検出状況、他 …… 203
図版 5　青磁（1）…… 204
図版 6　青磁（2）…… 205
図版 7　青磁（3）…… 206
図版 8　青磁（4）…… 207
図版 9　青磁（5）…… 208
図版 10　白磁（1）…… 209
図版 11　白磁（2）…… 210
図版 12　染付（1）…… 211
図版 13　染付（2）…… 212
図版 14　染付（3）…… 213
図版 15　染付（4）…… 214
図版 16　染付（5）…… 215
図版 17　青磁染付・鉄釉染付・瑠璃釉 …… 216
図版 18　ベトナム産陶磁器・翡翠釉 …… 217
図版 19　天目茶碗 …… 217
図版 20　三彩・銅緑釉・褐釉磁器・宜興窯 …… 218
図版 21　中国産色絵・黄釉磁器 …… 219
図版 22　褐釉陶器（1）…… 220
図版 23　褐釉陶器（2）…… 221
図版 24　タイ産半練土器 …… 222
図版 25　タイ産陶磁器 …… 223
図版 26　本土産磁器（1）…… 224
図版 27　本土産磁器（2）…… 225
図版 28　本土産磁器（3）…… 226
図版 29　本土産磁器（4）…… 227
図版 30　本土産磁器（5）…… 228
図版 31　本土産陶器（1）…… 229
図版 32　本土産陶器（2）…… 230
図版 33　本土産陶器（3）…… 231
図版 34　本土産陶器（4）…… 232
図版 35　沖縄産施釉陶器（1）…… 233

図版 36　沖縄産施釉陶器（2）……234
図版 37　沖縄産施釉陶器（3）……235
図版 38　沖縄産施釉陶器（4）……236
図版 39　沖縄産施釉陶器（5）……237
図版 40　沖縄産施釉陶器（6）……238
図版 41　沖縄産施釉陶器（7）……239
図版 42　沖縄産施釉陶器（8）……240
図版 43　沖縄産施釉陶器（9）……241
図版 44　沖縄産施釉陶器（10）……242
図版 45　沖縄産施釉陶器（11）……243
図版 46　沖縄産施釉陶器（12）……244
図版 47　沖縄産施釉陶器（13）……245
図版 48　沖縄産無釉陶器（1）……246
図版 49　沖縄産無釉陶器（2）……247
図版 50　沖縄産無釉陶器（3）……248
図版 51　沖縄産無釉陶器（4）……249
図版 52　沖縄産無釉陶器（5）……250
図版 53　沖縄産無釉陶器（6）……251
図版 54　陶質土器（1）……252
図版 55　陶質土器（2）……253
図版 56　陶質土器（3）……254
図版 57　陶質土器（4）……255
図版 58　瓦質土器（1）……256
図版 59　瓦質土器（2）……257
図版 60　土器……258
図版 61　硬質土器……259
図版 62　類須恵器……259
図版 63　円盤状製品……260
図版 64　煙管……261
図版 65　骨製品……262
図版 66　貝製品……263
図版 67　銭貨（有文・無文）……264
図版 68　青銅製品……265
図版 69　上・下：青銅製品・鉄製品・その他（下：写真のみ）……266
図版 70　硯・石製品……267
図版 71　石器・石製品……268
図版 72　瓦（1）軒丸・獅子……269
図版 73　瓦（2）軒平・丸瓦・その他……270
図版 74　貝（1）巻貝……271
図版 75　貝（2）巻貝……272
図版 76　貝（3）二枚貝……273
図版 77　骨（1）上・下：サカナ……275
図版 78　骨（2）上：サカナ、下：ニワトリ・カモ類……277
図版 79　骨（3）上・下：イヌ……279
図版 80　骨（4）上・下：ウマ（1）……281
図版 81　骨（5）ウマ（2）……283
図版 82　骨（6）ウマ（3）……285
図版 83　骨（7）上・下：ブタ……287
図版 84　骨（8）上：ヤギ、下：ウシ……289
図版 85　ガラス製品……290

## 表　目　次

第 1 表　柱穴・土壙計測及び出土遺物一覧……27
第 2 表　青磁観察一覧……30
第 3 表　青磁出土状況……36
第 4 表　白磁出土状況……42
第 5 表　白磁観察一覧……43
第 6 表　染付観察一覧……48
第 7 表　鉄釉染付観察一覧……59
第 8 表　瑠璃釉観察一覧……60
第 9 表　青磁染付・鉄釉染付・瑠璃釉・翡翠釉・ベトナム産陶磁器出土状況……60
第 10 表　天目茶碗出土状況……63
第 11 表　天目茶碗観察一覧……63
第 12 表　三彩・銅緑釉・褐釉磁器・宜興窯観察一覧……65
第 13 表　中国産色絵観察一覧……68
第 14 表　褐釉陶器出土状況……70
第 15 表　褐釉陶器観察一覧……71
第 16 表　タイ産半練土器出土状況……74
第 17 表　タイ産半練土器観察一覧……74
第 18 表　タイ産陶磁器出土状況……76
第 19 表　タイ産陶磁器観察一覧……76
第 20 表　本土産磁器観察一覧……81
第 21 表　備前焼観察一覧……90
第 22 表　本土産陶器観察一覧……92
第 23 表　本土産陶器出土状況……93
第 24 表　沖縄産施釉陶器観察一覧……101
第 25 表　沖縄産無釉陶器観察一覧……126
第 26 表　陶質土器出土状況……137
第 27 表　陶質土器観察一覧……138
第 28 表　瓦質土器出土状況……145
第 29 表　瓦質土器観察一覧……146
第 30 表　土器観察一覧……149
第 31 表　土器出土状況……149
第 32 表　硬質土器出土状況……151
第 33 表　硬質土器観察一覧……151
第 34 表　類須恵器観察一覧……152
第 35 表　円盤状製品観察一覧……153
第 36 表　円盤状製品出土状況……154
第 37 表　煙管観察一覧……157
第 38 表　歯ブラシ観察一覧……160
第 39 表　銭貨出土状況……162
第 40 表　銭貨観察一覧……163
第 41 表　簪観察一覧……166
第 42 表　青銅製品（その他）出土状況……168
第 43 表　石球計測一覧……170
第 44 表　石器・石製品・硯出土状況……170
第 45 表　石器・石製品観察一覧……170
第 46 表　硯観察一覧……171
第 47 表　軒瓦出土状況……174
第 48 表　瓦出土状況……175
第 49 表　ヤコウガイ蓋集中部観察一覧……179
第 50 表　ヤコウガイ殻出土状況……180
第 51 表　ヤコウガイ蓋出土状況……180
第 52 表　貝類出土状況（1）巻貝……181
第 53 表　貝類出土状況（2）二枚貝……182
第 54 表　鳥類出土一覧……184
第 55 表　イヌ出土一覧……184
第 56 表　ウマ出土一覧……185
第 57 表　ウマ出土量……185
第 58 表　ウマ歯根部分岐点の高さ……185
第 59 表　サメ脊椎骨出土一覧……187
第 60 表　ジュゴン出土一覧……187
第 61 表　種不明出土一覧……187
第 62 表　ウシ出土一覧……187
第 63 表　ウシ歯出土一覧……187
第 64 表　ネズミ出土一覧……187
第 65 表　ヘビ出土一覧……187
第 66 表　ヒト出土一覧……187
第 67 表　ヤギ歯出土一覧……187
第 68 表　ニワトリ出土量……188
第 69 表　ブタ歯出土状況……188
第 70 表　ヤギ出土量……188
第 71 表　ブタ出土量……191
第 72 表　魚類出土状況……192
第 73 表　ニワトリ計測一覧……189
第 74 表　イヌ計測一覧……189
第 75 表　カモ類計測一覧……189
第 76 表　ウシ計測一覧……189
第 77 表　ヤギ計測一覧……189
第 78 表　ウマ計測一覧……189
第 79 表　ブタ計測一覧……189
第 80 表　ガラス計測一覧……190
第 81 表　ガラス出土状況……190
第 82 表　染付出土状況……195
第 83 表　沖縄産無釉陶器出土状況……125
第 84 表　本土産磁器出土状況……193
第 85 表　沖縄産施釉陶器出土状況……194
第 86 表　ナンバーリング：出土地対照一覧……291

# 報 告 書 抄 録

| | |
|---|---|
| ふりがな | てんかいじ　あと |
| 書名 | 天界寺跡 |
| 副書名 | 首里杜館地下駐車場入り口新設工事に伴う緊急発掘調査 |
| 巻次 | |
| シリーズ名 | 沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書 |
| シリーズ番号 | 第2集 |
| 編著者名 | 島袋　洋・島袋春美・當銘清乃・古屋聡洋・田里一寿・藤崎　京・宮平真由美・金子浩昌 |
| 編集機関 | 沖縄県立埋蔵文化財センター |
| 所在地 | 〒903－0125　沖縄県中頭郡西原町字上原193－7　　TEL098－835－8752 |
| 発行年月日 | 西暦　2001年(平成13年)3月30日 |

| ふりがな<br>所収遺跡名 | ふりがな<br>所在地 | コード<br>市町村 | コード<br>遺跡番号 | 北緯<br>°′″ | 東経<br>°′″ | 調査期間 | 調査面積<br>㎡ | 調査原因 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| てんかいじ　あと<br>天界寺　跡 | おきなわけんなはし<br>沖縄県那覇市<br>しゅりきんじょうちょう<br>首里金城町 | 47201 | | 26°<br>12′<br>52″ | 127°<br>43′<br>04″ | 1996.6.27<br>～<br>1996.12.6 | 800 | 首里杜館地下駐車場入り口新設工事 |

| 所収遺跡名 | 種別 | 主な時代 | 主な遺構 | 主な遺物 | 特記事項 |
|---|---|---|---|---|---|
| 天界寺跡 | 宗教遺跡 | 沖縄貝塚時代前IV期<br>グスク時代<br>琉球王府時代<br>近代 | ウマ埋葬遺構<br>ヤコウガイの蓋集中部<br>階段状遺構<br>石敷遺構<br>土壙<br>柱穴群など | 青磁<br>白磁<br>染付<br>褐釉陶器<br>本土産陶磁器<br>沖縄産施釉陶器<br>沖縄産無釉陶器<br>瓦質土器<br>陶質土器<br>青銅製品 | |

# 第Ⅰ章　調査に至る経緯

## 第１節　調査に至る経緯

復元整備事業の進行に伴い、栄華を誇った琉球王国の王城がありし日の姿を今に蘇らせつつある。整備事業の終了した地域の一部公開により、観光地としての賑わいをみせ、観光客も年々増加しているようである。それに伴い首里城周辺の整備も着々と進められている。首里杜館の建設と地下駐車場の確保、道路の整備、龍譚池周辺の散策路の整備などが実施されている。首里城の城外、西側にあったとされる天界寺跡もこのような公園整備計画の中に取り込まれることになった。

首里古地図（第１図）にみられる旧天界寺の境内を東西に二分するように、ほぼ中央部を南北方向に通る市道の新設が計画された。その予定路線内には旧天界寺の井戸も範囲内に入っていたため、那覇市教育委員会は開発部局との調整を行い、旧天界寺の井戸は路線外になるような設計変更がなされた。那覇市教育委員会は変更後の路線内の発掘調査を実施するとともに、路線外についても県都市計画課の依頼を受けて調査を行い、旧天界寺の様子を窺わせるような遺物、遺構などを確認している。また、この地の歴史的な変遷を示すように三殿内の遺構なども確認している。

那覇市教育委員会による発掘調査が終了した平成８年度、県都市計画課から新設道路と玉陵との間、つまり、天界寺西区に県の公園管理棟の建設を予定しており、予定地内の発掘調査を依頼したいとの調整が県文化課になされた。観光客も増加の傾向にあり、観光地として賑わいをみせてきている首里城周辺地域の管理をする施設で、建設場所もこの一帯しかないとの県都市計画課の要請であり、県文化課としても天界寺中区が発掘調査されていること、井戸については那覇市が市指定して現地保存されることになっているなどの諸状況から、発掘調査も止むを得ないとの判断になった。

県都市計画課と県文化課の調整の結果、発掘調査に係る費用は県都市計画課の方が確保し、文化課への分任事業として実施することになり、文化課の調査員が確保できた平成８年６月から天界寺西区の発掘調査がスタートした。しかし、調査に着手して間もなく、県都市計画課の方から管理棟よりも新設道路から首里杜館の地下駐車場への出入口と首里杜館のエントランスホールの拡張を急ぐ必要がでてきたので、その部分の発掘調査を先にやってほしいとの申し入れがなされた。

申し入れがなされた場所は、那覇市教育委員会による発掘調査が終了した場所から首里杜館までの間、面積にして約800㎡が対象となった。そこは、昭和の初期につくられたという石積みの擁壁が約５ｍあり、その内側の状況がまったく不明であった。そのため、着手していた天界寺西区の調査を進めながら、擁壁の内側の状況を確認すると未撹乱の遺物包含層や琉球石灰岩を利用した階段遺構などが検出され、一帯には旧天界寺の頃の遺物包含層や遺構が良好な状態で残されているものと考えられた。そのため、先に着手した西区の発掘調査を一旦中止し、東区の調査を実施する必要がでてきた。県都市計画課と県文化課との調整の結果、当初は管理棟建設に伴う天界寺西区の調査としてスタートしたが、あらためて首里杜館の地下駐車場出入口に係る天界寺東区の調査を先に行い、西区については東区の調査が終了した後に行うことになり、その際の調査費用も県都市計画課が負担することでまとまった。平成８年度の調査は天界寺東区の調査をメインに実施することになった。

## 第２節　調査体制

発掘調査から資料整理および報告書の刊行まで、下記の体制で実施した。

**事業主体**・・・・・・沖縄県教育委員会
　教育長・・・・・・仲里長和（平成8年度）
　　〃　・・・・・・安室　肇（平成9年度～10年度）
　　〃　・・・・・・翁長良盛（平成11年度～12年度）
　文化課課長・・・・大城将保（平成8年度～10年度）
　　〃　　・・・・當眞嗣一（平成11年度～12年度）
　文化課課長補佐・・日越国昭（平成8年度～9年度）
　　〃　　・・・・稲嶺靖子（平成8年度～10年度）

文化課課長補佐・・當眞嗣一（平成10年度）
〃　　・・・・千木良芳範（平成11年度～12年度）
〃　　・・・・名嘉政修（平成11年度～12年度）

**調査事務**

文化課管理係主幹・・比屋根正治（平成８年度）
〃　　・・大浜　節（平成９年度～11年度）
〃　　・・比嘉　満（平成12年度）
〃　主査・・村山佐代（平成8年度～10年度）
〃　・・砂川邦子（平成9年度～11年度）
〃　副主査・・新垣敏子（平成8年度）
〃　主事・・上原直樹（平成8年度～9年度）
〃　・・當間清美（平成10年度）
調査主体・・・・・・沖縄県立埋蔵文化財センター（平成12年度）
調査統括　所長・・・知念　勇（平成12年度）
調査事務　副所長・・知念廣義（平成12年度）
〃　庶務課主事・上原　浩（平成12年度）
〃　・城間千賀（平成12年度）
調査課　課長・・・・島袋　洋（平成12年度）

**発掘調査指導**

文化庁　文化財調査官・・・・小池伸彦
〃　　・・・・磯村幸男

**調査総括**

埋蔵文化財係長・・・大城　慧（平成8年度～9年度）
〃　　・・・島袋　洋（平成10年度～11年度）
発掘調査専門員・・・島袋　洋（平成8年度～９年度）
〃　　・・・・金城亀信（　　〃　　）
〃　　・・・・仲座久宜（　　〃　　）
発掘調査補助員・・・當銘清乃（旧姓：上原）
〃　　・・・仲與根ゆかり
発掘調査協力・・・・金子浩昌（早稲田大学）
〃　　・・・・久保弘文（沖縄県栽培漁業ｾﾝﾀｰ研究員　現：沖縄県農林水産部）

**発掘調査作業員**（五十音順）

新垣キク、新垣直美、新垣美智子、新垣裕子、新垣良子、稲嶺フク子、上間チエ、大宜見より子、大城フサ子、大城ヨシ子、太田吉光、翁長スミ子、嘉数キミエ、嘉味田千枝子、金城さとみ、金城美祈、金城礼子、幸地ヨシ子、呉我フジ子、小橋川恵子、小橋川幸子、小波津夏子、小波津ヨシ子、小浜信子、呉屋正一、呉屋光子、島袋智之、島袋文子、城間光子、謝名元かずみ、新里準子、田場喜久子、玉城富子、玉城信子、津波古美津江、照屋栄子、桃原佐恵美、桃原隆信、當間喜美江、當間すみ子、當間フミ、當間みよ子、當銘ヨシ子、仲里ハル子、中塚末子、名嘉真朝紀、古屋聡洋、真栄城千枝子、真志喜千代子、溝口順子、宮城利香、宮国恵子、森山弘恵、山畑キミ、柚木崎末子、與那嶺勢津子

**遺物洗浄作業員**（五十音順）

大城幸子、金城美枝子、仲宗根さと子、嶺井米子、山城ツヤ子

**資料整理作業員**（五十音順）

赤嶺雅子、新垣利津代、池原直美、伊集ゆきの、請盛智秋、大城直美、大城美和子、折田衣代、嘉数禮子、金城薫、金城京子、金城洋子、源河秀子、國吉春美、島袋春美、城間千鶴子、新城さゆり、新城恵、瑞慶覧尚美、平良貴子、高良三千代、武井しのぶ、玉榮さとみ、玉城恵美利、玉城照美、玉寄智恵子、津波古良子、手嶋永子、照屋利子、天願睦美、仲宗根三枝子、仲間留美、中村智子、仲村良枝、牧志加代子、又吉純子、比嘉孝子、比嘉登美子、外間瞳、真榮田聡子、吉田昌子

# 第Ⅱ章　　位置と環境

旧天界寺は那覇市首里金城町に所在する。首里の町は那覇市の東南側に位置しており、周辺を丘陵や川に囲まれた琉球石灰岩の台地（標高70～100ｍ）上に展開している。琉球王府の王城である首里城を中心に城下町として栄えてきた地域であり、現在でもそこかしこに古のたたずまいを残している。また、一帯は基盤の青灰色粘土（クチャ）層と上部を構成する琉球石灰岩の間から流れる湧き水が豊富で、首里城内やその周辺には桶川や井戸などが見受けられる。旧天界寺の境内にも井戸が残っており、今でも枯れることなく水をたたえている。

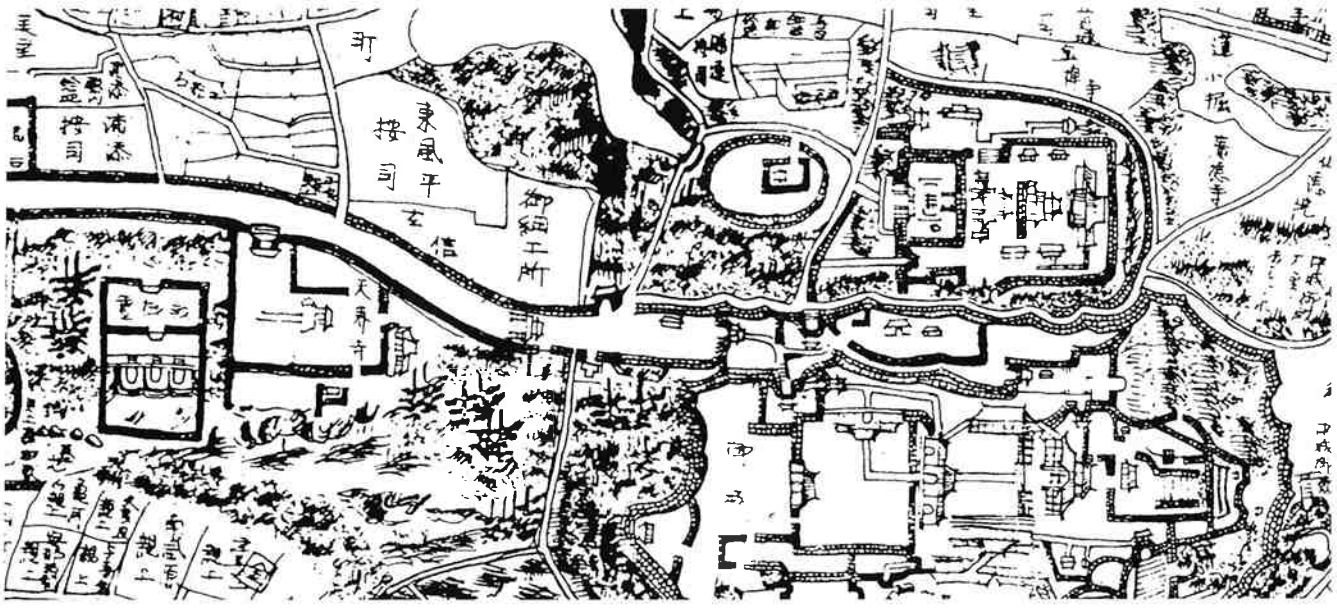
王都として栄え発展してきた首里の町であるが、去った沖縄戦で営々と営まれてきた人々の生活の場が焦土と化し、栄華を誇った王朝文化を伝えていた数多くの文化財も失われてしまった。しかし、復帰後の首里城復元を望む声の高まりにより、首里城正殿、南・北殿、奉神門、御庭などの復元整備や城内の各門や石垣、さらに、首里城の外側を廻る石垣の復元整備により栄華をきわめた往時の華麗な城が姿を現わしてきている。首里城の復元整備と共に、周辺の公園整備も着々と進められ、王府時代の薫りを今に蘇らせつつある。

旧天界寺は首里城外の西方にあって、守礼門の南側から玉陵までがその敷地となっていたことが『球陽』、『琉球国由来記』や首里古地図（1773年）などの文献資料から窺える。『球陽』によると第一尚氏の菩提寺として尚泰久王時代の1450～1456年の間に創建され、伽藍は寝室、方丈、両廊、東房、西房、大門、厨司などを備え、次代尚徳王の時に大宝殿が建立されたことが伝えられている。また、火災で一度焼失したものの、17世紀ごろに再建復興されたことが『琉球国由来記』にみえる。円覚寺・天王寺とともに三大寺と称せられ、琉球処分後の明治末頃廃寺になるようである。戦後は民家が立ち並び、旧天界寺の面影はほとんど失われてしまったが、守礼門から延びる道沿いに残された数ｍの石垣が往時を偲ばせるだけである。

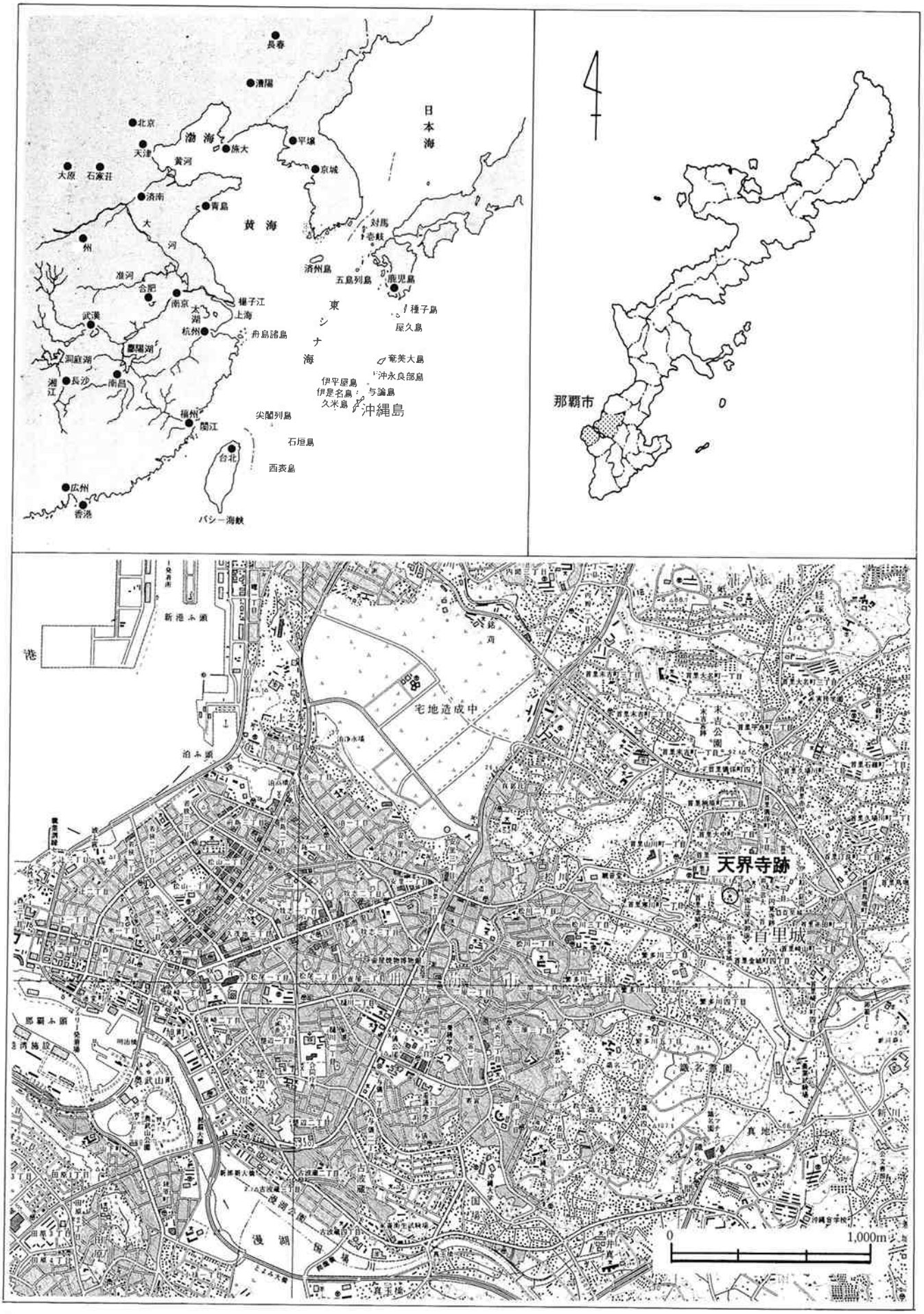
旧天界寺の境内は首里城側の東から玉陵側の西へ傾斜していたようである。その中間付近を新しい道路が通り、その際に那覇市教育委員会が発掘調査を実施している。今回、便宜的に道路部分を中区、玉陵側を西区、首里城側を東区と呼称した。

つまり、今回報告する東区は天界寺の東側部分（首里城側）一帯である。一帯は琉球石灰岩の岩盤が所々突出していた場所のようであり、突出している岩盤を取り込んで利用したり、その周辺では岩盤を掘り込んで土壙や柱穴などをつくったり、岩盤から立ち上がる石垣など往時から岩盤地帯であったことが窺える。中区では西側に面を持つ切り石の石積み（高さ約１ｍ）が南北方向へ延びており、それを境に西側は低くなっている。低くなっている西区では赤土を盛り土し、平場造成を行ったとみられるような造成層が北西側の方へ厚く確認されている。

首里城周辺の公園整備の進行とともに、天界寺を含めた周辺地域の景観も様変わりしてきている。県内でも初期の頃の寺として、創建されてから永い年月の歴史を刻んできた旧天界寺の境内も地下駐車場への出入口、道路、管理棟などが建ち、かつての様子を偲ぶべくもない。ただ、中区の切り石積みの石垣や道路と管理棟の間に残された井戸、玉陵の石垣、守礼門への道沿いに残る石垣など、往時の薫りを残すものが散在するだけである。




第１図　古地図に見る天界寺




第２図　沖縄本島及び那覇市の位置

第３図　天界寺の位置　那覇市歴史地図より（1984年当時の状況）

# 第Ⅲ章　調査経過

今回の調査は首里城公園の管理棟建設に伴う緊急発掘調査（玉陵に東接する地域を対象）として平成８年の６月から調査を開始した。しかしながら、発掘調査に着手してまもなく、工事計画のスケジュールから首里杜館の西側一帯の調査が優先されるとの県都市計画課からの要望により、首里杜館の西側（新設の市道から首里杜館の地下駐車場への出入口及びエントランスホールの拡張）へ調査地域を変更して発掘調査を実施することになった。

調査対象地域は平成７年に那覇市教育委員会[註1]が実施している発掘調査範囲と首里杜館の間に挟まれた区域（約800㎡）である。その部分はそれまであった民家との境をなすように約５ｍの石垣が積まれ、その高さまで造成され庭として利用されていた場所である。そのため、調査に先立って、石垣及び造成土の撤去が必要となった。県文化課と県都市計画課との調整で、石垣の高さ約１ｍまでの撤去は県都市計画課の方で行い、その後、文化課の方で旧天界寺の遺構の残り具合を確認しながら調査に入っていくことになった。

県都市計画課の方で行った石垣撤去で、今回の調査対象区のほぼ中央に琉球石灰岩の岩盤が突出して検出された。石垣から首里杜館にかけて、表面の約１ｍほどが土で、その下方は栗石様の礫で充填されていた。石垣を積んで囲った旧地形に、栗石様の礫を充填して造成し、表面に芝を張っていた場所ということになる。突出した岩盤の上面は黒色土が薄く被り、青磁・白磁・染付などのほか瓦、沖縄産の施釉・無釉陶器などが得られている。その部分の発掘調査と並行して、北側、南側の栗石の除去を重機を使用して行った。栗石の除去とともに、北側、南側とも石列が確認され、旧天界寺の遺構かと考えられた。

このような状況で、今回の調査区域全体にグリット設定を行った。設定にあたっては、那覇市教育委員会が調査した際の杭を利用し、基本的には那覇市教育委員会の設定したグリットをそのまま広げていく形をとった。グリットの呼称も同様に行い、西から東へ五十音、北から南へ算用数字を用いて表示した（第５図）。

石垣擁壁内の栗石を除去していくと、発掘調査範囲のほぼ中央で突出して検出された琉球石灰岩の岩盤を境に北側、南側では状況が異なる。しかしながら、いずれの場所でも当初の予想を上回るように未撹乱の遺物包含層、石垣遺構、岩盤を掘り込んだ遺構、敷石遺構、階段状遺構、石列の溝状遺構、ピット群などが検出され、本地区における旧天界寺の様子を窺わせるような状況であった。

北側は首里杜館側（東側）から発掘調査を始めたが、すぐに琉球石灰岩の岩盤が露出した。て・と－12を中心に沖縄産の陶器（壺屋焼きの染付が目に付く）や本土産陶磁器（印判染付が主）などが集中する場所が確認され、その下部は小礫も多く混ざる状況であった。西側の方へ掘り進めていくと遺物包含層が確認され、突出した岩盤の近くに石積みが検出された。遺物包含層を掘り下げていくと、ち・つ－12・13グリットにセメントで固められた場所が確認された。セメントの広がりの数ヶ所にワイヤーロープが埋め込まれているものの、その下方にも遺物包含層が潜っており、セメントを砕いて掘り進めた。

その結果、岩盤は東側から西側の方へ低くなり、遺物包含層は西側へ厚く（約60㎝）堆積していることが判明した（第６図）。包含層はほぼ水平方向に堆積しており、全体的な状況からすると、上部は削られた可能性が強いように思われた。遺物包含量は多くなく、青磁、褐釉陶器などの小破片が主体である。また、突出した岩盤の近くで検出された石積みは、東西方向に長さ約6.6m、幅約１ｍ、高さ約0.6mで確認され、東端で北側に曲がる。東端のコーナー部から北側の方へはすぐに壊れており、状況は判然としない（第８図）。西側の方がより損壊している。内面（北面）は岩盤から積み上げており（図版２）、長方形状（30×20㎝）の礫が利用されているが、積み方は雑である。外面（南面）は包含層から積み上げ、最下部に長方形状（30×20㎝）の礫が多くみられ、上部は大小の礫が利用され、積み方も雑然としていた。

石積み擁壁内はほとんど岩盤が露出し、擁壁の西側部分は全面赤土のマージになる。それぞれの面で遺構が検出された。前者では略長方形状に掘り込んだ土壙が２基確認された（第13図）。北側のものは長軸が東西方向にあり、南側のものは長軸が南北方向にある。いずれも壁面を石積みで仕上げている。その南側には前述の石積みの下方から方形状の土壙（第13図）が検出された。また、石積みと突出した岩盤の間（40㎝～100㎝）の下層（岩盤直上）には瓦の集中部がみられ、西側には両者をつなぐように南北方向の石列が検出された。その石列の西側に接して方形状の落ち込みを検出。下部及び側面には漆喰を施しているのが確認できた。

北側調査区の中央から南側よりの岩盤の西端部でウマの埋葬遺構（第10図）が確認された。西側は石垣擁壁の基礎工事により壊されていた。南北方向に長く穴を掘り、その周辺に柱を立てている。ウマの頭は北側を向き、

その近くで芭蕉文の碁笥底の皿（第30図15）が出土しており、副葬品の可能性が考えられた。また、突出した岩盤下方の小さな岩陰部では伊万里焼きの瓶（第43図11）が出土し、その北西側では中央部を礫で仕切ったような瓦集中の落ち込みが検出された。その他、赤土の地山面には旧天界寺の頃のものとみられる落ち込み部と後世のものとみられるものが混在して検出された。

調査区北側の発掘とほぼ並行して行った南側の部分は、重機による表土剥ぎの段階で石垣擁壁内（東側）と擁壁外（西側）では状況を異にしていた。擁壁内では約１ｍの堆積土があり、擁壁外は基盤の琉球石灰岩や地山の赤土が露出し、その面に形成された遺構が確認された。擁壁外は包含層の大部分が削られたものと推察される。つまり、重機による表土の除去後では擁壁のあった所を境に、東側は西側よりも約１ｍ高くなっている。先に、東側の堆積土の掘り下げから行った。高く残った石垣擁壁内の西側の縁には南北に延びる石列が２段確認された（第６図）。上層から立ち上がっており、時期的には旧天界寺の新しい頃のものかと考えられた。

同一面で円形状に黄褐色砂の部分がみられたり、その東側（突出した岩盤に接するように）石敷きが検出された。また、南北に延びる石列の北側の縁に、それと直交するような感じで突出した岩盤の上部へ昇るような階段状遺構が検出された（第15図）。このような状況から、この地域に何らかの施設があったものと推察された。さらに、掘り下げていくと階段状遺構の周辺は沖縄産陶器を主体とした遺物を多く含む層がみられ、その下方から一時期古い階段状遺構が検出された。南側は礫混じりの層がみられ、遺物はそれほど含んではいない。

階段状遺構の検出された場所は、岩盤に接するように石積みが部分的にみられ、それを覆う堆積土からは沖縄産陶器を主体とした多くの遺物が出土している。岩盤の直上から立ち上がる階段状遺構も確認でき、初期の頃から施設が配置されていたものと考えられる。突出した岩盤の近くで円形状に掘り込んだ炭・灰の集中部が検出された。南側では岩盤直上付近で、ヤコウガイの蓋を立てて、ほぼ等間隔に配したものが確認された（第18図）。その近くで、アホウドリの骨を箸状に加工（一方を斜めに削る）したものが出土している。

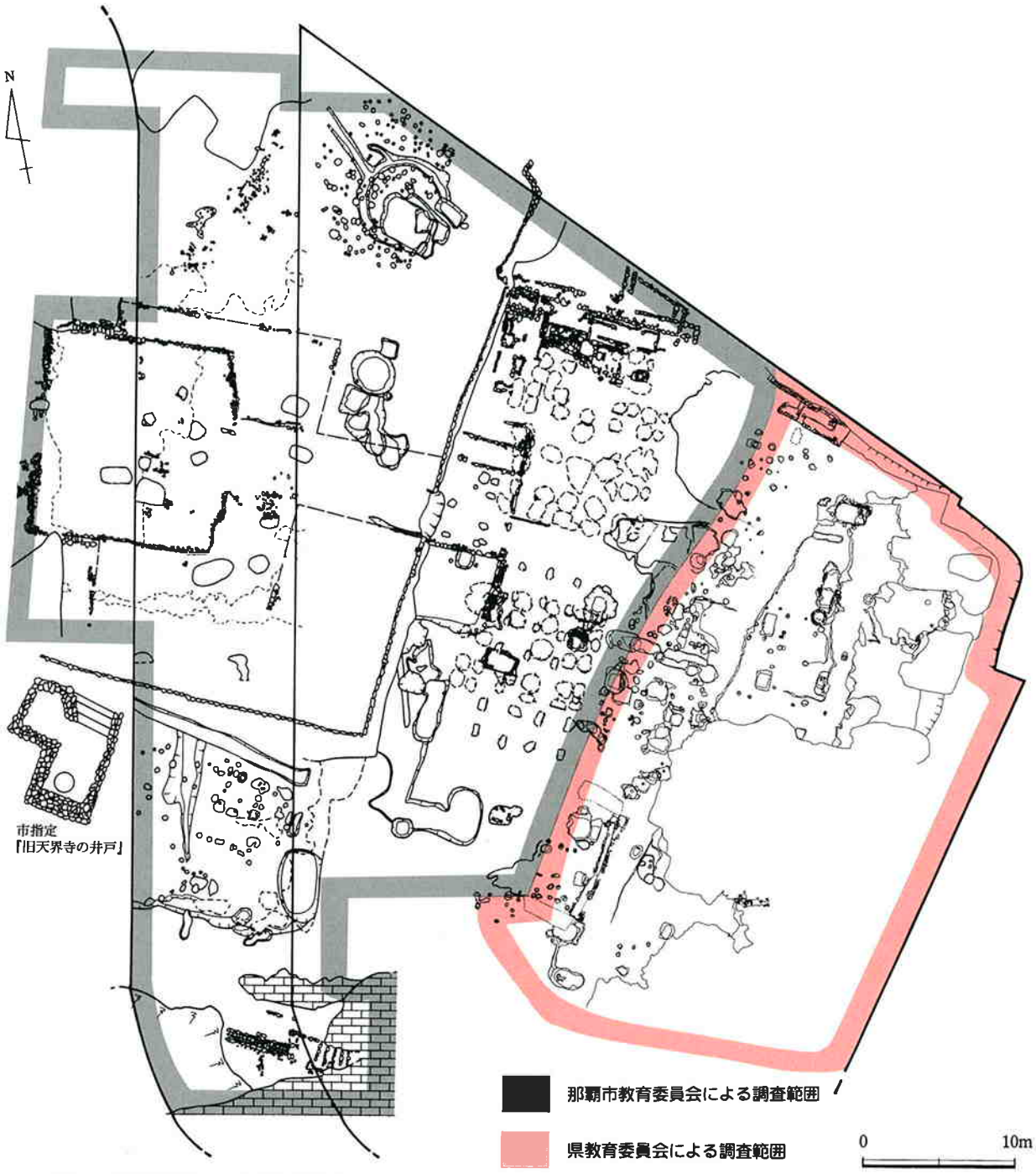
西側の方は、岩盤を若干削り石列を配した溝状遺構（南北方向）が検出され、南側の方形状の石積み化粧を壁面に施した舛状の遺構に注ぐ感じになっている（第17図）。南側で検出された東西に長軸を有する隅丸長方形状の竪穴状遺構（炭・木炭の小破片などのほか石灰岩礫）からも、岩盤を浅く掘り込んだ溝状のものが、舛状の遺構に注ぐ感じになっていた（第17図）。石列を配した溝状遺構の西側には柱穴様のピットが散在し、その北側には南北に長軸を有する楕円形状の大きな竪穴状遺構が検出された（第17図）。
掘り下げていくと、隅丸方形状の竪穴の北・東・南側に小さめの落ち込みが接していることが判った。

また、この地域の南側（那覇市教育委員会の試掘トレンチと南側岩盤の間）の発掘も行った。東側に東西方向に長軸を有する略楕円形の竪穴状遺構が検出され、その西縁から浅い溝状のものが北側へ延びて北側の舛状遺構に至る。この竪穴状遺構からはあまり遺物は出土せず、覆土は灰状の黒色土で、人頭大の石灰岩礫が比較的目立った。その西側には緩やかにカーブしながら傾斜する石畳道が、南側に隆起する石灰岩岩盤の下方へ向かうように検出された。約60㎝の幅を有す石畳道の縁には30㎝ほどの石積みが立ち上がる。その上部を覆うように灰色瓦の堆積がみられたことから、旧天界寺に伴うものかと推察された。

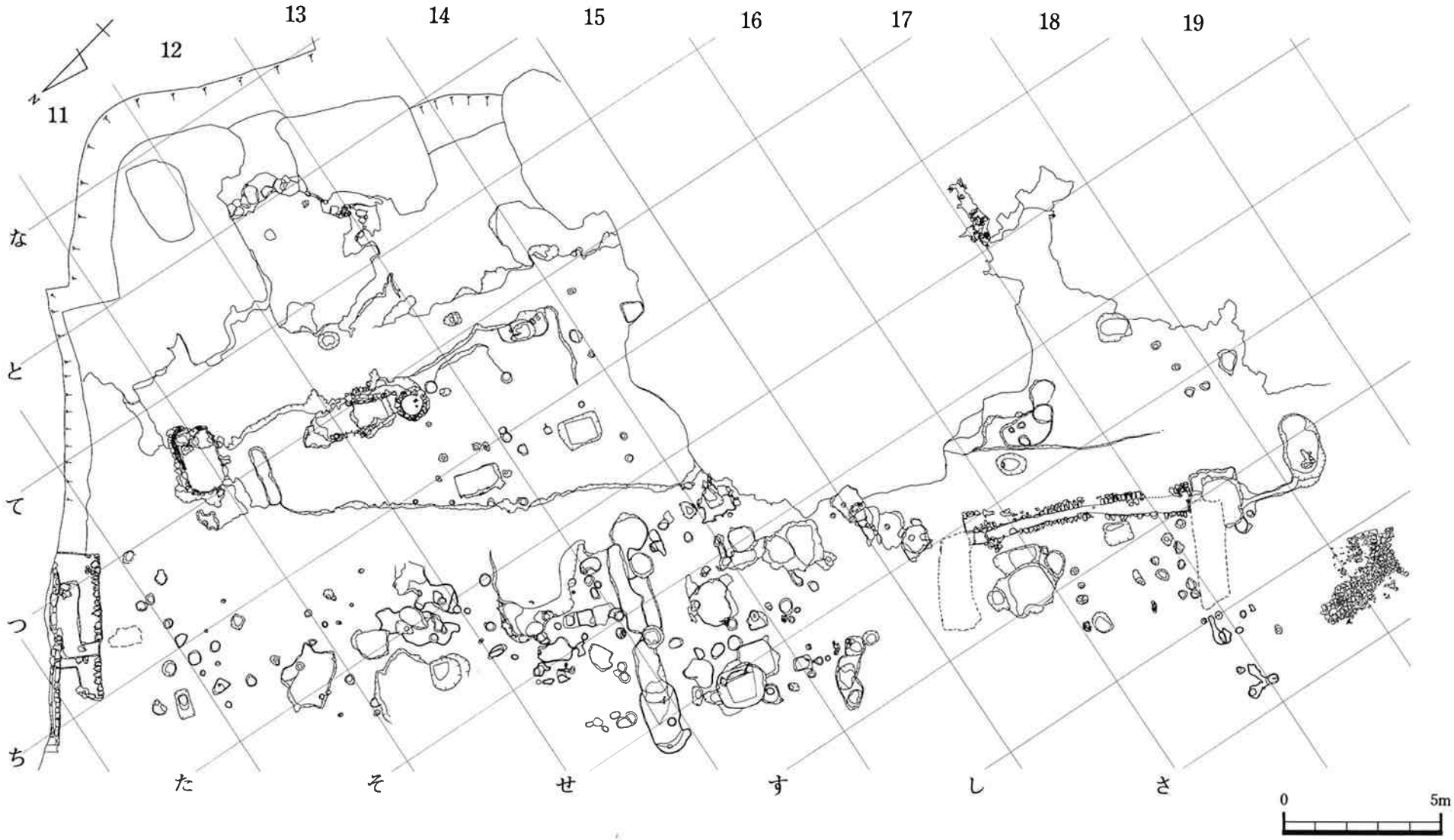
今回の調査範囲のほぼ全面の発掘調査終了のメドが立ったので、北側石垣（綾門大道との境）の延長部の確認のため、歩道側の調査を行った。第12図に示すように３列の石積みが検出され、天界寺の寺域の範囲をある程度掴むことができた。遺構確認の発掘調査を10月で終了し、平面・断面図の作成に１ヶ月ほどかかり、完掘写真を撮影して12月初めに天界寺東区の現場作業を全て終了した。

〈註〉

註1. 島弘・他「天界寺跡」　『那覇市文化財調査報告書』第42集　那覇市教育委員会　1999.3
島弘・渡久地政嗣・當銘由嗣「天界寺跡」　『那覇市文化財調査報告書』第43集　那覇市教育委員会　2000.3




第４図　発掘調査の範囲　（完掘状況）




第５図　グリット設定　（完掘状況）

# 第Ⅳ章　層序と遺構

## 第１節　層　序

今回の発掘調査範囲は首里杜館からその西側にある石積みの擁壁までが主たる対象地であった。擁壁を撤去し、造成層を除去した後に、旧天界寺の時期の未撹乱層及び遺構などが確認できた。調査範囲のほぼ中央付近に琉球石灰岩の岩盤が大きく突出し、それを境に北側と南側で堆積層の状況に違いが認められた。以下、それぞれの層序について略述する。

**・北　側**

石垣の擁壁建築の際の造成土を除去すると、東側（首里杜館側）はすぐに基盤の琉球石灰岩岩盤が露出した。本区の南側で検出された石積みの北側に黒色の遺物包含層が広がり、石積みと突出した岩盤の間に瓦の集中部も見受けられた。これらの未撹乱層の上部は後世の撹乱が著しく、本来の層厚は不明である。
石垣擁壁の外側（西側）は現表土下は部分的に基盤の琉球石灰岩岩盤が露出するものの、ほとんどは直接赤土の地山になり、その面にピットなどの遺構が確認されている。

つまり、石垣擁壁内（東側）に未撹乱の堆積土がみられ、石垣擁壁外（西側）にはオリジナルの堆積土は確認できなかった。東側の未撹乱の堆積土は基本的に３枚で、ここでは石積みの北側で確認できた堆積層（第６図）について簡単に述べる。

第１層　－　黒褐色混礫（ジャリ）土層。オリジナルの遺物包含層。つライン以西にみられる。確認できた厚さが約50㎝で、ほぼ水平方向に堆積。上部は削られているものとみられ、本来の層厚は不明。遺物の量は多くなく、青磁、染付、白磁、本土産陶磁器、沖縄産施釉・無釉陶器の小破片やガラス小玉などが出土している。

第２層　－　黒色土層。つライン以東にみられる未撹乱層で、ジャリをほとんど混入しない。本層も上部が削られているとみられ、本来の層厚は不明。岩盤の表面に薄く確認され、10㎝前後の厚さの場所がほとんどである。出土遺物の種類は第１層と大差なく、量は少ない。

第３層　－　淡黒色土層。基盤の琉球石灰岩岩盤を掘り下げてつくられている土壙やピットなどの遺構内の土層である。前者の場合には約１ｍの深さを有し、後者の場合には約15㎝の深さのものが多い。遺物の出土量は多くないものの、本土産陶磁器（備前焼、伊万里焼など）、青磁、白磁、褐釉陶器、瑠璃釉、沖縄産無釉陶器、瓦などが得られている。

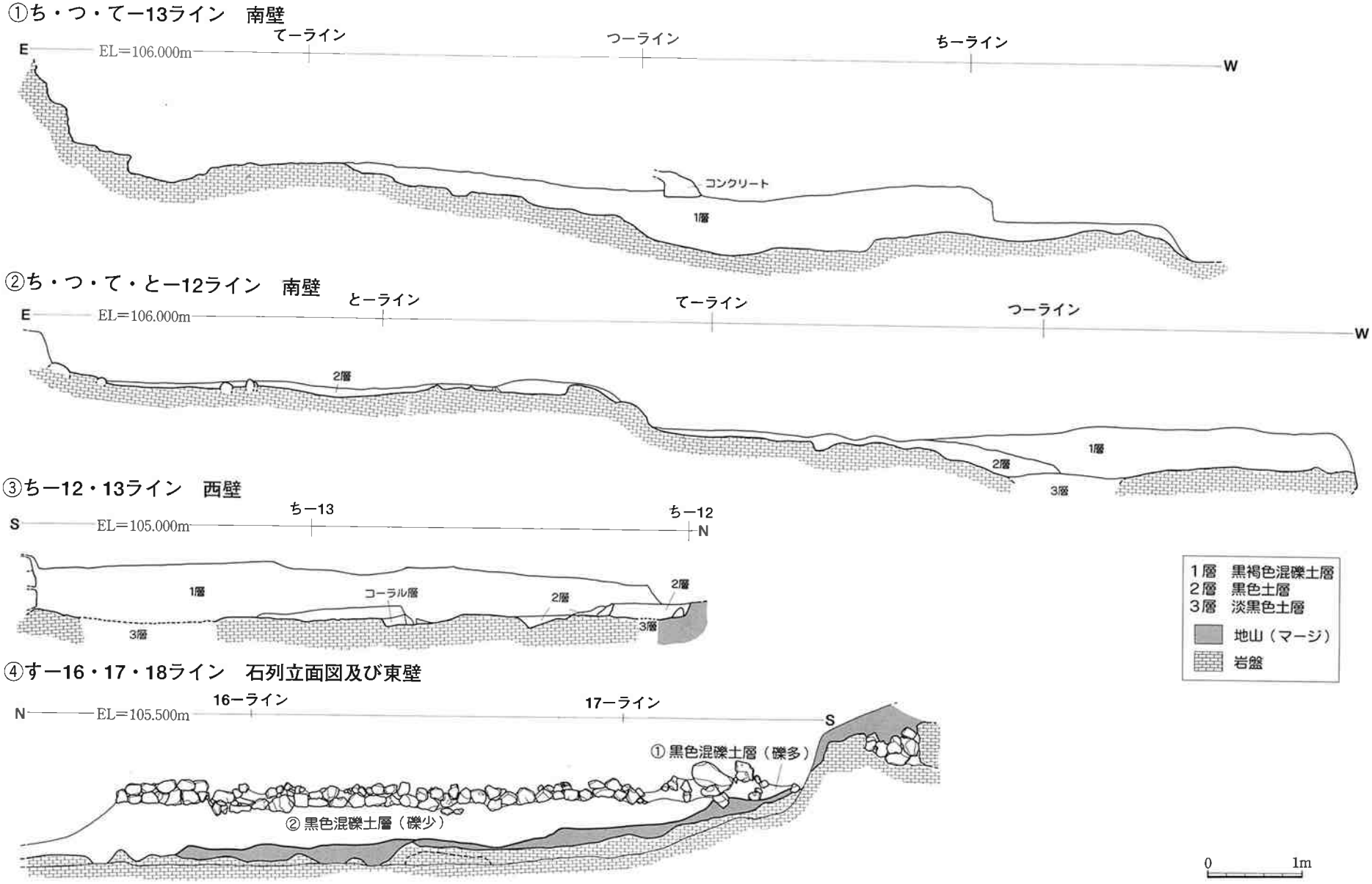
**・南　側**

本区も北側と同様、石垣擁壁の内（東側）と外（西側）では状況が異なっていた。東側は造成土を除去すると１ｍ余の未撹乱の遺物包含層が堆積しているのが確認され、その上面に南北方向に並ぶ石列が１段、西端寄りで検出された。また、突出した岩盤に登るような感じの石段も検出されている。西側は現表土を剥ぎ取ると、直接赤土の地山や基盤の琉球石灰岩が露出し、その面に溝状遺構、竪穴状遺構、ピット群などが確認された。つまり、本区においても東側に未撹乱の堆積土が厚くみられ、東側では表土下に直接赤土の地山面や基盤の琉球石灰岩を利用した遺構が確認されたことになる。東側で確認できた層序を中心に略述する。基本的に３枚（地山、岩盤除く）であるが、部分的な堆積の層も目立った。以下に略述する。

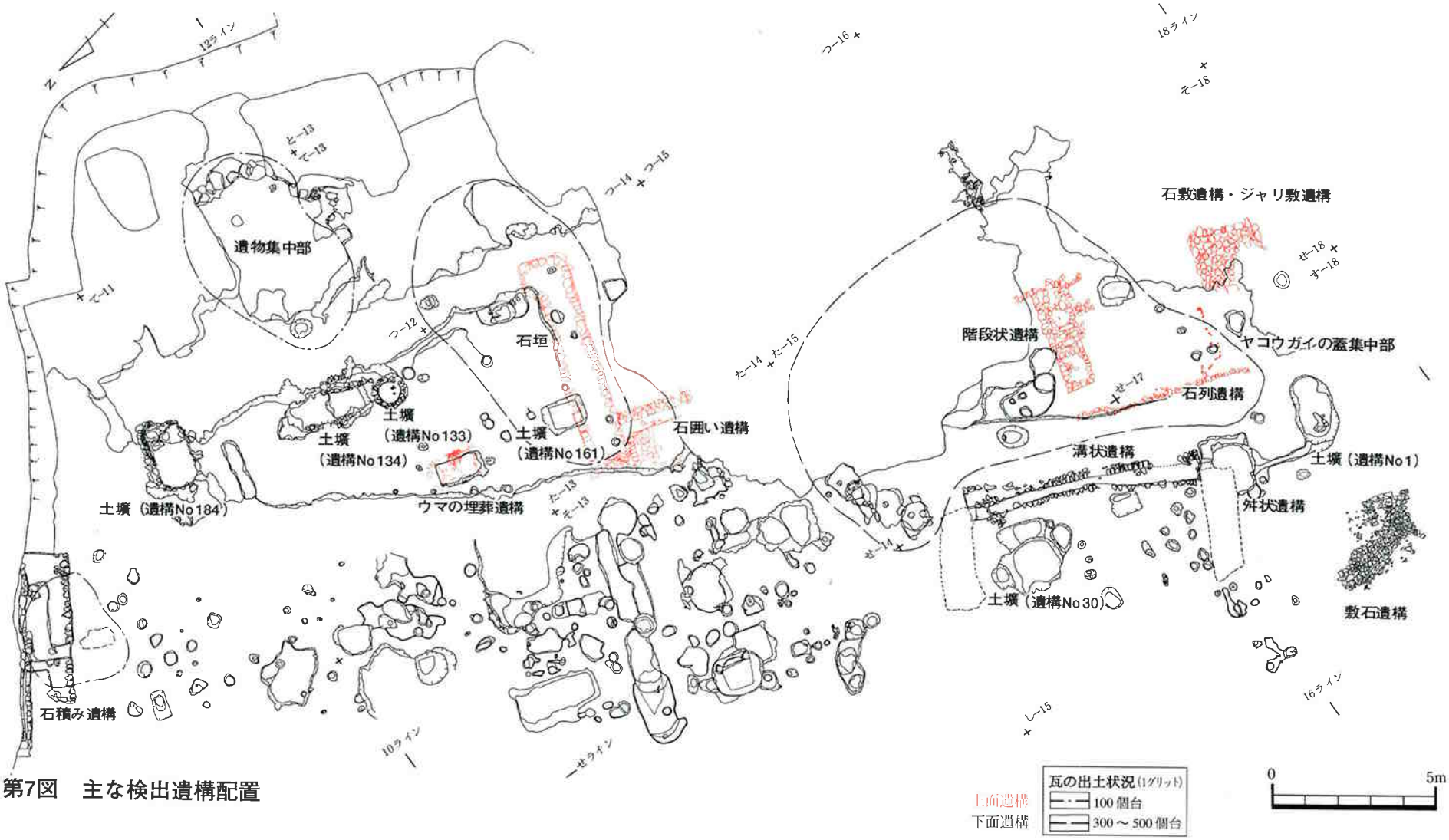
第１層　－　未撹乱の黒色混礫（礫の混入かなり多い）土層。やや西側に傾斜して堆積しており、厚い所で約20㎝の層厚を有すが、上部は削られているものとみられる。拳大の礫が部分的に集中するところあり。遺物は小破片のものが多く、瓦を中心に沖縄産施釉・無釉陶器、青磁、白磁、染付、本土産陶磁器、タイ産の土器などが得られている。

第２層　－　未撹乱の黒色混礫（礫の混入は少ない）土層。本層もやや西側へ傾斜して堆積し、層厚は20～60㎝程である。部分的に瓦の集中部などもみられ、沖縄産施釉・無釉陶器、青磁、染付、白磁、本土産陶磁器など出土量は多い。

第３層　－　茶褐色混礫土層。第２層より礫を多く含み、遺物の量が少なくなる。ほぼ水平方向に堆積しているが、本区全面にみられるわけではない。厚い所で約20㎝の層厚を有す。サラサラした土層で、基盤の琉球石灰岩岩盤への移行層のようである。


①ち・つ・てー13ライン　南壁
E
EL=106.000m
てーライン
つーライン
ちーライン
W
コンクリート
1層
②ち・つ・て・とー12ライン　南壁
E
EL=106.000m
とーライン
てーライン
つーライン
W
2層
1層
2層
3層
③ちー12・13ライン　西壁
S
EL=105.000m
ちー13
ちー12
N
1層
コーラル層
2層
2層
3層
3層
④すー16・17・18ライン　石列立面図及び東壁
N
EL=105.500m
16ーライン
17ーライン
S
① 黒色混礫土層（礫多）
② 黒色混礫土層（礫少）
1層　黒褐色混礫土層
2層　黒色土層
3層　淡黒色土層
地山（マージ）
岩盤
0
1m

第6図　層序




第7図　主な検出遺構配置

## 第２節　遺　構

今回の調査により、往時の天界寺の様子を垣間見せるような多くの遺構が検出されている（第７図）。これらの遺構の状況をみると、発掘調査対象範囲の中央付近に突出する岩盤の北側と南側では若干異なっていた。それは北側と南側の空間的な広がりの差などが、考慮されたものかと推察された。検出された遺構について、北側と南側にわけて概要を簡単に述べる。

### ａ．北　側

土壙が３基、ウマの埋葬遺構、石垣、石囲い遺構、石積み遺構、ピット群などが検出されている。

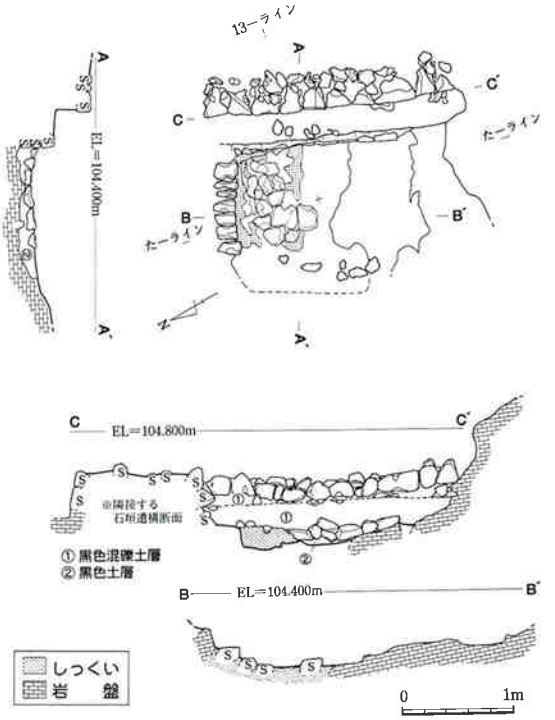
・石　垣

第８図に示すもので、本区の南側（突出した岩盤から約50cm北側）で検出されている。た・ち－14グリットにまたがり、東西方向に長く（約６ｍ）残る。幅は約1.2ｍ。東側で直角に近いコーナーをつくって北側へ延びるようだが、その部分で壊れており、北側延長部の状況は判然としない。また、西側には面を持つ石灰岩礫が数個確認されたが、そこで石垣の端なのかどうかは明確にできなかった。片側を雑に面取りした琉球石灰岩礫が使用されており、20～40cm大のものが多い。下段に長方形状のやや大きめの礫（30cm前後）が目立つ。東側の方に比較的良好に残存しており、約60cmの高さを呈す。積み方は割と雑な感じを受けるが、ほぼ直方向に積み上げられている。西側の方は１・２段だけ残る。岩盤から積まれている東側では、部分的に岩盤のはつりも見受けられる。西側の方は第２層の下部から積まれている。裏込めの中から第33図25に示す瑠璃釉、第71図13の陶質土器が得られており、時期的には３基の土壙より後出のものと考えられる。

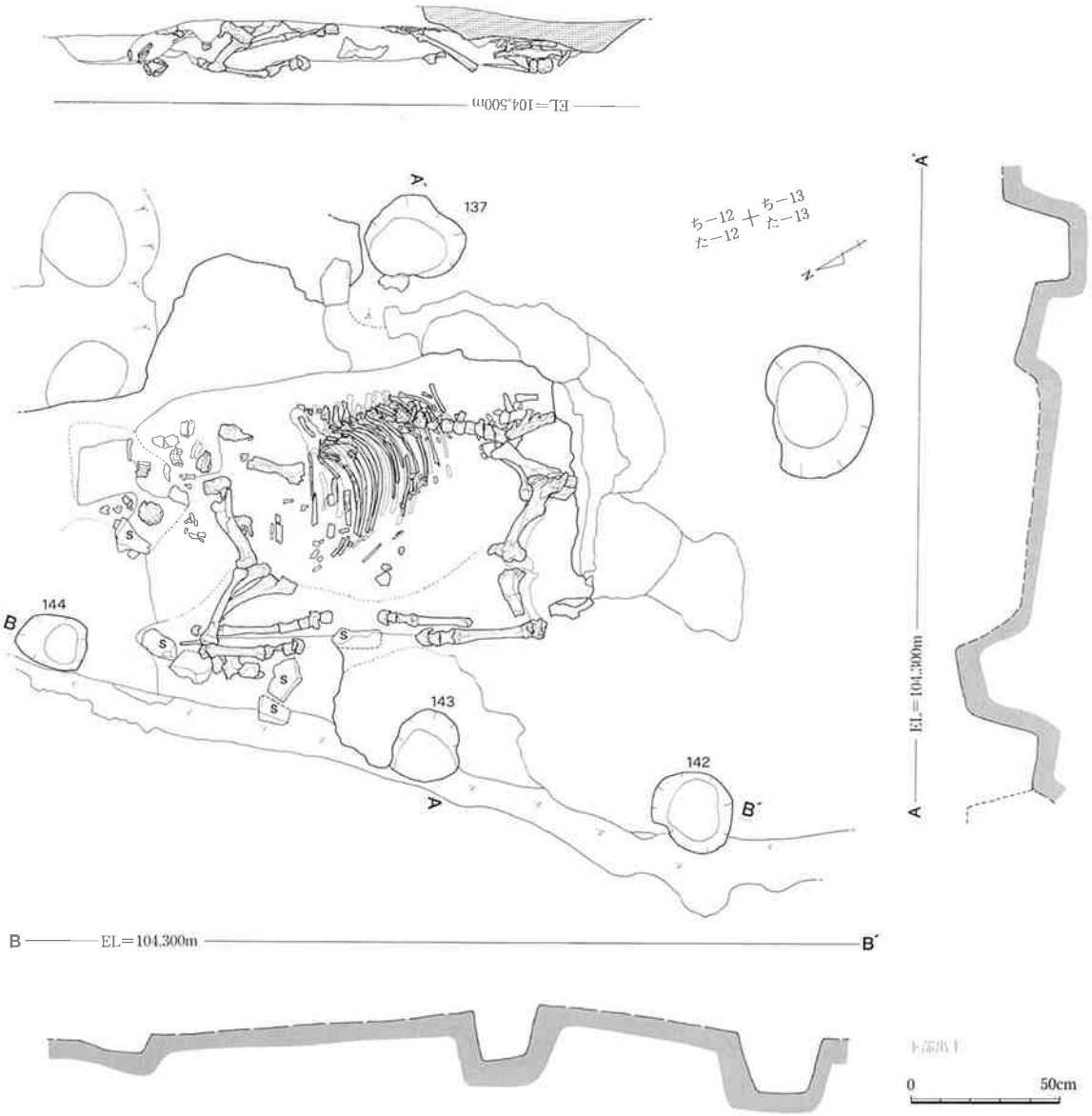
・石囲い遺構

前述した石垣遺構の西端付近の南側、突出した岩盤の北側（た－14グリット）で検出されている（第９図）。岩盤の凹部を利用しており、下面の石敷き、東・北側の壁面の石積み（１段だけ）が確認できた。南北に長軸を有す長方形状を呈すものとみられるが、西・南側の痕跡がつかめず、全体的な状況は判然としない。岩盤の露出していない北側部分に５～20cm大の石灰岩礫を敷きつめ、平坦にしている。壁面、下面とも比較的小さめの礫が利用され、下面には漆喰を施す部分もみられる。天界寺の頃のものとみられるが、機能や時期的な面など判然としない。約20cm東側には本遺構より後出の石列が石垣と突出した岩盤をつなぐように１段だけ検出されている。

第８図　石垣　（た・ち－14）



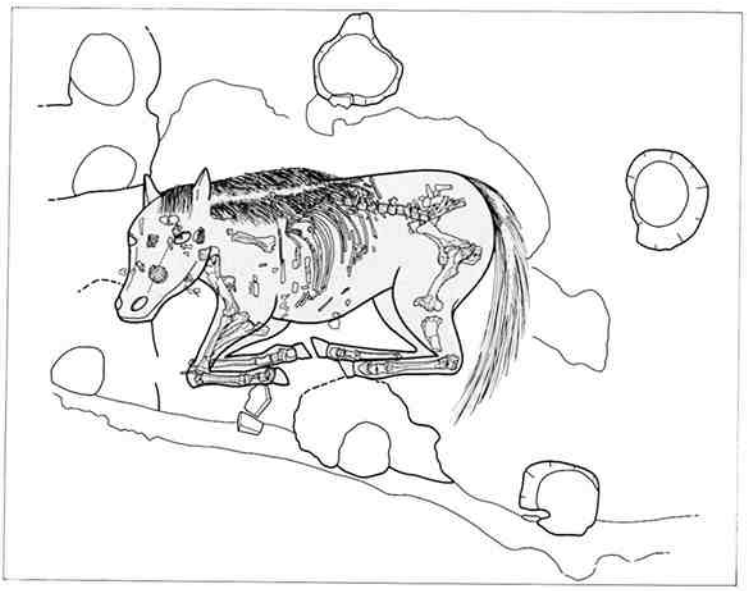

第９図　石囲い遺構　（た－14）




**第10図　ウマ埋葬遺構**　（た−12）

・ウマの埋葬遺構

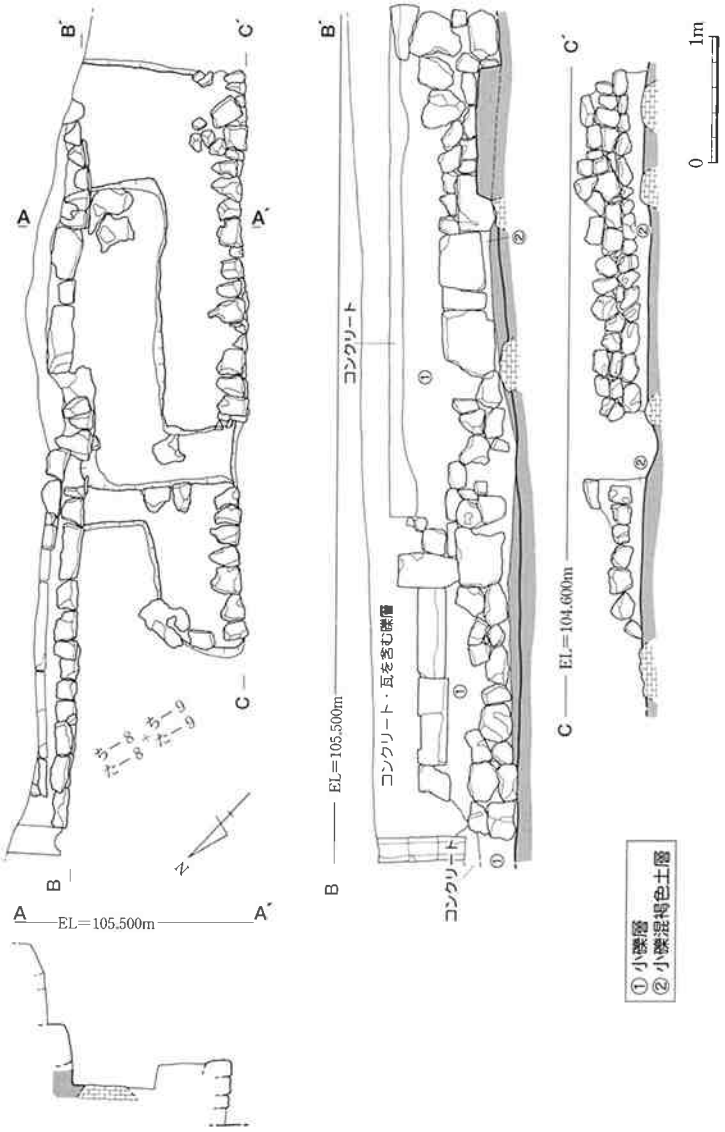
本区のほぼ中央、岩盤露出地域の西側寄りで検出されている（第10図）。南北に長軸を有す長方形状（約1.6m×0.9m）に穴を掘り、頭部を北、足を西に向けていた。頭骨の残りは悪く、歯が若干確認できただけであるが、四肢骨は比較的良好な状態で残っていた。頭部と足の部分は、それぞれ北側縁、西側縁にかかる感じで検出され、北側は赤土から掘り込み、尾の部分は岩盤を掘り込んでいる。深さ約20cmで、底面は平坦面に近い。この埋葬遺構の周囲に平面プランの想定される柱穴(6本)がみられ、上屋がかかっていたものと考えられる（第10図）。柱穴の平面形は楕円形状を呈し、大きさは大体長径約30cm×短径約25cmで、深さは約20cmである。頭部付近から第30図14に示す染付皿が得られており、副葬品の可能性も考えられる。（第10図中、赤色は下位）



**第11図　ウマ埋葬模式図**　（想定）

・石積み遺構

今回の調査範囲の最も道路側寄り、ち・つ－９グリットで東西方向に延びる２列の石積みが確認できた（第12図）。道路側寄り（北側）で検出された石積みは、調査範囲外の西側から続く石垣のようで、綾門大道との境界をなす石垣かとみられる。地山の赤土面から積まれているのが確認できた。現在の道路建設の際にかなり撹乱を受けたようで、下部の２・３段程度の残存である。使用されている礫をみると、方形状に面取りされた40㎝大の礫や若干面取りされている小さめの礫が混在している。この石積みとほぼ平行するように約１ｍ南側でも石積みが検出された。一部電柱穴により途切れるものの、４ｍ余の長さである。10～20㎝大の小さめの礫が使用されており、積み方は南側で検出された石垣と似た感じである。褐色混礫土層から積まれていることからすると、北側の石積みより後出のものとみられる。




第12図　石積み遺構　（ち・つ－９）

・土　壙

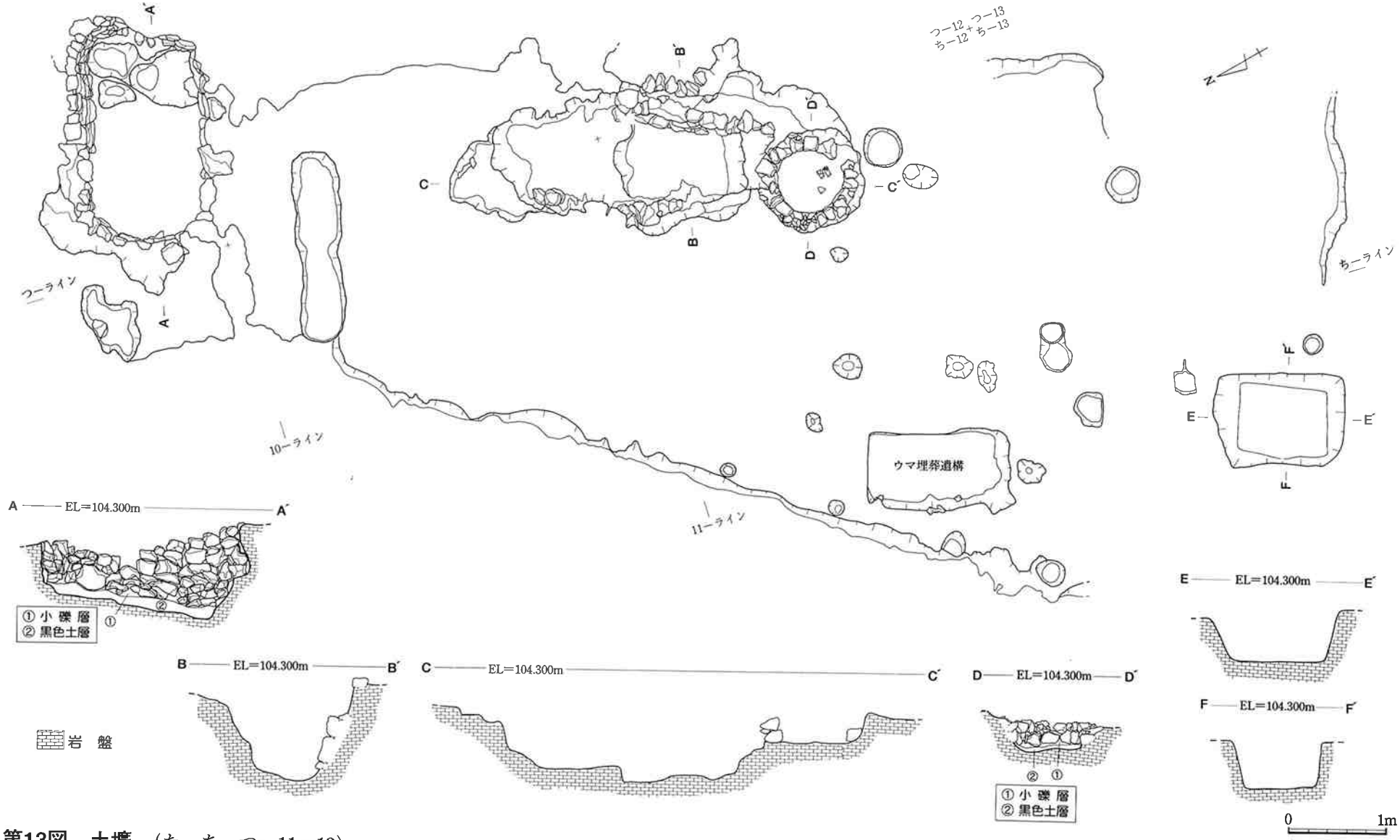
第13図に示したもので、本区の岩盤露出地域の北側、中央付近、南側で確認された。北側（つ－11グリット）で検出されたものは隅丸長方形状（２ｍ×1.2ｍ）の平面を呈し、長軸は東西方向である。壁面は４面とも石積みが施され、特に北壁の石積みが丁寧に積まれ、残りも良好である。最下部は岩盤になるが、階段状に東側へ下がる。深さは東側が約90㎝、西側が約70㎝を測る。備前焼の擂鉢、青磁、白磁、褐釉陶器、沖縄産施釉・無釉陶器、瓦、センなどが出土している。量的にはそれほど多くないものの、16～17世紀頃のものが主流のようである。

中央付近（ち－11･12グリット）のものは南北に細長い長方形状の掘り込み部とそれに南接して円形状に配された石積みである。長方形状（2.4ｍ×１ｍ）の掘り込み部は階段状になっており、南側半分が北側よりも深くなっている。東壁・西壁に石積みが部分的にみられ、深くなっている南側の東壁の石積みが良好な状態で残る。深さは南側が約60㎝、北側が約50㎝である。遺物は瓦類、染付、白磁、褐釉陶器、鉄製品などが出土しているが、量的には少ない。この長方形状の掘り込み部に南接してみられる円形状の石積みは、10㎝×20㎝の略三角形状の石灰岩礫が利用され、内側に面を有している。内径が約60㎝で、石積みは２段（高さ約20㎝）残る。下部は岩盤が平坦に整形されている。出土遺物は少ないものの第28図８に示した伊万里焼きの染付が得られている。

南側（た－13グリット）で検出されたものは、長方形状（1.3ｍ×0.9ｍ）を呈すものである。南北方向に長軸があり、第８図に示した石垣に一部覆われていた。岩盤を丁寧に削り込んでおり、下面はほぼ平坦な仕上げである。深さ約40㎝。壁面に石積みは見られない。出土遺物は瓦類を主体に、青磁、白磁、褐釉陶器、瑠璃釉、備前焼の擂り鉢、沖縄産施釉・無釉陶器、石材、貝などが見受けられる。

・ピット群

多数のピット群が確認されている（第19図）。東側の岩盤露出地域より、西側の赤土露出面で集中的に検出されている。東側のピット群では馬の埋葬遺構に関連するプランが想定されたが、西側のピット群は平面プランの想定されるものは見受けられなかった。西側の赤土面で検出されたピット群は円～楕円形状を呈すものが多




第13図　土壙　（た・ち・つ−11〜13）

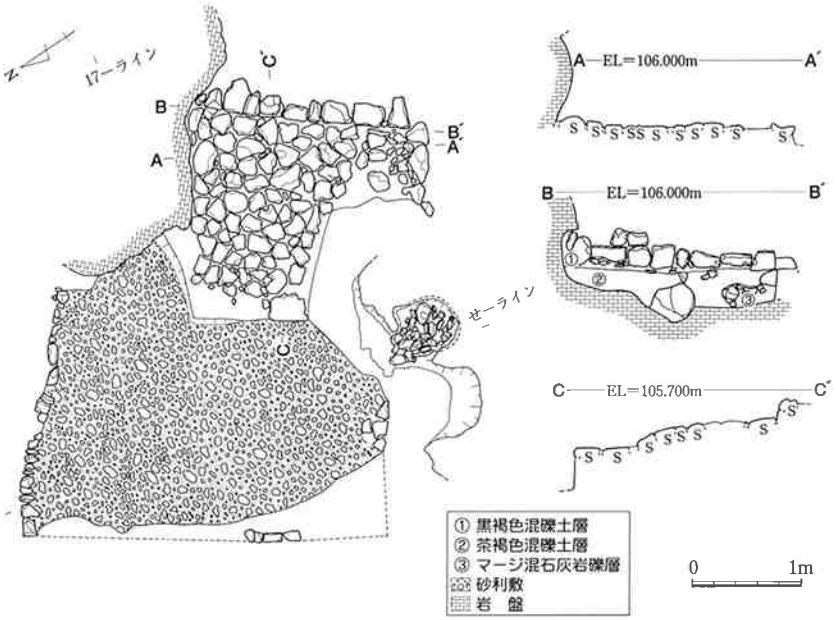
くみられるものの、土壙様の比較的大きな穴も見受けられる。大きさや深さは一定でなく（第20図①・②）また、後世の掘り込みも多数みられ、ピット群の詳細は判然としなかった。

**b．南　側**

石敷遺構とジャリ敷遺構、石列遺構、階段状遺構、土壙、溝状遺構、ヤコウガイの蓋集中部、敷石遺構、ピット群など多種多様な遺構が検出されている。

・石敷遺構とジャリ敷遺構

本区の南東隅（せ－18グリット）で検出された（第14図）。岩盤の露出する標高が高くなる場所で、岩盤の縁につくように石敷が配されている。その石敷面の東端には１段だけではあるが、西側に面を持つ石灰岩礫が並べられており、少し立ち上がる土留め様のものかも知れない。南北方向へはほぼ平坦であるが、東西方向は東へ若干上り気味になる。10～40㎝大の不定形の礫が利用されている。本遺構の西側に接するように30㎝ほど低いレベルで10～20㎝大の礫で縁を囲んだとみられるジャリ敷の部分が検出された。残存状況が悪く、明確ではないが、340㎝×240㎝の長方形状をなすものとみられ、石敷遺構と何らかの関連があるものと想定される。さらに、その北側には円形状の砂層の部分がみられ、このレベルに何らかの施設があったものと考えられる。石敷き遺構はその施設から東側の丘陵の方へ行く裏門のような機能を有していた可能性も想定できる。




**第14図　石敷遺構**　（せ－18）

・石列遺構

す－16～18グリットで検出されている（第15－①図）。南北方向に延びる石列で２段残る。使用されている礫は10～20㎝大の小さめのもので、特に加工を施しているわけではない。未撹乱層の上面から積まれており、旧天界寺の新しい時期のものかと考えられるが、詳細は不明。

・階段状遺構

中央部に突出した岩盤とその南側の岩盤との間に位置し、岩盤の上部へ登るような感じで検出されている（せ・そ－16・17グリット）。発掘調査の結果、新・旧の階段、石垣遺構が重複して検出されており、重要な場所であったことが窺える。最も新しい時期の階段状遺構は第15図に示すもので、先述の石敷き、石列遺構と同じような時期のものかと推察される。５段確認され、１段目の踏み場の長さが約１ｍ、２～４段目までは約0.8ｍ、５段目は不明。現存長3.5ｍ、幅約0.9ｍである。ほとんど20㎝前後の小さめの琉球石灰岩礫が使用されているものの、３段目の蹴上げの部分にニービ質のものがみられる。補修の痕かと考えられる。５段目の両側から岩盤へ向かう石列が、４段目の南側からも同様な石列が岩盤へ向かう。

その下層の黒褐色土（沖縄産の施釉・無釉陶器が主体）を除去すると第15－②図の状況になった。前述の階段より残存状態は悪いものの、全長が約４ｍ、幅が約1.6ｍと広い階段が想定される。また、踏み場の幅は約60㎝、８段が想定される。５・６段目の南側から岩盤の方へ２列の雑に積まれた石列が配されている。茶褐色混礫土層から立ち上がり、新しい階段より高く小礫を積み上げている。旧階段下の土層は階段と同じような傾斜を示してみられ、いずれも部分的な広がりの層である。出土する遺物にはそれほど変化はみられず、中国産、本土産、沖縄産の陶磁器が中心である。時期的には17世紀後半～18世紀頃のものがほとんどである。

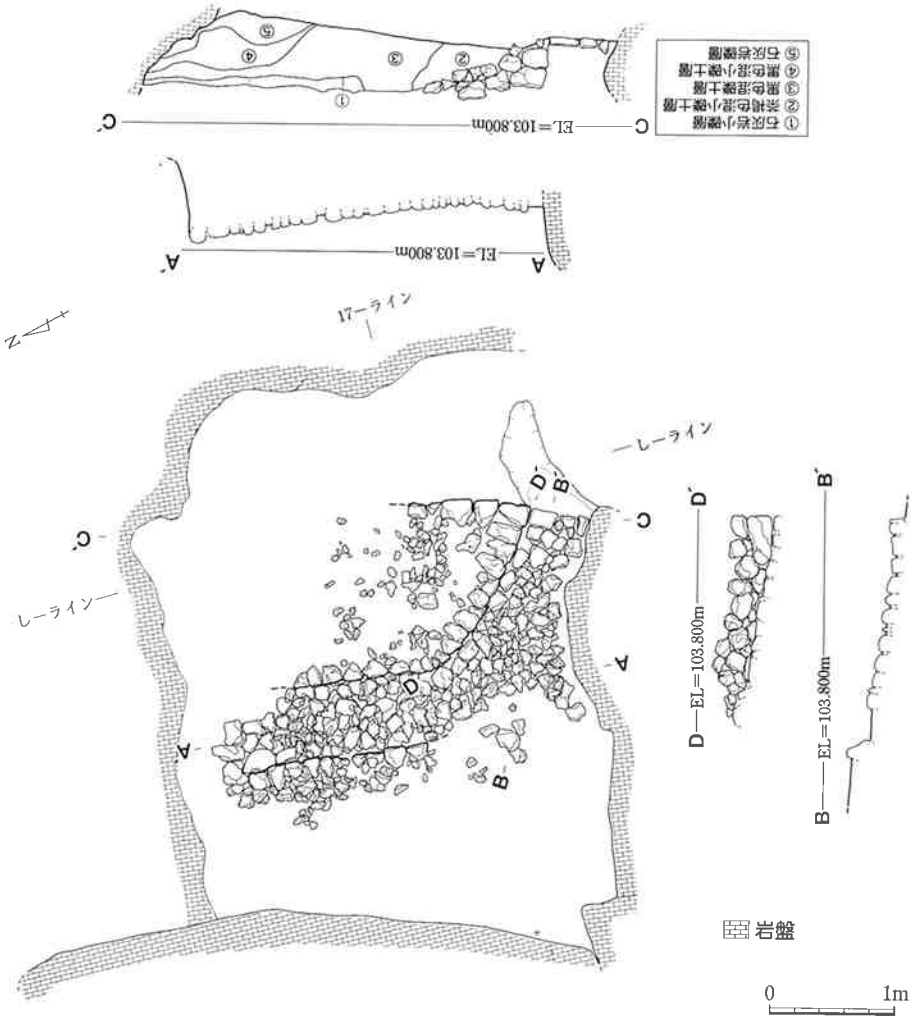
この旧階段を斜め（北東－南西）方向に切るように、幅約70㎝の石垣様のものが積まれている。北東側は岩盤に接し、南西側は崩れており端部は判然としない。現存長は約４ｍ。利用されている礫の大きさなどは階段

部のものと大差ない。その北側に岩盤から西側へ延びる石垣様のものがみられる。北・西・南面を石積みで囲んでおり、長さ（東西）・幅（南北）とも約１ｍである。岩盤直上の茶褐色土層から積まれており、高いところで約１ｍ残る。使用されている石灰岩礫の大きさなどは、前述のものと似ている。

旧階段の縁石を除去すると第15－③図のようになった。岩盤から立ち上がる東西方向の石積みの３段目あたりに、弧状の石垣様のものが部分的に確認できた。いずれも部分的な検出であり、詳細は不明。30㎝大のやや大きめの石灰岩礫が用いられている。弧状を呈す礫は両側に面を有し、南側へ延びる。幅は約60㎝。

・敷石遺構

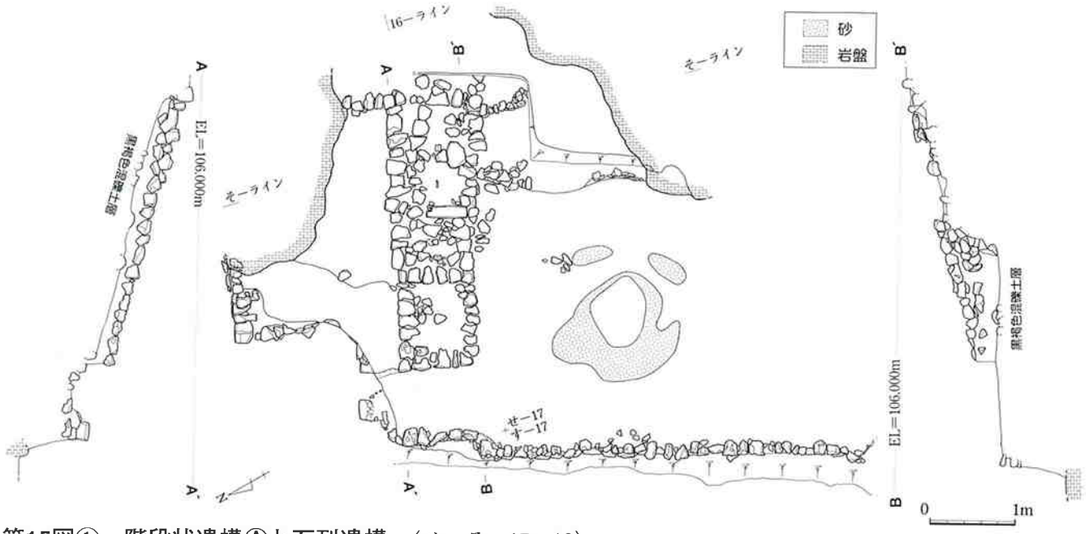
本区の南西隅、さ－17・18グリットで検出されている（第16図）。南側を東西方向に延びる琉球石灰岩丘陵の下方に向かって、北側から東側の方へカーブしながら、岩盤に沿うように緩やかに下がる。石畳面の東端部で立ち上がる石積みは北側へ折れ曲がり（東側に面を有す）、岩盤の側に石灰岩礫を積み上げた部分が約１ｍ幅でみられ、この部分に何らかの空間を設けたものかと想定される。石畳様の面とその両側の縁に立ち上がる石積みで、石畳様の面はほぼ平坦になり、幅は約60㎝である。使用されている礫は10～20㎝の小さめの礫である。立ち上がる石積みはひかえが比較的長めの礫が利用され、特に石畳様の東端部付近のものは大きめの礫が用いられている。本遺構の北側は壊されており、状況は不明。現存長は約３ｍである。この一帯はもともと洞穴様に大きく窪んだ場所のようで、石灰岩礫を多量に使用して埋めている状況が認められた。北側が約７㎝の深さ、西側が約24㎝の深さで岩盤になる。両方とも下部の方に瓦が集中する黒色土が約20㎝の厚さで確認され、その上部に石灰岩礫を多く用いて穴を埋めている状況が認められた。



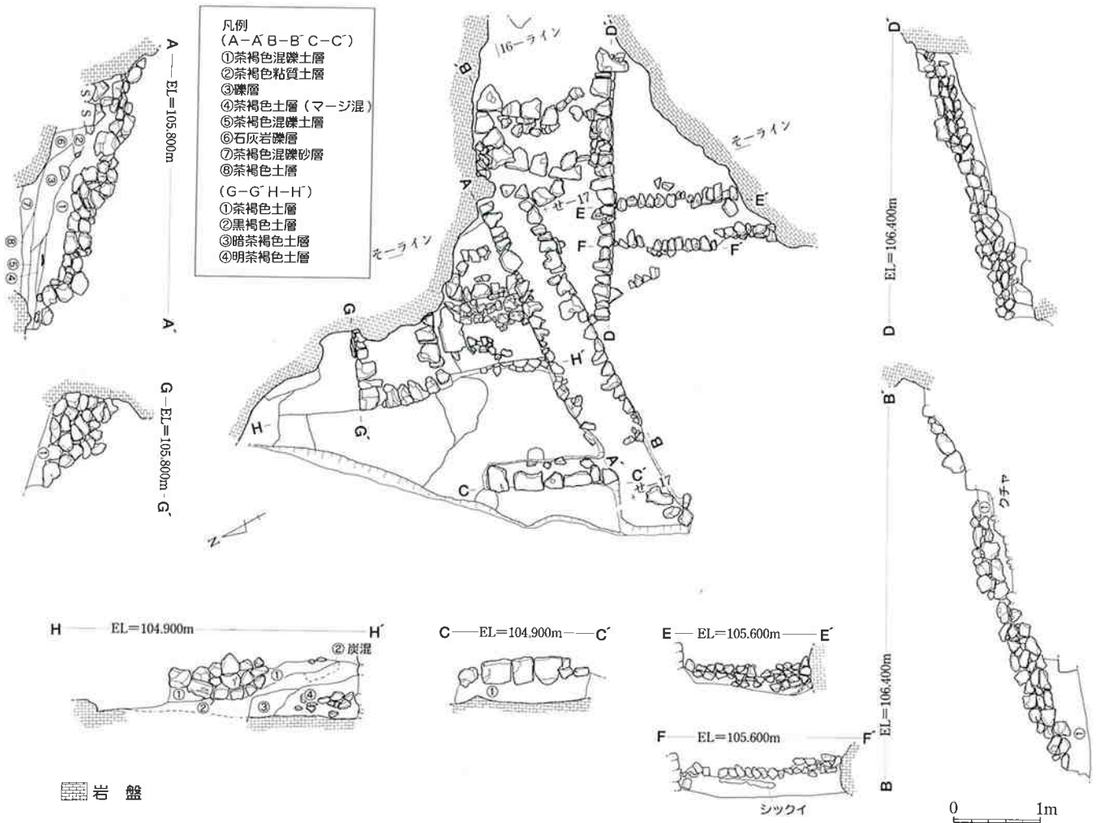

**第16図　敷石遺構**　（さ－17・18）

・土　壙

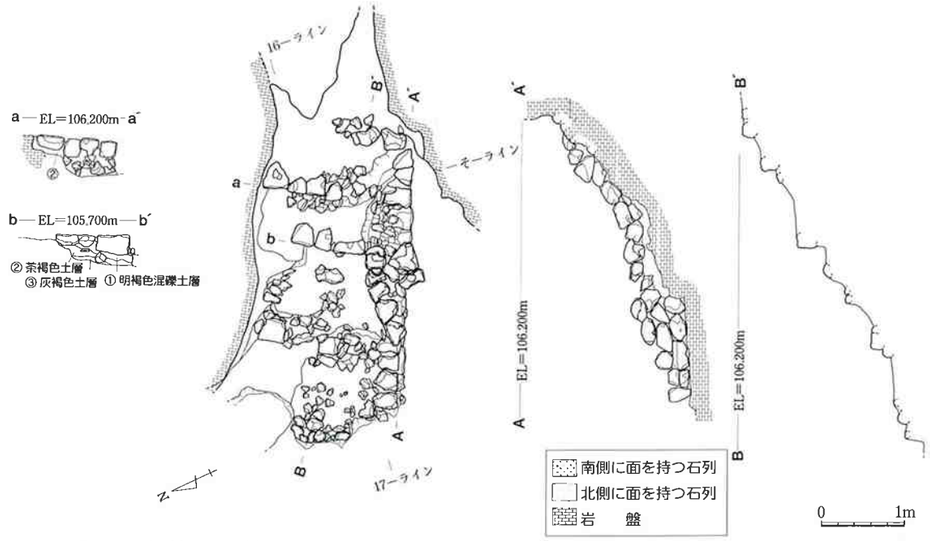
本区の北側寄り、後述の溝状遺構の西側（す－15グリット）で略方形状のものが、舛状遺構の約２ｍ南側（し・す－18）で東西方向に長軸を持つ略楕円形状のものが検出されている（第17図）。前者は径が約160㎝の方形状土壙の南北両側に東西方向に長軸のある略楕円形状（約70㎝×約60㎝）の、東側に南北に長軸を有す長方形状（150㎝×60㎝）の土壙が接している。深さは約40㎝で、南側がやや高くなっている。沖縄産の無釉陶器を主体に中国産の青磁、染付、本土産磁器、キセルなどが出土している。後者は長径が約2.2ｍ、短径が約1.2ｍを測る。岩盤のくぼみ部を利用した感じである。底面の中央部付近が盛り上がり、東西両側へくぼむ。東側が約50㎝、西側が約70㎝の深さである。西北隅から舛状遺構へつなぐように、岩盤を浅く削った溝状のものが認められる。遺物の量は多くないものの、沖縄産施釉・無釉陶器、青磁、白磁、染付、土器、瓦類などが得られて



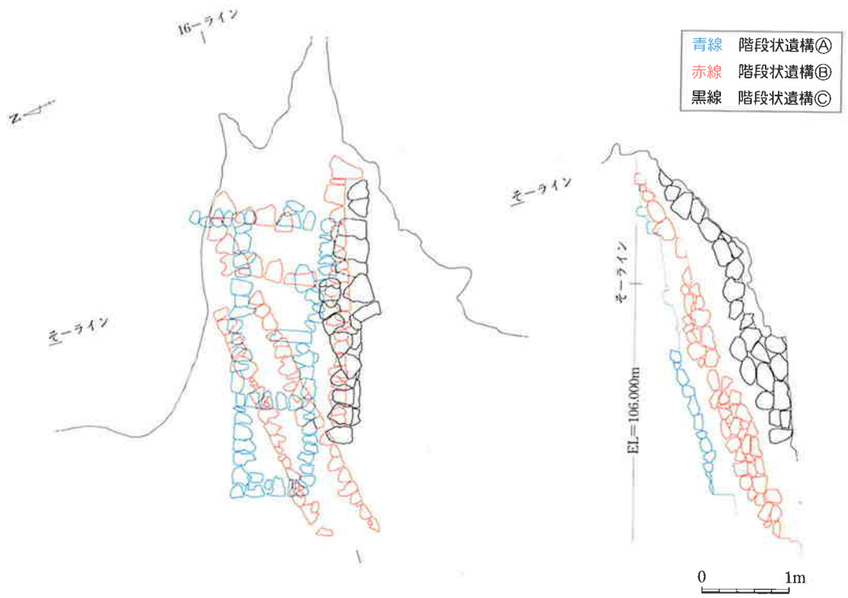

第15図①　階段状遺構Ⓐと石列遺構　（せ・そ－17・18）



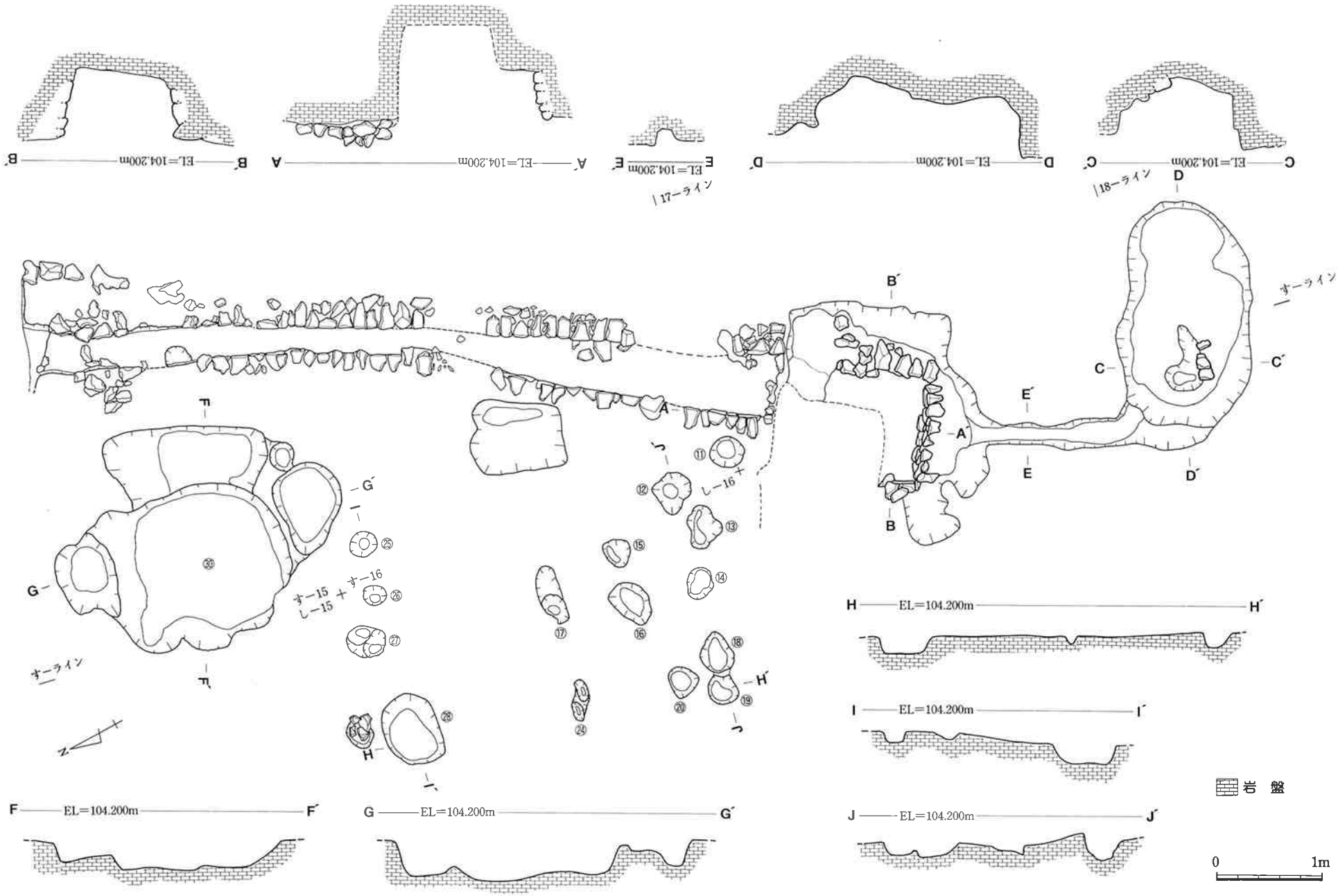

第15図②　階段状遺構Ⓑ




第15図③　階段状遺構Ⓒ




第15図④　階段状遺構構築状況（平面・立面）




第17図　土壙・溝状遺構・舛状遺構　（し・す−15〜18）

いる。灰を多く含む土層である。

せ－16・17グリットでも検出されている。せ－16では楕円形状のものと円形状のものが接している。楕円形状のものは南北に長軸があり、長径が約1.7m、短径が約１m、深さ約10cmである。遺物は瓦類、白磁が僅かに得られている。円形状のものは直径が約70cmで、深さが約25cmである。瓦類を中心に、白磁、沖縄産施釉陶器、古銭などが得られているが、量的には少ない。せ－17グリットでは、岩盤近くで検出されている。南北に長軸があり、長径が約１m、短径が約86cm、深さ約30cmである。灰層が堆積しており、土器、鉄製品がそれぞれ１点ずつ出土している。

・溝状遺構

本区のほぼ中央（す－15～17グリット）を東西方向に約７mの長さで確認できた（第17図）。北端部は後世の撹乱などにより判然としないが、前述した北側よりの土壙の東側付近までが確認できる。そこから南側の舛状遺構までのようである。北側半分は約30cmの幅であるが、中央付近から南側にやや幅を広げながら移行し、舛状遺構の近くでは約60cmの幅となっている。北側から舛状遺構のある南側へ流れる感じで、ほとんどは岩盤を平坦に整形し、黒色土や赤土面の部分は岩盤の面に合わせた高さに調整して底面をつくっている。両側には内側に面を持つ10～20cm大の小さめの礫を配列しているが、内面だけを合わせた比較的雑な感じである。それほど高くないものとみられるが、ほとんどは１段だけ残り、部分的に２段の所や礫がみられない箇所がある。舛状遺構の北側が撹乱を受けており、接続状況は不明である。西側に展開するピット群や土壙などと関連したものと推察される。

・舛状遺構

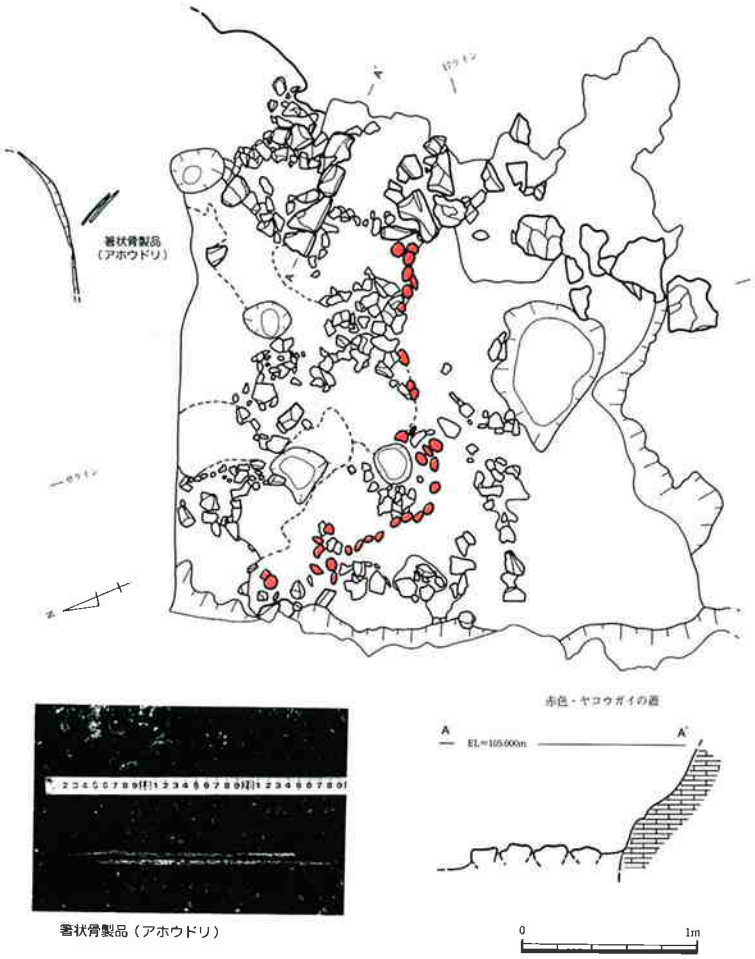
溝状遺構の南側に設けられたもので（第17図）、北側が壊されているものの、内径が約１m四方の方形状を呈していたものと推察される。岩盤を掘り抜き、壁面を石積みで化粧している。深さは約60cmで、底面はほぼ平坦に仕上げられている。

・ヤコウガイの蓋集中部

す・せ－18グリットの岩盤直上より検出された（第18図）。東西方向から北側へ折れる逆Ｌ字状に総数33個のヤコウガイの蓋がほぼ直線的に並ぶように立って検出された。東西が約1.5m、南北が約１mである。用いられている蓋に特に加工はなく、大きさはほぼ一定している。同レベルで石灰岩の小礫が散在し、東側には４個の並んだ礫もみられ、また、ピットも配列された蓋の北側に４個、南側には楕円形状の大きめの土壙もみられ、さらに、近接する場所からアホウドリの骨を利用した箸状製品も出土していることからすると、何らかの意味を持った場所であった可能性もある。

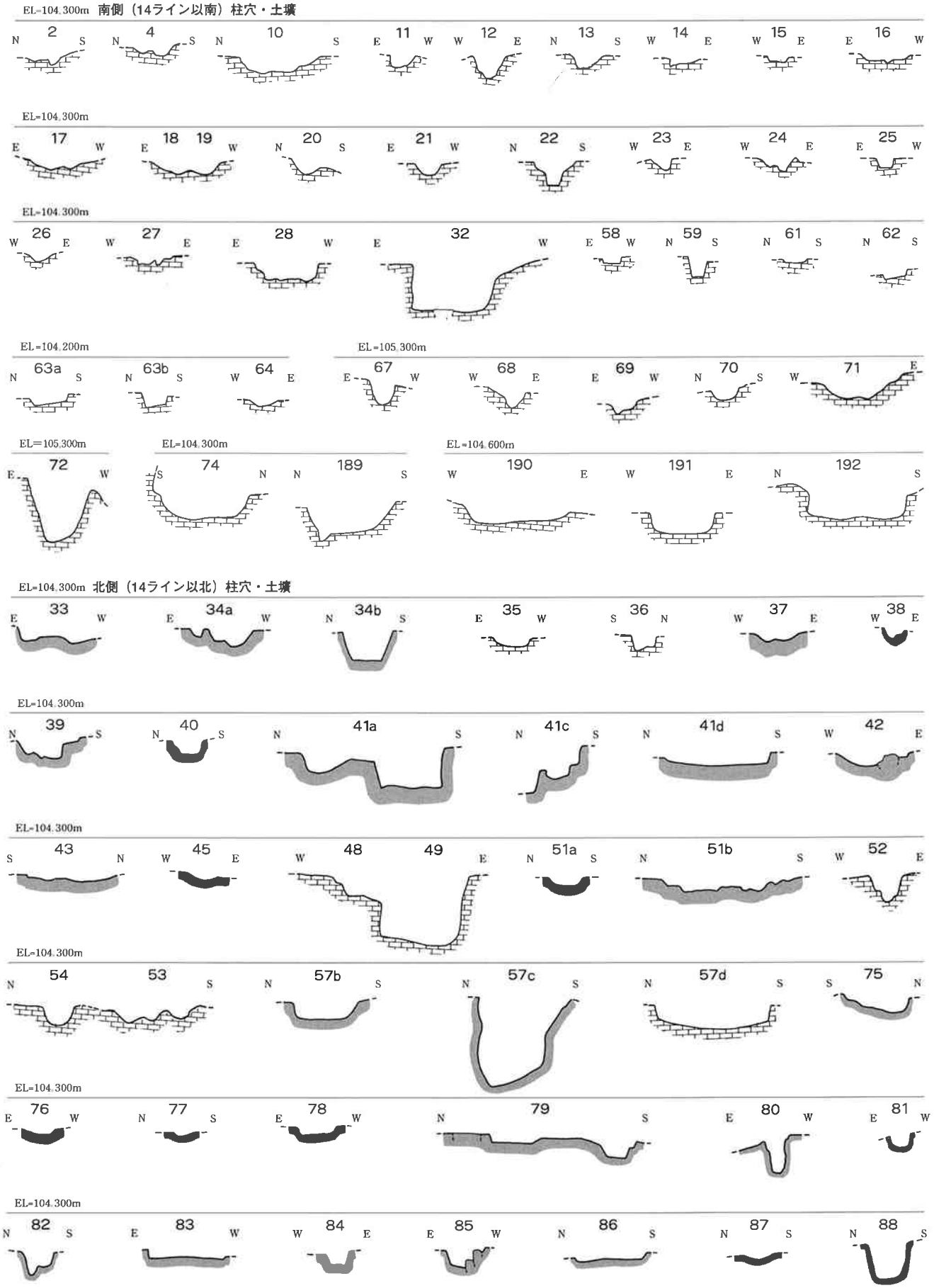
・ピット群

ヤコウガイの集中遺構が検出された地域（す・せ－18グリット）、溝状遺構の西側地域（さ・し－16グリット）においてピット群が確認されている（第19図）。前者で６基、後者で30基余り検出されたが、プランを明確につかめるものはなかった。円～楕円形状の平面を呈し、径は30～40cm、深さが15～30cmのものが多く見受けられた。特に、西側地域のピット群は周辺で検出されている遺構との関連が注意されるものの、詳細については判然としなかった。



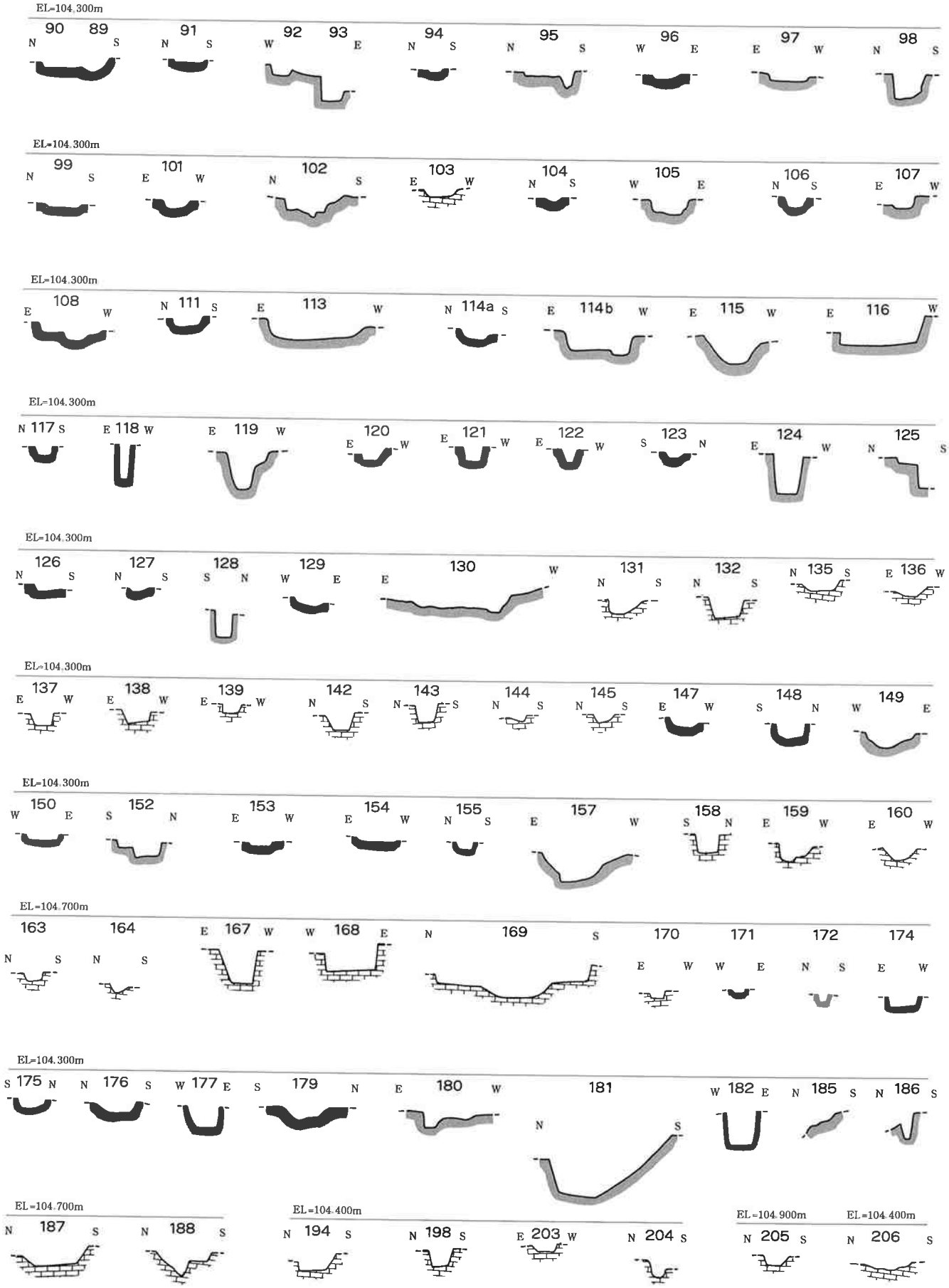

**第18図　ヤコウガイの蓋集中部**　（す・せ－18）

**第19図　柱穴・土壙検出状況** 第1表の番号に一致




**第20図①　柱穴・土壙断面**　（地山面）

0　2m




**第20図②　柱穴・土壙断面**　（地山面）

0　2m

## 第１表　柱穴・土壙計測及び出土遺物一覧(1)

番号は第19図に一致　単位：cm

| 地区 | 番号 | グリット | 長径 | 短径 | 深さ | 出土遺物 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 南側（14ライン以南） | 2 | し－17 | 42 | 30 | 8 | |
| | 4 | す－17 | 42 | 30 | 10 | |
| | 10 | す－16 | 90 | 62 | 22 | 青磁(1)、沖施釉(2)、平瓦(2)、石(2) |
| | 11 | し－16 | 34 | 30 | 12 | |
| | 12 | し－16 | 42 | 36 | 27 | |
| | 13 | し－16 | 40 | 30 | 12 | |
| | 14 | し－16 | 30 | 24 | 8 | |
| | 15 | し－16 | 30 | 24 | 8 | |
| | 16 | し－16 | 44 | 30 | 15 | 本土産陶器第50図12 |
| | 17 | し－16 | 54 | 22 | 11 | |
| | 18 | し－16 | 40 | 32 | 14 | 褐釉陶器(1)、沖施釉(1)、沖無釉(1) |
| | 19 | し－16 | 30 | 24 | 14 | |
| | 20 | し－16 | 29 | 26 | 15 | |
| | 21 | さ－16 | 26 | 21 | 12 | 染付(1) |
| | 22 | さ－16 | 40 | 44 | 28 | |
| | 23 | し－16 | 20 | 18 | 12 | |
| | 24 | し－16 | 40 | 14 | 12 | |
| | 25 | す－16 | 18 | 24 | 9 | 青磁(1)、沖施釉(2)、沖無釉(1)、土器(1) |
| | 26 | し－16 | 22 | 20 | 7 | |
| | 27 | し－15 | 38 | 30 | 9 | |
| | 28 | し－15 | 68 | 52 | 19 | 沖無釉第67図62 |
| | 32 | せ－15 | 90 | 80 | 45 | 染付(9)、青磁(1)、褐釉陶器(1)、沖施釉(26)第54図15、第53図28、第52図17、第54図13、沖無釉(7)第67図60、第67図54、色絵第37図3、陶質土器(4)、簪第87図4、石(2) |
| | 58 | さ－16 | 23 | 10 | 6 | |
| | 59 | さ－16 | 28 | 18 | 20 | 沖無釉(1)、石(1) |
| | 61 | さ－16 | 26 | 20 | 3 | |
| | 62 | さ－16 | 24 | 16 | 10 | |
| | 63a | さ－16 | 42 | 34 | 9 | 沖無釉第65図28 |
| | 63b | さ－16 | 42 | 26 | 11 | |
| | 64 | さ－17 | 33 | 20 | 6 | |
| | 67 | せ－17 | 30 | 25 | 25 | 磚(1) |
| | 68 | せ－17 | 27 | 22 | 20 | 平瓦(1) |
| | 69 | す－17 | 34 | 33 | 10 | |
| | 70 | す－17 | 32 | 28 | 12 | |
| | 71 | す－18 | 86 | 60 | 26 | 陶質(1) |
| | 72 | す－18 | 56 | 50 | 63 | 白磁第26図14、タイ産半練土器第40図13、沖無釉(1)第69図99、土器(1) |
| | 74 | せ－14 | 86 | 80 | 25 | 染付(10)第29図12、青磁染付第33図8、青磁(1)、褐釉陶器(1)、本土産磁器第46図11、本土産陶器第49図25、沖施釉(5)、沖無釉(7)、平瓦(3)、しっくい(1)、土器(2) |
| | 189 | せ－16 | 98 | 70 | 39 | |
| | 190 | せ－16 | 170 | 100 | 20 | 白磁(1)、丸瓦(2)、平瓦(2)、磚(1) |
| | 191 | せ－16 | 70 | 67 | 22 | 白磁(3)、丸瓦(1)、平瓦(6)、軒平瓦第93図1、沖施釉(2)、古銭(1)、鉄製品(1)、磚(2) |
| | 192 | せ－17 | 102 | 86 | 30 | 土器(1)、鉄製品(1) |
| 北側 | 33 | す－14 | 164 | 68 | 1 | 青磁(2)、沖施釉(1)、沖無釉(1)、石(3) |
| | 34a | す－14 | 68 | 63 | 18 | 軒平瓦第93図3 |
| | 34b | す－14 | 50 | 44 | 34 | |
| | 35 | せ－14 | 38 | 28 | 7 | 沖施釉(2) |
| | 36 | せ－14 | 56 | 26 | 15 | |
| 北側（14ライン以北） | 37 | せ－14 | 52 | 46 | 8 | 染付(1)、沖施釉(1)、陶質土器(1) |
| | 38 | せ－14 | 22 | 20 | 10 | 青磁(1)、褐釉陶器(3)、タイ産陶磁器第41図9、石(6) |
| | 39 | す－13<br>せ－14 | 62 | 42 | 20 | 石(2) |
| | 40 | す－13・14 | 32 | 26 | 12 | 沖無釉(3)、石(1) |
| | 41a | す・せ－13 | 194 | 150 | 38 | 染付(12)第32図15、青磁(1)第25図10、白磁(5)、褐釉陶器(23)沖施釉(16)第53図40、沖無釉(12)第67図63、丸瓦(8)、平瓦(20)、陶質土器(3)、しっくい(7)、円盤状製品第80図17、現代ガラス(1)、石(4)、磚(15) |
| | 41c | す・せ－13 | 65 | 43 | 34 | |
| | 41d | す・せ－13 | 110 | 76 | 10 | |
| | 42 | せ－13 | 60 | 32 | 14 | |
| | 43 | す・せ－13 | 94 | 88 | 5 | 沖無釉(2) |
| | 45 | せ－13 | 48 | 30 | 4 | |
| | 48 | せ－14 | 158 | 50 | 30 | |
| | 49 | そ－14 | 76 | 74 | 74 | 白磁第26図20、タイ産陶磁器第41図5、瓦質土器第75図11 |
| | 51a | せ－13 | 43 | 31 | 8 | 染付(1)、褐釉陶器(1)、タイ産陶磁器第41図11、沖施釉(1)、沖無釉(2)第65図14、丸瓦(7)、平瓦(5)、軒平瓦(1)、石(1)、磚(1) |
| | 51b | せ－13 | 142 | 98 | 12 | |
| | 52 | そ－13 | 34 | 25 | 26 | 染付(8)第32図10、青磁(8)、白磁(3)第26図12、24、天目茶碗(1)、褐釉陶器(5)、タイ産半練土器第40図2、沖施釉(25)、沖無釉(4)、土器(1)、瑠璃釉(1)、陶質土器(2)、コンクリート(1)、現代ガラス(1) |
| | 53 | そ－14 | 94 | 70 | 12 | タイ産陶磁器第41図15、沖施釉(2)、沖無釉(2)、平瓦(1)、磚(2)、石(2)、石器第90図2 |
| | 54 | そ－13 | 60 | 44 | 18 | |
| | 57b | せ－13 | 73 | 68 | 23 | 染付(1) |
| | 57c | そ－13 | 86 | 68 | 92 | 白磁(1)、本土産陶器(1) |
| | 57d | そ－13 | 116 | 116 | 16 | |
| | 75 | そ－12 | 70 | 48 | 21 | |
| | 76 | そ－12 | 34 | 28 | 5 | |
| | 77 | そ－12 | 23 | 20 | 5 | |
| | 78 | そ－12 | 43 | 22 | 10 | |
| | 79 | そ－12 | 198 | 50 | 25 | 磚(1) |
| | 80 | そ－12 | 45 | 24 | 40 | 青磁第21図7、第23図10、褐釉陶器(11)、沖無釉(7)、丸瓦(4)、平瓦(6)、軒丸瓦(1)、石(8)、磚(7)、鉄製品(1) |
| | 81 | そ－12 | 23 | 19 | 12 | 染付(1)、沖施釉(1)、土器(1) |
| | 82 | そ－12 | 44 | 34 | 24 | 沖施釉(3)、磚(2) |
| | 83 | そ－12 | 106 | 76 | 7 | 石(1) |
| | 84 | そ－12 | 22 | 19 | 12 | |
| | 85 | せ－12 | 38 | 30 | 21 | 丸瓦(1) |
| | 86 | せ－12 | 96 | 66 | 9 | 丸瓦(1) |
| | 87 | せ－12 | 32 | 29 | 5 | 染付(1) |
| | 88 | せ－12 | 38 | 28 | 38 | 沖無釉(1) |

## 第１表　柱穴・土壙計測及び出土遺物一覧(2)

単位：cm

| 地区 | 番号 | グリット | 長径 | 短径 | 深さ | 出土遺物 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 北側（14ライン以北） | 89 | せ－12 | 44 | 24 | 9 | 染付(1)、石(1)、鉄製品(1) |
| | 90 | せ－12 | 46 | 38 | 14 | 褐釉陶器(2) |
| | 91 | せ－13 | 32 | 20 | 3 | |
| | 92 | せ－12 | 23 | 16 | 10 | |
| | 93 | せ－12 | 56 | 14 | 10 | |
| | 94 | せ・そ－12 | 14 | 4 | 3 | |
| | 95 | せ－12 | 53 | 20 | 16 | |
| | 96 | せ－12 | 38 | 24 | 3 | |
| | 97 | せ－12 | 38 | 28 | 5 | |
| | 98 | そ－12 | 42 | 28 | 26 | 石(1) |
| | 99 | そ－12 | 39 | 18 | 4 | |
| | 101 | そ－12 | 22 | 16 | 8 | |
| | 102 | そ－12 | 70 | 26 | 18 | 染付(1) |
| | 103 | そ－12 | 33 | 29 | 6 | |
| | 104 | そ－11 | 18 | 9 | 5 | |
| | 105 | た－12 | 40 | 38 | 20 | |
| | 106 | そ－11 | 20 | 18 | 11 | |
| | 107 | そ－11 | 26 | 22 | 10 | |
| | 108 | そ－11 | 64 | 24 | 10 | |
| | 111 | た・ち－11 | 30 | 18 | 17 | |
| | 113 | た－11 | 100 | 52 | 23 | 土器(1)、磚(4) |
| | 114a | そ・た－11 | 30 | 28 | 11 | 青磁(1)、白磁(2)、褐釉陶器(2)、タイ産半練土器第40図9、沖施釉(1)、沖無釉(1)、土器(2)、磚(4)、石器(1) |
| | 114b | そ・た－11 | 70 | 32 | 20 | 青磁(1)、白磁(2)、褐釉陶器(2)、沖施釉(1)、沖無釉(1)、土器(2)、磚(4)、石器(1) |
| | 115 | そ・た－11 | 60 | 30 | 27 | |
| | 116 | た－11 | 113 | 88 | 31 | 白磁(1)、褐釉陶器(1)、沖施釉(3)、沖無釉(4)、丸瓦(3) |
| | 117 | た－11 | 17 | 12 | 7 | |
| | 118 | た－11 | 12 | 10 | 36 | |
| | 119 | た－11 | 44 | 25 | 40 | |
| | 120 | た－10 | 26 | 24 | 13 | |
| | 121 | た－10 | 21 | 17 | 16 | |
| | 122 | た－11 | 18 | 12 | 14 | |
| | 123 | た－10 | 26 | 21 | 5 | |
| | 124 | そ－10 | 32 | 28 | 42 | |
| | 125 | そ－10 | 30 | 21 | 10 | |
| | 126 | そ－10 | 22 | 18 | 7 | |
| | 127 | そ－10 | 15 | 10 | 3 | |
| | 128 | た－10 | 16 | 16 | 30 | |
| | 129 | た－10 | 28 | 28 | 12 | 染付(4)、青磁(5)、白磁(1)、褐釉陶器(6)、沖施釉(1)、土器(6)、磚(3) |
| | 130 | た－10 | 170 | 158 | 18 | 染付(1)、褐釉陶器(1)、沖無釉(2)、石(1)、貝(1)、磚(1) |
| | 131 | ち－11 | 34 | 25 | 16 | |
| | 132 | ち－12 | 40 | 36 | 22 | |
| | 135 | た－12 | 30 | 28 | 12 | |
| | 136 | ち－12 | 32 | 16 | 9 | |
| | 137 | ち－12 | 28 | 26 | 13 | 沖無釉(1) |
| | 138 | ち－12 | 32 | 26 | 10 | 青磁(1) |
| | 139 | ち－11 | 20 | 14 | 7 | |
| | 142 | た－12 | 32 | 26 | 22 | |
| | 143 | た－12 | 26 | 24 | 32 | 染付(1)、沖施釉(1) |
| | 144 | た－11 | 18 | 16 | 4 | |
| | 145 | た－11 | 16 | 14 | 8 | |
| | 147 | た－10 | 34 | 28 | 7 | |
| | 148 | た－10 | 38 | 32 | 15 | |
| | 149 | た－10 | 48 | 48 | 17 | 沖無釉(1) |
| 北側（14ライン以北） | 150 | た－10 | 36 | 30 | 5 | |
| | 152 | た－10 | 50 | 34 | 18 | |
| | 153 | た－9 | 22 | 18 | 3 | |
| | 154 | た－9 | 46 | 45 | 7 | |
| | 155 | た－9 | 20 | 18 | 7 | |
| | 157 | た－9 | 88 | 43 | 38 | 染付(1)、沖施釉(1)、陶質土器(1) |
| | 158 | ち－13 | 26 | 24 | 15 | |
| | 159 | た－12 | 34 | 28 | 20 | |
| | 160 | た－12 | 34 | 22 | 11 | |
| | 163 | た－13 | 25 | 20 | 6 | |
| | 164 | た－13 | 20 | 19 | 10 | |
| | 167 | ち－13 | 47 | 40 | 32 | |
| | 168 | ち－14 | 70 | 52 | 30 | |
| | 169 | ち－13 | 162 | 72 | 36 | |
| | 170 | ち－11 | 16 | 14 | 7 | |
| | 171 | ち－10 | 12 | 12 | 3 | |
| | 172 | ち－10 | 8 | 7 | 7 | |
| | 174 | ち－9 | 43 | 32 | 11 | |
| | 175 | ち－9 | 32 | 28 | 8 | |
| | 176 | ち－9 | 48 | 38 | 14 | 軒丸瓦第92図8 |
| | 177 | ち－9 | 36 | 34 | 23 | 染付(2) |
| | 179 | ち－9 | 48 | 43 | 20 | 染付(3)、白磁(2)、色絵第37図7、遊具(1)、沖施釉(6)、沖無釉(2)、陶質土器(1)、鉄製品(1) |
| | 180 | ち－9 | 54 | 42 | 13 | |
| | 181 | そ－11 | 126 | 100 | 68 | 染付(2)、青磁(2)、白磁(3)、褐釉陶器(51)第39図23、沖施釉(2)、丸瓦(6)、平瓦(3)、軒平瓦(3)、陶質土器(3)、石(1)、磚(10) |
| | 182 | ち－9 | 36 | 26 | 35 | |
| | 185 | そ－12 | 29 | 21 | 14 | |
| | 186 | そ－12 | 10 | 9 | 28 | |
| | 187 | つ－12 | 68 | 56 | 21 | 青磁(2)、沖施釉(1)、沖無釉(2) |
| | 188 | つ－13 | 58 | 35 | 26 | 青磁(1)、沖施釉(1)、磚(1) |
| | 194 | ち－12 | 36 | 34 | 16 | |
| | 198 | た－13 | 25 | 25 | 20 | |
| | 203 | ち－12 | 26 | 20 | 8 | |
| | 204 | せ－14 | 18 | 16 | 15 | |
| | 205 | ち－13 | 24 | 13 | 10 | |
| | 206 | ち－11 | 194 | 40 | 6 | |

注：① 本表は、柱穴・土壙の性格を考慮し、14ライン付近（岩盤が突出している位置）より北側、南側とに分けて構成している。よって遺構番号は必ずしも一連ではない。

② 長径は、遺構の最も長い位置を、短径は、長径に対しほぼ直角に交差する位置を計測。

③ 出土遺物の「沖施釉」は沖縄産施釉陶器を、「沖無釉」は沖縄産無釉陶器を示す。

④ （ ）内の数字は遺物の個数を表す。

# 第Ⅴ章　　出土遺物

今回の調査により沖縄産の施釉・無釉陶器、中国産、ベトナム産、タイ産、本土産とバリエーションに富んだ陶磁器類の他、土器、陶質土器、瓦質土器、硬質土器、類須恵器、円盤状製品、煙管、骨・貝製品、銭貨、鉄・青銅製品、ガラス玉、坩堝、陶板、石器・石製品、瓦、磚、獅子、貝類、骨類など多種多様な遺物が得られている。これらの遺物は出土状況に偏りもみられるが、17世紀頃以降のものが主体のようである。タイ産の水滴（第41図15）や硬質土器（第78図）など注目される遺物も得られている。以下、種別に概要を簡記する。

## 第1節　青　磁

総数880点余り得られている（第３表）。14世紀の後半～16世紀頃のものが主体をなし、器種的には碗、皿、盤、鉢、壺、壺の蓋、瓶、水注、香炉、擂鉢、袋物、その他とかなりのバリエーションがみられる。しかしながら、ほとんどが破片の資料であり、全形の窺えるようなものは少ない。特徴的なものを第21図～第25図に示した。ここでは、口縁部や底部などの特徴的な資料が、ある程度量的に多く得られている器種の概要についてふれる。個々の詳細は観察表に記した。

### １．碗

430点余と最も多く得られている。特徴的なものを第21図に示した。全形の窺えるものは３・12・13・20の４点である。文様からみると①雷文帯を配すもの、②蓮弁文を配すもの、③無文に大きく分けられる。①・②は文様の形状や方法により、③は口縁部の形態により細分も可能である。図示したものの大きさを文様のタイプと合わせてみると、①は口径が14～16㎝、高台径が約６㎝、高さが約８㎝程度のものが想定される。②は口径が大体11～16㎝の範囲であるが、12・13㎝のものが多い。高さや高台径は資料的に少ないものの高さは６・７㎝、高台径は５・６㎝のものが普通のもののようで、①のグループよりも若干小さめになると推察される。③は②とほぼ同じような大きさのものが想定される。

釉は失透気味のものが多く、貫入のみられるものが目立つ。素地は淡～暗灰色のもので、やや粗いもの、やや細かなものがみられる。

### ２．皿

120点余得られており、碗に次いで多い。特徴的なものを第22図に示した。全形の窺えるものは１・３・５・24・25の５点である。26～28の３点は本土産磁器の可能性があり、ここではふれない。１～25までの資料をみると、器形（形状）の特徴から①直口口縁皿、②外反口縁皿、③玉縁口縁皿に大きく分けられ、外反口縁皿には口折れ口縁皿、稜花皿、鍔縁口縁皿などがみられ、直口口縁皿には菊花皿が含まれる。文様の特徴からみると、外反口縁のグループに文様が多くみられる。稜花、鍔縁には草花文が、それ以外には蓮弁文が主流のようである。

図示したものの大きさを器形的にみると、①のグループは口径が大体８～10㎝、高さが約2.5㎝、高台径が約５㎝ぐらいのものが多いようである。②のグループは口径が10～13㎝台とやや幅がみられ、高さが約3.5㎝、高台径が６㎝と７㎝のものがみられる。③は４に示す１点だけで、推算口径は約14㎝である。どちらかといえば①のグループは他のグループより、小振りのものが多くなるようである。釉は失透気味のものが多いものの、透明なものも碗よりは目立つ。貫入がみられるものもおよそ半数程度である。素地は淡灰～淡黄白色のものが主流で、細かなもの、粗いものが半々ぐらいの割合のようである。

### ３．盤

60点弱の出土で、量的には多くない。ほとんどが小破片の資料で、全形の窺えるようなものはみられない。特徴的なものを第23図４～11に示した。口縁部資料をみると、①直口口縁、②玉縁口縁、③鍔縁口縁、④稜花形口縁などがみられる。底部資料をみると、①高台を有すもの、②碁笥底のものがみられる。大きさについては資料が少なく判然としないが、推算口径の算出できた７は約16㎝、推算高台径の算出できた９～11は、それぞれ約16㎝、約24㎝、約13㎝であり、大きさにはかなりバリエーションがあったかと推察される。文様は内面、内底面、鍔上面が対象で、外面は対象外のものが普通のようである。

内面の文様はヘラ描き、櫛描きの蓮弁文が主流のようである。釉は淡青～暗緑色の失透気味のものが多く、貫入のみられるものが目立つ。素地は暗灰～灰白色のやや粗いものが多い。

### ４．鉢

20点余得られている。ほとんどが小破片のもので、特徴的なものを第23図１～３、13・15に示した。１～３は

文様を施さないもの、13・15は丁寧な文様を配すものである。特に、高台外面に雷文帯を配す13の資料は注意される。大きさからみると、推算口径の算出できた１・３はいずれも約24㎝で、高台径の推算できた13は約13㎝を測る。釉はやや透明度のあるものが多いようで、貫入がみられるものが普通のようである。素地は淡灰～暗灰白色のやや細かなものが多い。

### ５．壺

約50点確認されている。大きく酒会壺、その他に分けられる。全形の窺える資料はみられず、特徴的なものを第24図１～６・12に示した。１～４・６は酒会壺、５・12はその他の壺である。ここでは酒会壺の概要についてふれる。

１～３は蓋、４は身の口縁部、６は底部の資料である。全体的な状況はこれまでに知られているものと大差ない。蓋は頂部がやや平坦になり、端部が若干上方へ反る鍔縁をつくる。身の口縁部は数センチの直方向に立ち上がる頸部をつくり、口唇部を釉剥ぎして整える。底部は端部を丁寧に釉剥ぎして整形し、落とし底である。大きさをみると、１・２は身受け部の推算径が約17㎝で、４の推算口径が約21㎝、６の推算底径が約17㎝である。類例資料の範疇の中に入る。文様は蓋、身とも外面だけが施文の対象で、草花文、蓮弁文などが丁寧に施される。釉は深緑色の失透気味のものが主流で、素地は淡灰～暗灰色の細かなものが多いようである。

### ６．香　炉

12点確認されている。小破片の資料がほとんどであるが、第24図７は全形の窺えるものである。特徴的なものを第24図７～11・13～15・17・18に示した。量的には少ないものの、全体の形状には若干のバリエーションがみられる。大きくは17・18の大型のものとそれ以外の小型のものに分けられ、その中での細分も可能である。大型のものは、17が口縁部を外反させ、頸部がしまり、胴下半部が丸く膨らむ形状を呈す。その膨らんだ部分に、ほぼ等間隔に平坦面を設ける。外面の頸部、胴下半部に何らかの文様を施す。18は腰折れの資料のようで、外面の腰折れ部上方に凸帯様のものを１本廻らす。２点ともやや透明度のある釉で、貫入がみられる。素地は淡灰白色の細かなものである。

小型のものは、７に示すものが全体の形状や大きさなどを示すものかと考えられる。口縁は寄口口縁で筒型、底部は高台を有すもの（７）、３足の千鳥足を付すもの（10・11・14・15）などがみられる。釉は青緑色の失透気味のものが多くみられ、貫入が入るものが目立つ。

素地は淡灰白色の細かなものである。

**第２表　青磁観察一覧(1)**

単位：cm

| 図 | 番号 | 器種 | 部位 | 口径<br>器高<br>底径 | 観察事項 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 第21図・図版5 | 1 | 碗 | 口 | —<br>—<br>— | 口唇部が丸味をもつ直口口縁。外面に雷文様の、内面に草花文を配す。釉は青緑色の失透性のもので、比較的厚く施釉される。表面の破損部周辺に細かな気泡あり。 | す・せ—18<br>黒色混礫土層 |
| | 2 | | | 14<br>—<br>— | 胴部の方からゆるやかなカーブを描く直口口縁。口唇部は丸味を帯びるが、斜めの感じになる部分も見受けられる。文様は外面の口縁部上端にヘラ描きの雷文帯、その下方に別の文様を配す。釉は深緑色のやや失透気味のもの。 | ち—14<br>石積と岩盤の間<br>暗黄褐色土層 |
| | 3 | | 口～底 | 14.9<br>8.3<br>5.8 | 腰部がほとんど膨らまない直口口縁で、口唇部は丸味を帯びる。高台は若干外側へ開き気味。畳付け外面をラフに削り、畳付け内面も若干斜めに削る。文様は外面と内底面にみられる。外面の文様はおおらかなタッチで、口縁部上端に雷文帯（1つの雷文の長さが約4.5cm）、その下方に器面を6等分するように弁幅の広い蓮弁文を配す。内底面には中央に花文、その周囲を廻るように1本の圏線を配す。圏線は途中で途切れている。釉は淡青緑色の失透気味のもので、高台内側半分から外底面だけを露胎としている。 | た—13<br>黒色土層<br>30～40 |
| | 4 | | 口 | 16<br>—<br>— | 直口口縁。口唇部はやや外面側が下がり、斜めに整形されている。内外面とも口唇部直下に雷文をスタンプで施しているが、内面は雷文が長い。また、内面は雷文帯以下にも文様が配されている。釉は青緑色を呈すが、風化のためか濁った感じになっている。 | 15トレンチ東側<br>レストハウス横岩上<br>北側撹乱層 |
| | 5 | | 底 | —<br>—<br>6.6 | 高台から胴中央部付近までの資料である。厚味のある、しっかりしたつくりで腰部がほとんど膨らまずに胴部の方へ向かう。高台は厚く、逆台形状を呈し、若干外側へ開く。畳付け外面を大きく斜位に面取りしており、接着面が狭い。内底面は円形状に若干盛り上がり、そこに花文を配し、圏線を1本廻らしている。内体面の全面に施文。釉は淡緑色の失透性のもので、外底面の周縁部を除く全釉のようである。畳付け部には砂目の熔着もみられる。 | て—13<br>遺物集中部 |
| | 6 | | 口 | 13.4<br>—<br>— | ほぼ直線的に外側へ開く直口口縁。口唇部は丸味をもち、内外の角は比較的はっきりとした稜を有す。文様は外面にだけ1枚の無鎬蓮弁が認められる。釉は青緑色でやや失透気味。 | す—18<br>遺物礫集中部<br>黒色土層20～40 |
| | 7 | | | 12<br>—<br>— | 腰部がほとんど膨らまない直口口縁。口唇部は丸味をもって仕上げ、内側だけ比較的明瞭な稜を有す。文様は外面と内面下部に認められる。外面のものは口縁上端に1本の横位沈線文を廻らし、その直下に孤状の連続文と縦位沈線文を配す。連続孤状文と縦位沈線文は一致しており、幅の狭い蓮弁を描出している。内面下部のものは上下にやや太い孤状文、その間に細い孤状文を1単位として連続的に施し、器面を囲繞するようである。また、斜沈線もみられ、全体の構図は判然としない。釉は深緑色でやや透明度がある。 | そ—12<br>遺構80 |
| | 8 | | | 16<br>—<br>— | 腰部がほとんど膨らまない直口口縁。口唇部は丸く仕上げる。外面の文様は口縁部上端に孤状の連続沈線文、その下方に片切り彫りの感じの縦の沈線文を施し、蓮弁文を描出している。弁先と縦の沈線は一致せず、弁幅も一定していない。内面腰部の文様は大きな孤状を呈す沈線文を3本連続的に配すが、上方の2本の沈線は連続しない。深緑色の釉が割と厚く、丁寧に施されている。 | 表採<br>つ—14<br>瓦礫層 |

## 第２表　青磁観察一覧(2)

単位：cm

| 図 | 番号 | 器種 | 部位 | 口径<br>器高<br>底径 | 観察事項 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 第21図・図版5 | 9 | 碗 | 口 | 10.6<br>—<br>— | 胴部下半から僅かに孤状を呈す直口口縁。口唇部は舌状をなす。外面にだけ蓮弁文を施す。蓮弁文は口縁部上端に孤状の沈線を連続して施し弁先とし、その下方に縦方向の沈線を配す。いずれもラフなタッチで描かれ、弁先と弁はほとんど一致していない。淡緑色の比較的透明度のある釉が施され、貫入はみられない。 | し—17<br>崖部黒色混礫土層 |
| | 10 | | | 12<br>—<br>— | 胴部下半からやや外側へ開き、口縁上端部が若干内彎気味になる。口唇部は舌状を呈す。外面にのみ蓮弁文を配している。弁先と弁は別々に描かれており、弁先は孤状を呈す部分と鋸歯状の部分が見受けられる。弁は片切り彫りのように右側が深く、幅広い縦方向の沈線となっている。暗緑色の失透性の釉。 | つ—14<br>黒色土層 |
| | 11 | | | 12<br>— | 腰部の方からゆるやかに孤を描く直口口縁。口唇部は舌状を示す。文様は外面にだけ蓮弁文を施す。口縁上端にラフなタッチの孤状の連続文を配し弁先とし、その下方に縦方向の沈線をほぼ等間隔に施している。しかし、孤状文と縦方向の沈線は必ずしも一致しない。釉は暗緑色の失透気味のもので、口縁部上端は内外面とも白く濁っている。 | ち—14<br>遺物集中部<br>20～40 |
| | 12 | | 口～底 | 13.2<br>7.0<br>5.2 | 腰部が膨らまずに口縁部へ至る直口口縁。口唇部は丸味をもつ。高台は畳付けの方へすぼまる。畳付けは斜位に仕上げており、内側だけが地につく。文様は外面と内底面にみられる。外面のものは口唇部直下に孤状の連続文、その下方をやや間隔を開けて4本1組とみられる縦方向の沈線文を施し、蓮弁文をイメージさせている。縦方向の沈線文は胴下半で終了している。内底面の文様は「吉」の字を中心に上下右左の順に「金玉満堂」の字を配し、それぞれを沈線で区画している。釉は淡青緑色のやや失透気味のもので、高台内側の一部と外底面を除き全釉である。 | つ—14<br>瓦礫層 |
| | 13 | | | 13.6<br>6.1<br>5.25 | 腰部が膨らまずに口縁部に至る直口口縁。口唇部は丸味をもつ。高台は方柱状につくり、外底面の削りは比較的浅い。畳付けは平坦にし、畳付け外面を斜位に面取りするが、丁寧ではない。外面の蓮弁文は弁先が消え、縦方向の沈線だけが施されている。沈線の間隔は若干のバラツキがみられる。また、沈線を施した後に高台脇を削って整形。高台際に2本の圏線が廻る。釉は灰緑色の失透気味のもので、薄く施される。内外面とも口縁部は釉垂れの箇所が見受けられ、その部分は色合いが異なる。施釉範囲は基本的に畳付け及び外底を除き全釉のようである。 | つ—13・14<br>黒色土層 |
| | 14 | | 口 | 14.0<br>—<br>— | 腰部が膨らまず、胴部がほぼ直方向に立ち上がり、口縁部上端を外側へ折り曲げる外反口縁。口唇部は舌状を呈す。高台は破損している。内底面に1本の圏線が認められる。外面の文様は、口唇下約2cmの箇所に2本の沈線を配し、その下方に蓮弁文を施す。蓮弁は1枚1枚完結する形で描かれている。沈線文の上方は無文のようである。釉は青緑色のようであるが風化のためか白く濁り、失透している。外底面は露胎のようである。 | さ—17<br>岩盤凹地埋土<br>0～80 |
| | 15 | | 底 | —<br>—<br>6 | 腰部が丸く膨らむ底部資料。高台は方柱状にやや外側へ開き気味につくり、畳付けは平坦。畳付けの外側を若干斜位に面取りする。文様は外面に蓮弁文を施し、内面にも施文する。内面の文様は全体的な構図は不明。また、内底面に1本の圏線もみられる。外面の蓮弁文は1枚1枚弁を描くもののようである。深緑色のやや失透気味の釉が厚く施されており、畳付けおよび外底面は露胎のようである。畳付け部は滑らかである。 | す—18<br>黒色土層 |
| | 16 | | 口 | 14.8<br>—<br>— | 胴部からゆるやかな孤を描く直口口縁。口唇部は丸味をもつ。口縁部外面に1本の沈線を廻らすだけで、他に文様はみられない。青緑色の透明度のある釉を施す。 | て—12<br>遺物集中部<br>岩盤直上 |
| | 17 | | | 13.8<br>—<br>— | 腰部がほとんど膨らまず、直線的に外側へ開く直口口縁。口唇部は平坦にするが、両側の角を丸くしている。外面の口縁部に沈線を1本廻らしているが、始点と終点が交わらず、その部分では2本線になっている。他に文様はみられない。釉は深緑色で透明度があり、比較的薄く施されている。 | つ—14<br>黒色土層 |
| | 18 | | | 14.8<br>—<br>— | 口縁部上端を外側へ折り曲げる外反口縁。口唇部には浅い凹線を廻らす。文様はみられない。暗緑色の失透釉が施されている。 | ち—14<br>石積と岩盤の間<br>暗黄褐色土層 |
| | 19 | | | 13.4<br>—<br>— | 胴部がゆるやかな孤を描く外反口縁。口唇部は丸味をもって仕上げ、外反部の外面が若干盛り上がる。無文。内面に釉をはじいた箇所が認められ、その部分は露胎。釉は青灰緑色の失透釉。 | た—13<br>石垣上黒色土層中 |
| | 20 | | 口～底 | 13.0<br>6.1<br>4.5 | 高台際からスムーズな弧を描いて口縁部に至る直口口縁。口唇部は丸く仕上げるが、両側の稜は比較的明瞭。高台は方柱状につくり、畳付けは斜めにしているため、内側部が接着する。外面には横方向の削り痕が明瞭に認められる。他の資料と比べ薄手のものである。無文。釉は青灰緑色の失透性のもので畳付けから外底面を除き、全釉である。 | ち—11<br>遺構134 |
| | 21 | | 底 | —<br>—<br>6.6 | 高台が全部残る底部資料。腰部が膨らまずに胴部へ移行する。高台は方柱状につくり、畳付けは平坦。畳付けの外側を斜めに面取りする。外面に草花文?内底面に圏線と印花文を配す。釉は青緑色で比較的透明度があり、外底面を蛇の目状に釉剥ぎする。畳付け付近、外底面中央部に熔着痕、細かい気泡も認められる。釉は割と厚く施釉。 | せ—18<br>黒色土層 |
| | 22 | | | —<br>—<br>6 | 底部資料。高台は方柱状につくり、畳付けは平坦。畳付け外面を斜位に面取りしており、畳付けの幅が狭い。畳付け内側を部分的に凹線様に削り込む。内底面に双魚文を配す。釉は青緑色のやや失透気味のもので、外底面を蛇の目状に釉剥ぎする。外底面中央付近には砂目の熔着。 | す・せ—16<br>黒色土層<br>0～30 |
| | 23 | | | —<br>—<br>5 | 底部資料。高台際および高台外面に凹線を廻らす。高台は細い。畳付けは平坦で、その外側を斜めに面取り。外底部の削りは浅く、底面部が厚い。外面高台際に蓮弁文の弁尻。内底面には凹線による圏線と中央部に印花文。釉は深緑色の透明度のあるもので、薄く施釉する。基本的には外底面だけが露胎。外底面に釉垂れと熔着痕あり。 | ち—9<br>石段上黒色土層 |
| | 24 | | | —<br>—<br>6 | 高台と体部の境に一本の凹線を廻らす底部資料。高台は方柱状につくり、畳付けは平坦。畳付け外側を雑に面取り。高台内側は外底面の方へ内傾、畳付け側が厚い。内底面に一本の幅広圏線を廻らし、その中に印花文を配す。圏線は始点と終点が交わらない。釉は深緑色で比較的透明度がある。 | す・せ—18<br>黒色混礫土層<br>100～110 |
| | 25 | | | —<br>—<br>6.5 | 底部資料。高台は方柱状につくり、畳付けは平坦。畳付け外面を若干斜位に面取りし、その上方に凹線状の沈線を廻らす。内底面に印花文を配す。釉は暗緑色で比較的透明度がある。外底面を蛇の目状に釉剥ぎするものの、所々に釉が残る。外底中央部の釉の縁に熔着物。 | さ—17崖部直下<br>黒色混礫土層<br>0～40 |
| | 26 | | | —<br>—<br>5.2 | 底部資料。高台は方柱状につくり、畳付けは平坦。畳付けの外側を斜位に面取りし、幅が狭くなっている。畳付けの面は滑らか。内底面は若干凹面を形成し、印花文が配される。釉は青緑色で失透性。畳付け外側から、外底面にかけては露胎。外底面の釉垂れの部分に熔着物。 | せ—16・17<br>旧階段下石垣横<br>黒色混礫土層 |
| | 27 | | | —<br>—<br>5.2 | 高台が全部残る底部資料。高台は逆三角形状につくる。全体的に外側へ開く感じで安定感がある。畳付けは平坦で、その外側を斜めに面取りする。釉は灰褐色を呈し、文様などの状況はつかめない。畳付けから外底部にかけては露胎。焼成不良。 | 15トレンチ東側<br>岩上黒色土層<br>0～10 |
| | 28 | | | —<br>—<br>5.4 | 底部資料。高台は逆台形状につくり、畳付けは斜め。外底部の縁を深く削る。内底面に印花文を配す。釉は失透気味のもので、灰褐色、黄褐色を呈す部分がみられる。畳付け及び外底面は露胎。畳付け内側に釉垂れ。 | つ—11<br>黒色土層<br>10～20 |

## 第２表　青磁観察一覧(3)

単位：cm

| 図 | 番号 | 器種 | 部位 | 口径<br>器高<br>底径 | 観察事項 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 第22図・図版6 | 1 | 皿 | 口～底 | 8.3<br>2.4<br>4.6 | 直口口縁皿。高台際からゆるやかにカーブしながら外側へ開く。口唇部は丸味を持つ。高台は厚味があり、方柱状につくる。畳付けは平坦にし、その外側を斜めに面取りする。無文。釉は青緑色の失透気味のもので、畳付けから外底面は露胎。 | ち－13<br>瓦礫層黒色土層 |
| | 2 | | 口 | 10.6<br>—<br>— | 口縁部上端が僅かに外反。口唇部が丸味を持つ、比較的薄手の資料。外面に幅の狭い蓮弁が丁寧に配される。青緑色の釉が施されているが、白く濁った感じになり、失透している。 | す－18<br>遺物礫集中部<br>黒色土層20～40 |
| | 3 | | 口～底 | 13.8<br>3.5<br>7.8 | 外反口縁皿。腰部が丸味を帯び、口縁上端部が僅かに外反。口唇部は丸味を持つ。高台は方柱状につくり、畳付けは平坦。畳付けの外側を若干斜めに削る。高台内側に沈線が1本廻る。外面の胴中央部付近に1本の沈線が廻り、内底面に印花文が施されているが、釉が白く濁り判然としない。内底面は中央部が若干盛り上がるように成形されている。釉は淡青緑色で、完全に失透。畳付けから外底面は露胎。内外面に細かく密な貫入が認められる。 | そ－13･14<br>石垣横の石列<br>前面黒色土層<br>40～60 |
| | 4 | | 口 | 13.8<br>—<br>— | 玉縁口縁皿。ゆるやかなカーブを描いて外側に開き、口縁上端部が僅かに肥厚。口唇部は丸味を持つ。資料の全面に淡青緑色の釉が丁寧に施される。釉は白く濁り、失透している。口縁部に貫入が目立つ。 | す－18<br>地山直上<br>130レベル以下 |
| | 5 | | 口～底 | 11.3<br>3.5<br>6.2 | 外反口縁皿。高台際からほぼ直線的に外側へ開き、口縁部をゆるやかに外反させる。口唇部は舌状。口唇部直下の外面を若干凹面に削り、外反部下端に稜を有す。高台は逆台形状につくり、畳付けは平坦。外底面の線をやや深く削る。淡緑色の釉を丁寧に施すが白く濁り、失透。内底面と外底面は露胎。 | す－18<br>地山直上<br>130レベル以下 |
| | 6 | | 口 | —<br>—<br>— | 外反口縁の皿?。器形などの詳細は不明。口唇部は丸味を持つ。外面の頸部に凹線様の浅い溝を廻らしている。無文。淡青緑色の失透気味の釉が丁寧に施されている。内外面に細かく密な貫入が著しい。 | て－10<br>地山直上 |
| | 7 | | | 12<br>—<br>— | 口折皿。口縁部をほぼ水平方向まで折り曲げ、外反させる。折り曲げ部の幅は約1cm。口唇部は舌状を呈す。折り曲げ部内側の稜は不明瞭。外面に蓮弁文、折り曲げ部および内面に唐草文を配す。釉は深緑色の失透気味のもので、比較的丁寧に施されている。 | す－18<br>遺物礫集中部<br>黒色土層20～40 |
| | 8 | | | 12.3<br>—<br>— | 口折皿。胴部で急な弧を描き、口縁部を折り曲げるように外反させる。折り曲げ部の上面が凹面を呈し、若干薄くなっている。凹面の両端は比較的明瞭な稜をなす。折り曲げ部の幅は約1cm。外面にのみ文様がみられ、片切り彫りによる蓮弁文のようである。釉はガラス質の透明度のあるもので、青緑色を呈す。内外面に貫入がみられる。 | と－12<br>遺物集中部<br>0～20 |
| | 9 | | | 11.9<br>—<br>— | 口折皿。腰部からほぼ直方向に立ち上がる。口縁部を折り曲げるように外反させる。折り曲げ部上面をほぼ平坦にし、内側の稜は明瞭。胴部より、折り曲げ部の方が厚い。口唇部は舌状を呈す。外面にだけ無鎬蓮弁文を配している。釉は淡緑色の失透気味のもので、丁寧に施釉。 | し･す－18<br>遺構1 |
| | 10 | | | 12<br>—<br>— | 外反口縁皿。腰部がゆるやかなカーブを描き、口縁部を折り曲げ、外反。口唇部は舌状を呈す。外面に蓮弁文を施す。淡青緑色の釉が丁寧に施されるが、白く濁り完全に失透。 | て－12<br>遺物集中部<br>黒色土層 |
| | 11 | | 底 | —<br>—<br>6 | 底部資料。高台は方柱状に低くつくり、畳付けは平坦で、その外側を斜めに削る。外面に蓮弁文の弁尻が認められる。内底面及び内体面の下端部を若干削っており、内底面の縁に稜が廻る。釉は淡青緑色で比較的透明度があり、外底面を釉剥ぎ。内外面に粗い貫入がみられる。高台内側に熔着物。 | せ－18<br>石敷遺構直上<br>黒色土層 |
| | 12 | | | —<br>—<br>4.8 | 底部資料。高台は方柱状に低くつくり、外面は凹面をなすように削る。畳付けは平坦で、その外側を斜位に面取りするが、その幅は一様ではない。蓮弁文の弁尻が高台際まで認められる。内底面はやや凸面をつくり、中央付近に双魚文が配される。釉は淡青緑色の失透気味のもので、基本的には外底面だけを露胎。 | 表採 |
| | 13 | | | —<br>—<br>5.8 | 底部資料。逆台形状の低い高台をつくる。畳付けは平坦でその外側を斜めに削る。暗緑色の釉を丁寧に施す。釉は完全に失透し濁る。そのため文様など判然としない。内外面に細かく密な貫入が著しい。畳付けから外底面は露胎。 | そ－18<br>石敷遺構下<br>地山直上層 |
| | 14 | | | —<br>—<br>4.8 | 底部資料。高台は逆台形状につくり、畳付けは平坦。高台と身の接着部にひび割れが廻っており、貼り付けの高台のようである。内底面の中央に花文を配し、それを中心に内底面を6等分する形で区画沈線を施している。また、外底面のほぼ中央に直径約1cmの円を施す。釉は淡黄緑色で、ガラス質の透明度のあるものを薄く施釉。全釉。外底面の縁に沿うように、砂目が熔着。 | せ－17<br>黒色土層<br>80～90 |
| | 15 | | | —<br>—<br>— | 底部資料。高台の状況は不明。花文の中央に「飲」の字を施したものを内底面に配す。釉は淡黄緑色のやや透明度のあるもので、外底面は露胎。内底面の釉は細かく密な貫入が著しい。 | す－19<br>黒色土層 |
| | 16 | | | —<br>—<br>5.4 | 底部資料。高台は方柱状につくり、畳付けは平坦。その外側を斜めに削る。内底面に印花文を配す。外底面の縁に2本の沈線を廻らす。釉は淡灰緑色でやや透明度があり、薄く施釉。畳付けから外底面にかけては無釉。 | つ－13･14<br>岩盤付近<br>遺構集中部 |
| | 17 | | | —<br>—<br>5.4 | 底部資料。高台は方柱状に低く、若干外側に開く。畳付けは斜めにつくる。腰部が急なカーブを描く。内底面に花文の中央に「卍」をあしらったものを配し、それを囲むように1本の圏線を廻らす。内体面の下端にも文様がみられる。外面に文様はみられない。釉は淡灰緑色のやや透明度のあるもので、外底面だけを露胎。内外面に細かな貫入がみられる。 | ち－9<br>石段上試掘坑内<br>黒色土層 |
| | 18 | | | —<br>—<br>7 | 底部資料。高台は方柱状に低くつくる。畳付けは斜めに成形し、尖る。釉は、白く濁り完全に失透している。外底面は無釉、内底面は釉剥ぎしている。 | ち－12<br>黒色混礫土層<br>20～30 |
| | 19 | | | —<br>—<br>5.9 | 底部資料。高台は方柱状につくり、畳付けは斜位に成形し、内側だけが地に着く。釉は青緑色で失透気味。高台内側と外底面及び内底面は無釉。高台外面には細かく密な貫入や細かな気泡などがみられる。内底面には双魚文が配される。 | せ－17<br>黒褐色混礫土層<br>100～110 |
| | 20 | | 口 | 11.4<br>—<br>— | 稜花皿。21より外反の度合いが強い。口唇部は内外面から面取りし、中央部付近で山形を呈す。内外面に唐草様の文様を配す。また、内面の口縁上端には、口縁の形状に合わせた連続弧状文が沈線により2条描かれている。釉はガラス質の透明度のある暗緑色。 | た－14<br>石積と岩盤の間<br>黒褐色土層 |
| | 21 | | | 12.6<br>—<br>— | 稜花皿。ゆるやかな外反を呈す。口唇部は平坦にしているが、内外の角は丸味をもつ。内面の口縁部上端に三本の沈線が認められるだけである。比較的透明度のある淡青緑色の釉。内外面とも細かく密な貫入が著しい。 | つ－14<br>瓦礫層 |
| | 22 | | | 13.2<br>—<br>— | 口縁部が水平方向に折り曲がるように外反する。外反部内側の稜は明瞭で、外端部は稜花状。外反部上面は端部に沿って幅2mm程の盛り上がり部をつくり、縁としている。文様は外反部上面と内面に花文を配す。内底面の縁には陽圏線を1本廻らす。青緑色の比較的透明度のある釉を厚めに施す。内外面に貫入が目立つ。 | そ－11<br>土壙内 |

## 第２表　青磁観察一覧(4)

単位：cm

| 図 | 番号 | 器種 | 部位 | 口径<br>器高<br>底径 | 観察事項 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 第22図・図版6 | 23 | 皿 | 口 | 10.6<br>—<br>— | 直口口縁皿。口唇部は丸味を持つ。口唇部外面に若干の間隔をあけて小さな抉りを施し、その部分から縦位沈線を高台際まで施し、蓮弁文を描出。内面は型押しの蓮弁文が囲繞。淡青緑色のやや透明度のある釉が破片全面にみられる。内外面とも細かく密な貫入が認められる。 | せ—15・16<br>岩盤にへばりついた<br>黒色土層 |
| | 24 | | 口～底 | 9.8<br>2.5<br>4.6 | 菊花形皿。型成形のようである。外面及び内面には淡青緑色の失透気味の釉。外底面は淡青白色の失透釉。畳付けとその周辺部は釉剥ぎし、平坦な畳付け部は狭い。内底面は若干の凹面をつくる。内外面とも口縁部に釉溜り部が帯状に廻り、内面の釉は白く濁る。口唇部外面に熔着痕や釉の剥がれた箇所が数ヶ所見られる。 | た—12<br>馬の頭骨付近より<br>地山直上 |
| | 25 | | | 10.4<br>2.9<br>4.8 | 菊花形皿。型成形のようである。内・外面に深緑色の失透気味の釉を施し、外底面に淡青白色の釉を施しているが、白く濁る。畳付け及びその周辺だけを雑に釉剥ぎ。大きさは24とほぼ同様であるが腰部が膨らみ、内底面はより明瞭に凹面をつくる。また、花弁も若干幅広い。外面の口縁部に若干の釉溜り部が帯状に廻る。口唇部の両側に細かな気泡や、釉の剥がれ部が目立つ。 | 15トレンチ東側<br>岩上黒色土層<br>10～20 |
| | 26 | | | 7.8<br>2.4<br>5 | 菊花形皿。型成形のようである。現資料から、平面が楕円形状を呈すとみられる。高台際からほぼ直線的に外側へ開く。逆台形状の高台は低く、畳付けは平坦。高台は無釉のようであるが、高台外面付近には釉が厚くかかる。外底面の状況は不明。内外面に青緑色のやや透明度のある釉が施されているが、釉中に細かな気泡が著しい。素地は灰白色のやや粗いもので、細かな気泡がみられる。本土産の可能性もある。 | つ—14<br>瓦礫層 |
| | 27 | | | 15<br>2.9<br>7.8 | **輪花皿。口縁部の1箇所に浅い抉りがみられる。腰部が若干折れ気味に**なり、そこからゆるやかに**外反する。口唇部は舌状を呈す。高台は逆三角形状で、畳付けは平坦。**外面及び内面に淡青緑**色の釉が、外底面には淡青白色の釉が施される。畳付け部だけを釉剥ぎ**する。釉は全体的に濁る。**内面には口縁の抉り部の下方に線状に濁らない部分があり、内底面には**円形状の濁らない部分が**見受けられる。比較的薄手の資料である。素地は淡灰白色のやや粗いも**ので、細かな気泡が見受**けられる。本土産の可能性もある。** | す—19<br>黒色土層 |
| | 28 | | | 11.2<br>2.1<br>6.8 | 腰部がゆるやかなカーブを描き、口縁部が若干玉縁状になる。高台は方柱状につくり、畳付けは平坦。外底面をやや深く削る。外面から内面に淡黄緑色のわりと透明度のある釉を施し、外底面に淡青白色の失透気味の釉を施す。畳付け部を釉剥ぎする。口縁部は沈線様のものが部分的にみられるほかは文様はみられない。釉の状況、素地などからすると近代のものの可能性が強い。 | 15トレンチ東側<br>レストハウス横岩上<br>北側撹乱層 |
| 第23図・図版7 | 1 | 鉢 | 口～底 | 23.8<br>(8.4)<br>8.2 | 口縁上端部が若干膨らむ。高台際からほぼ直線的に外側に開き、口唇部を丸く仕上げる。高台は厚く、低くつくり安定感がある。畳付けは平坦で、外側を斜位に面取りする。外面の口縁部に凹線様のものを7本雑に廻らす。釉は青緑色のやや透明度のあるものを薄く施す。畳付け外面から外底は露胎。内底面を蛇の目状に釉剥ぎ。し-17岩盤凹地内中層瓦集中部出土のものと接合。 | さ—17・18<br>石垣状遺構上<br>黒色混礫土層崖部 |
| | 2 | | 口 | —<br>—<br>— | 外反口縁で口唇部は丸味をもつ。小破片のため詳細は不明。淡灰緑色のやや透明度のある釉を薄く施す。素地は暗灰白色のやや細かなもので、黒色鉱物を割と含む。 | と—12<br>遺物集中部 |
| | 3 | | | 24.7<br>—<br>— | 折れ縁を呈する鉢。口縁部が逆S字状をなし、口唇部は丸味を帯びる。淡青緑色のやや透明度のある釉が施されているが、口唇部から外面の口縁部、内面口縁部には細かな気泡の集中部が見受けられる。 | そ—17<br>撹乱土壙 |
| | 4 | 盤 | 口 | —<br>—<br>— | 口縁部上端の外面に若干の段を廻らす直口口縁。口唇部はやや外傾し、平坦。口唇部の両側は丸味を帯びる。口唇部には間隔をあけて、若干の抉り部を配す。内面には櫛描きの蓮弁文を施す。 | て—11<br>岩盤上黒色土層 |
| | 5 | | | —<br>—<br>— | 口縁部を玉縁状に仕上げる。丸味を帯びた口縁部に、間隔をあけて若干の抉りを施す。内面に幅広の蓮弁文を配す。深緑色のやや失透気味の釉を施す。 | 15トレンチ東側<br>岩上黒色土層<br>0～10 |
| | 6 | | | —<br>—<br>— | 鍔縁盤の口縁部資料。鍔幅は短く、端部を若干上方へ撮み上げる。鍔は端部の方へ厚く、外端部を波状に削る。鍔の下面は端部から約7mmの箇所で段を設ける。文様は鍔上面の端部寄りに凹線を配し、内面胴部にヘラ描きによる幅広蓮弁文を施す。深緑色のやや透明度のある釉を施す。貫入はみられない。 | つ—12<br>黒褐色混礫層<br>10～20 |
| | 7 | | | 15.6<br>—<br>— | 稜花形の盤。口縁部を折り曲げるように外反させ、折り曲げ部外面に若干の段を設ける。口唇部は平坦。文様は口唇部寄りに3本の櫛描き文を雑に施し、胴部には草花文が認められる。淡青緑色の失透気味の釉が資料の全面にみられる。口縁部の内外面に白く濁る部分がみられる。 | つ—13・14<br>岩盤付近<br>遺構集中部 |
| | 8 | | | —<br>—<br>— | 鍔縁盤の口縁部。鍔縁部上面は若干凹面をなし、内側の稜は不明瞭。外端部は内傾。釉は青緑色のやや透明度のあるもので、資料の全面に施釉。 | せ—17<br>黒色土層<br>30～50 |
| | 9 | | 底 | —<br>—<br>14.7 | 盤の底部資料。高台は低くつくり、畳付けは斜位にする。畳付け両側の稜とも明瞭。淡青緑色のやや失透気味の釉で、内・外面から外底面の縁まで施釉。外底面に露胎部がみられるものの、中央部に施釉したかどうかは不明。内底面に圏線と文様の一部が認められるが、判然としない。 | と—12<br>遺物集中部 |
| | 10 | | | —<br>—<br>22.3 | 盤の底部資料。高台は低くつくり、畳付けを若干斜めにする。畳付け内側の稜は明瞭だが、外側はやや不明瞭。淡青緑色の失透釉。外底面に約2.5cm幅の露胎部を廻らし、他は全釉。内底面の文様は判然としない。露胎部に器面の剥がれが線状にみられる。 | す—15<br>地山直上<br>遺構80 |
| | 11 | | | —<br>—<br>12.4 | 盤の底部資料。碁笥底をなすが、腰部の下端に若干の段を廻らす。畳付け部を平坦にし、その外側を斜位に面取りする。釉は暗緑色の失透釉で、内面、外面から高台内側、外底面中央部に施釉。外底面は、周縁部を露胎にする。露胎部に、砂粒の熔着痕や器面の剥がれが細かい線のように弧状にみられる。内底面の文様は判然としない。 | 15トレンチ東側<br>レストハウス横岩上<br>北側撹乱層 |
| | 12 | 鉢 | 口 | —<br>—<br>— | 逆L字状に外反する口縁部資料。小破片のため詳細は不明。口唇部の外端部から約5mmの箇所で若干の段を設け縁部としている。現資料の全面に深緑色の透明度のある釉が施される。釉は全体的に濁り、細かな気泡もみられる。素地は灰白色のやや細かなものである。さ・し-17岩盤にへばりついた黒色土層出土のものと接合。 | ち—12<br>黒色土層<br>30～40 |
| | 13 | | 底 | —<br>—<br>13.4 | 大鉢の底部資料。高台は逆台形状で、畳付けは平坦。畳付け外側を斜位に面取り。高台外面よりも、高台内面は約1cm浅い。高台外面の下部に1本の圏線を廻らし、その上方に雷文を廻らす。外面及び内面、内底面の文様は、構図など判然としない。淡灰緑色の失透釉が施され、外底面だけを露胎。 | せ—15・16<br>岩盤にへばりついた<br>黒色土層 |
| | 14 | | 口 | 25<br>—<br>— | 鍔縁口縁。胴部の方へ若干すぼまる。鍔部内側の稜は明瞭で、外端部は平坦。鍔外端部に細かな刻みを囲繞させ、鍔上面及び外面に施文するが、構図など不明。また、外面には凸帯様のものを廻らし、外面の文様を区画する。深緑色の失透釉が比較的厚く施され、全面にみられる。釉は全体的に細かな気泡が認められ、特に、鍔部に集中してみられる。鍔部の下面に貫入がみられる。素地は淡灰白色の細かなもので、細かい気泡が散見される。 | さ—17<br>崖部黒色混礫土層 |
| | 15 | | 胴 | —<br>—<br>— | 大鉢の胴部。両面に暗緑色のやや透明度のある釉が施されている。貫入はみられない。外面には蓮の花が認められ、内面文様は全体の構図不明。 | つ—13・14<br>岩盤付近<br>遺構集中部 |

## 第２表　青磁観察一覧(5)

単位：cm

| 図 | 番号 | 器種 | 部位 | 口径<br>器高<br>底径 | 観察事項 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 第23図・図版7 | 16 | 蓋 | 胴 | ―<br>―<br>― | 全体の形状は不明。合子の蓋のような形状の縁に斜め方向に口縁部をつくる。口縁部は約3cm立ち上がり、若干ラッパ状に開き、口唇部は丸味をもつ。口縁部下端には把手状のものが配されたようである。縁部を廻る2本の沈線は口縁部の付される箇所で途切れる。淡青緑色のやや透明度のある釉を施しており、内面は口縁部の付されている周辺を除いて露胎。内外面に細かく密な貫入が著しい。素地は淡黄白色のやや細かなものである。 | 表採 |
| | | 把手 | | ―<br>―<br>― | 把手。上部は若干反り気味になり、下部はゆるやかなカーブを描く。幅は上部が約2.5cm、下部が約3.5cm、厚味は約1cmである。表面中央付近には縦方向の凹線が、約5mmの間隔をあけて2本施されている。淡青緑色のやや透明度のある釉を施しており、表裏面とも細かく密な貫入が著しい。素地は淡灰白色のやや細かなもの。 | と―12<br>遺物集中部<br>0～20 |
| | 17 | 擂鉢 | 口～底 | 13.4<br>(7.5)<br>(7.0) | 口縁部資料。胴部が丸味をもち、口縁上端が逆三角形状に両側に張り出す。口唇部は外傾し、凹面をなす。口唇部の両側は丸味をもつ。外面の口唇下約2cmの箇所に2本の沈線を廻らし、胴下部にも1本の沈線を配す。淡灰緑色の失透釉が外面、口唇部、内面の口縁部に施され、内面の胴部は露胎。施釉の部分は細かく密な貫入が著しい。内面の櫛目は比較的深く施されるが雑である。素地は黄白色のやや細かなもの。 | せ―17<br>黒色土層<br>60～80 |
| | 18 | | 胴 | ―<br>―<br>― | 擂鉢の胴部片。全体の形状など不明。外面上部にだけ施釉。暗緑色の失透釉で、貫入はみられない。内面及び外面の下部は露胎。内面の櫛目は密に施されており、縦・横方向のものが認められる。露胎部は暗黄褐色を呈す。素地は淡灰白色のやや細かなものである。 | す―19<br>黒色土層<br>30～50 |
| 第24図・図版8 | 1 | 壺の蓋 | 口 | 内径<br>17.4 | 甲頂部・鍔縁部は欠失している。身受けの突起部分は下端部の方へ厚さを減じる。下端部は平坦で、両側のカドが丸い。推算径は約17.4cm。甲外面の文様、構図は不明。甲内面にも圏線様のものがみられる。釉は甲外面に厚く施し、内面の頂部付近には薄く施釉している。鍔縁下面から身受けの突起部及び内面中央付近までが露胎。内外とも貫入がみられる。 | て―12<br>コーラル層 |
| | 2 | | | 内径<br>16.9 | 1とほぼ同様な部位を残す資料である。身受けの突起はやや内傾気味につくり、下端部まで同じような厚さを有す。下端部は平坦で、両側のカドは丸い。突起部の推算径は17.8cm。外面の全面に文様、構図は不明。釉は外面に施され、内面は施釉のよう。 | す―18<br>遺物礫集中<br>黒色土層20～40 |
| | 3 | | | ―<br>―<br>― | 鍔縁部の小破片。鍔縁部が若干上方へ反り、端部は丸い。身受けの突起部はやや細めで、下端部を平坦にし、両側のカドを丸くしている。表面の文様、構図など不明。釉は表面から鍔端下端部まで施され、鍔下面から身受けの突起部までは露胎。鍔縁上面までは厚く施釉。 | 15トレンチ東側<br>レストハウス横岩上<br>北側撹乱層 |
| | 4 | 壺 | 口 | 20.4<br>―<br>― | 口頸部を約1.5cm直方向につくり、その下端から丸味をもって胴部へ移行する。頸部下端を若干削り込み、境目を強調。口唇部は平坦にするが、両側を斜位に面取りし、幅が狭い。外面の胴部文様は縦方向の幅広沈線で区画した中に描くようであるが、構図など判然としない。内面よりも外面に厚く施釉。口唇部とその外面部は露胎で、内面は釉剥ぎ。口唇部のほぼ全面に熔着痕が認められる。 | つ―11<br>地山直上岩盤<br>と―12遺物集中部 |
| | 5 | 壺? | 口 | ―<br>―<br>― | 壺?の口縁部。直方向に立ち上がる資料で、頸部外面の約1.5cm幅を深めに削りその両端に段をつくる。上端部は肥厚口縁をつくり、下端部は凸帯様に廻る。削り込んだ部分の文様は判然としない。暗緑色の失透気味の釉を内・外面に厚く施釉。粗い貫入が若干みられる。口唇部とその両側は雑に釉剥ぎしている。素地は淡灰白色の細かなもので、小さな気泡が多くみられる。 | す・せ―16<br>黒色土層<br>0～30 |
| | 6 | 壺 | 底 | ―<br>―<br>16.2 | 酒会壺の底部資料。畳付けを平坦にし、その両側を斜位に面取り。畳付け部は砂粒の痕が残り、凹凸が著しい。外面の蓮弁文は高台際まで施されている。内面は製作時の調整痕が明瞭に認められる。高台内面に2本の沈線を廻らす。外面は深緑色のやや透明度のある釉を厚く施し、内面は淡青緑色のやや透明度のある釉を薄く施す。畳付け及び両側の斜位に面取りした部分は露胎。内面の下端部に底面部が剥がれた痕が残る。 | つ―13<br>瓦礫層 |
| | 7 | 香炉 | 口～底 | 10.0<br>7.5<br>7.0 | 腰部で折れ曲り、口縁部上端は内側にカギ状に突出する。口唇部を若干くぼめる寄口口縁。高台は小さく低い。畳付けはやや斜位につくる。文様は見受けられない。畳付け部から外面、口唇部、内面の口縁部に施釉し、内面の胴部から内底面及び外底面は露胎。釉は青緑色の失透気味のもの。 | さ・し―17<br>黒色混礫土層<br>石敷直上 |
| | 8 | | 口 | 9.3<br>―<br>― | 口唇部が明瞭にくぼむ寄口口縁。外面口縁上端に1本の沈線を廻らす。釉は青緑色のやや透明度のあるもので、内面胴部は露胎。 | せ―17<br>地山直上 |
| | 9 | | 底 | ―<br>―<br>4 | 香炉の底部資料で、外底面の削りが非常に浅い。釉は青緑色の失透釉で、外面及び内底面に施釉しており、底部は露胎。貫入がみられる。 | さ―17<br>岩盤凹地内<br>地山直上瓦集中部 |
| | 10 | | | ―<br>―<br>6.7 | 腰部から下方に三角形状の足を付す。暗緑色のやや透明度のある釉を外面に施し、足の先端部及び内面は露胎。 | ち―13<br>石垣裏込め内 |
| | 11 | | | ―<br>―<br>6.9 | 外底面の削りが非常に浅い。腰部下方に三角形状の足を付す。先端部は平坦。腰部のカドは斜位に面取りし、その上部に1本の沈線を廻らす。足部の外面には何らかの動物を描く。青緑色の透明度のある釉が施されており、外底面、足の先端部及び内底面は露胎。 | せ―16<br>旧階段下の石垣<br>北側横黒色土層 |
| | 12 | 壺 | 口 | 11.4<br>―<br>― | 口縁部上端を水平方向に外側へ折り曲げ、その端部を若干上方へ摘み上げる。非常に薄手の資料で、全体の形状は窺えない。文様はみられず、資料の全面に暗緑色の透明釉が施される。粗い貫入がみられる。素地は暗灰白色の細かなものである。 | す・せ―16<br>黒色土層<br>0～30 |
| | 13 | 香炉 | 口 | 9.5<br>―<br>― | 口唇部が凹面をなす寄口口縁。口縁部上端が若干内彎気味になる。口縁部外面には1本の沈線が廻る。青緑色の透明度のある釉が、資料の全面にみられる。 | せ―16<br>炭層 |
| | 14 | | 底 | ―<br>―<br>4.4 | 腰部下方に付される足は、破損の為形状は不明。外底面の削りが浅く、縁部を斜位に面取する。暗緑色のやや透明度のある釉が、割と薄く施されている。内外面に施釉するが内底面の中央部付近、外底面は露胎。 | つ―12<br>黒色土層<br>20～30 |
| | 15 | | | ―<br>―<br>6.5 | 腰部に千鳥足を付すもので、先端部は平坦。足の上方には算木文の一部がみられる。深緑色の失透釉が内外面に施されるが、外面の方が厚く施釉される。千鳥足の先端部、内面胴下部から内底面にかけては露胎。 | 15トレンチ東側<br>レストハウス横岩上<br>北側撹乱層 |
| | 16 | 脚 | 口 | ―<br>―<br>3.4 | 脚部の資料。下方へやや開き気味の筒状を呈す。下端面はやや平坦をなす。外面の下端部に1本の沈線を廻らす。釉は灰緑色のやや透明度のあるもので、薄く施釉。内外面、下端面に細かく密な貫入が著しい。下端部では釉がはじけている部分もみられる。素地は暗灰白色でやや粗い。 | ち―14<br>遺物集中部<br>0～20 |
| | 17 | 香炉 | 口 | (14.4)<br>―<br>― | 口縁部上端を折り曲げるように外反させ、頸部がしまり胴部が球状に膨らむ。折り曲げ部上面は端部に若干の段を設け縁部としている。胴部には円形状の凹面部を何ヶ所かに配す。頸部から胴部の文様は構図など不明。深緑色の釉が、外面に厚く施釉される。 | せ―14<br>地山直上 |
| | 18 | | 胴 | ―<br>―<br>― | 香炉の腰部の資料。腰部が折れる筒状タイプのもので、折れ曲がり部外面を斜位に面取りしている。折れ曲がり部の約1.5cm上方に、約2mm幅の凸帯様のものを廻らす。青緑色の釉が外面の方に厚く施釉される。ち-14遺物集中部出土のものと接合。 | し―17<br>岩盤凹地内上層 |

## 第２表　青磁観察一覧(6)

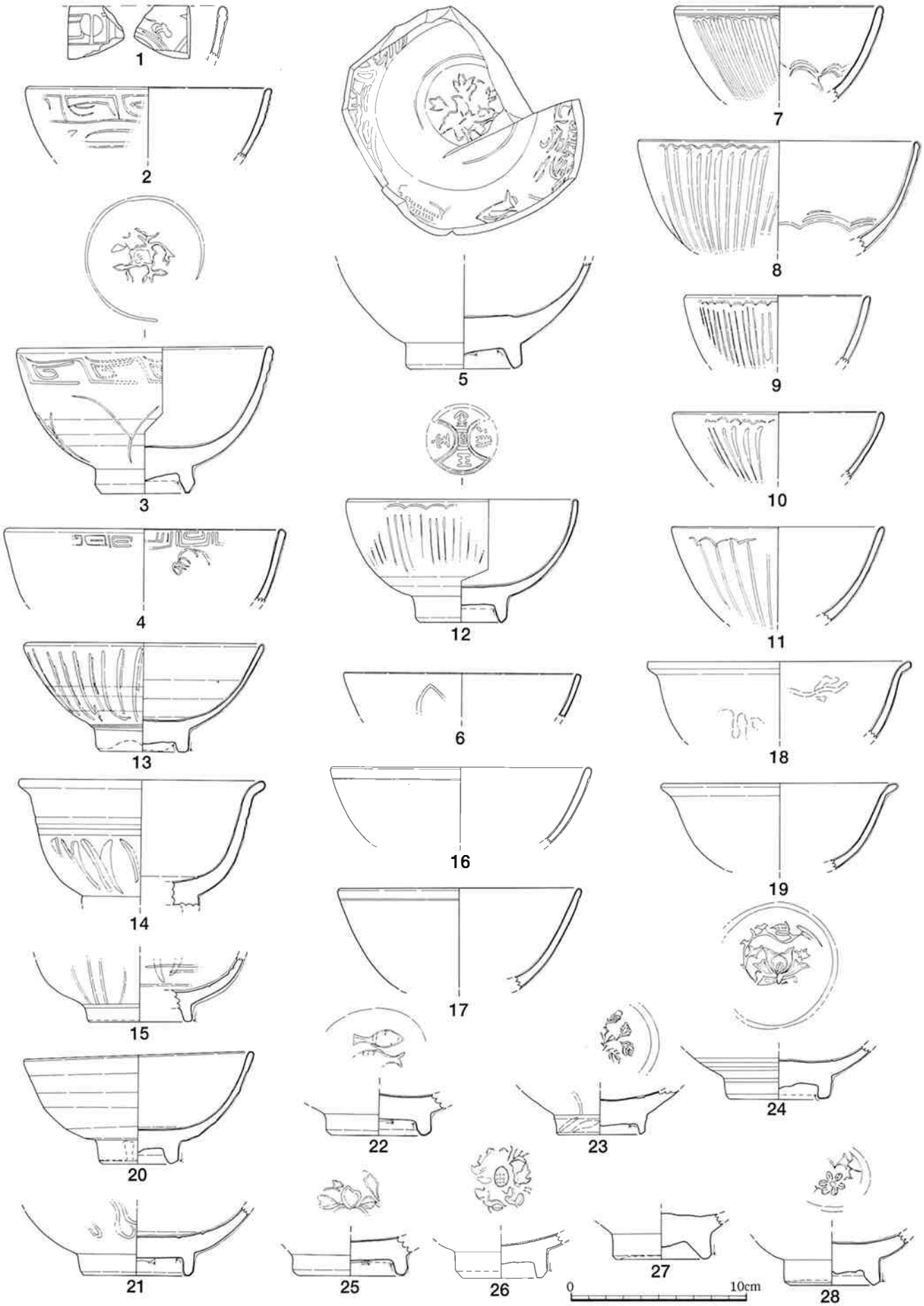
単位：cm

| 図 | 番号 | 器種 | 部位 | 口径<br>器高<br>底径 | 観察事項 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 第24図<br>図版<br>8 | 19 | 不明 | 口 | ―<br>―<br>― | 口唇部が尖る外反口縁。小破片のため器種は不明。淡青緑色の失透釉が資料の全面に施される。内面にのみ貫入がみられる。素地は淡灰白色のやや細かなものである。 | せ―17<br>黒色土層 |
| | 20 | 小碗 | 口 | 10.6<br>―<br>― | 器厚が約2mmと非常に薄手。口縁部上端が外反し、口唇部は尖り気味になる。外面に淡緑色のやや透明度のある釉、外面の口唇部から内面にかけては淡灰白色の透明釉を薄く施釉する。内外面に細かく密な貫入が著しい。素地は淡灰白色のやや細かなものである。本土産の可能性もある。 | せ―18<br>石灰岩礫集中部上面黒色土層40～50 |
| 第25図・図版9 | 1 | 水注 | 注口 | ―<br>―<br>― | 水注の注口?。先端部の方がより扁平になる。資料の下端部の外径が長径約1.9cm、短径約1.5cm、内径が長径約1.0cm、短径約0.6cmを測る。先端部の外径が長径約1.9cm、短径約1.3cm、内径が長径約1.0cm、短径約0.4cmである。表面に円形状の文様を連結して施す。深緑色のやや失透気味の釉を外面にのみ厚く施す。粗い貫入がみられる。素地は淡灰白色のやや細かなものであるが、内面の空洞部周辺は赤味を帯びる。 | ち―9<br>石段上試掘坑内<br>黒色土層 |
| | 2 | | 胴 | ―<br>―<br>― | 半円形状の筒形の装飾を外面に施す袋物のようであるが、全体の形状など窺えない。淡青緑色のやや失透気味の釉を内外両面に施すが、外面に厚く施釉する。貫入はみられない。素地は淡灰白色の細かなものである。 | て―11<br>岩盤上<br>黒色土層 |
| | 3 | 壺 | 底 | ―<br>―<br>6 | 高台を方柱状につくり、畳付けの外側を斜位に面取りし、畳付けは尖り気味になる。腰部は膨らまず、胴下部に凸帯状のものを廻らす。胴下部の凸帯下方にはラフなタッチの蓮弁文が廻る。凸帯上方にも施文するが、状況は不明。高台畳付け周辺部を除き、全釉。釉は淡青緑色でやや透明度がある。高台畳付け内側に砂粒の熔着あり。素地は淡灰白色の細かなものである。 | つ―14<br>瓦礫層 |
| | 4 | 瓶 | 胴 | ―<br>―<br>― | 胴下半部の資料。下端部の推算径が約10cmを測る。青緑色の失透気味の釉を内外面に施すが、外面の方が厚く施釉される。素地は淡灰白色のやや細かなものである。 | と―12<br>遺物集中部<br>西側畦 |
| | 5 | | 底 | ―<br>―<br>6.8 | 高台内側を外側へ開くように削る。畳付けは平坦。畳付け外側を雑に削り、高台外面のほぼ中央部に1本の沈線を廻らす。高台外面から畳付け部には、暗緑色の失透釉がみられる。外底面は露胎にしている。素地は淡灰白色のやや細かなものである。 | て―13<br>遺物集中部 |
| | 6 | | 把手 | ―<br>―<br>― | 全体の形状は不明。横断面をみると下端が横方向の、上端が縦方向の長方形状を呈す。上面のほぼ中央に縦方向の溝が走る。両面とも暗緑色の失透釉が施される。素地は淡灰白色の細かなものである。 | せ―17<br>黒色土層<br>30～50 |
| | 7 | | つなぎ | ―<br>―<br>― | 全体の形状は不明。図の左側が多角形をなし、右側はやや扁平になり、幅広くなる。右側が若干上方にカーブする。全面に暗緑色の失透気味の釉が施される。素地は灰白色の細かなものである。 | し―17<br>岩盤凹地内中層<br>瓦集中部 |
| | 8 | | 把手 | ―<br>―<br>― | 幅約2cmの扁平状の把手。表面に4本の浅い沈線を配す。釉は白く濁り、全面に細かく密な貫入が著しい。表面には細かな気泡も見受けられる。素地は灰白色のやや細かなものである。 | つ―10<br>地山直上清掃中 |
| | 9 | | 不明 | ―<br>―<br>― | ハの字状に開く脚の破片かとみられる。外面には段々になるような削り痕がみられる。外面の文様は、判然としない。内外面に淡青緑色の失透気味の釉が施される。両面とも細かな貫入が目立つ。素地は淡灰白色のやや細かなものである。 | た―14<br>岩盤にへばりついた<br>黒色土層 |
| | 10 | | 胴 | ―<br>―<br>― | 全体の形状は不明。ほぼ等間隔で幅広の浅い凹線様のものを廻らす。淡青緑色の失透気味の釉を施す。内外面に貫入がみられる。素地は淡灰白色のやや粗いものである。 | す・せ―13<br>遺構41 |
| | 11 | | | ―<br>―<br>― | 釣り鐘状の形状が想定されるものの、全体の状況は不明。資料の下端部の推算径は約13cmである。文様などはみられない。両面に淡青緑色のやや透明度のある釉が施されている。素地は淡灰白色のやや細かなものである。 | つ―13<br>黒色土層 |
| | 12 | | | ―<br>―<br>― | 何かを型づくったもののようであるが、形状は不明。ほぼ全面に細かな文様が施されている。両面に暗緑色の失透気味の釉が丁寧に施される。細かく密な貫入が目立つ。素地は淡灰白色のやや細かなものであるが、橙褐色を呈す部分も見受けられる。 | た―13<br>石垣上黒色土中 |
| | 13 | | | ―<br>―<br>― | 形状不明。表面に陽刻の文様を配す。資料の表面中央付近に横方向の陽刻線を配し、その下方に渦巻き状、上方には左傾の斜線と点描を組み合わせている。中央付近の右端には装飾を貼り付けた痕跡が認められる。内外面に暗緑色の失透気味の釉を施している。素地は淡灰白色の細かなものである。 | ち―13<br>瓦礫層黒色土層 |
| | 14 | 壺 | 口 | 7.6<br>―<br>― | 口縁部上端が丸味を帯び、若干膨らむ無頸壺。推算口径からすると小型のものかとみられる。外面と内面の口縁部に灰釉が施されている。口唇部及びその内外面を釉剥ぎし、内面の胴部は露胎。施釉の部分は細かく密な貫入が著しい。素地は淡灰白色の細かなものである。全体的な特徴をみると沖縄産施釉陶器の可能性もある。 | す―18<br>遺物礫集中部<br>黒色土層 |
| | 15 | その他 | 口 | 5.2<br>―<br>― | 正六角形の筒状の形状が想定される。口縁部がカギ状に内側へ折れ曲がり、直径約4cmの円形を呈す。口唇部は平坦で両側の稜は比較的明瞭。淡青緑色の失透釉が外面から内面の口縁部に施される。内面は露胎。口縁部に近い所は非常に薄い。素地は乳白色の細かなもので、本土産の可能性もある。 | せ―17<br>黒色土層<br>50～60 |
| | 16 | 小鉢 | 口 | 7<br>―<br>― | 蓋付きの小鉢とみられる。口縁端部を段切りして蓋受けをつくる。口縁部から胴部の方へ丸味をもち、外面にほぼ等間隔に縦方向の沈線を囲繞させる。みかん様の形状をなす。外面には淡青緑色の失透釉を施す。内面の状況は判然としない。蓋受け部は銹釉を塗布。素地は乳白色の細かなものである。本土産の可能性も大きい。 | せ―17<br>黒色土層<br>80～90 |
| | 17 | その他 | 底 | ―<br>―<br>― | 角型を呈す底部資料とみられる。器種など不明。下端部の方へ若干開き気味になる。コーナー部は斜位に面取りする。内外面に暗緑色の失透気味の釉を施す。畳付けは平坦で、その両側を釉剥ぎする。畳付け部に砂粒の熔着。素地は淡灰白色の細かなものである。 | そ―13<br>地山直上 |
| | 18 | 香炉 | 胴 | ―<br>―<br>― | すかしを有する筒状の形状を呈すもののようである。資料の下部にラフな沈線を廻らし、その上方に亀甲文を描き、その中央部にすかしを配する。その下方約5mmの箇所には、露胎の部分がみられ、花文を型取ったものを貼り付けている。露胎部は器面を廻り、すかしも配されるものとみられる。亀甲文を施す箇所は淡青緑色のやや透明度のある釉を内外面に施す。素地は淡灰白色のやや細かなものである。 | せ―16<br>石垣下茶褐色<br>混礫土層3層 |
| | 19 | | 蓋 | 内径<br>16.8 | すかしを有する蓋。縁部を約5mm内側に切り込み、そこから斜め方向に突起部をつくり、身受け部としている。身受け部の上方約2cmの箇所から頂部の方へすかしを設ける。すかしの間には草文があしらわれている。深緑色の失透気味の釉を表・裏面に丁寧に施釉。身受け部と突起部内側を釉剥ぎ。素地は灰白色の細かなもの。そ-11撹乱土壙、す・せ-18黒色混礫土層出土のものと接合。 | せ―16<br>石垣下ち―12<br>黒色土層 |

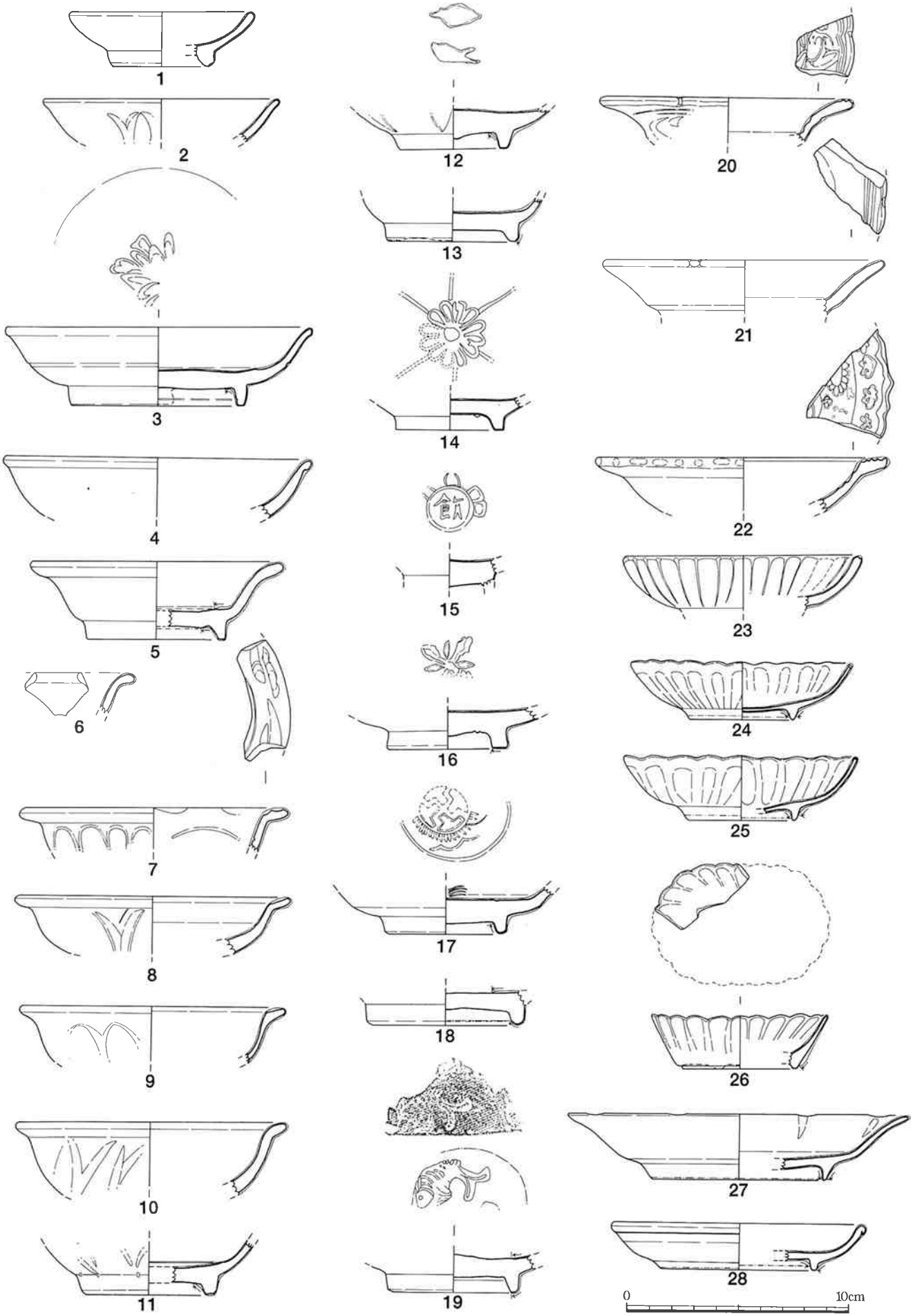
## 第3表　青磁出土状況

| 器種・分類 | | | 出土地 | トレンチ | 表採・撹乱 | 黒色土層 | 黒色混礫土層 | 地山直上 | 遺構 | こ-17 近代土壙 | さ・し-17 岩盤凹地内 黒色混礫土層 | 瓦集中部 | 崖部黒色混礫土層 | せ・そ-15・16・17 旧階段 黒色土層 | 黒色混礫土層 | 横黒色土層 下石垣北側 | 横2列付近黒色混礫土層 | 焼土炭集中部 下の石垣横の | せ-18 石灰岩礫集中部 | そ-12・13・14 石列遺構の残土中 | 黒色土層 石垣横の石列前面 | そ-18 地山直上 石敷き遺構下 | た・ち-12・13・14 褐色混礫土層 黒色土層・黒・茶 | ち-9 石段上黒色土層 | ち-11 北側畦 | ち-13・14 黒褐色土層 石積と岩盤の間 | 瓦礫層 | て・と-11・12・13 岩盤上黒色土層 | 遺物集中部 | 不明 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 碗 | ①雷文帯 | 直口 | 口縁 | | 2 | | | 2 | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | 1 | | | | | | 1 | | 8 |
| | | | 胴部 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | 底部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 |
| | ②蓮弁文 剣先線刻 | 直口 | 口縁 | | | | | 2 | 5 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 8 |
| | | | 胴部 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | 口縁 | 1 | | 10 | 6 | 18 | | | | 1 | 1 | 3 | 2 | | | 1 | | 1 | 1 | 1 | 9 | | | 3 | 1 | 1 | 1 | 10 | 71 |
| | | | 胴部 | 2 | 1 | 6 | 2 | | 2 | | | 2 | | 2 | 6 | 1 | | | | | | | 6 | | | 1 | | 2 | 2 | 2 | 37 |
| | | | 底部 | | | | | 1 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 3 |
| | ③無文 | 直口 | 口縁 | 4 | 1 | 9 | 5 | 14 | 21 | | | | 2 | 7 | 4 | 2 | 1 | | 1 | | | 1 | 7 | | | 1 | | | 2 | | 82 |
| | | | 胴部 | 10 | | 10 | 5 | 11 | 21 | | | 3 | 2 | 5 | 6 | 1 | 1 | | | | | | 4 | | | 3 | | 1 | 3 | 6 | 92 |
| | | | 底部 | 1 | | 3 | 1 | | 5 | | | | 1 | | 1 | | | | | | | | 2 | | | | | | 1 | | 15 |
| | | | 口～底 | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | 外反 | 口縁 | 6 | 1 | 5 | 3 | 5 | | | | | 1 | 2 | 2 | | | | 1 | | | 1 | 6 | | | | 1 | 3 | 1 | 3 | 41 |
| | | 玉縁 | 口縁 | | | 3 | 2 | 5 | 2 | | | | | | 2 | | | | | | 1 | | 3 | | | | | | | 1 | 19 |
| | 有文 | 外反 | 口縁 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 2 |
| | | 玉縁 | 口縁 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 2 |
| | 内底 | 印花 | 底部 | 1 | | 3 | | 5 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 | | | 1 | 2 | 14 |
| | | 無文 | 底部 | 1 | 1 | 1 | | 6 | | | | | 1 | | 4 | | | | | | | | 2 | | | | 3 | | 4 | 3 | 26 |
| | 高台 | 不明 | 底部 | 1 | | 2 | | 3 | | | | 1 | | 1 | | | | | | | | | 2 | | | | 2 | | 2 | | 14 |
| | 福建・広東系 | 無釉 | 底部 | | | 1 | | | | | | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 4 |
| Ⅲ | ①直口 | 蓮弁文 | 口縁 | 1 | 1 | 3 | 1 | 2 | | | | 1 | | 1 | | | | 1 | | 1 | | | 1 | | | | | | 3 | | 16 |
| | | | 胴部 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | 無文 | 口縁 | | | | 3 | 3 | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | 1 | 1 | 9 |
| | | | 胴部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 |
| | ②外反 | 蓮弁文 | 胴部 | 1 | | 1 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | 4 |
| | | | 底部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 |
| | | 無文 | 口縁 | 4 | 1 | 2 | 3 | 3 | 1 | | | | | 1 | 2 | | | | | | | | 2 | | | 1 | 3 | | 2 | 3 | 28 |
| | | | 胴部 | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 他 | 型押し | 口縁 | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | 無釉 | 底部 | 1 | 1 | 2 | | 2 | | | | | | 1 | | | 1 | | | | | | 2 | | | | | | | 1 | 11 |
| | | 蛇の目 | 底部 | | | 2 | 1 | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 6 |
| | | 不明 | 口～底 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | 口縁 | | | | | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| | | | 胴部 | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | | 底部 | | | 1 | | 2 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 |
| 盤 | ①直口 | 有文 | 口縁 | | | *1 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | *2 1 | | | | | 2 |
| | | 無文 | 口縁 | | 1 | | 1 | 1 | | | | 1 | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | 6 |
| | | | 頸部 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 1 | 1 | 3 |
| | ③輪禄 | | 口縁 | | | 4 | 1 | | 1 | | | | | | 1 | | | | | | | | 3 | 1 | | | | | | 1 | 12 |
| | | | 底部 | | | 1 | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 4 |
| | ④稜花 | | 口縁 | 1 | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | 他 | 有文 | 胴部 | | | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 | | | | | 4 |
| | | 無文 | 胴部 | 1 | 1 | 2 | | 1 | | | | 1 | | 1 | 2 | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | 1 | 12 |
| | | 不明 | 口縁 | | | 1 | | | 1 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| | | | 底部 | | | | | | 1 | | | | | | 1 | | | | | | | 1 | | | | | | | | 1 | 4 |
| 鉢 | 直口 | 無文 | 口縁 | | | | 1 | 1 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 5 |
| | | 劃花 | 底部 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 外反 | 有段 | 口縁 | 1 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | 有文 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | 1 |
| | 他 | 不明 | 胴部 | | | | | 2 | 1 | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | 1 | | | | | 6 |
| | | | 底部 | | | 1 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 1 | 4 |
| 酒会壺 | | | 口縁 | | | 1 | | 1 | 3 | | | | | 1 | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | | 8 |
| | | | 胴部 | 1 | | | 2 | 3 | 6 | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | 1 | | | | 1 | 16 |
| | | | 底部 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 蓋 | | | 口縁 | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| 壺 | | | 胴部 | 2 | | 2 | 1 | 1 | | | | | | | 3 | | | | | | | | 2 | | | | 1 | | 1 | 1 | 14 |
| 瓶 | | | 胴部 | 3 | 1 | 6 | 2 | 1 | | | | | 4 | | 5 | 1 | 1 | | | | | | 4 | | | 1 | | | 1 | 5 | 35 |
| | | | 底部 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 香炉 | | | 口縁 | | | | | | 1 | | | | | 1 | | | | | | | | | 1 | | | | | | 1 | | 4 |
| 把手 | | | 耳 | | | | | 1 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| 他 | | | 口縁 | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | 胴部 | 2 | | 5 | 3 | 8 | | 1 | 1 | 1 | 3 | 5 | 5 | | | 1 | | | | | 4 | | 1 | 1 | | | 2 | 1 | 44 |
| 不明 | | | 口縁 | | 1 | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | 4 |
| | | | 胴部 | 4 | | 2 | 4 | 5 | 8 | 1 | | | 2 | 3 | 1 | 1 | | | | | 1 | | 4 | | | | | | 2 | 2 | 40 |
| 合計 | | | | 51 | 14 | 94 | 49 | 114 | 93 | 2 | 1 | 12 | 13 | 43 | 61 | 8 | 5 | 4 | 2 | 2 | 3 | 5 | 70 | 2 | 1 | 17 | 11 | 7 | 40 | 49 | 775 |

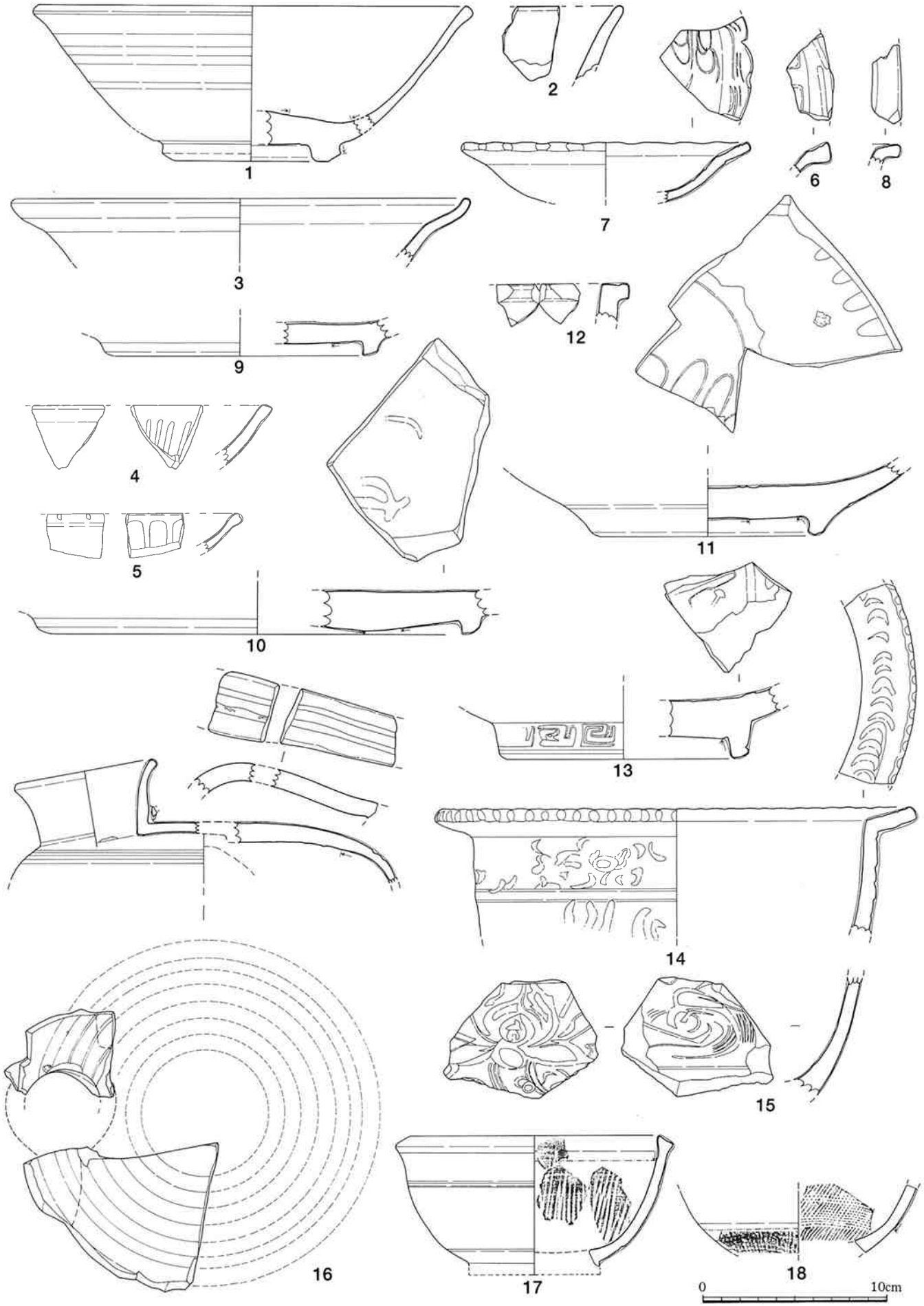
注:第21図～第25図にある遺物は集計に含めていない(観察一覧表を参考)
*1:櫛目、*2:劃花


1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
0
10cm

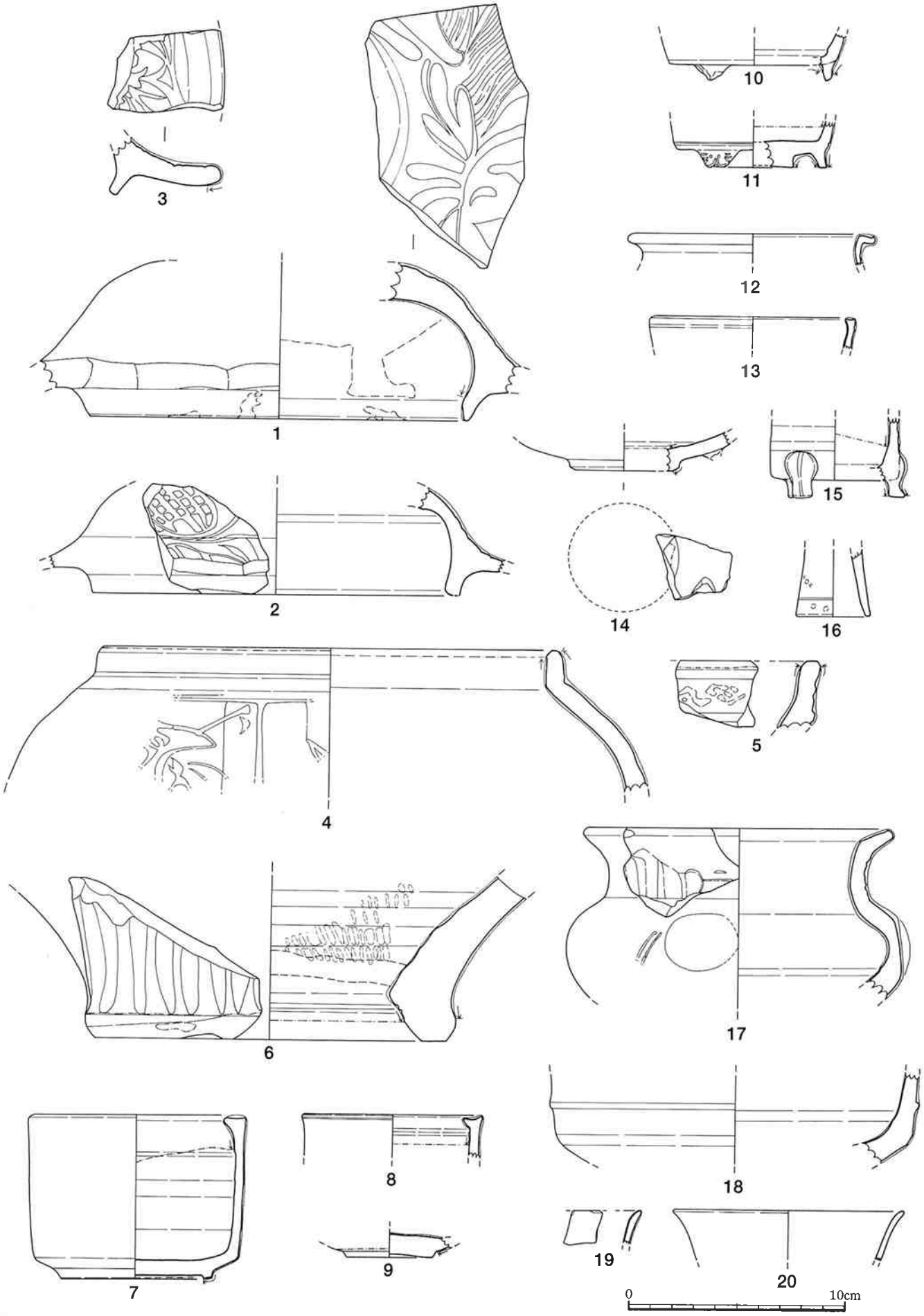
**第21図　青磁（1）** 碗


1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
0
10cm

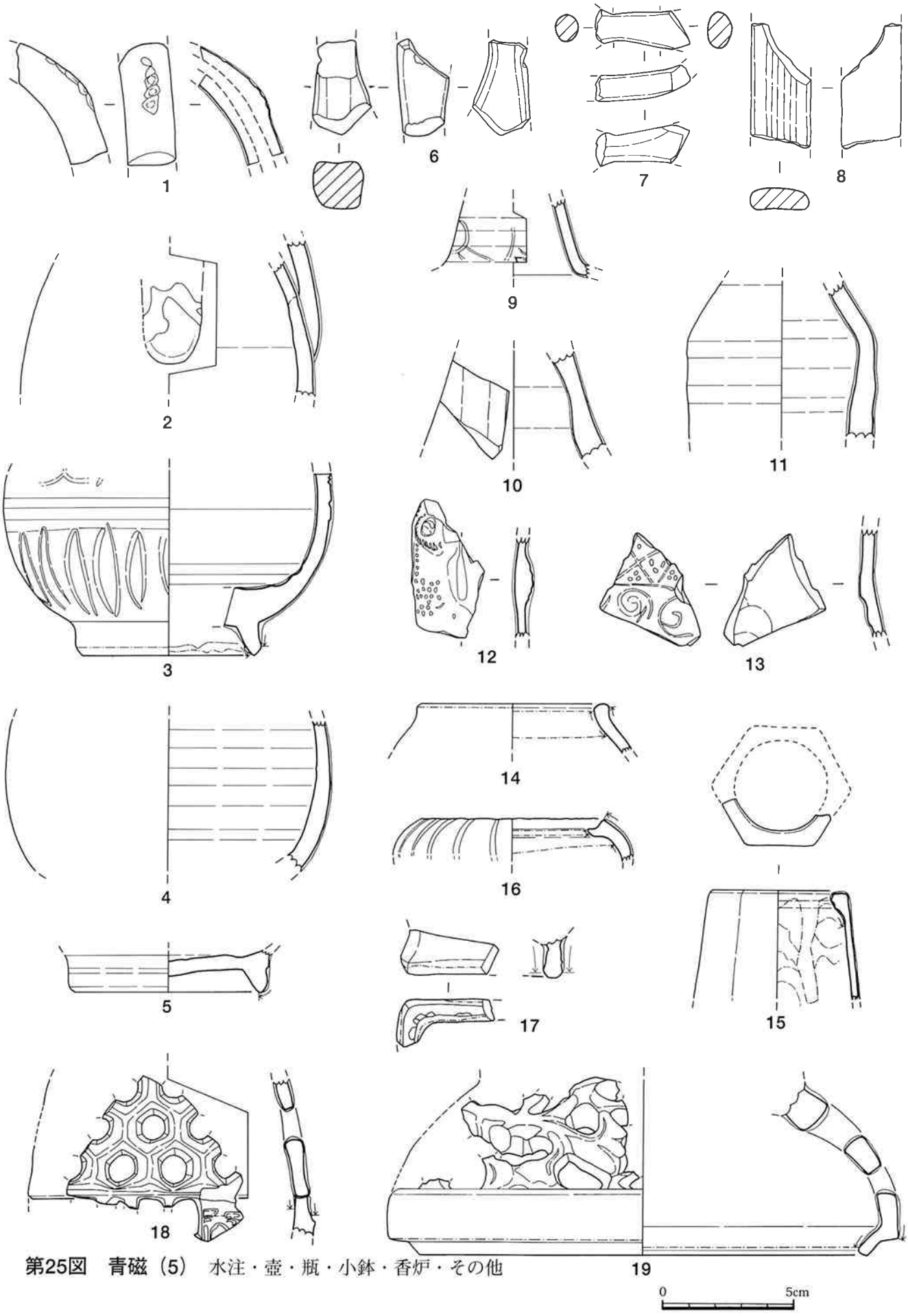
第22図　青磁（2）　皿




**第23図　青磁（3）** 鉢・盤・蓋・把手・擂鉢




**第24図　青磁（4）**　壺の蓋・壺・香炉・脚・小碗




**第25図　青磁（5）** 水注・壺・瓶・小鉢・香炉・その他

## 第２節　白磁

白磁は碗、小碗、皿、杯、香炉、壺、瓶等が出土した。各種とも中国徳化窯の型成形が主流で、主に黒色土層、黒色混礫土層、地山直上から出土し、近世遺構からの出土は少ないようである。

**碗**は直口口縁と外反口縁があり、直口口縁は、①内底に印花文がある（第26図２・３・４・５）、外反口縁は①内外が無釉のもの（同図６）、②内底に印花文（同図９・10）、③型作りのものがある。

**小碗**は型押しが多いが口縁が口禿、波状口縁、外反口縁などが見られ、底部は蛇の目釉剥ぎになるものもある。

**皿**は直口の切り高台、菊皿、型成形、灯明皿がある。小皿の中には直口のベタ底で内面のみ施釉する（26·27·28）ものは、灯明皿の可能性があり、若干の厚みがみられる。類例は湧田古窯跡[註1]（Ⅳ）にある。外反口縁は腰部が丸味を持つもの、腰折れになるものがあり、後者の方が外反が強い。底部は碁笥底と高台があり、内底には蛇の目釉剥ぎも見られる。

**杯**は直口口縁（第27図25）、外反口縁(第27図26·27·28)、八角杯などがある。

**香炉**は（第27図33）と32が見られ、後者は小振りで底に孔があり、別の用途も考えられる。

**壺**は玉縁口縁（第27図31）と胴部（同図29）があり、後者は削りが明瞭に見られる。

**瓶**は（第27図30）で胴部のみで、龍の沈線文が施されている。

<註>

註１．島袋洋　他　「湧田古窯跡（Ⅳ）」『沖縄県文化財調査報告書第136集』沖縄県教育委員会　1999.3　p 35

### 第４表　白磁出土状況

| 器種 | 分類 | 部位 | トレンチ | 黒色土層 | 表採・撹乱 | 地山直上 | 黒色混礫土層 | 遺構 | さ・し−17 黒色混礫土層 岩盤凹地内 座部 | さ・し−17 黒色混礫土層 岩盤凹地内（無記載） | さ・し−17 黒色混礫土層 岩盤凹地内 瓦部集中 | せ・そ−15·16·17 上部階段の下 | せ・そ−15·16·17 旧階石列 段横下2 | そ−13·14 壁面にある漆喰の方形遺構 | た−12 馬頭骨の近くよりの地山直上 | ち−9 石段下土層黒色 | ち−14 石積の間と土層黒褐色岩盤 | ち·つ−11 北側畦 | ち·つ−13·14 瓦礫層 | 近代遺構 こ−17 | 近代遺構 そ−17 | 近代遺構 て·と−11·12·13 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 碗 | 直口 | 口縁 | | 2 | | 3 | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | 7 |
| 碗 | 福建 | 口縁 | | 2 | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 4 |
| 碗 | タイプ | 底部 | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 1 | 2 |
| 碗 | | 口縁 | | 3 | | 1 | | 12 | | | | | | | | | | | | | | | 16 |
| 碗 | | 胴部 | | | | | | 5 | | | | | | | | | | | | | | | 5 |
| 碗 | | 底部 | | 1 | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| 小碗 | 外反 | 口縁 | | 1 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| 小碗 | 直口 | 口縁 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 小碗 | 内彎 | 胴部 | | 1 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| 小碗 | 型作り | 底部 | | 2 | | | 5 | 1 | 1 | | | | | 1 | | | | | | | | 1 | 11 |
| 小碗 | | 口縁 | | 3 | | 1 | 3 | 2 | | | | | 1 | | | | | | | | | | 10 |
| 小碗 | | 底部 | | 2 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| 皿 | 切り高台 | 口～底 | | | | 1 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | 2 |
| 皿 | 切り高台 | 口縁 | | 3 | | 4 | 2 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 10 |
| 皿 | 切り高台 | 胴部 | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| 皿 | 切り高台 | 底部 | | 2 | | | 1 | 1 | | | | | 1 | | | | | | | | | | 5 |
| 皿 | 型押し | 口～底 | 2 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| 皿 | 型押し | 口縁 | 3 | 19 | | 13 | 8 | 7 | 3 | | | 1 | 7 | | 1 | | | | | | 1 | | 63 |
| 皿 | 型押し | 底部 | 1 | 10 | | 4 | 2 | 4 | 1 | 1 | | | 3 | | | | | | | | | | 26 |
| 皿 | 菊皿 | 口～底 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 皿 | 菊皿 | 口縁 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 皿 | 菊皿 | 胴部 | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| 皿 | 菊皿 | 底部 | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| 皿 | 内彎 | 口～底 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 皿 | 灯明 | 口縁 | | 2 | | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 4 |
| 皿 | 灯明 | 底部 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 皿 | | 口縁 | | | | | 2 | 14 | | | | | | | | | | | | | | 1 | 17 |
| 皿 | | 胴部 | | 4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 |
| 皿 | | 底部 | | 4 | | | | 9 | | | | | | | | | | | | | | | 13 |
| 壺 | | 口縁 | | 2 | | ＊1 | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 5 |
| 壺 | | 胴部 | 2 | 8 | | 4 | 3 | 1 | 1 | | | | | 1 | | 1 | | 3 | | | | 2 | 26 |
| 盤 | | 底部 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 瓶 | | 胴部 | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| 瓶 | | 底部 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 鉢 | | 胴部 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 杯 | | 外反口縁 | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| 杯 | | 口～底 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 杯 | | 胴部 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | 1 |
| 杯 | | 底部 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 香炉 | | | | | | | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| 型物 | | 底部 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 他 | | 口縁 | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| 他 | | 胴部 | 2 | 19 | | 8 | 8 | 22 | 1 | | 1 | | 2 | | | | | | 1 | 1 | | | 65 |
| 他 | | 底部 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 合計 | | | 11 | 102 | 1 | 43 | 47 | 88 | 9 | 1 | 2 | 1 | 15 | 2 | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 | 1 | 1 | 5 | 336 |

注　＊断面四角

## 第５表　白磁観察一覧（１）

単位：cm

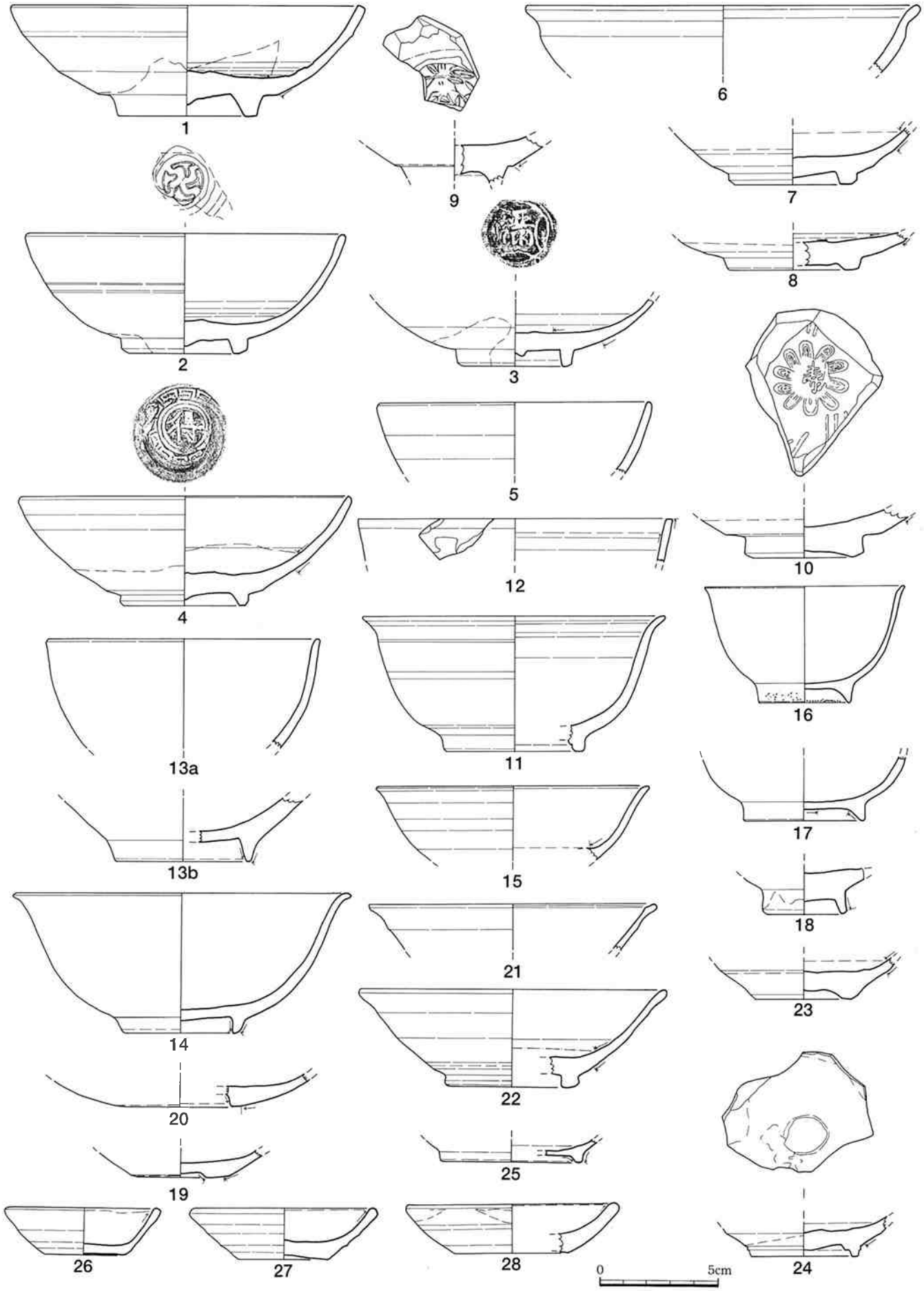
| 図 | 番号 | 器種 | 部位 | 口径 | 器高 | 底径 | 観察事項 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第26図・図版10 | 1 | 碗 | 口～底 | 18.2 | 4.8 | 5.9 | 直口口縁、三日月高台。**施釉**：褐色、貫入。内外底無釉。**胎土**：灰褐色。内外に明瞭な轆轤痕。福建・広東か。 | せ-17旧階段下の石垣横の焼土の炭集中部110～130 |
| | 2 | | 口～底 | 13.9 | 5.2 | 5.7 | 中。直口口縁。腰部は丸味。**胎土**：乳褐色。内外面に轆轤痕顕著。**施釉**：内外とも底部は無釉。**文様**：内底「卍」の陽刻、スタンプ。福建・広東か。 | せ-16黒色混礫土層120～130 |
| | 3 | | 底 | ― | ― | 4.5 | 高台の外縁削り。**施釉**：乳褐色、外面一～高台脇、内底一無釉。**胎土**：乳褐色、**文様**：内底「普？」。福建・広東か。 | す-15地山直上遺構48・49 |
| | 4 | | 口～底 | 14 | 4.7 | 6.2 | 直口口縁。**施釉**：乳褐色、内外底無釉。**文様**：内底「得」の陰刻、スタンプ。**外面**：轆轤痕が明瞭。**胎土**：乳褐色。福建・広東か。 | す-18方形遺構1 |
| | 5 | | 口 | 11.2 | ― | ― | 直口口縁。**施釉**：灰白釉。外面に轆轤痕。**胎土**：乳白色。 | す-18遺物・礫集中黒色土層20～40 |
| | 6 | | 口 | 17 | ― | ― | くびれて外反、断面丸味。外面轆轤痕。**施釉**：灰白色。**胎土**：灰褐色、微細粒、気泡有り。 | せ-16黒褐色混礫土層 |
| | 7 | | 底 | ― | ― | 5.1 | 高台外縁削り。**施釉**：内外底無釉。**胎土**：灰白色微細粒、露胎部窯変、赤褐色。 | せ-16上階段の下部 |
| | 8 | | 底 | ― | ― | 5.6 | 高台は内外縁に削る。**施釉**：灰釉、外面は腰部～底部無釉。内底は蛇の目。**胎土**：灰褐色。皿の可能性もあり。 | せ-18黒色土層 |
| | 9 | | 底 | ― | ― | ― | 高台方柱状。**施釉**：灰白釉、内外底無釉。**文様**：内底印花文。**胎土**：白色。 | し-17岩盤凹地内中層瓦集中部 |
| | 10 | | 底 | ― | ― | 4.3 | ベタ高台に若干上げ底。**文様**：内底中央に「寿」と輪花状に陰刻する。**施釉**：薄い灰釉腰部まで。内底総釉。**胎土**：灰白色。 | と-12遺物集中部 |
| | 11 | | 口～底 | 12.9 | 5.8 | 5.3 | 外反口縁、底部丸味。**施釉**：乳褐色、外底無釉。**胎土**：乳褐色。気泡有り。３～４個のだんごをおいて、根積み、焼成不良のタイプ。**産地**：中国徳化窯の型作り。**時代**：17世紀。 | す-15地山直上 |
| | 12 | | 口 | 13.4 | ― | ― | 口禿、直口口縁。外面に文様の痕。**施釉**：白釉。**胎土**：白色粒。色絵の可能性。 | そ-13遺構52 |
| | 13a | | 口 | 11.7 | ― | ― | 直口口縁。**施釉**：失透性灰白色。**胎土**：灰白色、黒色微細粒。13bと同タイプ。 | せ-17黒褐色混礫土層 |
| | 13b | | 底 | ― | ― | 5.8 | **施釉**：失透釉。灰釉。畳付け無釉。**胎土**：灰褐色。**焼成**：やや悪い。 | せ-17黒褐色混礫土層 |
| | 14 | | 口～底 | 14.6 | 6.1 | 4.9 | 型成形。外反口縁。腰部に削り痕。**施釉**：青白釉、畳付け無釉。一部火を受けて釉に光沢がない。**胎土**：白褐色。 | す-18遺構72 |
| | 15 | 小碗 | 口 | 11.6 | ― | ― | 外反口縁、舌状。外面は胴下部に削り、内底は気泡ができ、ザラザラが顕著。**施釉**：青白色、内底無釉。**器厚**２㎜。**胎土**：白色、気泡 | せ-16・17石垣周辺の清掃の際出土崩土中より |
| | 16 | | 口～底 | 8.5 | 5 | 3.9 | 型成形。外反口縁、口禿。腰部は丸味、薄手。高台に砂付着。**施釉**：畳付無釉。**胎土**：白色。 | す-16・17撹乱層 |
| | 17 | | 底 | ― | ― | 5.1 | 型成形。**施釉**：白釉、外底の一部無釉。**胎土**：乳褐色。**焼成**：やや悪い。 | し-17崖部墓口？前面黒色混礫土層 |
| | 18 | | 底 | ― | ― | 3.2 | 高台は外縁を斜めに削る。**施釉**：青灰釉、外面一～高台。内面一総釉。**胎土**：白色、気泡は少ない。破損部の剥離の状況から円盤状製品の可能性。 | さ-17・18崖部 石垣状遺構上黒色混礫土層 |
| | 19 | 皿 | 底 | ― | ― | 4.2 | 小。碁笥底。**施釉**：青白色、畳付け無釉。**胎土**：乳白色。形状から染付の可能性もある。 | せ-16黒色混礫土層110～120 |
| | 20 | | 底 | ― | ― | 4.2 | 碁笥底。**施釉**：畳付け無釉、貫入有り。**胎土**：白色、気泡有り。 | そ-14遺構49 |
| | 21 | 小碗 | 口 | 12.2 | ― | ― | 口折れ。外面に稜線。**施釉**：乳褐色。**胎土**：乳褐色。細粒。 | せ-16旧階段下の石垣北側横黒色土層10～20 |
| | 22 | 皿 | 口～底 | 13 | 4.2 | 5.6 | 中。外反口縁。**施釉**：灰色、内外底無釉。**胎土**：乳褐色。 | せ-16黒色混礫土層炭層上 |
| | 23 | | 底 | ― | ― | 4.2 | 小。碁笥底。**施釉**：灰白色、内外底無釉。**胎土**：白色細粒、気泡有り。 | せ-17黒色土層30～50 |
| | 24 | | 底 | ― | ― | 4.5 | 三日月高台で、内底は盛り上がる。**施釉**：灰白色の失透釉。**胎土**：気泡少ない。 | ち-14遺物集中部0～20 |
| | 25 | 瓶 | 底 | ― | ― | 5.8 | 型成形。**施釉**：乳白色、畳付け無釉、貫入有り。**胎土**：乳褐色。 | 15トレンチ東側岩上黒色土層0～10 |
| | 26 | 灯明皿 | 口～底 | 6.7 | 2 | 3.5 | 小。直口口縁、断面は丸味。ベタ底。**施釉**：白色の失透釉、外面露胎。 | せ-17黒褐色混礫土層110～120 |
| | 27 | | 口～底 | 8 | 2.2 | 3.8 | 小。直口口縁、口唇は若干膨らむ。ベタ底、外底は若干上がる。**施釉**：内面灰釉、外底露胎。**胎土**：灰白色。 | た-14黒色土層20～40 |
| | 28 | | 口～底 | 11.4 | 2.5 | 5.8 | 小。直口口縁、ベタ底。厚手。**施釉**：外面露胎、内面灰釉。**胎土**：灰褐 | せ-16・17旧階段下石垣横黒色混礫土層 |

## 第５表　白磁観察一覧（２）

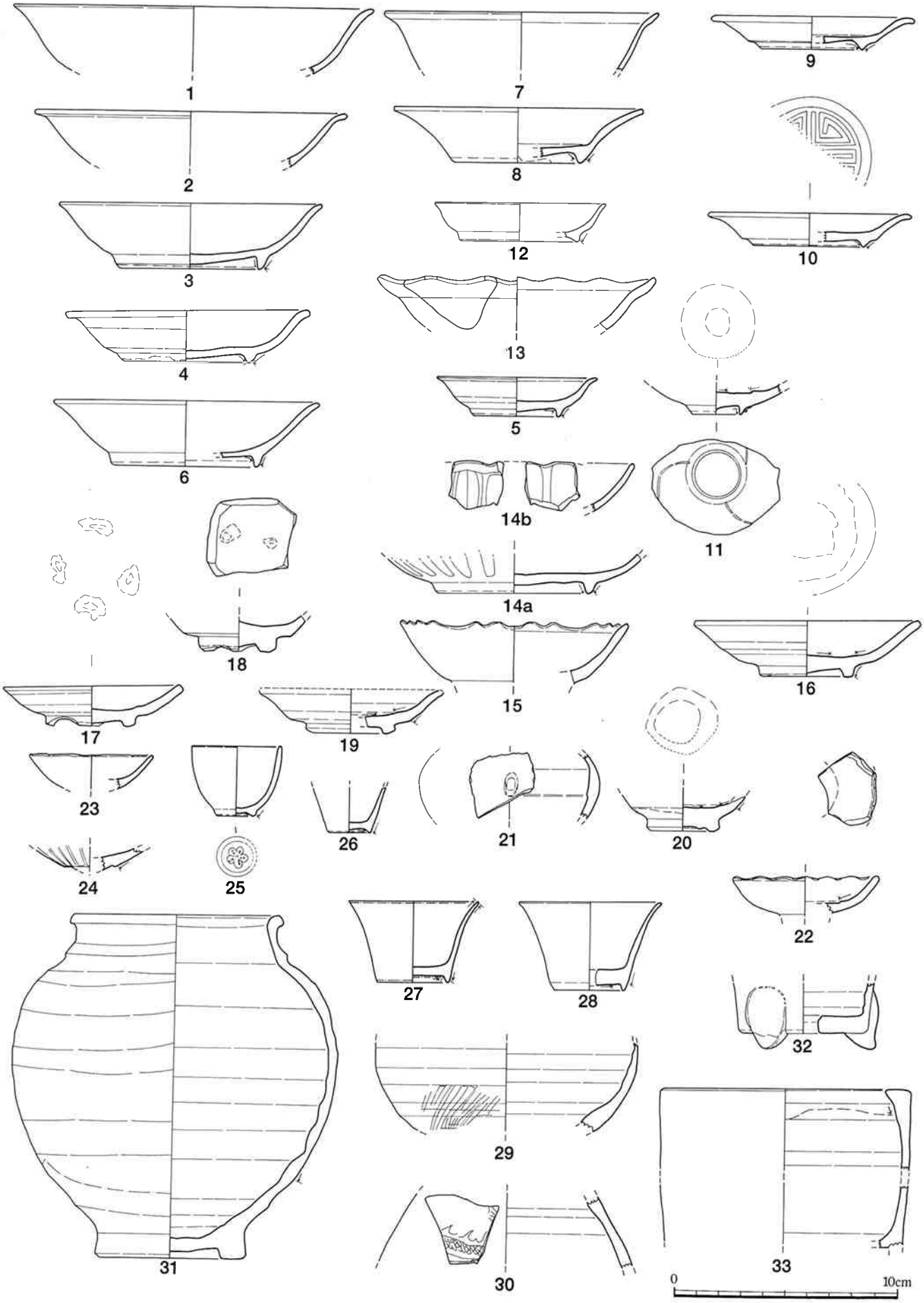
単位：cm

| 図 | 番号 | 器種 | 部位 | 口径 | 器高 | 底径 | 観察事項 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第27図・図版11 | 1 | 皿 | 口 | 16.6 | — | — | 大。型成形、やや外反。薄手。**施釉**：白色の失透釉。**胎土**：乳白色。気泡が少ない。 | ち-12黒色土層30～40 |
| | 2 | | 口 | 14.4 | — | — | 外反。口唇若干膨らむ。**施釉**:失透釉、**胎土**:乳白色、気泡は少ない。 | そ-17撹乱土壙 |
| | 3 | | 口～底 | 12 | 3 | 6.4 | 型成形。外反口縁。高台外縁削り。**施釉**：灰白色の失透釉、畳付け無釉。**胎土**：灰白色。 | ち-11遺構134 |
| | 4 | | 口～底 | 11.2 | 2.4 | 6 | 型成形。外反口縁。**施釉**：灰白釉、畳付け無釉、外底内貫入。**胎土**：灰白色、気泡有り。 | せ-17黒褐色混礫土層 |
| | 5 | | 口～底 | 7.4 | 1.8 | 4 | 小。腰部に削り。**施釉**：乳白色、貫入、畳付け無釉。**胎土**：乳白色。 | す-15地山直上 |
| | 6 | | 口～底 | 12.2 | 3 | 6.4 | 型成形。外反口縁、口唇は若干膨らむ。**施釉**：畳付け無釉。**胎土**：灰白色。 | た-12地山直上 |
| | 7 | 碗 | 口 | 12.7 | — | — | 小。型成形。外反が強い、舌状。腰部は「く」字状に曲がる。高台断面「く」字状。**施釉**：白釉、畳付け無釉。**胎土**：白色。 | た-12地山直上 |
| | 8 | 皿 | 口～底 | 11.4 | 2.5 | 5.8 | 小。型成形。外反口縁、腰部は碁笥底風になる。**施釉**：白色釉、畳付け無釉。**胎土**：白色。 | さ-17崖部直下黒色混礫土層0～40 |
| | 9 | | 口～底 | 9.4 | 1.5 | 4.8 | 小。型成形。口縁は外反が強く、腰部は「く」の字に曲がる。**施釉**：白釉。畳付け無釉。**胎土**：白色。**焼成**：かなり良い。無文。 | と-12遺物集中部0～20 |
| | 10 | | 口～底 | 9.4 | 1.5 | 5.2 | 小。強い外反、腰折れ。**文様**：内底「寿」刻文。**施釉**：畳付け無釉。**胎土**：灰白色。**時代**：16C。 | せ-17黒褐色混礫土層100～110 |
| | 11 | | 底 | — | — | 2.3 | 小。**施釉**：乳白色、貫入有り。内底は蛇の目釉剥ぎ。文様３本の沈線を口縁～底部に緩やかに施文。**胎土**：白色。 | そ-17撹乱土壙 |
| | 12 | | 口～底 | 6.8 | 1.5 | 3.8 | 型成形。わずかに外反、腰部の張りが強い。**施釉**：白色の失透釉、外底無釉。**胎土**：白色。口唇は研磨。**時代**：16C以降。 | ち-13遺物集中部0～20 |
| | 13 | | 口 | 12.8 | — | — | 小。稜花、外反口縁。**施釉**：乳白色、貫入有り。**胎土**：乳白色。 | せ-17黒色土層60～80 |
| | 14a | | 底 | — | — | 7.1 | 中。14bと同タイプ。菊皿。**施釉**：暗灰色、貫入有り。畳付け無釉。**胎土**：灰褐色、気泡少ない。**時代**：16C～。 | せ-16 地山直上茶褐色混礫土層 |
| | 14b | | 口 | — | — | — | 型成形。口折れ気味、菊皿。**施釉**：灰釉。貫入有り、釉は厚い。**胎土**：灰褐色。気泡有り。 | 不明 |
| | 15 | | 口 | 10.4 | — | — | 小。稜花、若干外反。**施釉**：褐色。貫入有り。**胎土**：乳褐色。 | せ・そ-13遺構57-B |
| | 16 | | 口～底 | (10.4) | (2.6) | 4.3 | 小。外反口縁。外面に轆轤痕。**施釉**：乳白色、外底無釉、内底蛇の目釉剥ぎ。貫入。**胎土**：乳褐色。細粒。 | つ-10遺構184 |
| | 17 | | 口～底 | 8.4 | 1.9 | 4.2 | 小。直口口縁、抉り高台。**施釉**：乳白色。内外とも総釉。内底に目痕。外面の轆轤痕明瞭。**胎土**：乳白色。 | そ-18西側畦地山直上 |
| | 18 | | 底 | — | — | 3.5 | 小。腰部に「く」の字に曲がり、底部は切り高台。胴部に面取りがあり、杯の可能性もある。**施釉**：失透釉、外面は腰～底無釉、内底無釉、目痕がみられる。**胎土**：乳褐色。 | せ-17黒色土層60～70 |
| | 19 | | 口～底 | 8.6 | 2 | 4 | 小。外反気味、腰部の張りはゆるやか、高台は方柱状。**施釉**：灰褐色。内底は蛇の目。**胎土**：灰褐色、若干の気泡。 | せ-15･16岩盤直下土壙内炭集中部 |
| | 20 | 碗 | 底 | — | — | 3.3 | 蛇の目釉剥ぎ。**胎土**：白色。外底の削りは粗い。**施釉**：腰部まで。小碗の可能性。 | て-12遺物集中部岩盤直上 |
| | 21 | 瓶 | 胴 | — | — | — | 手つきの袋物の胴継なぎ、急須か。**施釉**：乳褐色、外面のみ施釉。**胎土**：乳白色。最大胴径：8.2㎝。**時代**：明未～清。 | せ-14地山直上 |
| | 22 | 皿 | 口～底 | 6.5 | — | — | 小。稜花皿、腰部彎曲。**施釉**：青白色。内底無釉。**胎土**：白色。 | せ-16地山直上 |
| | 23 | | 口 | 5.8 | — | — | 小。菊皿。口唇はゆるやかな稜花。**施釉**：白色の失透釉。**胎土**：白色。抉りがみられる。 | せ-17黒色混礫土層110～120 |
| | 24 | | 胴 | — | — | — | 小。菊皿。碁笥底。**文様**：外面に蓮弁文。**施釉**：青白色、外底無釉。**胎土**：白褐色。底径－推算2.4㎝ | そ-13遺構52 |
| | 25 | 杯 | 口～底 | 4.2 | 3.2 | 1.8 | 直口口縁、腰部丸味。**文様**：外底に陽刻の花文。型成形。**施釉**：総釉、白色。**胎土**：白色。 | て-12遺物集中部0～20 |
| | 26 | | 底 | — | — | 2.1 | 口は破損。型成形。底部は反る。**施釉**：白釉、貫入、畳付け無釉。**胎土**：乳白色。**焼成**：やや脆い。 | せ-17黒褐色混礫土層 |
| | 27 | | 口～底 | 6.4 | 3.7 | 3.8 | 外反。底部は厚め。型成形。**施釉**：白釉。畳付け無釉。**胎土**：白色。 | ち-14石積と岩盤の間黒褐色土層 |
| | 28 | | 口～底 | 6.4 | 4 | 3.2 | 外反口縁。型成形。**施釉**：白色、畳付け無釉。**胎土**：白色。 | す-15地山直上<br>遺構134 |
| | 29 | 壺か瓶 | 胴 | — | — | — | 外面の削りが顕著。**施釉**：灰白色、貫入、内面のみ、外面は掻き取る。**胎土**：灰褐色。最大胴径：11.8㎝。 | す-18 遺構1 |
| | 30 | 瓶 | 胴 | — | — | — | **文様**：龍の刻文。**施釉**：青白色。内外面。**胎土**：白色。 | た-14黒色土層20～40 |
| | 31 | 壺 | 口～底 | 9.7 | 15.6 | 6.5 | 口唇若干肥厚、底径が小さい。高台が太く胴下部は削りが明瞭に残る。**施釉**：灰白色、貫入。外面は腰部まで、内面は総釉。**胎土**：黒色微細粒の混入が少ない。 | せ-17東西畦<br>黒色混礫土層2層 |
| | 32 | 香炉 | 底 | — | — | 5.8 | ３足。底部中央に径2.4cmの孔が見られる。**施釉**：褐白色、外面のみ。**胎土**：白色の細粒。 | と-12遺物集中部西側畦 |
| | 33 | | 口 | 11.4 | — | (10.8) | 「く」の字状に内彎、筒状。**施釉**：乳白色、貫入、外面のみ。**胎土**：乳白色。 | す-15地山直上<br>せ-16黒礫 |

注：（　）は推算径




**第26図　白磁（1）**　碗・小碗・皿・瓶・灯明皿




**第27図　白磁（2）**　皿・碗・瓶・杯・壺・香炉

## 第3節　染付

染付は碗、小碗、皿、鉢、杯、瓶、蓋、蓮華などが出土した。

器種別の出土状況を見ると、碗543個、小碗143個、皿216個、鉢44個、杯19個、瓶45個、蓋3個、蓮華16個が出土した。年代別に見ると、古いものは15世紀(第28図15)で、18世紀から19世紀(第29図2、第32図20)の物もある。産地別には景徳鎮の他、福建・広東系、漳州窯の量が多い。出土地を見ると、せ・そ－17・18周辺、地山直上に多く、近代遺構では少ない。

**碗**(第28･29図)：直口口縁（Ⅰ類）と外反口縁（Ⅱ類）に分けられる。

直口口縁には、腰がストレートなものと張るものがある。文様は、外面に山水文（第29図1)、人物文(第29図2)、花鳥文(第29図3)、唐草文(第29図6)などが施される。また、内外に圏線と内底「の」(第28図6)、外面に梵字文(第28図1～3)、福建タイプの印判手(第29図16)、芭蕉文(第29図5)、波濤文に牡丹唐草文(第29図15)、丸文で蛇の目を施すもの(第29図14)、外面は芭蕉文、内面に雷文帯(第28図23)、外面にラマ蓮弁文(第29図12)などがある。内底には梅に鶯文(第29図11)がある。底部が腰折れのタイプには外面アラベスク文(第29図9)、菊唐草文(第28図21)、圏線と崩れ波文(第28図5)、波濤文崩れ(第29図15)などがあり、いずれも福建・広東系の18世紀頃のものと考えられる。

外反口縁は印判手(第29図21)、腰折れラマ崩れ(第29図22)、花弁文(第29図18)、外面に菊花散らし文(第29図19)、牡丹唐草文(第29図6)、唐草文(第29図7)、外底に「和美」(第29図22～24)、内底は十字文(第29図9)、唐草文(第29図4)、外面の胴下部にラマ蓮弁文(第29図23)などが施される。第28図7は外面に竹文を施し、腰はストレートに立ち上がる。4～6は福建・広東系である。

**小碗**(第28図)：直口口縁と外反口縁がある。直口口縁は外面に梵字文(第28図1)、印判手(第28図27)、外面に二段の唐草文(第28図32)、外反口縁は外面に梵字文(第28図17･18)、牡丹唐草文(第28図31)、内底に饅頭心型(第28図9)がある。

**皿**(第28･30図)：直口口縁と外反口縁に分けられる。直口口縁は碁笥底で外面は波濤文帯、芭蕉文を施すもの(第30図15)、内底に花文(第30図17)、月・鳥・芭蕉文の組み合わせ(第30図15)、木(第30図16)、雲?(第30図18)、他に数種類の文様が見られるが、破片のためはっきりしない。外反口縁は底部が薄く、型成形と思われる。内唇に十字文で内底に花鳥文(第30図11)、獅子文(第30図10)、外面に花唐草文、内唇四方擧文(第30図2)、外面に上下圏線、内底に樹下人物文(第30図9)がある。底部は花鳥文(第30図3)がある。

**鉢**(第31図)：鉢は深鉢(1～5)と浅鉢(6～8)に大きく分けられる。深鉢は見込みが蛇の目になるもの(1～3)とそれ以外のタイプ(4、5)に分けられ、文様もそれぞれ異なる。浅鉢はいずれも破片のみである。これらはいずれも胎土は乳褐色で焼成不良、文様の発色が悪く、福建・広東系(1～3)、漳州窯系(4～8)である。

**杯**(第32図)：大と小に大きく分けることができる。大は外反し、外面に算木文(1)、外面に花鳥文で内唇に雷文帯(3)、外面に鳥文(4)、外面に松の文様を施すもの(2)がある。小には外面に烈点文(7)、唐草文(8)、内底に圏線があるもの(5)がある。6は内底に樹下人物文、外底に「福」の銘があり、15世紀～17世紀前半の景徳鎮窯産である。

**瓶**(32図9～19)：口縁が朝顔状になるもの(9･10)がある。11･12は頸部で、13･14は胴下部が膨らむことから玉壺春瓶と考えられる。口縁の文様は芭蕉文、頸部は唐草文(11)と擧文(12)の二種がある。胴部は牡丹唐草文のみである(13･14)。

**蓮華**(第32図20～22)：文様もほぼ類似し、内面に唐草文を施す。湧田古窯跡(Ⅰ)に報告例がある。

**他**(第32図23)：置物の台と考えられる。底の形は六角形を呈する。

**蓋**(第32図24))：型成形の蓋である。かなり薄手で、呉須も鮮やかで、国産の可能性もある。銘款あり。

**＜参考文献＞**


・長谷部楽爾・今井　敦『日本出土の中国陶磁』第一二巻　平凡社　1995.9.19
・大城　慧・島袋　洋・金城亀信「湧田古窯跡（Ⅰ）－県庁舎行政棟建設に係る発掘調査－」『沖縄県文化財調査報告書』第111集　沖縄県教育委員会　1993.3
・島袋　洋・金城亀信・豊見山禎「湧田古窯跡（Ⅱ）－県庁舎議会棟建設に係る発掘調査－」『沖縄県文化財調査報告書』第121集　沖縄県教育委員会　1995.3
・金城　透・仲座久宜・上原清乃　他「湧田古窯跡（Ⅳ）－県民広場地下駐車場建設に係る発掘調査－」『沖縄県文化財調査報告書』第136集　沖縄県教育委員会　1999.3

## 第6表　染付観察一覧(1)

単位：cm

| 図 | 番号 | 器種 | 部位 | 口径 | 器高 | 底径 | 観察事項 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第29図・図版13 | 1 | 碗 | 口 | 12.8 | — | — | 直口口縁。**文様:**外面ー馬と樹木文。内面ー口縁近くに2本の圏線。呉須は鈍い青色。 | せ-17黒褐色混礫土層100～110 |
| | 2 | | 口～底 | 12.6 | (6.3) | 4.2 | 直口口縁。**文様:**外面ー2本の圏線と人物文、外底ー「大明年造」銘款。**内面:**口縁2本の圏線、内底ー人物文。呉須は青色。 | と-12遺物集中部 |
| | 3 | | 口 | 13.6 | — | — | 直口口縁。**文様:**外面ー圏線と梅樹に鶯文、内面ー口縁に2本の圏線。呉須は淡青色。 | 15トレンチ東側岩上黒色土層0～10 |
| | 4 | | 口～底 | 11.9 | 5.9 | 4.4 | 直口口縁。畳付け無釉。**文様:**外面ー唐草文、上下に2本の圏線。内面ー上下に圏線、内底ー唐草文。呉須の発色が鈍い。 | つ-13黒色混礫土層20～30 |
| | 5 | | | 12.6 | 6 | 4.8 | 直口口縁。畳付け無釉。**文様:**外面ー波濤文と芭蕉文。内面ー上圏線、内底ー牡丹文。呉須は鈍い。16Cか?。 | せ-17地山直上 |
| | 6 | | | 16 | 7.4 | 7.2 | 直口口縁。腰部は若干張る。**文様:**外面ー圏線と唐草文。内面ー上下に圏線。呉須は鮮やか。 | す-18遺物礫集中部黒色土層20～40 |
| | 7 | | 口 | 14.6 | — | — | やや外反。**文様:**外面ー唐草文、内面ー口唇圏線。呉須は鮮やか。 | す-18遺物・石礫集中黒色土層20～40 |
| | 8 | | 胴 | — | — | — | 腰部が若干張る。**文様:**外面ー唐草文、下部にラマ式蓮弁文。内底ー花文。呉須は鮮やか。 | つ-13・14岩盤付近遺構集中部 |
| | 9 | | 口～底 | 13.6 | 6.7 | 5 | 直口口縁。腰は曲がる。畳付け無釉。**文様:**外面ー圏線と二段に唐草文とアラベスク文、内面ー上下に圏線、内底ー唐草文。呉須は鮮やか。15C末～16C中。 | す-19黒色土層 |
| | 10 | | 口 | 13.2 | — | (6.2) | 直口口縁。腰部は張る。**文様:**外面ー雷文帯と草花文、外底に款識。内面ー上下圏線。内底ー草花文。呉須は鮮やか。 | 15トレンチ東側岩上黒色土層10～20 |
| | 11 | | 底 | — | — | 5.2 | 畳付け無釉。**文様:**外面ー梅樹文に圏線。内底ー梅樹と鶯文と2本の圏線。呉須は鮮やか。16C。 | そ-18石敷遺構下地山直上 |
| | 12 | | 口 | 11 | — | — | やや内彎。**文様:**外面ー口縁にラマ式蓮弁文帯、内面ー圏線2本。呉須の発色は悪い。福建・広東系か。 | せ-18石敷遺構下黒色混礫土層0～10 |
| | 13 | | 底 | — | — | 4.2 | 外反の可能性有り。畳付け無釉。**文様:**外面ー唐草文、胴下部に蓮弁文。内底ー文様有り。呉須は青黒く、素地は乳色。 | そ-11地山直上 |
| | 14 | | 口～底 | 12.8 | 6.1 | 6.2 | 直口口縁。**施釉:**外底ー畳付けに砂目痕、内底ー蛇の目。**文様:**外面ー丸文3個と草文、外底ー文字。内底ー丸文。呉須は淡青色。福建・広東系、18C～19C。 | せ-17黒色土層80～90 |
| | 15 | | 口 | 12.2 | — | — | 直口口縁。**文様:**外面ー波濤文と唐草文。内面ー口唇に圏線。呉須は淡青色。福建・広東系。15C末～16C。 | せ-16石垣南側横旧階段下茶褐色混礫土層3層 |
| | 16 | | | 14.8 | — | — | 直口口縁。**文様:**外面ー印判手。呉須は淡青色。福建・広東系。15C～16C。 | す・せ-16黒色土層0～30 |
| | 17 | | | 13.8 | — | — | やや外反。**文様:**外面ー草花文。内面ー圏線。呉須の発色は鈍い。福建・広東系18C。 | と-12遺物集中部0～20 |
| | 18 | | 口～底 | 15.1 | 5.5 | 8.4 | やや外反。器高は低い。**施釉:**外面ー畳付け無釉、内面は蛇の目。**文様:**外面ー草花文、口唇に銹釉。内面ー口唇に圏線。呉須の発色は鈍い。福建・広東系。 | つ-9地山直上 |
| | 19 | | 口 | 12.4 | — | — | 外反口縁。**文様:**外面ー区画内寿文に花散らし文、蓮弁文、内面ー胴下部に圏線。呉須は青黒い。18C～19C。 | ち-13地山直上 |
| | 20 | | 底 | — | — | 6.5 | 畳付け無釉。**文様:**外面ー草花文と圏線、内面ー胴下部に圏線。呉須は淡青色。福建・広東系。**時代:**18～19C半。 | 15トレンチ東側黒色土層 |
| | 21 | | 口 | 13.5 | — | — | わずかに外反。口唇は銹釉。**文様:**外面ー印判手。呉須は鈍い。福建・広東系。 | さ-17・18崖部溝状遺構黒色混礫土層 |
| | 22 | | 口～底 | 14.3 | 7 | 7 | 外反口縁。畳付け無釉。**文様:**外面は寿文と花散らし文、腰下部に蓮弁文、内底に「仁」。外底「和美」。呉須は淡青色。 | し-18地山直上黒色土層 |
| | 23 | | 底 | — | — | 6.2 | 腰部はあまり張らない。畳付け無釉。**文様:**外面に菊花散し文。腰下部に蓮弁文、外底ー「和美」。呉須の発色は薄い。 | つ-14瓦礫層 |
| | 24 | | | — | — | 6.4 | 畳付け無釉。**文様:**外面ー寿文、腰下部に蓮弁文、外底「和美」。内面の胴下部に2本の圏線。内底ー雲文。呉須は鮮やか。 | て-13遺物集中部 |
| | 25 | | 口～底 | 14 | 8 | 6.8 | 外反口縁。**施釉:**畳付け無釉。**文様:**外面ー菊唐草文、内面ー菊文の帯、内底ー菊唐草文。呉須は鮮やか。産地:景徳鎮。**時代:**16C末～17C前。 | つ-11黒色土層10～20 |
| 第28図図版12 | 1 | 碗 | 口 | 12.8 | — | — | 直口口縁。**文様:**外面ー梵字文、内面ー圏線。呉須の発色は黒ずむ。**素地:**白色細粒。**時代:**18C～19C。 | た-14黒色土層20～40 |

注:( )は推算径、「ー」は計測不可、Cは世紀

## 第6表　染付観察一覧(2)

単位：cm

| 図 | 番号 | 器種 | 部位 | 口径 | 器高 | 底径 | 観察事項 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第28図・図版12 | 2 | 碗 | 胴 | — | — | — | **文様:**外面ー梵字文だが1と若干違う。呉須は淡青色。**時代:**18C～19C。 | さ一17岩盤凹地内礫層120～190 |
| | 3 | | 底 | — | — | 5.8 | 腰部は張る。畳付け無釉。**文様:**外面ー梵字文、高台内ー圏線。内底ー圏線、文様有り。呉須は淡い。 | た一14黒色土層20～40 |
| | 4 | | 口～底 | 15.2 | 6.7 | 6.6 | 直口口縁。腰折れ。**施釉:**内外面とも腰部まで。**文様:**外面ー渦巻き文。腰部に圏線。内面ー上下に一本の圏線。呉須は黒ずむ。**素地:**灰白色に黒粒混入。福建・広東系。 | す一15地山直上遺構31 |
| | 5 | | | 14.8 | 5 | 6.8 | 直口口縁。内外面とも腰～底部無釉。**文様:**外面ー上下に圏線間に不規則な波状文、内面ー上下に圏線。呉須は茶褐色発色。**素地:**灰褐色。**産地:**漳州窯。**年代:**1590～1630年代。 | す一18石炭層、礫集中部黒色土層40～50 |
| | 6 | | | 14.8 | 5.4 | 8.4 | 直口口縁。腰部は張り、高台は内外縁とも削る。**施釉:**外面は腰部まで、内面は蛇の目。**文様:**外面ー口唇に圏線、内面ー上下に圏線、内底ー丸文。呉須は淡青色。 | て一12 |
| | 7 | | 底 | — | — | 4.4 | 腰部は逆「ハ」字状に立ち上がる。**施釉:**畳付け無釉。**文様:**外面ー胴部に草文、腰・底部に圏線。呉須は淡色。貫入有り。 | し一17岩盤凹地内中層瓦集中部 |
| | 8 | 小碗 | 口～底 | 10.8 | 5.9 | 4.2 | 外反口縁。薄手。畳付け無釉。**文様:**外面ー口縁・高台・外底に圏線、胴部に牡丹唐草文、腰部に蓮弁文。内面ー口唇に圏線、内底に花唐草文。呉須は淡青色。 | ち一12遺構133 |
| | 9 | | 底 | — | — | 4.8 | 畳付け無釉。**文様:**外面ー腰・高台に圏線、内底ー圏線と饅頭心文。呉須は一部黒ずむ。**素地:**白色粒。 | さ一17岩盤凹地埋土0～80 |
| | 10 | | | — | — | 4.2 | 型成形。**文様:**内底ー人物饅頭心、がま仙人、外底ー圏線、「萬福攸同」銘款。呉須はあざやか。**素地:**白色。**産地:**景徳鎮。**時代:**16C中～後半。皿かも。 | せ一16暗褐色混礫土層 |
| | 11 | | 口 | 9.6 | — | — | 直口口縁。**文様:**外面ー円点文。呉須の発色は鮮やか。**素地:**白色細粒子。**産地:**福建徳化窯。 | つ一12黒褐色混礫層10～20 |
| | 12 | | | 4.05 | — | — | 直口口縁。白色。**文様:**外面ー口唇に襷文。内面ー口縁に圏線、胴下部に山水文。呉須の発色は鮮やか、地は白い。 | せ一14遺構74 |
| | 13 | 皿 | 口～底 | 9.8 | 2.1 | 5.6 | 型成形。外反口縁。白色微粒子。薄手。**文様:**外面ー上下に圏線、胴部に丸文、外底ー施釉。内面ー口縁部に四方襷文、内底ー植物文。呉須は明青色。 | 表土はぎの際に撹乱層中より瓦集積部 |
| | 14 | 小碗 | 口 | 7 | — | — | 外反口縁。**文様:**外面ー口縁に圏線が2本、山水文。呉須の発色は鮮やか。杯の可能性もあり。 | 表採 |
| | 15 | | | 10.2 | — | — | 外反口縁。**文様:**外面ー二重唐草文。内面ー上下に圏線。呉須の発色は鈍い。**素地:**白色。 | て一12遺物集中部 |
| | 16 | | 底 | — | — | 5.2 | 畳付け無釉。**文様:**外面ー唐草文、外底ー圏線と款識。内面ー胴下部に圏線、内底ー花文。呉須は淡青色。**素地:**白色。 | 15トレンチ東側黒岩上黒色土層最上部 |
| | 17 | | 口 | 9.4 | — | — | 外反口縁。**文様:**外面ー梵字文が三段。内面ー上下に圏線。呉須は淡青色。**素地:**白色。 | す一15地山直上 |
| | 18 | | | 9.5 | — | — | 外反口縁。**文様:**外面ー梵字文。内面ー圏線。呉須は青黒い。**素地:**白色。 | せ一18石敷遺構直上黒色土層 |
| | 19 | | 底 | — | — | 4.4 | 型成形。腰部は丸い。畳付け無釉。**文様:**外面ー梵字文、高台及び内に圏線、款識。呉須の発色は青黒い。**素地:**白色。 | て一12 |
| | 20 | 碗 | 底 | — | — | 5.2 | 腰部は張る。畳付け無釉。**文様:**外面ー菊唐草文、下部に圏線。内底ー菊唐草文。呉須は濃青色。 | た一14黒褐色混礫土層 |
| | 21 | | 口～底 | 11.2 | 6.6 | 5.3 | 直口口縁。畳付け無釉。**文様:**菊唐草文、胴下部は蓮弁文、高台圏線。内面ー口唇に圏線。内底に花唐草文、外底に圏線と款識。 | 13トレンチ東側 |
| | 22 | | 口 | 10.1 | — | — | 外反口縁。**文様:**内外面ー口縁は四方襷文。呉須は鮮やか。**産地:**景徳鎮。**時代:**1590年～17C前半。 | て一12遺物集中部 |
| | 23 | | 口～底 | 11.6 | 6.6 | 4.4 | 直口口縁。**文様:**外面ー胴部は唐草文、胴下部は蓮弁文。内面ー雷文帯、内底ーかたつむり文。 | そ一17黒色混礫土層 |
| | 24 | 小碗 | 底 | — | — | 4 | 型成形。畳付け無釉。**文様:**外面ー唐草文、蓮弁文、外底に「三器□□」銘款。呉須は鈍い。**時代:**18C～19C。 | す一18遺物・礫集中黒色土層20～40 |
| | 25 | | | — | — | 4.2 | 型成形。畳付け無釉。**文様:**外面ー胴部は唐草文、胴下部は蓮弁文。呉須は鈍い青色。**素地:**白色。 | す一18遺物礫集中部黒色土層20～40 |
| | 26 | | 口～底 | 9.6 | 5.1 | 4.1 | 直口口縁。畳付け無釉。**文様:**外面ー花文と蓮弁文。**外底:**「□□□□」銘款。呉須は淡青色。 | つ一13・14岩盤付近遺構集中部 |

注:( )は推算径、「ー」は計測不可、Cは世紀

## 第6表　染付観察一覧(3)

単位：cm

| 図 | 番号 | 器種 | 部位 | 口径 | 器高 | 底径 | 観察事項 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第28図・図版12 | 27 | 小碗 | 口 | 7.5 | — | — | 直口口縁。**文様:**外面—菊唐草文。内面—圏線。呉須は鮮やか。 | そ—17撹乱土壙 |
| | 28 | | 底 | — | — | 3.35 | 直口口縁。**文様:**外面—菊唐草文。外底に銘款。内面—圏線、内底—花文。呉須は鮮やか。**時代:**18C～19C。 | と—12<br>遺物集中部 |
| | 29 | | 口 | 9.4 | — | — | わずかに外反。**文様:**外面—菊唐草文。内面に上下に圏線。呉須は青黒い。**時代:**18C～19C。 | て—12 |
| | 30 | | 底 | — | — | 4.6 | 畳付け無釉。**文様:**外面—菊唐草文、外底—「□□□□」銘款。内面—圏線、内底—花文。呉須は青黒い。**時代:**18C後～19C。 | て—13遺物集中部 |
| | 31 | | 口～底 | 9.3 | 4.9 | 4.1 | 外反口縁。畳付け無釉。**文様:**外面—牡丹唐草文、外底に款識。内面—花文帯、胴下部に圏線、内底に花文。呉須は鮮やか。**時代:**19C。 | す—18礫集中部<br>黒色土層40～50 |
| | 32 | | 口 | 10 | — | — | 外反口縁。**文様:**外面—仙芝文。内面—上下に圏線。呉須は黒ずむ。**素地:**白色。**時代:**19C。 | す—15地山直上<br>せ—16暗レキ |
| | 33 | | 底 | — | — | 3.9 | 畳付け無釉。**文様:**外面—仙芝文、底部に款識。内面—胴下部に圏線。内底に花文。呉須は黒ずむ。**素地:**乳白色。**時代:**19C。 | す—18遺物・礫集中<br>黒色土層20～40 |
| 第30図・図版14 | 1 | 皿 | 口～底 | 11.2 | 2.6 | 5.6 | 小。型成形。外反が弱い。**文様:**外面—牡丹唐草文、内面—圏線、内底—文様。 | つ—14瓦礫層 |
| | 2 | | 口 | 11.9 | — | — | 小。外反口縁。**文様:**外面—牡丹唐草文、内面—四方襷文。呉須は鮮やか。 | て—12遺物集中部<br>黒色土層 |
| | 3 | | 底 | — | — | 8.2 | 中。型成形。**文様:**外面—唐草文、内底—花鳥文。呉須は藍色。 | さ—17崖部直下<br>黒色混礫土層0～40 |
| | 4 | | 胴 | — | — | — | **文様:**内外面—唐草文。5に類似し、内側の文様が異なる。呉須はにぶい。 | ち—14石積と岩盤の間暗黄褐色土層 |
| | 5 | | 底 | — | — | 8.6 | 中。畳付け無釉。**文様:**内外面—牡丹唐草文、内底—圏線と十字文。呉須は鮮やか。4と類似。 | そ—17<br>撹乱土壙 |
| | 6 | | 口 | — | — | — | 中。外反口縁。**文様:**外面—圏線と牡丹唐草文、内面—草文。呉須は鮮やか。5と同じタイプ。 | 15トレンチ東側レストハウス横岩上撹乱層 |
| | 7 | | | 19.2 | — | — | 大。外反口縁。**文様:**外面—圏線。内面—寿花文。呉須は淡青色。 | と—12遺物集中部<br>0～20 |
| | 8 | | 口～底 | 14 | 2.7 | 7.7 | 外反口縁。畳付け無釉。**文様:**外面—上下に圏線。内面は上下に圏線。内底—「志在書中」。呉須は鈍い。18C～。 | て—12遺物集中部 |
| | 9 | | 底 | — | — | 8.1 | 中。**文様:**外底—「和美」。内底—樹下人物文「志在書中」。呉須は淡青色。18C。 | て—12 |
| | 10 | | 口～底 | 11.8 | 2.4 | 6.9 | 小。外反口縁。畳付け無釉。**文様:**外面—上下に圏線、内面—四方襷文、内底—獅子文。呉須は藍色。 | せ—16黒色混礫土層炭層上 |
| | 11 | | | 10.6 | 2.2 | 5.8 | 小。型形成。外反口縁。**文様:**外面—口縁に2本の圏線、内面—襷文、内底—花文。呉須は鈍い。 | 16トレンチ東側岩上<br>黒色土層0～10 |
| | 12 | | | 11 | 2.5 | 6.1 | 小。直口口縁。腰折れ。畳付け無釉。**文様:**外面—無文、外底—款識。内面—圏線と胴部の2ヶ所に文様。内底—花文。呉須は淡青色。**産地:**福建省。**時代:**18C。 | ち—9<br>石段上黒色土層 |
| | 13 | | | 13.4 | 3 | 7.1 | 直口口縁。畳付け無釉。**文様:**内外面—上下に圏線。呉須は淡青色。 | せ—17<br>黒色土層60～70 |
| | 14 | | 底 | — | — | 3 | 小。碁笥底。畳付け無釉。**文様:**外面—芭蕉文、内底—花鳥文。呉須は藍色。 | し・す—17<br>遺構8 |
| | 15 | | 口～底 | 10.3 | 2.9 | 2.9 | 小。直口口縁、碁笥底。畳付け無釉。**文様:**外面—波濤文と芭蕉文、内面—圏線、内底—月、鳥、芭蕉文。呉須は鮮やか。 | た—12馬の頭骨付近より地山直上 |
| | 16 | | | 10.2 | 2.8 | 3.2 | 小。直口口縁、碁笥底。畳付け無釉。**文様:**外面—波濤文と芭蕉文、内面—圏線、内底—植物文。15に類似。呉須は鈍い。 | 15トレンチ東側岩上<br>黒色土層0～10 |
| | 17 | | | 10.2 | 2.6 | 3.1 | 小。直口口縁、碁笥底。畳付け無釉。**文様:**外面—波濤文と芭蕉文、内面—花文をちらす。内底—圏線と花文。呉須は鮮やか。 | つ—14瓦礫層 |
| | 18 | | | 11.6 | 3 | 5.2 | 小。直口口縁、腰部は張り、碁笥底。畳付け無釉。**文様:**外面—無釉、内面—圏線。呉須は淡青色。 | つ—11地山直上 |
| 第31図・図版15 | 1 | 鉢 | 口～底 | 30 | 12 | 13.4 | わずかに外反、腰部は張る。**施釉:**内底—蛇の目、外底—高台無釉。**文様:**外面—丸文。内面—圏線。福建・広東系。 | す—18黒色土層 |
| | 2 | | 底 | — | — | 10.4 | 底部。**施釉:**内底—蛇の目、外底—畳付け無釉。 | 表採 |
| | 3 | | 口～底 | 31.2 | 12 | 12.2 | わずかに外反、腰部はあまり張らない。**胎土:**乳白色、**施釉:**内面—蛇の目、高台—無釉。**文様:**外面—牡丹唐草文、内面—圏線。呉須の発色は鈍い。福建・広東系。 | せ—17<br>黒色土層50～70 |

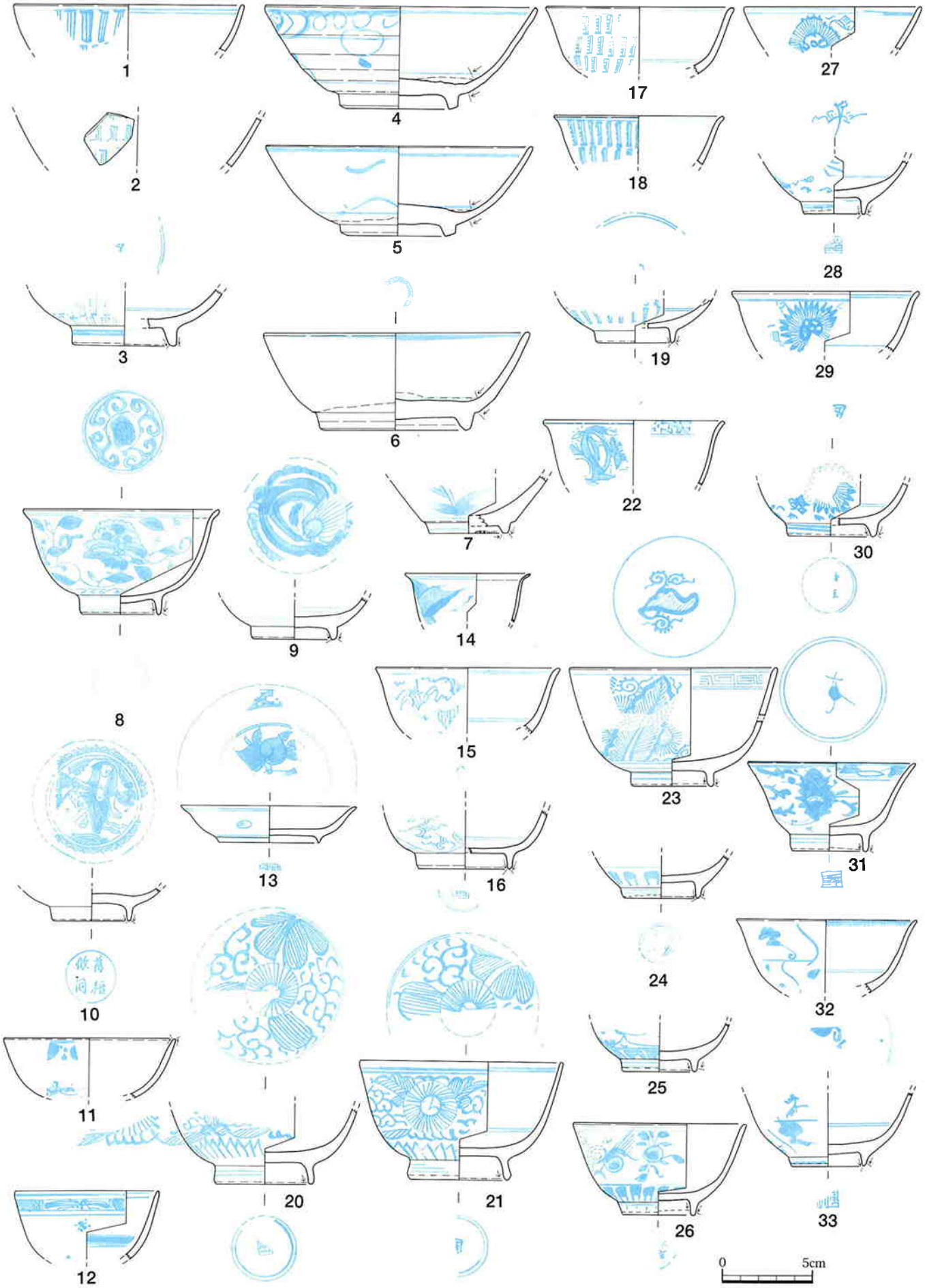
注:( )は推算径、「—」は計測不可、Cは世紀

## 第6表　染付観察一覧(4)

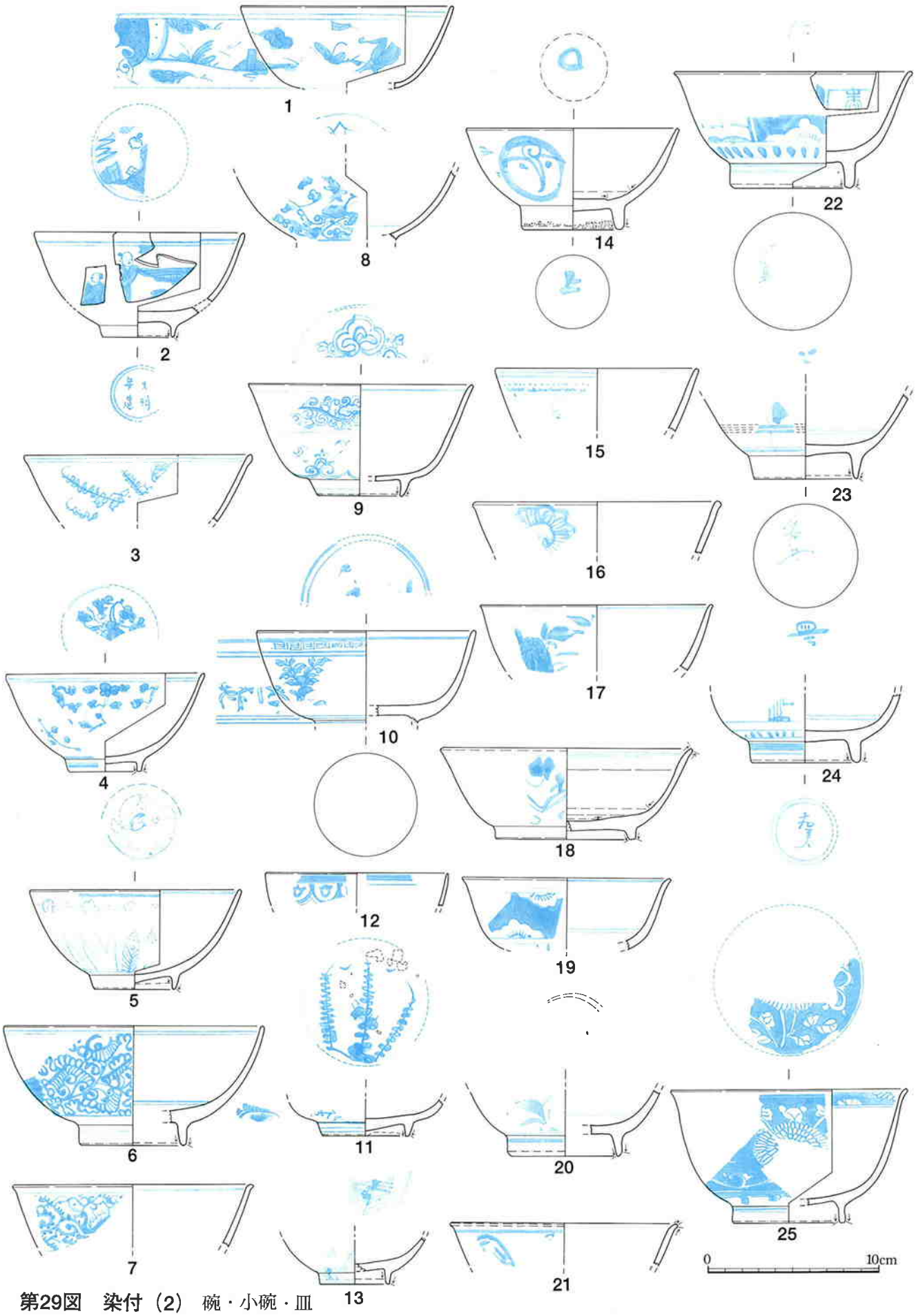
単位：cm

| 図 | 番号 | 器種 | 部位 | 口径 | 器高 | 底径 | 観察事項 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第31図・図版15 | 4 | 鉢 | 口～底 | 20.2 | 9.45 | 8 | 直口口縁。腰部は張る。**文様**:外面一蓮池と鳥。内面一帯、胴下部は圏線。内底一鳥。粗製の青花。胎土・釉薬の質が悪い。**時代**:16C末～17C初頭。 | つ一14<br>黒色土層 |
| | 5 | | 口 | 21.4 | — | — | 直口口縁。胎土:乳褐色。焼成不良。**文様**:外面一花文、内面一文様帯。呉須の発色悪い。 | そ一13<br>地山直上 |
| | 6 | 浅鉢 | 口 | 33.6 | — | — | 浅鉢。直口口縁。焼成不良。**胎土**:乳褐色。**文様**:内面一花文、外面一圏線。呉須の発色悪い。**産地**:中国漳州系。**時代**:16C～17C前半。 | 13トレンチ東側 |
| | 7 | | | — | — | — | 浅鉢。直口口縁。**胎土**:乳褐色。**文様**:内外面一圏線あり。呉須の発色悪い。 | せ一17<br>黒褐色混礫土層 |
| | 8 | | | 16.8 | — | — | 口縁は2段に外反。**胎土**:乳白色。**文様**:外面一唐草文、内底一花文。呉須の発色が悪い。**産地**:中国 福建南部浜漳州。**時代**:17C前～明末。 | し一17<br>遺構7 |
| 第32図・図版16 | 1 | 杯 | 口 | 5.7 | — | — | 外反口縁。中。**文様**:算木文くずれと鳥文。呉須は鮮やか。**産地**:景徳鎮。**時代**:15C後半～17C前半。 | せ・そ一13<br>遺構57 |
| | 2 | | | 4.3 | — | — | 小。外反口縁。**文様**:外面一口縁に圏線と草花文。呉須は明青色。 | ち一14石積と岩盤の間黒褐色土層 |
| | 3 | | | 6.8 | — | — | 外反口縁。薄手。**文様**:外面一口縁に圏線、胴部に花文。内面一雷文帯。呉須の発色は良い。 | せ一18石敷遺構直上黒色土層 |
| | 4 | | 口～底 | 6 | 3.9 | 2.6 | 直口口縁。碁笥底。畳付け無釉。**文様**:外面一花文と鳥文。呉須は明青色。 | 15トレンチ東側岩上黒色土層最上部 |
| | 5 | | 底 | — | — | 2.15 | 腰折れ。**施釉**:高台内無釉。**文様**:内底一圏線と文様有り。呉須は淡青色。 | し・す一18<br>遺構1 |
| | 6 | | | — | — | 2.1 | 外底に「福」の銘款。呉須は青色。畳付け無釉。**文様**:内底一樹下人物文。**産地**:景徳鎮。**時代**:15C後半～17C前半。 | ち一9<br>地山直上 |
| | 7 | | 口～底 | 3.4 | 1.9 | 1.7 | 型成形。やや外反。畳付け無釉。**文様**:外面烈点文、高台に圏線。呉須は青黒い。 | せ一17<br>黒色土層0～30 |
| | 8 | | | 3.7 | 2 | 1.8 | 型成形。外反。**文様**:上下に圏線、間に草花文の上に烈点文。呉須は青黒い。 | 15トレンチ東側<br>黒色土層 |
| | 9 | 瓶 | 口 | 6.6 | — | — | **文様**:外面一口縁に圏線と頸部に芭蕉文。内唇に圏線。呉須は鮮やか。**時代**:15C～16C。 | せ一17黒色混礫土層110～120 |
| | 10 | | | 6.5 | — | — | 朝顔状。**文様**:外面一芭蕉文、内唇に文様有り。呉須は青黒い。 | そ一13<br>遺構52 |
| | 11 | | 頸 | — | — | — | 内外面施釉。**文様**:外面一圏線と唐草文。呉須は鮮やか。 | ち一12<br>遺構133 |
| | 12 | | 胴 | — | — | — | **文様**:外面一四方襷文。呉須は青黒い。 | 表採 |
| | 13 | | | — | — | — | **文様**:外面一胴部に圏線と牡丹唐草文。呉須は鮮やか。積み痕が明瞭。胴径11cm。 | ち一11黒色土層30～40 |
| | 14 | | | — | — | — | 内外面施釉。**文様**:外面一圏線と牡丹唐草文。呉須は淡青色。 | た一12地山直上 |
| | 15 | | 底 | — | — | — | 内外面施釉。**文様**:外面腰部一蓮弁文と圏線。呉須は鮮やか。 | す・せ一13<br>遺構41 |
| | 16 | | 胴 | — | — | — | 内外面施釉。**文様**:外面に花文?。呉須は淡青色。地は青味。**産地**:景徳鎮系。**時代**:明末か。 | せ一17地山直上 |
| | 17 | | | — | — | — | 小振りの瓶。外面のみ施釉。**文様**:外面一草花文。呉須は淡青色。**産地**:中国か。**時代**:17C?。 | そ一18西側畦<br>地山直上 |
| | 18 | 蓮華 | | — | — | — | 底面無釉。**文様**:内底に唐草文と帯状に縁どり。呉須は鮮やか。18C～19C。 | 表採 |
| | 19 | 瓶 | 胴 | — | — | — | 大振りの瓶。**文様**:大胆な葉文。呉須は鮮やか。**産地**:景徳鎮。**時代**:17C中葉～18C。 | せ一17黒褐色混礫土層 |
| | 20 | 蓮華 | 胴 | — | — | — | **文様**:内面の両側、柄に唐草文、内底に花文、外面一文様有り。呉須の発色は鈍い。**時代**:18C～19C。 | た一14黒褐色混礫土層 |
| | 21 | | | — | — | — | 底面無釉。**文様**:内面の両側縁に唐草文、内底に花文。呉須は鮮やか。**時代**:18C～19C。 | す一18遺物礫集中部黒色土層20～40 |
| | 22 | | | — | — | — | 柄の部分。底面無釉。**文様**:外面は柄の基部に文様。内面・内底に唐草文。呉須は鮮やか。18C～19C。 | 表採 |
| | 23 | その他 | 底 | 6.4 | 2.5 | 8.4 | 置物の台で底面は六角形。**文様**:底部近くに2本の圏線。呉須は淡青色。**産地**:景徳鎮。**時代**:15C～17C中(明代後半)。 | て一13遺物集中部 |
| | 24 | 蓋 | 口～底 | 10.4 | 3 | 4.4 | 畳付け無釉。型成形。**文様**:外面一上下に圏線と2パターンの唐草文。外面に款識有り。呉須は鮮やか。 | と一11遺物集中部 |

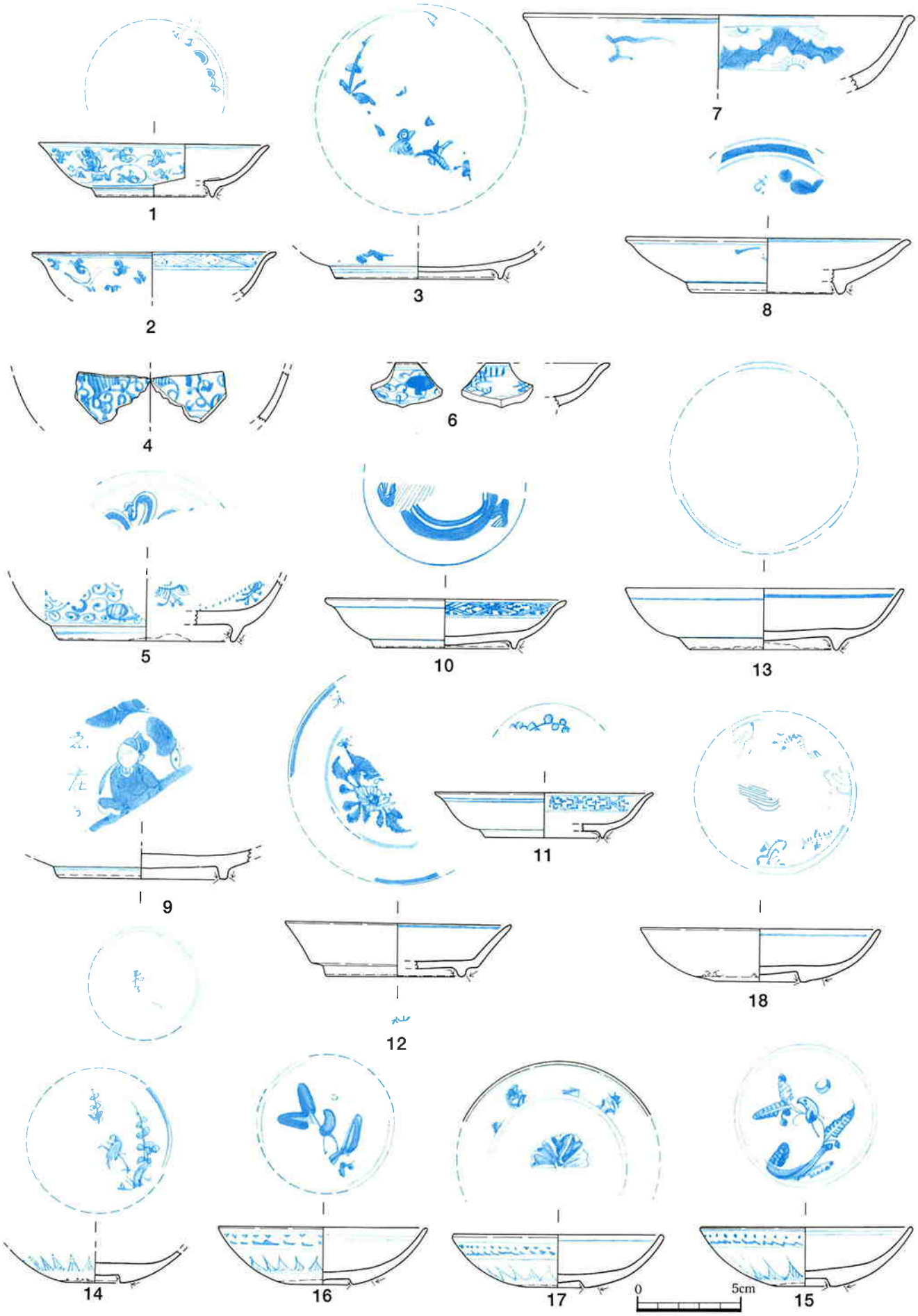
注:( )は推算径、「—」は計測不可、Cは世紀


1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
0
5cm

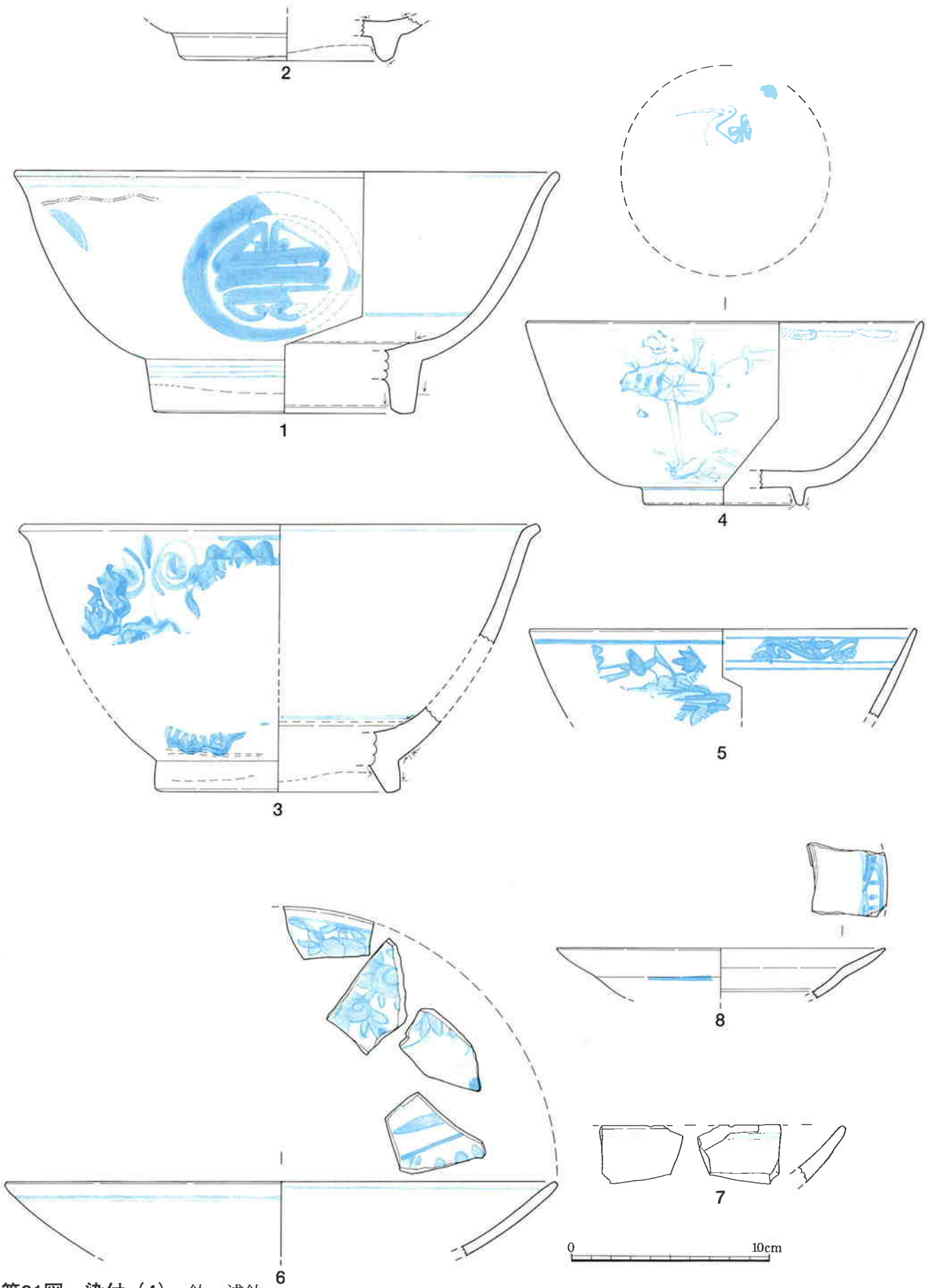
第28図　染付（1）　碗



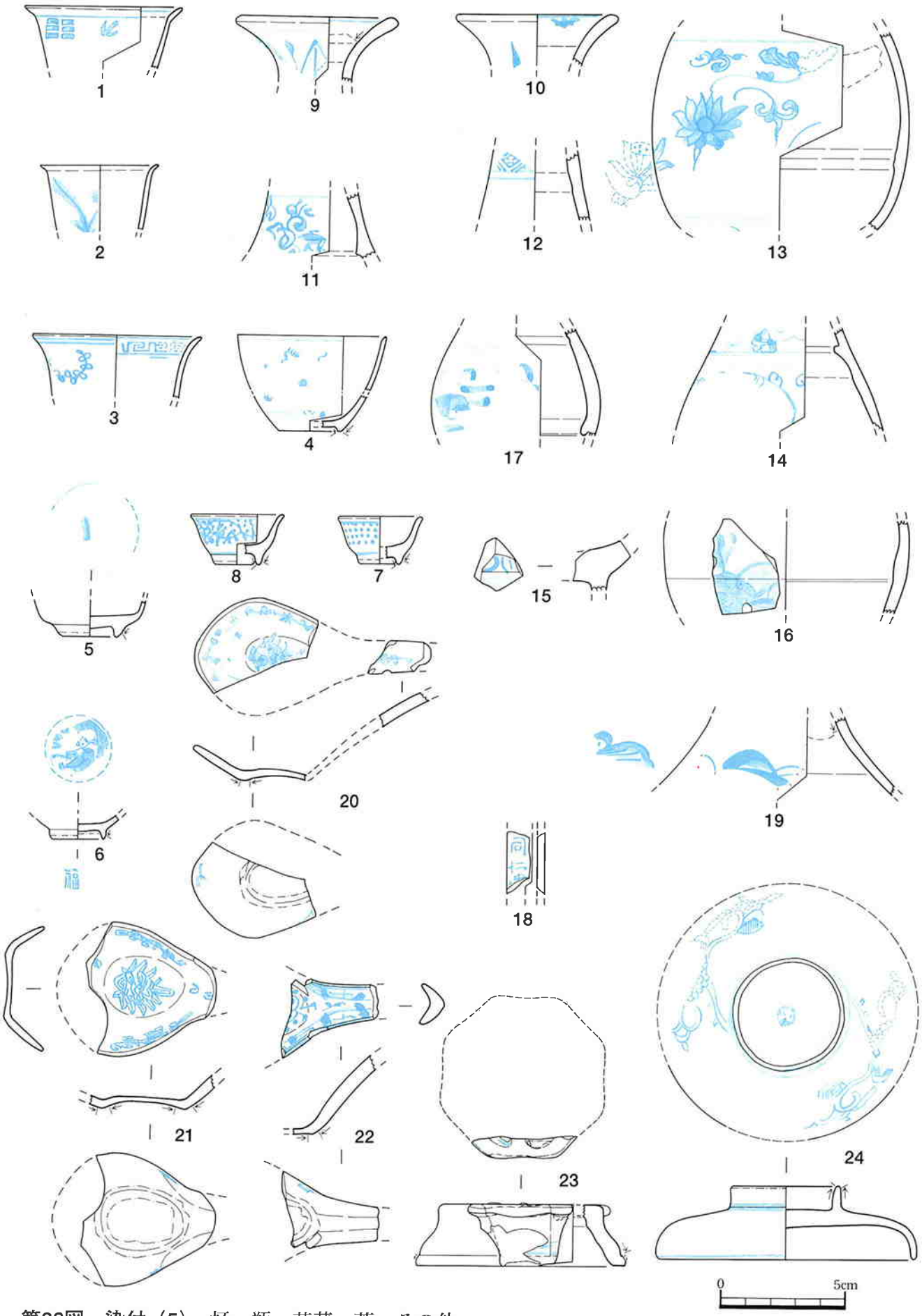

第29図　染付（2）　碗・小碗・皿




第30図　染付（3）　Ⅲ




第31図　染付（4）　鉢・浅鉢




第32図　染付（5）　杯・瓶・蓮華・蓋・その他

## 第４節　青磁染付

小破片の資料が若干得られている。外面に青磁釉（淡緑色、青緑色）、内面に青白色の透明釉を施すもので、ほとんどが小碗の資料かとみられる。口縁部の６点を第33図１～６に示した。全形は窺えないものの、１～５は推算口径が約 10 ㎝と同じような大きさを示す。器形的には胴部の方から口縁部の方へ開き気味になるものが主流のようである。口縁部の形状を細かくみると１のように上端を若干外反させるもの、２のように上端部を折り曲げるように外反させるもの、３・４のように直口状を呈すもの、５のように僅かに肥厚気味につくるもの、６のように頸部付近からゆるやかに外反するものなどが見受けられる。６だけが口唇部を尖らせており、他は若干の平坦面をつくる。

口唇部から内面に透明釉、外面に青磁釉を配すようであるが、４・５は口唇部の釉を剥ぎ取っている。４は口唇部に銹釉を施す。図示した資料をみると外面の青磁釉の方がやや厚めに施釉されている。４は釉の光沢が失われているが、他の資料は光沢を有す。いずれも外面に文様はみられない。１～３は内面の口縁部に圏線（１・２は１本で、３は２本）とその下方に算木文風の横位文（１は圏線との間の空間が広く、２・３は狭い）を配す。３点とも呉須の発色は淡い。４～６は内面にも文様は認められない。

素地は乳白色の細かなものが多いようである。１は、ち－13黒色混礫土層20～30から２は、ち－14遺物集中部０～20から出土。３・４は、せ－17黒色混礫土層からの出土。５は15トレンチ黒色土層から、６は、せ－16・17の石垣周辺の清掃中に出土。

## 第５節　鉄釉染付

量的には多くない。外面に鉄釉、内面に青白色の透明釉を施したものをここにまとめた。小破片の資料が多いものの、全形の窺える資料も３点（第33図７・９・18）得られている。特徴的なものを第33図７～18に示した。いずれも内面に呉須による文様を配している。ほとんどは小碗の資料かとみられるが、10・12は碗、15・18は小杯になるかとみられる。ここでは、それぞれの器種ごとの概要についてふれ、個々の詳細は観察表に記す。

### ａ．碗

碗としたものは第33図10・12に示した２点である。器形、成形、厚み、大きさ、施釉状況、素地などの諸特徴が他の資料とは異なることから、この２点をここで扱った。いずれも底部資料で、全形は窺えない。推算高台径が約５㎝で、基本的に高台際から外底面にかけては露胎である。高台は逆台形状にやや厚く、しっかりしたつくりで、畳付けは平坦でやや内傾する。高台際に５㎜幅の平坦部を設け、そこから外側へ開き気味に胴部に向かうため、腰折れの感じになる。２点とも内底面に呉須による菊花文を配す。

### ｂ．小碗

今回得られた資料のほとんどが本器種になるものとみられる。第33図７～９・11・13・14・16・17に示したものである。７はほぼ全形の窺えるもので、９もそれと同様なもののようである。図示した資料から特徴的なことをまとめると、口径が約８㎝、高台径が約４㎝、高さが約４㎝の大きさのものが普通のようであるが、14は推算口径が約９㎝と若干大きめである。器形的には腰部がゆるやかにカーブし、口縁上端部を外反させるものが一般的なようである。

全釉が基本のようであるが、高台畳付けとその外面は釉剥ぎする。外面（口縁部から高台外面まで）は鉄釉、口唇部から内面と外底面は青白色の透明釉を施している。外面の鉄釉は茶褐色のものが多くみられるが、11のように黒味の強いものや13のように黄色味を帯びるものなども見受けられる。釉の厚みはほぼ同様である。内面と外底面に呉須による文様がみられる。内面は口縁部に２本、内底面の縁に２本の圏線を配し、内底面に山水文というパターンが目立つ。しかし、13の内底面には草花文、14の内面口縁部には四方襷文が施されるなど、バリエーションも若干みられる。また、17は内体面に草花文を施したもので注意される。外底面の文様は縁に圏線を１～２本廻らし、中央部に文字様のものを配すのが多くみられるが、８のように圏線だけのものもみられる。呉須の発色は淡いものが多いようである。

素地は乳白色の細かなものが主流のようである。

### ｃ．小杯

第33図15・18に示した２点である。推算口径が約６㎝、高台径が約2.5㎝、高さが約３㎝で、小碗よりも小振

りのものを扱った。18は全形の窺えるもので、腰部がゆるやかにカーブし、口縁部上端が外反するという小碗と似たような器形を示す。施釉の状況、高台畳付けとその外面を釉剥ぎすることなど、似た特徴が多くみられ、15もその範疇に入る。18は外面に施釉の後、釉を剥ぐように線彫りによる唐草文のような文様を施す。今回得られた鉄釉染付の資料で、唯一の外面施文の資料である。内面は口縁部に1本の圏線、内底面に2本の圏線と花文を配し、外底面には文字様のものを施す。内面及び外底面は失透し、呉須の発色は鈍い。

## 第6節　瑠璃釉

量的には多くないものの、器種をみると小碗、鉢、瓶、小杯が確認され、若干のバリエーションがみられる。ほとんどが小破片の資料であるが、小杯の2点（第33図25・26）は全形の窺えるものである。外面に瑠璃釉、内面に青灰白色の透明釉という掛け分けであるが、器種により口縁部上端の状況に若干の変化がみられる。また、第33図22に示した鉢の資料は内外面とも瑠璃釉が施されている。文様の施されるものは見受けられない。特徴的なものを第33図19～27に示した。ここでは器種別に概要を略述し、個々の詳細は観察表に記した。

### a．小碗

19～21に示した3点で、19・20は口縁部、21は底部の資料である。いずれも推算径が算出でき、口径は約8㎝、高台径は約4㎝を測る。それからすると青磁染付や鉄釉染付の小碗とほぼ同じような大きさのものだったかと考えられる。器形的には口縁部の形状などは似通っているが、高台のつくりが特徴的である。方柱状にしっかりしたつくりで、畳付けを内傾して平坦に仕上げ、その外側を面取りする。施釉の状況をみると、外面の口縁部上端から口唇部、内面にかけて透明釉を施し、外面口縁上端部より下に瑠璃釉を施す。底部資料をみると、畳付けから外底面は露胎で、畳付けの外側も釉剥ぎしている。畳付け及び外底面を除いて全釉のようであったかと推察される。

### b．鉢

22に示す1点である。口縁部がゆるやかに波を打っている感じの資料で、多角形の形状が想定される。口縁部の方へゆるやかに外反するものであるが、全形は窺えない。推算口径は約19㎝を測る。内外面とも瑠璃釉を施している点が他器種との大きな違いである。

### c．瓶

23・24の2点が本器種に属すものである。23は口縁部、24は胴部の資料である。それからすると、胴部からスムーズにすぼまりながら頸部に至り、頸部で最もしまり、口縁部がラッパ状に開く器形のようである。胴部以下は不明。23の推算口径が約6㎝を測り、24の頸部の推算径が約2㎝を測る。外面に瑠璃釉、口唇部から内面に青白色の透明釉を施す。内面の胴部下端は無釉のようである。

### d．小杯

25～27に3点を示した。いずれも直口口縁の資料である。25・26は型成形によるもので、26は25よりも低いつくりである。2点とも全釉で高台畳付け部を釉剥ぎするが、26は口唇部も釉剥ぎしている。また、2点とも外面及び外底面に瑠璃釉を施し、内面だけに透明釉を施している。いずれも高台内側に砂粒の溶着が認められる。25は口径、高台径、高さとも約2㎝を測り、26は口径が約3.5㎝、高台径が約2㎝、高さが約1.5㎝を測る。27は型成形ではないようである。口唇部を釉剥ぎしている。

## 第７表　鉄釉染付観察一覧

単位：cm

| 図版 | 番号 | 器種 | 部位 | 口径 | 底径 | 器高 | 観察事項 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第33図・図版17 | 7 | 小碗 | 口～底 | 7.7 | 3.6 | 4.3 | 直線的に外側へ開く外反口縁。口唇部は平坦。高台は外側へ開き気味につくり、畳付け外側を斜位に面取りする。畳付けは平坦。口唇部直下から高台外面には茶褐色の釉、口唇部から内面と外底部には青白色の釉を施す。内面の口縁部と内底の縁部に２本の圏線を施し、内底面には山水文を配す。外底面は１本の圏線と中央部に文字のようなものが施される。呉須の発色は比較的良好である。外底は釉がはじけた部分が見られる。素地は乳白色の細かなものである。全釉だが高台畳付けとその外側の釉を剥ぐ。 | た－14<br>茶褐色礫土層 |
| | 8 | | 底 | － | 4.1 | － | ７・９に類する資料の底部とみられる。内底面の文様はモチーフ・構図など７・９と同様。外底面は縁部に２本の圏線だけを配す。高台は逆三角形状、畳付けは平坦。畳付けとその外側を釉剥ぎする。素地は乳白色の細かなもの。 | せ－14<br>遺構74 |
| | 9 | | 底 | (7.7) | 3.6 | (4.3) | 器形、大きさ、施釉の状況、文様の種類と構図、素地などの特徴は７とほとんど同じである。本品の方が若干薄くつくられ、丁寧なつくりのようである。 | せ－13<br>地山直上 |
| | 10 | 碗 | 底 | － | 5.2 | － | 12と似たタイプの底部資料。高台は逆台形状、畳付けは平坦。高台際は約５㎜の平坦面をつくり、そこから外側へ開き気味に立ち上がる。外底面は中央部が尖がる。高台際までの外面は黒味の強い鉄釉。内面に青白色の釉を施し、高台および外底面は露胎。内底面には呉須による菊花文を施す。呉須の発色は比較的良好である。内底面も中央部が若干尖がる。素地は灰白色の粗目のもので、黒色の鉱物や細かな気泡などが散見される。 | つ－14<br>瓦礫層 |
| | 11 | 小碗 | 底 | － | 3.7 | － | 高台脇で大きく破損しており、上部の状況は不明。内底面、外底面の呉須による絵付けは７や９と同じようなモチーフで発色は鈍い。高台外面から腰部にかけては暗茶褐色の鉄釉。内底面・外底面は淡青白色の釉が施される。高台はやや外側へ開き、畳付けは平坦。畳付けの両側を面取りし、その部分と畳付け部は露胎。畳付け部には熔着痕もみられる。素地は乳白色で細かく、７と同じような厚味を出す。 | さ･し－17<br>岩盤にへばりついた黒色土中 |
| | 12 | 碗 | 底 | － | 4.5 | － | 底部の破片。現資料からみると、高台は逆三角形状、畳付けは内傾して平坦。高台際は約５㎜幅で水平方向に削り出し、そこから直線的に外側へ開きながら胴部へ移行する。高台際の折れ曲がり部には１本の沈線が廻る。外面の黒色味を帯びた鉄釉は高台脇までの施釉で、水平の削り出し部から高台および外底面は無釉である。内面は青白色の釉が施され、内底面に呉須による菊花の花弁が７枚認められる。呉須の発色は鈍い。素地は灰白色のやや粗いものである。 | 15トレンチ東側岩上黒色土層 |
| | 13 | 小碗 | 底 | － | 3.4 | － | 底部資料であるが、小破片のため詳細は不明。外面に黄灰色の鉄釉、内面、外底面は淡青白色の釉が施される。内底面には２本の圏線と草花文、外底面には２本の圏線とその中に文様の１部がみられる。底面部、腰部とも幅３㎜ほどの薄手の資料である。素地は乳白色の細かなものである。 | せ－15<br>岩盤にへばりついた黒色土層 |
| | 14 | | 口 | 8.6 | － | － | 腰部の方から外側へ開きながら口縁部に至り、口縁部上端で外反する。口唇部は舌状。外面に茶褐色の鉄釉、口縁部から内面へは淡青白色の透明釉を施す。釉の掛け分けの仕方は他の口縁部資料と同様。口縁部内面には呉須による四方襷文とその直下に１本の圏線を施す。発色はやや鈍い。素地は乳白色の細かなものである。 | つ－14<br>瓦礫層 |
| | 15 | 小杯 | 口 | 6.0 | － | － | 口縁部上端が外反し、口唇部は丸味をもって仕上げている。外面にやや明るい茶褐色の鉄釉、口唇部外面から内面へは淡青白色の透明釉を施す。口縁部内面には呉須による圏線が２本認められる。呉須の発色は淡い。素地は乳白色の細かなものである。 | そ－17<br>黒色混礫土層 |
| | 16 | 小碗 | 口 | 7.4 | － | － | 本品も７・９に類する資料の口縁部破片。薄手の資料で、口唇部は平坦。外面茶褐色の鉄釉は口縁上端部付近までで、そこから内面にかけては淡青白色の透明釉が施される。口縁部内面の２本の圏線は境目が不明瞭。素地は乳白色で細かい。 | せ－15<br>岩盤付近黒色土層 |
| | 17 | | 胴部 | － | － | － | 胴部破片で全体の形状は不明。厚さ２㎜ほどの薄手の資料。外面は淡褐色の鉄釉、内面に淡青白色の透明釉を施す。内面には呉須による文様がみられ、内体面に草花文、内底面の縁に圏線の一部が認められる。素地は乳白色の細かなものである。 | ち－12 畦 |
| | 18 | 小杯 | 口～底 | 5.4 | 2.4 | 2.9 | 腰部が膨らまずに、口縁部の方へ開き、口縁上端部が僅かに外反。口唇部は尖がる。高台は直線的につくり、畳付け外面を斜位に面取りする。畳付けは平坦であるが狭い。高台外面から口唇部直下までの外面は黄茶褐色の釉、口唇部外面から内面と外底面は青白色の釉を施す。黄茶褐色の釉は黒色の微粒子を密に混入し、青白色の釉は風化のためか白く濁る。全釉であるが、高台畳付けとその内外面の釉を剥ぎ取る。外面には口唇部直下に１本の圏線が、体部には草花文が線彫りにより描かれている。内面には口縁部に１本の圏線、内底面には花文が呉須により描かれている。また、外底面に施されている呉須による文様は判然としない。素地は灰白色のやや粗目のもので、細かな気泡が散見される。外面より内面の釉が厚い。 | せ－17<br>地山直上 |

注：（　）は推算径

## 第8表　瑠璃釉観察一覧

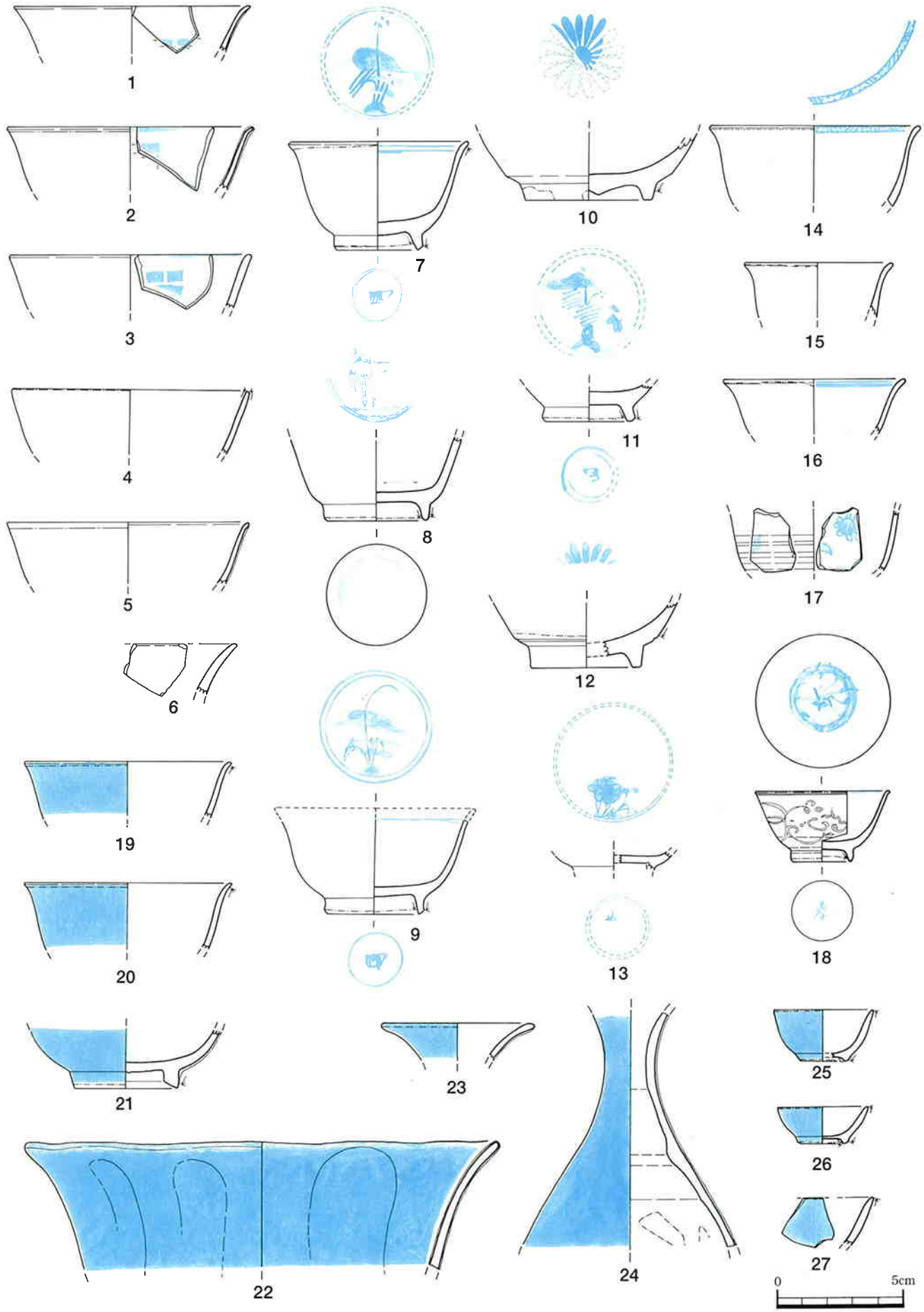
単位：cm

| 図 | 番号 | 器種 | 部位 | 口径 | 器高 | 底径 | 観察事項 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第33図・図版17 | 19 | 小碗 | 口 | 8.4 | — | — | 腰部の方からほぼ直線的に外側へ開き、口縁上端を折り返すように外反させ、上端部をわずかに玉縁状につくる。そのため、口唇部は丸味を帯びる。玉縁部下方までの外面は瑠璃釉を施し、玉縁部から内面へは淡青白色の釉を施す。両面とも釉は光沢を有す。瑠璃釉はやや黒味を帯びた発色。素地は乳白色の細かなもの。 | つ－11<br>北側畦 |
| | 20 | | | 8.4 | — | — | 腰部からほぼ直線的に外側へ開きながら口縁部へ向かい、上端部を若干外反させる。外反部下方から外面は瑠璃釉。外反部上方から口唇部、内面へは淡青白色の釉を施す。両面とも光沢を有す。瑠璃釉の発色は鮮やか。素地は乳白色の細かなもの。 | せ－14<br>地山直上 |
| | 21 | | 底 | — | — | 4.2 | 高台際からゆるやかな弧を描いて胴部の方へ立ち上がる。高台外面はやや内側へ入るようにつくり、畳付けは内傾して仕上げる。そのため、畳付け外側だけが地につく。外面に瑠璃釉、内面に淡青白色の釉を施す。高台の下端部を釉剥ぎし、畳付けから外底部は露胎。外面の瑠璃釉はあざやかな発色。素地は乳白色の細かなもので、気泡が散見される。 | せ－17<br>黒色土層<br>30～50 |
| | 22 | 鉢 | 口 | 19.2 | — | — | 現資料でみると胴部から口縁部にゆるやかに外反する。口唇部は丸味をもつ。口唇部の方へ若干厚さを減じる。現資料の全面に瑠璃釉を施す。釉はガラス質で透明感を有す。胴部が波打つ感じで仕上げられており、それに合わせて口縁部もゆるやかな波状を呈す。素地は乳白色で細かい。 | て－12<br>遺物集中部 |
| | 23 | 瓶 | 口 | 6.2 | — | — | ラッパ状に外側へ開くもので、口唇部は舌状を呈す。口唇部先端を境に、外面は瑠璃釉、内面は淡青白色の釉を施す。両面とも釉は光沢を有す。素地は乳白色のやや細かなものである。 | せ－16旧階段下の石垣北側横地山直上 |
| | 24 | | 胴 | — | — | — | 現資料をみると外反する口縁部から緩やかにすぼまる頸部をへて、ナデ肩を呈す器形が想定される。外面に瑠璃釉、内面には失透気味の淡青白色の釉を施す。内面の下方で露胎の部分がみられ、胴部以下は無釉の可能性もある。釉は光沢を有す。内面には成形の際の痕跡が明瞭に残る。頸部と肩部のつなぎ目はやや厚くなる。素地は乳白色のやや細かなものである。 | ち－13<br>黒褐色礫混り層 |
| | 25 | 杯 | 口～底 | 2.0 | 2.0 | 1.8 | 型成形。腰部がやや丸味を帯び、口縁部へほぼ直線的に立ち上がる。口縁上端部が僅かに外反し、口唇部は尖り気味。底面部は平坦で、胴部とほぼ同じ厚味を有す。高台は低く、若干外側へ開き、逆三角状につくる。畳付けは平坦。外面から外底にかけて瑠璃釉、口唇部から内面は白磁釉。外面はやや濁った感じであるが、内面は光沢を有す。畳付けの内側に溶着物が認められる。素地は乳白色の細かなものである。 | 不明 |
| | 26 | | | 3.6 | 1.5 | 1.7 | 型成形。高台際から緩やかな弧を描いて口縁部に至る。口縁部上端が僅かに外反する。口唇部は尖り気味につくるが、釉を掻き取って仕上げているため若干の平面をつくる。底面部は薄く、平坦にしている。高台部は若干外側へ開く感じで逆三角状につくる。畳付け部はなにかの研ぎに利用されたようで平坦面をつくり、磨り痕を残す。外面および外底面は瑠璃釉、内面には白磁釉が施されている。釉は風化のためか、全体的に白く濁った感じである。畳付けの内側に溶着物が認められる。素地は乳白色の細かなもので、磁質に富む。 | せ－17<br>黒色土層 |
| | 27 | | 口 | — | — | — | 胴部からゆるやかな弧を描いて口縁部に至る。口唇部は釉剥ぎし、若干の平面をつくる。口縁部上端が僅かに外反する。外面は瑠璃釉、内面は白磁釉を施す。釉は光沢を有す。素地は乳白色の細かなものである。 | ち－12<br>地山直上 |

注：法量の項の「－」は計測不可

## 第9表　青磁染付・鉄釉染付・瑠璃釉・翡翠釉・ベトナム産陶磁器出土状況

| 器種 | | 出土地 | トレンチ | 黒色土層 | 地山直上 | 遺構 | き・し－17 | | | せ－15・16・17 | | | | | そ－13・14 | そ－17 | た－14 | ち－13・14 | | | つ－14 | つ－11 | 近代遺構 | 不明 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | 岩盤にへばりついた黒色土層 | 石灰岩礫層崖部 | 岩盤門地内 | 岩盤付近黒色上層 | 岩盤にへばりついた黒色土層 | 石垣周辺の清掃により出土崩土中 | 地山直上 | 黒色混礫土層 | 壁面に漆喰のある方形遺構内 | 黒色混礫土層 | 黒褐色混礫土層 | 西側畦黒褐色礫混り層 | 黒色混礫土層 | 遺物集中部 | 瓦礫層 | 北側畦 | | | |
| 青磁染付 | 小碗 | 口縁 | 1 | | | | | | | | | | | 2 | | | | | 1 | 1 | | | | | 6 |
| | 小計 | | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6 |
| 鉄釉染付 | 碗 | 口縁 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 小碗 | 口縁 | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | | 1 | | | 1 | | | | 4 |
| | | 底部 | 1 | | 1 | 1 | 1 | | | | 1 | | | | | | | 1 | | | 1 | | | | 7 |
| | | 口～底 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 杯 | 口～底 | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 小計 | | 2 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 3 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 14 |
| 瑠璃釉 | 碗 | 口 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 |
| | 小碗 | 口 | | 1 | | | | 2 | | | | | 2 | | | | | | | | | 1 | | | 6 |
| | | 胴 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 | 4 |
| | | 底 | | 1 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | 瓶 | 口 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 2 |
| | | 口～胴 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | 1 |
| | | 胴 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | 3 |
| | 鉢 | 口 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 |
| | 杯 | 口～底 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | 胴 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| | 不明 | 胴 | | 1 | | | | | | | | | 2 | | 1 | | | 3 | | | | | | | 6 |
| | 小計 | | 0 | 4 | 0 | 1 | 0 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | 4 | 0 | 1 | 0 | 0 | 6 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 6 | 29 |
| 翡翠釉 | 皿 | 口 | | 3 | 1 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | 7 |
| | | 胴 | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 1 |
| | | 底 | 1 | 2 | 1 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 7 |
| | 小計 | | 1 | 5 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 15 |
| ベトナム | 青磁 | 碗 底 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 翡翠釉 | 皿 口～底 | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | 皿 口 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| | | 皿 底 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | 1 |
| 小計 | | | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 4 |




第33図　青磁染付・鉄釉染付・瑠璃釉

## 第７節　ベトナム産陶磁器

外底面に鉄釉を配しているところから本項で扱うことにした。２点得られており、第34図１・２に示した。１は青磁碗の底部資料で、推算高台径が約４㎝を測る。高台際からほぼ直線的に胴部へ移行するもので、高台は方柱状につくり、畳付けは平坦。内外面に黄緑色の釉が施されているものの、白く濁り、失透している。高台畳付けを釉剥ぎし、その両側を面取りしている。高台脇に蓮弁文の弁尻が認められる。

２は全形の窺える皿で、推算口径が約11㎝、推算高台径が約６㎝、高さが2.3㎝を測る。高台際から腰部が僅かに膨らむ外反口縁。外面に菊の花弁をイメージしたような文様があしらわれ、それに対応するように口縁部も波状を呈す。高台畳付けを除き全釉のようである。ライトブルーの釉を白化粧の後に施しているが、光沢は失われ、内外面とも釉の剥落が著しい。

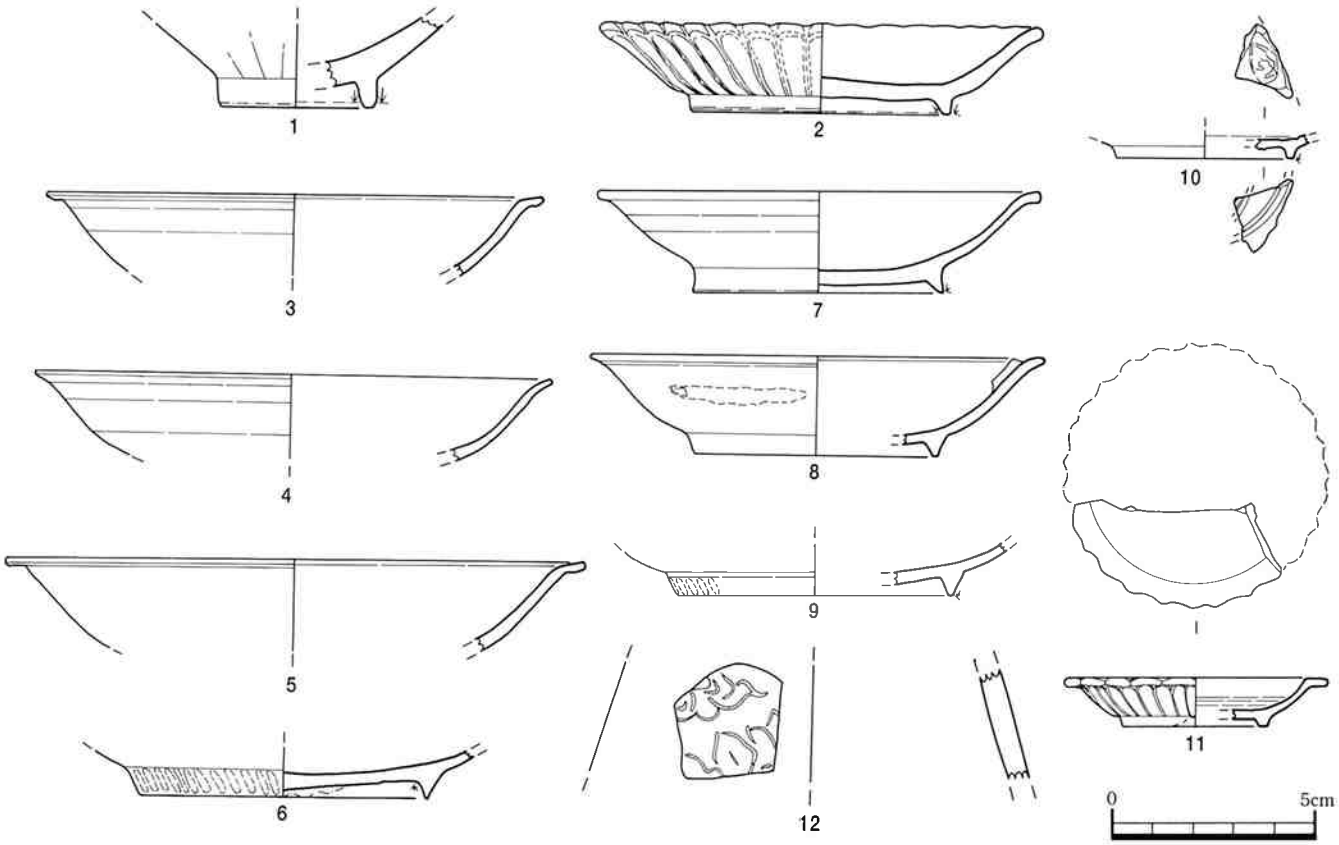
## 第８節　翡翠釉

総数15点余得られており、特徴的なものを第34図３～12に示した。３～11は皿の資料で、12は瓶の胴部とみられ、７・８・11は全形の窺えるものである。他の口縁部・底部資料もあわせてみると、口径が11～14㎝、高台径が６㎝前後、高さ約2.5㎝のもの（３～９）とそれよりも小振りのもの（10・11）がみられる。いずれも白化粧を施した後にライトブルーの釉を外底面を除き全釉するという特徴がみられる。

３～９は腰部が僅かに膨らみ、口縁部が外反し、高台は逆三角形状に内側にすぼまるものである。ほとんどの口縁部が水平方向に折れ曲がるが、ゆるやかな外反のもの（４）も見受けられる。図示したものは総て無文の資料で、口縁部や内底面などに釉の剥落部が多い。また、７・８は内面に火を受けた痕跡もみられ、８は別の個体の破片が内面に熔着。３がつ－14黒色土層、４がせ－16地山直上、５がそ－17撹乱土壙、６がさ－17黒褐色混礫土層、７がそ－11撹乱土壙、８が不明、９がせ－17黒色土層からの出土。

11は全形が窺えるもので、推算口径が約6.5㎝、推算底径が約3.5㎝、高さ約１㎝を測る。胴部が若干膨らみ、口縁部は水平方向に折れ曲がるように外反する。高台は逆台形状で、畳付けは若干の平坦面をつくる。外面にだけ蓮弁文を配す。10も逆台形状の高台をつくる。文様は、小破片のため判然としない。10はち－11黒色土層、11はせ－17黒褐色混礫土層から出土している。

12は外面に線彫りによる草花文を施した瓶の胴部とみられる資料である。小破片のため詳細は不明。外面にのみ白化粧の後、ライトブルーの釉を施している。線彫りの部分は緑味をおびる。釉の剥落が著しい。そ－11撹乱土壙からの出土。




第34図　ベトナム産陶磁器・翡翠釉

## 第９節　天目茶碗

出土点数は26点で口縁部、底部の形態で分類した。

口縁部－Ａ１：口唇部がくびれるもの

　　Ａ２：口唇部のくびれが強いもの

　　Ｂ　：口唇部が内彎し、内部に段をなすもの。

底　部－イ１：浅い上げ底

　　イ２：糸切り底

　　ロ：浅い高台

胎　土－　①：灰褐色で中国系

　　②：乳褐色で「瀬戸天目」に酷似（第35図８、10）のものもある。

出土状況は第10表に示した。これによると、さ・せ－17、遺構 57 にも複数の出土が見られ、遺構の時期を知る手がかりとなる。以下、第10表出土状況、第11表観察一覧に詳細は記述する。

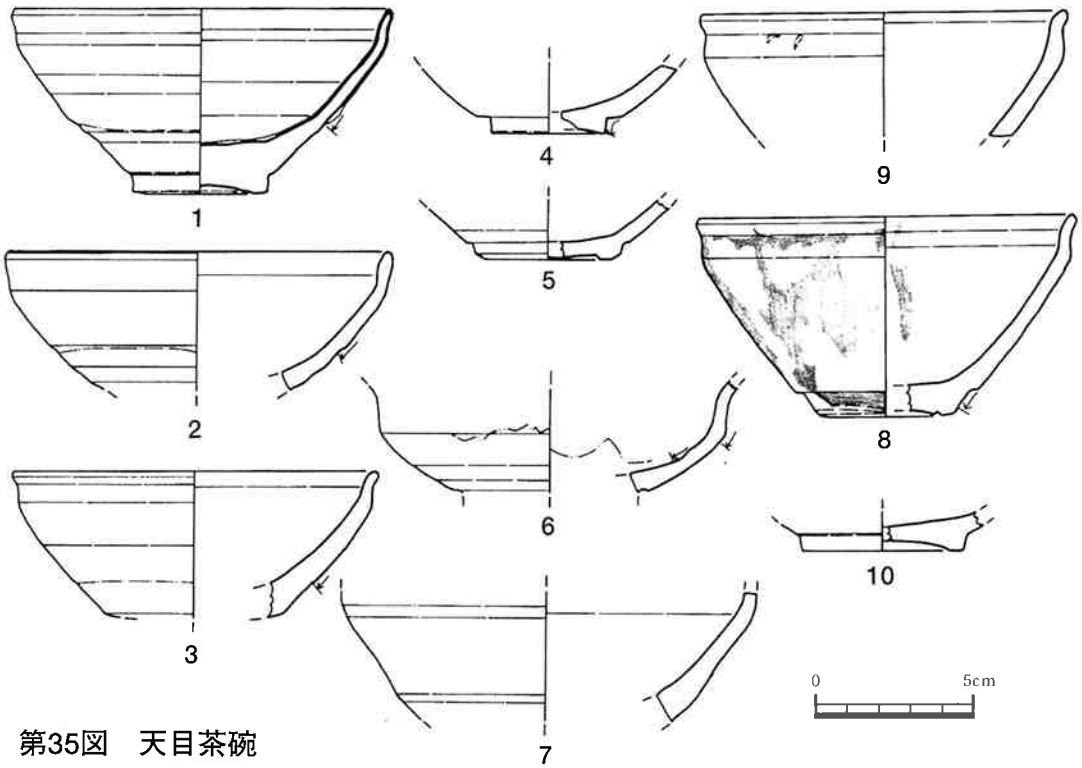
### 第10表　天目茶碗出土状況

| 分類 | | | 出土地 | 15トレンチ東側 | さ-17 | さ-し-17 岩盤凹地内五集中部 | す-15 地山直上遺構57 | せ-16 暗褐色混礫土層 | せ-17 黒色土層60～80 | せ-17 用階段下の石垣の後土坑集中部 | せ-17 地山直上 | そ-17 黒色混礫土層 | た-14 黒色土層20～40 | つ-11 | つ-13 14 岩盤付近遺構集中部 | ち-9 石段上黒色土層 | ち-11 黒色土層 | ち-14 石垣と岩盤の間暗黒 | 不明 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 口縁部 | A | 1 | ①口縁 | 1 | | | 2 | | | | | | | 1 | | | | 1 | | 5 |
| | | | ①胴部 | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 | 1 | | 3 |
| | | | ②口縁 | | | 1 | 2 | 1 | | | | | | | | 1 | | | | 5 |
| | | | ②胴部 | | | 1 | | 1 | | 1 | | | | | | | | | 1 | 4 |
| | | 2 | 胴部 | | | 1 | | | | | | 1 | | | | | | | | 2 |
| | B | | 口縁 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | 胴部 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| 底部 | イ | | ①口縁 | | | | | | 1 | | | | 1 | | | | | | | 2 |
| | | | ②口縁 | | | | 1 | | | | 1 | | | | | | | | | 2 |
| | ロ | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| 合計 | | | | 2 | 1 | 4 | 5 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 27 |

### 第11表　天目茶碗観察一覧

単位：cm

| 図 | 番号 | 法量 | 観察事項 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|
| 第35図・図版19 | 1 | 口径12.2 器高 5.9 底径 4.3 | A1ロ。口唇は僅かにくびれ、腰部は僅かに張る。底部は上げ底。釉色：黒色が主であるが口唇のくびれに鉄釉が残る。施釉：外面は腰部まで、内面は総釉。胎土：明灰褐色と暗灰褐色がサンドイッチ状になる。黒色細粒混入。 | 石積と岩盤の間暗黄褐色土層 |
| | 2 | 口径12.4 | B。口唇は内彎し、内部に段をなす。施釉：外面は口～胴下部、内面は総釉。釉色は黒色が主で口唇のくびれに鉄釉がみられる。胎土：灰褐色で、1と同一個体か。 | 15トレンチ東側岩上 |
| | 3 | 口径11.6 | A1。口唇はくびれ、胴部は若干厚くなる。施釉：外面は口～腰部、内面は総釉。釉色は鉄釉。胎土：灰褐色で底部近くは気泡がみられる。 | つ-11地山直上岩盤 |
| | 4 | 底径 3.6 | イ2。腰は削り、角をなす。糸切り痕。胎土：灰褐色、黒細粒を僅かに混入。施釉：外面は口～腰部、内面は総釉で薄い。釉色：鉄釉。 | た-40黒色土層20～40 |
| | 5 | 底径 4 | ロ。底部は浅い高台、薄手。施釉：外面は腰部に鉄釉を掛ける。内面は総釉。 | さ-17岩盤凹地埋土 |
| | 6 | — | A2。口唇は大きくくびれて浅く、底部は丸くなる。釉色：内外面とも口唇が黒色で、胴部にかけては茶褐色。胎土：灰褐色、白色細粒を少量混入。 | そ-17黒色混礫土層 |
| | 7 | — | B。器面：外面の削りは明瞭。施釉：外面は口～腰部、内面は総釉。釉色：黒茶色で薄い。胎土：灰褐色、白色細粒を少量混入。 | 不明 |
| | 8 | 口径12.0 器高 6.4 底径 4.3 | A1。腰部に鉄釉が掛かる。美濃鉄釉。胎土：乳白色。瀬戸天目に酷似。 | せ・そ-13遺構57 |
| | 9 | 口径11.6 | A1。口唇は丸味。胴部は厚手。施釉：口唇のくびれの部分でまだらになる。釉色：茶褐色。胎土：乳褐色。 | せ・そ-13遺構57 |
| | 10 | 底径 5.1 | イ。底部は上げ底。器面調整は丁寧。胎土：乳褐色。内面は総釉で厚い。釉色：黒色。 | せ-17黒褐色混礫土層 |




第35図　天目茶碗

## 第10節　三彩・銅緑釉・褐釉磁器・宜興窯

### 1．三　彩

量的には多くない。小破片のものがほとんどで、全形の窺えるようなものは見受けられない。ほとんどの資料は白化粧が施され、緑釉だけが認められるものの、釉の剥げ落ちた資料が目立つ。また、素地は細かく、黒色・白色の鉱物を含むものが多く見受けられる。器種的に明確なものは鉢、瓶、水注、蓋、置物などが確認されており、特徴的なものを第36図１～７に示した。個々の細かな特徴については観察表に示したとおりで、ここでは全体的な概要について簡単に述べる。

鉢は１・２に示したものである。それからすると、底面部から直線的に外側へ開く器形で、口縁部の端を外反させるようにつまみ上げる。口縁部内側の径が約19㎝を測る。底面部を除いて、施釉の対象になっていたかと推察される。内面の方が丁寧に施釉されるようで、内定面には線彫りの文様を配す。

４・５・８・９は瓶の資料とみられる。これらをみると、口縁部は外反、底部はベタ底のものである。施釉の対象は外面だけのものが多かったかとみられ、文様は線彫りのものが主流だったかと思われる。

６・７は注口の資料であるが、長さに若干の差がみられる。６は上面と側面に沈線が施されている。全体の形状の違いと思われる。外面だけが施釉の対象である。

10は円形の水注の蓋である。甲部の径が約3,5㎝（現存長）、身受け部の径が約２㎝を測る。身の口縁部の径も約２㎝と想定される。中央部には撮みが付されたようである。甲部だけが施釉の対象となっている。11～14は型物の資料とみられる。13は他の３点とは異なる感じで、小型のもののようである。いずれも施釉の対象は外面だけのようである。13は黄色の釉の使用も認められる。

### 2．銅緑釉

量的には多くない。ほとんどが小破片の資料で、第36図15・19～22に特徴的なものを示した。個々の詳細は観察表に示したとおりである。15・22は青味の強いもので、19～21は緑味の強いものである。素地をみると15・19は淡灰白色のやや粗いもので、20～22は淡黄白色で細かく、黒色鉱物を含むものである。19の鉢形の底部資料を除くと、施釉の対象は外面だけのようである。器種的に明確なものは鉢（19）、蓋（20・21）、壺（22）の３種で、15は大型の袋物が想定される。

15は透かしや表面の飾りなど特徴的であり、注意される。２色の釉が認められる。19は内底面に陽刻の葉が認められるもので、高台畳付け部だけが露胎となっている。20は甲部に放射状の沈線を配する蓋で、鍔縁部は破損している。21は若干の縁部がつくられる蓋で、身受け部は21よりもやや長く、上部まで施釉される。22は壺の胴部破片である。

### 3．褐釉磁器

１点だけ確認でき、第36図23に示した。外反碗の口縁部資料で、薄手のつくりである。首里城などからの報告例が増えてきつつあり、注意される資料のひとつである。詳細については観察表に示した。

### 4．宜興窯

量的には多くない。近年、注目されてきた茶具類である。茶褐色の細かな素地で、白色微砂粒を含むものと含まないものがある。いずれも器表面には泥釉が施され、器肌は滑らかである。第36図24・26～31に示したもので、確認できた器種は小碗、急須、蓋などである。31に示した蓋の資料だけが黒味を帯びた器色で、他は茶褐色を呈す。個々の詳細については観察表に示した。

24に示した小碗は口縁部に細かな雷文帯を廻らし、26の急須の底部資料の外底面には文字が認められる。28の底部資料かとみられるものには、内底面に草花文が配されている。29はやや大きめの撮みで、中央部に小孔を設けている。30は四角形の、31は円形の蓋である。

## 第12表　三彩・銅緑釉・褐釉磁器・宜興窯観察一覧(1)

単位：cm

| 図 | 番号 | 種類 | 器種 | 部位 | 口径 | 器高 | 底径 | 観察事項 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第36図・図版20 | 1 | 三彩 | 鉢 | 口 | — | — | — | 胴部からほぼ直線的に外側へ開きながら口縁部に向かい、口縁部上端が斜め上方へ張り出し、口唇部を広くする。口唇部は凹面をなし、内側の稜が明瞭である。外面の口唇下約2cmの箇所に沈線を廻らす。沈線は破片の左側では2本、右側では3本認められる。現資料では緑釉だけがみられ、外面はほとんど剥げ落ちているものの、内面は未だ光沢を有す。淡黄白色の細かな素地で、黒色粒を多く含む。 | せ—17<br>地山直上 |
| | 2 | | | 底 | — | — | — | 鉢の底部資料とみられ、内底面に線彫りの文様を配す。釉はほとんど剥げ落ちている。外底面は黄褐色を呈す。素地は暗灰色の細かなもので、黒色粒を多く含む。 | 不明 |
| | 3 | | 不明 | 口 | — | — | — | 小破片のため詳細は不明。口唇部を丸味を持って仕上げる。外面の口縁部に1本の沈線を廻らす。内外面に白化粧土の上に緑釉を施しているが、状態は悪い。口唇部は完全に剥げ落ちている。素地は淡黄白色の細かなもので、黒色粒が散見される。 | ち—13<br>黒色混礫土層<br>20～30 |
| | 4 | | | | 3 | — | — | 小破片のため詳細は不明。推算径は約3cm。上端部が両側へ張り出す。口唇部は丸味をもち、外側の稜は明瞭である。資料の全面に緑釉がみられるが、外側の稜の部分は若干剥げ落ちる。素地は淡黄白色の非常に細かなものである。 | た—14<br>礫集中部 |
| | 5 | | | 底 | — | — | 5.4 | 底部資料。小破片のため器種は判然としない。ベタ底で底面部に白釉がみられる。底面部からの立ち上がり部に2本の沈線を廻らす。その上方に沈線による文様を配す。外面にのみ緑・黄・黒味のある釉が施される。内面は露胎。黄褐色の細かい素地で、黒色粒を多く含む。 | た—14<br>石積と岩盤の間<br>黒褐色土層 |
| | 6 | | | 注口 | — | — | — | 約2cmの注口の資料。上面に約1cmの間隔を開けて短沈線を配し、左右に先端部までの長沈線を1本づつ施す。つくりは雑である。釉は剥げ落ちており、判然としない。素地は淡黄白色の細かなもので、黒色粒が散見される。 | せ—17<br>黒色土層<br>0～30 |
| | 7 | | 水注 | 注口 | — | — | — | 注口の資料で先端が折れ曲がるもののようであるが、先端部が破損。下端部は身との接着部付近から破損。内側の孔は下端部の方が扁平になっている。白化粧を施してから緑釉を薄く施す。釉の剥げ落ちる部分も見受けられる。淡黄白色の細かな素地で、黒色・白色の鉱物が散見される。 | す—17<br>表採 |
| | 8 | 褐釉磁器 | 瓶 | 口 | — | — | — | 瓶の口縁部資料とみられる。緩やかに外反するもので、口唇部外側のカドを明瞭につくる。内側は丸味を帯び、その部分に沈線を廻らす。外面に葉っぱの文様がみられ、その部分に赤味を帯びる釉が残る。内外面ともほとんど釉が剥げ落ち、素地の面が出ている。淡灰白色の細かな素地で磁質に富む。 | つ—9<br>地山直上 |
| | 9 | 三彩 | 瓶 | 胴 | — | — | — | 外面に唐草文を配す瓶の胴部資料。内面は露胎。現資料では白化粧の上に緑釉だけが認められる。淡黄灰色の細かな素地で黒色鉱物を比較的多く含む。 | す—14<br>瓦礫層 |
| | 10 | | 水注の蓋 | 摘み | — | — | — | 水注の蓋とみられる。甲部は平坦につくり、中央部に摘みを設けるが摘み部は破損。周縁部は欠けている。身受け部は逆台形状につくり、下端面は若干凹む。甲部にのみ緑釉が施され、基本的に甲部下面から身受け部は露胎。部分的に釉垂れがみられる。やや淡い橙褐色の細かな素地で黒色の鉱物の他、粒の粗い白色鉱物が散見される。 | つ—14<br>瓦礫層 |
| | 11 | 不明 | 瓶 | 胴 | — | — | — | 置物の破片のようである。小破片のため詳細は不明。表面が施釉の対象のようであるが、釉は剥げ落ち、白化粧土が残る。裏面は露胎。淡黄灰色の細かな素地で、赤色・白色の鉱物を含む。 | す—15<br>地山直上 |
| | 12 | | | 底 | — | — | — | 置物の破片のようである。底面から胴部までの資料であるが、全体の状況は窺えない。型物のようで底面部に合わせ目とみられる痕跡が認められる。外面にのみ緑釉がみられ、底面部、内面は露胎。外面の文様の凹部は釉が剥げ落ちている。黄灰色の細かな素地で、赤色・白色の鉱物を含む。 | し—17<br>岩盤凹地内中層<br>瓦集中部 |
| | 13 | | | 胴 | — | — | — | 小型の袋物のようである。底面部から若干真っ直ぐに立ち上がり、そこから胴部が丸く膨らんで口縁部の方へすぼまる。胴部中央付近に注口様のものがみられる。外底面は凹凸が著しい。胴部下端と底部の境目に横位の沈線、胴部にほぼ等間隔に縦位沈線を施す。口縁部は判然としない。注口様の部分は黄色、胴部は緑色の釉が施されているが、胴部はほとんど剥げ落ちている。底面部、内面は露胎。黄灰色の細かな素地で、赤色鉱物などを含む。 | ち—14<br>瓦礫層 |
| | 14 | | | 尾 | — | — | — | 鳥型の尾の部分かとみられる。合わせ目から破損。外面に若干の間隔を開けて沈線を施し、その沈線間を短沈線で埋める。下面はやや平坦にしている。部分的に緑釉がみられるものの、ほとんど剥げ落ちている。内面は露胎。黄灰色の細かな素地で、赤色・白色の鉱物を含む。 | た—13<br>石垣下黒色混礫土層 |
| | 15 | 銅緑釉 | 不明 | 口 | — | — | — | 銅緑釉のすかし彫りの破片で、大物の袋物のようである。かなり細かな細工が施されている。緑・黄・黒味を帯びた釉が配されている。淡灰白色のやや粗い素地で、細かな気泡が目立つ。 | 不明 |
| | 16 | 不明 | 皿 | 口 | — | — | — | 角皿の口縁部資料。口縁部がほぼ直線的に外反。口唇部は平坦に仕上げ、両側のカドは比較的明瞭。外面には細沈線が部分的に施される。資料の全面に緑釉が施されている。素地は灰白色の細かなものである。近代のものの可能性もある。 | し—17<br>岩盤凹地内中層<br>瓦集中部 |
| | 17 | | 蓋 | 口 | — | — | — | 壺の蓋とみられる。甲部を弧状に仕上げ、鍔縁を波状につくる。甲頂部にはブリッジ状の把手がつくようである。甲頂部から下端部へ縦位沈線を施し、下端部で枝分かれするように鍔縁へ別方向の沈線を描く。甲部から鍔縁部下面まで緑釉を施し、身受け部内面は露胎である。素地は灰白色の細かなもので、小さな気泡が目立つ。近代のものの可能性もある。 | し—17<br>岩盤凹地内上層 |

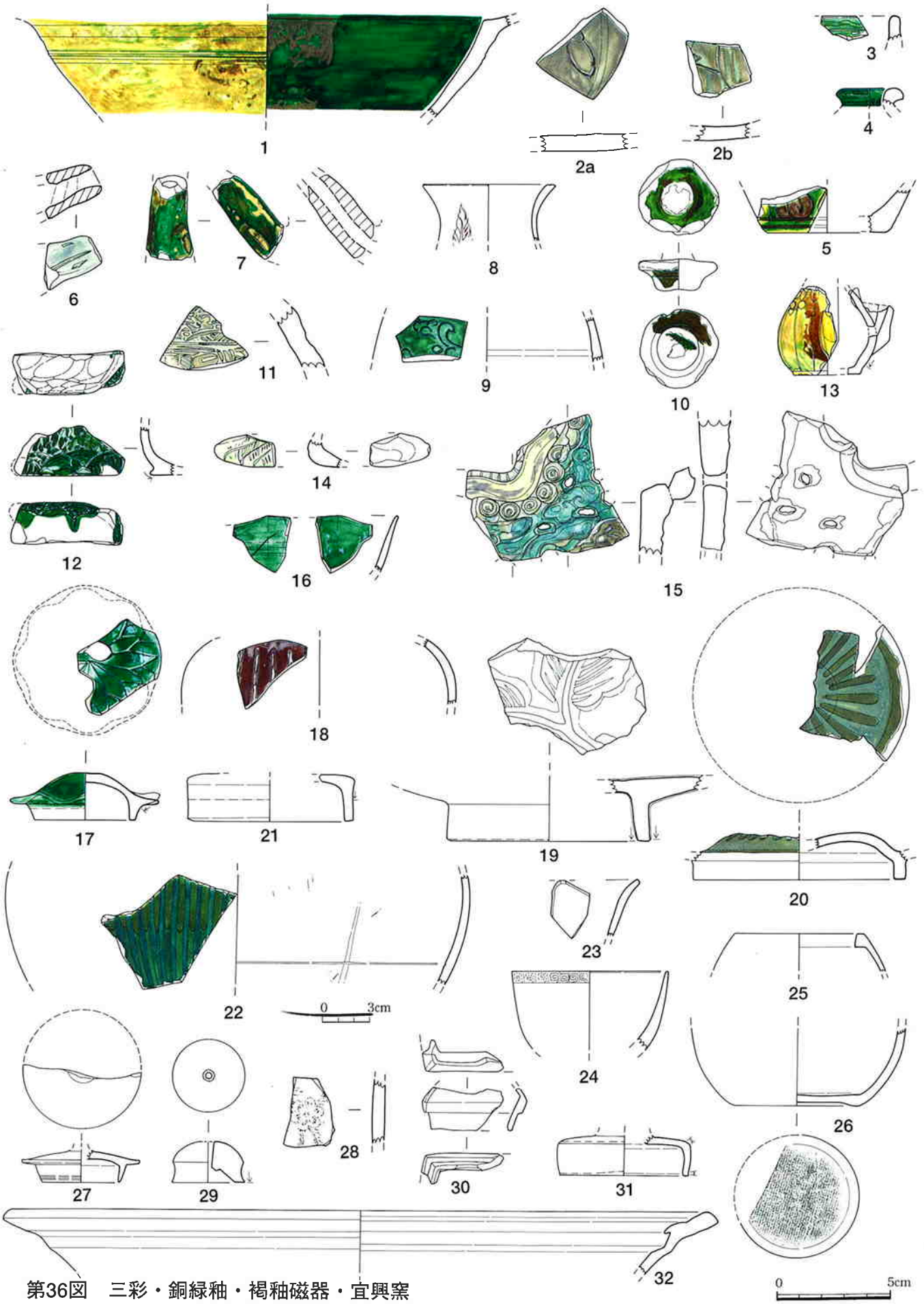
注：法量の項「—」は計測不可

## 第12表　三彩・銅緑釉・褐釉磁器・宜興窯観察一覧(2)

単位：cm

| 図 | 番号 | 種類 | 器種 | 部位 | 口径 | 器高 | 底径 | 観察事項 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第36図・図版20 | 18 | 不明 | 瓶 | 胴 | — | — | — | 袋物の胴部片。外面にほぼ等間隔に縦方向の凹線様の文様を配し、泥釉を施している。凹線様のものは胴上部から施されている。凹部は殆ど釉が剥げ落ちている。内面は露胎。素地は橙褐色のやや粗いもので、部分的に灰褐色を呈す。 | ち—13<br>地山直上 |
| | 19 | 銅緑釉 | 鉢 | 底 | — | — | 9 | 高台際からほぼ水平方向に外側へ開く底部資料。内底面はほぼ平坦。高台は方柱状に約1.5㎝。畳付け部は平坦。内底面に明瞭な草花文を配す。畳付けを除き、全面に銅緑釉が施される。高台内側の釉は細かな気泡が目立つ。素地は黄白色のやや粗いものである。 | ち—9<br>石段上黒色土層 |
| | 20 | | 蓋 | 底 | 9.3 | — | — | 甲中央部が凹むもので、鍔縁部は破損している。身受け部はほぼ垂直につくり、約8㎜。身受け下端は平坦面をつくる。甲部には凹線が放射状にほぼ等間隔に配される。現資料では甲部にのみ銅緑釉が施されている。素地は淡黄白色のやや粗いもので、黒色鉱物を含む。 | せ—16<br>暗褐色混礫土層 |
| | 21 | | | | 6.5 | — | — | 甲部はほぼ平坦面をつくり、端部が丸味を持って若干外側へ張り出す。身受けの部分はほぼ真っ直ぐに約1.5㎝。下端部は斜めにつくり、若干の凹面をなす。甲部から身受けの上部まで、やや濁った感じの銅緑釉が施されている。身受け下部から内面は露胎。素地は淡黄白色の細かなもので、黒色鉱物の微粒子を含む。 | そ—13<br>地山直上 |
| | 22 | | 壺 | 胴 | — | — | — | 小破片のため詳細は不明。表面に濁った銅緑釉がみられ、裏面は露胎。裏面は丁寧なナデ調整が行われ、滑らかである。表面に縦方向の凹線様のものが、ほぼ等間隔に配され、破片上部では明瞭であるが下半部はナデ消される感じになっている。破片の周縁部では釉の剥がれが目立つ。素地は淡黄白色の細かなもので、黒色鉱物などを含む。 | て—13<br>遺物集中部 |
| | 23 | 褐釉磁器 | 碗 | 口 | — | — | — | 口縁部がゆるやかに外反する碗。口唇部は平坦で、両側のカドは明瞭。文様はみられない。非常に薄いつくりで、黒味がかった釉の上に暗茶褐色の褐釉を薄く丁寧に施す。黒味がかった釉は外面よりも、内面の方に厚く施している。素地は淡灰白色の細かなものである。 | せ—17<br>黒色土層<br>60～80 |
| | 24 | 宜興窯 | 小碗 | 口 | 6.8 | — | — | 腰部がほとんど膨らまない直口口縁。口唇部の方へ厚さを減じ、口唇部は舌状に仕上げる。外面の口縁部上端に細かな雷文帯を配す。胎土は非常に細かな粘土を用いており橙褐色を呈す。表裏面には、さらに茶色味の強い泥を塗布して、滑らかな器肌を整えている。 | て—12 |
| | 25 | 不明 | 急須 | 口 | 5.6 | — | — | 胴部が丸味を帯びる内彎口縁。口唇部は水平で平坦。内側に二等辺三角形状の凸帯を貼り付け、蓋受けとしている。下端部に貼り付け痕を明瞭に残す。文様はみられず、器面の調整は非常に丁寧で、滑らかな器肌を有す。外面の方がより丁寧な調整。器表面及び内部とも暗茶褐色を呈す。胎土は細かな粘土を用いており、白色の微砂粒を混入する。 | せ—14<br>遺構74 |
| | 26 | 宜興窯 | 急須 | 底 | — | — | 5.4 | 底部資料。丸く膨らんだ胴部から、碁笥底様に滑らかな縁部をつくり、外底面になる。底面部の縁部にゆるやかな山形の凸帯を廻らし、丸味をもって仕上げている。外底面に文字が3行書かれている。素地は非常に細かく暗茶褐色を呈す。表・裏面には茶褐色の泥釉を施している。 | 不明 |
| | 27 | 宜興窯 | 蓋 | 口～底 | 3.4 | — | — | 円形の蓋。甲部は中央部の方へ若干盛り上がり、端部の約5㎜幅を平坦にしている。中央部に撮みがつくようであるが破損しており不明。身受け部は先端部の方へすぼまるようにつくり、約1㎝の長さを有す。素地は非常に細かく、暗茶褐色を呈す。器表面は黒味が強い。 | ち—13<br>地山直上 |
| | 28 | | 不明 | 底? | — | — | — | 底面部を若干削り出し、外底面を平坦にする底部資料のようである。内底面には花文と葉が認められるが、全体の構図は不明。資料の下端と右端は文様を囲むように配される沈線に沿うように破損している。上端部に小さな穴が開いていたとみられる痕跡が認められる。素地は非常に細かく、暗茶褐色を呈す。器表面は茶褐色を呈し、内面は滑らかな仕上げであるが、外面はそれほどでもない。 | ち—12<br>黒色土層<br>20～30 |
| | 29 | | 蓋 | 撮み | 3.2 | 1.8 | — | 蓋との接着面から約1㎝までは内側へくびれ、そこから上部へは半円状を呈す。中央部に約5㎜の円形の小孔が穿たれている。外面は非常に滑らかで、丁寧なつくりである。蓋との接着面は若干の平坦面をつくるが、内面の調整は意識されていない。素地は赤味を帯びた茶褐色で細かく、白色の砂粒を多く含む。 | し—17<br>崖部溝状遺構直上黒色混礫土層 |
| | 30 | | 急須の蓋 | 胴 | — | — | — | 口縁部が四角形の器の蓋の資料で、身受け部は下端の方へすぼまる。下端部は平坦面をつくる。甲部の縁は約5㎜幅で直方向に平坦に仕上げ、そこから頂部の方へ斜め方向に向かう。角の部分は明瞭な稜を有す。器面調整は丁寧に行われ、特に外面は滑らかな仕上げとなっている。素地は暗茶褐色の細かなもので、白色・黒色の微砂粒を多く含む。 | す—15<br>撹乱層 |
| | 31 | | 急須 | 底 | 5.6 | — | — | 甲部の縁を約1.5㎝下方へ折り曲げるようにつくる。折り曲げ部は僅かに外側へ膨らみ、下端部を若干外側へつまみ出す感じで仕上げる。下端部は平坦面をつくるが、内側のカドは丸味を帯びる。甲部は平面で縁部に1本の沈線を廻らす。中央部に撮みを設けるもののようである。内外面に黒味の強い泥釉を施す。素地は茶褐色の細かなもので、白色の微砂粒を含む。 | そ—18<br>西側畦<br>地山直上 |
| | 32 | 不明 | 擂鉢 | 口 | 31.4 | — | — | 口縁部がL字状に外反するもので、上端部をやや厚めにつくる。口唇部は丸味を帯び、外面の稜を比較的明瞭に仕上げる。口唇下約3㎝の場所に1㎝幅の凹部を設け、その上方にかぶるように幅約1㎝の凸帯を廻らす。特徴的な口縁部をつくる。内面の櫛目はその凹部まで施される。内外面とも口縁部だけに黒味のある釉を施している。素地は黒味の強い細かなもので、微砂粒を密に含む。本土産陶器の可能性もある。 | せ—15・16<br>岩盤にへばりついた黒色土層 |

注：法量の項「—」は計測不可




第36図　三彩・銅緑釉・褐釉磁器・宜興窯

## 第11節　中国産色絵

中国産色絵は徳化窯、福建・広東系のものが出土している。器種は碗、小碗、杯、皿、壺、蓋、瓶等がある。その一部を図示した。(第37図)

碗は１～４でその内、福建・広東系は1～3である。いずれも釉は青味である。出土状況は碗が口縁部４個、胴部２個が出土している。小碗は外反口縁（３個）と直口口縁（4個）、胴部（10個）底部（３個）がある。皿も外反口縁　(図9・14)と直口口縁(図13)があり、図13・14は型成形で徳化窯で、18世紀のものである。後者の口縁が４個、胴部が１個、底部１個である。瓶は胴部が３個、杯２個、蓋２個が出土している。

## 第12節　黄釉磁器

鉢と小碗がある。第37図17は鉢で黄釉を施す。外底は白釉。素地は白色。景徳鎮窯で16世紀ごろ。底径5.8㎝、つ－10地山直上から出土。

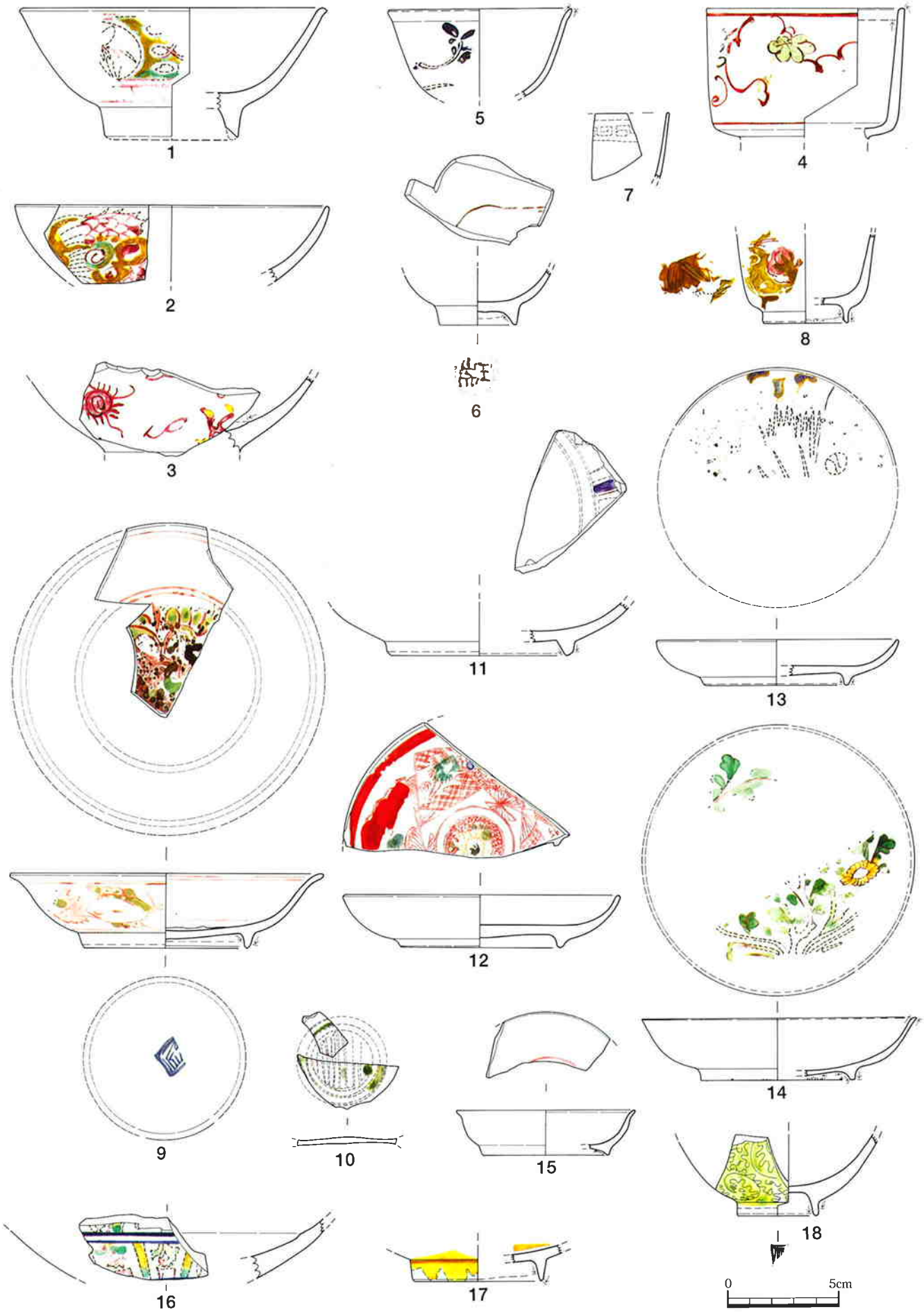
図18は小碗で外面に黄緑釉を掛け、唐草の沈文を全面に施す。外底に款識があり、19世紀以降の物。底径3.6㎝、そ－13地山直上の出土。

図12は銅版転写であるため第16節で報告する。

### 第13表　中国産色絵観察一覧

単位：cm

| 図 | 番号 | 器種 | 部位 | 口径<br>器高<br>底径 | 形態 | 文様 | 施釉 | 素地 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第37図・図版21 | 1 | 碗 | 口～底 | 14<br>6<br>6.2 | 外反口縁。 | 口縁に圏線、胴部には丸窓に竹文と緑色で草花文。腰部に赤で蓮弁文。 | 釉は青釉。 | 灰白地。 | て-12<br>遺物集中部<br>黒色土層 |
| | 2 | | 口 | 14.2<br>－<br>－ | 直口口縁。 | 赤で鱗、黄・緑で丸文を施す。全体の構図は雲竜文の可能性が考えられる。 | 釉は青釉。 | 灰白地。 | せ-17 |
| | 3 | | 胴 | －<br>－<br>－ | 2に類似。 | 赤で渦巻き文、部分的に黄も施され、草花文とみられる。 | 釉は青釉。内底は無釉。 | 灰白地<br>気泡がみられる。 | せ-15<br>遺構32 |
| | 4 | 筒碗 | 口 | 9<br>－<br>－ | 直口口縁。 | 外面の上下に赤で圏線、その間に赤で蔓状の文様、緑で葉を配する。 | 釉は灰白色で内面の口唇は8㎜ほど無釉。 | 白地。 | す-15<br>地山直上<br>遺構30 |
| | 5 | 小碗 | 口 | 8.4<br>－<br>－ | 外反口縁。<br>型成形。 | 青で草花文。 | 釉は白釉。口唇は研磨し無釉。 | 白地。 | せ-17<br>黒色土層<br>60～80 |
| | 6 | | 底 | －<br>－<br>3.5 | 型成形。 | 内底に「瑞」の逆文字。内面に茶で草文。 | 白釉。 | 白地。 | さ-17・18<br>崖部石垣状遺構上<br>黒色混礫土層 |
| | 7 | | 口 | －<br>－<br>－ | やや外反。 | 口縁近くに雷文帯。色は剥げる。 | 白釉。 | 白地。 | た-9<br>遺構179 |
| | 8 | | 底 | －<br>－<br>3.9 | 小杯に近い。<br>型成形。 | 外面に花、竹の文様を絵付け。全体に黄釉を被せさらに一部沈文を施す。 | 畳付け無釉、高台の内側に内面砂目。 | 白地。 | そ-13・14壁面の漆喰のある方形遺構内 |
| | 9 | 皿 | 口～底 | 14.2<br>3.4<br>7.4 | 外反口縁。<br>型成形。 | 外面に唐草文、底に青で款識と圏線。内面の口縁に圏線、内底に草花文。赤、緑を配す。 | 畳付け無釉。 | 白地。 | せ-16<br>黒褐色混礫土層 |
| | 10 | | 底? | －<br>－<br>－ | － | 内底に寿文で緑、赤を配す。 | 外底無釉。 | 白地。 | せ-18<br>石灰岩礫集中部<br>黒色土層 |
| | 11 | | 底 | －<br>－<br>8.6 | 高台断面は逆三角形。 | 内面に蓮弁様文。青と赤。 | 畳付け無釉。 | 白地。 | て-11<br>遺物集中部<br>0～20 |
| | 12 | | 口～底 | 12.6<br>2.5<br>7.4 | 直口口縁。<br>型成形。 | 赤色で銅版転写。<br>(本土産磁器の銅版転写の項へ。) | 白釉。 | 白地。 | て-12<br>遺物集中部<br>0～20 |
| | 13 | | | 11<br>2.1<br>6.6 | 直口口縁。<br>型成形。 | 僅かに青が残る。文様の構図は不明。 | 釉は白釉。畳付け無釉。 | 白地。 | せ-17<br>黒色土層 |
| | 14 | | | 12.4<br>2.9<br>7 | 型成形。口縁は僅かに外反、口禿。<br>18世紀徳化窯。 | 内面に菊花、草花文を黄・緑・赤で配色。 | 釉は白釉。口唇、畳付け無釉。外底は蛇の目釉剥ぎ。 | 白地。 | す-18<br>遺物礫集中部<br>黒色土層20～40 |
| | 15 | | | 8<br>2.1<br>5.6 | 型成形。僅かに外反。 | 内底に赤で文様。 | 釉は白釉。外底無釉。 | 白地。 | て-11<br>遺物集中部<br>0～20 |
| | 16 | 壺 | 胴 | －<br>－<br>－ | 壺か瓶の胴部。内面に轆轤痕。 | 胴下部に青で圏線、緑と赤で蓮弁文。 | 釉は青釉。 | 白地。 | せ-15・16<br>岩盤にへばりついた<br>黒色土層 |




第37図　中国産色絵・黄釉磁器

## 第13節　褐釉陶器

褐釉陶器としたものは、従来の中国産をいうが、その他に産地不明のものもこの中に含めた。器種は壺、擂鉢、急須、瓶、その他が出土している。

出土状況は総数1,969個でその内、壺はⅠ類の破片が最も多い。特にし－17地山直上での出土が多く、次につ－14黒色土層、ち－13黒色混礫土層が多い。鉢５個、擂鉢は31個である。詳細は第　表の通りである。

**壺類**については口縁部の形態により、下記のように分類した。更にⅠ類については口縁部の幅で細分した。

Ⅰ類：口縁部断面が四角形（口唇幅15～30㎜）で有頸

Ⅱ類：三角形に肥厚し、無頸

Ⅲ類：口縁部断面が四角形（口唇幅が15㎜以下）で有頸

Ⅳ類：口縁部断面が蒲鉾状で有頸

Ⅴ類：無頸

**擂鉢**は内彎し、肥厚するタイプ（図18）と若干外反するタイプ（図16）がある。

**急須**は片手（図19）、両耳（図20）がある。前者は最近の資料から、「湯罐（とうかん）」[註1] の資料が提示されている。

**水注**（図15）は薄手で把手、瓜型で中国の例18～19世紀、宜興窯の可能性が考えられる。[註2]

**瓶**（図22）は口縁部は破損し、外面は段々になる、頸の太い（頸径4.1㎝）タイプで18～19世紀で、中国の可能性が考えられる。[註2] 図21はかなり薄手（1.7㎜）で長頸の水注の可能性がある。

**蓋・香炉**は細片のため、集計のみを行った。

＜註＞

註１．森達也「唐物煎茶器－急焼・湯罐・涼炉について－中国福建とベトナムの知見から－」『陶説』第五六七号　日本陶磁協会　2000.6.1p30-36

註２．鈴田由起夫（佐賀県立九州陶磁文化館）の教示。

### 第14表　褐釉陶器出土状況

| 器種・分類 | | 出土地 | トレンチ | 表採・撹乱 | 黒色土層 | 黒色混礫土層 | 地山直上 | 遺構 | ニ-17 撹乱層近代壙 | さ・し-17・18 岩盤凹地 瓦集中部 | 岩盤凹地 黒混上 | 色礫層 | 溝状遺構 | す-18 遺物礫集中部 | せ・そ-15・16・17 黒色土層 | 黒色土層 | 黒色混礫 | 上層 | Ⅱ階段 横2列 | 右列下 | 北側横下の石垣 | 黒色土層 | 下部 上階段の | 裏込め内 石垣 | 礫集中部 | *1 そ-12・13・14 | *2 たち-12・13・14 | た・ち-14 黒褐色土層 岩盤の間 石積と | た-13 地山直上 瓦集中部 石垣下 | ち-9 撹乱土壙 | て・と-11・12・13 遺物 | 集中部 | ち・つ-13・14 瓦礫層 | 不明 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 壺 | Ⅰ | 口縁 | 1 | 2 | 2 | 1 | 3 | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | 1 | | | 1 | | | | 4 | | 3 | 19 |
| | | 胴部 | 89 | 29 | 157 | 166 | 210 | 275 | 3 | 20 | 9 | 5 | | 16 | 94 | 68 | 12 | | 22 | 1 | 5 | 4 | 6 | 208 | 16 | 7 | 1 | 125 | 16 | 110 | 1674 |
| | | 底部 | 1 | 3 | | | 1 | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | 2 | 1 | | 10 |
| | Ⅱ | 口縁 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | Ⅲ | 口縁 | | | 2 | | 1 | 2 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 7 |
| | | 底部 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | Ⅳ | 口縁 | | 1 | | 1 | 2 | | | | 1 | | | | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 8 |
| | | 胴部 | | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | Ⅴ | 口縁 | 1 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | 肩 | | | | | 2 | 1 | | | | | | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 5 |
| | 小 | 口縁 | 1 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 3 |
| | | 胴部 | | | 1 | | 3 | | | | | | | 1 | 1 | 1 | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | 9 |
| | | 底部 | | | | | 1 | 1 | | | 1 | | | 1 | 1 | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | 6 |
| | 茶/黒釉 | 胴部 | 2 | 1 | 3 | 1 | 2 | | | 1 | 1 | | | 1 | 2 | 4 | | | | | | | | | | 4 | | | | | 2 | | 1 | 25 |
| | 白釉 | 胴部 | | | | 2 | 2 | 1 | | | | | | | 2 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 8 |
| | 無釉 | 胴部 | 1 | 2 | | | | 2 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | 8 |
| | 不明 | 口縁 | | 1 | | | 1 | 9 | | 2 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 14 |
| | | 頸部 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | 3 |
| | | 肩 | 1 | 1 | 6 | 1 | 3 | | | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | 2 | 1 | 1 | | 2 | 1 | 15 | 36 |
| | | 耳 | | | 1 | | | 3 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 5 |
| | | 把手 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | 底部 | 1 | | 3 | 1 | 4 | 8 | | 1 | | | | | 1 | 2 | 2 | | 2 | | 1 | | | | | | | | | | 1 | 1 | 2 | 30 |
| | | 胴部 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 擂鉢 | | 口～底 | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | 口縁 | 2 | 1 | 2 | | 1 | 8 | | 1 | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 17 |
| | | 胴部 | 1 | | 1 | | 1 | 2 | | | 1 | | | 1 | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | 9 |
| | | 底部 | | | | | | 1 | | | 1 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | 1 | 4 |
| 鉢 | Ⅳ | 口縁 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | 口縁 | | | | | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| | | 口～肩 | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 急須 | | 口～底 | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 2 |
| | | 口縁 | | | | 2 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| 水注 | | 口縁 | | | | | | 7 | | 1 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 9 |
| 瓶 | | 頸部 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | 胴部 | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | 底部 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | | | 3 |
| 蓋 | | 口縁 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 |
| | 摘み有 | 口縁 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | 1 |
| 黒香炉 | 三脚 | 底部 | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| その他 | | 口縁 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | 胴部 | | | 1 | | | 3 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | 26 | | | | | | | 1 | 32 |
| 合計 | | | 103 | 42 | 180 | 177 | 241 | 328 | 3 | 29 | 14 | 6 | 24 | 110 | 84 | 16 | 25 | 1 | 6 | 7 | 8 | 243 | 18 | 8 | 1 | 140 | 20 | 135 | 1969 |

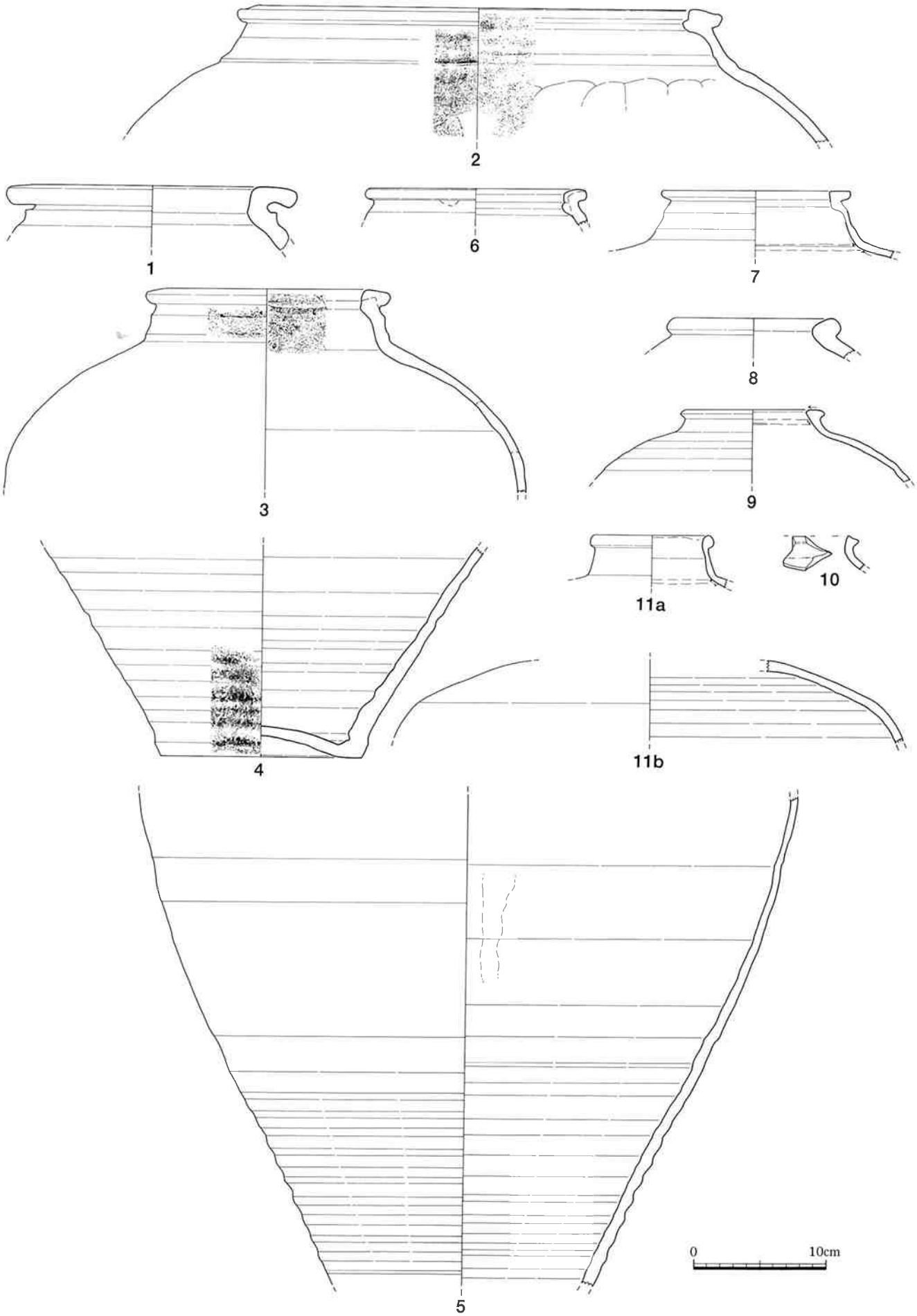
注 *1:そ-12・13・14石垣横の石列前面黒色土層
*2:た・ち-12・13・14黒色土層・黒褐色混礫土層・茶褐色混礫土層

## 第15表　褐釉陶器観察一覧

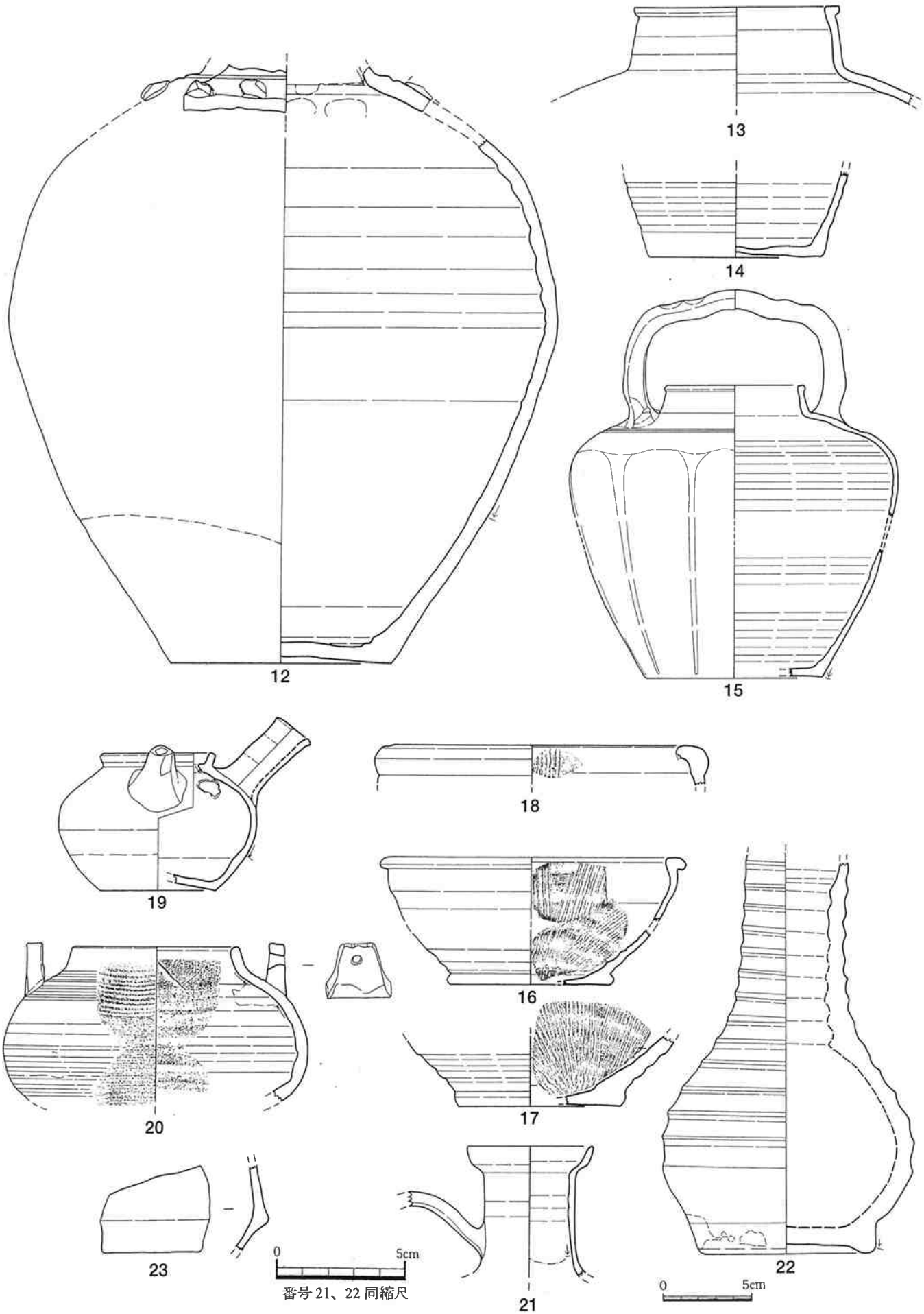
単位：cm

| 図 | 番号 | 器種 | 部位 | 口径 | 器高 | 底径 | 器厚(mm) | 分類 | 観察事項 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第38図・図版22 | 1 | 壺 | 口 | 21.8 | — | — | 12.2 | Ⅰ① | **形態:**口唇幅3.5cmと大きく、逆L字の口縁、頸部は二条のはっきりした稜線。**施釉:**内外面とも茶褐色。**素地:**灰色、2～3mmの石英を含む。**器面調整:**—。**焼成:**良好。 | 16トレンチ東側<br>岩上黒色土層<br>0～10 |
| | 2 | | | 36.4 | — | — | 8.2 | Ⅰ② | **形態:**口唇幅2.7cmで、口縁部は方形だが、内唇部がでる、頸部はゆるやかに張り、肩部に至る。**施釉:**外面茶褐色、掻き取りで斑がある。内面は頸部に横に撫でて施釉。**素地:**茶褐色、石英、赤褐色物質を少量含む。**器面調整:**頸部はヨコ撫で、肩部は叩きの痕。**焼成:**良好。 | て-10地山直上<br>と-12遺物集中部 |
| | 3 | | | 18.4 | — | — | 7.6 | Ⅰ③ | **形態:**口縁断面は逆L字状で肩部は撫で肩、頸は二条の稜線。**施釉:**表裏面とも濃緑釉で火を受けたため気泡が多い。**素地:**灰褐色、2mm前後の石英少量。**器面調整:**肩部は叩き痕。**焼成:**ややもろい。 | そ-11<br>撹乱土壙内 |
| | 4 | | 底 | — | — | 15.2 | 6.4 | Ⅰ③ | **形態:**あげ底。**施釉:**茶褐色、内外面施釉。**素地:**茶褐色～灰褐色、石英少量2mm以下。**器面調整:**轆轤痕明瞭。**焼成:**良好。 | と-12<br>遺物集中部 |
| | 5 | | 胴 | — | — | — | 5.9 | Ⅰ③ | **形態:**肩部は張り、底部でかなり窄む。**施釉:**外面は黒褐色、内面は青緑色。**素地:**茶褐色、石英1mm前後少量。**器面調整:**胴下部は轆轤痕が明瞭。**焼成:**良好。 | て-10<br>地山直上 |
| | 6 | | 口 | 16.8 | — | — | 7.9 | Ⅰ④ | **形態:**口唇幅1.7cmで口縁部断面は2段に外反する、頸部は緩やかな稜線。**施釉:**内外面とも茶褐色を示すが、内側の口唇は釉が薄い。**素地:**灰～橙褐色、石英2mm前後。**器面調整:**ヨコ撫で。**焼成:**やや良い。 | せ-17<br>礫集中部<br>90レベル |
| | 7 | | | 14.2 | — | — | 5.7 | Ⅱ | **形態:**口唇幅1.6mmで逆L字状、頸部に2本の稜線。**施釉:**内外面とも茶褐色。**素地:**明灰色。**器面調整:**頸部はヨコ撫で、肩部に叩き。**焼成:**—。 | そ-12地山直上<br>た-14暗褐色土層 |
| | 8 | | | 13.2 | — | — | 10.0 | Ⅳ | **形態:**口唇幅2.1mmで楕円状に肥厚。**施釉:**内外面とも茶褐色。**素地:**乳褐色。**器面調整:**ヨコ撫で。**焼成:**ややもろい。 | つ-12<br>黒褐色混礫層<br>10～20 |
| | 9 | | | 10.8 | — | — | 5.5 | Ⅴ | **形態:**口唇幅0.9cmで三角状に肥厚、無頸。**施釉:**外面と内面の口唇は茶褐色釉。**素地:**乳白色。**器面調整:**ヨコ撫で。**焼成:**やや良い。 | 15トレンチ東側<br>岩上黒色土層<br>0～10 |
| | 10 | | | — | — | — | 5.8 | | **形態:**口唇幅1.3cmで三角状に肥厚、無頸の壺。**施釉:**外面は茶褐色、内面は頸に若干釉のあとだが基本的には無釉。**素地:**桃褐色、2mm前後の石英少量。**器面調整:**肩部は顕著に轆轤痕。**焼成:**良好。 | つ-10<br>遺構184 |
| | 11a | | | 8.8 | — | — | 5.9 | Ⅳ | **形態:**口縁部断面は蒲鉾状、幅は0.8cm。**施釉:**外面とも濃緑釉、内面は頸部が薄い。**素地:**灰褐色。**器面調整:**ヨコ撫で。**焼成:**良好。 | そ-17<br>撹乱土壙 |
| | 11b | | 胴 | — | — | — | 7.1 | Ⅳ | **形態:**最大胴径38cm。**施釉:**内外面とも濃緑釉。**素地:**灰褐色。**器面調整:**内面はヨコ撫で。**焼成:**良好。 | そ-17<br>撹乱土壙 |
| 第39図・図版23 | 12 | | 底 | — | (34.0) | 12.6 | — | Ⅲ | **形態:**口縁破損、四耳壺。**施釉:**口縁部～胴下部は黒釉、胴下部～底部白釉。**素地:**白地。**器面調整:**—。**焼成:**良好。 | 15トレンチ東側岩上<br>黒色土層0～10<br>そ-17黒色混礫土層 |
| | 13 | | 口 | 11.4 | — | — | 5.0 | 他 | **形態:**口縁部幅0.8cmの方形、頸部は3.3cm。**施釉:**表裏面に薄い茶釉。**素地:**茶褐色、1mm以下の白色粒を混入。**器面調整:**両面に轆轤痕。**焼成:**良好。 | そ-17<br>撹乱土壙 |
| | 14 | | 底 | — | — | 9.8 | 4.1 | | **形態:**小振り。**施釉:**外面は自然釉、外底無釉、内面は失透釉。**素地:**灰～赤褐色。**器面調整:**胴下部は轆轤痕明瞭、1mm前後の砂粒混入。**焼成:**良好。 | せ-16<br>黒色土層<br>0～20 |
| | 15 | 水注 | 口～底 | 7.7 | 16.5 | 10 | 3.5 | | **形態:**口唇は方柱状で肩が張る。瓜形で把手は木の枝をモチーフしたもので径1.3cmを測る。口縁部と肩部に沈線文を施す。**施釉:**自然釉。**素地:**茶褐色。**器面調整:**型押し。**焼成:**良好。 | せ-17黒色土層60～80 さ-17・18石垣状遺構上黒色混礫土層崖部 |
| | 16 | 擂鉢 | 口～底 | 15.5 | (7.0) | 9.2 | 3.5～5.5 | L字 | **形態:**口唇幅1.1cm内部肥厚で櫛目幅2.2cm、粗い。**施釉:**無釉。**素地:**灰～茶褐色、黒・白細粒多量混入。**器面調整:**轆轤痕。**焼成:**やや良好。 | せ-17<br>黒色土層<br>60～80 |
| | 17 | | 底 | — | — | 10 | 7.5 | | **形態:**櫛目幅2.0cmで粗い。**施釉:**両面無釉。**素地:**桃褐色、膨れ有、石英粒少量混入。**器面調整:**外面胴下部は轆轤痕明瞭、底はザラザラ。**焼成:**やや良好。 | し-17岩盤凹地黒色混礫土層<br>20～70 |
| | 18 | | 口 | 19.6 | — | — | 5.9 | 肥厚 | **形態:**櫛目幅約2.0cm前後で口縁は内彎し、肥厚。**施釉:**失透の褐色釉。**素地:**橙褐色。**器面調整:**ヨコ撫で。**焼成:**やや良好。 | 15トレンチ東側<br>黒色土層 |
| | 19 | 急須 | 口～底 | 6.5 | 7.6 | 6.4 | 3.5 | 片手 | **形態:**片手、上げ底、注口は真っ直ぐで短い。**施釉:**外面は胴下部、内面は口縁部まで。**素地:**灰褐色、黒粒、石英粒の混入。**器面調整:**浅い轆轤痕。**焼成:**良好。 | せ-17<br>黒色混礫土層<br>110～120 |
| | 20 | | | 9.4 | (9.9) | — | 5.9 | 双耳 | **形態:**短い頸部(1.3cm)で双耳のタイプ、最大胴径17.0cm。**施釉:**透明釉、外面は胴下部、内面は斑に施釉。**素地:**桃～黒褐色、石英1mm前後。**器面調整:**表面は轆轤痕明瞭。**焼成:**やや良い。 | つ-14<br>瓦礫層 |
| | 21 | 水注 | 口 | 5 | — | — | 1.7 | | **形態:**口縁で一段外反する、かなり薄手、把手は0.7cmの帯で作る。**施釉:**内外面に薄い茶釉で内面は斑。**素地:**茶色、0.5mmの細粒を少量混入。**器面調整:**轆轤痕。**焼成:**良好。 | さ-17岩盤凹地内<br>地山直上瓦集中部<br>190～220 |
| | 22 | 瓶 | 底 | (4.1) | (15.4) | 7 | 0.8 | | **形態:**頸部が太い。**施釉:**—。**素地:**—。**器面調整:**—。**焼成:**—。 | て-12遺物集中部<br>0～20 |
| | 23 | 壺 | 胴 | — | — | — | 4.4 | | **形態:**断面が「く」に曲がる。**施釉:**無釉。**素地:**灰色、1mm前後の砂粒。**器面調整:**若干の指圧痕。**焼成:**良好。 | そ-11<br>遺構181 |

注:(　)は推算、「—」は計測不可・「観察事項」の「—」は、不明あるいははっきりしない。




第38図　褐釉陶器（1）　壺




**第39図　褐釉陶器（2）**　水注・擂鉢・急須・瓶・壺

## 第14節　タイ産半練土器

半練は黒色粒・赤色粒などが混入され、焼成が良好であり、色調は橙褐色の器面に灰黒色の素地がサンドウィッチ状に挟まっているのが特徴である。今回の調査では蓋と身が出土している。それぞれの特徴を下記に示した。

**第16表　タイ産半練土器出土状況**

| 器種 ＼ 出土地 | | トレンチ | 黒色土層 | 地山直上 | 遺構 | す-18 石灰岩中 | せ-15・16・17 旧階段下 茶褐色混礫土層3層 | 黒色混礫土層 | 黒褐色土混礫層 | 黒色混礫土層 | 黒色土層 | た-14 落ち込み上面 | ち・と-11・12 黒色土層 | 遺物集中 | 不明 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 蓋 | 撮み | | 1 | | | | | | 1 | | | | | | | 2 |
| | 端部 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | | 3 | | | 4 | | | 12 |
| 壺 | 口縁 | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 |
| | 頸部 | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 | 2 |
| | 胴部 | | | | 3 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | | | 10 |
| 不明 | 胴部 | | 1 | 1 | 1 | | | | | | | | | | 1 | 4 |
| | 底部 | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 |
| 合計 | | 1 | 3 | 5 | 2 | 2 | 2 | 1 | 2 | 4 | 2 | 1 | 4 | 1 | 2 | 32 |

### 1．蓋

蓋は全て落とし蓋で、底面から端部へ膨らみながら至るもの（第40図１～３）と外反しながら至るもの（第40図６）に分けられる。また、端部の突起の仕上げ方法がいくつか確認できた。第40図１は端部を折り曲げて先端部の突起を断面三角形状に丁寧に成形したものである。第40図２は端部を折り曲げて先端部の突起を断面隅丸三角に成形したものである。第40図３は蓋の端部を折り曲げて先端部の突起を肥厚させたものである。撮みについては第40図４の宝珠が確認できたが、撮みと端部の相関関係が窺える資料は確認できなかった為、詳細は不明である。

### 2．身

身はたたき目の胴部片が確認できた。第40図７・８は胴部に膨らみを持つ壺の胴部で、第40図９～13もヒヤジョー毛遺跡（註１）の類例から壺の胴部と考えられる。また、第40図７・14・15は類例が確認できなかったが、胎土・素地の特徴が半練の身と類似している為、今回は半練と同じ移入系土器の範疇で捉えて本頁で扱った。県内で出土する半練の身は蓋と比べて出土数が少ない為、半練の蓋がタイ産大型褐釉陶器四耳壺と対応するという説（註２）があるが、今回の調査では半練の蓋・身ともに量的に少なく詳細は不明である。

〈註〉

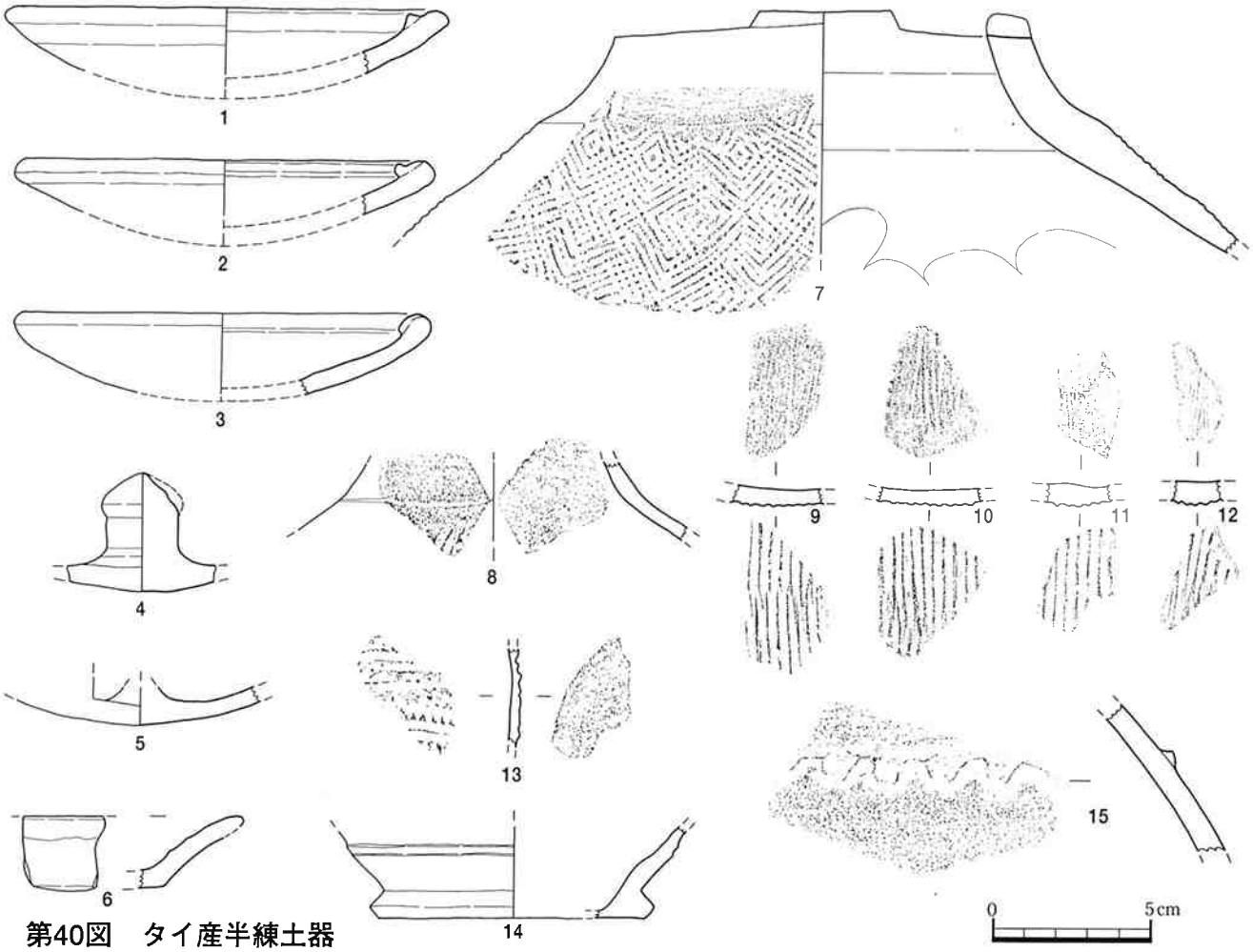
註１：金武正紀ほか「ヒヤジョー毛遺跡」『那覇市文化財調査報告書第26集』那覇市教育委員会　1994年

註２：金武正紀『沖縄出土のタイ・ベトナム陶磁』『貿易陶磁研究』第11号　日本貿易陶磁研究会　1991年

**第17表　タイ産半練土器観察一覧**

単位:cm

| 図版 | 番号 | 器種 | 部位 | 端径 | 形態的特徴 | 器色 | 混入物 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第40図・図版24 | 1 | 蓋 | 端部 | 14.2 | 突起:断面三角状 | 表・裏:橙褐色<br>素地:灰色 | 赤色粒<br>白色粒 | す－19 |
| | 2 | | | 13.3 | 突起:断面隅丸状 | 表・裏:橙褐色<br>素地:灰色 | 黒色粒<br>白色粒 | そ－13<br>遺構52 |
| | 3 | | | 13.4 | 突起:折れて肥厚。器面があばた。 | 表・裏:黄褐色<br>素地:灰色 | 赤色粒<br>白色粒 | 15トレンチ東側<br>レストハウス横岩上北側<br>撹乱層 |
| | 4 | | 撮み | － | － | 表・裏:橙褐色<br>素地:灰色 | 赤色粒<br>白色粒 | し－18<br>地山直上　黒色土層 |
| | 5 | | | － | － | 表・裏:橙褐色<br>素地:灰色 | 赤色粒<br>白色粒 | せ－16<br>黒褐色混礫土層 |
| | 6 | | 端部 | － | 口縁部が外反して底部に至る。 | 表・裏:黄褐色<br>素地:灰色 | 黒色粒<br>白色粒 | せ－17東西畦<br>黒色混礫土層2層 |
| | 7 | 壺 | 頸部 | － | たたき痕が明瞭に残る。 | 表・裏:黄褐色 | 黒色粒<br>白色粒 | た－14<br>落ち込み上面(瓦集中部) |
| | 8 | | 胴 | － | たたき痕が明瞭に残る。 | 表・裏:黄褐色<br>素地:灰色 | 赤色粒 | せ－17<br>黒色土層 |
| | 9 | | | － | たたき痕が明瞭に残る。 | 表・裏:橙褐色<br>素地:灰色 | 赤色粒<br>白色粒 | 遺構114 |
| | 10 | | | － | たたき痕が明瞭に残る。内面に煤付着。 | 表・裏:橙褐色 | 黒色粒 | せ－17<br>黒褐色混礫土層 |
| | 11 | | | － | たたき痕が明瞭に残る。 | 表・裏:橙褐色 | 黒色粒 | せ－16・17<br>旧階段下石垣横<br>黒色混礫土層 |
| | 12 | | | － | たたき痕が明瞭に残る。 | 表・裏:黄褐色 | 白色粒 | せ－16<br>石垣南側横旧階段<br>茶褐色混礫土層3層 |
| | 13 | | | － | たたき痕が明瞭に残る。 | 表・裏:黄褐色 | 白色粒 | す－18地山直上<br>遺構72 |
| | 14 | 不明 | 底 | － | － | 表:灰褐色<br>裏:淡褐色 | 白色粒 | せ－15・16岩盤<br>黒色土層 |
| | 15 | | 胴 | － | 胴部:波状凸帯 | 表:橙褐色<br>裏:灰色 | 白色粒 | た－13<br>黒色土層 |




第40図　タイ産半練土器

## 第15節　タイ産陶磁器

総数で230点余の出土であるが、ほとんどが小破片の資料で、全形の窺えるようなものは見受けられない。器種的にはほとんど壺形になるもののようであるが、15に示したものはなにかを象った袋物のようである。最近、タイ産の褐釉陶器については出土例も増え、沖縄のひとつの特徴的な傾向として、比較的特定の器種にまとまりをみせて出土することが指摘されている。今回得られた資料も同様で、壺の資料の中に僅かに他の器種が混ざる程度である。特徴的なものを第　図に示した。以下、壺とその他に分けて概要を記し、詳細は観察表に記述した。

1．壺

ほとんどが本器種に属する。得られた資料からすると、大きさにバリエーションがあるものとみられるが、全形の窺えるものがなく、サイズでの判別は困難であった。ただ、第　図に示した資料をみると、器厚や推算径などから1・2・4～11は大きめのもの、13・14は小さめのものになるかとみられる。大きめのものが主流のようである。推算口径の算出できたものをみると1は約15cm、2・4・5は18～20cmほどの大きさに収まるようである。14は約11cmである。推算底径の算出できたものをみると、8～11は20cmを超すもので、13は約11cmである。

器形的には口縁部が外反するものが主流のようで、ラッパ状に大きく開くものが目立つ。しかし、14は直線的にやや内傾するように立ち上がる頸部を有するもので、異なる形状を呈す。また、底部資料をみても8～11に示すもの（底面部から直線的に外側へ開いて立ち上がる）と13に示すもの（底面部の立ち上がりで一旦くびれる）で形状が異なっており、大きさによって器形が異なるものもみられるようである。

口縁上端部の状況をみると、玉縁状につくるもの（1・5）、端部の上端をつまみ上げるようにするもの（2～4）、方形状に肥厚させるもの（14）などがみられる。

文様については判然としないが、6の資料をみると頸部下端に断面が三角形状を呈す凸帯様のものが廻り、肩部の上方には数本の沈線を廻らし、その部分の4箇所に外耳を配している。その他の状況をみると概ね次のよう

な特徴があげられる。①施釉範囲は基本的には外面の頸部から胴下半部までが対象、②暗～赤灰色の素地で、黒・白の砂粒を多く含む。

## 2．その他

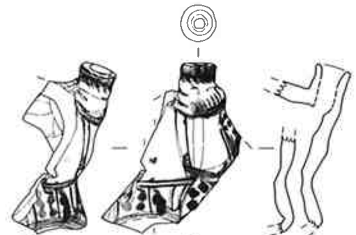
本項で扱うものは、第41図15・16に示した2点で、壺とは明らかに異なる形状を示すものである。いずれも破片のため全形は窺えないものの、文様の配置、施釉の状況に意図的な装飾が感じられる。15は型つくりになるのか内面に押しつけたような痕が明瞭に残る。破片の下端部には合わせ目のような痕跡も見受けられる。上部には管状につくったものを差込、口の部分をつくっているようである。何かを象ったもののようである。素地は灰白色の磁質のもので、黒色鉱物を多く含む。16は底部の資料で、推算の底径が約11㎝を測り、底面からの立ち上がりは若干内側へくびれるものの、ほぼ筒状に胴部の方へ向かう。底面からの立ち上がり部に鉄釉を約1㎝幅の線状に塗布している。細かな粘土質の素地で、粒の大きさにバラツキのある黒色鉱物を含む。文様、素地など特徴的であり、注意しておくものと思われる。

―附　記―

第41図15に示したものは、何かを象った型作りのものかと推測したが、文章校正中に「タイ・カンボジアの陶磁」[註1]図録の中に掲載されているno.98**白褐釉人物水滴**（シーサッチャナライ　P81）に類似するものであることが判った。図録に掲載されている資料は15～16世紀頃のものとされ、高さ7.2㎝、幅5.9㎝のようであり、それほど大きなものではないようである。この種の資料は県内でも初めての報告例とみられ、図録に掲載されている写真を参考資料として示した。

<註>

註1.「タイ・カンボジアの陶磁」（尾崎　直人編）福岡市美術館　1996年9月




**第41図15**

## 第18表　タイ産陶磁器出土状況

| 分類・器種 | | | | トレンチ | 表採・撹乱 | 黒色土層 | 黒色混礫土層 | 地山直上 | 遺構 | さ・し－17 土層 崖部黒色混礫 | さ・し－17 瓦集中部 岩盤間地内 | せ・そ－15·16·17 黒色土層 | せ・そ－15·16·17 黒色混礫土層 | せ・そ－15·16·17 石列下 旧階段横2列 | せ－18 石灰岩礫集中部 | せ－18 黒色土層 石敷遺構直上 | そ－13·14 岩盤直上 | そ－13·14 前面黒色土層 石垣横の石列 | た－11 礫集中部 | ち－9 黒色土層 石段上 | ち－11 北側畦 | ち・つ－13·14 黒褐色礫混り層 | ち・つ－13·14 瓦礫層 | 近代遺構 | て－11 岩盤上黒色土層 | 不明 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 褐釉 | 壺 | 小 | 口縁 | | •1 | | | | | | | •1 | 1 | | | | | | | | | | | 2 | | | 5 |
| | | | 胴部 | 4 | 2 | 4 | 1 | 2 | 4 | 2 | | 3 | | 1 | | 1 | | | 1 | | | 2 | 2 | 4 | | 4 | 37 |
| | | | 底部 | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | 中 | 口縁 | | | 1 | | | 2 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | 4 |
| | | | 胴部 | 6 | 2 | 3 | 1 | 3 | 3 | | | 4 | 3 | 1 | | | | 1 | 3 | | 2 | 3 | | 17 | 1 | 7 | 60 |
| | | | 底部 | | 2 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 1 | 4 | | 1 | 9 |
| | | 大 | 口縁 | | | 1 | | 3 | 4 | | 1 | | | | | | | | | | | | | 2 | | 1 | 12 |
| | | | 胴部 | | | | | 2 | 10 | | | | | | | | | 2 | 2 | | | | 2 | 5 | | 1 | 24 |
| | | | 耳 | | | | | | 1 | | | | | | | | 2 | | | | | | 1 | | | 1 | 5 |
| | | | 底部 | | 1 | | | | 1 | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | | | 4 |
| | | 不明 | 口縁 | | | | | 1 | 5 | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | | | 8 |
| | | | 肩 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | 胴部 | 9 | 1 | 5 | 3 | 8 | 45 | | 3 | 3 | 2 | 1 | | 1 | | | 4 | 1 | 1 | 1 | 1 | 12 | | 4 | 105 |
| | | | 耳 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | 1 |
| | | | 底部 | | | | 1 | 1 | 9 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 11 |
| 白褐釉 | 水滴 | | 肩 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 水注か瓶 | | 底部 | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 合　計 | | | | 19 | 11 | 14 | 6 | 21 | 85 | 2 | 4 | 12 | 7 | 3 | 1 | 2 | 2 | 3 | 13 | 1 | 3 | 6 | 7 | 48 | 1 | 19 | 290 |

注　＊：立口

**参考資料**[註1]

## 第19表　タイ産陶磁器観察一覧（1）

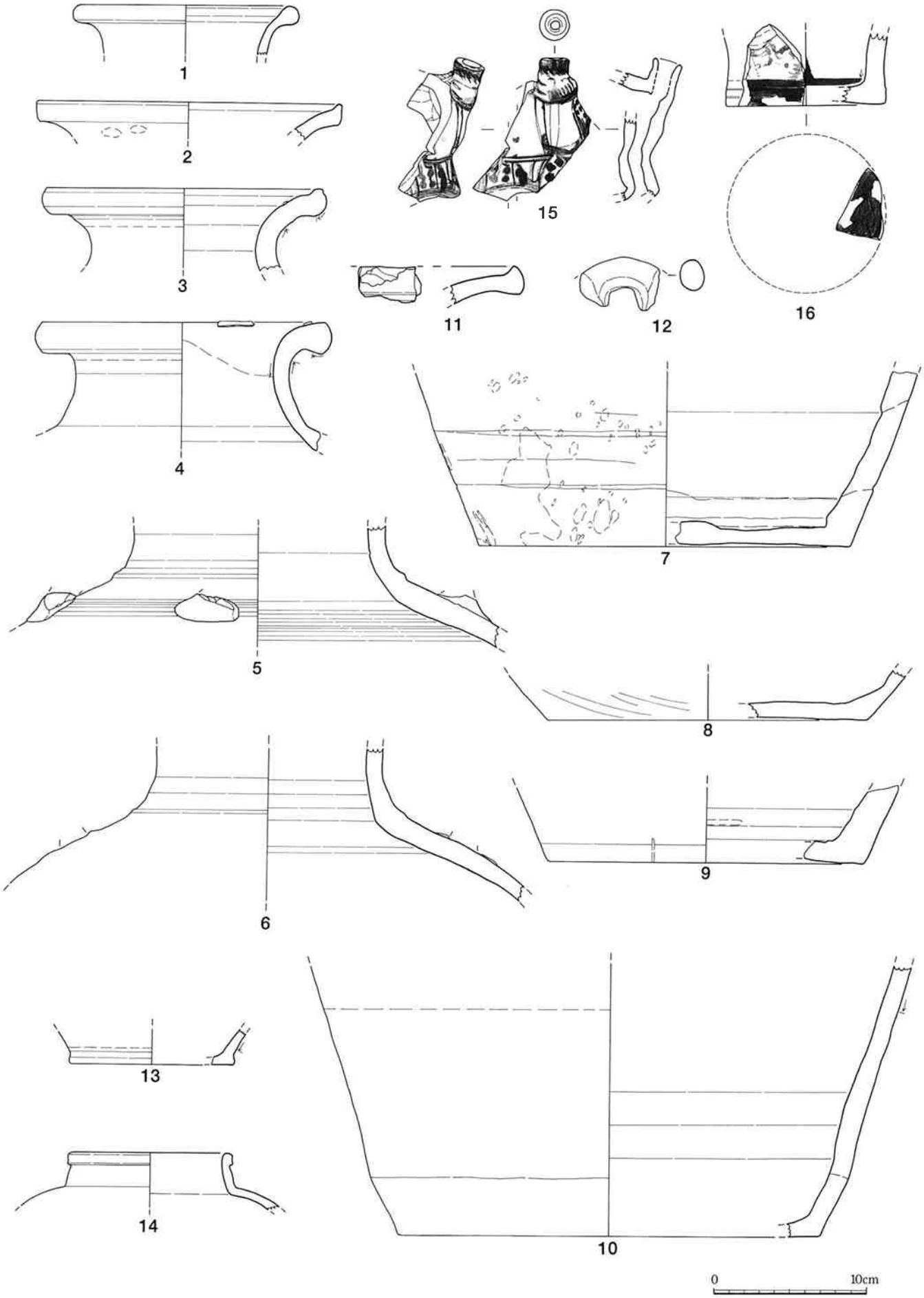
単位：㎝

| 図 | 番号 | 器種 | 部位 | 口径 器高 底径 | 特　徴 | 器面調整 | 素地・混入物 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第41図・図版25 | 1 | 壺 | 口 | 14.8 ― ― | 上端部を玉縁状に肥厚させる外反口縁。外端面は平面を意識している感じである。現資料の全面に施釉されている。黒褐釉が施されているが、口唇部から口縁内面部は釉が剥げており、黄色味を呈す。内外面に細かく密な貫入が著しい。 | 不明 | 内外面に近い部分は薄く灰黒色を呈し、中央部は暗茶褐色を呈す。サンドイッチ状となっている。やや細かな素地で、白色の砂粒を密に含む。 | せ－16・17 石垣周辺の清掃の際出土崩土中より |
| | 2 | | | 20 ― ― | 口縁部がラッパ状に開くもので、口縁上端部を鍔縁状につくる。上端部を両側から撮み上げるようにしており、内外面の撮み上げ部直下に若干の凹部が廻る。撮み上げ部は丸く仕上げている。施釉は外面だけが対象のようで、外端部は釉剥ぎし内面は対象としていないようである。しかし、その部分にも釉のみられる部分が見受けられる。釉は黒褐釉が厚く施されているが、釉がはじけている箇所も2ヶ所見受けられる。 | 器面調整は両面とも判然としない。 | 内・外面に近い部分はそれぞれ黒色を呈し、中央部は暗茶褐色を呈す、いわゆるサンドイッチ状になっている。やや細かな素地で、白色の砂粒を比較的多く混入する。 | ち－11 遺構134 |
| | 3 | | | 18.6 ― ― | 口縁部がラッパ状に開き、上端部を鍔縁状につくる。外端部は丸味をもってつくり、先端部を両側から撮み上げるようにして成形している。撮み上げ部はそれほど高くなく、尖端部は比較的平坦面をなす。撮み上げ部の直下には両面とも若干の凹部が廻る。外反部の外端面や口縁内面にも釉がみられるものの、基本的には外面の頸部中央付近から以下が施釉の対象になっているものとみられる。黒褐釉を割と薄く施している。内面に長さ約8㎜、幅8㎜長方形状の溶着物あり。 | 内外面とも轆轤痕がみられる。 | 内外面に近い部分は薄く黒味の強い部分があり、中央部は暗茶褐色を呈す。やや細かな素地で、赤色粒のほか白色砂粒も散見される。 | つ－10 地山直上 |

## 第19表　タイ産陶磁器観察一覧（2）

単位：cm

| 図 | 番号 | 器種 | 部位 | 口径<br>器高<br>底径 | 特　　徴 | 器面調整 | 素地・混入物 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第41図・図版25 | 4 | 壺 | 口 | 19.4<br>—<br>— | 口縁部上端を丸味を持って肥厚させる。頸部は口縁部の方へすぼまり、口縁部内面が上部になるぐらい口縁部上端を折り曲げる。頸部下端で破損しており、それ以上の状況は不明。口唇部から頸部にかけては基本的には施釉の対象となっていないようで、その部分は無釉の部分や薄く釉のかかる部分がみられる。本来は黒味の強い釉のようであるが、口唇～頸部は白く濁る。内面は口縁部に薄く釉のかかる部分が多いものの、無釉の部分も見受けられる。頸部以下は露胎のようである。内面の口縁部上端には長さ約2.5cm、幅約4mmの目跡や溶着物がみられ、重ね焼の痕跡を残している。 | 内面―頸部下端に轆轤痕を残す。外面―割と丁寧なナデ調整を施す。 | 暗灰色の粗い素地で不揃いの粒の大きさの白色砂粒を多く含むほか、赤色粒が散見される。 | そ―14<br>遺構49 |
| | 5 | | 頸 | —<br>—<br>— | 頸部が内側へゆるやかな曲線を描きながら立ち上がり、肩部はそれほど張らない。頸部下端に1本の凸帯を廻らし、その部分が段を有すような仕上げとなっている。その凸帯から約3cm下方に5本の沈線を廻らし、その沈線上に外耳を配している。釉は外面にだけ黒釉が施されるものの、凸帯の上方約1cmの所から上方は無釉となっている。 | 内面の調整は割と丁寧。頸部はよくナデられており、肩部は幅の狭い回転痕がみられる。 | 赤灰色のやや細かな素地で、白色砂粒や赤色粒のほか黒色粒も散見される。 | そ―14<br>遺構49 |
| | 6 | | | —<br>—<br>— | 頸部がゆるやかに内側へカーブしながら立ち上がる。ややナデ肩を呈す大型壺の頸部資料。表面にのみ施されている釉は風化し、気泡が著しく元の釉調をとどめていない。頸部下端に１本の凸帯を廻らしている。その凸帯の約3cm下方に外耳を貼り付けていたようである。 | 内面にみられる調整痕はそれほど丁寧ではない。 | 赤灰色のやや細かな素地で、白色の砂粒を密に含むほか、赤色粒が散見される。 | つ―14<br>瓦礫層 |
| | 7 | | 底 | —<br>—<br>24.2 | 大型壺の底部か。底面からやや開きながら胴部へ移行する。立ち上がりの稜は明瞭。外底面は砂の痕が全面に残りザラザラしている。中央部付近に赤い斑点様のものが2ヶ所にみられる。現資料は両面とも施釉の対象外のようであるが、外面には楕円形状の釉の斑点が多くみられ、内面は底面の縁や中央部付近に釉のかかる部分がみられる。 | 外面は混入物を引きずった跡が多く残るものの、器面はなめらかである。内面も同様な痕跡が多くみられるほか、底面部や胴部に剥落した部分がみられる。 | 暗灰色。部分的に赤灰色あり。白色砂粒のほかやや粒の粗い黒色粒を含む。 | せ・そ―14<br>遺構48・49 |
| | 8 | | | —<br>—<br>20.8 | 壺の底部資料か。外底面からの立ち上がりの稜は割と明瞭だが、凹凸が数ヶ所みられる。外底面も凹凸が多くみられる。外底面から胴部の方へ外側に開きながら立ち上がる。内底面は部分的に黒釉がみられるものの、ほとんどが剥落し、製作時の面を残さない。外面に釉はみられない。 | 外面は凹凸がみられるものの、器肌は割と滑らかである。内面は剥落部が著しく状況は不明。 | 黒灰色のやや細かな素地で白色砂粒のほか、赤色粒が散見される。 | 表採十そ―11<br>撹乱土壙内 |
| | 9 | | | —<br>—<br>20.4 | 大型壺の底部か。底面部の方が立ち上がり部よりも薄い仕上げとなっている。外底面には砂粒の跡がほぼ全面に残る。底面からの立ち上がり部は比較的明瞭な稜を有す。外面は釉のかかる部分は見受けられない。内面は轆轤痕に沿うように釉がみられ、内底面にも釉がみられる。意識しているのかどうか判然としない。釉は白く濁っている。 | 外面は比較的丁寧な削りを行っている。内面は轆轤痕の凹凸が繰り返すようにみられる。 | 暗灰色のやや粗い素地。細かな白色砂粒のほか黒色粒を含む。 | せ―14<br>遺構38 |
| | 10 | | | —<br>—<br>27.4 | 大型壺の底部とみられる。底面部は胴部よりも薄くつくられ、立ち上がり部は比較的明瞭な稜を有す。底面部から約5cmまでは若干外側へ膨らみ気味になり、そこから内側へゆるやかなカーブを描くように外側へ開き気味に胴部へ移行する。施釉は胴下半部までのようで、そこから底部にかけては基本的に無釉のようである。内面は施釉の部分は見受けられない。 | 内・外面とも調整はそれほど丁寧ではないが、器肌は比較的滑らかである。内面の底部付近には粘土の重なり部などもみられる。 | 赤灰色のやや細かな素地で、白色の砂粒を密に含むほか赤色粒が散見される。 | そ―17撹乱土壙十て―11土壙内十そ―11撹乱土壙内 |
| | 11 | | 口 | —<br>—<br>— | ラッパ状に開く口縁部資料。端部を玉縁状につくり、上端部を上方へ摘み上げるようにしている。そのため、口縁端部に断面が三角形状の縁がめぐる感じである。口縁外面の上端部から内面には施釉されないようである。釉は黒褐釉のようであるが、風化のためか釉の状態は悪い。 | 外面に轆轤痕が明瞭。内面は不明。 | 灰白色の細かなもので黒色の微砂粒が散見される。 | せ―13<br>遺構51 |
| | 12 | | 耳 | —<br>—<br>— | ブリッジ状の外耳で、厚さは約1.8cm。やや上向きにつくられたもののようである。基本的には内側中央部は無釉で、外側から上下のやや内側に施釉(見える部分)。表面は剥げ落ちている。釉は風化のためか白く濁っており、釉色など不明。 | 比較的丁寧に形をつくっている。 | 黒灰色のやや細かな素地で白色の砂粒や、赤色粒などを混入する。 | そ―14<br>岩盤直上 |
| | 13 | | 底 | —<br>—<br>10.6 | 壺の底部とみられる。底面部から4mmほどは外側へ立ち上がり、そこから一旦内側へくびれてから胴部の方へ立ち上がっていく。くびれ部の上方まで外面は施釉され、以下は露胎。内面は破片の全面に釉が施されている。釉は黒褐色の釉。 | 内外面とも判然としない。 | 暗灰色の細かなもので、白色・黒色の微砂粒がみられる。 | す―15<br>遺構30<br>0～20 |
| | 14 | | 口 | 10.8<br>—<br>— | 球状を描くようなゆるやかなカーブの胴部が頸部下端まで至り、そこから直線的に内傾して頸部が立ち上がり、口縁部上端を略方形状に肥厚させる。口唇部は平坦な部分と丸味を帯びる部分がみられる。肥厚部外面のやや下寄りに浅い凹線様のものを配している。頸部から口唇部、内面は無釉のようであるが、頸部には削り残された釉もみられる。胴部には失透性の黒味の強い釉を薄く施している。 | 肥厚部外面には粘土を貼り付けた痕跡を残し、内面は凹凸が見受けられるなど、器面調整は比較的雑である。 | 暗茶褐色のきめ細かな素地である。粒の不揃いな白色粒の混入が目立つ。 | そ―17<br>撹乱土壙 |
| | 15 | その他 | 不明 | —<br>—<br>— | 破片のため、全体の形状は不明。先端部に筒状(外径約1.4cm、内径約0.8cm、長さ約2cm)のものを本体から約1cmとびでるように取り付けているが、本体部との接着は雑である。その部分に近接して、約6mmの孔が穿たれているようである。線彫りによる縦・横の沈線により文様を描き、その間に鉄釉を施す部分(面を持つように塗るところと斑点状に配すところあり)と、削りの部分により全体を描写しているようである。内面は無釉で、下端部につなぎ目が認められる。15～16Cの資料とみられる。 | 外面は非常に丁寧なナデ仕上げで、滑らかな器肌である。削りの部分は灰白色の素地の色であるが?その他は赤味を帯びる。内面は外側へ押しつけたような感じの指跡などが明瞭に残る。 | 灰白色のやや細かな素地で、磁質である。白色、黒色の鉱物を多く含む。 | そ―14<br>遺構53 |
| | 16 | | 底 | —<br>—<br>7.4 | 底面部から若干内側へくびれるように立ち上がっていく。器種は不明。底面から約6mm幅の浅い段をもうける。そこを含め、底面から1cm幅は鉄釉を塗布している。底面部も同様。その鉄釉の上方には、黄色味を帯びた褐釉が施される。内面は無釉のようであるが、内底面の縁に黒味の強い釉の部分がみられる。 | 内外面とも丁寧な調整。器肌滑らかである。 | 暗灰白色の細かなもの。粒の大きさの不揃いな黒色粒を比較的多く含む。 | せ―17<br>黒褐色混礫土層　100～110 |




第41図　タイ産陶磁器

## 第16節　本土産磁器

本土産磁器は17·18世紀頃の肥前系磁器、近代以降の型紙摺り、銅版転写、ゴム印、クロム青磁、瀬戸美濃系などが出土した。肥前系磁器は青磁・染付があり、器種は碗・小碗・鉢・猪口・蓋・瓶・合子・香炉・杯などが出土した。型紙摺りなどの明治以降のものは、て・と－11·12の遺物集中部から一括して出土し、他の共伴遺物も含めて、戦前～戦時の生活遺物の指標になると思われる。以下、遺物を概略し、詳細は観察表に示した。

**1．肥前系磁器**

**＜青磁＞**第42図30、31は鉢の口縁部と底部で内面にヘラで文様を施す。時代は1630～40年代のものである。

**＜染付＞**碗、小碗、皿、鉢、猪口、合子、香炉などがある。

**碗：**（Ⅰ）直口口縁でいわゆる丸碗で、山水文（第42図26､28）、草花文（第42図12、25、27）、蛸唐草文(第42図16)、腰部に蓮弁文（第42図21）、渦巻文と蓮弁文さらに窓の中に家屋と青海波文があり、呉須の発色は濃い（第42図14）。（Ⅱ）直口口縁で筒碗（第42図13、18）、（Ⅲ）外反口縁などがある。

**小碗：**（Ⅰ）外反口縁（第42図24）、（Ⅱ）筒状（第42図17、8）、（Ⅲ）蓮弁文(大橋６)[註1]、（Ⅳ）有段口縁（第42図23）等がある。

**皿：**大、中、小のサイズがあり、**大**は型成形（第42図10）、蛇の目凹形高台、内底に植物文（第42図5）**中**は（Ⅰ）直口口縁で内底に蛇の目釉剥ぎ（第42図11）、型成形で山水文(第42図7)、内底に唐草文（第42図9）輪花、蛇の目凹形高台（第43図2）に唐草文を施すもの。また、(第43図3)は同じ輪花であるが、菖蒲文を全体に施文、葉の一部には上絵で緑色の葉が施され、色絵の範疇に含まれ、せ・そ－13**遺構57**、す・せ－16黒色土層0～30cm、た－14黒色混礫土層、せ－17の黒色混礫土層の出土のものが接合できた。遺構の時期を知る手がかりとなる。（Ⅱ）外反口縁（第42図10）。（Ⅲ）有段口縁（第42図6）。**小**は型成形で(Ⅳ)輪花（第42図4）、（Ⅰ）直口口縁(第42図8)、（Ⅴ）は角皿で内面に丸散文（第43図1）がみられる。

**鉢：**（Ⅰ）外反口縁（第42図29）で大振りで内外面の全面に文様を配する。（Ⅱ）輪花(第43図5)で18世紀頃のもの、（第43図4）は唐草文と蓮弁文の組み合わせ。

**猪口：**（第42図19）そば猪口である。

**蓋：**（Ⅰ）（第43図7）はリボン状の摘みで胴部は膨らみがあり、筒碗の蓋と考えられる。（第43図20）は蓋の可能性あり。Ⅱ(第43図6)は大振りの蓋で鉢か壺類のものと考えられる。

**瓶：**（Ⅰ）頸部に如意頭文の連続文と胴部に捻牡丹花を配す（第43図11）。す－15地山直上遺構74から出土。（Ⅱ）は筒状の徳利の底部と考えられ、外面に二重唐草文を施す（第43図15）。（Ⅲ）は胴部に膨らみを持つもの（第42図12、21）。

**合子：**（第43図9、10）は方形で、蓋の上面に動物文らしきものが施される。

**香炉：**唐草文で呉須の発色は悪く、陶器質の胎土で、内面も施釉され、碗の可能性もある（第43図19）。

**杯：**（Ⅰ）やや外反で渦巻き文（第43図13）、（Ⅱ）直口で腰が丸くなる（第43図14、17）、（Ⅲ）腰折れ、ロクロ成形。（第43図18）、（Ⅳ）筒底（第43図16）。

**＜青磁染付＞**第43図22は皿で型成形で内彎気味である。

**2．印版手**

**＜型紙摺り＞**碗、皿があり、文様は一つのパターンを三回繰り返して摺る。碗の一部に内面に径３～5㎜の目痕、皿の外底は蛇の目凹形高台になり、近代の窯入れの法が分かる資料である。

**碗：**碗は外反口縁（Ａ）と直口口縁（Ｂ）に分けられる。

**外反口縁（Ａ）**①外面に菱形の窓、内唇に文様帯の組み合わせ（第44図13）、②窓を持つもので、**ア：**地文に笹と松、丸窓の中に鶴、**a：**内唇に笹と梅の文様帯（第44図5）、**b：**内唇は吉祥文字の文様帯（第44図4）。**イ：**五弁花と菱形の窓、内に鶴、吉祥文字、内唇は竹、松、梅の文様帯（第44図8）。**ウ：**地文に笹と松、五弁花の窓の中に菖蒲文、**a：**内唇の文様帯は菊花文（第44図9）、**b：**内唇の文様帯は松、竹、梅の文様帯（第44図6）。**エ：**地文と丸窓、窓の中は日の丸と海軍の旗が交差し、内唇は「JAPAN」の文字を時計回りに配した文様帯。**オ：**地文と将棋型の窓内に草花文と吉祥文字の２種の組み合わせ、内唇は松・竹・梅の文様帯。③総文様の構成。**ア：**星状の五弁花を大小の組み合わせ、内唇は梅花文の文様帯、**イ：**竹文を全体に配す。内唇は竹文の文様帯。**ウ：**花（五弁）唐草文に腰部に蓮弁文、内唇は菊花文。**エ：**地文と帆船と鳥文の組み合わせ、内唇は鳥文の文様帯。**オ：**菊唐草文、内唇は逆三角形（烈点）の文様帯。**カ：**牡丹文を大きく配し、内唇に花文。**キ：**花唐草文であるが、花、唐草文とも簡略化し、腰部に八宝様の文様配す。内唇は花文をかなり略化する。イ・カ：には腰部

に文様帯がない。

**直口口縁**（B）は小振りで、(a)腰部は丸味があり、器高は低い。（b）腰部は折れ気味、器高はaに比べて高い。文様は、①外面は菱形の窓、内唇に文様帯の組み合わせで窓内の文様は下記のように細分できる。**ア**：窓の内に花のみ（第45図4）、内唇に襷文、**イ**：草花文に内唇に襷文崩れ（第45図7）。**ウ**：菱形文と内唇に逆三角文(第45図8)。**エ**：鶴文と内面は上下に圏線（第45図1）。②文様を2.7～3.2㎝幅で縦に区画するもので中の文様で細分する。**ア**：烈点文と山水文の組み合わせ（第45図11）、**イ**：菊花草文（第45図10）、**ウ**：虫文（第45図6）、**オ**：第45図3は蛸唐草文と「福寿」の組み合わせで第45図5を略化したもの。第45図2は内唇にも同様な文様帯を施す。③文様と縦に蛸唐草文で区画し、吉祥文字を入れる。内唇に文様帯を持つもの（第45図2）と配さないもの（第45図5）がある。④文様のパターンが総文様風にするもの。**ア**：蛸唐草文と青海波文、花唐草文を全体に配置するもの（第45図9）、**イ**：山の窓に菊花文の組み合わせ（第45図16）、⑤文様を区画しないもの。**ア**：唐草文、**イ**：菊文はモダンな感じがする。(第45図15)

碗のA・Bとも内底に文様あり、これを含めた分類をやると煩雑になるので内底のみをここで分類する。**あ**：草花文（五弁単花）(第44図4,11)、**い**：円内に菊花、五弁花など複数の組み合わせ（第44図5、6、7、8、9、12、14、第45図2、3、6)、**う**：鶴文（第44図8、10)、**え**：カタツムリ様文（第44図1、3)、**お**：全体に草花文（第44図15)。

**皿**：口縁は直口口縁、輪花で、底部は蛇の目凹形高台、文様は外面は窓3個、副窓3個付くものもある。釉は外底の蛇の目部は無釉で内底に直径4㎜の目痕が5個みられるが第46図1にはない。文様は蝶（第46図5）と花があるが、花は基本的に3個のパターンを施すが窓が扇になる。①大小の窓の組み合わせ、②窓と花の組み合わせ、③大きい窓の組み合わせがみられる。内底の文様は花模様第46図1のものと綾杉と径4.5㎜の円内に菊と梅を組み合わせたパターンが数種みられる。外面の文様第46図1，2のように具象のものから第46図3のように簡略化したものがある。

**小碗**：直口口縁に腰折れ、外面に唐児(からこ)[注2]がみられる（第46図6)

**香炉**：筒状。火取かもしれない。(第45図18、19）いずれも白化粧。文様は上に波文、下に蓮弁文の文様帯、胴部は竹文（17)、葉と花文(18)、花文（19）に数種の文様をあしらう。素地は乳褐色で陶器に近い。

**段重**：沖縄ではこの器種はあまりない。重ねて使うため、口唇と底部の縁は釉を掻き取っている。(第45図20)

**＜銅版転写＞**飯碗、小碗、皿の器種が出土している。

**碗**：飯碗（第46図16)、菊葉文は桃色と緑色の組み合わせ。

**小碗**：直口で菊葉文（第46図20）黄色と紺、総唐草文。

**皿**：大きさは、小（10㎝台)、中（14㎝台）があり、型成形で、口縁は直口口縁と輪花がある。釉は青、緑、赤が使われている。文様は①中央に菊花文とその周りに花と蝶を交互に配す（第46図9）②中央に吉祥文とその周りに牡丹唐草文を配す（第46図10)、③は6区画し、文字「詩吟壱百斗□」「底 漁季口白」「□道朝誰天車」「底陽殿三検斗」「□□□・・・・」がある。(第46図8）④3個の窓に風景画(第46図12)、⑤長方形の重窓に草花文、他は襷文、⑥6区画してそれぞれに山水文、鳳凰、草花文などを描く。⑦扇状窓を(第36図12)がある。

**合子**：大振りで方形になり、**蓋**に唐草文を施す（第43図9)。

**＜ゴム印＞**飯碗、小碗があり、**小碗**は直口口縁、**皿**は10㎝の大きさで内面に総唐草文(第45図12)を施す。

**＜産地不明＞**

**小碗**：外反口縁で腰折れになり、内外面とも総文様。(第46図18)

**蓋**：（第43図20）は呉須が濃く、産地は不明でおそらく型紙摺り等と同じ近代のものと考えられる。

**＜瀬戸美濃＞**（第46図19）の**小碗**が出土している。

**＜クロム青磁＞**皿、小碗、小杯、香炉などがみられる。ここでは下記について図示した。

**皿**：（第46図15）は小皿で内面に鶴を緑釉で施文する。**小碗**は直口と外反口縁があり、文様は呉須で下絵を付けたものが数種類あり（第46図8、23）はその一つである。**杯**：（第46図22）はいずれもトビガンナで加飾する。

**小結**：本土産磁器は型成形、蛇の目凹形高台がある。皿の大きさは小（10㎝前後）と中（15㎝前後）大（15㎝以上）は本土産磁器のサイズは統一されているようである。蛇の目凹形高台は18世紀後半にみられる技法で、型紙摺りは砥部焼に代表される。砥部で型紙摺りが作られるていることからこれらの集中する「て・と－12·13遺物集中部」の年代が想定できる。

**＜註＞**

註1. 大橋康二　『古伊万里の文様』　初期肥前時期を中心に　理工学社　1994.5.15

註2. 下中　弘　『やきもの事典』　平凡社　1984.12.5

## 第20表　本土産磁器観察一覧（1）

単位：cm

| 図 | 番号 | 種類 | 器種 | 部位 | 口径 | 器高 | 底径 | 観察事項 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第42図 図版26 | 1 | 肥前染付 | 皿 | 底 | — | — | 13.2 | **形態**：型成形。**文様**：外面に唐草文と圏線、内面と内底に草花文。**呉須**：淡青。**施釉**：畳付け無釉。 | て-12 遺物集中部 |
| | 2 | | | | — | — | 9.8 | **文様**：内底に雲と鳳凰と捻花文。**呉須**：鮮やか。**施釉**：畳付け無釉、砂目、外底内に鉋痕。**素地**：白地。 | し-17 崖部石灰礫層 |
| | 3 | | | | — | — | 8.4 | **形態**：蛇の目凹形高台。**文様**：内底－山水文。**呉須**：青の濃淡有り。**施釉**：外底－蛇の目部無釉。**素地**：白地。**時代**：1740～1780年代。 | と-11 黒色土層0～10 |
| | 4 | | | | — | — | 5.7 | **分類**：小Ⅳ。**形態**：型成形、輪花。**文様**：内底－山水文。**呉須**：青黒い。**施釉**：畳付け無釉。**素地**：淡青。 | せ-18石灰岩礫集中部黒色土層 |
| | 5 | | | | — | — | (7.9) | **分類**：大。**文様**：外面－唐草文と高台に圏線。内面－植物文。**呉須**：鮮やかな青。**素地**：淡青。 | し-17崖部石灰岩礫層 |
| | 6 | | | 口 | 15 | — | — | **形態**：有段口縁。**文様**：内面の縁に呉須をベースに半菊花文、内底に文様有り。**呉須**：鮮やか。**素地**：白地。 | た-14 黒色土層20～40 |
| | 7 | | | 底 | — | — | 7.5 | **形態**：型成形。**文様**：内底－山水文、筆で描き彩色する。**呉須**：淡青。**施釉**：畳付け無釉、砂目。 | せ-17黒色土層 80～90 |
| | 8 | | | 口 | 10.2 | — | — | **分類**：小Ⅰ。**形態**：直口口縁、腰部は削りが明瞭に見られる。**文様**：内外面の口唇に淡い幅広の圏線が見られる。**呉須**：灰色。**施釉**：貫入有り。染付かも。 | 15トレンチ東側岩上黒色土層0～10 |
| | 9 | | | 口～底 | 15.8 | 3.6 | 7.4 | **分類**：大。**形態**：直口口縁。**文様**：内面－口縁に圏線と花文、内底－雲龍文。**呉須**：淡青。**施釉**：畳付け無釉、貫入有り。**素地**：乳褐色。 | せ-17黒色土層 60～80 |
| | 10 | | | | 15.4 | 3.3 | 4.4 | **分類**：大。**形態**：外反口縁。**文様**：内面－上下に圏線とその間に牡丹文、内底－草花文。**呉須**：淡青。**施釉**：畳付け無釉。 | せ-18石灰岩礫集中部黒色土層 |
| | 11 | | | | 13.5 | 2.6 | 7.5 | **分類**：中。**形態**：直口口縁。**文様**：内面に花文。**呉須**：淡青。**施釉**：畳付け無釉、砂目、内底－蛇の目。**素地**：乳白色。**産地**：波佐見。 | す・せ-18 黒色混礫土層 |
| | 12 | | 碗 | 底 | — | — | 5.8 | **分類**：Ⅰ。**形態**：直口口縁。**文様**：内面－圏線、内底に花文。**呉須**：鮮やかな青。**施釉**：畳付け無釉。**素地**：白色。 | せ-15岩盤付近黒色土層 |
| | 13 | | | 口 | 11.8 | — | — | **分類**：Ⅱ。**形態**：直口口縁。**文様**：外面－銀杏葉と「寿」文。**呉須**：青黒い。**施釉**：口唇釉剥ぎ。**素地**：乳白色。 | せ-18石灰岩礫集中部黒色土40～50 |
| | 14 | | | | 8.6 | — | — | **分類**：Ⅰ。**形態**：直口口縁。**文様**：外面－上に渦文、腰部に蓮弁文、胴部の窓の中に家屋と青海波文、内唇に雷文帯。**呉須**：青～青黒く釉が厚い。**素地**：乳白色。**時代**：1820～1860年代。 | せ-18石敷遺構直上黒色土層 |
| | 15 | | | | 10.9 | — | — | **分類**：Ⅰ。**形態**：直口口縁。**文様**：外面－草文、内面－雷文帯。**呉須**：青黒い。 | せ-17黒褐色混礫土層90～100 |
| | 16 | | | | 8 | — | — | **分類**：Ⅰ。**形態**：直口口縁。**文様**：外面－蛸唐草文、内面－四方襷文。**呉須**：青黒い。**素地**：白色。 | 12トレンチ東側 |
| | 17 | | | | 7.4 | — | — | **分類**：Ⅰ。**形態**：直口口縁。**文様**：外面－如意頭文と動物文、腰折部に草文、内面－上下に圏線。**呉須**：淡青。**素地**：乳白色。 | た-14暗褐色土40～50+せ-17暗礫 |
| | 18 | | | | 10.8 | — | — | **分類**：Ⅱ。**形態**：直口口縁、口唇が若干細くなる。**文様**：外面に如意頭文。**呉須**：鮮やかな青。**施釉**：口唇に釉剥ぎ。**素地**：乳白色。 | と-11黒色土層 0～10 |
| | 19 | | そば猪口 | 口～底 | 7.5 | 6.3 | 4.2 | **形態**：直口口縁、輪花。**文様**：外面－唐草文で腰部に蓮弁文、外底に款識、内唇は襷文、内底に文様有り。**呉須**：鮮やかな青。 | と-12 遺物集中部 |
| | 20 | | 小碗 | 底 | — | — | 3.6 | **形態**：型成形。**文様**：外面－腰部に蓮弁文、高台に圏線。**呉須**：鮮やかな青。**施釉**：畳付け無釉、砂目。**素地**：白地。 | て-16暗褐色混礫土層 |
| | 21 | | 碗 | | — | — | 5.8 | **形態**：型成形。**文様**：外面－腰部に蓮弁文と圏線、内面に圏線。**呉須**：青黒色。**施釉**：総釉、外面に貫入有り。**素地**：乳白色。 | せ-17黒色土層 30～50 |
| | 22 | | 鉢 | | — | — | 7.2 | **形態**：型成形。**文様**：外面－山水文。外底－圏線、内底－花文。**呉須**：鮮やかな青。**施釉**：畳付け無釉。**年代**：1655～1670年代。 | し-17岩盤凹地内中層瓦集中部 |
| | 23 | | 碗 | 口 | 12.0 | — | — | **分類**：Ⅳ。**形態**：有段口縁。**文様**：内外面とも段下に２本の圏線、胴部に文様有り。**呉須**：青～青黒い。**施釉**：貫入有り。**素地**：淡青。 | つ-13・14岩盤付近遺構集中部 |
| | 24 | | 小碗 | | 9.4 | — | — | **分類**：Ⅰ。**形態**：外反口縁、薄手。**文様**：外面－口縁に圏線と山水文。**呉須**：淡青。**素地**：白色。 | す-15地山直上遺構30 |
| | 25 | | 碗 | | 10.4 | — | — | **分類**：Ⅰ。**形態**：直口口縁。**文様**：外面－花文、内唇－襷文。**呉須**：不鮮明。**素地**：乳白色。 | せ-17黒色土層 80～90 |
| | 26 | | | | 10.8 | — | — | **分類**：Ⅰ。**形態**：直口口縁。**文様**：外面は山水文、内唇に青海文帯。**呉須**：青色。**素地**：乳白色。 | す-15地山直上+す-18黒色土層 |
| | 27 | | | 底 | — | — | (4.4) | **分類**：Ⅰ。**文様**：外面－草花文。**呉須**：淡青。**素地**：乳白色。 | す-18遺物礫集中部 |
| | 28 | | | | — | — | 5.2 | **分類**：Ⅰ。**形態**：直口口縁。**文様**：外面－口唇に文様帯と山水文、高台に文様帯、内底に山水文。**呉須**：淡青。**施釉**：畳付け無釉。 | せ-13地山直上 |
| | 29 | | 鉢 | 口～底 | 15.6 | 6.8 | 8 | **分類**：Ⅰ。**形態**：外反口縁、蛇の目凹形高台。**文様**：内外面とも蛸唐草文と亀甲文を全面に配す、外底－款識、内底－草花文。**呉須**：青黒～青。**施釉**：外底－蛇の目部無釉。 | せ-17黒色土層 30～50 |

注：（　）内は推算径、出土地の項の＋は接合

## 第20表　本土産磁器観察一覧（2）

単位：cm

| 図 | 番号 | 種類 | 器種 | 部位 | 口径 | 器高 | 底径 | 観察事項 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第42図・図版26 | 30 | 肥前青磁 | 鉢 | 口 | 22 | — | — | **形態**：直口口縁であるが僅かに玉縁。**文様**：内面にヘラで文様。**呉須**：淡緑青色。**施釉**：外面一貫入有り。**素地**：乳白色。 | す-15<br>遺構30 |
| | 31 | | | 底 | — | — | — | **分類**：角。**形態**：不明。**文様**：内底にヘラで葉文。**色**：淡緑青色。**素地**：乳白色。 | ち-9石段下黒色土層 |
| 第43図・図版27 | 1 | 肥前染付 | 皿 | 口～底 | 8.2 | 2.1 | 5 | **分類**：Ⅳ。**形態**：型成形。**文様**：外面に草花文で内底に梅文、内面に丸散文。**呉須**：外面は淡青、内底は青黒い。**施釉**：口唇に銹釉。**素地**：乳色。**時代**：17C中。 | す･せ-18黒色混礫土層100～110 |
| | 2 | | | | 14.8 | 4.5 | 9 | 分類：Ⅳ。形態：直口口縁、輪花、蛇の目凹形高台。文様：外面に唐草文、外底に款識「□に□□」、内面は菊唐草文、内底は花の連続文と竹文。呉須：淡青。施釉：外底－蛇の目高台無釉。素地：淡青。 | せ-17<br>黒色土層 |
| | 3 | | | | 14.2 | 3.8 | 8.6 | **分類**：Ⅳ。**形態**：型成形、直口口縁、輪花。**文様**：外面－唐草文と圏線、内面の菖蒲文、葉の一部を上絵で緑色の葉２本入れる。**呉須**：鮮やかで呉須の濃淡をうまくいかしている。**施釉**：畳付け無釉。**素地**：淡青。 | せ･そ-13<br>遺構57 |
| | 4 | | 鉢 | 底 | | — | 12.4 | **文様**：外面－唐草文と蓮弁文。**呉須**：鮮やかな青。**施釉**：畳付け無釉。**素地**：白地。 | ち-9石段上黒色土層 |
| | 5 | | 深鉢 | 口 | 13.6 | — | — | **形態**：内彎口縁、輪花。**文様**：外面に唐草文と腰部に圏線、内面は山水文か。**呉須**：外面は青黒く内面は鮮やか。**素地**：淡青。**時代**：18C。 | つ-13･14岩盤付近遺構集中部 |
| | 6 | | 蓋 | 胴 | — | — | — | **文様**：外面－菊唐草文と撮みの周辺に圏線を配する。**呉須**：淡い青がベース。**施釉**：内外面とも施釉。**素地**：裏－白地。 | す-15地山直上<br>遺構57 |
| | 7 | | | 口～底 | 10.2 | — | — | **形態**：リボン状の撮み。**文様**：外面－２本の圏線と文字。**呉須**：淡青。**施釉**：合わせ部無釉。 | と-12<br>遺物集中部 |
| | 8 | | 小碗 | 底 | — | — | 3.6 | **分類**：Ⅱ。**形態**：型成形、筒状、腰折れ。**文様**：外面－文字と圏線、内底に花文。**呉須**：淡青。**施釉**：畳付け無釉、砂目。 | ち-13<br>石垣裏込め内 |
| | 9 | 銅版 | 合子の蓋 | 口～底 | — | — | — | **形態**：方形、大振り、角は面取り。**文様**：外面－唐草文。**呉須**：鮮やかな青。**施釉**：合わせ部は無釉。**素地**：白地。 | ち-9石段上黒色土層 |
| | 10 | 肥前染付 | 合子 | 口～底 | 6.8 | 2.0 | 6.5 | **形態**：方形、縁部は４㎜。**文様**：蓋の上面に動物文か。**施釉**：蓋受け部無釉。**素地**：白色。 | て-13<br>遺物集中部 |
| | 11 | | 瓶 | 口 | 4.1 | — | — | **形態**：長頸の瓶で口縁は僅かに外反、最大胴径16㎝。**文様**：頸部に如意頭文の連続文、胴部に捻牡丹花文。**呉須**：淡青。**施釉**：外面及び内面の一部施釉。**素地**：乳白色。 | せ-14遺構74<br>+た-13地山直上 |
| | 12 | | | 胴 | — | — | — | **分類**：Ⅲ。**文様**：葉文。**呉須**：鮮やかな青。**施釉**：内外面とも施釉。**時代**：17C中～後。 | し-17崖部墓口?<br>前面黒色混礫土層 |
| | 13 | | 杯 | 口 | 6.6 | — | — | **分類**：Ⅰ。**形態**：僅かに外反。**文様**：外面－渦巻き文。**呉須**：鈍い。 | と-12<br>遺物集中部 |
| | 14 | | | 胴 | — | — | — | **分類**：Ⅱ。**形態**：直口口縁、腰部丸味。**文様**：外面に植物文。**呉須**：濃淡で表現。**素地**：淡青。 | し-17岩盤凹地内上層 |
| | 15 | | 瓶 | 底 | — | — | 4.0 | **分類**：Ⅱ。**形態**：筒状、徳利の可能性有り。**文様**：外面に二重唐草文。**呉須**：淡青。**施釉**：畳付け無釉、内面も施釉。**素地**：淡青。 | せ-12<br>撹乱 |
| | 16 | | 杯 | 底 | — | — | 3.2 | **分類**：Ⅳ。**形態**：碁笥底、筒状。**文様**：圏線。**呉須**：淡青。**施釉**：畳付け無釉。**素地**：乳色。 | て-11<br>東側畦 |
| | 17 | | | | — | — | 2.2 | **分類**：Ⅱ。**形態**：型成形。**文様**：外面－山水文か、高台と外底に圏線。**呉須**：淡青。**施釉**：畳付け無釉。**素地**：淡青。 | ち-12黒色土層<br>10～20 |
| | 18 | | | | — | — | 2.6 | **分類**：Ⅲ。**形態**：腰折れ。**文様**：外面－高台に圏線、内面に圏線と内底に文様有り。**呉須**：淡い。**施釉**：外底無釉。 | せ-17<br>黒色混礫土層 |
| | 19 | | 火取 | 底 | — | — | 7.8 | **形態**：筒状、型成形、陶胎。**文様**：唐草文と圏線。**呉須**：濁った青。**施釉**：畳付け無釉、内部も施釉が有り碗とも考えられる。**素地**：乳色。 | 表採 |
| | 20 | 不明 | 碗の蓋 | 底 | — | — | 2.8 | **形態**：型成形。**文様**：外面に草文、内底に円文。**呉須**：濃青。**施釉**：畳付け無釉。**素地**：乳色。 | せ-17黒色土層<br>80～90 |
| | 21 | 肥前染付？ | 瓶 | 胴 | — | — | — | **分類**：Ⅲ。**形態**：最大胴径9cm。**文様**：外面に細いタッチで青海波文と窓の組み合わせ部に草花文か。**呉須**：淡い青が主。**施釉**：内面無釉。**素地**：乳色。**時代**：17Cか。 | つ-12黒褐色混礫層<br>10～20 |
| | 22 | 青磁染付 | 皿 | 口～底 | 10.4 | 3.7 | 6.7 | **形態**：型成形、内彎。**文様**：外面－唐草文と腰部に２本の圏線、内底は白地草花文。**呉須**：淡青。**施釉**：畳付け無釉。内面は青磁釉、**素地**：淡青。 | す-15<br>地山直上 |
| 第44図・図版28 | 1 | 型紙摺り | 碗 | 口～底 | 13.7 | 5.3 | 5 | **分類**：A③ｳえ。**文様**：外面－花(五弁)唐草文と腰部に蓮弁文、内唇に菊花文の文様帯、内底に動物文。**呉須**：鮮やか。**施釉**：畳付け無釉、内底に５個の目痕。**素地**：白地。 | 首里杜館横重機による表土剥ぎの際黒色土層中より |
| | 2 | | | | 13.2 | 5.6 | 5.2 | **分類**：A③ｶ。**文様**：外面－牡丹唐草文、内唇に文様帯、見込みに動物様文。**色**：滲む、淡青。**施釉**：畳付け無釉、５個の目痕(径4.4㎜)。**素地**：白地。 | て-12遺物集中部<br>0～20 |
| | 3 | | | | 14.7 | 5.9 | 4.9 | **分類**：A③ｵえ。**形態**：やや外反、腰部は緩やかに立ち上がる。**文様**：外面－菊唐草文、腰部に文様帯を配する、内唇に逆三角形の文様帯。**色**：鮮やか。**施釉**：畳付け無釉。 | て-12遺物集中部<br>0～20 |
| | 4 | | | | 13.8 | 5.9 | 5.2 | **分類**：A②ｱbあ。**文様**：外面－丸窓に鶴、地文に松竹梅文、内唇に吉祥文の文様帯、内底に単花。 | と-12<br>遺物集中部 |

注：（　）内は推算径、出土地の項の＋は接合

## 第20表　本土産磁器観察一覧（3）

単位：cm

| 図 | 番号 | 種類 | 器種 | 部位 | 口径 | 器高 | 底径 | 観察事項 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第44図・図版28 | 5 | 型紙摺り | 碗 | 口～底 | 13.5 | 6.3 | 4.8 | **分類**：A②ｱaい。**文様**：外面－竹と松に丸窓の中に左向きの鶴、腰部に三角文帯、内唇－松・竹・梅の文様帯、内底に複花文。**呉須**：鮮やか。**施釉**：畳付け無釉、5個の目痕(径0.5㎜)。**素地**：乳白色。 | て-12遺物集中部0～20 |
| | 6 | | | | 13.4 | 5.5 | 4.9 | **分類**：A②ｳbい。**形態**：直口口縁。**文様**：外面－五弁花窓の中に花文、地文に松竹文、内唇は松竹梅の文様帯、内底は複花。 | て-12遺物集中部0～20 |
| | 7 | | | | 13.4 | 5.2 | 5.2 | **分類**：A③い。**文様**：外面－竹文、内唇－竹文、内底－複花文。**呉須**：鮮やか。**施釉**：畳付け無釉、目痕なし。**素地**：白地。 | と-12遺物集中部0～20 |
| | 8 | | | | 12.8 | 5.2 | 4.6 | **分類**：A②ｲう。**形態**：外反口縁。**文様**：外面－五弁花を菱形の窓に鶴と吉祥文をはめる、内底は右向きの鶴。**呉須**：鮮やかな青。**施釉**：畳付け無釉、内底に5個の目痕。**素地**：白地。 | て-12遺物集中部0～20 |
| | 9 | | | | 13 | 5.4 | 4.9 | **分類**：A②ｳaい。**文様**：外面－五弁花窓の中に花文、地文は松・竹、腰部に三角の連続文、内唇は菊花の文様帯、内底複花。 | て-12遺物集中部0～20 |
| | 10 | | | | 13 | 5.3 | 4.7 | **分類**：A②ｵう。**文様**：外面は地文と将棋形の窓に草花文と吉祥文字の2種、内唇は松・竹・梅の文様帯、内底は左向きの鶴文。**色**：淡青色。**施釉**：畳付け無釉、内底－5個の目痕。**素地**：乳色。 | て-13遺物集中部 |
| | 11 | | | | 14 | 5.7 | 4.8 | **分類**：A③ｱあ。**形態**：外反口縁。**文様**：外面は総文様で星状の花と腰部に蓮弁文、内唇に梅花と内側は単花。**色**：淡い青。**施釉**：畳付け無釉、内底に目痕。**胎土**：乳色で陶質っぽい。 | と-12遺物集中部西側畦 |
| | 12 | | | | 13.8 | 5.6 | 4.5 | **分類**：A③ｴい。**形態**：外反が強い。**文様**：外面－地文と帆船と鳥文の組み合わせ、内唇は鳥文の文様帯。**色**：滲む、淡青色。**施釉**：畳付け無釉。**素地**：白地。 | て-12遺物集中部0～20 |
| | 13 | | | 口 | 14.5 | — | — | **分類**：A①。**文様**：外面－菱形の窓に菊花文、内唇に菊花文の文様帯。**色**：淡い青。**素地**：白地。 | ち-13遺物集中部0～20 |
| | 14 | | | 口～底 | 14.4 | 5.8 | 5.2 | **分類**：A②ｴい。**文様**：外面は地文と丸窓の中には、日章旗と旭日旗の旗が交差し腰部に烈点文帯、内唇は「ＪＡＰＡＮ」の文様帯、内底に複花文。**呉須**：鮮やか。**施釉**:畳付け無釉、目痕有り。**素地**：乳白色。 | と-12遺物集中部西側畦 |
| | 15 | | | | 13.4 | 5.7 | 4.9 | **分類**：A③ｷお。**文様**：外面－唐草文の簡略化、腰部は八宝様の文様、外底－款識、内唇－花文、内底に圏線と花文。**色**：淡い。**施釉**：畳付け無釉、内底目痕。**素地**：白地。 | と-12遺物集中部 |
| 第45図・図版29 | 1 | | | 口～底 | 11 | 4.6 | 3.8 | **分類**：Ba①ｴ。**文様**：外面－烈点文で菱形の窓その中に「鶴」左向き、内面－上下に圏線。**呉須**：鮮やか。**施釉**：畳付け無釉、内底－蛇の目。 | つ-12黒褐色混礫層10～20 |
| | 2 | | | | 11.4 | 5.8 | 4.1 | **分類**：Bb③い。**文様**：外面－蛸唐草文と「寿福」の組み合わせと腰部に蓮弁文、内唇も同じ、内底文様有り。**呉須**：鮮やか。**施釉**：畳付け無釉。 | と-12遺物集中部 |
| | 3 | | | 底 | — | — | 3.8 | **分類**：B③い。**文様**：外面－蛸唐草文と「福寿」と組み合わせが簡略化したもの。**呉須**：鮮やか。**施釉**：畳付け無釉、内底に径4㎜の目痕。 | 表採 |
| | 4 | | | 口～底 | 10.2 | 6.1 | 4.2 | **分類**：Bb①ｱ。**文様**：外面－菱形と花の組み合わせ。**色**：鮮やかでベタとしている。**施釉**：目痕有り。 | と-12遺物集中部0～20 |
| | 5 | | | | 11.7 | 5.5 | 4.7 | **分類**：Bb③。**形態**：僅かに外反のようにもみえる。**文様**：外面－蛸唐草文と「福寿」の組み合わせ、内唇は無文。**呉須**：鮮やかな青。**施釉**：高台無釉、蛇の目釉剥ぎのあと白化粧。 | と-12遺物集中部0～20 |
| | 6 | | | | 10.4 | 5.8 | 4.3 | **分類**：Bb②ｳ。**文様**：外面－文様の区画幅2.7㎝と狭くなり区画内に縦位に虫文、内面－三角文、内底－圏線と草花文。**呉須**：鮮やか。 | 15ﾄﾚﾝﾁ東側岩上黒色土層最上部 |
| | 7 | | | 口 | 10.4 | — | — | **分類**：Bb①ｲ。**形態**：直口口縁、腰折れ。**文様**：外面は菱形内に菊花文、内面に襷文の組み合わせ。**色**：青は鈍い。 | と-12遺物集中部西側畦 |
| | 8 | | | 口～底 | 10.1 | 5.7 | 4.2 | **分類**：Bb①ｳい。**形態**：直口口縁、全体に歪む。**文様**：外面－菱形文の組み合わせ、内唇に文様、内底－菊文。**呉須**：鮮やか。**施釉**：高台－白化粧を削り目痕が5個。 | と-12遺物集中部西側畦 |
| | 9 | | | 口 | 10.1 | — | — | **分類**：Bb④ｱ。**文様**：外面－花唐草文、青海波文と蛸唐草文の組み合わせ、内面に三角文。**呉須**：鮮やか。 | と-12遺物集中部西側畦 |
| | 10 | | | | 10.8 | — | — | **分類**：Bb②ｲ。**形態**：直口口縁。**文様**：外面－文様を幅3㎝で区画し菊花草文、内面－三角文と胴下部に圏線。**呉須**：鮮やかな青。 | と-12遺物集中部西側畦 |
| | 11 | | | | 10.4 | — | — | **分類**：Bb②ｱ。**文様**：外面は幅3㎝前後で区画、地文と山水文、内面は逆三角文。**呉須**：鮮やか。 | そ-13･14壁面に漆喰のある方形遺構内 |
| | 12 | | | 底 | — | — | 5.4 | **分類**：A⑤ｱ。**形態**：腰部は張る。**文様**：外面－唐草文、内底に大柄の草文。**呉須**：鮮やか。**施釉**：目痕有り、畳付け無釉。 | と-12遺物集中部西側畦 |
| | 13 | | | 口 | 10.9 | — | — | **分類**：Bb⑤ｱ。**形態**：直口口縁。**文様**：外面－花唐草文、文様のタッチが丁寧。 | て-13遺物集中部 |
| | 14 | | | 口～底 | 11 | 5 | 3.9 | **分類**：Ba⑤ｱ。**文様**：外面－花唐草文、内唇に菱形の文様帯。**呉須**：鮮やか。**施釉**：内底に釉剥ぎ。 | て-13遺物集中部 |
| | 15 | | | 口 | 11 | — | — | **分類**：Ba⑤ｲ。**文様**：外面－菊花文と丸文の組み合わせ、内面－圏線。**色**：淡青色。 | と-12遺物集中部西側畦 |
| | 16 | | | 口～底 | 11.4 | 6.2 | 5 | **分類**：Bb④ｲ。**形態**：厚手、高台は高く逆「八」字状で腰部は張る。**文様**：山で窓をとり中に松と家を配しそれ以外は菊文と青海波をあしらう。**呉須**：淡青色。**施釉**：畳付け無釉、内底蛇の目。**素地**：乳褐色。 | て-13遺物集中部 |
| | 17 | | 香炉 | 口 | 10 | — | — | **形態**：筒状、内彎。**文様**：縁に波の文様帯、胴部に竹文。**呉須**：淡い青か。**施釉**：白化粧、内面－白化粧のみ。**素地**：乳褐色。 | て-12遺物集中部黒色土層 |

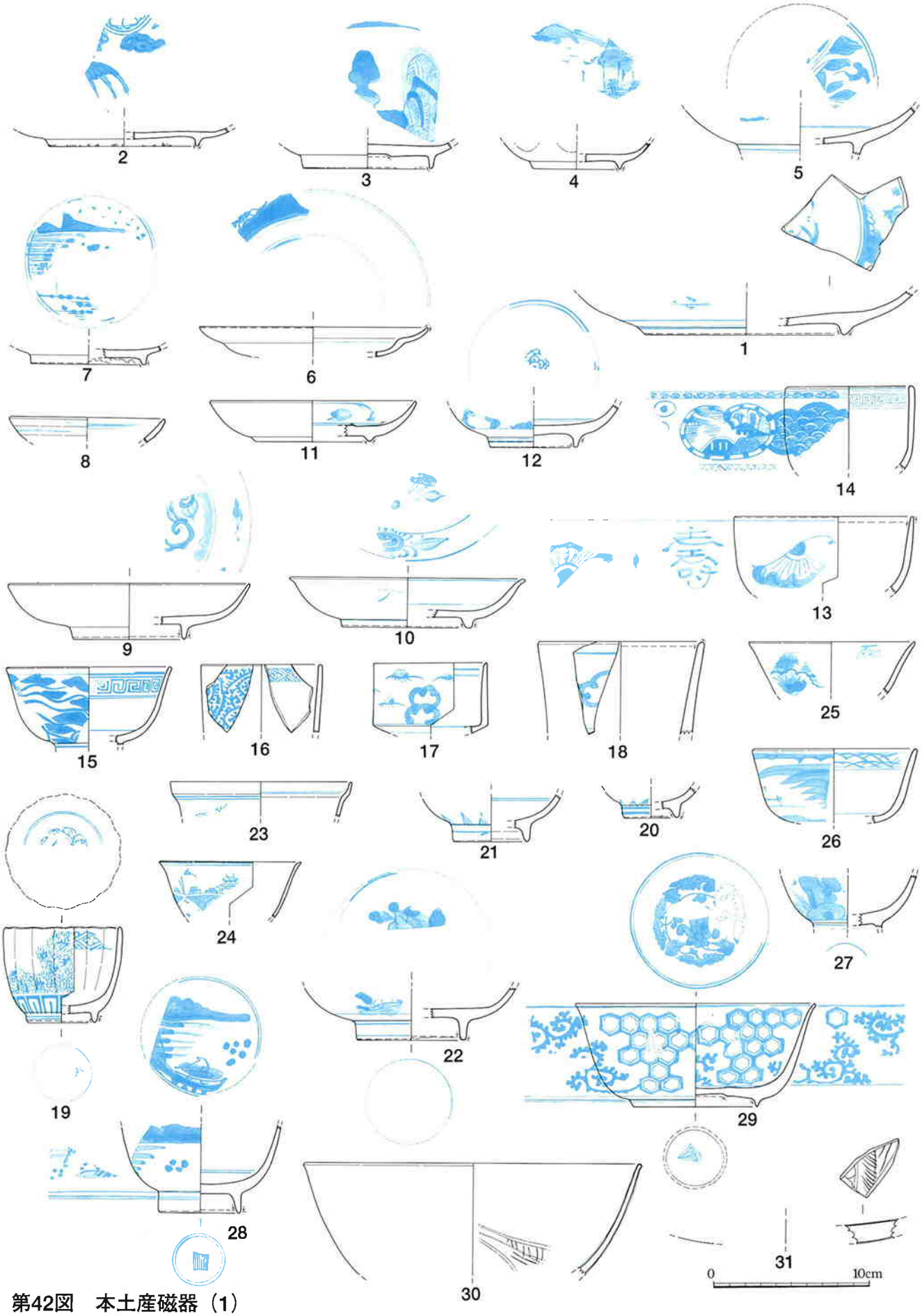
注：（　）内は推算径、出土地の項の＋は接合

## 第20表　本土産磁器観察一覧（4）

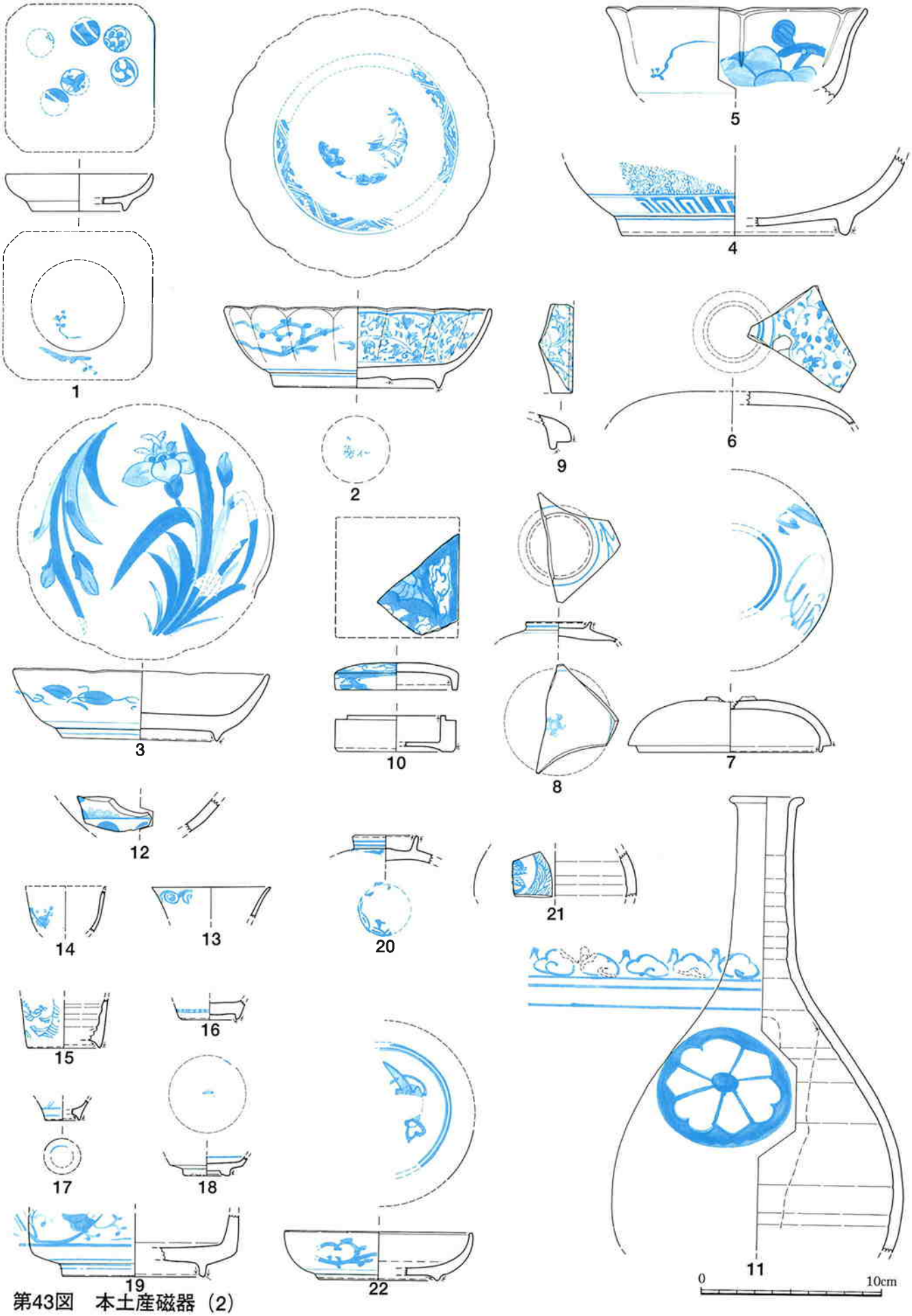
単位：cm

| 図 | 番号 | 種類 | 器種 | 部位 | 口径 | 器高 | 底径 | 観察事項 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第45図・図版29 | 18 | 型紙摺り | 香炉 | 口～底 | 10.2 | 8.1 | 10 | **形態**：筒状、内彎。**文様**：上下に文様帯、花、型紙のズレが見られる。**色**：濃淡が有り。**施釉**：白化粧、外底無釉、内面無釉。**素地**：乳褐色。 | て-12遺物集中部 0～20 |
| | 19 | | | | 9.6 | 7.8 | 9.4 | **形態**：筒状、内彎。**文様**：上下に文様帯、胴部に円をベースに菊・波・蝶などを大小の円であしらう。**色**：鮮やかな紺。**施釉**：白化粧、外底無釉、内面無釉。**素地**：乳褐色。 | て-12遺物集中部 0～20 |
| | 20 | | 段重 | 口～底 | 11 | 4.5 | 9.8 | **形態**：直口口縁。**文様**：花唐草文（焦げ茶色）と四方襷文（青色）の組み合わせ。**色**：焦げ茶と青の二彩。**施釉**：口唇は無釉、底部の縁も無釉。 | て-12遺物集中部 0～20 |
| 第46図・図版30 | 1 | | 皿 | 口～底 | 12.8 | 3.1 | 7.4 | **分類**：④。**形態**：直口口縁、輪花、蛇の目高台。**文様**：外面－唐草文と圏線（腰・高台）、内面－菊花文をベースに3個の窓、口唇部はコバルト施釉。**色**：鮮やかな紺色。**施釉**：外底－蛇の目無釉、目痕は確認できない。**素地**：白地。 | と-12遺物集中部 |
| | 2 | | | | 14.2 | 4.1 | 9.5 | **分類**：③。**文様**：外面－菊唐草文、内面は菊花文と扇窓組合せ、窓内は植物文。**形態**：直口口縁、輪花、蛇の目高台。**施釉**：外底－蛇の目無釉。**素地**：白地。 | と-12遺物集中部 0～20 |
| | 3 | | | | 13.4 | 3.6 | 8.9 | **分類**：②。**形態**：直口口縁、輪花、蛇の目高台。**文様**：外面－唐草文3パターン、内面－大小の窓に植物文。**施釉**：内底に5個の目痕、外底－蛇の目無釉。**素地**：白地。 | と-12遺物集中部 0～20 |
| | 4 | | | | 12.8 | 3.5 | 4.8 | **分類**：④。**形態**：直口口縁、輪花、蛇の目高台。**文様**：外面－唐草文、内面－扇状窓の内植物文。**施釉**：内底に5個の目痕、外底－蛇の目無釉。**素地**：白地。 | て-12遺物集中部 0～20 |
| | 5 | | | 底 | － | － | 7.8 | **分類**：①。**形態**：蛇の目高台。**文様**：外面－腰部と高台に圏線、内面－見込みに蝶を4匹。**施釉**：外底－蛇の目無釉。**素地**：白地。 | て-12 |
| | 6 | | 小碗 | 口～底 | 8.3 | 3.6 | 3.2 | **形態**：直口口縁、腰折れ、蛇の目高台。**文様**：外面－唐児と青海波文と蓮弁文、内底に花文。**施釉**：高台無釉。**素地**：白地。 | せ-17黒色土層 80～90 |
| | 7 | | 蓋 | 口～底 | 8.9 | 2.6 | 4 | **形態**：直口口縁、腰部は僅かに膨らむ、高台の断面は「ハ」の字状。**文様**：外面－星状の弁に菊花文、外底に款識、内唇－襷文、内底に菊文。**施釉**：畳付け無釉。**素地**：白地。 | て-12遺物集中部 0～20 |
| | 8 | 銅版 | 皿 | 口～底 | 11 | 2 | 7 | **分類**：③。**形態**：直口口縁、型成形。**文様**：外面－無文、内面－6区画中に文字「詩吟壱百斗□」「底漁李口白」「□道朝誰天車」「底陽殿三検斗」「□□□……」。**色**：青。**施釉**：口唇に青釉。 | と-12遺物集中部 0～20 |
| | 9 | | | | 10.8 | 2.1 | 6.6 | **分類**：①。**形態**：直口口縁、型成形。**文様**：外面－無文、内面－中央に菊花文とその周りに花と蝶を交互に配す。**色**：濁った青。**施釉**：畳付け無釉。 | て-12遺物集中部 0～20 |
| | 10 | | | | 11 | 2 | 6 | **分類**：②。**形態**：直口口縁、型成形。**文様**：外面－無文、内面－口縁襷文と牡丹唐草文に「壽」。**色**：青釉。**施釉**：口唇銹釉、畳付け無釉。 | と-12遺物集中部 0～20 |
| | 11 | | | | 10.8 | 2.1 | 6.6 | **形態**：直口口縁、型成形。**文様**：外面－無文、内面－菱形と内底に窓で梅・竹・菊・菖蒲を施す。**色**：緑釉。**施釉**：畳付け無釉。 | ち-13遺物集中部 0～20 |
| | 12 | | | | 11.2 | 2.3 | 6.6 | **分類**：④。**形態**：直口口縁、型成形。**文様**：外面－無文、内面－3つの窓内に風景画。**色**：濁った緑。**施釉**：口唇に銹釉、畳付け無釉。 | て-12遺物集中部 0～20 |
| | 13 | | | | 14 | 3.5 | 7 | **分類**：⑥。**形態**：直口口縁、蛇の目高台。**文様**：6区画の中に風景画、鳳凰文、花文など。**色**：青釉。**施釉**：蛇の目高台無釉。 | と-12遺物集中部 西側畦 |
| 第46図・図版31 | 12 | 銅版 | 皿 | 口～底 | 12.6 | 2.5 | 7.4 | **分類**：⑦。**形態**：直口口縁、型成形。**文様**：外面－無文、内面－扇文様を主に配する。**色**：赤色。**施釉**：畳付け無釉。 | て-12遺物集中部0～20 |
| 第46図・図版30 | 14 | ゴム印 | 皿 | 口～底 | 10.8 | 2.4 | 6.2 | **形態**：直口口縁、型成形。**文様**：外面－無文、内面－花唐草文。**色**：淡青。**施釉**：畳付け無釉、口唇は銹釉。 | と-11黒色土層 0～10 |
| | 15 | クロム青磁 | 皿 | 口～底 | 10.8 | 1.9 | 6.4 | **分類**：小。**形態**：直口口縁、型成形。**文様**：内面に上絵（緑）で鳥文。**色**：内底は白釉。**施釉**：クロム青磁、畳付け無釉。 | と-12遺物集中部 |
| | 16 | 銅版 | 碗 | 口～底 | 11 | 4.6 | 6 | **形態**：直口口縁、型成形、腰部ストレート。**文様**：外面に菊（ピンク色）と葉（緑）の組み合わせ。**施釉**：畳付け無釉。 | と-12遺物集中部 0～20 |
| | 17 | ゴム印 | 小碗 | 口～底 | 8.6 | 4.9 | 4 | **形態**：直口口縁、型成形。**文様**：外面に蝶と「壽」で3パターン。**色**：紺色。**施釉**：畳付け無釉。 | ち-13黒色土層 20～30 |
| | 18 | 産地不明 | 小碗 | 口～底 | 10 | 3.6 | 4 | **形態**：やや外反、腰折れ。**文様**：内外面に仙芝文、口唇は紺色。**色**：紺色。**施釉**：畳付け無釉。**素地**：貫入有り。 | せ-15岩盤にへばりついた黒色土層 |
| | 19 | 瀬戸美濃 | 小碗 | 口～底 | 8.5 | 3.8 | 3.1 | **形態**：直口口縁、型成形、腰折れ。**文様**：4ヶ所に施文。**施釉**：畳付け無釉、口唇銹釉、内底に薄く施文有り。 | と-12遺物集中部 0～20 |
| | 20 | 銅版 | 小碗 | 口～底 | 7.8 | 4.7 | 3.8 | **形態**：直口口縁、型成形。**文様**：花（黄色）葉（紺）の1パターン、「素山□」の款識。**施釉**：畳付け無釉で砂が若干付着。 | と-12遺物集中部 |
| | 21 | | | | 8 | 4.6 | 3.8 | **形態**：直口口縁。**文様**：外面－総花唐草文、内面－無釉、外底－「佐泉」の銘款有り。**色**：鮮やかな青。**施釉**：口唇銹釉。 | と-12遺物集中部 0～20 |
| | 22 | クロム青磁 | 小碗 | 口～底 | 6.8 | 2.7 | 2.4 | **形態**：直口口縁、腰はストレート。**文様**：トビカンナ。**色**：鮮やかな青釉。**施釉**：外底無釉。 | と-12遺物集中部 |
| | 23 | | | | 8.8 | 4.6 | 3.1 | **形態**：直口口縁、腰折れ、蛇の目凹形高台。**文様**：トビカンナ。**色**：鮮やかな青緑釉。**施釉**：蛇の目高台無釉。 | て-12遺物集中部 0～20 |
| | 24 | 他 | 瓶 | 底 | － | － | 4.9 | **文様**：五彩、胴部は松・小花の文様を中央、両脇に隅丸の窓、中は梅・竹・扇を紅色で抜き、裏面に草文を配す。腰部に蓮弁文を施す。全体に上絵の後に金彩を施す。**施釉**：外底無釉、内面無釉。 | て-12遺物集中部 0～20 |

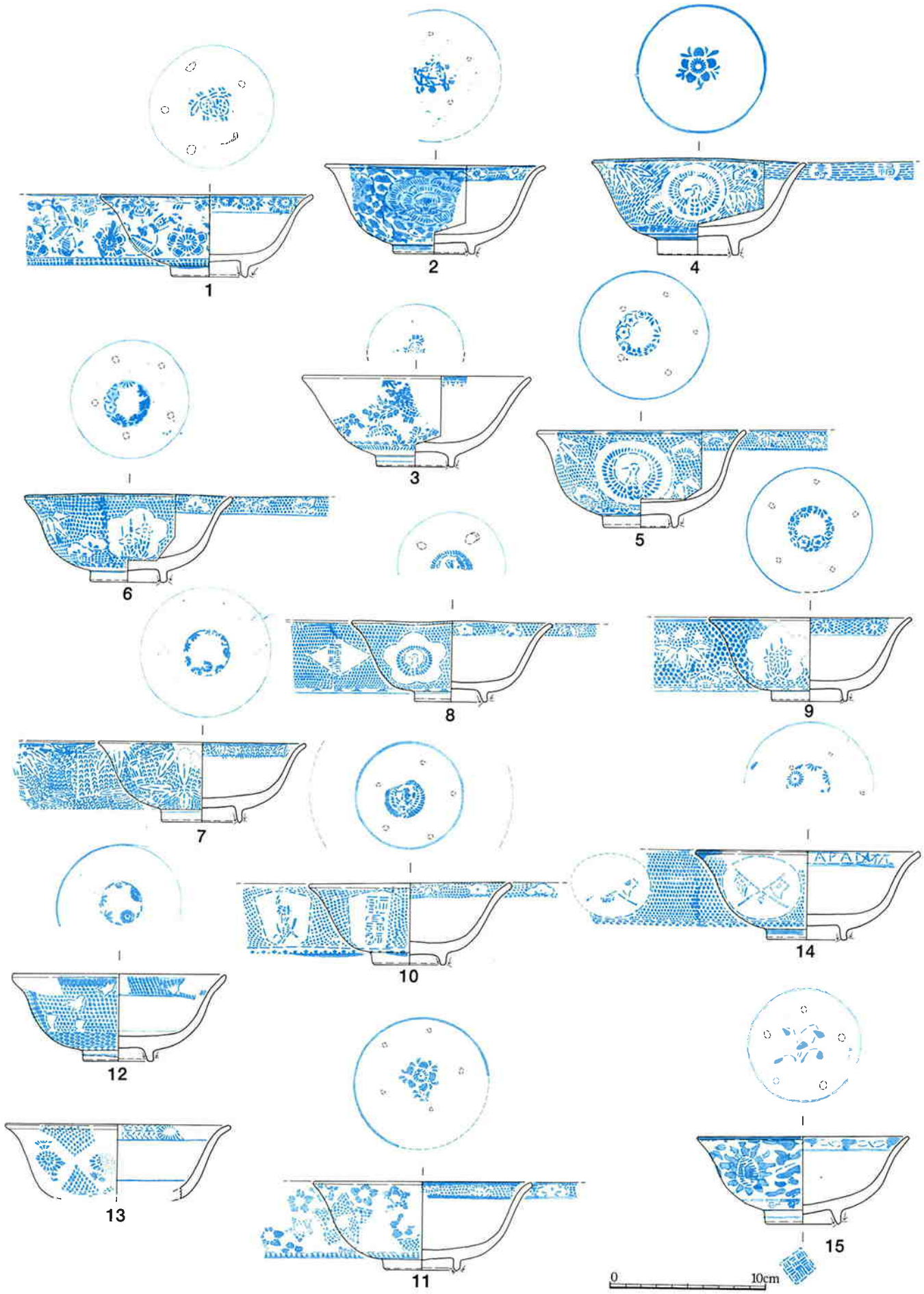
注：（　）内は推算径、出土地の項の＋は接合


2
3
4
5
7
6
1
8
11
12
14
9
10
13
15
16
17
18
25
23
21
20
26
24
27
19
22
29
28
30
31
0
10cm

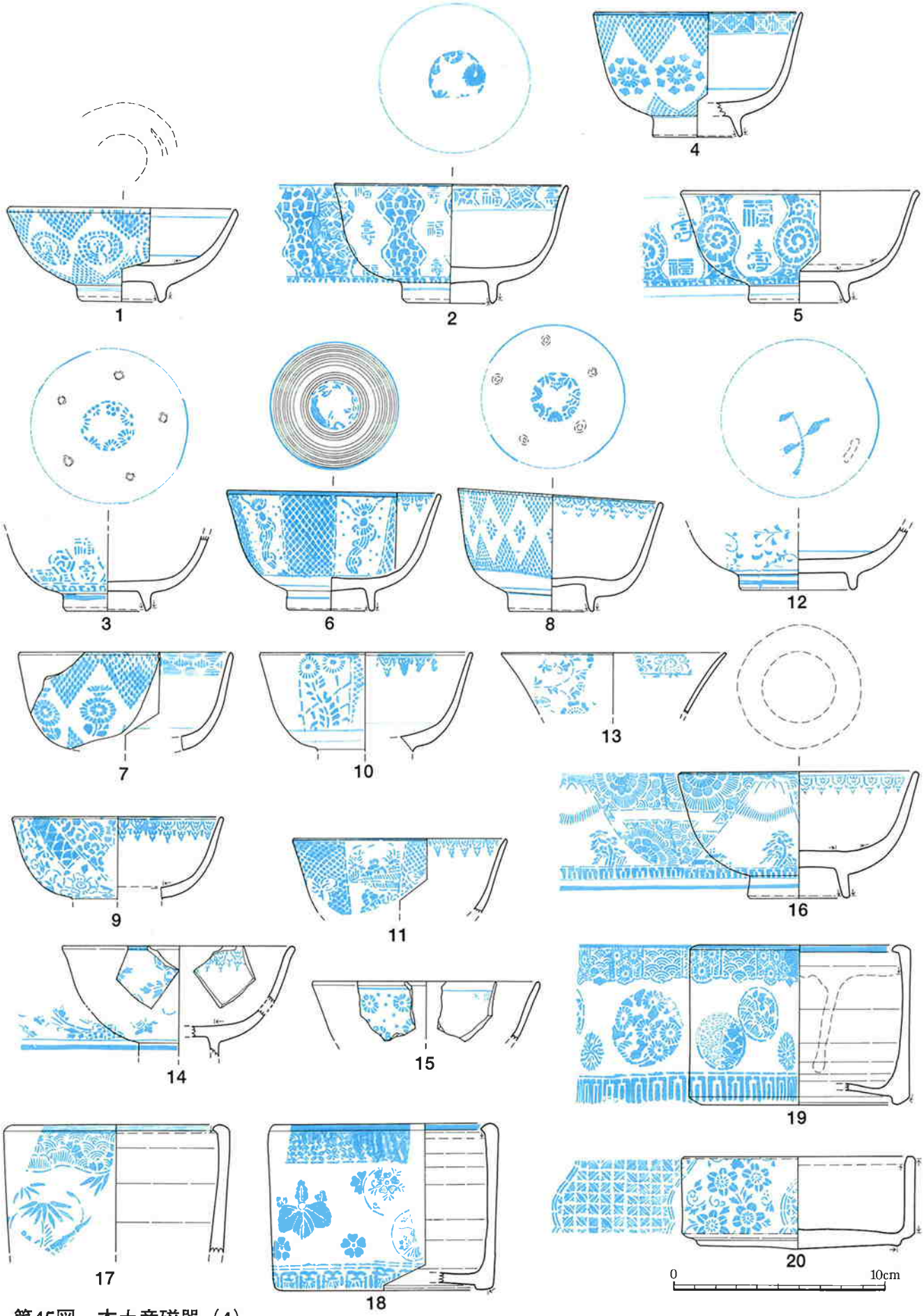
第42図　本土産磁器（1）



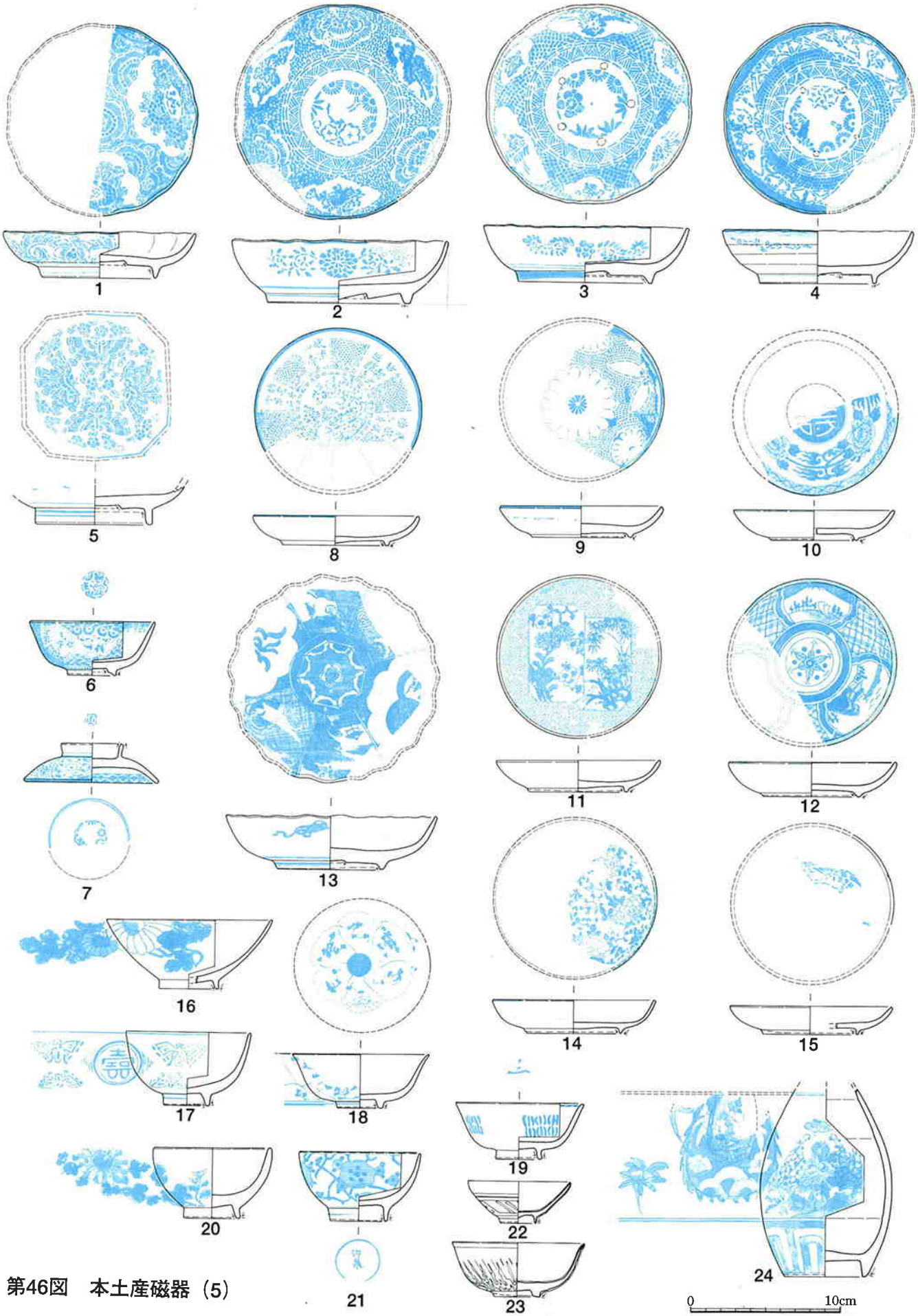

第43図　本土産磁器（2）




**第44図　本土産磁器（3）**　型紙摺り碗




第45図　本土産磁器（4）




第46図　本土産磁器（5）

## 第17節　本土産陶器

本遺跡からは、西日本の諸地域で生産されたと考えられる本土産陶器が、日用生活雑器を中心に出土した。主な例を挙げると、備前焼の擂鉢、見込みに刷毛目模様を施す肥前の皿・関西系の色絵陶器・鮫肌釉の薩摩焼などがあり、中世から現代にかけて幅広い年代の資料が得られている。資料整理の結果から、天界寺には時代によって、持ち込まれた焼物の生産地が異なる傾向があり、第47図のような変遷を見ることができる。

本節では、中世に遡る可能性のある備前焼と、近世所産である本土産陶器（その他の本土産陶器）に項目を分けた。後者については便宜上、種類別に大別しその中で産地別に資料を紹介する。すべての図化した資料については、第21・22表に詳細を記載する。

### A　備前焼（第48図）

擂鉢と壺が得られている。擂鉢は器形の特徴からⅠ類・Ⅱ類に分けられる。Ⅰ類は、明らかに備前焼の特徴を有するもので、Ⅱ類は器形や櫛目の調整が若干異なるものである。

備前焼の土は、最初は山土が用いられ、次第にヒヨセと呼ばれる鉄分の多い、田んぼの土（田土）が取り入れられるという経緯があり（註１）、今回得られた備前焼にも２種類の土質をみることができる。素地の色が鈍い桃褐色や灰色を呈し、白色や黒色の粗い鉱物を多く含んでいるのがおそらく山土で（第48図１～４）、素地が白っぽい桃褐色で層を成し、鉱物の混入も僅かな、滑らかな質感をしているのが田土（同図５・６）ではないかと思われる。

（１）擂鉢

**Ⅰ類**（第48図１～６）：口縁部の断面形が逆『く』の字に折れ曲がり、内面の櫛目が放射状櫛掻き条線になるタイプである。第48図１～４は素地が粗く砂粒などを多く含む。器外面は表面がナデ調整されるが、２～４はやや轆轤痕が残るような調整である。同図５・６は器外面の轆轤痕が明瞭に残り、素地は滑らかな質感で、含まれる砂粒も僅かである。

Ⅰ類を備前焼の編年（註２）に相対すると、１は口唇が先細り、器形や外面の器面調整の様子からⅣ期後半まで遡る可能性があるが、２～６は轆轤痕が明瞭であるなどⅤ期の特徴を有している。

**Ⅱ類**（第48図７・８）：口縁下部に鍔が作られ、羽釜のような形状をしている資料である。素地は粗く砂粒などが多く含まれ、第48図１～４の資料と素地の特徴が共通している。備前焼の分類で紹介しているが、産地が異なる可能性もある。備前焼の編年からみると、櫛目を交差させるのはⅤ期終末にみられるものであるが、器形はⅤ期に分類されるものでは類例が確認できない。沖縄県内の那覇市銘苅原遺跡（註３）で、同型資料が報告されているが、銘苅原遺跡の資料は櫛目が放射状櫛掻きき条線で本項のⅡ類と異なっている。

（２）壺（第48図９）

壺の底部が得られている。素地は灰色を呈して層を成し、白色と黒色の鉱物を含み、山土と田土の特徴が融合したような素地である。

**第21表　備前焼観察一覧**

単位：cm

| 図 | 番号 | 分類 | 器種 | 部位 | 口径 | 器高 | 底径 | 生産地 | 時代 | 観察事項 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第48図・図版31 | 1 | 焼締 | 擂鉢 | 口 | 28 | － | － | 備前 | 15c後半? | 口唇部は平坦に仕上げ、口唇先端は上向きになる。櫛目は放射状櫛がき条線で、正確な櫛目の本数は不明だが、６本の櫛目が入っている。素地は灰褐色で粗い白色粒が含まれている。 | つ-13<br>瓦礫層 |
| | 2 | | | 口 | 31.5 | － | － | | 15c後半～16c | 口唇部を内面に向かって平坦するが、先端は先細りぎみに成形している。櫛目は放射状櫛がき条線で、櫛目は11本。素地は内外面はにぶい橙色だが、中は灰色で、粗粒の砂粒や黒色鉱物が含まれている。 | つ-14<br>瓦礫層 |
| | 3 | | | 口～底 | 27.4 | 12.2 | 13 | | 15c後半～16c | 口唇部を内側に向け、口唇先端は厚く成形される。素地は灰褐色で粗い砂粒を含む。放射状櫛がき条線で櫛目は８本である。 | つ-14<br>黒色土層 |
| | 4 | | | 口 | 28 | － | － | | 15c後半～16c | 口唇部を平坦に成形し、外面は轆轤痕を残している。素地は灰褐色で粗い砂粒を含んでいる。放射状櫛がき条線で櫛目は９本確認できる。 | つ-13・14<br>岩盤付近 遺構集中部 |
| | 5 | | | 口 | 22.5 | － | － | | 16c～17c | 口唇部は内側に向き、四角形に成形する。外面の轆轤痕が残る内面の口唇部と胴部には自然釉がかかる。素地は灰褐色で滑らかな質感があり、粗い砂粒は僅かに確認できる程度である。櫛目は先端部分で確認できるのは８本である。 | つ-14<br>瓦礫層 |
| | 6 | | | 口 | 25.2 | － | － | | 16c～17c | 口唇部は内側に向き、四角形で平坦に仕上げる。外面は轆轤痕が明瞭である。素地は灰褐色で滑らかな質感があり、含まれる砂粒は僅かである。櫛目は10本確認できる。 | ち-11<br>遺構134 |
| | 7 | | | 口 | 33.5 | － | － | 備前? | 16c～17c | 外面口縁部の下方に鍔を持つ器形。素地は灰褐色で粗い砂粒を多く含む。櫛目は８本で櫛目同士を掛け合わすように描かれる。 | た-13黒色土層+つ-10<br>地山直上 |
| | 8 | | | 口 | 37 | － | － | | 16c～17c | 外面口縁部の下方に鍔を持つ器形。素地はにぶい橙褐色で粗い砂粒を多く含む。櫛目は８本で櫛目同士を掛け合わすように描かれる。 | つ-10<br>地山直上 |
| | 9 | | 壺 | 底 | － | － | 29.3 | 備前? | 不明 | 器両面ともに暗褐色を呈し、素地は灰色で粗い質感で、砂粒が僅かに含まれる。一部タタキのような痕がある。 | 13トレンチ東側 |

## B　その他の本土産陶器

（1）施釉陶器

本土産施釉陶器は薩摩や肥前などの九州系と、九州以外の産地が考えられる陶器を関西系として分類した。本項では、時代の古い順・産地別に資料をまとめたため、同じ九州系でも、近世の肥前及び九州系をⅠ類、近世から近代の時代幅を持つ薩摩焼をⅢ類に分けた。Ⅱ類は陶器の特徴から九州以外で生産された可能性が高く、どちらかといえば関西方面の可能性があるという点で関西系として分類した。近世は庶民の日用生活雑器として、陶器の需要と供給が発達した時代であり、近畿地方を中心に京焼の影響を受けた民窯が地方の至る所で築かれている。その為、没個性的な日用雑器が量産され、商品として広まったので生産地の特定は困難なのが現状のようである。

**Ⅰ類**（第49図1～16）：肥前・九州系。小碗・碗・皿が得られている。肥前内野山窯の胴緑釉碗（7）や、肥前の京焼風陶器の皿（11）など、17世紀から18世紀の資料が出土している。

**Ⅱ類**（第49図17～23、第50図24～29）：関西系。小碗・碗・皿・土瓶・急須・壺・蓋・鉢・香炉と様々な器種が得られている。(21) は瀬戸美濃系の可能性がある色絵皿の破片である。17～23は18～19世紀、24～26は19世紀～近代である。

**Ⅲ類**（第50図30～36）：薩摩焼。急須・土瓶・瓶・土鍋・香炉などが得られており、鮫肌釉が特徴の竜門司焼（30・34）や白薩摩の土瓶（31）などがある。年代は30・32～35が18～19世紀、31・36は19世紀である。そのほかにも、大正～昭和期の茶碗等が出土しているが、紙面の都合上割愛した。

（2）素焼陶器（第51図1～3）

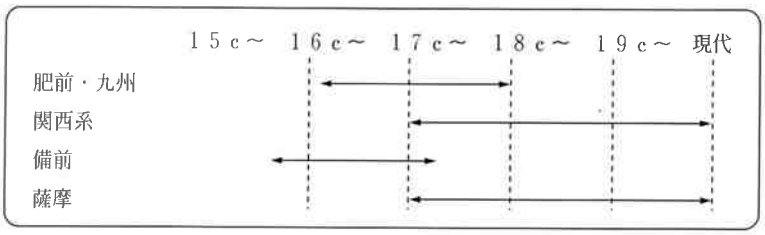
3点の低火度で焼かれた陶器が得られている。墨書入りの焼物・仮面・人形があり、すべて近・現代の遺物が集中して検出した地点（てー12・11付近）からの検出で、資料の年代も近世から近代にかけての関西系のものと考えられる。

（3）焼締陶器（第51図4～18）

薩摩焼と産地不明の焼締陶器が得られている。器種は鉢・擂鉢・壺・蓋などがみられ、以下、産地別にして概略を述べる。

産地不明（第51図4・5）：年代は不明だが、出土状況から近代から現代の資料と思われる。同図4は大黒天の型物で、器物の胴部に貼り付けられていたものであろう。第57図5は、陶管類のジョイント部分と考えられる。陶管の類例として那覇市御細工所跡（註4）で出土した陶管があるが、それよりも本遺跡出土の資料は直径やサイズ等が大きいようである。

薩摩焼（第51図6～18）：擂鉢・鉢・壺・甕・瓶・蓋などが得られている。素地が粗く、砂粒を多く含む特徴があり、外面の色調がオリーブ黒褐色や艶のある茶褐色を呈するものがある。鉢類の胴部は薄く成形されている。年代は近世～近代の資料である。第51図6は沖縄産無釉陶器に器形の類似資料があり（第69図91・92）、琉球の焼物と薩摩焼の関わりや影響を窺わせる。




**第47図　本土産陶器　産地・時代別　変遷**


＜註＞

(註1)『やきもの備前』　柳生尚忠　山陽新聞社　1995年

(註2)『備前焼』　間壁忠彦　ニュー・サイエンス社　1991年

(註3)『銘苅原遺跡』　那覇市教育委員会　1997年

(註4)『御細工所跡』　那覇市教育委員会　1991年

＜参考文献＞

『陶器講座3　日本Ⅲ・江戸前期』永竹　威　雄山閣　1971年

『陶器講座4　日本Ⅳ・江戸後期』永竹　威ほか　雄山閣　1972年

『日本陶磁の一万二千年』　矢部良明　平凡社　1996年

## 第22表　本土産陶器観察一覧(1)

単位：cm

| 図 | 番号 | 分類 | 器種 | 部位 | 口径 | 器高 | 底径 | 生産地 | 時代 | 観察事項 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第49図・図版32 | 1 | 施釉 | 小碗 | 底 | － | － | 3.9 | 九州産 | 18c～19c | 素地は灰色で内面は白化粧をし、外内面とも全面に透明釉を掛ける。 | そ-17<br>黒色混礫土層 |
| | 2 | | | 口～底 | 8.4 | 5.4 | 4 | | 18c～19c | 素地は乳白色、白化粧を施し透明釉を掛ける。畳付け底面を除いて全面に釉薬が掛かる。 | せ-17<br>黒褐色混礫土層 |
| | 3 | | | 口 | 8.7 | － | － | 九州産? | 不明 | 素地は肌色、釉色は灰白色で小さなあばたがみられる。高台は釉が掛からないようである。 | せ・そ-17<br>遺構57 |
| | 4 | | 碗 | 口 | 11.2 | － | － | 肥前? | 17c? | 京焼風陶器のような雰囲気をもつ。素地は乳白色で、内外面に黄色味を帯びた灰釉を掛け、外面に鉄絵で草花文が描かれる。 | せ-17<br>黒色土層 60～80 |
| | 5 | | | 底 | － | － | 4.2 | 肥前 | 17c前～中 | 素地は灰色、内外面に鉄釉が掛けられるが、高台部分は無釉で削りは粗い。 | す-15<br>地山直上 |
| | 6 | | | 底 | － | － | 4.4 | 肥前<br>内野山窯 | 17c後～18c | 素地は肌色、内外面に鉛色の鉄釉を施す。底部から高台は無釉で削りは粗く、見込み中心は凸状になっている。 | さ-17 崖部直下黒色混礫土層 0～40 |
| | 7 | | | 底 | － | － | 4.4 | 内野山<br>銅緑釉 | 17c～18c | 素地は灰白色、内面は透明釉、外面は銅緑釉がかかる。 | せ・そ-17<br>遺構57 |
| | 8 | | | 口 | 11.2 | － | － | 福岡か<br>肥前? | 18c～19c | 素地は灰白色、釉は黄色味を帯びた透明釉で見込みは蛇の目釉剥ぎされる。 | せ-16<br>黒色混礫土層炭層上 |
| | 9 | | | 口 | 11 | － | － | 九州産 | 近代 | 素地は白色、透明釉を全面に施すが、口唇内部は釉が掛からない。 | さ-17・18 崖部敷石イコウ 黒色混礫土層 |
| | 10 | | 皿 | 胴 | － | － | － | 肥前 | 1625～1650 | 扁平な皿で全面に褐釉を施釉するが、見込みには唐草と幾何学文を陽刻し白化粧で描かれる。素地は暗褐色である。 | さ-16<br>遺構22 |
| | 11 | | | 底 | － | － | 4.6 | | 1680～1700 | 京焼風陶器。見込みに鉄絵で山水文が描かれる皿である。内外面に灰釉を施すが、底部から高台にかけては無釉。素地は乳白色。高台内中心に丸い印刻が入っているような部分が残る。 | せ-16<br>黒褐色混礫土層 |
| | 12 | | | 底 | － | － | 4.4 | | 17c前 | 見込み、畳付けに積み重ねの砂目痕が残る。高台内面が凸状になり、素地は灰白色で全面に透明釉が施されるが、釉が還元したため発色が黒ずんでいる。 | た-14<br>暗褐色土層 40～50 |
| | 13 | | | 底 | － | － | 4.2 | 九州産 | 17c～18c前 | 素地は乳白色、畳付け以外全面に灰釉を施す。 | せ-16<br>黒褐色混礫土層 |
| | 14 | | | 底 | － | － | 8.6 | 肥前 | 17c中～後半 | 見込みに刷毛目装飾を施す二彩手の可能性のある大振りの皿である。高台の造りは粗雑で、底部から高台にかけては無釉、淡桃褐色の素地が露呈する。焼成の際に積み重ねるための砂胎溜だんご重ねの痕が見込み部分に7個、畳付けにも一部分残る。 | つ-14<br>瓦礫層 |
| | 15 | | | 口～底 | 23.6 | 5.2 | 11.5 | 九州産? | 江戸時代 | 素地は橙褐色と淡褐色が層状にみられ、全面施釉されるが暗褐色と黄白色の掛け分けになる。 | さ-17<br>岩盤凹地内埋土 0～80 |
| | 16 | | | 口 | 28.2 | － | － | 肥前 | 17c後半～18c前半 | 素地は赤褐色、底部を除く全面に灰釉を施釉し、見込みは釉薬のただれがみられる。高台部分が角張ると18世紀前半に時代が絞られる。 | す-18<br>地山直上 |
| | 17 | | 小碗 | 口～底 | 8 | 4.05 | 2.5 | 関西系 | 18c | 絵付けの色は剥げ落ちている。素地は灰白色で、白化粧を施し透明釉を掛けている。 | す-18 遺物礫集中部<br>黒色土層 20～40 |
| | 18 | | 碗 | 口 | 11.6 | | | 関西系 | 17c | 器内外面に灰釉を施す。素地は灰色。胴部が丸味を帯びた器形である。 | せ-15・16 岩盤にへばりついた黒色土層 |
| | 19 | | | 口 | 10.9 | － | － | | 18c～19c | 素地は乳白色、外面に草（笹？）が鉄絵で描かれ透明釉を施す。 | つ-11<br>黒色土層 20～30 |
| | 20 | | 皿 | 底 | － | － | 3.8 | 関西系 | 18c? | 色絵。素地は灰白色、畳付け以外全面に透明釉、見込みに赤色の絵付けが部分的に残り、草花類が描かれていたとみられる。 | す-18<br>地山直上 130レベル以下 |
| | 21 | | | 底 | － | － | － | 瀬戸<br>美濃系? | 18c～19c | 色絵。素地は白色、透明釉を掛け見込みに黒の線描きと緑色の絵付けがされる。草花類、葉の図柄になるものとみられる。 | せ・そ-17<br>遺構57 |
| | 22 | | 鉢 | 底 | － | － | 5.8 | 関西系 | 18c後～19c | 素地は青紫がかった灰色で、外面底部から高台を除いては灰釉を施し、見込みに陰刻のような部分がみられる。 | と-11<br>南側畦 |
| | 23 | | 土瓶 | 底 | － | － | 6.5 | 関西系 | 18c後～19c | 素地は灰白色、見込みに白化粧の上灰釉を掛ける。外底面には煤がつく。 | ち-13<br>黒褐色礫混り層 |
| 第50図・図版33 | 24 | 施釉 | 急須 | 口～底 | 6.8 | 7 | 6.4 | 関西系 | 19c後半～近代 | 素地は橙色を呈し、器壁は薄い。柿釉を施し低下度で焼かれたものである。 | て-12<br>遺物集中部 |
| | 25 | | 壺 | 口 | 15.2 | － | － | 関西系? | 19c | 素地は灰白色、外面と内面の口縁部に黄褐色釉を掛ける。 | ち-13<br>黒褐色礫混り層 0～10 |
| | 26 | | | 口～底 | 10.4 | 17.1 | 9.3 | 関西系 | 19c～近代 | 塩壺などに使われる壺。対になる蓋も出土している。素地は肌色、内外面とも灰釉を施す。 | と-12遺物集中部西側畦+ち-14岩盤付近遺物集中部 |
| | 27 | | 蓋 | 口～底 | 16.2 | 4.1 | 4.4 | 関西系? | 近代? | 鍋類の蓋と思われる。素地は乳白色で灰釉が施される。 | て-13<br>遺物集中部 |
| | 28 | | 鍋 | ? | 11.8 | － | － | 関西系 | 19c以降 | 行平鍋。素地は乳白色。口唇部分は無釉でほか全面、黄色がかった透明釉が施釉される。 | と-12<br>遺物集中部 0～20 |
| | 29 | | 香炉 | 口 | 10 | － | － | 関西系 | 19c～近代 | 線香立て。素地は灰色。白化粧をした上に透明釉を掛けるが貫入が景色になっている。 | と-12<br>遺物集中部 0～20 |
| | 30 | | 急須 | 口～底 | 6.4 | 7.8 | 5.8 | 薩摩<br>龍門司焼 | 18c後～近代 | 器壁は薄く、器外面は鮫肌釉を施し、素地は暗茶褐色。 | た-13黒色土層+<br>す・せ-13遺構41 |
| | 31 | | 土瓶 | 口 | － | － | － | 薩摩 | 19c | 白薩摩で、チョカと呼ばれる酒入れ用の土瓶。素地は白色で透明釉を施す。 | し-17墓口?前面黒色混礫土層崖部+つ-13・14岩盤付近遺構集中部 |
| | 32 | | | 耳 | － | － | － | 薩摩? | 18c後～19c | 白薩摩の可能性。素地は白色、釉は青味を帯びた透明釉。 | せ-17<br>黒色土層 0～30 |
| | 33 | | | 底 | － | － | 5.8 | | 18c～19c | 素地は紫泥色、底面を除いて外面と見込み一部に透明に近い灰釉が掛かり、光沢を帯びた発色になっている。 | と-12<br>遺物集中部 西側畦 |
| | 34 | | 瓶 | 口～底 | － | － | 7.4 | 薩摩 | 18c中～近代 | 緑褐色の鮫肌釉の瓶。内部にも灰釉が掛かるが、素地は黒灰色に底面は淡褐色。 | と-13 |
| | 35 | | | 口 | 6.4 | － | － | 薩摩? | 18c後～19c | 素地は白色、外面に透明釉を掛け、胴部に耳が付く。 | と-11<br>黒色土層 |
| | 36 | | 香炉 | 口～底 | 13.8 | 8 | 11 | 薩摩? | 19c | 線香立て。白薩摩。素地は白色。外面と内面・口縁部は透明釉を掛ける。見込みには灰が付着している。 | ち-13<br>黒褐色礫混り層 |
| 第51図・図版34 | 1 | 素焼 | 袋物 | 胴 | － | － | － | 関西系 | 近代 | 外面に墨書、沈線、直径約3mmの孔がみられる。素地は肌色で外面は無釉である。 | て-11<br>遺物集中部 0～20 |
| | 2 | | 型物 | 胴 | － | － | － | 関西系 | 近代 | 仮面の目と鼻の部分。素地は肌色で僅かに黒色の微粒子が含まれる。外面は無釉で、内面全面に布目痕がある。 | て-12<br>遺物集中部 0～20 |
| | 3 | | | 胴～底 | － | － | 2.8 | 不明 | 近代～現代 | 振り袖の着物を付けた人形で、全体的に色落ちしているが、帯は藍色で着物は黄色系の彩色を施す。素地は灰白色。型作りで中は空洞。 | と-12<br>遺物集中部 |

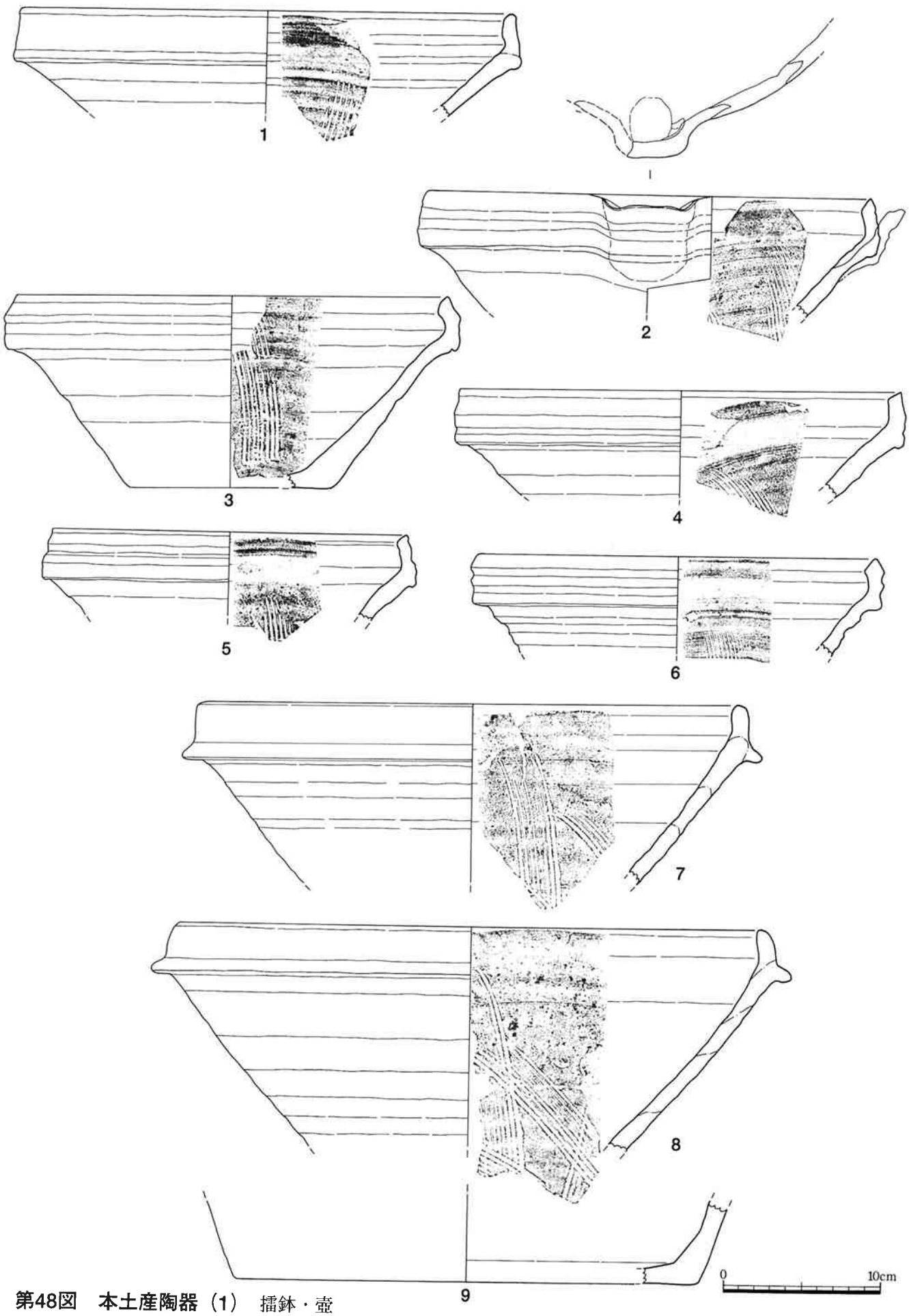
## 第22表　本土産陶器観察一覧(2)

単位：cm

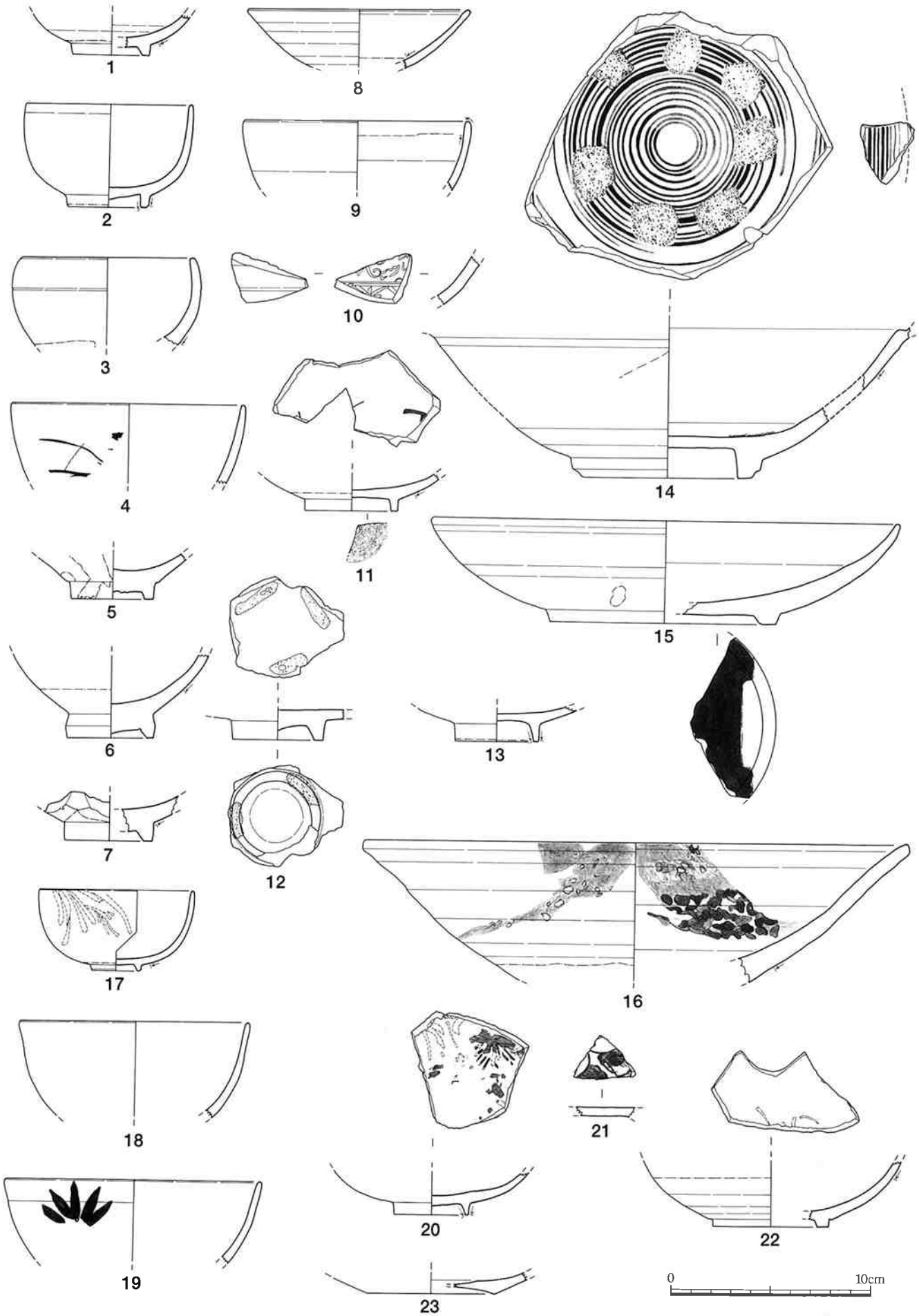
| 図 | 番号 | 分類 | 器種 | 部位 | 口径 | 器高 | 底径 | 生産地 | 時代 | 観察事項 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第51図・図版34 | 4 | 焼締 | 型物 | 胴 | － | － | － | 不明 | 近代～昭和? | 壺・鉢などの胴部に、大黒天を型押ししたもの。素地は赤褐色で、白色の微砂粒が含まれる。外面には暗茶褐色の釉が施される。 | し-18<br>地山直上 黒色土層 |
| | 5 | | 土管? | 口 | 23.2 | － | － | 不明 | 近代～現代 | 土管類で、内面に約3mm幅の凸凹が刻まれ、部分的にセメントが付着している。素地は赤褐色で黒色の微砂粒が含まれる。 | と-12<br>遺物集中部 |
| | 6 | | 擂鉢 | 口～底 | 29.2 | － | － | 薩摩 | 17c前 | 器全面に灰釉を施すが、口唇部内面上端は釉剥ぎされ素地の桃褐色を呈する。素地は内側が桃褐色、外側が青灰褐色、口縁部の器壁の厚い部分は中央が灰色である。粗粒の砂が混入し、器壁は胴部で約5mmと薄い。櫛がきは4本単位で放射状で、櫛と櫛の間隔は上位で測ると約5mm程度である。 | ち-13<br>石垣裏込め内 |
| | 7 | | | 底 | － | － | － | | 17c前 | 擂鉢の底面。櫛目は5本で交差するように入っている。素地は黒褐色で砂粒が多く混入する。 | せ-17<br>礫集中部 90レベル |
| | 8 | | | 口 | 38 | － | － | | 17c | 素地は橙褐色だが、器表面は暗褐色を呈する。粗粒の砂が多く混入し、器壁は約7mmで厚みがある。櫛は3本と6本を交互に交差するように入る。 | せ-17<br>黒色土層 |
| | 9 | | 鉢 | 口 | 23.2 | － | － | | 不明 | 花鉢。全面に灰釉が掛けられ、オリーブ黒褐色を呈するが、口縁上面は釉剥ぎされ桃褐色である。口縁部縁は波状突帯に装飾され、胴部には波文の沈線が施される。 | て-12<br>遺物集中部 |
| | 10 | | | 口 | 29.7 | － | － | | 不明 | 花鉢。胴部に蔓草の貼付文が付けられる。外面と内面上部まで茶褐色の釉が掛かり、素地は橙褐色で白色や黒色の微砂粒が多く混入される。 | さ-17・18 敷石イコウ<br>黒色混礫土層 |
| | 11 | | | 口 | － | － | － | 九州産? | 18c～19c | 器内面と口縁部上面を除いた外面に、暗茶褐色の釉を施す。素地は桃褐色で黒色と白色の粗砂粒を多く混入する。 | 16トレンチ東側岩上<br>黒色土層 0～10 |
| | 12 | | | 口 | 30.8 | － | － | 薩摩? | 17c | 素地は内側が暗茶褐色で外側が橙褐色、器外面は暗褐色を呈する。白色の砂粒が多く混入する。 | た-13<br>遺構161 |
| | 13 | | 鉢? | 胴 | － | － | － | | 不明 | 胴部に二条の突帯を巡らせる。外面は暗褐色、内面は灰色。素地は赤褐色で砂粒や黒色鉱物が混入する。 | た-13<br>黒色土層 40～50 |
| | 14 | | | 胴 | － | － | － | | 不明 | 胴部外面に凸帯と縄状の貼付文を施す。内・外面にオリーブ黒褐色を掛ける。素地ははにぶい赤褐色で砂が多く混入される。 | 15トレンチ東側岩上<br>黒色土層最上部 |
| | 15 | | 壺 | 胴 | － | － | － | | 不明 | 胴部に凸帯を巡らす。器壁は約3mmと薄い。内外面に灰釉を施すが、外面は雑に掛けられている。素地は灰色で微量の砂粒が含まれる。 | せ・そ-13<br>遺構57 |
| | 16 | | | 口・胴 | 14.6 | － | － | | 不明 | 外面・内面ともに灰釉を施す。素地は赤褐色、白色の砂粒を多く混入する。胴部の器壁は約5mmと薄い。 | て-12<br>遺物集中部 岩盤直上 |
| | 17 | | | 底 | － | － | 8.7 | | 不明 | 内外面ともにオリーブ黒褐色の釉が掛かり、素地は灰褐色で微砂粒が含まれる。胴部は薄く作られる。 | さ-17・18 崖部 溝状遺構 黒色混礫土層 |
| | 18 | | | 底 | － | － | 19.6 | 薩摩 | 17c | 外面は橙色、内面は暗褐色。内外面の多面釉（？灰釉？）を掛けた部分は灰黄色を呈する。内面にはタタキ成形の痕が残る。 | し-17 岩盤凹地内 中層<br>瓦集中部 |
| | 19 | | | 底 | － | － | 14.5 | 薩摩? | 不明 | 外面は暗褐色、内面には自然釉が掛かっている。素地は灰色で砂粒や赤褐色の鉱物が含まれる。 | た-14<br>黒色土層 20～40 |
| | 20 | | | 底 | － | － | 12.5 | | 不明 | 器内外面とも褐釉が掛かる。素地は内側が桃褐色、外側は黒褐色で粗い砂粒が多く含まれる。 | と-12<br>遺物集中部 |
| | 21 | | | 底 | － | － | 21.5 | | 不明 | 外面に横方向に刷毛目が入る。器両面に灰釉が掛かり、素地は橙色で砂粒が多く含まれる。 | せ-17<br>黒色土層 |
| | 22 | | 瓶 | 頸 | － | － | | 薩摩? | 17cか18c | 口縁が外反する瓶類の頸部と思われる。外面はオリーブ黒褐色の釉が掛かる。素地は灰色で、粗砂粒を多く混入する。 | せ-16<br>地山直上 |
| | 23 | | 蓋 | 口～底 | 15.5 | 2.3 | 19.2 | 薩摩? | 不明 | 蓋上面のみオリーブ黒褐色の釉が施される。素地は赤褐色で、砂粒を多く含んでいる。 | た-13<br>黒色土層 40～50 |

## 第23表　本土産陶器出土状況

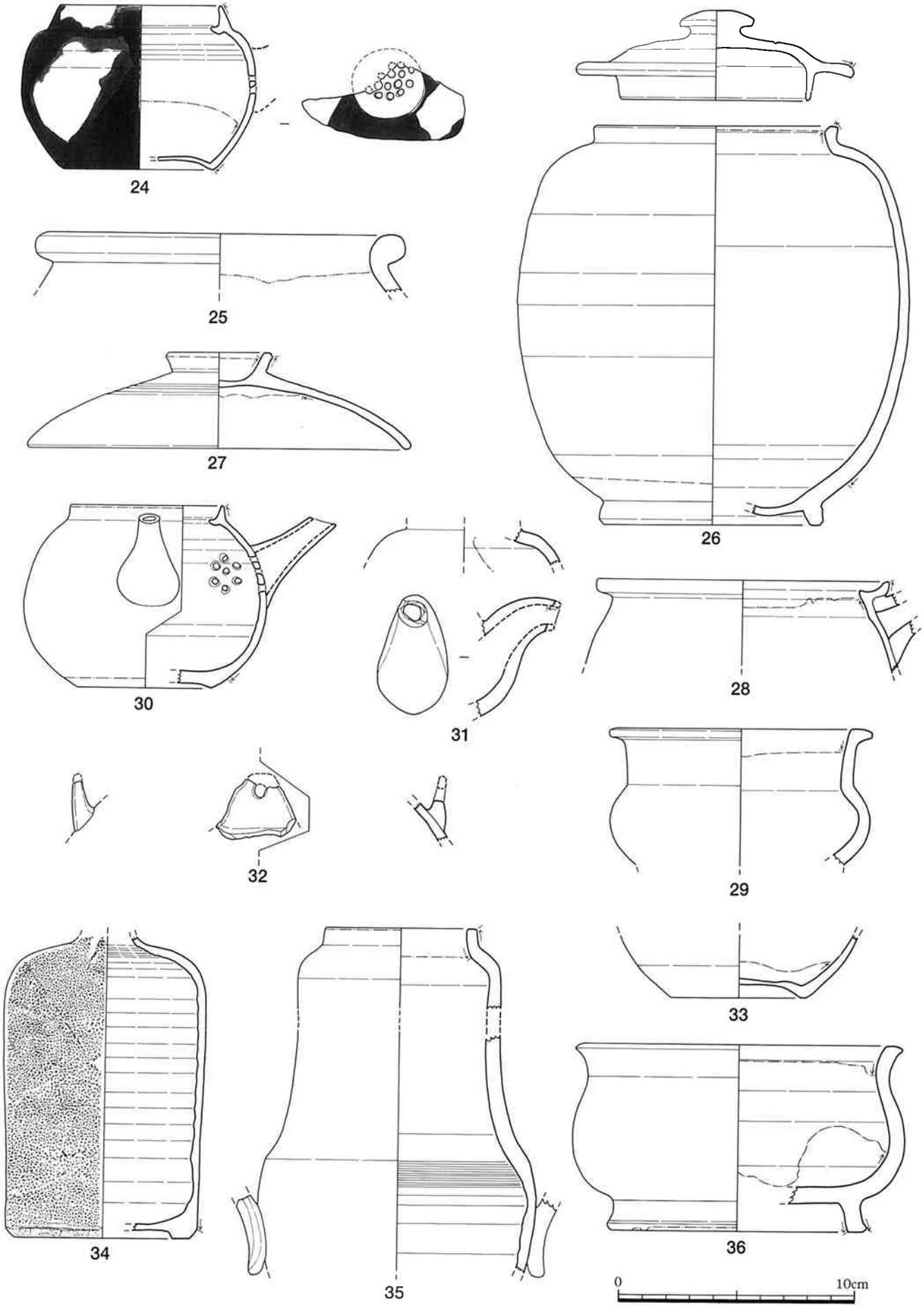
| 産地・器種 ＼ 出土地 | | | トレンチ | 黒色土層 | 地山直上 | 遺構 | さ・し-17・18 崖部直下黒色 | 混礫土層 | 黒色混礫土層 崖部溝状遺構 | 岩盤凹地内上層 | 黒色混礫上層 | せ-15・16・17 岩盤にへばりついた黒色土層 | 黒色混礫土層 | 炭層上層 | 黒褐色混礫土 | 地山直上 | せ-17 地山直上 | 黒褐色混礫土層 | 礫集中部 | 東西畦黒色土層2階混 | 黒色土層 | そ-13・14 石垣前面横の黒色土列層 | そ-17 黒色混礫土層 | た・ち-12・13 地山直上 | 層 | 黒褐色混礫土 | 石垣裏込め内 | つ-13・14 岩盤付近遺構集中部 | 炭層 | 瓦礫層 | て・と-10・11・12 黒色土層 | 南側畦 | 地山直上 | 遺物集中部 | 不明 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施釉 | 九州 | 小碗 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | 碗 | | 1 | | 1 | | | 1 | | | | | | 1 | | | | | 1 | | | | | | | | | 1 | | | | | | 1 |
| | | 皿 | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 5 |
| | | 瓶 | 1 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | 3 |
| | | 鉢 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | 2 |
| | | 鍋 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | 香炉 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | 急須 | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 2 |
| | | 土瓶 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | 1 | | | 2 |
| | 肥前 | 小碗 | | | | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | 1 |
| | | 碗 | | 1 | | 1 | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | 2 |
| | | 皿 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 7 |
| | 関西 | 小碗 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | 碗 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | 皿 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | 壺 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 3 |
| | | 鉢 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | 1 |
| | | 香炉 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 | | | 1 |
| | | 急須 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | 土瓶 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 1 |
| | 不明 | 小碗 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | 碗 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| | | 皿 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 2 |
| | | 鉢 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | 急須 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 不明 | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | 2 | 3 |
| | 小計 | | 1 | 4 | 2 | 8 | 1 | 2 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 3 | 1 | 1 | 0 | 3 | 0 | 1 | 1 | 2 | 2 | 3 | 0 | 5 | 3 | 50 |
| 焼締 | 備前 | 擂鉢 | | 6 | | 15 | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | 1 | 1 | | | | 1 | | 1 | | | 39 | 65 |
| | 薩摩 | 皿 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | 壺 | 1 | 3 | | | | 1 | | | 1 | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 1 | | | | 2 | | 4 | 14 |
| | | 鉢 | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | 1 | | | | | 1 | | | | | | | | | 2 | 6 |
| | | 擂鉢 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 |
| | 不明 | 蓋 | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 |
| | | 鉢 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | 擂鉢 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 不明 | | | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | 4 | 8 |
| | 小計 | | 1 | 12 | 0 | 16 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 | 3 | 0 | 0 | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 3 | 50 | 99 |



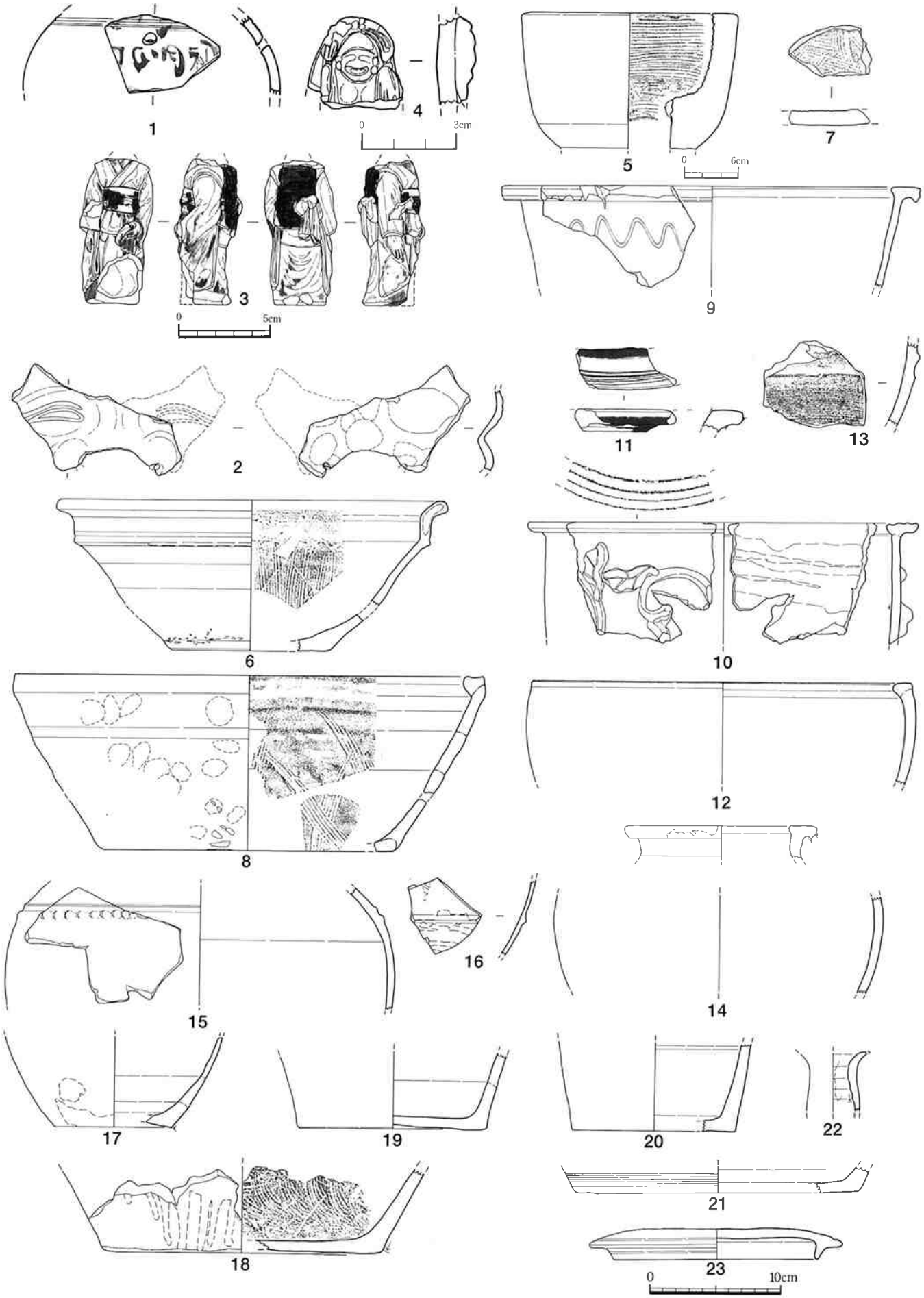

**第48図　本土産陶器（1）** 擂鉢・壺




**第49図　本土産陶器（2）**　小碗・碗・皿・鉢・土瓶




**第50図　本土産陶器（3）**　急須・壺・鍋・香炉・土瓶・瓶




**第51図　本土産陶器（4）**　袋物・型物・擂鉢・鉢・壺・瓶・蓋

## 第18節　沖縄産施釉陶器

沖縄産施釉陶器は碗・小碗・小杯・皿・鉢・鍋・壺・急須・酒器・水滴・蓋・瓶・灯明具・火取・香炉・施釉の方法によってⅠ類ー白化粧を施してないもの（灰釉：a、鉄釉：b、黒釉：c）Ⅱ類ーカケワケは外面の釉色（鉄釉：a、黒釉：b、他の釉：c）、さらに内面（白化粧無し：イ、白化粧有り：ロ）、Ⅲ類ー白化粧を全体に施したもの（呉須：a、線彫り：b、コバルトあるいは緑釉：c）、Ⅳ類ーその他に大きく分類し、さらに各器種の口縁部・底部の形態で細分した。

**・碗**

Ⅰ類は直口口縁（B）は①腰部の張らない（1·4·6·13）と②張るもの（2·5·12）があり、釉は透明釉（灰色）、鉄釉、黒釉を施し、フィガキーになる。中には鉄釉で文様を描き（8）、内底に鉄釉（3）・透明釉（9）で丸文などがある。また、鉄絵を施すものはすー15遺構57から出土している。

14·16·17は黒釉を腰部近くまで掛け、内底の残りに同釉で丸文をいれる。いずれも畳付けにアルミナを施す。内底を蛇の目釉剥ぎするものがあり、その内（15·18）は鉄釉のものは後者より小振りで、外底にアルミナを施す。

Ⅱ類は玉縁口縁（21）で白化粧はなく、内面に鉄釉で加飾する。20は内面に白化粧を施す。

Ⅲ類は外反口縁（A）、直口口縁（B）、玉縁口縁（C）に大きく分けられる。無文は23は小振りで外反、21は口が若干窄まる。22は玉縁の口など若干の器形のバリエーションがある。外反口縁（A）呉須で草花文（24～30）を施し、27は内面無文、26·28·29は内面の上下に文様、25は口縁と見込みに文様を施す。30は成形も丁寧で、文様もタッチも薄く、本土産か中国産の焼き物の可能性もある。呉須で丸文（36～39）で36は内唇にもみられる。文様は若干異なる。イッチン技法[註1]（41～43）で小振りと若干、形に差がみられ、すべてⅢ類である。
40は沈線で丸の「弓」を組み合わせ文様を彫り、さらに緑釉施文する。遺構74から出土し、この加飾法の上限を示すものと思われる。鉄絵で圏線を施したものがせー18石敷遺構直上から出土。
直口口縁（B）第53図31～35は小振りの碗で呉須と二彩（35）の加飾がある。31は呉須で内外面に文様が施される。

**・筒碗**

いわゆる蓋物の碗で45～47で三島手（45）と呉須絵付け（46）がある。47は当初、ここに分類したが、胎土、釉などを観察すると本土産磁器の可能性がある。器形・施釉の具合・文様構図などは46と酷似する。第52図7は腰が丸く、筒碗に近いが、内面の無釉を考え合わせると瓶の可能性も否定できない。

**・小碗**

口縁の形態で外反口縁（A）と直口口縁（B）玉縁口縁（C）に分けられ、釉の掛かり具合で蛇の目の有・無、白化粧有・無等に細分できる。

Ⅰ類は直口口縁で蛇の目釉剥ぎ（11）、黒釉で総釉（第54図1）である、第54図2·3は灰釉で青磁の可能性も捨てきれない。

Ⅱ類は外面は鉄釉（a）と黒釉（b）、緑釉（c）があり、内面を白化粧しないもの（イ）（6·8）とするもの（ロ）（7·9）がある。

Ⅲ類は無文は蛇の目釉剥ぎをするもの（12）と総釉（12）がある。加飾は①外面に飴釉で薄く、圏線を施す、②呉須は内底のみ（17）、全面に施釉（18）する、③イッチン技法[註1]による加飾は単色（20）と二彩（19）、④面取りはⅠ3ー14は小振りで外反が緩く、総釉で外面の面取りも二段になる。⑤無文がある。また。Ⅱ・Ⅲ類の中には外底に施釉し、畳付けにアルミナを施し、更に削り調整するものもみられる。

**・小杯**

第54図23はⅠ類でサイズは染付の杯に酷似。第54図22はⅢ類で呉須で「幸」「地」の銘。

**・皿**（第55·58図）

皿は大（口径20cm前後）・中（口径12～15cm前後）・小（口径10cm前後）がある。口縁は外反口縁、直口口縁、内湾口縁があり、さらに施釉の具合、加飾により細分できる。

小は灯明皿と思われるもの（1·2·3）同図2は黒釉で外底に炭の痕、同図3は外面は無釉、内面に施釉がある。同図10は内彎口縁で、器高の比率からすると小鉢とも捉えられる。直口口縁（9）輪花（4·18）、同図4はカケワケで蛇の目があり、白化粧はない。文様は呉須で輪花状（18）鋸歯状（16）、半菊花文（15）がある。15は呉須で文様を施した後に釉を剥ぎ取っている。同図12は赤絵で、畳付けは打割する。

中は直口口縁（5·6）、外反口縁（12·15·16·20）、輪花（19）、5はフィガキーである。呉須の文様（19·20）。

大は外反口縁（14）、逆「L」字状（13）。内彎口縁（21）、イッチン技法[註1]による丸文はフィガキー（13）、線彫りに二彩（23）、五彩（28）、呉須で文様を施す（17·21）し、14は無文。内彎口縁（第58図25）に内面に鉄釉で草花文がある。11は資料整理の段階で沖縄産施釉陶器の皿としたが、入校後、青磁の盤と判明した。

**・鉢**（第56～58図）

小・深・浅鉢があり、口縁の形態で内彎口縁（A）、肥厚口縁（B）は口唇が玉縁、三角形になる。逆「L」字状（C）、外反口縁（D）は①　②口唇部は上に尖り、③波状口縁がある。この器種はⅡ類のカケワケが多く、Ⅰ類のフィガキーのものは少ない。

小鉢（第56図）は31は輪花のカケワケで口唇に段を入れ、胴部は面取りする。25·26は同1タイプで外反して上がる。文様は内面全面に呉須で区画して草文を施し、26はさらに、内底に三つ巴文を施す。

深鉢は内湾口縁（A）はいわゆる「ワンブー」といわれているもの（第58図29）。肥厚口縁（B）は口唇で丸く膨らみ、鉄釉で丸文（第57図7·8）、口縁部が外に張り出すように肥厚するもの（第58図19）、内面はイッチン技法[註1]による丸文（第57図9）。断面が三角形に肥厚（第57図13）、内外面に鉄釉で文様、フィガキーになるが高台に鉄釉を施す。逆「L」字の口縁（C）で、口唇の幅が①1㎝前後のもの（第56図27·第57図2·4·5·11·12）、また、口唇の角度が下降（第58図22·23）、水平のもの（第58図27）。薄手で小振りなもの（第57図16·第58図24）、口唇部が無釉になるもの（第58図27）、口径が27.7㎝とかなり大きい（第58図28）ものがある。胴部でカケワケの内面に草花文を施したもの（第58図17）、外反口縁（D）は①フィガキー（第57図3）、白化粧無（第57図10）、緑釉のカケワケ（第58図18）、口唇が三角形に膨らむ（第57図9）。③波状口縁（第57図15）④は輪花（第57図16）内面にイッチン技法[註1]で波状文を描く。底部はフィガキーで、鉄釉に文様を白釉で施し、高台は高く、畳付けに砂粒が付着する（第57図1）。第57図2は内底を大きく釉剥ぎし、文様状にもとれ、外底は腰部まで施釉し、畳付けに砂粒が付着している。

浅鉢は第58図20である。

**・鍋**（第59図）

小は口径が15㎝前後で胴部があまり張らない（第59図1·2）、張りが強い（12）もの、口唇を釉剥ぎしない（4）ものがある。

中は口径が20㎝弱で同図5は浅い。大は口径が20～30㎝前後、三島手（6）、浅い（7）。9～11は底部であるがサイズは不明で、丸底（9）、若干角になる（10）、明瞭な角（11）がある。9が底部としては一般的である。

**・壺**（第59図）

小は胴部が張るもの（同図13）、ナデ肩（第61図41）、中は口が締まり、胴部が張り（同図14）、また、同図15は口が広く、あまり胴は張らない。16は口縁断面がカマボコ状を呈し、大は口径24.8㎝、底径も15㎝（同図17）とかなり大きい。同図18は底部は厚く、腰部の削りが明瞭、釉が灰色を呈し、沖縄産施釉陶器以外の焼き物の可能性もある。主に中が多く、て·と－12·13遺物集中部から多く出土している。

大は数点のみである。

**・急須**

大・中・小のサイズがあり、さらに側面形により、丸、筒、瓢箪型に分けられる。

小は丸型には1の楕円（a）12は二彩、14は呉須に上絵で草花文、2は正円（b）があり、三島手（4·5）、線彫りと二彩の組み合わせ（10）、16は五彩、9は筒型で三島手、瓢箪型5は肩部は丸味、6は若干、肩部は角になる。3は二彩である。

中は丸型11は線彫りと呉須の組み合わせ、把手は緑釉、注口は3つの孔になる。15は呉須。鍔型17はこのタイプの出土はなく、胎土も若干他のものと異なることから本土産陶器かもしれない。

大（第61図18）は「アンビン」といわれているもので主に黒釉が多い。

急須の把手：大・中・小と断面で分類できる。大で弧状の断面第61図19·20、中は第61図23は断面は弧状で二彩、長方形第61図21、断面がカマボコ状で両端に溝を施し加飾する（第61図24）。第61図25は胴部部に装着したものである。当初、把手としたが、把手のカーブと胴部部の関係をみると別の用途の可能性もある。小（第61図22）は断面弧状になる。

**・片口注口**

第61図26は片口注口。類例は器厚は8.5㎜と厚い。

**・水注**

第61図28は注口を境に左右に葉文、上下に節を象った竹筒状の水注で、中国の17～19世紀のものではないかとのこと

・酒器

俗に「カラカラ」と呼ばれるもので、胴部の形が肩に丸味をもつタイプ（A）、角になるタイプ（B）がある。前者は緑釉（第61図29）、三島手（第61図30）、二彩（第61図33）。後者は線彫り（第61図32）がある。第61図31は口縁部で朝顔状に外反し、口唇は尖る。呉須の具合から32と同一個体と思われる。

・角瓶

第61図35は方形で内面に布目痕がみられ、角瓶の可能性が考えられる。

・水滴

胴部が丸になる（37·38·39）もの、筒状なるもの（40）、ソロバン玉状になるものがある。注口がないものは「フチュクルビン」の可能性がある。

・蓋

撮みの形で高台タイプ（A）、撮みタイプ（B）、撮みなし（C）に分け、さらにBは撮みの形でイ：丸、ロ：リボン、さらに、器種で①：鍋、②：壺（アンダガーミ）、③：急須、④：筒碗に細分した。

A：第62図8は大振りで、第62図1·6は高台にアルミナ、第62図4、7は口唇部にアルミナ、第62図6は内面にも白化粧を施す。第62図11·12は小振りの蓋である。口縁は玉縁（第62図1·5·6）、口折れ（第62図2）

壺の蓋（26·27）は厚手で、胴部を釉剥ぎし、白化粧して加飾する。鍋の蓋（第62図4）は薄い。

B：撮みタイプは壺（②）急須（③）、筒碗（④）がある。②は径11.1cmと大きく、黒釉である。③はサイズは5.1cm～9.1cmのサイズがあり、加飾も単色（黒釉、呉須）と線彫りに彩色がみられる。第62図20は脚がなくベタ底である。④筒碗の蓋21·22·23は胴部が膨らむ。21を薄手で呉須の釉の具合から染付の可能性も否定できない。

C：1例（第62図24）で壺の蓋。

・瓶

口縁が直口口縁、朝顔状に外反し、底部は高台、上げ底、脚台は低い、高いもの、頸が短頸、長頸になるものがある。1·2は短頸で口唇は若干厚く、5·9は長頸で直口口縁になり、胴部はあまり膨らまず、加飾は呉須と線彫りを組み合わせである。4は口縁部が朝顔状に開き、6は口縁を一周り大きくし、口唇の周りに呉須を施す。7は長頸で頸部が竹節状の凹凸をなし、3は胴部は茄子形に膨らむ。底部は8·14·15·16·17は低い脚をもつもので胴部はなすび形になり、長頸の双耳は花瓶とするものである。18は器高が若干低く、脚は高い。19は素地が灰色で釉は貫入がみられ、口径及び形状から本土産陶器の可能性も考えられる。嘉瓶は第63図20の頸部と21の肩部が出土した。

・灯明具（第63図）

口縁部は内彎口縁と直口口縁、底部は糸切り、脚台タイプがあり、前者は同図22は透明釉で底部は熔着痕あり、23は黒釉、24は呉須で仕上げ、口縁は直口口縁である。後者は25で、26は脚が一回り大きく、透かし彫りである。27も透かし彫りで器高は低い。破片は黒釉と白釉がみられ、他に緑釉もみられる。

・火取

内彎口縁（A）と直口口縁（B）に分けられる。前者はトビガンナと黒釉を斑（まだら）に掛けたもの（図なし）、後者は黒釉に横位に数条の沈線を施したもの（第64図4～8）、呉須で横線（第64図11·12）山水文（第64図10）は染付か肥前を真似たものか。三島手（第64図9）でせ·そ－13遺構57から出土。

・香炉

第54図24は逆「L」字状の口縁で白化粧に緑釉を掛けているが、他に黒釉・白釉のものがみられる。

・火炉

内彎口縁（A）と筒状（B）、口唇が窄み、胴下部で「く」字状に折れる（C）、壺形（D）がある。

Aは①内彎の強い、②は内彎が弱いものがあり、①は径25.2cmと大きく、獣面の双耳がある（第64図19）ものと口径が14.4cmと小さいもの（第64図20）。②は口径が20cmで厚手（第64図22）である。Bは口縁を抉り、3個の内部突起と底部は真っ直ぐに立ち上がるもので黒釉（第64図14·15·17）、鉄釉（第64図16）、三彩（第64図18）があり、後者は径も13.8cmと小さい。Cは胴上部が三島手を施し、胴下部は飴釉（第64図24）で最大胴径19cmと大振りである。Dも（第64図25）三島手を施す。C・Dは上等品か。（第64図22）は同図19·22の底部の可能性が考えられるが、他に24も考えられる。

## 第24表　沖縄産施釉陶器観察一覧(1)

単位：cm

| 図 | 番号 | 器種 | 小分類 | 部位 | 口径 | 器高 | 底径 | 観察事項 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第52図・図版35 | 1 | 碗 | Ⅰa－B ① | 口～底 | 12.5 | 6.3 | 6.4 | **形態**：口唇直口で舌状に細くなる、高台一逆台形。**文様**：無文。**釉色**：透明釉（灰色）。**施釉**：フィガキー。**素地**：暗灰色。 | す-18遺物石礫集中黒色土層20～40 |
| | 2 | | Ⅰa－B ② | 口～底 | 12.5 | 5.9 | 6.1 | **形態**：直口口縁、器高は低い。**文様**：無文。**釉色**：透明釉。**施釉**：フィガキー、畳付けに砂目。**素地**：灰色。 | せ-14 地山直上 |
| | 3 | | Ⅰa－B ① | 底 | － | － | 6.6 | **形態**：高台逆台形。**文様**：内底に鉄釉で丸文。**釉色**：透明釉。**施釉**：フィガキー**素地**：乳褐色。 | と-12 遺物集中部 |
| | 4 | | | 口～底 | 12.8 | 5.7 | 5.9 | **形態**：直口口縁、底部はストレート、高台は角、逆台形状。**文様**：無文。**釉色**：透明釉。**施釉**：内底に砂付着。**素地**：灰色。 | す-18遺物礫集中黒色土層20～40 |
| | 5 | | Ⅰc－B ② | 口～底 | 14 | 5.6 | 6.4 | **形態**：直口口縁、舌状、底部は張り、角になる。**文様**：無文。**釉色**：飴釉。**施釉**：フィガキー。**素地**：茶褐色、焼成よい。 | す-15・16岩盤にへばりついた黒色土層 |
| | 6 | | | | 14 | 6.6 | 6.4 | **形態**：直口口縁、腰は微妙に張り、高台はやや摩滅、やや厚手。**文様**：無文。**釉色**：飴釉。**施釉**：フィガキー。**素地**：橙褐色。 | し-17岩盤凹地黒色混礫土層20～70 |
| | 7 | | Ⅰa－A | 底 | － | － | 5.6 | **形態**：腰部は丸味。**文様**：腰部に二条の圏線。**釉色**：透明釉。**施釉**：フィガキー、砂目。**素地**：灰色、焼成良好。 | 16トレンチ東側岩上黒色土層0～10 |
| | 8 | | Ⅰa－B | 口 | 12.8 | － | － | **形態**：直口口縁。**文様**：鉄絵で筆書き。**釉色**：透明釉。**施釉**：フィガキー。**素地**：灰色。 | せ・そ-13 遺構57 |
| | 9 | | Ⅰa－B ② | 底 | － | － | 7.2 | **形態**：腰が張る、高台丸味、逆台形状、器高低い。**文様**：鉄絵が確認できる、内底に灰釉で丸文。**釉色**：透明釉。**施釉**：フィガキー、内底に砂が若干付着。**素地**：灰褐色。 | た-14 茶褐色礫土層 |
| | 10 | | Ⅰa－B | 口 | 10 | － | － | **形態**：直口口縁。**文様**：外面に鉄釉で葉草文で釉厚がある、内面は口唇近くに幅2㎜の圏線を描く。**釉色**：透明釉。**施釉**：フィガキー。**素地**：灰～褐色。 | せ-16旧階段下の石垣北側横地山直上 |
| | 11 | | Ⅰa－A | 口 | 14 | － | － | **形態**：外反口縁。**文様**：草文。**釉色**：透明釉。**施釉**：内外面施釉、貫入有り。**素地**：乳褐色。 | せ-16 黒褐色混礫土層 |
| | 12 | | Ⅰb－B ② | 口～底 | 13.9 | 6.5 | 6.2 | **形態**：直口口縁、腰部は若干張る、高台は逆台形。**文様**：無文。**釉色**：鉄釉。**施釉**：フィガキー、底部近くまで施釉。**素地**：灰褐色、轆轤痕明瞭。 | す-15 地山直上 |
| | 13 | | Ⅰa－B ① | 口～底 | 13.4 | 6.3 | 6.4 | **形態**：直口口縁。**文様**：無文。**釉色**：透明釉。**施釉**：フィガキー。**素地**：乳褐色、緻密。 | せ・そ-13 遺構57 |
| | 14 | | Ⅰc－C | 底 | 13.6 | 6.3 | 6.4 | **形態**：玉縁口縁。腰一丸味。高台方柱状。**文様**：内底に鉄釉で丸文。**釉色**：黒釉。**施釉**：フィガキー。**素地**：乳色、薄手。 | す-18 黒色土層 |
| | 15 | | Ⅰb－B ② | 口～底 | 11 | 5.9 | 4.5 | **形態**：直口口縁、小振り、腰部は削り。**文様**：無文。**釉色**：鉄釉。**施釉**：外面一～高台脇まで、畳付けアルミナ。内面一蛇の目釉剥ぎ。**素地**：灰褐色。 | す-18 黒色土層20～40 |
| | 16 | | Ⅰc－B ② | 口～底 | 13.2 | 6.4 | 6.5 | **形態**：僅かに外反、腰部は丸い、高台方柱状。**文様**：内底一鉄釉で丸文。**釉色**：黒釉。**施釉**：外面一～腰部まで、畳付けアルミナ、内面一胴下部まで、見込みは鉄釉を塗る。**素地**：乳色。 | せ-17 黒色土層 |
| | 17 | | | 底 | － | － | 6.5 | **形態**：腰部は丸味、底部方柱状。**文様**：無文。**釉色**：黒釉。**施釉**：外面一腰～高台脇まで、畳付けアルミナ。内面一胴下部まで、見込みは鉄釉を塗る。**素地**：乳褐色。 | せ-15 遺構32 |
| | 18 | | Ⅰb－B ② | 口～底 | 12.4 | 6.2 | 5.2 | **形態**：直口口縁、小振り、腰部は削り、丸い。**文様**：無文。**釉色**：鉄釉。**施釉**：外面一～高台脇まで、畳付けアルミナ、内面一蛇の目釉剥ぎ、溶着痕。**素地**：灰褐色。 | せ-17 黒褐色混礫土層100～110 |
| | 19 | | Ⅱ－C | 口～底 | 12.9 | 6.3 | 5.6 | **形態**：厚さ5㎜程の玉縁、腰部は丸味、底部は舌状。**文様**：内面の中ほどに幅1㎝ほどの圏線、口唇は外面の黒釉で釉垂れが模様のようになる。**釉色**：外面一黒釉、内面一透明釉。**施釉**：外面一～腰部まで、内面一蛇の目釉剥ぎ。**素地**：乳色。 | す-18 遺物礫集中部黒色土層20～40 |
| | 20 | | Ⅱc－A ① | 口～底 | 13.2 | 6.3 | 6 | **形態**：外反口縁、腰部は丸味、高台は台形状。**文様**：無文。**釉色**：外面一黒釉、内面一透明釉、白化粧。**施釉**：外面一畳付けアルミナ、内面一蛇の目釉剥ぎ、溶着痕。**素地**：灰褐色。 | せ-17 黒褐色混礫土層90～100 |
| | 21 | | Ⅲ－A | 口～底 | 12.4 | 6.4 | 6.4 | **形態**：外反口縁。**文様**：無文。**釉色**：透明釉、白化粧。**施釉**：外面一畳付け無釉。内面一蛇の目釉剥ぎ、溶着痕。**素地**：乳白色。 | す-18遺物石礫集中黒色土層20～40 |
| | 22 | | Ⅲ－C | 口～底 | 13.8 | 6.7 | 7 | **形態**：玉縁口縁、大振り。**文様**：無文。**釉色**：透明釉、白化粧。**施釉**：外面一畳付け無釉、削り。内面一蛇の目釉剥ぎ。**素地**：乳色。 | ち-13 黒褐色礫混り層 |
| | 23 | | Ⅲ－A | 口～底 | 12.7 | 5.9 | 5.4 | **形態**：外反口縁、高台方柱状。**文様**：無文。**釉色**：透明釉、白化粧。**施釉**：外面一畳付け無釉、削り。内面一蛇の目釉剥ぎ。**素地**：暗灰色。 | せ-16黒色混礫土層炭層上 |
| 第53図・図版36 | 24 | 碗 | Ⅲ－A | 口～底 | 12.5 | 6 | 5.8 | **形態**：外反口縁。**文様**：外面4つに文様を区画し、半菊花文を4個配する。**釉色**：透明釉、白化粧。**施釉**：外面一畳付け無釉、内面一蛇の目釉剥ぎ。**素地**：乳白色、厚手。 | せ-16 黒色混礫土層炭層上 |
| | 25 | | | | 12.8 | 6.3 | 6.2 | **形態**：やや外反、腰も若干張る。いずれも2パターン。**文様**：呉須で草花文、内面も草花文、内底に施文。**釉色**：透明釉、白化粧。**施釉**：外面一畳付けアルミナ。内面一蛇の目釉剥ぎ、溶着痕有り。**素地**：灰褐色。 | て-12 遺物集中部 |
| | 26 | | | | 13 | 6.2 | 6 | **形態**：外反口縁、腰の張りは弱い。**文様**：呉須で草花文、文様区画あり、内唇は圏線の間に縦位に烈点文。文様区画無し、内底有文。**釉色**：透明釉、白化粧。**施釉**：外底一畳付け無釉。内底一蛇の目釉剥ぎ、溶着痕。**素地**：乳褐色。 | と-12 遺物集中部0～20 |
| | 27 | | Ⅲ | 口～底 | 12.7 | 5.6 | 5.8 | **形態**：外反が強く、腰の張りは弱い。**文様**：外面一草花文、内底無文。**釉色**：透明釉、白化粧。**施釉**：外面一畳付け削り、アルミナ。内面一蛇の目釉剥ぎ。**素地**：乳褐色。 | せ-16 黒色混礫土層炭層上 |
| | 28 | | Ⅲ－A | 口 | 12.4 | － | － | **形態**：外反口縁。**文様**：外面一草花文と腰部に蓮弁文、内面は口縁と腰部に施文。**釉色**：透明釉、白化粧。**施釉**：内外面施釉。素地：乳褐色。 | せ-15 遺構32 |
| | 29 | | | | 12.5 | － | － | **形態**：外反で玉縁状、腰は少し張る。**文様**：呉須で外面は腰部に圏線を配し、その上は扇状の草花文、下部は烈点文、内面は口縁と胴下部に圏線、口唇は草文らしきものを施す。**釉色**：透明釉、白化粧。**施釉**：内外面施釉。**素地**：乳褐色、焼成良好で緻密。 | せ-17 黒色土層60～80 |

注　法量の項の「－」は測定不可、(　)は推算径、観察事項の「－」は不明

## 第24表　沖縄産施釉陶器観察一覧 (2)

単位：cm

| 図 | 番号 | 器種 | 小分類 | 部位 | 口径 | 器高 | 底径 | 観察事項 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第53図・図版36 | 30 | 碗 | Ⅲ | 口～底 | 13.6 | 7 | 5.8 | **形態：**外反口縁、腰は張る。**文様：**外面－呉須で草花文、口唇と胴下部に圏線、内面－底部と口唇に圏線。さらに口唇は烈点文、かなり薄手で染付に似せた?。**釉色：**透明釉、白化粧か。**施釉：**内底－総釉、薄手。貫入有り。**素地：**乳白色。 | ち-13<br>黒褐色礫混り層 |
| | 31 | | Ⅲ－B | 口 | 10.8 | － | － | **形態：**直口口縁、断面－丸味で薄手。**文様：**呉須で施文、外面は区画が見られる、内唇は圏線へ区画し烈点文、呉須は薄い。**釉色：**透明釉、白化粧。**施釉：**内外面施釉。**素地：**乳褐色。 | と-12<br>遺物集中部西側畦 |
| | 32 | | Ⅲ－A | 口～底 | 11.9 | 5.7 | 4.8 | **形態：**若干外反、断面－舌状、腰は少し張る。**文様：**呉須、２パターンの組み合わせ、内唇－外面と同じ文様の２パターン。**釉色：**透明釉、白化粧。**施釉：**内面－蛇の目釉剥ぎ、高台に削りが有る。**素地：**乳白色。 | つ-12<br>黒褐色混礫層<br>10～20 |
| | 33 | | Ⅲ－B | 口～底 | 11 | 5.3 | 4.8 | **形態：**直口口縁、腰は張る、小振り、薄手。**文様：**外面－口縁と胴下部に幅広の圏線。**釉色：**透明釉、白化粧。**施釉：**外面－畳付け無釉、削る。内面－蛇の目釉剥ぎ。**素地：**灰～乳褐色。 | て-12<br>遺物集中部0～20 |
| | 34 | | | 口 | 10.5 | － | － | **形態：**直口口縁、断面－丸味、小振り。**文様：**外面－呉須で扇状に花文、内面－口唇に呉須で施文。**釉色：**透明釉、白化粧。**施釉：**内外面施釉。**素地：**乳褐色。 | 13トレンチ東側 |
| | 35 | | | 口～底 | 11.8 | 4.6 | 6.1 | **形態：**直口口縁、舌状、腰部少し張る。**文様：**二彩、外面－一つの構図、呉須で葉を描き、その周辺を同色でぼかす、他に茶釉で文様を描く。**釉色：**透明釉、白化粧。**施釉：**外底－畳付け無釉で削る、内底－蛇の目釉剥ぎ、白化粧を残す。**素地：**乳色。 | て-12<br>遺物集中部0～20 |
| | 36 | | Ⅲ－A | 口～底 | 13.6 | 7.1 | 6.6 | **形態：**外反で玉縁状、腰はあまり張らない。**文様：**呉須で丸文、内唇は「ハ」の字に施文。**釉色：**透明釉、白化粧。**施釉：**外底－畳付け無釉、削り若干アルミナが残る。内底－蛇の目釉剥ぎ。**素地：**灰～橙褐色。 | 13トレンチ東側 |
| | 37 | | | | 13.8 | 7 | 6.4 | **形態：**僅かに外反、丸味。腰はあまり張らない。**文様：**呉須のみで丸文、パターンは３個。呉須は鮮やか。**釉色：**透明釉、白化粧。**施釉：**外面－畳付け無釉、削り、アルミナ、内面－蛇の目釉剥ぎ、アルミナ痕。**素地：**乳褐色、厚手。 | せ-16<br>黒色混礫土層<br>炭層上 |
| | 38 | | | | 12.6 | 6.2 | 6 | **形態：**外反口縁。**文様：**呉須で丸文３パターンに下端に点。**釉色：**透明釉、白化粧。**施釉：**外面－畳付け無釉、若干のアルミナ、内面－蛇の目釉剥ぎ、アルミナ痕。**素地：**乳褐色。 | せ-16<br>黒色混礫土層<br>炭層上 |
| | 39 | | | | 13.6 | 6.5 | 6.6 | **形態：**外反口縁。**文様：**丸文、呉須は鈍い。**釉色：**透明釉、白化粧。**施釉：**外面－畳付け無釉、アルミナ、内面－蛇の目釉剥ぎ。**素地：**乳色。 | せ-16南側畦黒色<br>土層0～30 |
| | 40 | | Ⅲ | 口 | 15.8 | － | － | **形態：**外反口縁、腰は張る。**文様：**緑釉で丸文、文様の輪郭は沈線で施す。**釉色：**透明釉、白化粧。**施釉：**内面－蛇の目釉剥ぎ。**素地：**灰～乳褐色。 | す･せ-13<br>遺構41 |
| | 41 | | Ⅲ－A | 口～底 | 12.6 | 6 | 5.7 | **形態：**外反口縁。**文様：**丸文を３個配する、青の文は径5～8mmの14個、真ん中に褐色の楕円の文様、径2.5～3cmを配する。**釉色：**透明釉、白化粧。**施釉：**外面－畳付け無釉、部分的にアルミナの痕。**素地：**灰～褐色。 | て-12<br>遺物集中部0～20 |
| | 42 | | | | 14.2 | 6.8 | 6 | **形態：**外反口縁、腰は張らない。**文様：**丸文を３個配する、青は17個、褐色29.6mm×20.5mmの楕円。**釉色：**透明釉、白化粧。**施釉：**外面－畳付けアルミナ、削りは雑。内面－蛇の目釉剥ぎ、削りは丁寧。**素地：**褐色。 | て-12<br>遺物集中部 |
| | 43 | | | | 12.5 | 5.7 | 5.3 | **形態：**外反口縁、口唇は剥離する。**文様：**いわゆる丸文を３個配する、青の文は径5～8mmの14個、真ん中に褐色の楕円の文様径1.8×2.5cmを配する。**釉色：**透明釉、白化粧。**施釉：**外面－畳付け無釉、内面－蛇の目釉剥ぎ。**素地：**褐色。 | せ-16<br>黒色混礫土層<br>炭層上 |
| | 44 | | Ⅰa－A | 口 | 11.8 | － | － | **形態：**外反口縁。**文様：**内外面に鉄釉で圏線。**釉色：**透明釉。**施釉：**内外面施釉。**素地：**灰褐色、緻密。 | せ-18石敷遺構直<br>上黒色土層 |
| | 45 | | Ⅰa－筒 | 底 | － | － | 5.3 | **形態：**直口口縁、腰部は丸味。**文様：**三島手、沈線で格子文と縦線の組み合わせ。**釉色：**透明釉。**施釉：**外面－～腰部まで、内面－総釉。**素地：**暗灰色。 | と-12<br>遺物集中部0～20 |
| | 46 | | Ⅲ－筒 | 口～底 | 10 | 7.2 | 6.2 | **形態：**直口口縁、腰部は丸味、高台の内縁を削る。**文様：**山水文、呉須は鈍い。**釉色：**透明釉、白化粧、呉須。**施釉：**外面－畳付け無釉。内面－蛇の目釉剥ぎ。**素地：**茶～褐色。 | と-12<br>西側畦遺物集中部 |
| | 47 | | Ⅰa－筒 | 口～底 | 11.1 | 6.5 | 5.5 | **形態：**直口口縁、腰部は丸味。**文様：**花と葉文をそれぞれに配す、呉須は鈍い。**釉色：**透明釉、気泡多い。**施釉：**口禿。外面－畳付け無釉、内面－蛇の目釉剥ぎ。**素地：**灰白色。 | せ-18<br>石灰岩礫集中部<br>黒色土層 |
| 第54図・図版37 | 1 | 小碗 | Ⅰc－B | 底 | 7.8 | 4.1 | 3.8 | **形態：**直口口縁、舌状、腰部は丸く、高台は逆台形。**文様：**無文。**釉色：**黒釉。**施釉：**外面－～高台脇まで、内面－総釉。**素地：**灰～乳褐色。 | す-18遺物礫集中<br>部黒色土層20～40 |
| | 2 | | Ⅰa－B | 口～底 | 9.4 | 4.4 | 4.2 | **形態：**直口口縁、舌状、腰部丸い。**文様：**無文。**釉色：**透明釉。**施釉：**外面－～高台脇まで、内面－総釉。**素地：**暗褐色。 | し-17岩盤凹地黒<br>色混礫土層20～70 |
| | 3 | | Ⅰa | 底 | － | － | 4 | **形態：**高台－台形状。**文様：**無文。**釉色：**透明釉。**施釉：**外面－畳付けアルミナ、内面－総釉。**素地：**暗灰色。 | と-12<br>遺物集中部0～20 |
| | 4 | | Ⅰa－B | 口～底 | 11.6 | 4.1 | 4.9 | **形態：**直口口縁、舌状、腰は大きく丸み、高台方柱状。**文様：**無文。**釉色：**透明釉。**施釉：**外面－～高台脇まで、内面－総釉。**素地：**灰色。 | と-12<br>遺物集中部 |
| | 5 | | Ⅱb－B | 口～底 | 9.2 | 4.6 | 3.4 | **形態：**直口口縁、腰部は丸味、高台方柱状。**文様：**無文。**釉色：**外面－鉄釉、内面－透明釉、白化粧。**施釉：**外面－畳付け無釉、削り、アルミナ。内面－総釉。**素地：**乳褐色。 | せ-17<br>黒色土層60～80 |
| | 6 | | Ⅱc－A | 口～底 | 9.1 | 4.4 | 4.4 | **形態：**外反口縁、腰部は丸い。**文様：**無文。**釉色：**外面－黒釉、内面－透明釉、白化粧土は無。**施釉：**外面－～高台脇まで、内面－蛇の目釉剥ぎ。**素地：**茶褐色。 | せ-17<br>黒褐色混礫土層<br>110～120 |
| | 7 | | Ⅱb－A | 口～底 | 8.7 | 4.4 | 4 | **形態：**外反口縁、腰部は緩やか、高台の外縁削り。**文様：**無文。**釉色：**外面－鉄釉、内面－透明釉、白化粧。**施釉：**外面－畳付け無釉、アルミナ、内面－蛇の目釉剥ぎ、溶着痕。**素地：**灰褐色。 | す-18<br>遺物礫集中部黒色<br>土層20～40 |
| | 8 | | Ⅱc－C | 口～底 | 8.5 | 4.1 | 4.2 | **形態：**玉縁口縁、高台方柱状、**文様：**無文。**釉色：**外面－黒釉、内面－透明釉、白化粧無。**施釉：**外面－～高台脇まで、内面－蛇の目釉剥ぎ。**素地：**灰褐色。 | せ-17<br>黒褐色混礫土層<br>90～100 |
| | 9 | | Ⅱd | 底 | － | － | 4 | **形態：**高台外縁に削り。**文様：**無文。**釉色：**外面－緑釉。内面－透明釉、白化粧。**施釉：**外面－畳付けアルミナ。内面－蛇の目釉剥ぎ。**素地：**暗灰褐色。 | 15トレンチ東側岩上<br>撹乱層 |

注　法量の項の「－」は測定不可、(　)は推算径、観察事項の「－」は不明

## 第24表　沖縄産施釉陶器観察一覧(3)

単位：cm

| 図 | 番号 | 器種 | 小分類 | 部位 | 口径 | 器高 | 底径 | 観察事項 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第54図・図版37 | 10 | 小碗 | Ⅲ－B | 口～底 | 7.9 | 4.2 | 4 | **形態**：直口口縁、舌状、腰はストレート、厚手。**文様**：無文。**釉色**：透明釉、白化粧。**施釉**：外面一畳付け無釉、アルミナ。内面一蛇の目釉剥ぎ。**素地**：乳色。 | て-12<br>遺物集中部0～20 |
| | 11 | | Ⅰa－A | 口～底 | 9 | 4.7 | 4 | **形態**：高台は内側が深い。**文様**：無文。**釉色**：透明釉。**施釉**：外面－～高台脇まで、内面一蛇の目釉剥ぎ。**素地**：灰褐色。 | と-12<br>遺物集中部0～20 |
| | 12 | | Ⅲ－A | 口～底 | 8 | 4.1 | 4 | **形態**：外反口縁、腰部は膨らまない、底部は逆台形。**文様**：無文。**釉色**：透明釉、白化粧。**施釉**：外面一畳付けアルミナ、内面一総釉。**素地**：褐色。 | た-14岩盤にへばりついた黒色土層 |
| | 13 | | | | 8.2 | 3.8 | 3.6 | **形態**：外反口縁。**文様**：無文。**釉色**：透明釉、白化粧。**施釉**：外面一畳付けアルミナ。内面一蛇の目釉剥ぎ。**素地**：灰褐色。 | せ-15<br>遺構32 |
| | 14 | | Ⅲ | 口～底 | 8.1 | 4.7 | 4.0 | **形態**：外反口縁。**文様**：面取り、２段。**釉色**：透明釉、白化粧。**施釉**：外面一畳付け無釉、アルミナ、内面一総釉。**素地**：乳色。 | せ-17<br>黒色土層80～90 |
| | 15 | | | | 8.8 | 4.4 | 4.2 | **形態**：外反口縁。**文様**：面取り。**釉色**：透明釉、白化粧。**施釉**：外面一畳付け無釉、削り、アルミナ、内面一蛇の目釉剥ぎ。**素地**：乳褐色。 | せ-15<br>遺構32 |
| | 16 | | | | 8.4 | 4.2 | 3.8 | **形態**：外反口縁。**文様**：面取り。**釉色**：透明釉、白化粧。**施釉**：外面一畳付け無釉、削り。内面一蛇の目釉剥ぎ。**素地**：茶褐色。 | せ-17<br>暗褐色混礫土層 |
| | 17 | | Ⅲ－A | 口～底 | 8.1 | 4.1 | 3.4 | **形態**：外反が強く、外面は溝状になる、腰部は丸く、高台は低い。**文様**：外面一無文、内底に花文。**釉色**：透明釉、白化粧。**施釉**：外面一畳付け削り、アルミナ、内面一総釉。**素地**：灰褐色。 | ち-13<br>黒色土層20～30 |
| | 18 | | | | 9.9 | 4.8 | 5.1 | **形態**：外反が強く、腰部は丸く、高台は高い。**文様**：外面は草花文か、釉垂れが強く文様が不明瞭、内面に圏線２本と内底に丸文、内面は呉須の発色が悪い。**釉色**：透明釉、白化粧。**施釉**：外面一畳付け削り、アルミナ、内面一蛇の目釉剥ぎのあと溶着痕有り。**素地**：灰褐色。 | て-12<br>遺物集中部 |
| | 19 | | | | 8.6 | 4.1 | 3.8 | **形態**：外反が強く朝顔状、腰は丸味。**文様**：斑点が５個内区に黄釉で二彩。**釉色**：透明釉、白化粧。**施釉**：外面一畳付け無釉、内面一蛇の目釉剥ぎ。**素地**：灰褐色。 | と-12<br>遺物集中部0～20 |
| | 20 | | | | 8.4 | 4.2 | 3.4 | **形態**：外反口縁、腰部は緩やか。**文様**：丸文３個単色、呉須の発色はよい。**釉色**：透明釉、白化粧。**施釉**：外面一畳付け無釉、内面一蛇の目釉剥ぎ。**素地**：乳色。 | て-12<br>遺物集中部 |
| | 21 | | | | 9.6 | 5 | 4.2 | **形態**：朝顔状に外反、腰はストレート気味、高台は逆台形状。**文様**：口唇に圏線(薄い飴釉)。**釉色**：透明釉、白化粧。**施釉**：外面一畳付け削り、アルミナ、内面一蛇の目釉剥ぎ。**素地**：乳色。 | と-12<br>遺物集中部0～20 |
| | 22 | 杯 | Ⅲ－B | 口～底 | 6.1 | 2.9 | 2.7 | **形態**：直口口縁。**文様**：呉須で「幸」、「地」。**釉色**：透明釉。**施釉**：外面一畳付け無釉、内面一総釉。**素地**：白灰色。 | と-12<br>遺物集中部西側畦 |
| | 23 | | Ⅰa－A | 口～底 | 3.8 | 2.3 | 1.9 | **形態**：外反口縁。**文様**：無文。**釉色**：透明釉。**施釉**：外面－～腰部まで、内面一内底僅かに無釉。**素地**：灰乳色。 | つ-13･14岩盤付近<br>遺構集中部 |
| | 24 | 香炉 | Ⅰb | 口 | 8.75 | － | － | **形態**：逆「L」字状、頸部はしまる。**文様**：無文。**釉色**：鉄釉。**施釉**：口唇に白化粧、外面一施釉。内面一口縁下２cmまで。**素地**：乳白色、黒色細粒混入。 | し-17<br>崖部黒色混礫土層 |
| 第55図・図版38 | 1 | Ⅲ | Ⅰc－灯明 | 口～底 | 10.8 | 3.5 | 4.8 | **形態**：直口口縁、７mmの突起、１個。**文様**：無文。**釉色**：黒釉、畳付けにアルミナ。**施釉**：外底一口唇のみ、内底一蛇の目釉剥ぎ、溶着痕。**素地**：乳褐色。 | せ-17<br>黒褐色混礫土層<br>100～110 |
| | 2 | | | | 10.7 | 2.7 | 5.6 | **形態**：直口口縁、外面に炭が付着。**文様**：無文。**釉色**：黒釉。**施釉**：外面－～胴部まで。内面一蛇の目釉剥ぎ、溶着のあと。**素地**：灰褐色。 | せ-18石灰岩礫集中部黒色土層 |
| | 3 | | Ⅲ<br>灯明 | 口～底 | 10.1 | 3.5 | 4.5 | **形態**：直口口縁。**文様**：無文。**釉色**：透明釉、白化粧。**施釉**：外面一口唇のみ施釉、内面一蛇の目釉剥ぎ、高台に炭痕。**素地**：乳色。 | す･せ-18黒色混礫土層100～110 |
| | 4 | | Ⅱb－小 | 口～底 | 9.7 | 2.3 | 3.8 | **形態**：輪花。**文様**：無文。**釉色**：外面一鉄釉、内面一透明釉、白化粧。**施釉**：外面一畳付け無釉、内面一蛇の目釉剥ぎ。**素地**：灰褐色。 | た-14<br>黒色土層20～40 |
| | 5 | | Ⅰb－中 | 口～底 | 12.8 | 3.8 | 5.8 | **形態**：直口口縁。**文様**：無文。**釉色**：鉄釉。**施釉**：フィガキー。**素地**：茶褐色。 | と-11<br>黒色土層0～10 |
| | 6 | | Ⅰa－中A | 口 | 12.6 | － | － | **形態**：直口口縁。**文様**：無文。**釉色**：透明釉。**施釉**：フィガキー。**素地**：乳褐色。 | 15トレンチ東側岩上<br>黒色土層最上部 |
| | 7 | | Ⅰa－中 | 口～底 | － | － | 7.2 | **形態**：高台は粒状。**文様**：内底に丸文か。**釉色**：透明釉。**施釉**：フィガキーのあと内底に丸文を施釉。**素地**：灰白色。 | せ-17<br>黒色土層0～30 |
| | 8 | | | 底 | － | － | 7.6 | **形態**－。**文様**：無文。**釉色**：透明釉。**施釉**：外面－～腰部、内面一蛇の目釉剥ぎ。**素地**：灰褐色、緻密。 | せ-16<br>0～30 |
| | 9 | | Ⅲ | 口～底 | 11.7 | 4.1 | 4.4 | **形態**：直口口縁。**文様**：無文。**釉色**：透明釉、白化粧。**施釉**：口唇に銹釉、外面一畳付け無釉、内面一総釉。**素地**：灰褐色。 | せ-17<br>黒色土層 |
| | 10 | | Ⅲ－小 | 口～底 | 11.4 | 4.4 | 5.4 | **形態**：内彎口縁。**文様**：無文。**釉色**：透明釉、白化粧。**施釉**：外面一畳付け無釉、内面一総釉。**素地**：乳白色。 | せ-17<br>黒褐色混礫土層 |
| | 11 | | 青磁 | 口 | － | － | － | **形態**：稜花。**文様**：無文。**釉色**：緑色。**施釉**：内外面施釉。**素地**：灰褐色。 | せ-17<br>黒色土層30～50 |
| | 12 | | Ⅲ－小 | 口～底 | 12.9 | 3.5 | 6.2 | **形態**：外反口縁。**文様**：赤絵、内面に赤と格子文、内底に５弁花を金と赤で施す。**釉色**：透明釉、白化粧。**施釉**：外面一畳付け無釉、打割した感を受ける。**素地**：褐色。 | と-12<br>遺物集中部0～20 |
| | 13 | | Ⅰa－大 | 口～底 | 23.2 | 7 | 9.7 | **形態**：逆「L」字状、高台は高い。**文様**：内面にイッチン技法、黒釉で丸文、白釉で圏線。**釉色**：透明釉。**施釉**：フィガキー。**素地**：褐色。 | せ-17黒褐色混礫土層90～100 |
| | 14 | | Ⅲ－大 | 口～底 | 23.4 | 10.8 | 7 | **形態**：外反口縁。**文様**：無文。**釉色**：透明釉、白化粧。**施釉**：外面一畳付け無釉、内面一蛇の目釉剥ぎ。**素地**：灰褐色。 | せ-15岩盤にへばりついた黒色土層 |
| | 15 | | Ⅲ－小 | 口～底 | 11.2 | 3 | 5.5 | **形態**：外反口縁。**文様**：呉須で内面に半菊花文を４個と内底「→」を施文。**釉色**：透明釉、白化粧、呉須。**施釉**：外面一畳付けアルミナ、内面一蛇の目釉剥ぎ。**素地**：乳色。 | て-12<br>遺物集中部 |
| | 16 | | | | 13.2 | 3.5 | 6 | **形態**：外反口縁。**文様**：呉須で鋸歯状に施文。**釉色**：透明釉、白化粧、呉須。**施釉**：外面一畳付けアルミナ、内面一蛇の目釉剥ぎ。**素地**：乳～灰色。 | と-12<br>遺物集中部0～20 |
| | 17 | | Ⅲ－大 | 口～底 | 22.2 | 5.1 | 13 | **形態**：内彎口縁。**文様**：呉須で草文。**釉色**：透明釉、白化粧。**施釉**：外面一畳付けアルミナ、内面一蛇の目釉剥ぎ。**素地**：乳褐色。 | せ-16黒色混礫土層炭層上 |
| | 18 | | Ⅲ－小 | 口～底 | 10.2 | 3.25 | 4.6 | **形態**：輪花。**文様**：呉須で半円と点の組み合わせを繰り返す。**釉色**：透明釉、白化粧。**施釉**：外面一畳付け無釉。内面一蛇の目釉剥ぎ。**素地**：乳白色。 | と-12<br>遺物集中部0～20 |

注　法量の項の「－」は測定不可、(　)は推算径、観察事項の「－」は不明

## 第24表　沖縄産施釉陶器観察一覧(4)

単位：cm

| 図 | 番号 | 器種 | 小分類 | 部位 | 口径 | 器高 | 底径 | 観察事項 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第56図・図版39 | 19 | 皿 | Ⅲ－中 | 口～底 | 13.8 | 3.8 | 6.8 | **形態**：輪花、波状。**文様**：内面－呉須で緑に鋸歯状に施文、外面－無文。**釉色**：透明釉、白化粧、呉須。**施釉**：外面－畳付け無釉、内面－蛇の目釉剥ぎ、削り。**素地**：灰褐色。 | せ-16 黒色混礫土層 炭層上 |
| | 20 | | | | 15 | 4.4 | 6.4 | **形態**：外反が強い。**文様**：呉須で内面に葉様文、４パターン。**釉色**：外面－透明釉、内面－透明釉、白化粧。**施釉**：外面－畳付け無釉、内面－蛇の目釉剥ぎ、アルミナの痕。**素地**：乳色。 | せ-16 黒色混礫土層 炭層上 |
| | 21 | | Ⅲ－大 | 口～底 | 24.6 | 7.5 | 10.4 | **形態**：外反が強い。**文様**：内面－口縁に烈点状に施文、内底にも文様。**釉色**：透明釉、白化粧。**施釉**：外面－畳付けアルミナ、内面－蛇の目釉剥ぎ。**素地**：灰褐色。 | て-12 遺物集中部0～20 |
| | 22 | | | 口 | 22 | － | － | **形態**：外反が強い。**文様**：草花文。**釉色**：透明釉、白化粧。**施釉**：内外面施釉。**素地**：灰褐色。 | て-12 遺物集中部 |
| | 23 | | | 底 | － | － | 12.6 | **形態**：－。**文様**：内面に輪花文。**釉色**：透明釉、白化粧。**施釉**：内面－蛇の目釉剥ぎ。**素地**：乳色。 | と-12 遺物集中部0～20 |
| | 24 | 鉢 | Ⅰc－小 | 口～底 | 11.8 | 5 | 7.6 | **形態**：内彎口縁。**文様**：無文。**釉色**：黒釉。**施釉**：外面－～腰部まで畳付けアルミナ、内面－総釉。**素地**：灰～乳色。 | 15トレンチ東側岩上 黒色土層0～10 |
| | 25 | | Ⅲ－深 | 口～底 | 16.7 | 6.8 | 6.4 | **形態**：外反して直状。**文様**：内面に呉須で区画し文様を施す、呉須は鮮やか。**釉色**：透明釉。**施釉**：外面－畳付け無釉、内面－蛇の目釉剥ぎ、アルミナ痕。**素地**：乳色。 | そ-13・14石垣横の石列前面黒色土層40～60 |
| | 26 | | | 底 | － | － | 6.5 | **形態**：25に同じ。**文様**：内面に４区画して花と草文、内底に巴文、呉須は鈍い。**釉色**：透明釉、白化粧、呉須。**施釉**：外面－畳付け無釉、内面－蛇の目釉剥ぎ。**素地**：乳色。 | て-12 遺物集中部0～20 |
| | 27 | | Ⅲ－c | 口～底 | 19 | 8.8 | 7.4 | **形態**：「L」字の口縁。**文様**：口縁を主に全縁に呉須で描く、内底も有り。**釉色**：透明釉。**施釉**：外面－畳付け無釉、内面－蛇の目釉剥ぎ。**素地**：乳褐色。 | て-12 |
| | 28 | | Ⅲ－大 | 口 | 22.1 | － | － | **形態**：外反口縁。**文様**：線と多彩の組み合わせ、彩色は特に規則性は認められない。**釉色**：外面－透明釉、内面－五彩、白化粧なし。**施釉**：内外面施釉。**素地**：灰乳色。 | て-11 遺物集中部0～20 |
| | 29 | | Ⅲ－小 | 口 | 14.4 | － | － | **形態**：輪花状、口縁に段をつける、胴部も６分割される、口唇はきざみめが施される。**文様**：内面に緑釉で変化をつけ、加飾する。**釉色**：外面－失透釉、内面－緑釉と失透釉。**施釉**：内外面施釉。**素地**：灰褐色。 | せ-18石灰岩礫集中部黒色土層 |
| | 30 | | | | 14.1 | － | － | **形態**：外反が強い。**文様**：緑釉と白釉で変化をつけて加飾。**釉色**：緑釉、気泡が見られる。**施釉**：内外面施釉。**素地**：白灰色。 | せ-17 黒褐色混礫土層 |
| | 31 | 小鉢 | Ⅱb | 口 | 15 | － | － | **形態**：輪花、口唇に段を入れる。**文様**：無文、胴部は面取り。**釉色**：外面－鉄釉、内面－透明釉、白化粧。**施釉**：内外面施釉。**素地**：暗灰色。 | ち-9 石段上黒色土層 |
| 第57図・図版40 | 1 | 鉢 | Ⅰa－不 | 底 | － | － | 10.2 | **形態**：薄手。**文様**：外面－鉄釉と白釉で丸十字文、内面－胴下部に鉄釉で圏線、内底－丸文。**釉色**：内外面、透明釉。**施釉**：フィガキー、畳付けに砂粒。**素地**：灰褐色。 | せ-17 黒色土層60～70 |
| | 2 | | Ⅰc－C | 口 | 26.9 | 15.2 | 9.6 | **形態**：逆「L」字、口唇幅9.9㎜、高台の高さ3.5㎝。**文様**：－。**釉色**：内外面、黒釉。**施釉**：外底～腰部まで施釉、砂粒有り、内底は蛇の目を大きく削り、文様のようにも見える。**素地**：乳褐色。 | せ-17 黒色土層60～80 |
| | 3 | | Ⅰa－D ① | 口 | 22.4 | － | － | **形態**：外反口縁、口縁断面舌状。**文様**：外面－鉄釉で二条の圏線をセットで３ヶ所配する。**釉色**：透明釉。**施釉**：フィガキー。**素地**：灰褐色。 | さ-15・16岩盤にへばりついた黒色土層 |
| | 4 | | Ⅰa－C | 口 | 27.3 | － | － | **形態**：逆「L」字、口唇幅9.9㎜。**文様**：内面－胴文に鉄釉で、２本の圏線。**釉色**：透明釉。**施釉**：フィガキー。**素地**：乳褐色。 | せ-17 黒褐色混礫土層 |
| | 5 | | Ⅰa－C ① | 口 | 27.9 | － | － | **形態**：逆「L」字、口唇幅9.7㎜。**文様**：外面－無文、内面－上下に鉄釉と白釉で、圏線。**釉色**：透明釉。失透、気泡。**施釉**：内外面施釉。**素地**：灰褐色、薄手4.1㎜。 | せ-15 岩盤付近黒色土層 |
| | 6 | | Ⅰa－B | 口 | 23.4 | － | － | **形態**：肥厚、断面丸味。**文様**：イッチン技法で丸文。**釉色**：透明釉。**施釉**：内外面施釉、フィガキーか。**素地**：灰褐色。 | せ・そ-13 遺構57 |
| | 7 | | | | 27.1 | － | － | **形態**：口唇肥厚。**文様**：外面－鉄釉で丸文を軸にした。**釉色**：透明釉。**施釉**：内外面施釉。**素地**：灰褐色、テンパーで若干、一部膨らむ。 | 16トレンチ東側岩上 黒色土層0～10 |
| | 8 | | | 口～底 | 25.5 | 13.7 | 10.4 | **形態**：肥厚、腰部は膨らむ、高台の高さ30.6㎜。**文様**：鉄釉で丸十字文を施す。**釉色**：透明釉。**施釉**：フィガキー。**素地**：灰褐色、器厚4.4㎜と薄い。 | せ-16 黒褐色混礫土層 |
| | 9 | | Ⅱa－D ① | 口 | 25.2 | － | － | **形態**：外反し三角状に膨らむ。**文様**：－。**釉色**：外面－黒釉、内面－透明釉、白化粧なし。**施釉**：内外面施釉。**素地**：褐色、器厚6.3㎜。 | そ-13 地山直上 |
| | 10 | | Ⅰa－D ① | 口 | 25.8 | － | － | **形態**：外反口縁、口唇若干膨らむ。**文様**：無文。**釉色**：透明釉。**施釉**：内外面施釉。**素地**：灰色、緻密、器厚5.6㎜。 | せ-15・16岩盤にへばりついた黒色土層 |
| | 11 | | Ⅰa－C ① | 口 | 25.2 | － | － | **形態**：逆「L」字、口唇9.7㎜。**文様**：外面－鉄釉と白釉で丸文、内面－上下に鉄釉と白釉で圏線。**釉色**：透明釉、失透、気泡。**施釉**：内外面施釉。**素地**：暗灰色、薄手。 | ち-11 地山直上 |
| | 12 | | | | 25.5 | － | － | **形態**：逆「L」字、口唇幅9.6㎜。**文様**：外面－鉄釉で草文。**釉色**：透明釉。**施釉**：フィガキーか。**素地**：乳白色。 | せ-17 黒色土層50～70 |
| | 13 | | Ⅰa－B | 口 | 25.2 | 13.2 | 9.2 | **形態**：口縁は肥厚、断面は三角形、腰部は張る。**文様**：いずれも鉄釉で、外面－丸文３ヶ所、内面－藤花を２ヶ所に配する。**釉色**：透明釉。**施釉**：高台に鉄釉を塗る、フィガキー。**素地**：白色物質混入、乳白色。 | せ-18 石灰岩礫集中部 黒色土層 |
| | 14 | | Ⅱc－D ① | 口 | 24.7 | － | － | **形態**：外反口縁、断面－丸味。**文様**：外面－斑文か。**釉色**：外面－鉛釉、内面－白化粧のあと鉛釉。**施釉**：内外面施釉。**素地**：褐色。 | て-12 遺物集中部 |
| | 15 | | Ⅱa－D ③ | 口 | － | － | － | **形態**：波状口縁二重になる。**文様**：外面に沈線文。**釉色**：外面－黒釉、内面－透明釉、白化粧有り。**施釉**：口唇までは白釉。**素地**：橙褐色、器厚5.9㎜。 | せ-17 黒色土層60～80 |
| | 16 | | Ⅱc－D ④ | 口 | － | － | － | **形態**：輪花、断面は丸味。**文様**：内側－イッチン技法で波状文。**釉色**：外面－黒釉、内面－透明釉、白化粧なし。**施釉**：内外面施釉。**素地**：乳褐色、器厚4.9㎜。 | せ-17 黒褐色混礫土層 |

注　法量の項の「－」は測定不可、(　)は推算径、観察事項の「－」は不明

## 第24表　沖縄産施釉陶器観察一覧(5)

単位：cm

| 図 | 番号 | 器種 | 小分類 | 部位 | 口径 | 器高 | 底径 | 観察事項 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第58図・図版41 | 17 | 鉢 | Ⅱcロ | 胴 | — | — | — | **形態**：薄手。**文様**：内面に鉄釉で草花文。**釉色**：外面ー黒釉、内面ー透明釉、白化粧有り。**施釉**：内外面施釉。**素地**：乳灰色。最大胴径25.0cm。 | せ-16黒色混礫土層炭層上 |
| | 18 | | Ⅱeロー D | 口 | 24.6 | — | — | **形態**：外反口縁。**文様**：無文。**釉色**：外面ー緑釉、内面ー透明釉、白化粧有り、貫入有り。**施釉**：内外面施釉。**素地**：乳褐色。 | せ-17 黒色土層 |
| | 19 | | Ⅱcイー B | 口 | 31 | — | — | **形態**：口唇が張り出す、薄手。**文様**：無文。**釉色**：外面ー黒釉、内面ー透明釉。**施釉**：内外面施釉。**素地**：灰褐色。 | 14トレンチ東側 |
| | 20 | | Ⅰa—D 浅 | 口 | 23 | — | — | **形態**：外反して口唇は上部に上がる。**文様**：無文。**釉色**：透明釉。**施釉**：内外面施釉。**素地**：灰褐色。 | 12トレンチ東側 |
| | 21 | | Ⅱcイ | 口～底 | 29.4 | 14.5 | 11.5 | **形態**：高台が31.7㎜と高い、4ヶ所に6㎜前後の穿孔。**文様**：無文。**釉色**：外面ー黒釉、内面ー透明釉、白化粧無し。**施釉**：外面ー高台途中から無釉、畳付けアルミナ。内底ー蛇の目釉剥ぎ。**素地**：乳褐色。 | た-14 岩盤にへばりついた黒色土層 |
| | 22 | | Ⅱcロー C | 口～底 | 23.8 | 11 | 8.8 | **形態**：逆「L」字状、「L」字下に下がる。**文様**：無文。**釉色**：外面ー黒釉、内面ー透明釉、白化粧有り。**施釉**：外面ー畳付けアルミナ、内面ー蛇の目釉剥ぎ。**素地**：灰褐色。 | さ-15·16 岩盤にへばりついた黒色土層 |
| | 23 | | | | 27.8 | 14.9 | 12.6 | **形態**：逆「L」字、若干下がる。**文様**：無文。**釉色**：外面ー黒釉、内面ー透明釉、白化粧有り。**施釉**：外面ー畳付け無釉、内面ー蛇の目釉剥ぎ。**素地**：乳褐色。 | せ-17 黒褐色混礫土層 |
| | 24 | | | | 22.6 | 9.9 | 8.8 | **形態**：逆「L」字状、薄手、腰部は張る。**文様**：無文。**釉色**：外面ー黒釉、内面ー透明釉、白化粧有り。**施釉**：外面ー畳付けアルミナ、内面ー蛇の目釉剥ぎ。**素地**：乳褐色。 | た-14岩盤にへばりついた黒色土層 |
| | 25 | 皿 | Ⅰ | 口 | 18.4 | — | — | **形態**：内彎口縁、口縁断面は方形。**文様**：内面ー鉄釉で草花文。**釉色**：失透釉。**施釉**：内外面施釉。**素地**：乳灰色。 | せ-17 黒色土層30～50 |
| | 26 | 鉢 | Ⅱc—C | 口 | 19 | — | — | **形態**：逆「L」字状、幅13.5㎜。**文様**：無文。**釉色**：外面ー黒釉、内面ー透明釉、白化粧。**施釉**：内外面施釉。**素地**：灰褐色。 | と-11 南側畦 |
| | 27 | | Ⅱcロー C | 口～底 | 20.4 | 9.6 | 9 | **形態**：逆「L」字状、腰部は張る。**文様**：無文。**釉色**：外面ー黒釉、内面ー透明釉、白化粧。**施釉**：口唇無釉、畳付けアルミナ、内底ー透明釉、白化粧。**素地**：灰褐色。 | ち-14岩盤付近遺物集中部 |
| | 28 | | Ⅱaイー C | 口 | 27.7 | — | — | **形態**：「L」字、口唇幅23.9㎜。**文様**：内面の口唇に鉄釉と白釉で圏線。**釉色**：外面ー黒釉、内面ー透明釉、白化粧無し。**施釉**：内外面施釉。**素地**：灰褐色。 | せ-17 黒色土層 |
| | 29 | | Ⅱc—A | 口～底 | 20.5 | 9.3 | 8.6 | **形態**：内彎口縁、口縁断面は舌状。**文様**：無文。**釉色**：外面ー黒釉、内面ー透明釉、白化粧。**施釉**：外面ー畳付け無釉、内面ー蛇の目釉剥ぎ。**素地**：灰褐色。 | て-12 遺物集中部 |
| 第59図・図版42 | 1 | 鍋 | Ⅱc | 口 | 14.4 | — | — | **形態**：胴は膨らまない。**文様**：無文。**釉色**：外面ー黒釉、内面ー透明釉、白化粧。**施釉**：口唇釉剥ぎ。**素地**：乳褐色、焼成やや脆い。 | す-15 撹乱層 |
| | 2 | | Ⅰc | 口 | 18.7 | — | — | **形態**：内唇が張り出す、胴部は張らない。**文様**：無文。**釉色**：外面ー褐～茶釉、内面ー飴釉。**施釉**：口唇釉剥ぎ。**素地**：灰褐色。白粒混入。 | ち-9 石段上黒色土層 |
| | 3 | | Ⅰb | 口 | 19.4 | — | — | **形態**：薄手。**文様**：無文。**釉色**：内外面、鉄釉。**施釉**：内外面施釉。**素地**：灰褐色、焼成良好。 | て-12 遺物集中部 |
| | 4 | | | | 17.6 | — | — | **形態**：口縁の張り出しが短い、口縁断面は若干、内側に張り出す。**文様**：無文。**釉色**：鉄釉。**施釉**：内外面施釉。**素地**：灰褐色。 | た-14 黒色土層20～40 |
| | 5 | | Ⅰb— 中 | 口 | 17.3 | — | — | **形態**：浅い、蓋受け部は短い。**文様**：無文。**釉色**：内外面、鉄釉。**施釉**：外面ー胴下部無釉、内面ー口唇無釉。**素地**：灰白色、焼成良好。 | つ-13·14岩盤付近遺構集中部 |
| | 6 | | Ⅰ | 口 | 32.8 | — | — | **形態**：胴から底部は浅鉢状。**文様**：三島手、トビガンナと圏線の組み合わせ。**釉色**：透明釉。**施釉**：外面施釉、内面は無釉。**素地**：灰褐色。 | さ·し-17岩盤にへばりついた黒色土中 |
| | 7 | | Ⅲ—大 | 口 | 23.6 | — | — | **形態**：口縁の張り出しが長い、口唇幅1.5cmと広く、厚手。**文様**：無文。**釉色**：内外とも透明釉と白化粧。**施釉**：内面ー口唇部は白化粧、他は透明釉。**素地**：乳白色。 | す·せ-18 黒色土層 0～30 |
| | 8 | | Ⅰb— 小 | 胴 | — | — | — | **形態**：胴部はかなり張る。**文様**：無文。**釉色**：鉄釉。**施釉**：外面ー胴部まで施釉、内面ー無釉。**素地**：灰褐色。焼成良好、白色粒少量混入。最大胴径15.5cm。 | て-13 遺物集中部 |
| | 9 | | | 底 | — | — | — | **形態**：胴部が張る。**文様**：無文。**釉色**：内面ー鉄釉。**施釉**：外面ー底部無釉、内面ー薄く施釉。**素地**：乳褐色、焼成やや良い。最大胴径14.2cm。 | せ-17 黒色土層60～80 |
| | 10 | | Ⅰc | 底 | — | — | 6.4 | **形態**：底面は平らになる。**文様**：無文。**釉色**：内面ー黒釉。**施釉**：外面ー胴下部無釉。**素地**：茶褐色。 | せ-17 黒色土層0～30 |
| | 11 | | Ⅰb | 底 | — | — | 9.6 | **形態**：底面は角を持ち平らになる。**文様**：無文。**釉色**：鉄釉。**施釉**：外面ー胴下部まで施釉、内面ー施釉。**素地**：灰～乳褐色。 | た-14 黒色土層20～40 |
| | 12 | | Ⅰ—小 | 口～底 | 13.6 | — | — | **形態**：胴部はかなり張る、外面は削りが明瞭。**文様**：無文。**釉色**：透明釉。**施釉**：外面ー胴下部まで施釉。内面ー内唇部釉剥ぎ。**素地**：灰褐色、黒色細粒。 | ち-13 遺物集中部0～20 |
| | 13 | 壺 | Ⅰc— 小 | 口 | 7 | — | — | **形態**：口縁はしまり胴部が張る、縦耳4個。**文様**：肩部と四耳の中あたりに二条の圏線。**釉色**：内外面、黒釉。**施釉**：口唇にアルミナ、内側の頸部は施釉しない。**素地**：乳色。 | す-18 遺物礫集中部 黒色土層20～40 |
| | 14 | | Ⅰc | 口～底 | 11.2 | 17.7 | 10.3 | **形態**：口はしまり、断面は方形状に外に張る、縦耳4個。**文様**：縦耳の中あたりに二条の圏線。**釉色**：黒釉。**施釉**：口唇アルミナ、外面ー腰部から高台無釉、畳付けに溶着、内側まだらに施釉。**素地**：灰褐色。 | せ-17 黒色土層60～80 |
| | 15 | | Ⅰc— 中 | 口～底 | 11.4 | 16.4 | 9 | **形態**：縦耳4個。文様：耳の中あたりに二条の圏線。**釉色**：飴釉。**施釉**：口唇釉剥ぎ、畳付け無釉。**素地**：灰白色。 | と-12 遺物集中部0～20 |
| | 16 | | | 口 | 11.5 | — | — | **形態**：口は若干、外反しカマボコ状、縦耳4個。**文様**：耳の中あたりに二条の沈線文。**釉色**：黒釉。**施釉**：内外面施釉。**素地**：乳色。 | す-15 地山直上 |
| | 17 | | Ⅰc— 大 | 口～底 | 24.8 | — | 15 | **形態**：口唇は外に張り出しながら内彎する。**文様**：無文。**釉色**：黒釉。**施釉**：外面ー畳付け無釉、内面ー施釉、口唇部は釉剥ぎ。**素地**：乳褐色、器厚18.4㎜。 | さ-17岩盤凹地内地山直上瓦集中部 190～220 |
| | 18 | 鉢 | — | 底 | — | — | 7.3 | **形態**：器厚16.3㎜と厚く、腰部の削りは明瞭。**文様**：無文。**釉色**：灰褐釉。**施釉**：外面ー腰部～底部、無釉。内面ー施釉。**素地**：橙褐色、白色粒混入、青磁の可能性もあり、焼成弱い。 | つ-14 瓦礫層 |

注　法量の項の「—」は測定不可、(　)は推算径、観察事項の「—」は不明

## 第24表　沖縄産施釉陶器観察一覧(6)

単位：cm

| 図 | 番号 | 器種 | 小分類 | 部位 | 口径 | 器高 | 底径 | 観察事項 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第60図・図版43 | 1 | 急須 | Ⅰb－小 | 耳 | 6.5 | － | － | **形態**：丸型a。**文様**：把手に加飾－2個、形は将棋型。**釉色**：黒色。**施釉**：外面－施釉、内面－施釉。**素地**：灰褐色、緻密。最大胴径11.9cm。 | つ-10 地山直上清掃中 |
| | 2 | | Ⅰd－小 | 胴 | － | － | － | **形態**：注口は縦に孔を2個。**文様**：無文。**釉色**：鉄釉。**施釉**：外面－施釉、内面－口唇の一部。**素地**：灰褐色、緻密。最大胴径12.9cm。 | せ-17 黒褐色混礫土層 |
| | 3 | | Ⅲ－小 | 口 | 5.2 | － | － | **形態**：瓢箪型。**文様**：二彩(青と黄)。**釉色**：透明釉、白化粧。**施釉**：口唇は釉剥ぎ。**素地**：灰褐色。 | 不明 |
| | 4 | | | | 4.2 | － | － | **形態**：丸型。**文様**：菊花スタンプと沈線の組み合わせを白化粧の後に施す。**釉色**：透明釉、白化粧。**施釉**：外面－施釉。内面－無釉。**素地**：白灰色。 | す-18 遺物礫集中部 黒色土層20～40 |
| | 5 | | Ⅰa－中 | 口 | 7.2 | － | － | **形態**：丸型。**文様**：三島手、花のスタンプと圏線の組み合わせ。**釉色**：透明釉。**施釉**：口唇－無釉、内面－頸～。**素地**：灰褐色。 | そ-17 黒色混礫土層 |
| | 6 | | Ⅰb－小 | 口 | 6.4 | － | － | **形態**：瓢箪型。**文様**：無文。**釉色**：鉄釉。**施釉**：口唇削り、外面－施釉、内面－無釉、頸部のみ施釉。**素地**：灰褐色。最大胴径9.6cm。 | ち-11 黒色土層10～20 |
| | 7 | | | 口 | 5 | － | － | **形態**：瓢箪型。**文様**：無文。**釉色**：鉄釉。**施釉**：口唇削り、外面－施釉、内面－無釉、口唇の内部に若干有り。**素地**：灰褐色。 | せ-17 黒褐色混礫土層 |
| | 8 | 水注 | Ⅰa－小 | 口 | 9.6 | － | － | **形態**：筒型。**文様**：三島手、圏線と格子文の組み合わせ。**釉色**：外面－透明釉、内面－黒釉。**施釉**：蓋受け部無釉。**素地**：灰褐色、緻密。 | そ-17 黒色混礫土層 |
| | 9 | 急須 | Ⅲ－小 | 口 | 5.6 | － | － | **形態**：丸型。**文様**：トビガンナと呉須の組み合わせ。**釉色**：透明釉、白化粧。**施釉**：口唇無釉、外面－施釉、内面－頸部施釉、他は白化粧。**素地**：乳色。 | と-11 黒色土層0～10 |
| | 10 | | | 口～底 | 6.4 | 8.6 | 7.7 | **形態**：丸型b、注口は2孔、底は平ら。**文様**：線彫りと二彩の組み合わせ。**釉色**：透明釉、白化粧。**施釉**：外面－口唇削り、無釉、内面－頸部～底部。**素地**：灰白色。 | ち-13 西側畦黒褐色礫混り層 |
| | 11 | | Ⅲ－中 | 口 | 7.9 | － | 最大胴 15.4 | **形態**：丸型、注口は3孔。**文様**：線彫りと呉須の組み合わせ、把手の周囲は緑釉。**釉色**：透明釉、白化粧。**施釉**：外面－口唇釉剥ぎ、内面－白化粧。**素地**：乳白色。 | て-12 遺物集中部0～20 |
| | 12 | | Ⅲ－小 | 口～底 | 6.8 | 8.2 | 7.8 | **形態**：丸型a。**文様**：青と緑で波状に施文。**釉色**：透明釉、白化粧。**施釉**：口唇無釉、外面－腰部～無釉、内面－口唇無釉、他は白化粧。**素地**：茶褐色～褐色。 | せ-18石灰岩礫集中部上面黒色土層40～50 |
| | 13 | | Ⅲ－大 | 口～底 | 8.6 | 12.5 | 10.8 | **形態**：丸型。**文様**：肩部に線で唐草文と胴部に隅丸の窓を配し中に花文、さらに呉須で施釉。**釉色**：透明釉、白化粧、呉須の発色は悪い。**施釉**：外面－施釉、内面－頸部のみ。**素地**：灰褐色。 | す-18石炭層礫集中黒色土層40～50 |
| | 14 | | Ⅲ－小 | 口～底 | (6.3) | － | － | **形態**：丸型b。**文様**：上絵で草花文、色は不明。**釉色**：外面－呉須、内面－透明釉、白化粧。**施釉**：内外面施釉。**素地**：褐色。 | せ-17 黒色土層0～30 |
| | 15 | | Ⅲ－中 | 口～胴 | (9.4) | － | － | **形態**：丸型b、注口は5回穿孔し大孔に。**文様**：無文。**釉色**：外面－呉須、内面－透明釉、白化粧。**施釉**：外面－施釉、内面－口唇のみ釉剥ぎ。**素地**：乳色。 | て-12 遺物集中部 |
| | 15 | | | 底 | － | － | 8.4 | **形態**：丸型。**文様**：無文。**釉色**：外面－腰部まで呉須、腰部は白化粧、内面－白化粧。**施釉**：外面－呉須、内面－透明釉、白化粧。**素地**：灰～乳色。 | た-13 地山直上 |
| | 16 | | Ⅲ－小 | 口～胴 | 5.6 | － | － | **形態**：丸型b。**文様**：五彩、梅花文。**釉色**：透明釉、白化粧。**施釉**：内外面施釉、外面の胴下部は白化粧なし。**素地**：乳色。 | す･せ-18黒色混礫土層 |
| | 17 | | Ⅰb－中 | 口～胴 | 6 | － | － | **形態**：胴下部で鍔状、注口は3孔。**文様**：無文。**釉色**：鉄釉。**施釉**：外面－～胴下部まで、内面－無釉。**素地**：灰～橙色。最大胴径15.9cm。 | せ-16･17 黒色土層 |
| 第61図・図版44 | 18 | 急須 | Ⅰc－大 | 口～底 | 10 | 16.2 | 10.3 | **形態**：直口－短頸、口縁の外縁を削る、注口は3.4cm。**文様**：無文。**釉色**：黒釉。**施釉**：外面－腰部途中まで施釉、口唇縁部、周辺無釉、外底－施釉、内面－施釉。**素地**：乳～灰褐色。 | せ-17 黒色土層30～50 |
| | 19 | | Ⅰc－大 | 口～底 | 10.9 | 11 | 17.6 | **形態**：口唇部は外側に斜めに削る、胴部に張る、底部から胴部にかけて若干張りながら立ち上がる。**文様**：無文。**釉色**：黒釉。**施釉**：釉は外面は底部より、若干立ち上がるところまで黒釉、内面も薄く、全面に施釉する。**素地**：灰褐色。 | せ-18石灰岩礫集中部上面黒色土層40～50 |
| | 20 | | | 把手 | － | － | － | **形態**：横断面は弧状、把手幅45.8mm。**文様**：無文。**釉色**：黒釉が主だが茶褐色を含む。**施釉**：全面施釉。**素地**：乳褐色。 | ち-9 石段上黒色土層 |
| | 21 | | Ⅰc－中 | 把手 | － | － | － | **形態**：横断面が長方形、把手幅35.4mm。**文様**：無文。**釉色**：黒釉。**施釉**：全面施釉。**素地**：灰褐色。 | ち-13 石垣裏込め内 |
| | 22 | | Ⅰ－小 | 把手 | － | － | － | **形態**：幅21.3mm×厚さ8.0mm。**文様**：無文。**釉色**：透明釉。**施釉**：全面施釉。**素地**：乳白色。 | し-17 地山直上黒色土層 |
| | 23 | | Ⅲ－中 | 把手 | － | － | － | **形態**：横断面－弧状、把手幅34.3mm。**文様**：呉須と飴釉の二彩。**釉色**：透明釉、白化粧。**施釉**：全面施釉。**素地**：乳白色。 | さ-17･18崖部石垣状遺構上黒色混礫土層 |
| | 24 | | | | － | － | － | **形態**：両端に溝を作る、把手幅2.8mm×厚さ15.6mm。**文様**：無文。**釉色**：緑釉。**施釉**：全面施釉。**素地**：灰褐色。 | せ-17 暗褐色混礫土層 |
| | 25 | | Ⅰc－中 | 把手 | － | － | － | **形態**：断面－弧状、幅29.4mm、器体部に径26.6mmの孔をあけて把手を装着する。**文様**：無文。**釉色**：黒釉。**施釉**：内面－部分。**素地**：灰褐色、白粒少量混入、胎土は褐釉の可能性もある。 | せ-17 黒色土層30～50 |
| | 26 | 片口水注 | Ⅰc | 口 | 17.2 | － | － | **形態**：内彎口縁、断面内に肥厚。**文様**：無文。**釉色**：黒釉。**施釉**：内外面施釉、口唇アルミナ。**素地**：乳褐色、器厚8.5mm。 | て-13 遺物集中部 |
| | 27 | その他 | Ⅰc | 口～底 | 17.8 | 12.1 | 10.6 | **形態**：内彎口縁、断面－内に若干肥厚。**文様**：無文。**釉色**：内外面とも黒釉。**施釉**：口唇はアルミナ、外面－～腰部まで施釉、内底－蛇の目釉剥ぎ。**素地**：乳褐色、黒色物質細粒混入、器厚7.9mm。 | て-12 遺物集中部0～20 |

注　法量の項の「－」は測定不可、(　)は推算径、観察事項の「－」は不明

## 第24表　沖縄産施釉陶器観察一覧(7)

単位：cm

| 図 | 番号 | 器種 | 小分類 | 部位 | 口径 | 器高 | 底径 | 観察事項 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第61図・図版44 | 28 | 水注 | ― | 口～底 | 7.8 | 11.3 | 8 | **形態**：竹筒状に作り、内唇に蓋受け部の張りがある。**文様**：注口を中心に葉の文様を左右に配する。**釉色**：緑釉。**施釉**：外面一畳付け無釉。**素地**：暗灰色、白色混入。 | せ-17<br>黒色土層60～80 |
| | 29 | カラカラ | Ⅲ－A | 注口 | 5 | ― | ― | **形態**：注口は短く、先端は下に若干彎曲する、孔は9㎜を測る。**文様**：無文。**釉色**：緑釉。**施釉**：外面一施釉。内面一無釉。**素地**：灰褐色。 | そ-11<br>攪乱土壙内 |
| | 30 | | Ⅰ－A | 底 | ― | ― | 7.4 | **形態**：高台、内縁を削る。**文様**：横位に２本の圏線とその上部に斜文。**釉色**：透明釉。**施釉**：外面一～腰部まで施釉、内面一無釉。**素地**：暗灰色。 | す-18遺物礫集中<br>黒色土層20～40 |
| | 31 | | Ⅲ | 口 | 4.6 | ― | ― | **形態**：朝顔状、口唇は舌状に尖る。**文様**：内唇部を呉須に塗る。**釉色**：透明釉。**施釉**：内外面施釉。**素地**：乳～暗灰色。 | せ-17<br>黒色混礫土層 |
| | 32 | | Ⅳ－B | 底 | ― | ― | 8.5 | **形態**：胴部は「く」の字に曲がる。**文様**：胴上部に幾何学文様を線彫りし、灰色と茶釉を掛ける、線彫りの線は鋭い。**釉色**：透明釉。**施釉**：外底一白化粧のみ、内面一無釉。**素地**：白灰色。 | て-12<br>遺物集中部<br>0～20 |
| | 33 | | Ⅲ－A | 胴 | ― | ― | ― | **形態**：丸味。**文様**：二彩と線彫りを口縁を中心に放射状に施す。**釉色**：透明に白化粧、その後呉須と飴釉。**施釉**：外面一施釉。**素地**：褐色。最大胴径12.5㎝。 | と-12<br>遺物集中部0～20 |
| | 34 | | | 底 | ― | ― | 7.7 | **形態**：胴部は丸、高台は内縁に削る。注口8㎜。**文様**：頸部を中心に放射状に線彫り、その上に呉須と飴釉を施釉。**釉色**：透明釉。**施釉**：外面一畳付け無釉。**素地**：乳色。 | と-12<br>遺物集中部<br>0～20 |
| | 35 | 角瓶 | Ⅰa | 底 | ― | ― | ― | **形態**：板状の製品、内底に布目痕。**文様**：無文。**釉色**：透明釉。**施釉**：外面一施釉、内面一無釉。**素地**：灰褐色。 | す-18<br>石灰岩礫集中部 |
| | 36 | 瓶 | Ⅰa－A | 胴 | ― | ― | ― | **形態**：丸、薄手。**文様**：無文。**釉色**：灰釉。**施釉**：外面一施釉、内面一無釉。**素地**：褐色、器厚3.2㎜。 | そ-13･14石垣横の<br>石列前面黒色土<br>層40～60 |
| | 37 | 水滴 | Ⅰc－A | 注口 | ― | ― | 最大胴<br>6.4 | **形態**：胴部は丸。**文様**：無文。**釉色**：黒釉。**施釉**：外面一施釉、内面一無釉。**素地**：灰褐色。 | た-14<br>暗褐色土層40～50 |
| | 38 | | Ⅰb－A | 頸 | ― | ― | 最大胴<br>5.4 | **形態**：胴部は丸。**文様**：無文。**釉色**：茶褐色。**施釉**：内外面施釉。**素地**：1mm石英混入。 | ち-13<br>地山直上 |
| | 39 | | Ⅰc－A | 胴 | ― | ― | 最大胴<br>8 | **形態**：水滴か。**文様**：無文。**釉色**：黒釉。**施釉**：外面一施釉、内面一無釉。**素地**：灰褐色。 | 表採 |
| | 40 | | Ⅰc－B | 注口 | ― | ― | 最大胴<br>7 | **形態**：筒状。**文様**：無文。**釉色**：灰～黒釉。**施釉**：外面一施釉。**素地**：灰褐色、白粒を多量含む。 | せ-16<br>遺構190 |
| | 41 | 小壺 | Ⅲ | 口 | 5 | ― | ― | **形態**：ナデ肩。**文様**：無文。**釉色**：緑釉。**施釉**：外面一施釉、内面一口唇～無釉。**素地**：灰褐色。 | つ-13<br>黒褐色礫混り層 |
| 第62図・図版45 | 1 | 蓋 | Ⅰc－A<br>① | 口 | 14.8 | ― | ― | **形態**：口唇、玉縁状で胴部に膨らむ。**文様**：無文。**釉色**：黒釉。**施釉**：外面一口唇無釉、内面一無釉。**素地**：灰褐色。 | せ-17<br>黒色土層0～30 |
| | 2 | | | | 15.4 | ― | ― | **形態**：口縁は口折れ。**文様**：無文。**釉色**：黒釉。**施釉**：外面一口唇無釉、内面一無釉。**素地**：乳褐色。 | つ-9<br>石段上黒色土層 |
| | 3 | | | | 14.2 | ― | ― | **形態**：外反口縁。**文様**：無文。**釉色**：黒釉。**施釉**：口唇は釉剥ぎ。**素地**：灰褐色、白･黒細粒混入、焼成良好。 | ち-13<br>黒色土層20～30 |
| | 4 | | | | 16.8 | ― | ― | **形態**：外反口縁。**文様**：無文。**釉色**：黒釉。**施釉**：外面一口唇無釉、内面一口唇アルミナ。**素地**：灰褐色。 | せ-17<br>黒色土層 |
| | 5 | | | | 18.2 | ― | ― | **形態**：口は玉縁状。**文様**：外面一轆轤痕で文様か。**釉色**：黒釉。**施釉**：外面一口唇まで施釉、内面一口唇アルミナ、他は無釉。**素地**：乳色。 | せ･そ-13<br>遺構57 |
| | 6 | | | | 16 | ― | ― | **形態**：口縁一玉縁。**文様**：無文。**釉色**：黒釉。**施釉**：口唇一アルミナ、内面一白化粧。**素地**：灰褐色。 | せ･そ-13<br>遺構57 |
| | 7 | | | | 7 | 5.6 | 16.2 | **形態**：直口口縁、丸味。**文様**：無文。**釉色**：黒釉。**施釉**：口唇一無釉、内面一無釉。**素地**：乳褐色。 | せ-17<br>黒褐色混礫土層 |
| | 8 | | | 底 | ― | ― | 6.8 | **形態**：高台方柱状。**文様**：無文。**釉色**：黒釉。**施釉**：外面一～高台脇まで施釉、内面一無釉。**素地**：茶褐色。 | す-18石炭層礫集<br>中黒色土層40～50 |
| | 9 | | | | ― | ― | 4.6 | **形態**：高台は逆「ハ」字状。**文様**：無文。**釉色**：黒釉。**施釉**：外面一畳付けアルミナ、外底は無釉、内面一無釉。**素地**：灰褐色と茶褐色のサンドイッチ状。 | せ-15･16<br>岩盤にへばりつい<br>た黒色土層 |
| | 10 | | | 口 | 16 | ― | ― | **形態**：口唇一丸味。**文様**：三島手、トビガンナと圏線の組み合わせ。**釉色**：透明釉。**施釉**：外面一口唇無釉。内面一無釉。**素地**：灰褐色。 | せ-17<br>黒色土層0～30 |
| | 11 | | Ⅰa－A | 口 | 12.4 | ― | ― | **形態**：直口口縁。**文様**：幅1㎜の三条の沈線。**釉色**：透明釉。**施釉**：外面一口縁近くまで施釉、内面一部分的に施釉。**素地**：灰褐色。 | て-13<br>遺物集中部 |
| | 12 | | Ⅰa－A<br>① | 底 | ― | ― | 4.4 | **形態**：高台方柱状。**文様**：外面に白粘土を不規則に塗り文様とする、高台いわゆる畳付け部分にアルミナを施す。**釉色**：透明釉。**施釉**：内外面施釉、畳付け白化粧。**素地**：灰褐色。 | す･せ-18<br>黒色土層0～30 |
| | 13 | | Ⅲ－Bイ<br>③ | 口～底 | 5.7 | 2.5 | 4.5 | **形態**：鍔、脚は舌状。**文様**：三島手、上面に撮みを中心に二条の圏線、縁に一条の圏線を配し、その間を縦に３本１組にして沈線を配する、白粘土を埋める。**釉色**：透明釉、白化粧無し。**施釉**：外面一～鍔まで施釉。**素地**：暗灰色。 | し-17<br>崖部墓口?前面<br>黒色混礫土層 |
| | 14 | | Ⅰc－Bイ<br>③ | 口～底 | 7.8 | 3.1 | 6 | **形態**：鍔、脚は舌状、孔は撮み横に斜めに径6.1㎜。**文様**：無文。**釉色**：黒釉。**施釉**：外面一～鍔まで施釉。**素地**：灰褐色。 | せ-17黒褐色混礫<br>土層90～100 |
| | 15 | | Ⅰb－Bイ<br>③ | 口～底 | 7.2 | 2.2 | 5.4 | **形態**：鍔、口縁は角、脚は舌状。**文様**：無文。**釉色**：鉄釉。**施釉**：外面一施釉、内面一無釉。**素地**：乳褐色。 | て-12遺物集中部<br>黒色土層 |
| | 16 | | Ⅰ－Bイ<br>③ | 口～底 | 6.7 | 2.7 | 5 | **形態**：鍔有、脚は丸味。**文様**：無文。**釉色**：失透釉。**施釉**：外面一～鍔まで。**素地**：灰褐色。 | す-18<br>黒色土層 |
| | 17 | | Ⅲ－B<br>③ | 口～底 | 9 | 4.1 | 6.7 | **形態**：鍔、脚は舌状。**文様**：十字状に葉文と格子文を一対ずつ施し、その上を呉須で塗る。**釉色**：透明釉、白化粧、呉須。**施釉**：外面一～鍔まで。**素地**：乳色。 | 15トレンチ東側岩上<br>黒色土層最上部 |
| | 18 | | Ⅲ－Bイ<br>③ | 口～底 | 5.4 | 2.4 | 3.5 | **形態**：鍔、脚は舌状、孔は5.6㎜外から内にあける。**文様**：無文。**釉色**：呉須。**施釉**：外面一～鍔まで。**素地**：白灰色。 | て-11<br>東側畦 |
| | 19 | | Ⅰa－Bロ<br>③ | 口～底 | 5.1 | 2.3 | 3.9 | **形態**：鍔、脚は舌状、孔は中央に3.4㎜。**文様**：無文。**釉色**：透明釉。**施釉**：外面一～鍔まで。**素地**：灰白色。 | せ-17<br>黒色土層60～80 |

注　法量の項の「―」は測定不可、(　)は推算径、観察事項の「―」は不明

## 第24表　沖縄産施釉陶器観察一覧(8)

単位：cm

| 図 | 番号 | 器種 | 小分類 | 部位 | 口径 | 器高 | 底径 | 観察事項 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第62図・図版45 | 20 | 蓋 | Ⅰa－B ② | 口～底 | 6.1 | 2.3 | － | **形態**：脚台なし、孔4㎜外から穿孔。**文様**：段を形成することによって装飾する。**釉色**：透明釉。**施釉**：外面－施釉、内面－白化粧。**素地**：乳白色。 | つ-13 遺物集中部0～20 |
| | 21 | | Ⅲ－Bイ ④ | 口～底 | 11 | － | － | **形態**：鍔は短く膨らむ、脚も短い。**文様**：縁と撮み近くに2本の圏線を施し、その間に草花文を呉須で施す、草花の単位は2個と思われる、呉須は淡い。**釉色**：透明釉、白化粧。**施釉**：外面－施釉、内面－白化粧。**素地**：灰色。 | す-18 遺物礫集中部 茶褐色土層20～40 |
| | 22 | | Ⅱ－A ① | 口～底 | 11.6 | (1.9) | 10 | 形態：鍔、口唇は台形状、脚は内彎し丸味。**文様**：三島手、2本の圏線、その間にトビガンナ。**釉色**：透明釉。**施釉**：外面－施釉。**素地**：灰褐色。 | レストハウス横岩上 北側 |
| | 23 | | Ⅲ－B ③ | 口～底 | 8.6 | 3.3 | 6.9 | **形態**：鍔、口唇角状、脚は内彎舌状。**文様**：鉄釉を垂らす、アクセントになる。**釉色**：透明釉、白化粧。**施釉**：外面－施釉、内面－白化粧。**素地**：灰褐色。 | と-12 遺物集中部0～20 |
| | 24 | | Ⅰc－C ② | 口～底 | 10.8 | (2.1) | 6.7 | **形態**：鍔、口縁·脚は舌状。**文様**：外面のほぼ中央に三条の沈線文。**釉色**：黒釉。**施釉**：外面－～鍔まで。**素地**：茶褐色。 | 撹乱 |
| | 25 | | Ⅰc－B ② | 口～底 | 11.1 | 4.3 | 8.2 | **形態**：鍔状、有段、口唇は角を呈す、脚は舌状。**文様**：無文。**釉色**：黒釉。**施釉**：外面－～鍔まで、内面－鍔に白化粧。**素地**：灰褐色。 | て-12 遺物集中部0～20 |
| | 26 | | Ⅰc－A ② | 口～底 | 11.7 | 4.2 | 6.5 | **形態**：鍔、口唇角状、脚は逆台形。**文様**：外面の高台近くを幅15㎜ほど釉を掻き取り加飾にする、口縁近くは沈線を二条施す。**釉色**：黒釉。**施釉**：外面－胴部部分、内面－無釉。**素地**：茶褐色、焼成良好。 | と-12 遺物集中部 0～20 |
| | 27 | | | | 12.4 | 3.5 | 7.4 | 形態：口縁断面、角。**文様**：2本の圏線。**釉色**：黒釉。**施釉**：外面－施釉、胴部を釉剥ぎ、内面－無釉。**素地**：乳白色。 | て-12 遺物集中部0～20 |
| 第63図・図版46 | 1 | 瓶 | Ⅰc | 口 | 3.7 | － | － | **形態**：短頸、口唇肥厚。**文様**：無文。**釉色**：黒釉。**施釉**：内外面施釉。**素地**：灰褐色、石英混入、ザラザラ。 | せ-17 黒色土層60～70 |
| | 2 | | | | 3 | － | － | 形態：短頸、「L」に肥厚。**文様**：無文。**釉色**：黒釉。**施釉**：外面－施釉、内面－口唇まで施釉。**素地**：灰褐色。 | し-17崖部墓口?前面黒色混礫土層 |
| | 3 | | | 胴 | － | － | 最大胴7 | 形態：茄子状。**文様**：格子文と黒釉の組み合わせ。**釉色**：黒釉。**施釉**：外面は部分、内面は無釉。**素地**：灰褐色、焼成良好。 | し-17崖部墓口?前面黒色混礫土層 |
| | 4 | | Ⅲ | 口 | 4.9 | － | － | 形態：長頸で朝顔状。**文様**：無文。**釉色**：透明釉、白化粧。**施釉**：外面－施釉、内面－～頸部まで。**素地**：乳褐色。 | す-18遺物礫集中 黒色土層20～40 |
| | 5 | | | | 2.4 | － | － | **形態**：直頸で直口口縁。**文様**：青と黄を交互に彩色する。**釉色**：白化粧と二彩。**施釉**：外面－二彩、内面－白化粧。**素地**：乳褐色。 | せ-16黒色混礫土層 炭層上黒色土層 |
| | 6 | | | | 6.6 | － | － | **形態**：長頸で朝顔状。**文様**：口唇に呉須。**釉色**：透明釉、白化粧、呉須を彩色。**施釉**：内外面施釉。**素地**：褐色。 | て-12 黒褐色礫混り層 |
| | 7 | | Ⅰc | 頸 | － | － | 胴径4 | 形態：長頸。**文様**：頸部凸になり、竹節状。**釉色**：黒釉。**施釉**：外面－施釉。内面－無釉。**素地**：灰褐色。 | て-12 遺物集中部 |
| | 8 | | | | 頸径3 | － | － | 形態：双耳、長頸。**文様**：無文。**釉色**：黒釉。**施釉**：外面－施釉、内面－無釉。**素地**：茶褐色。 | せ-17東西畦黒色 混礫土層2層 |
| | 9 | | Ⅲ | 胴 | 頸径 2.2 | － | 胴径 6.8 | 形態：長頸。**文様**：呉須と沈線文の組み合わせ。**釉色**：透明釉、白化粧。**施釉**：内面－無釉。**素地**：灰褐色。 | て·と-11·12 黒色土層0～10 |
| | 10 | | | 底 | － | － | 4.9 | 形態：高台のタイプ、胴部は僅かに張る。**文様**：無文。**釉色**：透明釉、白化粧。**施釉**：外面－高台無釉、内面－無釉。**素地**：乳白色。 | て-11 遺物集中部 |
| | 11 | | Ⅰc | 底 | － | － | 4.8 | 形態：上げ底状、胴部は張る。**文様**：無文。**釉色**：黒釉。**施釉**：外面－～腰部まで施釉、内面－無釉。**素地**：赤褐色。 | せ-18石灰岩礫集 中部黒色土層 |
| | 12 | | | 胴 | 胴径 5.4 | － | － | **形態**：胴部は筒状。**文様**：無文。**釉色**：黒釉。**施釉**：外面－高台無釉、内面－無釉。**素地**：乳色。 | 12トレンチ東側 |
| | 13 | | | 脚 | 9.8 | － | － | 形態：脚台、下部は太くなる。**文様**：無文。**釉色**：黒釉。**施釉**：外面－斑、内面－無釉。**素地**：灰褐色。 | せ-17黒褐色混礫 土層100～110 |
| | 14 | | Ⅲ | 底 | － | － | 7 | 形態：胴は茄子形、高台は低い脚。**文様**：菊花スタンプと叉状沈線の組み合わせ。**釉色**：透明釉、白化粧。**施釉**：外面－トビガンナ、内面－無釉。**素地**：灰褐色。 | せ-17旧階段横2列 右列下黒色混礫 土層 |
| | 15 | | | 底 | － | － | 6.8 | 形態：双耳、長頸、低い脚。**文様**：呉須と黄釉で草花文。**釉色**：透明釉、白化粧。**施釉**：外面－畳付け～高台は白化粧のみ、内面－無釉。**素地**：茶褐色。 | て-13 遺物集中部 |
| | 16 | | | 胴 | 最大胴 8.2 | － | － | 形態：茄子形。**文様**：線彫りと二彩(呉須と黄釉)で草花文。**釉色**：外面－透明釉、内面－黒釉。**施釉**：内外面施釉。**素地**：灰褐色。 | せ-16 黒褐色混礫土層 |
| | 17 | | | 底 | － | － | 7.4 | **形態**：茄子形、低い脚台。**文様**：線彫りと二彩（呉須と黄釉）の組み合わせ。**釉色**：透明釉、白化粧。**施釉**：外面－畳付け白化粧、内面－無釉。**素地**：茶褐色。 | て-13 遺物集中部 |
| | 18 | | | 底 | － | － | 6 | 形態：長頸。**文様**：呉須と黄釉の横線の組み合わせ。**釉色**：透明釉、白化粧。**施釉**：外面－畳付け無釉、内面－無釉。**素地**：茶褐色。 | と-12 遺物集中部0～20 |
| | 19 | | | 口 | 5.6 | － | － | 形態：直口口縁。**文様**：無文。**釉色**：透明釉。**施釉**：外面－施釉、内面－口唇のみ貫入有り。**素地**：灰～乳褐色。 | つ-13·14岩盤付近 遺構集中部 |
| | 20 | 嘉瓶 | Ⅰc | 頸部 | － | － | 最大胴7.3 | 形態：長頸。肩部径6㎝。**文様**：無文。**釉色**：黒釉。**施釉**：内外面施釉。**素地**：灰褐色。 | そ-13·14壁面の漆喰 のある方形遺構内 |
| | 21 | | | 肩部 | － | － | 最大胴12.3 | 形態：2段に膨らむ、最大胴径12.4㎝。**文様**：無文。**釉色**：黒釉。**施釉**：内面－無釉。**素地**：灰褐色、器厚10.7㎜と厚い。 | 11トレンチ東側 |
| | 22 | 灯明具 | Ⅲ | 底 | 12.3 | － | 5.1 | **形態**：内彎口縁、糸切り。**文様**：無文。**釉色**：透明釉、器体部は白化粧。**施釉**：溶着有り。**素地**：灰褐色。 | と-12 遺物集中部0～20 |
| | 23 | | Ⅰc | 口～底 | － | 4.5 | 3.5 | **形態**：内彎口縁、糸切り。**文様**：無文。**釉色**：黒釉。**施釉**：外面－腰部まで施釉。**素地**：灰褐色。 | す-18遺物礫集中 部黒色土層20～40 |
| | 24 | | Ⅲ | 口～底 | 5.6 | 5.9 | 3.6 | 形態：直口口縁、糸切り。**文様**：呉須を口唇に掛ける。**釉色**：透明釉、白化粧。**施釉**：底面のみ無釉。**素地**：乳白色。 | て-12 遺物集中部0～20 |
| | 25 | | | | 5.9 | 10.6 | 7.2 | 形態：内彎口縁、脚台－高い、中心部分は炭が付着し破損。**文様**：無文。**釉色**：透明釉、白化粧。**施釉**：外面－畳付け無釉、脚の内面は白化粧なし。**素地**：乳白色。 | せ-16 黒色混礫土層 炭層上 |
| | 26 | | | | 6.0 | 10.1 | 9 | 形態：内彎口縁、脚台－低い。**文様**：脚に透かし彫り。**釉色**：淡青釉、脚は泥釉。**施釉**：内外面施釉。**素地**：茶褐色、焼成良好。 | て-12 遺物集中部 |
| | 27 | | Ⅱ | 口～底 | 5.4 | 6.3 | 7.0 | 形態：直口口縁、脚台－低い。**文様**：脚台は透かし彫り。**釉色**：透明釉、白化粧、脚は黒釉。**施釉**：外面－畳付け無釉。**素地**：乳褐色。 | せ-17 黒褐色混礫土層 |

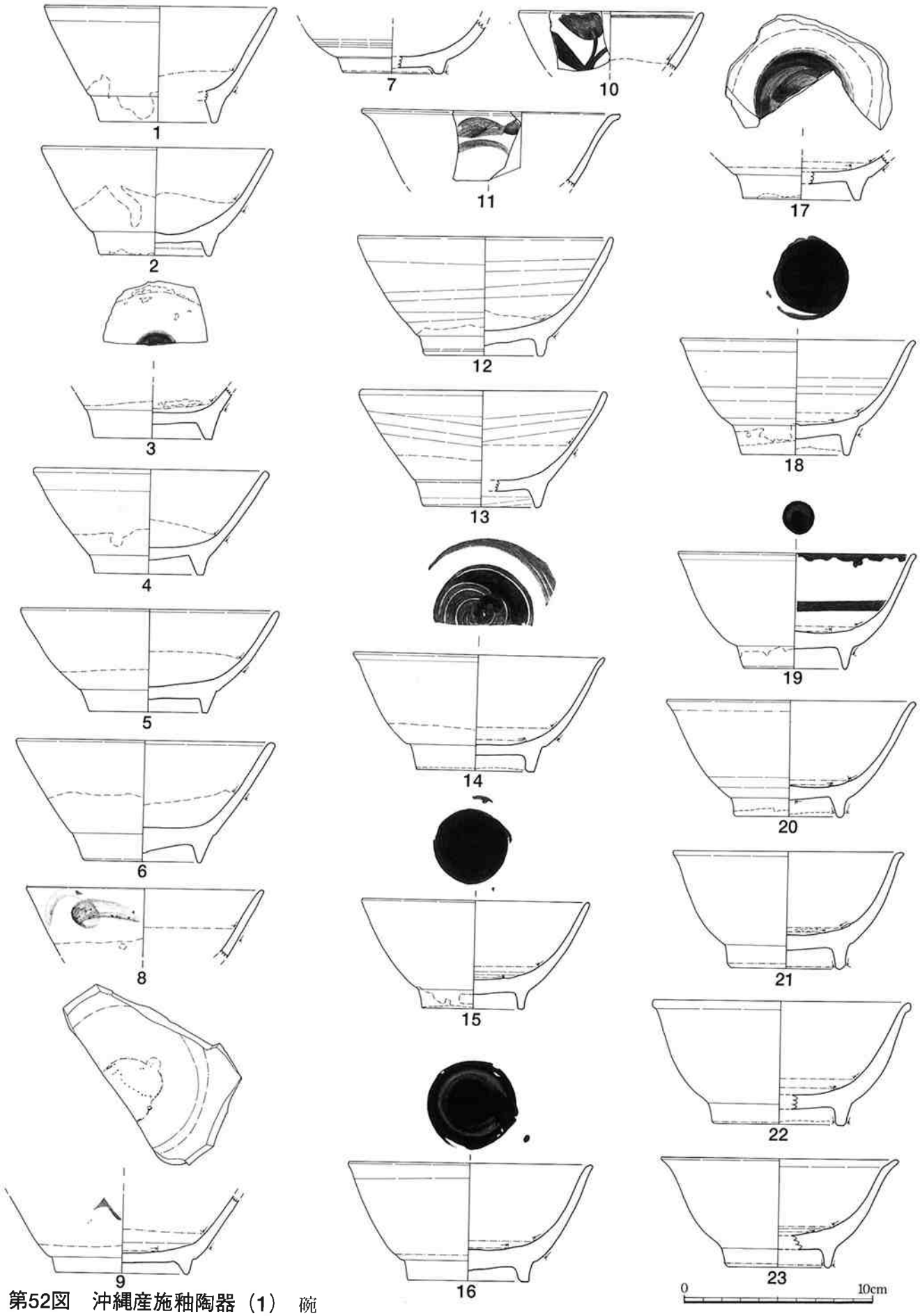
注：法量の項の「－」は測定不可、(　)は推算径、観察事項の「－」は不明

## 第24表　沖縄産施釉陶器観察一覧(9)

単位：cm

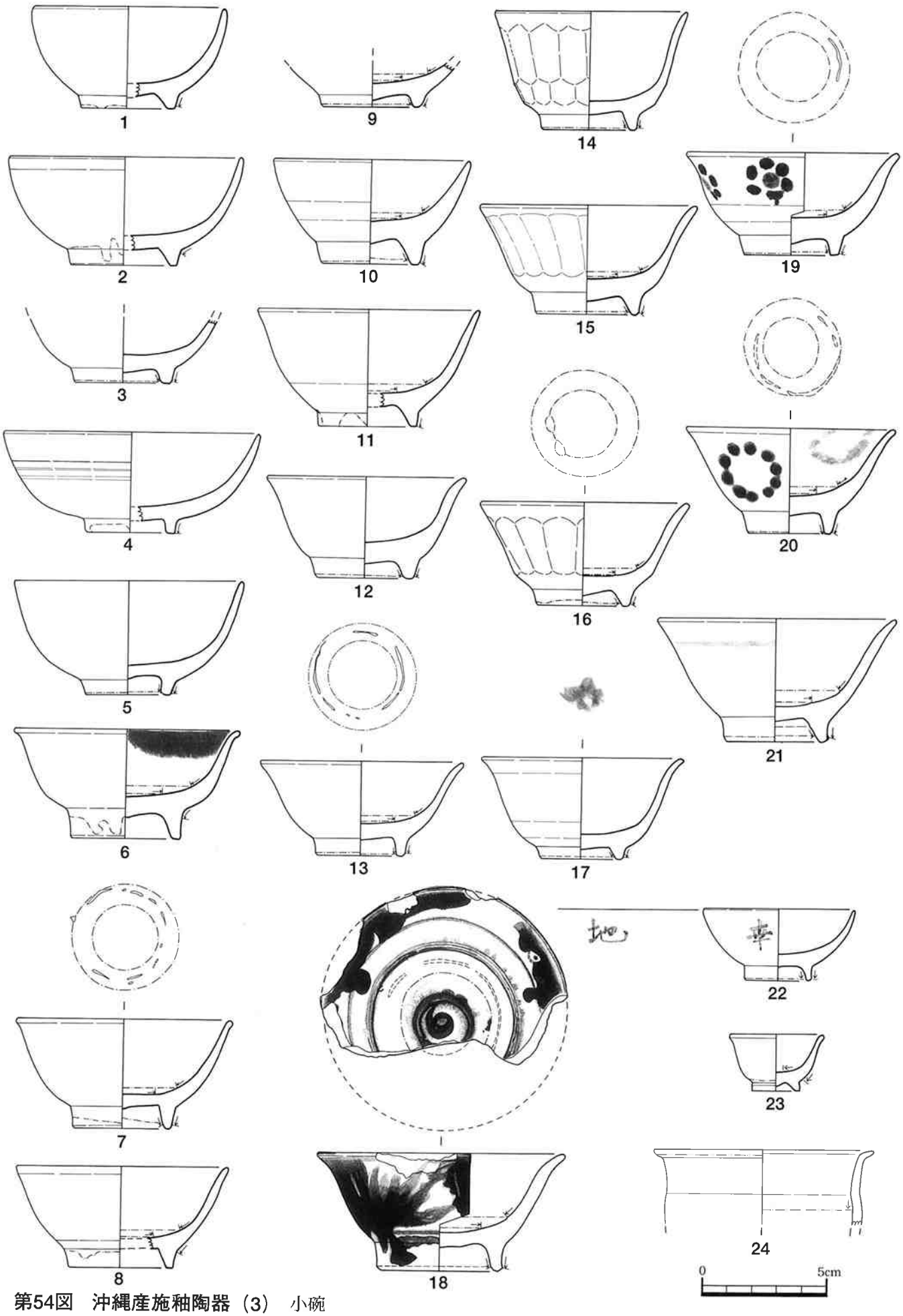
| 図 | 番号 | 器種 | 小分類 | 部位 | 口径 | 器高 | 底径 | 観察事項 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第64図・図版47 | 1 | 火取 | Ⅰa−A | 口 | 10.4 | − | − | **形態**：内彎口縁、断面−舌状。**文様**：無文。**釉色**：貫入有り。**施釉**：内外面、透明釉、内面は口唇から1部施釉。**素地**：乳白色。気泡有り。 | そ-17<br>黒色混礫土層 |
| | 2 | | Ⅰa−B | 口 | 9.8 | − | − | **形態**：筒状、内彎口縁、逆三角形。**文様**：白粘土を口唇に施釉し、文様をなす。**釉色**：透明釉。**施釉**：内面−無釉。**素地**：灰褐色。 | せ-17<br>黒褐色混礫土層 |
| | 3 | | Ⅰc−B | 底 | − | − | 6.2 | **形態**：筒状。**文様**：不明。**釉色**：黒釉。**施釉**：外面−腰部まで、内面−無釉。**素地**：暗灰色、焼成はかなり良い。 | せ-16<br>階段2上面 |
| | 4 | | | 口〜底 | 10.5 | − | 7.2 | **形態**：筒状、口縁断面丸味。**文様**：底部近くに幅1.5㎜の沈線を二条施す。**釉色**：黒釉。**施釉**：外面−高台近くまで。内面−口唇のみ。**素地**：乳褐色。 | せ-17黒色混礫土層90〜110 |
| | 5 | | | | 10.2 | 8.4 | 6.8 | **形態**：筒状、口唇丸味。**文様**：口縁及び底部に五条の沈線文。**釉色**：黒釉。**施釉**：外面−腰部まで、内面−口唇部のみ。**素地**：茶褐色。 | す-18石炭層礫集中黒色土層40〜50 |
| | 6 | | | 口 | 12 | − | − | **形態**：筒状、２段になる。**文様**：胴上部に幅広の沈線文を四条。**釉色**：黒釉。**施釉**：外面−施釉、内面−口唇のみ。**素地**：白灰色。 | せ-17黒色混礫土層100〜110 |
| | 7 | | | 口〜底 | 10.8 | − | 6.8 | **形態**：筒状、口縁断面は方形。**文様**：口唇に平行に二条の沈線、胴部は斜めに複数の沈線、まず左上から右下一条施し、次に右上から左下に5㎜間隔で数条施す、底部近くの胴部にも幅２〜３㎜の沈線を二条施す。中央の沈線の構成である。**釉色**：黒釉。**施釉**：外面−〜腰部まで施釉、内面−無釉。**素地**：乳褐色。 | せ-17<br>黒色土層0〜30 |
| | 8 | | | 底 | − | − | 6.6 | **形態**：筒状。**文様**：胴下部に六条の沈線を横位に施す、沈線の幅は2.3㎜と幅広である。**釉色**：黒釉に緑釉をかける。**施釉**：外面−〜腰部まで施釉、内面−無釉。**素地**：灰褐色。 | す-18遺物礫集中黒色土層20〜40 |
| | 9 | | Ⅰ−B | 底 | − | − | 6.8 | **形態**：筒状。**文様**：三島手、外面左右にトビガンナを施す。**釉色**：灰釉。**施釉**：外面−〜腰部まで施釉、内面−無釉。**素地**：茶褐色。 | せ･そ-13<br>遺構57 |
| | 10 | | Ⅲa−B | 口 | 9.8 | − | − | **形態**：筒状。**文様**：外面−呉須で山水文。**釉色**：透明釉。**施釉**：外面〜内唇施釉、内面−白化粧。**素地**：褐色。 | せ-17北側トレンチ黒褐色混礫階段2 |
| | 11 | | Ⅲ−B | 口〜底 | 10.3 | 7.7 | 7.2 | **形態**：直口口縁で断面は舌状、内側に剥離が見られる。**文様**：呉須で口唇部を一周。**釉色**：透明釉。**施釉**：外面−畳付け無釉、内面−口唇下２㎝まで施釉、他は白化粧、内底は白化粧のみ。**素地**：乳褐色。 | せ-16<br>黒色混礫土層<br>炭層上 |
| | 12 | | Ⅲa−B | 口〜底 | 10.4 | 8.4 | 7.2 | **形態**：筒状、内側に舌状。**文様**：呉須で幅1㎝前後のラフな圏線を３本施す。釉垂れの状況から伏せて施文。**釉色**：透明釉＋白化粧。**施釉**：口唇に釉剥ぎ、外面−畳付け無釉、内面−白化粧。**素地**：乳白色。 | と-12<br>遺物集中部0〜20 |
| | 13 | 香炉 | Ⅲ | 口〜底 | 15.4 | 8.6 | − | **形態**：口縁は逆「Ｌ」字、胴下部が膨らむ。**文様**：無文。**釉色**：緑釉＋白化粧。**施釉**：外面−〜腰部まで施釉、内面−口唇まで。**素地**：褐色。 | と-12<br>遺物集中部0〜20 |
| | 14 | 火炉 | Ⅰc−B | 底 | − | − | 9 | **形態**：筒状、底部は斜めになる。**文様**：胴上部に凹文を施す。**釉色**：黒色。**施釉**：外面−〜腰部まで施釉、内面−無釉。**素地**：乳白色。 | て-12<br>遺物集中部 |
| | 15 | | | | − | − | 8.8 | **形態**：筒状、高台は内側に削る。**文様**：胴上部に三条の幅広の沈線文、明瞭なケズリが見られる。**釉色**：黒釉。**施釉**：外面−〜腰部まで施釉、内面−無釉。**素地**：乳褐色。 | 13トレンチ東側 |
| | 16 | | Ⅰb−B | 底 | 13.2 | − | − | **形態**：筒状、口唇は幅２㎜の段、高台に抉り。**文様**：腰部に、幅沈線二条。**釉色**：銹釉。**施釉**：外面−〜腰部まで施釉。**素地**：乳褐色。 | て-12<br>遺物集中部 |
| | 17 | | Ⅰc−B | 口 | 13.8 | − | − | **形態**：筒状、内部に突起３個と抉りがある。**文様**：一条の沈線文。**釉色**：黒釉。**施釉**：口唇−無釉、外面−施釉、内面−口唇下２㎝まで。**素地**：乳褐色、焼成やや良い。 | ち-13<br>遺物集中部0〜20 |
| | 18 | | Ⅲ−B | 口 | 13.8 | 16.4 | 15.2 | **形態**：口−直口で内側に舌状になる、底−腰部は角を呈することから高台を成すと思われる。**文様**：文様器面全体に鉄釉で菱形状に文様を配し、その中央部に翡翠釉で色を施す。全体にこれらの文様で華やかに仕上がる。**釉色**：緑･黒･黄釉で三彩様。**施釉**：内面は、口縁より２㎝下まで施釉、その下部はアルミナを全体に施釉、外面は口縁から腰部まで施釉、口唇にはアルミナを施す。**素地**：胎土−乳白色、焼成ややあまい。 | せ-15<br>岩盤にへばりついた黒色土層 |
| | 19 | | Ⅰc−A ① | 口 | 25.2 | − | − | **形態**：内彎口縁、厚みがあり舌状を呈する、獣面の双耳。**文様**：耳の獅子面はかなり具象的で、下顎に長く髭が有るのが特徴である。**釉色**：黒釉。**施釉**：外面−施釉、内面−口唇下５㎝まで。**素地**：細かい、焼成も良い。 | す-18<br>黒色土層 |
| | 20 | | Ⅲ−A ① | 口 | 14.4 | − | − | **形態**：内彎口縁、胴部は張る、口−舌状。**文様**：釉を掛け分け三彩風。**釉色**：緑釉を斑に掛ける。**施釉**：内外面に翡翠釉を斑に施す。**素地**：灰褐色。 | せ･そ-13<br>遺構57 |
| | 21 | | Ⅰc−A ② | 口 | 20 | − | − | **形態**：内彎の張りが弱い。**文様**：無文。**釉色**：鉄〜黒釉。**施釉**：外面−施釉、内面−口唇下２㎝まで施釉。**素地**：乳褐色。 | す-18遺物礫集中部黒色土層20〜40 |
| | 22 | | Ⅰc−A | 底 | − | − | 8.4 | **形態**：膨らみを持ち三脚が付く、高台裏が若干低くなる、脚の付け根は径４㎝の丸で先端に細くなる。**文様**：無文。**釉色**：黒釉。**施釉**：畳付け及び高台裏は無釉、脚は施釉。**素地**：胎土−灰褐色、焼成良好。 | す-18<br>遺物礫集中部<br>黒色土層20〜40 |
| | 23 | | Ⅰa−C | 口 | 14.6 | − | − | **形態**：口縁断面は角を持ち、「Ｕ」字状に抉り、突起は斜めに削る。**文様**：三島手、口唇に菊花のスタンプを2㎝間隔で施し、口縁直下と胴下部に二条の圏線を施し、その間はトビガンナによる羽状文を数条施す。**釉色**：透明釉。**施釉**：内外面施釉。**素地**：灰褐色。 | せ-17<br>黒色土層30〜50 |
| | 24 | | | 胴 | − | − | 最大胴19 | **形態**：胴下部「く」字状に曲がる。**文様**：外面−胴上部はトビガンナと圏線の組み合わせ。**釉色**：透明釉と飴釉の上下の掛け分け。**施釉**：外面−胴上部は透明釉、下部は黒釉、内面は口唇のみ。**素地**：灰褐色。 | せ･そ-13<br>遺構57 |
| | 25 | | Ⅰa−D | 口 | 15.8 | − | − | **形態**：口唇は外面に「Ｌ」字状に突出する、短頸状。**文様**：頸部に細い凸帯文を配し、頸部及び胴上部に圏線を軸に、羽状の文様を施す。**釉色**：透明釉、文様は白粘土を埋め、三島手。**施釉**：内外面施釉。**素地**：灰褐色。 | す-18<br>遺物礫集中部<br>黒色土層20〜40 |

注　法量の項の「−」は測定不可、(　)は推算径、観察事項の「−」は不明

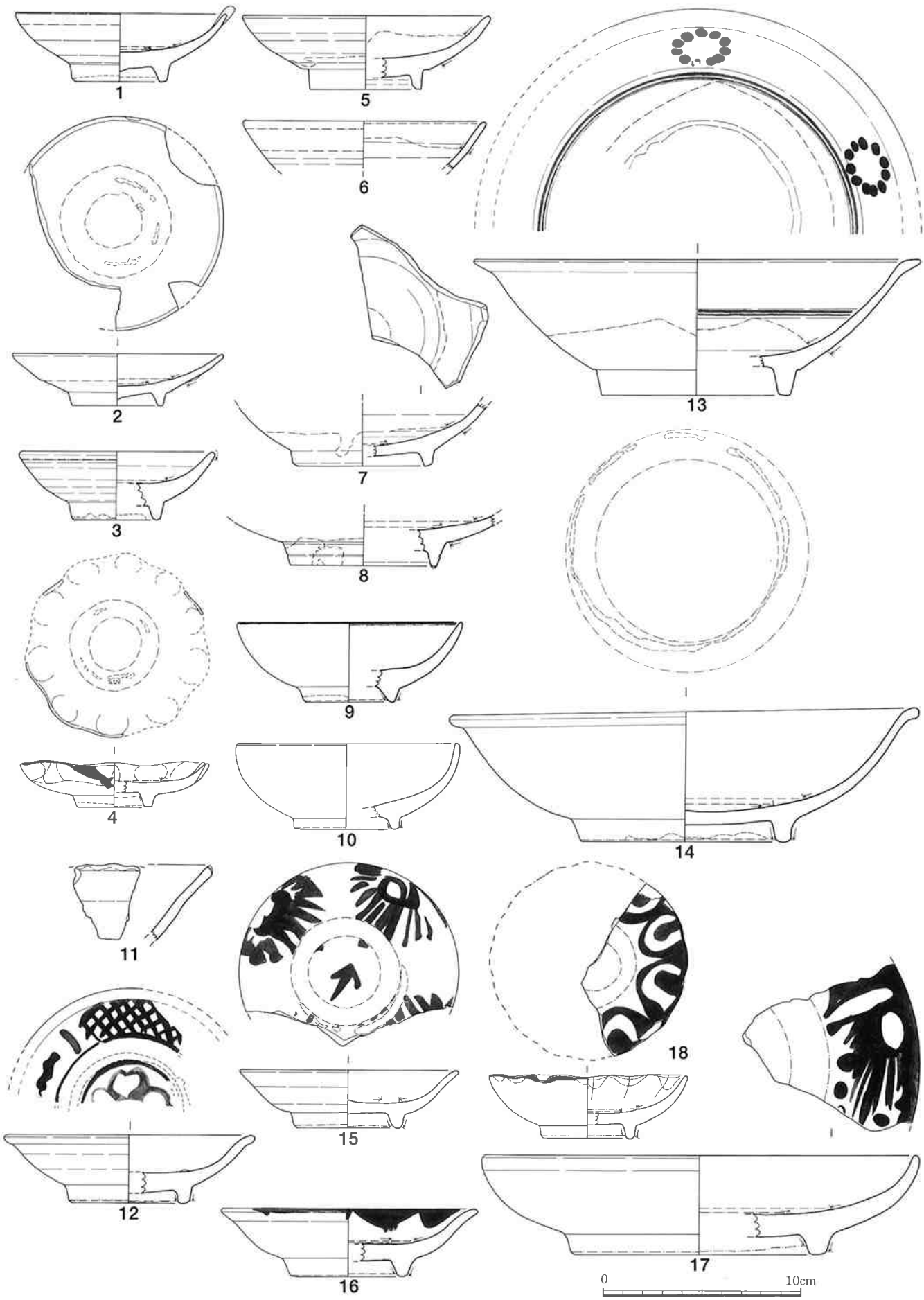



第52図　沖縄産施釉陶器（1）　碗

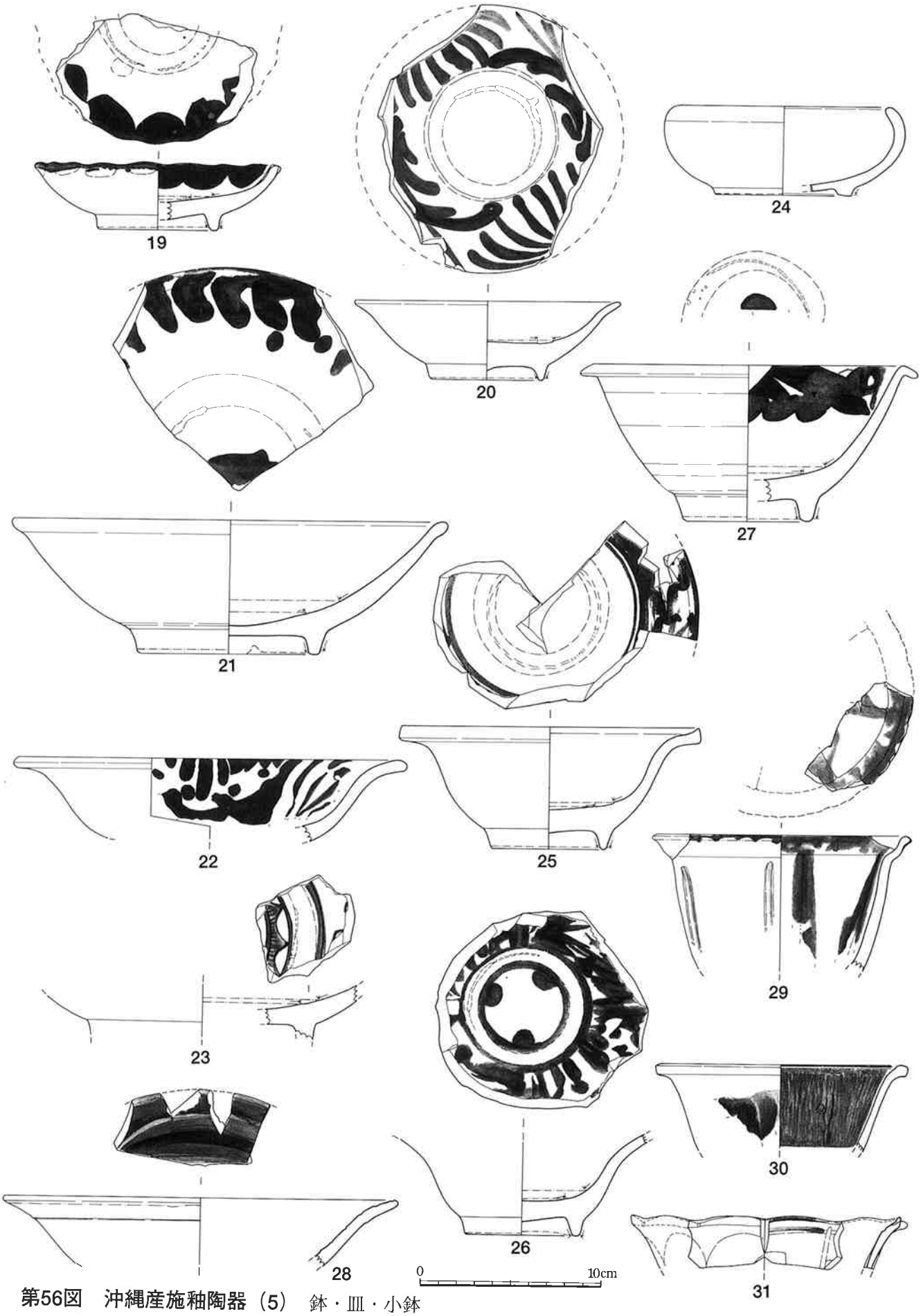
第53図　沖縄産施釉陶器（2）　碗



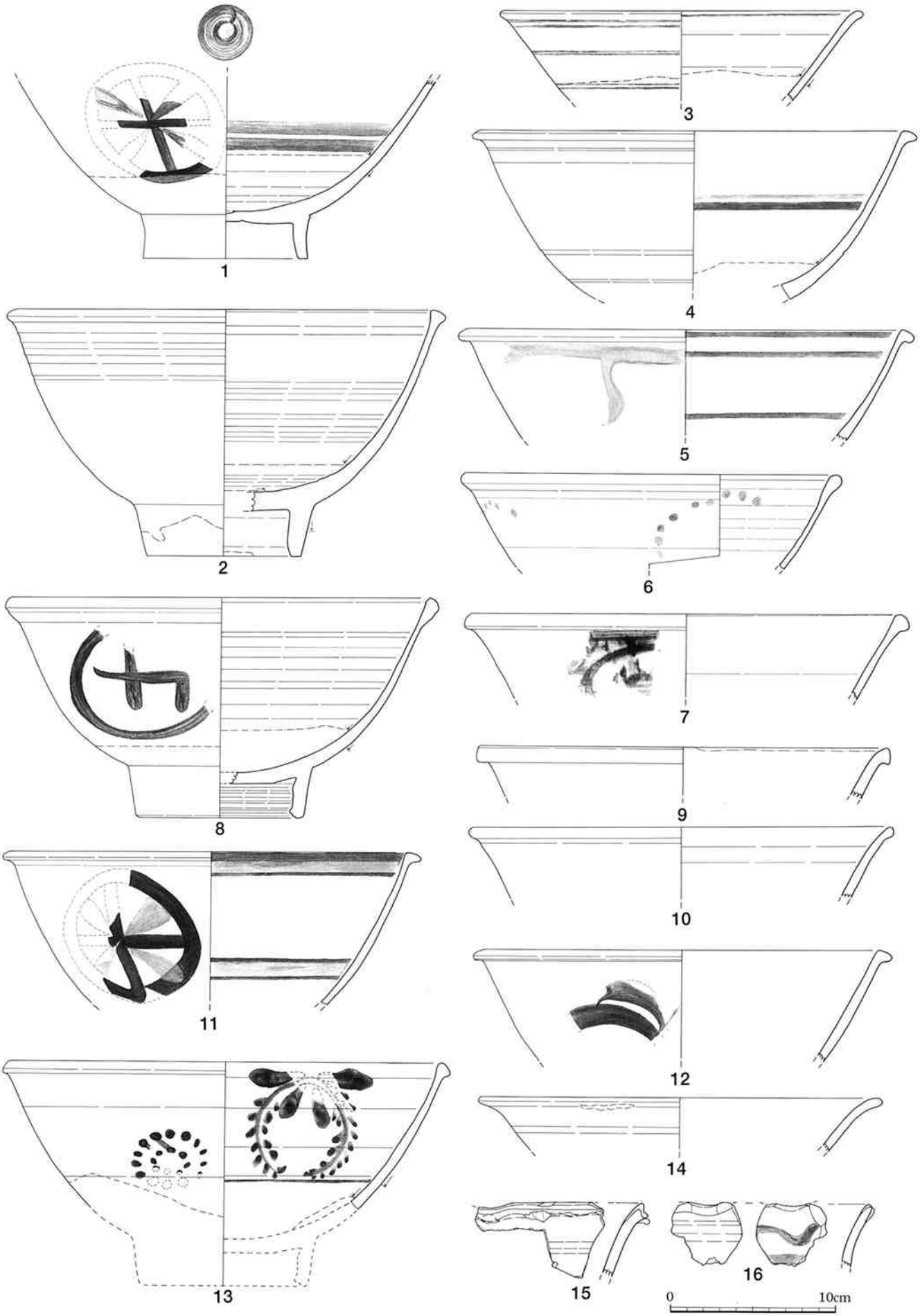

第54図　沖縄産施釉陶器（3）　小碗



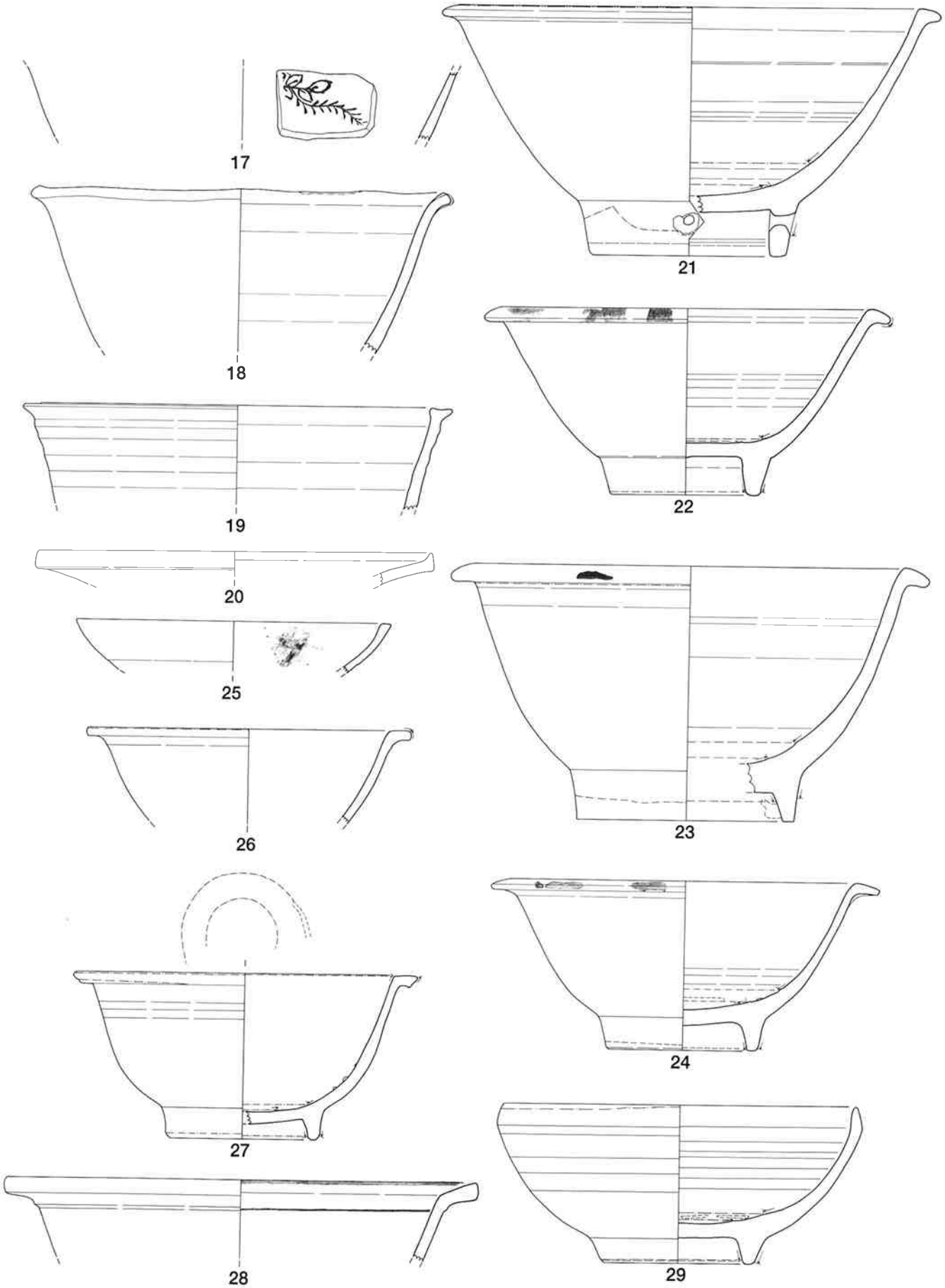

第55図　沖縄産施釉陶器（4）　皿



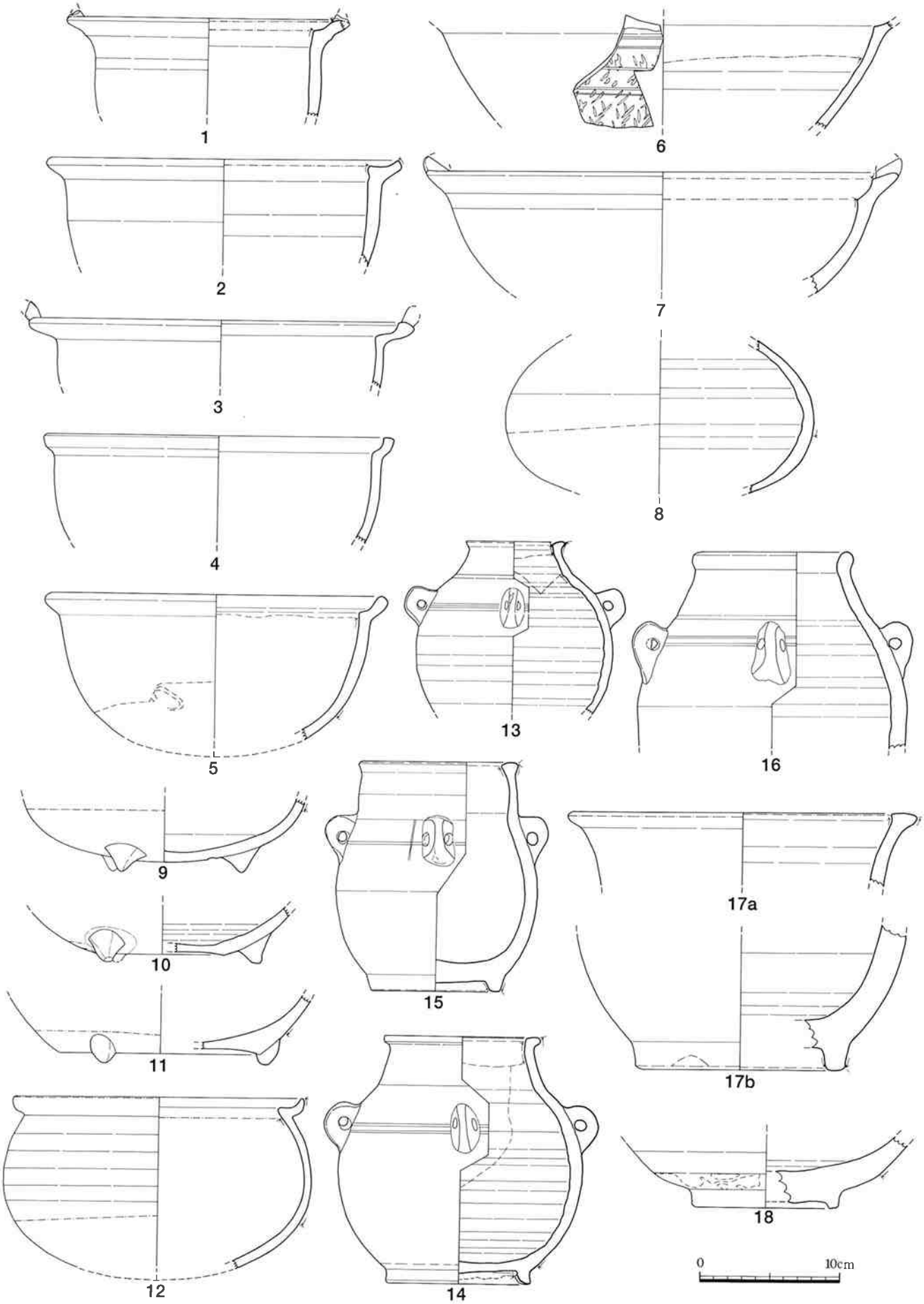

第56図　沖縄産施釉陶器（5）　鉢・皿・小鉢



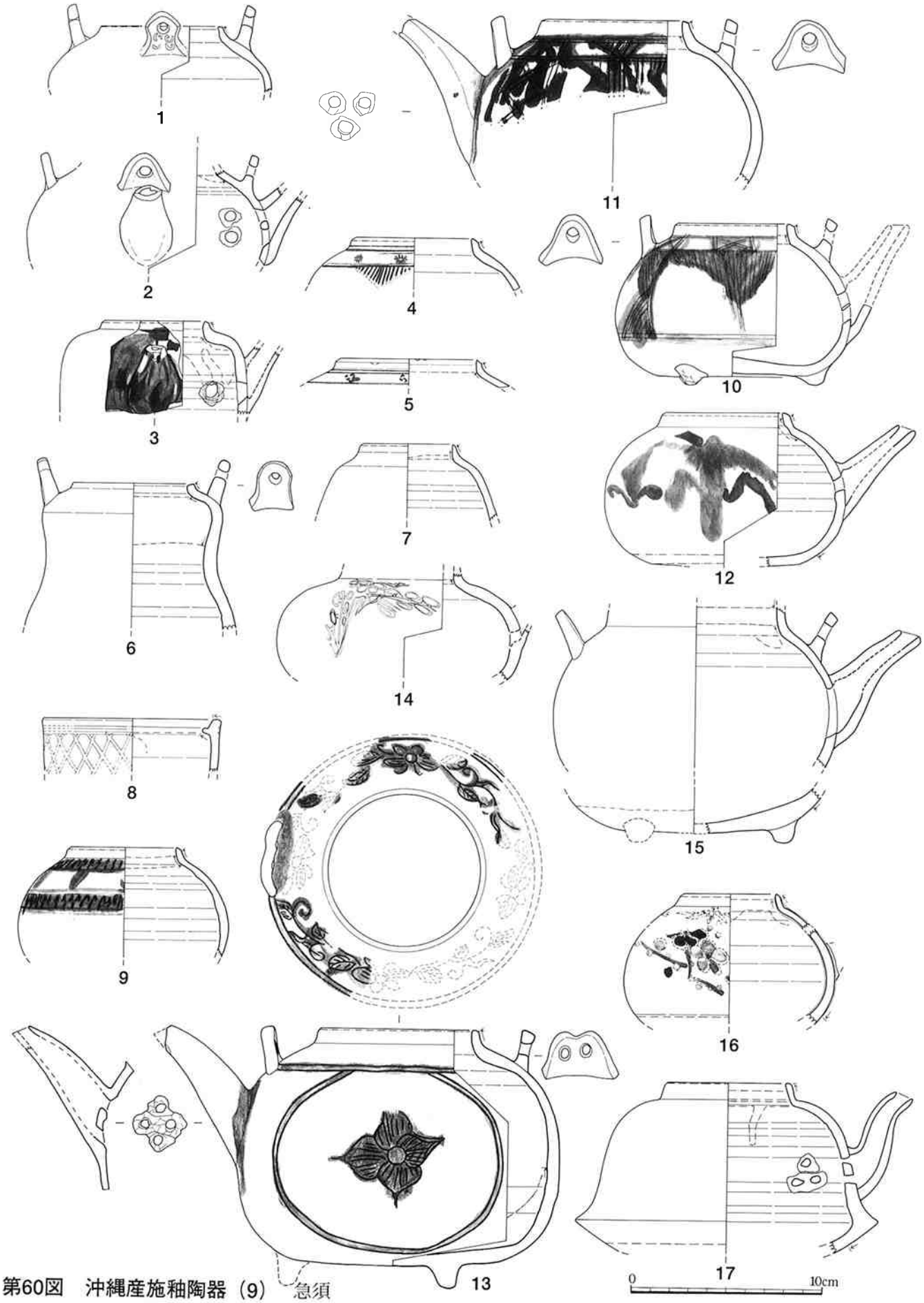

第57図　沖縄産施釉陶器（6）　鉢



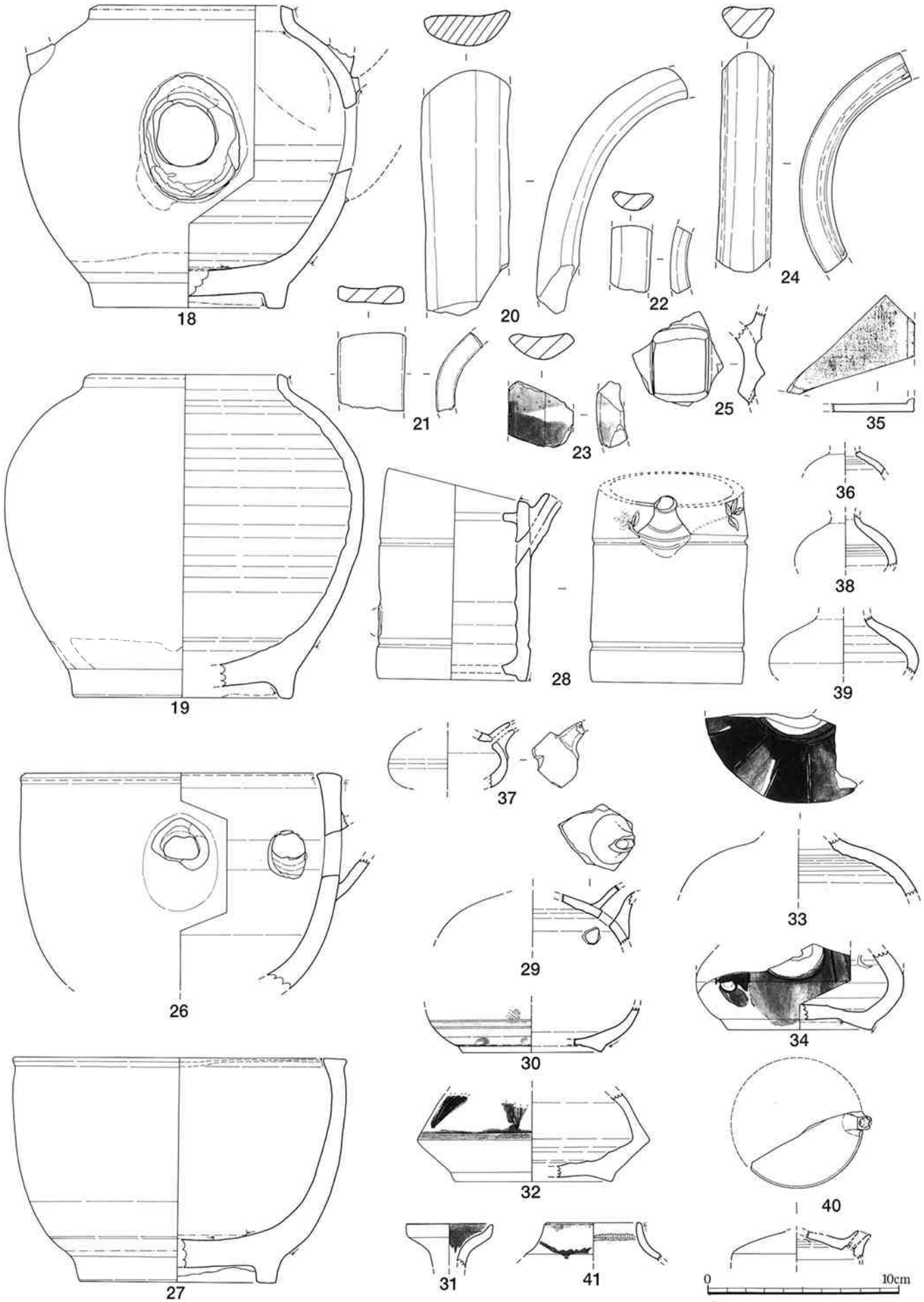

第58図　沖縄産施釉陶器（7）　鉢



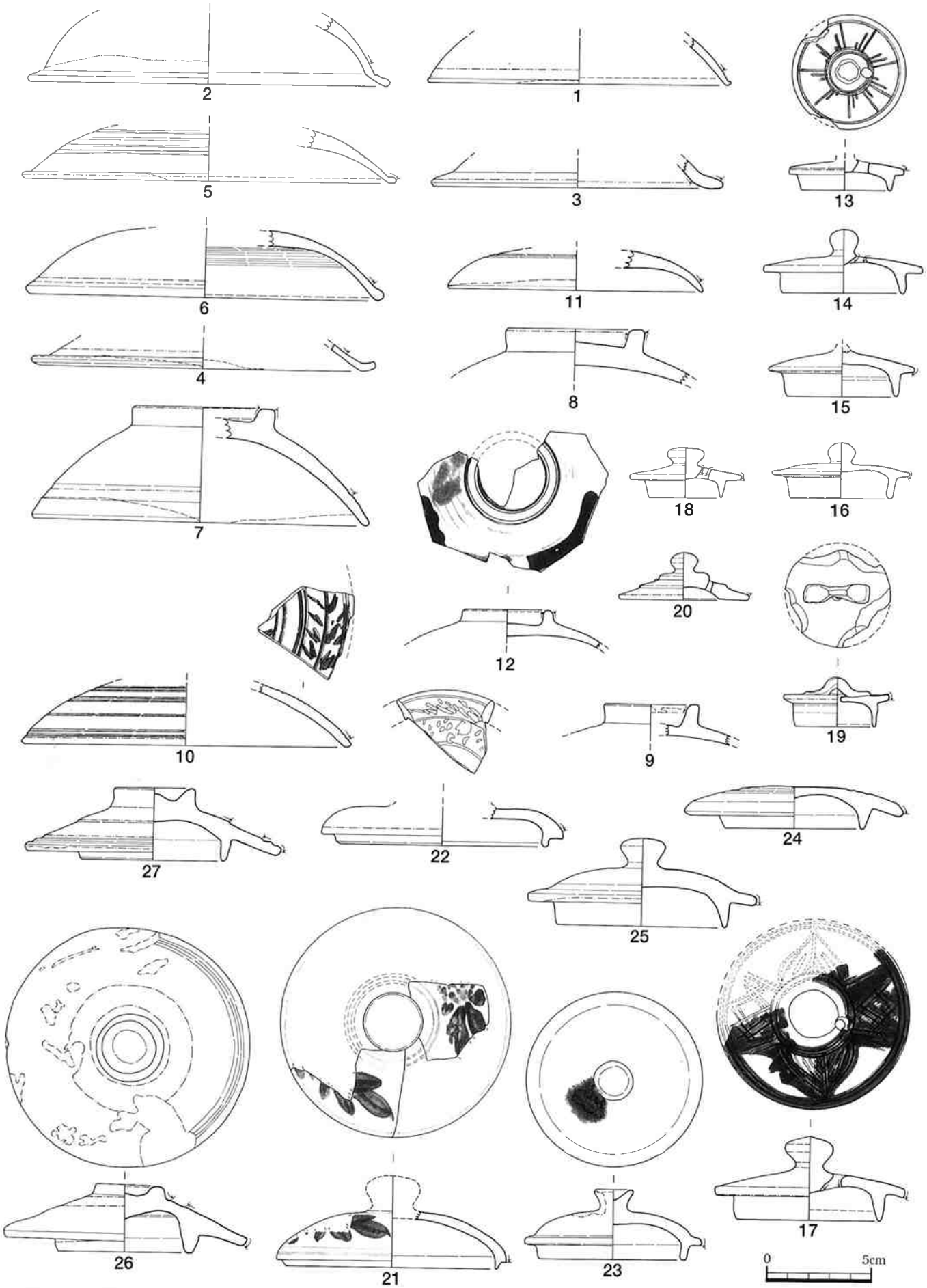

第59図　沖縄産施釉陶器（8）　鍋・壺



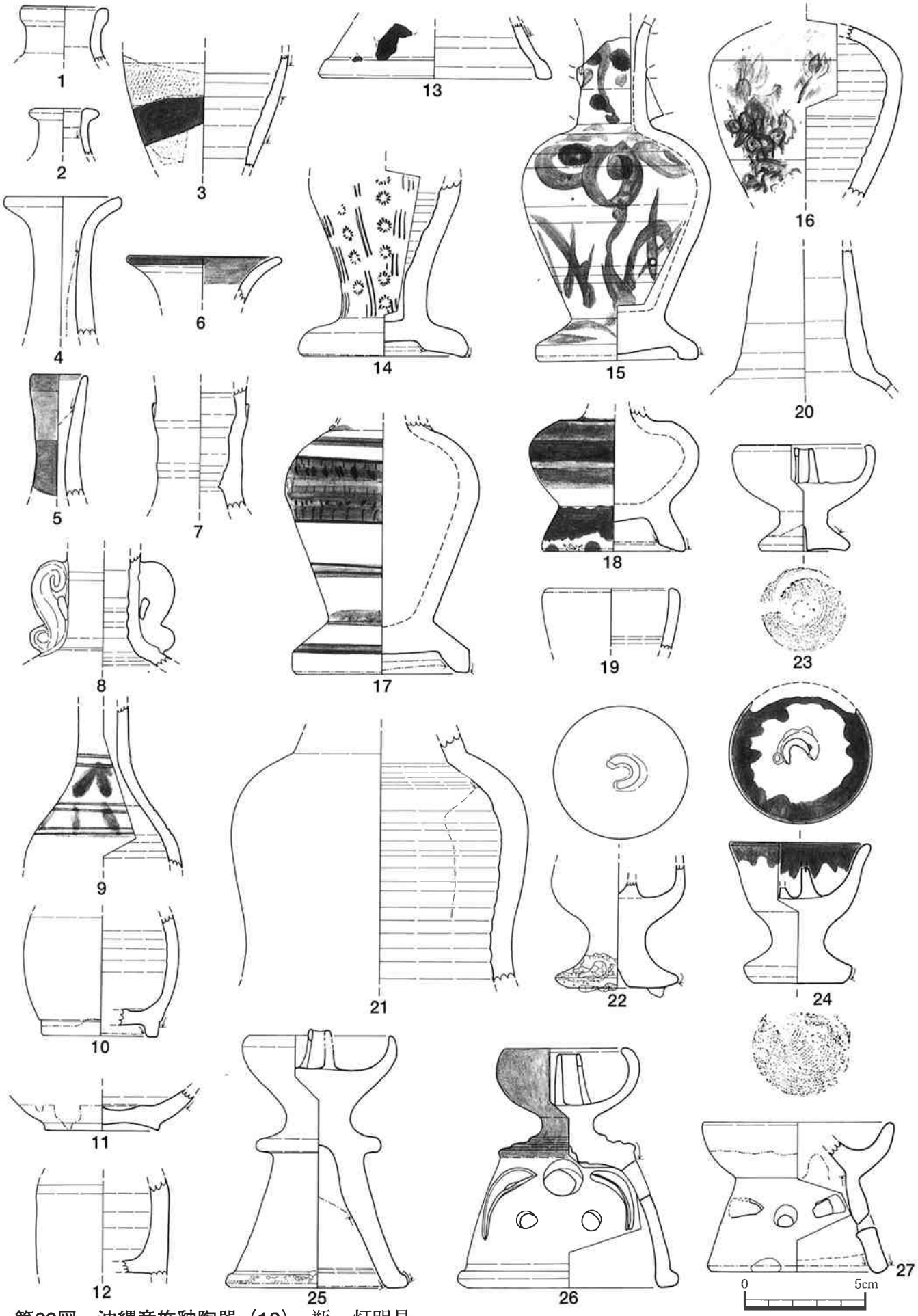

第60図　沖縄産施釉陶器（9）



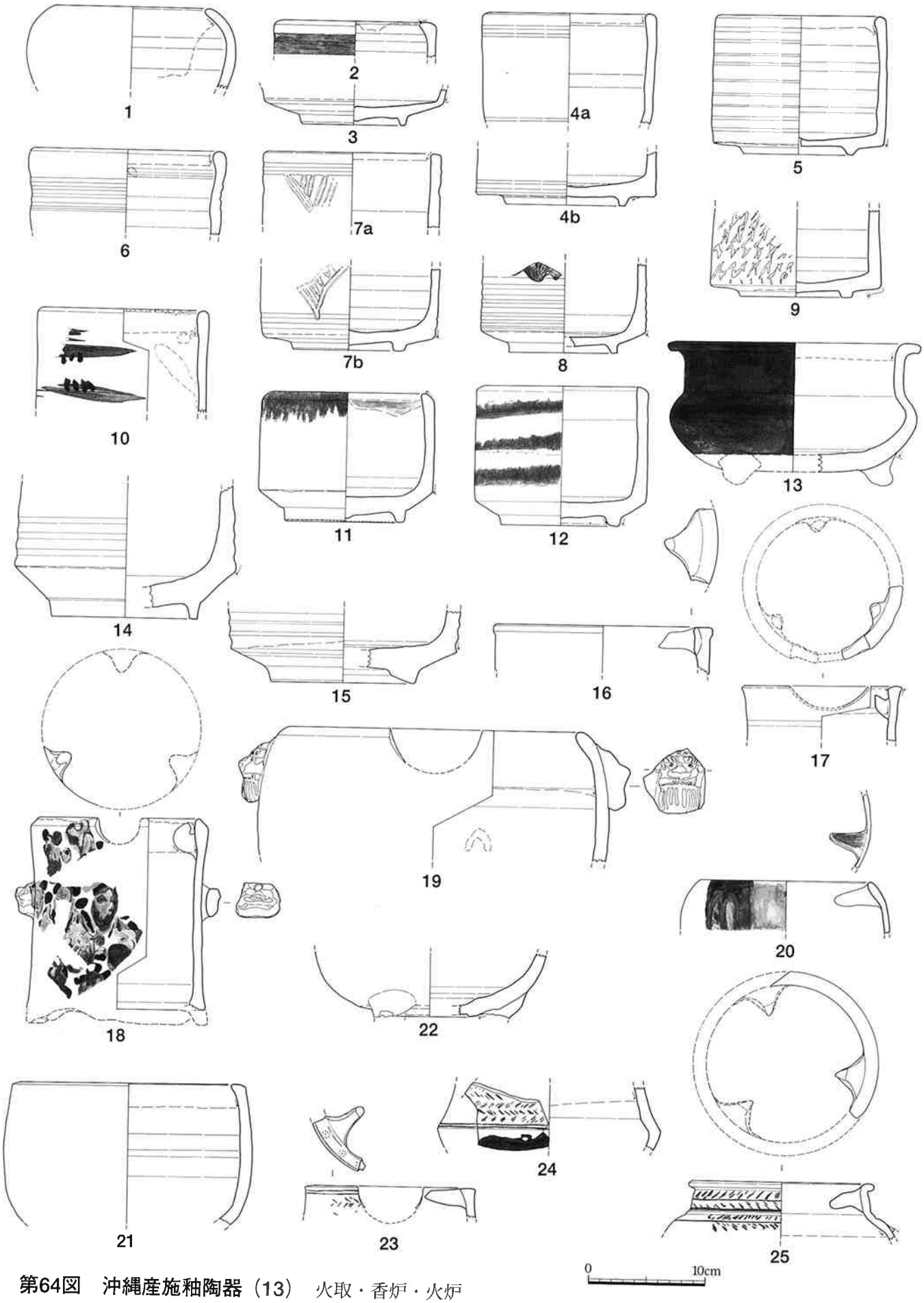

第61図　沖縄産施釉陶器（10）　急須・水注・酒器




第62図　沖縄産施釉陶器（11）　蓋




第63図　沖縄産施釉陶器（12）　瓶・灯明具




第64図　沖縄産施釉陶器（13）　火取・香炉・火炉

## 第19節　沖縄産無釉陶器

本節では、上薬（うわぐすり）を施さない無釉陶器を基本的に扱うが、マンガン釉・泥釉・褐釉などが施されるものも含まれる。その中でもいわゆる「アラヤチ」とも称される焼締陶器をA群、泥釉掛けにイッチン描きの絵付が施される陶器をB群として分類した。多様な器種が得られたA群のうち、器形のバリエーションがみられた器種については、下記のような分類を行った。B群は瓶と急須が得られている。

沖縄産無釉陶器の出土状況は、黒色土層からの出土が最も多く、次いで、て・つ－12·13の遺物集中部から得られている。遺構で特に出土量が目立つのは遺構30・57で、破片の合計数をみると遺構30から40点、遺構57から26点出土している。

**A群　焼締陶器（アラヤチ）**

碗・皿・急須・瓶・壺・甕・擂鉢・鉢・火炉などの器種が得られている。窯印の刻まれる資料も数点出土しており、数種類の記号が確認できる。素地は基本的に橙褐色や暗褐色を呈し、胎土に砂粒や白色粒・赤色粒といった混入物が僅かに確認できるものが主流であるが、中には器面が艶のある暗褐色を呈し、器壁も薄手で断面に白土の筋が見られる素地の陶器があり、図番号20・34·36・47·48·71·89・92・93がその特徴を有している。以下、器種ごとに器形の細分類を試みた。図化した資料の詳細については観察一覧表にまとめて記載する。

**碗**：口縁部の特徴や器形から４タイプに分けられる。底部は高台になるものが主であるが、第65図３はややベタ底に近い。２の資料は一部欠損しているが、底部内に窯印が刻まれている。

Ⅰ類－口縁が内彎し、丸碗風になる器形（第65図１）。

Ⅱ類－腰から口縁にかけて真っ直ぐに開く、逆ハの字型になる器形。（第65図２・３）

Ⅲ類－腰が折れて胴部がやや膨らむ器形。（第65図４・５・７）

Ⅳ類－口唇部が外反する器形。（第65図６）

**小碗**：直口でベタ底になる。（第65図８）

**皿**：器形から３タイプに分けられ、Ⅰ類は灯明皿の可能性があり、９・10には口縁部内に一部煤が付着している。11・13・14は窯印が入っており、11は一部破損しているため部分的にしか判らないが、13は「 ⅄ 」（図版48-13）、14は「 ≍ 」（図版48-14）の記号が刻まれている。

Ⅰ類－ベタ底になる皿で、少し深皿（第65図９）と浅皿（第65図10～15）がある。その内15は底がやや丸くなっている。

Ⅱ類－底部は高台になる。（第65図16）

Ⅲ類－底は脚がつく。（第65図17・18）

**急須**：すべて破片で全形を窺える資料は得られなかった。（第65図19～23）

**蓋**：径の大きさから、24・25は小・中型の壺類や急須の蓋として、26・27は「厨子甕」の蓋としての可能性がある。

Ⅰ類　－落とし蓋型。（第65図24）

Ⅱ類ａ－被せ蓋型。（第65図25）

〃ｂ－被せ蓋型で、外縁に鍔を持ち内面には身との滑り止めを有する形。（第65図26）

〃ｃ－被せ蓋型で、外縁に鍔を持つが内面に身との滑り止めがない形。（第65図27）

**瓶**：徳利や「ヒラチビ」と呼ばれる器形の瓶類が得られている。29は「カラカラ」の口縁部である可能性がある。

Ⅰ類－頸長の徳利形（第65図30）

Ⅱ類－「ヒラチビ」または「チュワカサー」と呼ばれる瓶で、下膨れの器形である。（第65図32・33）

**壺**：口縁形態と器形の特徴から４タイプに分類した。また壺の胴部資料として特徴的なものを（第66図43～46）をに図示した。

得られた資料の内34・35・47は小型の壺、その他は概ね中型か大型の壺と思われる。46は扁壺である。

Ⅰ類－口縁形態が逆Ｌ字状で、頸が細長くなるもの。（第66図35・39・41）

Ⅱ類－口縁形態が玉縁状で、頸は短いもの。（第66図37・38・40・42）

Ⅲ類－直口口縁で、口唇部は丸く成形するが肥厚しない。（第66図34）

Ⅳ類－口縁形態は逆Ｌ字状で、口唇断面形は四角形を呈する。口縁部からすぐに胴部へと膨らむ器形。（第66図36）

**甕**：「ハンドウーガーミ」や「ミジガミ」と呼ばれる。器形から４つに分類を試みた。

Ⅰ類ー口縁断面形が三角形に肥厚し、口縁部からすぐに胴部へと膨らむ器形。胴部張り出し部分には縄状の突帯が付く。(第66図48)

Ⅱ類ー口縁断面形は逆L字状で口唇上面幅が広い。頸長で胴部へと緩やかに膨らむ器形である。波文と沈線文の文様と突状の丸文が付く。(第67図49・50)

Ⅲ類ー口縁断面形は逆L字状に屈曲し、四角形状に肥厚する。口唇部の断面形は数種類みられ、口唇上面に沈線を施すもの(第67図54)、口唇外面に沈線を施すもの(第67図54・55)などが挙げられる。器形的には口唇部直下で曲がり胴部で膨らむ。胴部には波文と沈線文の文様の組み合わせるもののほか、さらに突状の丸文が付くものなどがある。

Ⅳ類ー口唇部を水平に成形し、口唇両端が張り出す直口の器形。(第67図56～60)

**鉢**:本項には「ミジクブサー」と呼ばれる水鉢のほか小鉢・大鉢・花鉢などが含まれ、4つのタイプに分類した。

Ⅰ類ー口縁部が直口になり、口唇部は上面を平坦に成形する。胴部には装飾が施され、沈線を施すもの(第68図64・83)や、突帯を廻らすもの(第68図84)浮文で飾るもの(第68図85)などがある。Ⅰ類のうち、64は小鉢、その他は中型か大型の鉢である。(第68図64・83～85)

Ⅱ類ー水鉢「ミジクブサー」とも呼ばれ、口縁部は内彎、口唇が舌状になる器形。胴部には沈線と波状文が施される。(第68図65～69)

Ⅲ類ーⅡ類と同様に水鉢「ミジクブサー」とも呼ばれるものも含まれる。口縁部が内彎し口唇が玉縁状になる器形。胴部が無文のものと、沈線や波文を施すものがある。(第68図70～74)

Ⅳ類ー口唇部は逆L字状で、胴部から口縁部に向かって開く器形(第68図75～82)。口唇断面形は数種類のバリエーションがあり、口唇外面や胴部に沈線を施すもの(第68図79)、口唇上面に沈線を施すもの(第68図77・78・82)、口唇外面に縄状の文様を施し、胴部にも陰刻文を施すもの(第68図75)などがある。

**擂鉢**:口縁部形態から3タイプに分類を試みた。Ⅰ類の器形は本土産陶器・薩摩の擂鉢(第51図6)に類似している点で注目される。

Ⅰ類ー口縁部断面がくの字状に屈曲し、口唇直下には凹みと稜が施される。口唇外縁が口唇直下の稜の延長線上か内側になる器形。櫛目は基本的に間隔を空けて施す。器壁は薄手のものが多い。(第69図88～91)

Ⅱ類ー口縁部断面がゆるやかにくの字状に屈曲し、口唇直下には凹みや稜が施される。口唇外縁が口縁部の稜よりも外側にある。櫛目の間隔は基本的に空けて施す。器壁はⅠ類と比較すると厚手になる。(第69図92～96)

Ⅲ類ー口唇が逆L字状で口唇幅が広い。口唇直下から胴部にかけてはゆるやかに膨らんでいき、胴部に凹みや稜は施さない。櫛目は間隔を空けず全面に施す。(第69図97～100)

**火炉**:火入・香炉と考えられる資料も本項で扱う。全形が把握できる資料は得られなかったが、口縁形態から4つに分類できる。底部資料はベタ底と脚の付く資料が確認できた。

Ⅰ類ー直口タイプ。(第70図101～102)

Ⅱ類ー口縁部はくの字状に折れ、口唇部が長いタイプ。(第70図103～106)

Ⅲ類ー口縁部はくの字状に折れるが口唇部が短いタイプ。(第70図107)

Ⅳ類ー口縁部は内彎、口唇部の断面形が四角い。(第70図108)

**その他**:器種不明の資料である。(第70図113～121)

**B群　泥釉陶器**

器全体に泥釉を施し、外面にイッチン描きで絵付する。素地は泥質で、器壁は薄手である。(第70図122～124)

## 第83表　沖縄産無釉陶器出土状況

| 器種・分類 | | 出土地 | トレンチ | 表採・攪乱 | 黒色土層 | 黒色混礫土層 | 地山直上 | 遺構 | さ・し－17・18 岩盤凹地内瓦集中部 | 岩盤凹地内黒色混礫土層 | 黒色混礫土層 | 地山直上 | 溝状遺構 | 土層崖部墓口？前面黒色混礫 | す－18 遺物礫集中部 | せ・そ－15・16・17 黒色土層 | 黒色混礫土層 | 黒褐色混礫土層 | 地山直上 | 黒色混礫土層 旧階段の2列の石列の間 | 焼土の炭集中部より旧階段下の石垣横の | せ・そ－18 石敷遺構直上黒色土層 | 黒色混礫土層 石敷遺構下 | た・ち・つ－12・13・14 遺物集中部 黒褐色混礫土層 黒色土層・黒色混礫土層 | て・と－11・12・13 岩盤上黒色土層 | 南側畦 | 遺物集中部 | 不明 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 碗 | | 口縁 | | | | 1 | 3 | 7 | 1 | 2 | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | 1 | | | 2 | 1 | 20 |
| | | 胴部 | | 1 | | | 4 | | | | | | | | | 1 | 4 | | | | | | | 2 | | | | | 12 |
| | | 底部 | 1 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | 4 |
| 小碗 | | 口～底 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | 1 |
| 皿 | 大 | 口～底 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 小 | 口～底 | | | 1 | | | 2 | 3 | | | | | | 1 | 3 | 2 | | | | | | | 1 | | | 2 | 1 | 16 |
| | | 口縁 | 1 | | 3 | 3 | 5 | 2 | 3 | | | | | | 4 | 1 | 1 | | | | | | | 3 | | | 1 | | 27 |
| | | 胴部 | 1 | | 1 | | 1 | 1 | 1 | | | | 1 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 7 |
| | | 底部 | | | 4 | | 2 | 2 | | | 1 | | | | 3 | 7 | 4 | | | | 1 | | | 3 | | | 2 | 2 | 31 |
| 急須 | | 口縁 | 1 | | | | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 4 |
| | | 胴部 | 1 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | 2 | | 5 |
| | | 底部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| 蓋 | | 口縁・胴部 | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 3 |
| 瓶 | | 口縁 | 1 | | 1 | | | 1 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 | | 6 |
| | | 胴部 | 2 | | 3 | | 3 | 1 | | | | | | | | | 1 | | | | | | | 2 | | | 2 | 1 | 15 |
| | | 底部 | | | | | | 1 | | | | | | | | | 2 | | | | | | | 1 | | | | | 4 |
| 壺 | 大 | 耳 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 2 |
| | | 口縁 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | 1 | 4 |
| | | 底部 | 1 | | | 1 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 5 |
| | 中 | 口縁 | | | 2 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 | | 5 |
| | | 底部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| | 小 | 口縁 | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | 1 | | 3 |
| | | 胴部 | | | | 1 | | 2 | | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 | | | | 1 | | 6 |
| | | 底部 | | | | 1 | 2 | | 1 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 2 | | 7 |
| | 口縁 | | 2 | 1 | | 2 | 1 | | 1 | | | | | | 1 | | 4 | | | 1 | | | 1 | 3 | | | 2 | | 19 |
| | 胴部 | | 10 | | 6 | | 5 | 7 | | | | | 1 | 1 | | 3 | 5 | | | | | | | 16 | 1 | | 13 | | 68 |
| | 底部 | | 2 | | 1 | 3 | 2 | 4 | | | | | | 1 | | 2 | 4 | | | 1 | 3 | | | 6 | | | 8 | 2 | 39 |
| 甕 | | 口縁 | 3 | | 7 | 6 | | | | | 1 | | | | | 5 | 3 | | | 1 | 1 | 3 | | 2 | | 2 | 8 | 3 | 45 |
| | | 胴部 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 2 |
| | | 底部 | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 3 |
| 厨子亀 | | 口縁・胴部 | 1 | | | 2 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | 5 | 1 | 11 |
| 水甕 | 「L」 | 口縁 | 6 | 1 | 3 | 8 | | 1 | | | | | | | 1 | 12 | 2 | | | 1 | 1 | | | 3 | 1 | | 11 | 1 | 52 |
| | 大 | 胴部 | 11 | | 5 | | 17 | 1 | 1 | | | | | 1 | | 3 | 1 | | | | | | | 15 | | | 15 | 2 | 72 |
| 鉢 | 「L」 | 口縁 | 6 | | | 2 | 1 | 1 | | | | | | | 3 | 7 | | | | | | 2 | | 1 | | | 2 | | 25 |
| | 大 | 口縁 | 3 | | 2 | | | | | | | | | | 1 | 4 | 2 | | | | | | | 2 | | | 3 | 1 | 18 |
| | 口～肩 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 |
| | 胴部 | | 6 | | | | | | 1 | 1 | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | 2 | 1 | | 5 | 1 | 19 |
| | 底部 | | 1 | | | | | 2 | | | | | | | 1 | 1 | | | | 1 | | | | | 1 | | 8 | | 15 |
| 水鉢 | | 口縁 | 2 | | | 1 | | | | | | | | | | 3 | 2 | | | 1 | 1 | | | | | | 8 | 3 | 21 |
| 花鉢 | | 口～底 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 | | 2 |
| | | 口縁 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 | 1 | 3 |
| | | 底部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | | 3 |
| 擂鉢 | 「L」 | 口縁 | 6 | 5 | 8 | 5 | 4 | 9 | | 1 | | | | | 5 | 17 | 7 | | | | | | | 20 | 4 | | 19 | 3 | 113 |
| | | 胴部 | 1 | | 4 | 1 | 1 | 4 | 2 | | | | 1 | | 1 | 1 | 2 | | | | | | | 1 | | | | | 19 |
| | | 底部 | | 1 | 5 | | 1 | | | | | | | 1 | 2 | 2 | 3 | | | | | | | 2 | | | 1 | | 18 |
| | 「く」 | 口～底 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | 1 | | 3 |
| | | 口縁 | | 1 | 7 | | 2 | 4 | 2 | 1 | | | | | 1 | 9 | 7 | | | | | | | 10 | | | 2 | 3 | 49 |
| | | 胴部 | 4 | | 5 | 2 | 2 | 5 | 3 | 2 | | | 1 | 1 | 1 | 5 | 7 | | | | | | | 5 | | | 2 | 4 | 49 |
| | | 底部 | 2 | | 1 | 2 | 2 | | 1 | | | | | | 2 | 2 | 2 | | | | | | | 5 | 1 | | 3 | 1 | 24 |
| | | 脚 | 1 | | | 1 | | | | | | | | | | 1 | 3 | | | | | | | 1 | | | | 1 | 8 |
| | 不明 | 口縁 | 1 | | 2 | 1 | 6 | 2 | | | | | 1 | | | 4 | | | | | | | | | | | 1 | | 18 |
| | | 胴部 | 6 | 1 | 6 | 48 | 11 | 10 | | | | | 1 | | 2 | 9 | 2 | | | 1 | 3 | 1 | 1 | 7 | | | 11 | 1 | 121 |
| | | 底部 | 1 | 1 | 2 | 4 | 1 | | | | | | | | 1 | 1 | | | | 1 | | | | 2 | | | 6 | | 20 |
| 火炉 | 「く」 | 胴部 | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | 1 | | | | 1 | 3 |
| | | 口縁 | 1 | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | 1 | | | 2 | 1 | 6 |
| | | 底部 | | | | | | | | | | | 1 | | | | 2 | 1 | | | | | | | | | | | 4 |
| その他 | | 口縁 | 1 | | | | 1 | | | | | 1 | | | | | | | 1 | | | | | 4 | | | | | 8 |
| | | 胴部 | 18 | 1 | 14 | 8 | 6 | 38 | 3 | | 1 | | 2 | 1 | 8 | 14 | 11 | 2 | | 3 | 2 | | | 37 | 2 | | 23 | 5 | 199 |
| | | 底部 | 4 | | | 1 | | | | | | | | | 1 | | 1 | | | | | | | 1 | | | 2 | 1 | 11 |
| 合計 | | | 109 | 12 | 94 | 105 | 81 | 105 | 23 | 5 | 3 | 1 | 10 | 7 | 42 | 120 | 81 | 3 | 1 | 12 | 14 | 6 | 3 | 168 | 13 | 2 | 182 | 43 | 1245 |

注：第65～70図にある遺物は集計含めていない（観察一覧を参考）

## 第25表　沖縄産無釉陶器観察一覧(1)

単位：cm

| 図 | 番号 | 器種 | 分類 | 部位 | 口径 | 器高 | 底径 | 器色 | 素地 | 観察事項 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第65図・図版48 | 1 | 碗 | AⅠ | 口 | 12.8 | — | — | 外面暗茶褐色と暗褐色内面は暗褐色。 | 黒灰褐色 | ナデ消し。丸碗型。外面に窯印のようなひっかき痕あり。 | す-15 遺構30 |
| | 2 | 碗 | AⅡ | 口～底 | 14.4 | 6.1 | 6 | 両面ともに暗茶褐色。口唇部は暗褐色。 | 暗褐色で白い砂粒が微量に含まれる。 | 高台は削り出し。外面、胴部から底部はヘラ削りで口縁部及び内面はナデ消し。直口型。外面、高台見込みに窯印のような痕。 | し-17崖部墓口?前面黒色混礫土層 |
| | 3 | 碗 | AⅡ | 口～底 | 14.6 | 6.3 | 6.6 | 外面灰釉、内面橙褐色と暗褐色。 | 橙褐色。白色粒と黒色粒が微量に含まれる。 | 高台削り出し。ナデ調整。直口型。ベタ底。器壁が厚く重みがある。 | せ-17 黒色土層0～30 |
| | 4 | 碗 | AⅢ | 口～底 | 13.2 | 6.1 | 6.2 | 両面ともに暗茶褐色。外面口唇部に灰釉?が塗られる。 | 暗茶褐色。白粒を微量に含む。 | 丁寧な成形。高台から胴部にかけてヘラ削り。口縁部及び内面はナデ調整。直口型。器壁が薄く腰が張る。 | せ-17 黒色土層60～80 |
| | 5 | 碗 | AⅢ | 口～底 | 13.2 | 5.9 | 6.4 | 外面、暗褐色。内面、橙褐色と暗茶褐色。 | 黒灰褐色と暗茶褐色。砂粒が少量含まれる。 | 丁寧な成形。高台は削り出し。外面は高台から胴部へヘラで、口縁部及び内面はナデ調整。直口型。薄く腰が張る器形。 | た-13 黒色土層0～20 |
| | 6 | 碗 | AⅣ | 口 | 13.2 | — | — | 外面は灰褐色、内面は黒味を帯びた灰褐色。 | 暗褐色。砂粒が微量に含まれる。 | — | 15トレンチ東側岩上黒色土層最上部 |
| | 7 | 碗 | AⅡ | 口～底 | 12.6 | 5 | 6 | 両面ともに茶褐色。白色粒が微量に含まれる。 | 茶褐色で白色粒が微量に含まれる。 | 高台削り出し。ヘラ調整。直口型。 | せ-17 黒色土層50～70 |
| | 8 | 小碗 | — | 口～底 | 9.8 | 3.9 | 3.6 | 外面茶褐色。内面橙褐色。 | 茶褐色。白色粒と橙褐色粒が少量含まれる。 | 底部から胴部はヘラ削り。口縁と内面はナデ消し。ベタ底。直口型。 | さ・し-17岩盤にへばりついた黒色土層 |
| | 9 | Ⅲ | AⅠ | 口 | 10.85 | 2.85 | 6.6 | 両面ともに口縁部から胴部は煤けている。底面は橙褐色。 | 橙褐色と暗褐色。砂粒が微量に混ざる。 | 丁寧な成形。ナデ調整。口唇部端反りの薄手の皿である。口縁部内外ともに煤が付着している。 | し・す-18 遺構1 |
| | 10 | Ⅲ | AⅠ | 口～底 | 10.5 | 2.3 | 5 | 両面ともに桃褐色。 | 黒灰褐色に中は茶褐色。粗粒子の白色粒が微量に含まれる。 | ナデ調整。ベタ底の厚手の皿。直口型。 | せ-16 暗褐色混礫土層 |
| | 11 | Ⅲ | AⅠ | 口～底 | 10.25 | 2.6 | 5.6 | 外面は橙褐色と暗褐色。内面は橙褐色。 | 黒灰褐色の中に茶褐色。白色粒が微量に含まれる。 | ナデ調整。ベタ底。直口型。底部外面に窯印あり。 | さ-17・18 崖部溝状遺構黒色混礫土層 |
| | 12 | Ⅲ | AⅠ | 口～底 | 9.65 | 2.5 | 5.7 | 両面ともに底部は茶褐色。胴部は橙褐色。口縁部は茶褐色。 | 黒灰褐色。白色粒が微量に含まれる。 | 外面胴部はヘラ削り。外面口縁及び内面ともにナデ調整。ベタ底。直口型。 | し-17 崖部墓口?前面黒色混礫土層 |
| | 13 | Ⅲ | AⅠ | 口～底 | 9.4 | 2.4 | 6.8 | 両面ともに桃褐色と橙褐色。 | 黒灰褐色。微量に砂粒が含まれる。 | 丁寧な成形。外面はヘラ削り。ベタ底。直口型。外面底には窯印が入る。 | す-15 遺構30 |
| | 14 | Ⅲ | AⅠ | 口～底 | 8.4 | 2 | 5.6 | 両面ともに黒灰色。 | 暗茶褐色。白色粒が微量に含まれる。 | 丁寧な成形。ナデ調整。ベタ底で口唇を薄く作る。外底面には窯印がある。 | せ-13 遺構51 |
| | 15 | Ⅲ | AⅠ | 口～底 | 10 | 2.3 | 2.8 | 両面ともに黒灰色。 | 茶褐色。白色の粗粒子が少量含まれる。 | ナデ調整。丸底で薄手。 | せ-16 暗褐色混礫土層 |
| | 16 | Ⅲ | AⅡ | 底 | — | — | 4.8 | 両面ともに茶褐色。 | **黒灰色と茶褐色。細かい白色粒がやや多く含まれる。** | ナデ調整。高台のある皿になる。器表面はざらつく。 | す・せ-18 黒色土層0～30 |
| | 17 | Ⅲ | AⅢ | 口～底 | 14 | 2.5 | 11.4 | 両面ともに暗褐色。 | 暗褐色。 | ナデ調整。口縁部端反り。底は凸状の足が付く。 | す-15 遺構30 |
| | 18 | Ⅲ | AⅢ | 口～底 | 14.8 | 3.2 | 12 | 両面ともに灰色。 | 暗褐色。白色粒が少量含まれる。 | ナデ調整。口縁部は端反り、脚がつく。 | 西地区　H・I-24石垣平面表土撹乱、J-21・22配水管 |
| | 19 | 急須 | — | 口 | 7.4 | — | — | 外面暗茶褐色。内面茶褐色。表面にやや艶がある。 | 茶褐色。僅かに白色の粗粒子が含まれる。 | 外面泥釉。轆轤成形。 | せ-17 黒色土層60～80 |
| | 20 | 急須 | — | 口 | 9.6 | — | — | 両面ともに桃褐色。表面にやや艶がある。 | 黒灰褐色と桃褐色。白色の粗粒子が含まれる。 | 外面泥釉。轆轤成形。 | せ-15 岩盤にへばりついた黒色土層 |
| | 21 | 急須 | — | 口 | 8.2 | — | — | 両面ともに茶褐色。 | 暗茶褐色。白色粒が微量に含まれる。 | ナデ調整。口縁部の形が、沖縄産施釉陶器のアンビンと同じなので急須で分類した。 | 16トレンチ東側岩上撹乱層中 |
| | 22 | 急須 | — | 注口 | — | — | — | 両面ともに桃褐色。 | 桃褐色。粗粒子の砂粒が含まれる。 | ナデ調整。 | せ-17 黒色土層 |
| | 23 | 急須 | — | 注口 | — | — | — | 両面ともに橙褐色。 | 橙褐色。 | ナデ調整。轆轤成形。 | し-17崖部墓口?前面黒色混礫土層 |
| | 24 | 蓋 | AⅠ | 口～底 | 5.85 | 2 | — | 両面ともに暗茶褐色 | — | ナデ調整。 | し-18 地山直上黒色土層 |
| | 25 | 蓋 | Aⅱa | 口～底 | 5.3 | 4.5 | — | 外面褐釉、艶がある。内面桃褐色。 | — | ナデ調整。 | さ・し-17岩盤にへばりついた黒色土層 |
| | 26 | 蓋 | AⅡb | 口 | 14 | — | — | 外面と鍔は暗褐色。内面茶褐色 | 茶褐色。 | 轆轤成形。 | そ-17 黒色混礫土層 |
| | 27 | 蓋 | Aⅱc | 口～底 | 19.3 | 8.1 | — | 両面ともに暗褐色。 | 暗灰褐色。白色粒が少量含まれる。 | ナデ調整。 | 不明 |
| | 28 | 瓶 | — | 口 | 7 | — | — | 両面ともに橙褐色。 | 橙褐色。 | — | さ-16 遺構63 |
| | 29 | 瓶 | — | 口 | 6.9 | — | — | 両面ともにこげ茶色。 | 暗褐色。 | 口縁部が段を持つ。 | 不明 |
| | 30 | 瓶 | AⅠ | 胴 | — | — | — | 両面ともに暗褐色。表面は泥釉でやや艶がある。 | 暗褐色で白色粒が少量含まれる。 | 表面一部に石灰が付着。 | つ-14瓦礫層 |

注　法量の項「—」は測定不可、観察の項「—」は不明、出土地の項「＋」は接合、分類の項「A」は焼締、「B」は泥釉

## 第25表　沖縄産無釉陶器観察一覧(2)

単位：cm

| 図 | 番号 | 器種 | 分類 | 部位 | 口径 | 器高 | 底径 | 器色 | 素地 | 観察事項 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第65図・図版48 | 31 | 瓶 | — | 底 | — | — | 7.1 | 外面桃褐色。 | 桃褐色。白色粒少量。 | — | ち-14<br>遺物集中部0～20 |
| | 32 | | AII | 底 | — | — | 8.4 | 両面ともに暗褐色。 | 暗褐色。 | チュワカサー。 | と-12<br>遺物集中部西側畦 |
| | 33 | | | 口～底 | 6.4 | 19.8 | 13.2 | 外面暗褐色。内面暗茶褐色。 | 暗茶褐色。 | 部分的に轆轤痕が明瞭。 | て-12<br>遺物集中部 |
| 第66図・図版49 | 34 | 壺 | AIII | 口 | 9.8 | — | — | 両面ともに暗褐色。表面に艶がある。 | 黒灰色と暗褐色。白色粒と赤色粒が少量含まれる。 | — | す-15遺構30+せ-17<br>黒色土層60～80 |
| | 35 | | AI | 口 | 8.4 | — | — | 両面ともに暗褐色。外面艶あり。 | 暗褐色。 | 外面艶あり。 | て-12<br>遺物集中部 |
| | 36 | | AIV | 口 | 20.9 | — | — | 外面黒っぽい褐釉を掛け、内面上部にも釉が垂れている。 | 暗褐色。砂粒が微量に含まれる。白色土が筋状に入る。 | — | つ-14<br>瓦礫層 |
| | 37 | | AII | 口 | 14.5 | — | — | 両面ともに黒褐色。 | 暗褐色。 | — | す-18遺物・石礫集中黒色土層20～40 |
| | 38 | | | | 12.9 | — | — | 両面ともに暗赤褐色。 | 暗赤褐色。 | 外反口縁。 | と-12<br>遺物集中部0～20 |
| | 39 | | AI | 口～底 | 12.6 | — | 12.2 | 両面ともに暗褐色。外面に一部自然釉が掛かる。 | 暗褐色。 | 肩部に3本の沈線を施す。 | せ-16暗褐色混礫土層+つ-14瓦礫層 |
| | 40 | | AII | 口 | 12 | — | — | 両面ともに暗褐色。 | 暗茶褐色。 | 楕円形口唇。 | と-12<br>遺物集中部 |
| | 41 | | AI | 口 | 13.35 | — | — | 外面白っぽい暗褐色。内面暗茶褐色。 | 暗茶褐色。 | 肩部に7～8本の沈線。窯印あり。 | ち-9<br>石段上黒色土層 |
| | 42 | | AII | 口 | 16.6 | — | — | 外面は黒っぽい桃褐色。内面桃褐色。 | 暗褐色。砂粒少量含まれる。 | — | そ-17<br>黒色混礫土層 |
| | 43 | | — | 胴 | — | — | — | 両面ともに暗褐色。 | 暗茶褐色。 | 肩部と胴部に沈線が2本ずつ入り、間に耳がつく。 | と-12<br>遺物集中部西側畦 |
| | 44 | | | | — | — | — | 両面ともに黒褐色。 | 暗褐色。 | 扁部に縄状の凸帯が付く。 | つ-14<br>黒色土層 |
| | 45 | | | | — | — | — | 外面は桃褐色。内面は石灰?が付着。 | 暗褐色。 | 肩部に沈線が1～2本、胴部に縄状凸帯。 | つ-14<br>瓦礫層 |
| | 46 | | | | — | — | — | 両面ともに灰褐色。 | 暗褐色。 | 扁壺。くぼみ部分は黒褐色。 | と-12<br>遺物集中部西側畦 |
| | 47 | | | 底 | — | — | 9.4 | 外面暗褐色。内面灰褐色。 | 灰色と灰褐色。 | 瓶の底の可能性あり。 | し-17岩盤凹地内中層瓦集中部 |
| 第67図・図版50 | 48 | 甕 | AI | 口～底 | 18.2 | 37.2 | 14.8 | 両面ともに暗褐色。 | 暗褐色。砂粒が多く含まれる。 | 肩部に沈線。胴部に縄状凸帯。 | さ-17岩盤凹地内埋土瓦集中部60～90 |
| | 49 | | AII | 口 | 29.35 | — | — | 両面ともに暗茶褐色。 | 暗褐色。白色粒を少量含む。 | 肩部に波文と丸文。 | と-12<br>遺物集中部0～20 |
| | 50 | | | | 35.4 | — | — | 両面ともに橙褐色。 | 橙褐色。白色粒が含まれる。 | 肩部に波状と丸文。 | す-18遺物礫集中部黒色土層20～40 |
| | 51 | | AIII | 口 | 38.7 | — | — | 両面ともに暗褐色。 | 暗茶褐色。 | 沈線と波状の組み合わせに丸文つき。頸部に窯印あり。 | た-12<br>遺物集中部0～20 |
| | 52 | | | | 35.6 | — | — | 両面ともに橙褐色。 | 橙褐色。 | 沈線と波状の組み合わせ。 | て-12<br>遺物集中部0～20 |
| | 53 | | | | 31.6 | — | — | 両面ともに暗褐色。 | 暗褐色 | 肩部に沈線。 | 13トレンチ東側 |
| | 54 | | | | 25.8 | — | — | 両面ともに暗褐色。 | 暗褐色で中に黒灰褐色。 | — | せ-15<br>遺構32 |
| | 55 | | | | 54.6 | — | — | 外面が暗褐色。内面は橙褐色。 | 橙褐色。 | 肩部に沈線。石灰の付着。 | た-12<br>遺物集中部0～20 |
| | 56 | | AIV | 口 | 51.4 | — | — | 外面暗褐色。内面暗茶褐色。 | 暗茶褐色。 | 3本の凸帯と丸文。 | 13トレンチ東側 |
| | 57 | | | | — | — | — | 両面ともに橙褐色。 | 橙褐色。 | 凸帯と波文。 | て-11<br>東側畦 |
| | 58 | | | | 61.4 | — | — | 両面ともに暗褐色。 | 橙褐色。 | — | ち-13<br>黒褐色礫混り層 |
| | 59 | | | | 40.6 | — | — | 外面は暗褐色。内面は橙褐色。 | 橙褐色。 | 凸帯と波文 | せ-17<br>黒色混礫土層 |
| | 60 | | | | 30 | — | — | 両面ともに暗褐色。 | 暗茶褐色。粗粒子の砂粒が少量含まれる | 凸帯と波文と丸文。 | せ-15<br>遺構32 |
| | 61 | | — | 胴 | — | — | — | 外面は暗褐色。 | 橙褐色。 | 沈線と波文。 | て-13<br>遺物集中部 |
| | 62 | | | 底 | — | — | 20.3 | 外面は灰釉。内面は橙褐色。 | 橙褐色。 | 壺の底部の可能性あり。 | し-15<br>遺構28 |
| | 63 | | | | — | — | 25 | 外面は暗褐色と部分的に黄白色に変色。 | 暗茶褐色。 | — | す・せ-13<br>遺構41 |
| 第68図・図版51 | 64 | 鉢 | AI | 口 | 11.8 | — | — | 両面ともに灰褐色。 | 灰褐色。 | 直口口縁で胴部に段を作る。 | す-15<br>遺構30 |
| | 65 | 水鉢 | AII | 口 | 15.7 | — | — | 外面褐色。内面にぶい橙褐色。 | 褐色。 | 内彎。 | す・せ-18<br>黒色土層0～20 |
| | 66 | | | | 22.5 | — | — | 外面口縁～胴部は灰黄褐色。胴部以下と内面は橙褐色。 | 橙褐色。 | 胴部の最も張り出した部分に、波状文を施した後沈線を1本施す。 | て-12<br>遺物集中部 |

注:法量の項「—」は測定不可、観察の項「—」は不明、出土地の項「十」は接合、分類の項「A」は焼締、「B」は泥釉

## 第25表　沖縄産無釉陶器観察一覧(3)

単位：cm

| 図 | 番号 | 器種 | 分類 | 部位 | 口径 | 器高 | 底径 | 器色 | 素地 | 観察事項 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第68図・図版51 | 67 | 水鉢 | AⅡ | 口 | 30.7 | — | — | 外面灰褐色。内面口縁～胴部は灰褐色。その下胴部は橙褐色。 | にぶい褐色。 | 胴部に2本の沈線を施し、その下波状文を施す。 | 不明 |
| | 68 | | | 口～底 | 27.4 | 13.5 | 14.9 | 外面灰褐色。内面にぶい赤褐色。 | にぶい赤褐色。 | 胴部に2本沈線の間に波状文を施す。 | と-12 遺物集中部西側畦 |
| | 69 | | | | 27.2 | 14.1 | 14.5 | 外面は口縁～胴部赤褐色、胴部以下と内面は橙褐色。 | 橙褐色。 | 胴部に沈線を施した後、その下に波状文を施す。 | と-12 西側畦遺構集中部 |
| | 70 | 小鉢 | AⅢ | 口 | 14.8 | 7.5 | 10.2 | 両面ともに灰黄褐色。 | 灰赤褐色。 | 無文。 | ち-13 黒色土層20～30 |
| | 71 | 鉢 | AⅢ | 口 | 21.6 | — | — | 両面ともに灰黄褐色だが、口唇部分から内面にかけて褐釉。 | 灰褐色。 | 肩部に沈線を施す。 | つ-13・14 岩盤付近遺構集中部 |
| | 72 | | | | — | — | — | 外面褐灰色。内面は石灰分の付着。 | にぶい赤褐色。 | 口唇部直下に波状文があり、その下に2本の沈線がある。 | そ-11 撹乱土壙内 |
| | 73 | | | | 20.35 | — | — | 両面ともににぶい赤褐色。 | 橙褐色。 | 口唇と胴部に波状文。 | す-18遺物礫集中部黒色土層20～40+表採 |
| | 74 | | | 口～底 | — | — | — | 外面はにぶい赤褐色と底面は黒褐色。 | にぶい赤褐色。にぶい橙褐色。 | 口唇部下に波状文 | 表採 |
| | 75 | | AⅣ | 口 | 33 | — | — | 外面は灰赤褐色。内面はにぶい赤褐色。 | にぶい赤褐色。 | 逆L字状の口縁で口唇縁部は縄状に縁取られる。胴部は印花文。76と同一個体と思われる。 | せ-17 黒色土層60～80 |
| | 76 | | | 胴 | — | — | — | 外面は灰赤褐色。内面はにぶい赤褐色。 | にぶい赤褐色。 | 75と同一個体。胴部に縄状の凸帯と印花文。 | せ-15・16 岩盤にへばりついた黒色土層 |
| | 77 | | | 口 | 30.8 | — | — | 外面橙褐色。口唇と口縁部内面は暗褐色。内面胴部は橙褐色。 | 橙褐色。 | 口唇上面に沈線を1本施す。 | す-18 石灰岩礫集中部黒色土層50～70 |
| | 78 | | | 口～底 | 39.2 | 18.2 | 14.1 | 外面胴部～底部橙色。外面口縁部～内面灰黄褐色。 | 橙色。 | 口唇上面に沈線を1本施す。 | し-17 岩盤直下黒色混礫土層 |
| | 79 | | | 口 | 37.2 | — | — | 外面胴部はにぶい橙褐色。口唇上面と内面は灰黄褐色。 | にぶい橙褐色。砂粒微量。 | 口唇外端に2本の沈線を施す。 | せ-16 暗褐色混礫土層 |
| | 80 | | | | 28 | — | — | 両面ともににぶい橙褐色。 | 橙色とにぶい橙色。 | 口唇端が張り出している。 | せ・そ-13 遺構57 |
| | 81 | | | | 33.6 | — | — | 両面ともにぶい赤褐色。 | にぶい赤褐色。 | 口唇上面に1本、胴部に3本の沈線。 | て・と-11・12 表採 |
| | 82 | 大鉢 | AⅣ | 口～底 | 45 | 20 | 20.5 | 両面ともに暗褐色とにぶい赤褐色。 | 暗褐色とにぶい赤褐色。 | 口唇上面に1本の沈線を施す。 | て-12 遺物集中部0～20 |
| | 83 | 鉢 | AⅠ | 口 | 25 | — | — | 外面はにぶい橙色。内面橙色。 | 外側からにぶい橙色・灰色・橙色。 | 筒状の鉢？胴部に1本沈線。 | た-14 黒色土層20～40 |
| | 84 | | | | 43.4 | — | — | 両面ともにぶい橙色。 | にぶい橙色。 | 口唇直下に2本の沈線。胴部に1本突帯が付く。 | せ-17 黒色土層 |
| | 85 | | | | 35.2 | — | — | 外面灰褐色。内面灰色。 | 灰褐色。 | 口唇部縁は縄状、胴部の凸帯以外は貼付浮文。蔓と葉の図柄。 | せ-16 南側畦黒色土層0～30 |
| | 86 | | — | 底 | — | — | 10.5 | 両面ともに橙色。 | 橙色。 | — | つ-9 石段上黒色土層 |
| | 87 | 花鉢 | — | 底 | 21.8 | — | — | 外面胴部は灰黄褐色。外面底部と内面は灰赤褐色。 | 灰赤褐色。 | 内面轆轤痕明瞭。底中央に穴。 | た-14 岩盤にへばりついた黒色土層 |
| 第69図・図版52 | 88 | 擂鉢 | AⅠ | 口 | 25 | — | — | 外面灰黄褐色。内面にぶい黄褐色。 | 淡赤橙色 | — | す-18 遺物礫集中部黒色土層20～40 |
| | 89 | | | | 24.8 | — | — | 外面灰暗褐色。内面にぶい黄褐色。 | 暗褐色。白色土が筋状にみられる。 | 櫛目は12本。 | す-16 表採 |
| | 90 | | AⅡ | 口 | 33.2 | — | — | 外面はにぶい橙褐色と灰黄褐色。内面はにぶい橙色。 | にぶい橙色。 | 櫛目は9本。 | さ-17・18 崖部溝状遺構黒色混礫土層 |
| | 91 | | AⅠ | 口～底 | 31.2 | 13.5 | 11.9 | 両面ともにぶい赤褐色と黒褐色。 | にぶい赤褐色に砂粒が微量に含まれる。 | 櫛目は12本。 | ち-14 遺物集中部0～20 |
| | 92 | | | 口 | 28.4 | — | — | 両面ともに暗褐色。 | 暗褐色。白色土が筋状にみられる。砂粒が微量に含まれる。 | 櫛目は7本。 | す-15 遺構30 |
| | 93 | | BⅠ | 口 | 28.6 | — | — | 両面ともに暗褐色と黒褐色。表面は艶がある。 | 暗赤褐色。砂粒が微量に含まれる。 | 口唇部上面に緩やかなカーブを描く波文。櫛目は11本。 | す-15 遺構30 |
| | 94 | | AⅡ | 口 | 28 | — | — | 両面ともに橙褐色。 | 橙褐色。 | 櫛目は6本。 | せ-16 黒色混礫土層 |
| | 95 | | | | 34.4 | — | — | 両面ともに淡黄褐色。 | にぶい赤褐色。 | 櫛目は13本と思われる。 | ち-9 石段上黒色土層 |
| | 96 | | | | 29 | — | — | 外面はにぶい橙色、内面は橙色。 | 橙色。 | 胴部に凸帯を作ろうとした痕がある。櫛目は10本。 | 表採 |

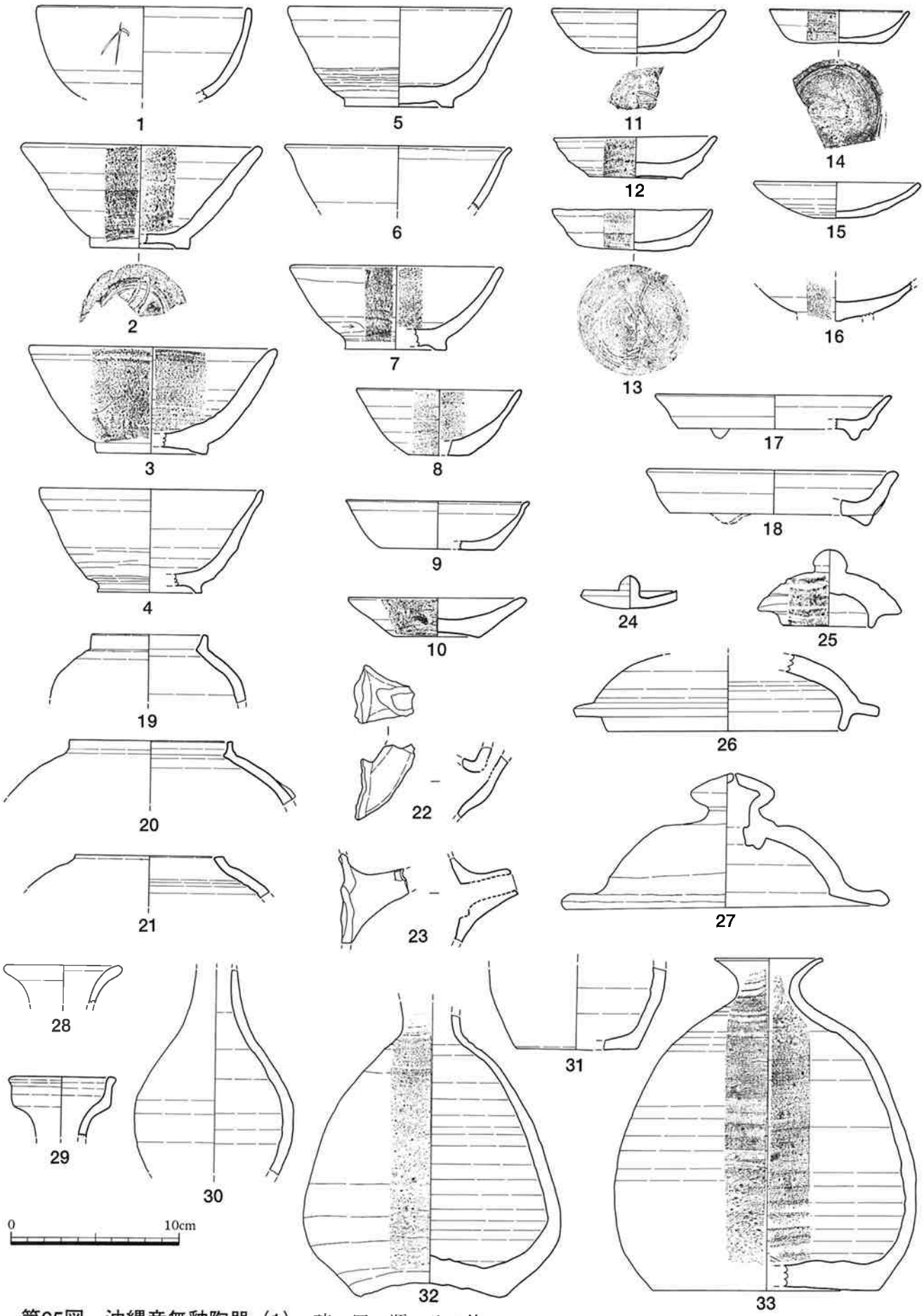
注：法量の項「--」は測定不可、観察の項「—」は不明、出土地の項「+」は接合、分類の項「A」は焼締、「B」は泥釉

## 第25表　沖縄産無釉陶器観察一覧(4)

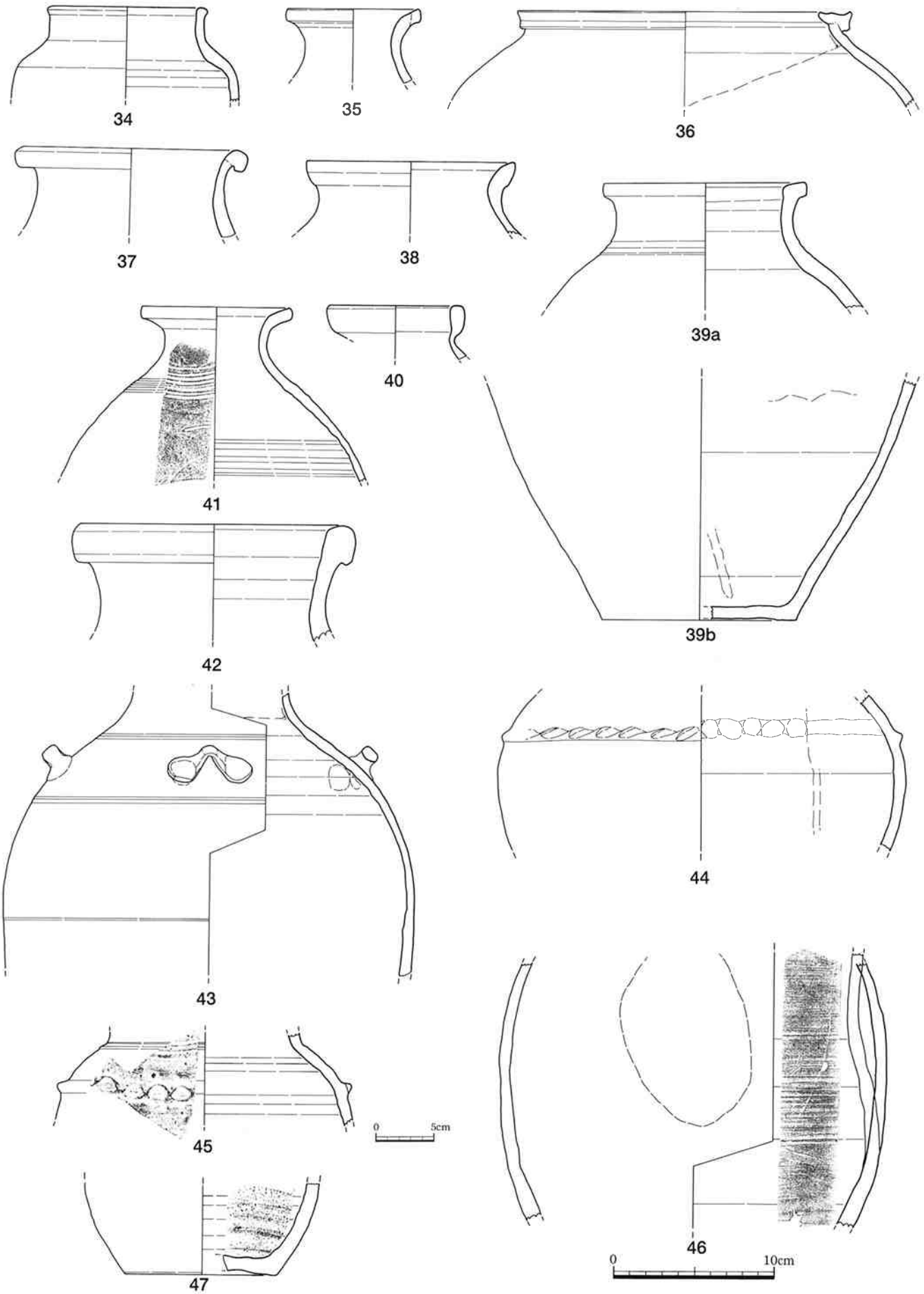
単位：cm

| 図 | 番号 | 器種 | 分類 | 部位 | 口径 | 器高 | 底径 | 器色 | 素地 | 観察事項 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第69図・図版52 | 97 | 擂鉢 | AⅢ | 口 | 28.4 | — | — | 外面はにぶい橙色とにぶい赤褐色。内面は橙色。 | 橙色。 | 口唇上面に沈線が１本。櫛目は10か13本と思われる。底から口縁に向かい斜めに櫛目が施される。 | せ-18 石灰岩礫集中部黒色土層 |
| | 98 | | | | 26.8 | — | — | 両面ともににぶい橙色。 | にぶい橙色。 | 口唇上面に２本の沈線。櫛目は13本と思われる。 | せ-15･16 岩盤にへばりついた黒色土層 |
| | 99 | | | 口～底 | 25.3 | 12.1 | 9.3 | 両面ともに橙色。口唇部が部分的に黒褐色。 | 橙色。 | 注ぎ口が残存する。口唇上面に沈線が1本。 | す-18 遺構72 |
| | 100 | | | | 29.4 | 12.5 | 9.4 | 外面はにぶい橙色。内面はにぶい橙色と一部黒褐色で全体的に灰黄色がかかる。 | にぶい橙色。 | 口唇上面に沈線が1本。櫛目は20本?と思われる。 | て-12 |
| 第70図・図版53 | 101 | 火炉 | AⅠ | 口 | 27 | — | — | 外面暗褐色。内面橙褐色。 | 橙褐色。粗粒の白色粒が少量含む。 | — | せ-18 茶褐色混り礫土層 |
| | 102 | | | | 18.8 | — | — | 両面ともに橙褐色。 | 橙褐色。白色粒微量。 | — | せ-16 黒色土層0～20 |
| | 103 | | AⅡ | 口 | 11.8 | — | — | 両面ともに橙褐色。 | 橙褐色。白色粒が微量に含まれる。 | 口縁に窓ができる。 | す-18遺物礫集中黒色土層20～40 |
| | 104 | | | | | — | — | 外面黒灰色。内面暗褐色。 | 暗茶褐色。 | 口縁・下部に煙り穴。 | せ-17 黒色土層0～30 |
| | 105 | | | | 10 | — | — | 両面ともに暗褐色。 | 暗褐色。 | 外面胴部にヘラ描き文様。横耳が付く。 | さ-17岩盤凹地内地山直上瓦集中部190～220 |
| | 106 | | | | 21 | — | — | 両面ともに暗桃褐色。 | 暗桃褐色。 | 煙出しあり。口唇部と頸部に沈線あり。 | さ･し-17 岩盤にへばりついた黒色土層 |
| | 107 | | AⅢ | 口 | 14.6 | — | — | 外面暗褐色。内面茶褐色。 | 茶褐色と黒灰色。 | — | せ-15岩盤にへばりついた黒色土層 |
| | 108 | | AⅣ | 口 | — | — | — | 両面ともに暗桃褐色。 | 暗桃褐色。 | 胴部に煙り穴がある。 | た-14 礫集中部 |
| | 109 | | — | 胴 | — | — | | 両面ともに橙褐色。 | 橙褐色。白色粒が少量含まれる。 | 逆くの字型？口縁部下部にくし描きの文様が描かれる。 | せ-15･16 岩盤にへばりついた黒色土層 |
| | 110 | | AⅡ? | 底 | — | — | 14 | 両面ともに桃褐色。 | 茶褐色。 | 逆くの字型。横耳が付き、その下に穿孔する。 | さ･し-17 岩盤にへばりついた黒色土層 |
| | 111 | | — | 底 | — | — | 12.8 | 両面ともに暗桃褐色。 | 暗桃褐色。 | 脚が付く。 | そ-13 地山直上 |
| | 112 | | | | — | — | 13.1 | 両面ともに暗桃褐色で、褐釉の釉垂れがある。 | 暗桃褐色。 | 脚が付く。 | さ-17･18 崖部石垣状遺構上黒色混礫土層 |
| | 113 | 不明 | — | 撮み | — | — | — | 外面暗褐色。内面茶褐色。 | 茶褐色。 | 蓋のつまみ部分か？ | た-14 黒色土層0～20 |
| | 114 | 急須 | — | 把手 | — | — | — | 内外面茶褐色。 | 茶褐色で砂粒を微量含んでいる。 | — | せ-17黒色混礫土層90～110 |
| | 115 | 不明 | — | 胴 | — | — | — | 外面明灰褐色。内面橙褐色。 | 橙褐色。 | 図柄不明の線描き文様 | せ-17黒色混礫土層90～110 |
| | 116 | | | | — | — | — | 外面にぶい褐色。内面橙褐色。 | 橙褐色。 | 胴部に沈線と文字「･･･四月二十日」納骨器の胴部か？ | 13トレンチ東側 |
| | 117 | | | 脚 | — | — | 9.8 | 外面茶褐色。内面橙褐色。 | 橙褐色。砂粒が微量に含まれる。 | 擂り鉢の脚とも考えられる。 | せ-16黒褐色混礫土層+ち-9地山直上 |
| | 118 | | | | — | — | 15.7 | 両面ともに茶褐色。 | 茶褐色。 | 擂り鉢の脚とも考えられる。 | せ･そ-17旧階段横２列石列付近黒色混礫土層 |
| | 119 | | | | — | — | 17.7 | 両面ともに桃褐色の自然釉？だが、全面の釉が黒色に変色している。 | 桃褐色。白色粒少量含む。 | 擂り鉢の脚か？ | せ-17 黒色混礫土層90～110 |
| | 120 | | | 口 | 15.4 | — | — | 両面ともに灰褐色。 | 橙褐色。 | 蓋か？２本の波状文。 | す-18遺物礫集中黒色土層20～40 |
| | 121 | | | 胴 | — | — | — | 外面は艶のある黒褐色。内面は黒褐色。 | 茶褐色。 | 注口のような部分があり、直径約３㎜の孔が空けられている。水滴の可能性がある。 | す-15 遺構30 |
| | 122 | 急須 | B | 口～底 | 6.9 | 7.2 | 6.2 | 両面ともに暗茶褐色。 | 茶褐色。 | 外面泥釉。轆轤成形。外面泥釉を塗った上に、胴部と注口に白と青で絵付け。図柄は花と蔓。 | と-12 遺物集中部西側畦 |
| | 123 | 瓶 | B | 底 | — | — | 5.2 | 外面暗茶褐色。内面茶褐色。 | 茶褐色。 | 外面泥釉。胴部に白色と青色で草花文。 | と-12 遺物集中部西側畦 |
| | 124 | 急須 | B | 口～底 | 5.8 | — | 8.9 | 外面暗茶褐色。内面茶褐色。 | 茶褐色。 | 外面は白色釉で絵付け。取手貼付。 | せ-16 黒褐色混礫土層 |

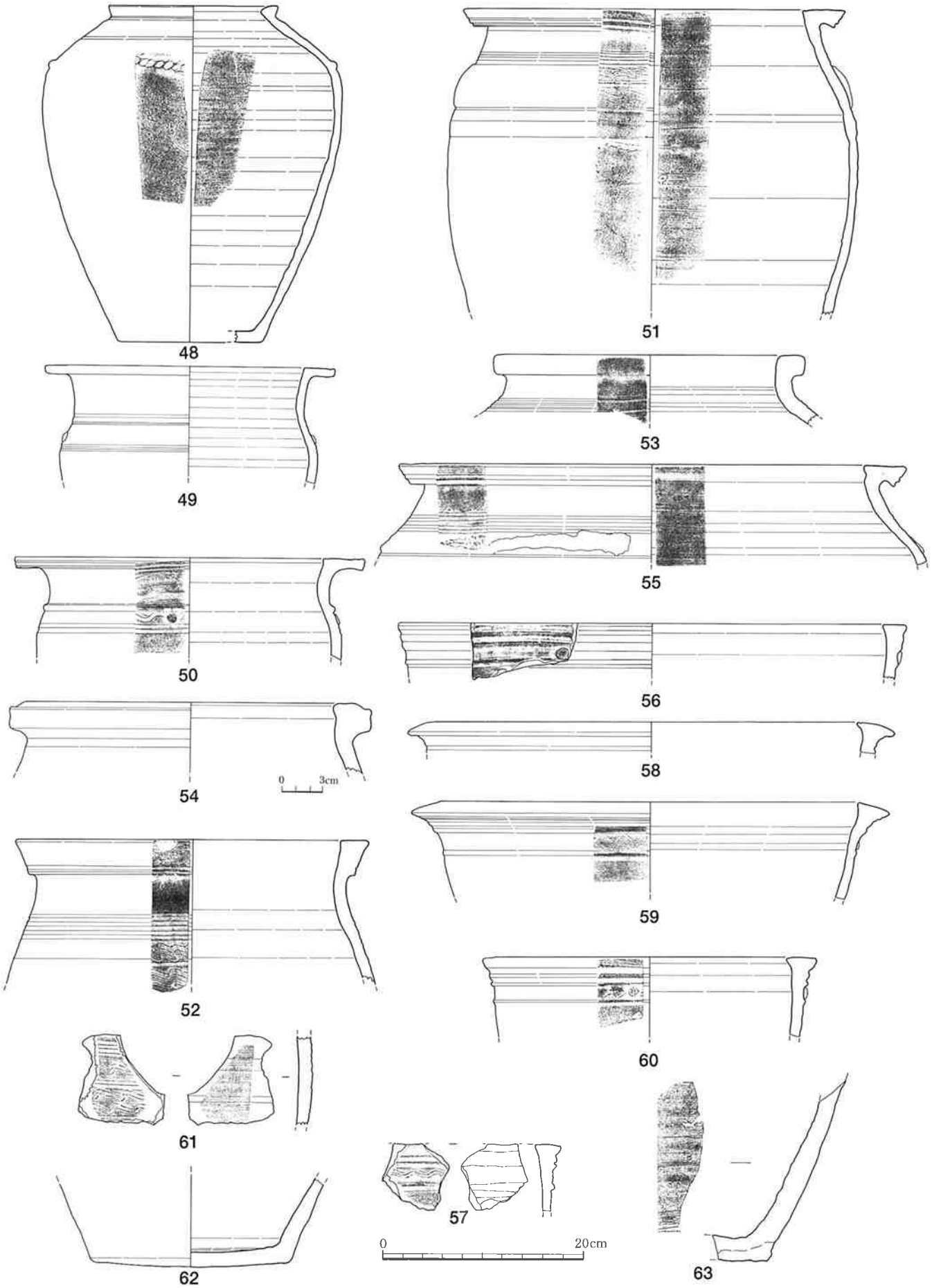
注:法量の項「—」は測定不可、観察の項「—」は不明、出土地の項「＋」は接合、分類の項「A」は焼締、「B」は泥釉



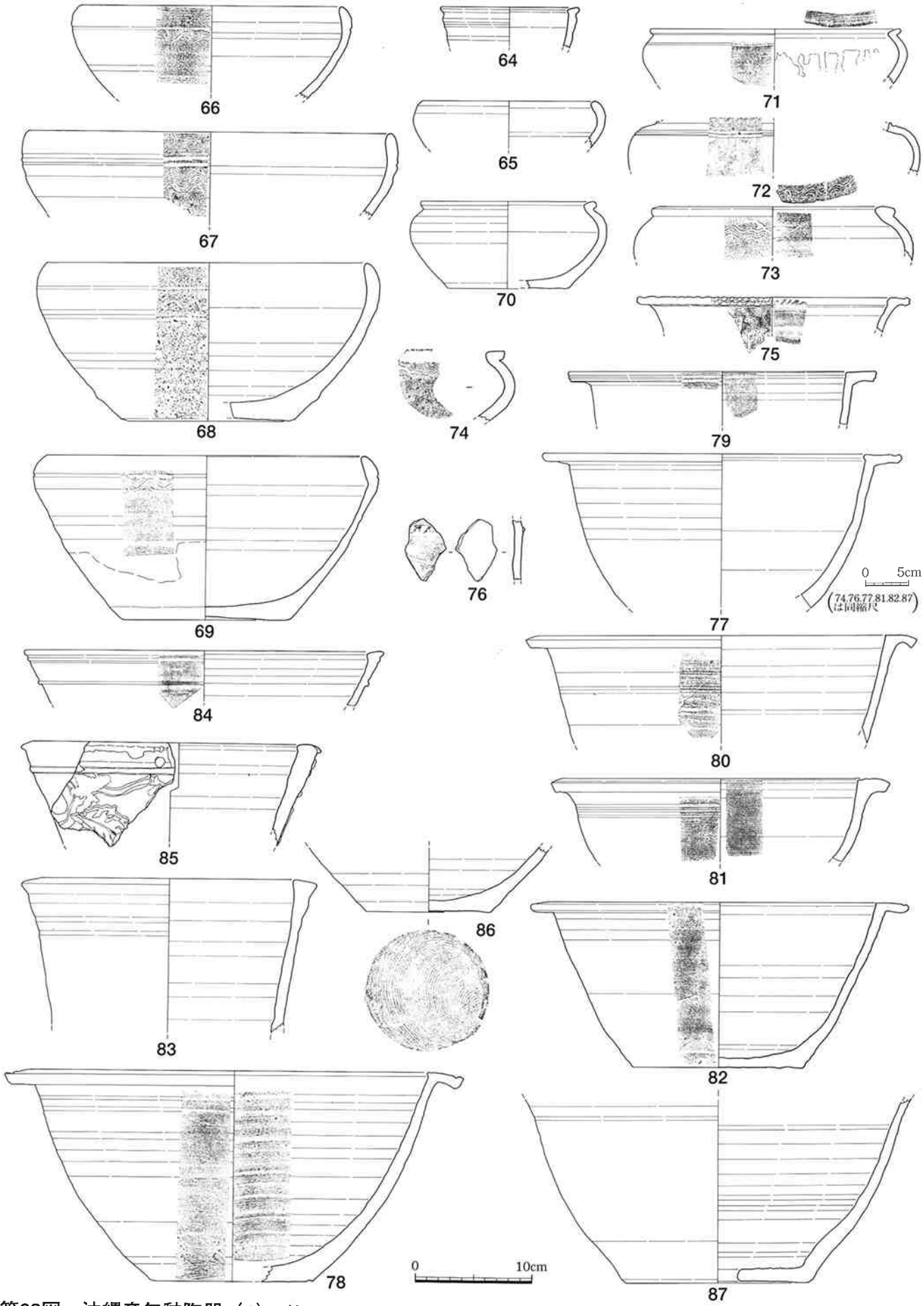

第65図　沖縄産無釉陶器（1）　碗・皿・瓶・その他



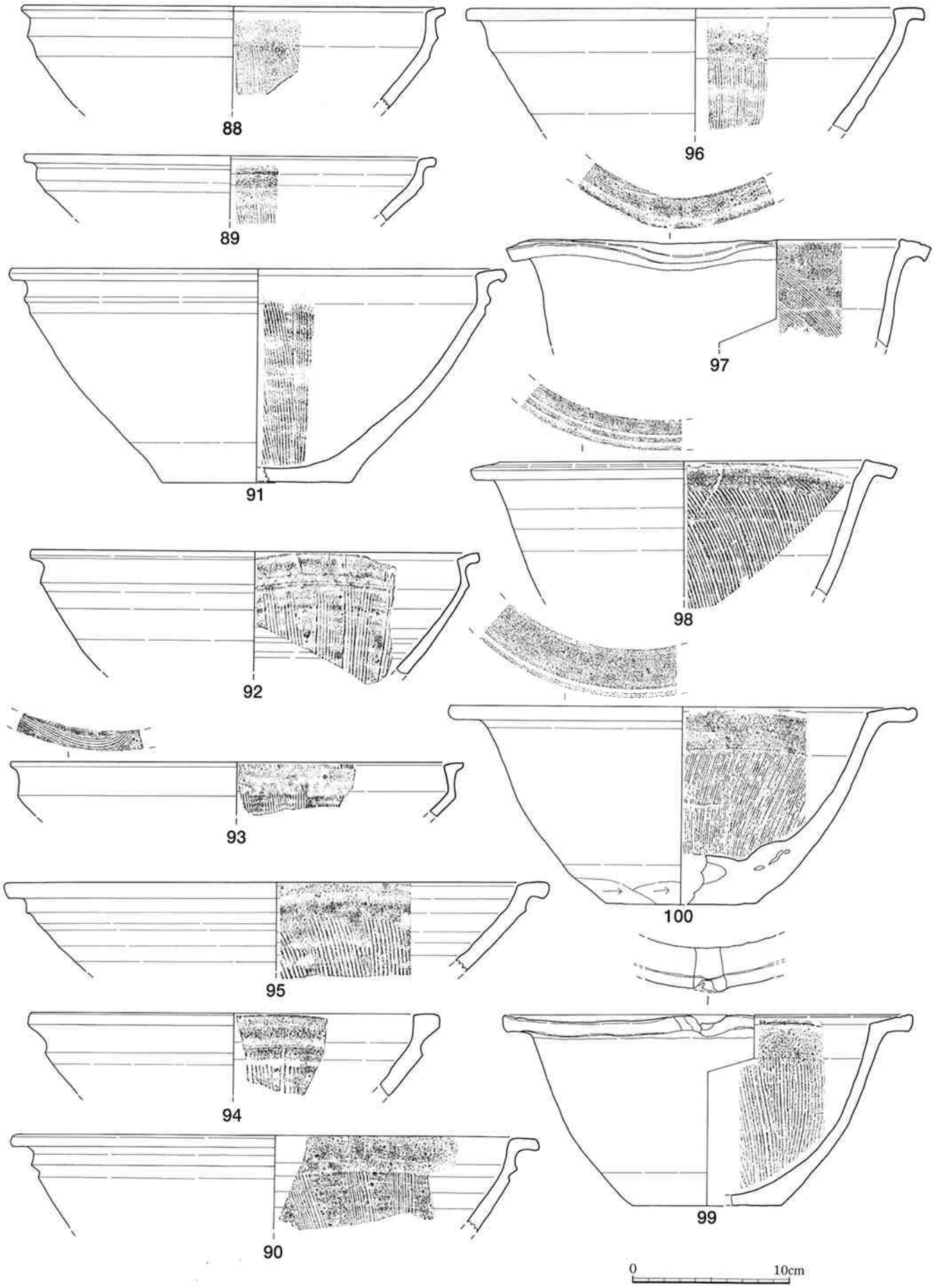

第66図　沖縄産無釉陶器（2）　壺



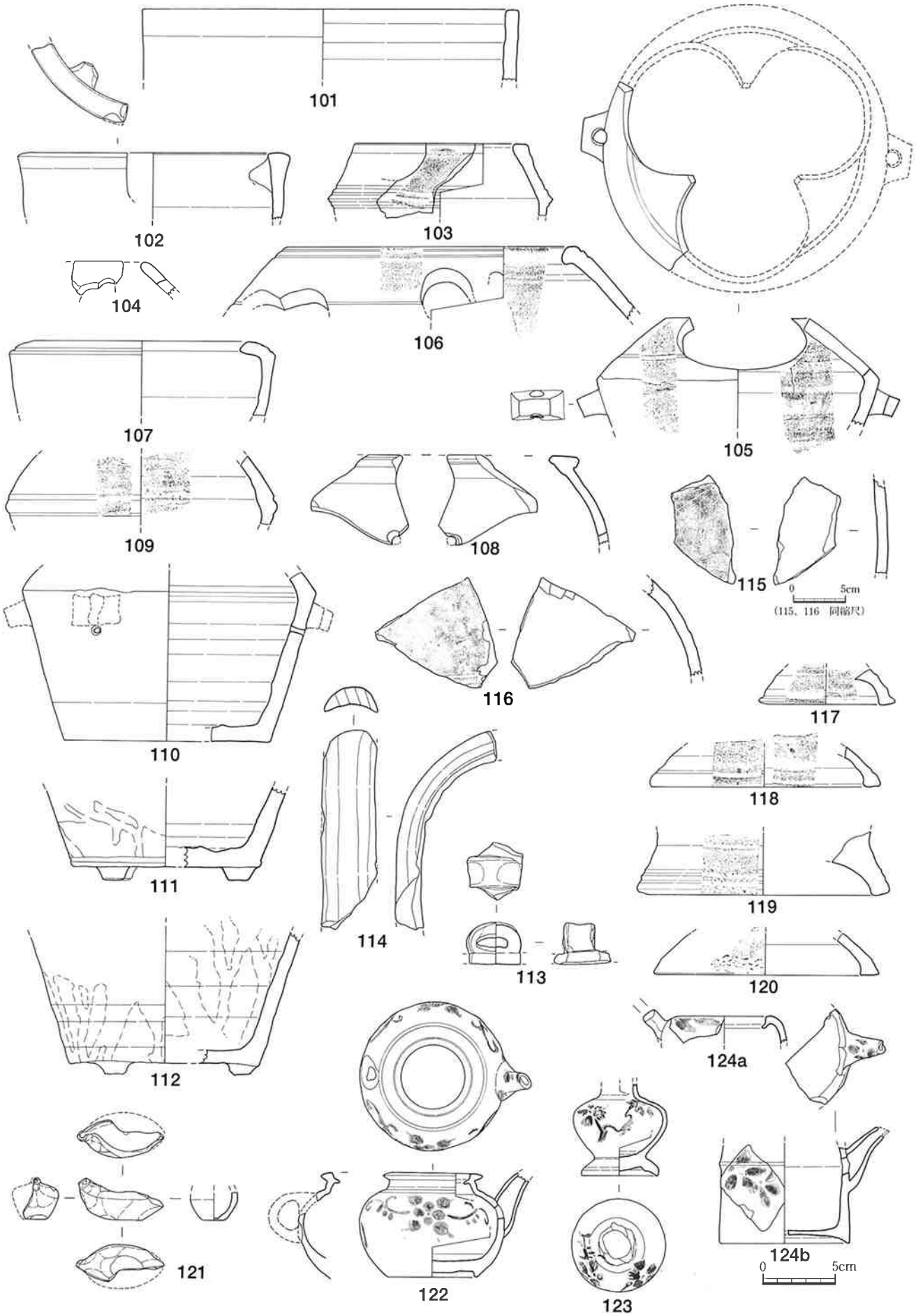

第67図　沖縄産無釉陶器（3）　甕




第68図　沖縄産無釉陶器（4）　鉢




第69図　沖縄産無釉陶器（5）　擂鉢




**第70図　沖縄産無釉陶器（6）**　火炉・急須・瓶

## 第20節　陶質土器

陶質土器とは壺屋において「アカモノ」などの名で呼ばれているもので、胎土は細かく、混入物に石灰質の砂粒・赤色粒・黒色粒・雲母粒を含み、轆轤引き又は輪積みにより成形され、その多くは焼成が悪く触れると粉末が付着し、器色は褐色を主体に橙褐色や黄褐色になる。鍋・火炉・急須・灯明皿のような火を受ける器種の口縁部や底部には煤が付着しているのが特徴である。天界寺東で出土した陶質土器は、鍋・火炉・急須・皿・碗・鉢などの器種が確認できた。又、不明品については、陶質土器の範疇から外れるものの、他の遺物と比較すると陶質土器により近いということから、本項で取り扱った。各器種の詳細は下記の通りである。

**鍋**　蓋：皿に似るが外面を丁寧に仕上げ、やや外傾した高台状の撮みをつくるのが特徴である。今回出土した資料からは、撮みから端部（皿でいう口唇部）まで緩やかなカーブで至るもの（第71図１・３・４）、撮みから端部まで直線的に至るもの（第71図２）、撮みから端部へ至る途中に段を作るもの（第71図５）が確認できた。また、端部の細かな特徴を第27表の観察一覧に記した。

身：沖縄では「サーク」と呼ばれるもので、今回出土した資料は下記の２種類に分類できた。

Ⅰ類　口縁部を「く」の字に外反させて蓋受けをつくり、胴部には紐状の把手を貼付し、底部は丸底になるもの（第71図６～11）。

Ⅱ類　口縁部が直口して胴部に羽釜状の鍔をつけるもの（第71図12～15）。

**火炉**　沖縄では「ヒールー」と呼ばれるもので、火窓を設けて、口縁部の内側に器物を乗せる突起を貼付し、胴部には有孔の把手を貼付するものである。また、器体の外面に白化粧土で文様を描く物もある。火炉は今回出土した資料から下記のように６種類に分類できた。

Ⅰ類　底部から口縁部へ逆「ハ」の字状に外傾する器形（第72図１・２）。

Ⅱ類　底部から胴上部へ直線的に至り、口縁部付近で「く」の字状に折れ内傾する器形（第72図３）。

Ⅲ類　底部から口縁部まで円柱状に直口する器形（第72図４～９）。

Ⅳ類　胴部が膨らみ口縁部が外反する器形（第72図10～14）。

Ⅴ類　底部から胴部までは膨らみをもって至るが、胴部からは垂直に立ち上がる器形（第72図15）。

Ⅵ類　胴部が球状に膨らみ口縁部が内傾する器形（第72図16～19）。胴部に「つくりもの」を貼付する物もある（第72図20・21・23・24）。

上記のほかにも第72図22の手焙りも出土しており、器体から５個の穴が確認できた。また、第72図25は裏面に煤が付着している事から今回は火炉として扱った。

**急須**　蓋：撮みをつけるタイプ（第73図４）とつけないタイプ（第73図３）がある。また、（第73図１・２・５）については、資料が細片の為詳細は不明である。

身：身は口縁部の形態から下記の３種類に分類を行った。また、紐を通すと思われる外耳（第73図10・21）や注口(第73図22・23)も出土している。

Ⅰ類　口縁部を微弱に立ち上げて頸を短く成形するもの（第73図６～８）で、壺屋古窯群Ⅰの分類では、対応する球状に膨らむ胴部が確認されているが、今回の調査では確認できなかった。

Ⅱ類　口縁部を立ち上げて頸部を長く成形するもの（第73図９～12）で、壺屋古窯群Ⅰの分類でいう対応する屈曲した胴部（第73図13～17）も確認できた。

Ⅲ類　口縁部を外反させて蓋受けをつくるもの（第73図18～20）で、今回分類した鍋Ⅰ類に近い器形だが、鍋に比べ器厚も薄く、紐状の把手も確認できなかった為、今回は急須として扱った。

**皿**　ベタ底の底部から口縁部へ外傾しながら至る器形で、胴部に僅かな膨らみをもつもの（第73図24・25）と胴部に膨らみを持たないもの（第73図26）が確認できた。器体の口縁に煤が付着している事から灯明具として使われていたと考えられる。

**碗**　第73図27は高台を持つ碗である。全形が窺える資料が確認できたが、他の器種に比べ出土数が少ないため詳細は不明である。

**鉢**　鉢は今回出土した資料から下記の２種類に分類を行った。

Ⅰ類　胴部が膨らみ口縁部が内傾する器形である。表面に櫛掻き波状文と丸彫りの圏線を施しているものは水鉢（ミジクブサー）と呼ばれるものである（第74図１・２・４・６）。

Ⅱ類　底部から口縁部まで直線的に至り、口縁を強く折り曲げた器形である。擂鉢に類似する器形（第74図13～15）ではあるが、今回は擂り目を持たないもの（第74図３・８～10）もⅡ類の範疇に含めた。また、Ⅰ・

Ⅱ類の器形をそれぞれ小さくしたものが幾つか出土しているが、鉢として使われていたかは不明である。(第74図11・12)

**不明**　第74図16・17は鍋もしくは鉢の胴部と考えられる資料である。第74図19・20は小型製品である。

第74図18・22は焼き締めの甘い無釉陶器のようであるが今回は陶質として扱った。第74図21は小型の角鉢で陶質的な素地に緑釉のようなものがかけられているのが特徴である。第74図23は口縁部の破片であるため詳細は不明である。第74図25は器種が特定できない素焼きのような物である。

以上、上記に挙げた資料は陶質土器の範疇から外れるものもあるが、今回は陶質の枠で不明品として扱った。

## ＜参考文献＞


1．　島　弘ほか『壺屋古窯群Ⅰ』那覇市教育委員会　１９９２年


## 第26表　陶質土器出土状況

| 器種・分類 ＼ 出土地 | | | | トレンチ | 表採・撹乱 | 黒色土層 | 黒色混礫土層 | 地山直上 | 遺構 | さ・し−17・18 地山直上黒色土層 | さ・し−17・18 岩盤にへばりついた黒色土層 | さ・し−17・18 石敷直上黒色混礫土層 | さ・し−17・18 瓦集中部 岩盤間地内中層 | さ・し−17・18 土層崖部 墓口？前面黒色混礫 | す・せ−18 黒色土層 | す・せ−18 黒色混礫土層 | す・せ−18 遺物礫集中部 | す・せ−18 地山直上 | そ−13・14 方形遺構内壁面の漆喰のある | そ−13・14 石垣横の石列前面黒色土層 | せ・そ−15・16・17 黒色土層 | せ・そ−15・16・17 黒色混礫土層 | せ・そ−15・16・17 黒褐色混礫土層 | せ・そ−15・16・17 地山直上 | せ・そ−15・16・17 岩盤にへばりついた黒色土層 | せ・そ−15・16・17 旧階段横2列石列下黒色混礫土層 | せ・そ−15・16・17 炭集中部岩盤直下土壙内 | せ・そ−15・16・17 撹乱土壙 | せ・そ−18 石灰岩礫集中部黒色土層 | せ・そ−18 黒色混礫土層 | せ・そ−18 石敷遺構下地山直上 | た・ち・つ−12・13・14 | て・と−11・12・13 岩盤上黒色土層 | て・と−11・12・13 南側畦 | て・と−11・12・13 遺物集中部 | 不明 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 鍋 | 蓋 | | 端部 | 3 | | | | 3 | 2 | | | | | | | | | | | | 5 | 2 | 3 | | | | | | | | | 3 | | | 10 | 3 | 34 |
| | | | 撮み | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | 4 | 1 | 7 |
| | 身 | I | 口縁 | 3 | 1 | 3 | | 2 | 7 | | | 2 | | | | 1 | 6 | | 1 | | 3 | 3 | 6 | | 1 | | | | 2 | | | 6 | | 1 | 14 | 4 | 66 |
| | | | 胴部 | 4 | | 1 | 13 | 10 | 28 | | | | | | | 1 | 10 | | | | 13 | 15 | 4 | | | 1 | | | | | | 4 | | | 8 | 17 | 129 |
| | | | 底部 | 10 | 2 | 6 | 1 | 7 | 21 | | 2 | 1 | | | 5 | 7 | 23 | | | | 28 | 14 | 43 | | 2 | 1 | | 1 | 5 | 1 | | 17 | | | 37 | 11 | 245 |
| | | | 口~底 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | 耳 | 1 | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 1 | 1 | 3 | | | | | | | | | | | | 6 | 1 | 14 |
| | | II | 口縁 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 |
| | | | 胴部 | 1 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 1 | 5 |
| | | | 口~底 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 2 |
| | III | | 口縁 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 1 | | | | | | | | | | | | | 2 | | 6 |
| | | | 胴部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 |
| | IV | | 口縁 | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 3 |
| | | | 胴部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | | 3 |
| | | | 底部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | | 3 |
| | | | 口~底 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | 2 |
| | VI | | 口縁 | 4 | 3 | 8 | 3 | 4 | 5 | | | | 1 | | | 1 | 4 | | | | 3 | | 7 | | | | | | 1 | | | 2 | | | 2 | 3 | 51 |
| | | | 胴部 | 4 | | 5 | 1 | | | | | | | | | 2 | 5 | | | | 6 | 3 | 6 | | | | | | 1 | 1 | | 5 | | | 6 | 1 | 46 |
| | | | 底部 | 5 | | 3 | | 2 | | | | | | | | | 2 | | | | 5 | 1 | 4 | 1 | | | | | 1 | | | | | | 13 | 1 | 38 |
| | 不明 | | 口縁 | 1 | | 1 | 3 | 3 | 1 | | | 1 | | | | | 1 | | | | | | | | | 1 | | | | | | 1 | | | 3 | 1 | 17 |
| | | | 胴部 | | 2 | 4 | 4 | 2 | 2 | | | | | | | | 7 | | | | 6 | 4 | 4 | 1 | | 1 | | | | | | 1 | | | 6 | 3 | 47 |
| | | 底部 | 高台 | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | 4 |
| | | | ベタ | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 | | | | | | | | | 2 | | | 4 | 2 | 10 |
| | | | 他 | 3 | | 1 | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | 6 | 1 | 13 |
| | | | 突起 | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 2 |
| | | 耳 | 縦有孔 | | | 1 | | 2 | 2 | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 6 |
| | | | 横有孔 | | | | 1 | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| 手あぶり | | | 口縁 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | 2 |
| 急須 | 蓋 | | 撮み | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | 1 | 4 |
| | | | 口縁 | 1 | | 1 | | 1 | | | | | | | | 1 | | | | | 3 | 1 | 3 | | | | | | | | | 1 | | | 2 | | 14 |
| | | | 口~底 | | | | 2 | | 2 | | | | | | | | 1 | | | | 1 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | 8 |
| | 身 | I | 胴部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | 1 |
| | | III | 胴部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | 2 | | 5 |
| | | 不明 | 口縁 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | | | | | | | | 1 | | | | 3 | 4 | 2 | | | | | | 1 | | | 1 | | | 3 | | 21 |
| | | | 胴部 | 3 | | 1 | 2 | 3 | 1 | | | | | | | 1 | 4 | | | | 3 | 2 | 4 | | | | | | | | | 1 | | | 3 | 5 | 33 |
| | | | 底部 | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | 5 | | 8 |
| | | | 耳 | | | | | 1 | | | | | | | 1 | | 1 | | | | 3 | | 2 | | | | | | | | | 1 | | | 1 | 1 | 11 |
| | | | 注口 | 1 | | | | | 1 | | | | | | | | 1 | | | | 2 | | 2 | | 1 | | | | | | | | | | 3 | | 11 |
| 皿 | | | 口縁 | 1 | | | | | 1 | | | 1 | | | | | | | | | 4 | 1 | | | | | 1 | | | | | | | | 1 | 1 | 11 |
| | | | 胴部 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | 3 |
| | | | 底部 | 2 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | 1 | | | 1 | | 7 |
| | | | 口~底 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 碗 | | | 口縁 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | 2 |
| 鉢 | I | | 口縁 | 6 | | 1 | 1 | 3 | 1 | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | 2 | | 1 | 19 | 2 | 37 |
| | | 小鉢 | 口縁 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | 浅 | 口縁 | | | | | 1 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | 3 |
| | | | 頭 | 1 | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 3 |
| | | | 胴部 | 2 | | 3 | 4 | 2 | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | 6 | | 18 |
| | | 底部 | 他 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | 7 | | 8 |
| | | 底部 | ベタ底 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 |
| | | 脚 | 朱塗り | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 |
| | II | 大 | 口縁 | 1 | | 1 | | | 3 | | | | | | | | | | | | 4 | 2 | | | | | | | | | | | | | 1 | | 12 |
| | | 小 | 口縁 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 |
| | 不明 | | 口縁 | 3 | 2 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | 4 | 1 | 12 |
| | | | 胴部 | 2 | | 5 | | | 4 | | | | | | | | 2 | | | | | 1 | | | | | | | | | | 2 | | | 5 | | 21 |
| | | | 底部 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 2 |
| | | | 口~底 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 不明 | 不明 | | 口縁 | 1 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | 4 | | | 6 | 1 | 14 |
| | | | 胴部 | 36 | 10 | 37 | 34 | 40 | 24 | 2 | 1 | 9 | 2 | 5 | 18 | 13 | 66 | 2 | 3 | 1 | 95 | 37 | 107 | 5 | 7 | 9 | 2 | | 20 | 1 | 6 | 65 | 4 | | 48 | 42 | 751 |
| | | | 底部 | 2 | | | | | 4 | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 1 | | | | | | 3 | | | 12 | 1 | 25 |
| | 施釉 | | 胴部 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 合計 | | | | 105 | 21 | 87 | 72 | 91 | 117 | 2 | 3 | 14 | 3 | 6 | 25 | 28 | 137 | 2 | 4 | 1 | 197 | 101 | 204 | 7 | 12 | 14 | 3 | 1 | 32 | 3 | 6 | 125 | 5 | 2 | 275 | 107 | 1812 |

注：第71～74図にある遺物は集計に含めていない（観察一覧表を参考）
　：た・ち・つ-12・13・14黒色土層・黒褐色混礫土層・茶褐色混礫土層・瓦礫層

## 第27表　陶質土器観察一覧(1)

単位：cm

| 図 | 番号 | 器種 | 部位 | 口径 | 器高 | 底径 | 形態的特徴 | 器色 | 混入物 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第71図・図版54 | 1 | 鍋（蓋） | 全形 | 6(撮径) | 16(端径) | 4(高さ) | 端部：外反する<br>上面に朱が塗られる | 両面：褐色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | て－12 |
| | 2 | | | 5.6(撮径) | 14.8(端径) | 4.1(高さ) | 端部：直線的 | 両面：赤褐色<br>素地：灰色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | 13トレンチ東側 |
| | 3 | | 端部 | － | 17.8(端径) | － | 端部：肥厚する<br>下面に輪積痕 | 両面：灰褐色<br>素地：褐色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | せ－15・16<br>岩盤上黒色土層 |
| | 4 | | | － | 19.6(端径) | － | － | 上面：暗赤褐色<br>下面：赤褐色<br>素地：赤褐色 | 白色粒<br>黒色粒<br>赤色粒 | て－12 |
| | 5 | | | － | 22(端径) | － | － | 両面：暗褐色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | て－12<br>遺物集中部<br>黒色土層 |
| | 6 | 鉢Ⅰ類 | 口～底 | 17.2 | 9.1 | － | 口唇：舌状<br>外面に煤付着 | 外面：橙色<br>内面：暗灰色<br>素地：灰色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | す・せ－18 |
| | 7 | | 口 | 17.8 | － | － | 口唇：方形<br>外面に煤付着 | 両面：暗橙色<br>素地：灰橙色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | て－12 |
| | 8 | | | 21.3 | － | － | 口唇：舌状<br>外面に煤付着 | 両面：明橙色<br>素地：灰橙色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | て－16 |
| | 9 | | 口～底 | 15.6 | 9.3 | － | 口唇：舌状 | 両面：明橙色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | す－18<br>遺物集中部<br>黒色土層 |
| | 10 | | | 17.7 | － | － | 口唇：舌状<br>外面に煤付着 | 両面：暗褐色<br>素地：灰褐色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | と－12<br>遺物集中部西側畦 |
| | 11 | | 口～底 | 18 | 8.4(推) | － | 口唇：舌状<br>外面に煤付着 | 両面：暗褐色<br>素地：灰褐色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | て－12 |
| | 12 | | 胴部 | － | － | － | 鍔をほぼ垂直に貼付する<br>鍔から上は朱が塗られ、下は煤が付着 | 両面：暗橙色<br>素地：灰橙色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | て－13<br>遺物集中部 |
| | 13 | 鉢Ⅱ類 | 口 | 16 | － | － | 口唇：丸い<br>鍔を下向けに貼付する<br>鍔から上は朱を塗る | 両面：暗褐色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | ち－13<br>石垣裏込め内 |
| | 14 | | 口～底 | 15.4 | 10 | － | 口唇：丸い<br>鍔：下向けに貼付する<br>鍔から上は朱が塗られ、下は煤が付 | 両面：暗褐色<br>素地：灰褐色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | て－12 |
| | 15 | | 胴部 | － | － | － | 鍔：ほぼ垂直に貼付する<br>茶釜に器形が類似 | 両面：灰色<br>素地：灰色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | そ－17<br>撹乱土壙 |
| 第72図・図版55 | 1 | 火炉Ⅰ | 口 | 24.8 | － | － | 内面に煤付着 | 外面：暗褐色<br>内面：灰褐色<br>素地：灰色 | 白色粒<br>赤色粒<br>雲母 | 13トレンチ東側 |
| | 2 | | | 23.8 | － | － | 内面に煤付着 | 外面：褐色<br>内面：灰褐色<br>素地：灰色 | 白色粒<br>赤色粒<br>雲母 | て－12<br>遺物集中部 |
| | 3 | 火炉Ⅱ | 口～底 | 11.8 | 10.3 | 9.6 | 口唇：丸い | 両面：橙褐色<br>素地：橙褐色 | 白色粒<br>赤色粒<br>雲母 | す－18<br>遺物集中部<br>黒色土層 |
| | 4 | 火炉Ⅲ | 口 | 14.8 | － | － | 口唇：方形<br>内面に煤が付着 | 外面：褐色<br>内面：灰褐色<br>素地：灰色 | 白色粒<br>雲母 | と－12<br>遺物集中部西側畦 |
| | 5 | | 底 | － | － | 11 | 底部：高台をつくる | 両面：黄褐色<br>素地：黄褐色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | た－14<br>黒褐色混礫土層 |
| | 6 | | 口～底 | 17 | 14.4 | 17.4 | 口唇：方形<br>胴部に「つくりもの」を貼付<br>口縁部に煤が付着 | 両面：赤褐色<br>素地：赤褐色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | つ－9<br>石段上黒色土層 |
| | 7 | | | － | － | 9.8 | 底部：高台をつくる<br>外面に朱を塗る | 外面：淡褐色<br>内面：淡灰褐色<br>素地：淡灰色 | 白色粒<br>赤色粒<br>雲母 | て－12<br>遺物集中部 |
| | 8 | | 口 | 20 | － | － | 口縁：断面三角状<br>白化粧土で圏線を描く | 外面：黒褐色<br>内面：橙褐色<br>素地：赤褐色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | 16トレンチ東側<br>岩上黒色土層 |
| | 9 | | | 24.6 | － | － | 口唇：断面三角状 | 外面：黄褐色<br>内面：褐色<br>素地：灰色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | せ－17<br>黒色土層 |
| | 10 | 火炉Ⅳ | 口～底 | 16.6 | 10.3 | 8.6 | 口唇：丸い<br>把手：穴を穿つ<br>外面に朱を塗る | 外面：褐色<br>内面：暗褐色<br>素地：褐色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | て－12 |
| | 11 | | 口 | － | － | － | 口唇：舌状<br>内面に煤が付着 | 外面：赤褐色<br>内面：灰褐色<br>素地：灰色 | 白色粒<br>赤色粒<br>雲母 | 表採 |
| | 12 | | 口 | － | － | － | 口唇：丸く肥厚 | 外面：褐色<br>内面：灰褐色<br>素地：灰色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | と－12<br>遺物集中部西側畦 |
| | 13 | | 胴 | － | － | － | 把手：穴を穿つ<br>白化粧で文様を描く、外面に朱を塗る | 外面：暗橙褐色<br>内面：灰褐色<br>素地：灰色 | 白色粒<br>黒色粒<br>赤色粒 | て－12 |
| | 14 | | 底 | － | － | 13.4 | 底部：高台をつくる | 外面：橙褐色<br>内面：暗褐色<br>素地：灰色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | と－12<br>遺物集中部西側畦 |
| | 15 | 火炉Ⅴ | 底部 | － | － | 15.7 | 底部：高台をつくる | 両面：褐色<br>素地：灰色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | せ－17<br>黒色土層 |

注：法量の項の「－」は測定不可、形態的特徴の項「－」特記すべき事項なし

## 第27表　陶質土器観察一覧(2)

単位：cm

| 図 | 番号 | 器種 | 部位 | 口径 | 器高 | 底径 | 形態的特徴 | 器色 | 混入物 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第72図・図版55 | 16 | 火炉Ⅵ | 口～底 | 14 | 10.8 | 8 | 口唇：舌状<br>把手：穴を穿つ<br>白化粧土で文様を描く | 両面：橙褐色<br>素地：橙褐色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | す－18<br>黒色土層 |
| | 17 | | 口 | 12.8 | － | － | 口唇：丸い<br>凹み圏線を二条に描く | 外面：赤褐色<br>内面：暗灰色<br>素地：橙色 | 黒色粒<br>赤色粒<br>雲母 | と－12<br>遺物集中部 |
| | 18 | | | 18.8 | － | － | 口唇：丸く肥厚 | 両面：橙褐色<br>素地：灰褐色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | さ・し－17<br>石敷直上瓦集中部<br>黒色褐礫土層 |
| | 19 | | | 13.6 | － | － | 口唇：丸い<br>白化粧土で文様を描く | 外面：橙褐色<br>内面：灰褐色<br>素地：灰褐色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | そ－17<br>黒色混礫土層 |
| | 20 | | 胴 | － | － | － | 「つくりもの」に穴を穿つ<br>泥釉？が施釉 | 外面：灰褐色<br>内面：橙褐色<br>素地：灰褐色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | と－12<br>遺物集中部 |
| | 21 | | 胴 | － | － | － | 「つくりもの」機から穴を穿つ<br>泥釉？が施釉 | 外面：褐色<br>内面：暗褐色<br>素地：灰色 | 白色粒<br>黒色粒<br>赤色粒 | た－13<br>地山直上 |
| | 22 | 手焙り | 口 | 9.2 | － | － | 口唇：断面三角状に肥厚。胴に穴を穿つ | 外面：暗灰褐色<br>内面：灰褐色<br>素地：灰色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | す－18<br>遺物集中部<br>黒色土層 |
| | 23 | 火炉Ⅵ | 外耳 | － | － | － | つくりものを貼付する | 両面：灰色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | ち－13<br>西側畦<br>黒褐色礫混り層 |
| | 24 | | | － | － | － | つくりものを貼付する<br>両面に煤が付着 | 両面：灰色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | た－14<br>黒色土層 |
| | 25 | 火炉<br>その他 | 底 | － | － | 13 | 底部：高台をつくる<br>内面に煤が付着 | 両面：淡灰色<br>素地：灰色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | 15トレンチ東側<br>黒色土層 |
| 第73図・図版56 | 1 | 急須蓋 | 端部 | － | － | 8.6(端) | 滑り止め：高くつくる | 上面：暗褐色<br>下面：明褐色<br>素地：赤褐色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | て－12<br>遺物集中部 |
| | 2 | | | － | － | － | 滑り止め：高くつくる | 両面：褐色<br>素地：灰褐色 | 黒色粒 | し－17<br>崖部石灰岩礫層 |
| | 3 | 急須蓋Ⅱ | 端部 | － | － | 5.4(端) | 摘：無し<br>滑り止め：低くつくる<br>上面に圏線あり | 両面：黄褐色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | せ－15<br>岩盤付近黒色土層 |
| | 4 | 急須蓋Ⅰ | 摘み | － | － | － | 摘：饅頭 | 上面：暗褐色<br>下面：褐色<br>素地：灰色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | 16トレンチ東側<br>岩上撹乱層 |
| | 5 | 急須蓋Ⅱ | 端部 | － | － | － | 摘：無し | 上面：暗褐色<br>下面：褐色<br>素地：灰色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | せ－16<br>地山直上 |
| | 6 | 急須Ⅰ | 口 | － | － | － | 口唇：丸<br>口縁：直立で短い | 外面：暗褐色<br>内面：橙褐色<br>素地：灰褐色 | 黒色粒<br>赤色粒<br>雲母 | す－15<br>遺構57<br>地山直上 |
| | 7 | | | 7.2 | － | － | 口唇：丸<br>口縁：直立で短い | 外面：明橙褐色<br>内面：橙褐色<br>素地：灰褐色 | 黒色粒<br>赤色粒<br>雲母 | そ－18<br>石敷遺構下<br>地山直上 |
| | 8 | | | 8 | － | － | 口唇：丸<br>口縁：僅かに外反<br>内面に煤が付着 | 外面：橙褐色<br>内面：暗灰褐色<br>素地：灰褐色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | つ－13<br>瓦礫層 |
| | 9 | 急須Ⅱ | 口～底 | 8.6 | 12 | 17.6 | 口唇：丸<br>口縁：直立で長い<br>外面に二条の圏線、外面に煤が付着 | 外面：赤褐色<br>内面：暗赤褐色<br>素地：灰褐色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | せ－18石灰岩礫集中部黒色土層 |
| | 10 | | 口 | 8.4 | － | － | 口唇：平<br>口縁：直立で長い<br>外面に煤が付着 | 外面：灰褐色<br>内面：暗橙褐色<br>素地：暗橙褐色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | と－12<br>遺物集中部 |
| | 11 | | | 8 | － | － | 口唇：丸<br>口縁：直立<br>外面に煤が付着 | 外面：暗褐色<br>内面：暗灰褐色<br>素地：灰褐色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | せ－17<br>黒色混礫土層 |
| | 12 | | | 5.6 | － | － | 口唇：丸<br>口縁：直立で長い<br>頸部に凹みあり | 外面：褐色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | せ－17<br>黒色土層 |
| | 13 | | 底 | － | － | － | 口縁Ⅱ類に対応する<br>外面に二条の沈線、外面に煤が付着 | 外面：褐色<br>内面：灰褐色<br>素地：灰色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | す－15<br>遺構57 |
| | 14 | | | － | － | － | 口縁Ⅱ類に対応する<br>外面に煤が付着 | 外面：褐色<br>内面：灰褐色<br>素地：灰色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | す－18<br>遺物集中部<br>黒色土層 |
| | 15 | | 胴 | － | － | － | 口縁Ⅱ類に対応する<br>外面に二～四条の凹線<br>外面に煤が付着 | 外面：赤褐色<br>内面：灰褐色<br>素地：灰褐色 | 赤色粒<br>雲母 | て－12<br>遺物集中部 |
| | 16 | | | － | － | － | 口縁Ⅱ類に対応する<br>外面に三条の凹線<br>外面に煤が付着 | 外面：褐色<br>内面：暗褐色<br>素地：灰褐色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | せ－17<br>黒褐色混礫土層 |
| | 17 | | | － | － | － | 口縁Ⅱ類に対応する、両面に煤が付着。内面に一条の凹線、内面に漆喰？付着 | 外面：暗灰色<br>内面：暗褐色<br>素地：灰褐色 | 雲母 | て－16<br>暗褐色混礫土層 |
| | 18 | 急須Ⅲ | 口 | 14.6 | － | － | 口唇：丸<br>口縁：外反<br>外面に煤が付着 | 両面：橙褐色<br>素地：淡橙褐色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | ち－13<br>石垣裏込め内 |
| | 19 | | | 14.6 | － | － | 口唇：丸<br>口縁：外反 | 両面：橙色<br>素地：灰橙色 | 赤色粒<br>黒色粒<br>雲母 | す－15<br>地山直上 |
| | 20 | | | 10.8 | － | － | 口唇：丸<br>口縁：外反 | 両面：橙色<br>素地：灰橙色 | 赤色粒<br>雲母 | せ－17<br>黒色土層 |
| | 21 | 急須 | 耳 | － | － | － | － | 外面：灰褐色<br>内面：橙色<br>素地：灰橙色 | 白色粒<br>赤色粒<br>雲母 | せ－17<br>暗褐色混礫土層 |

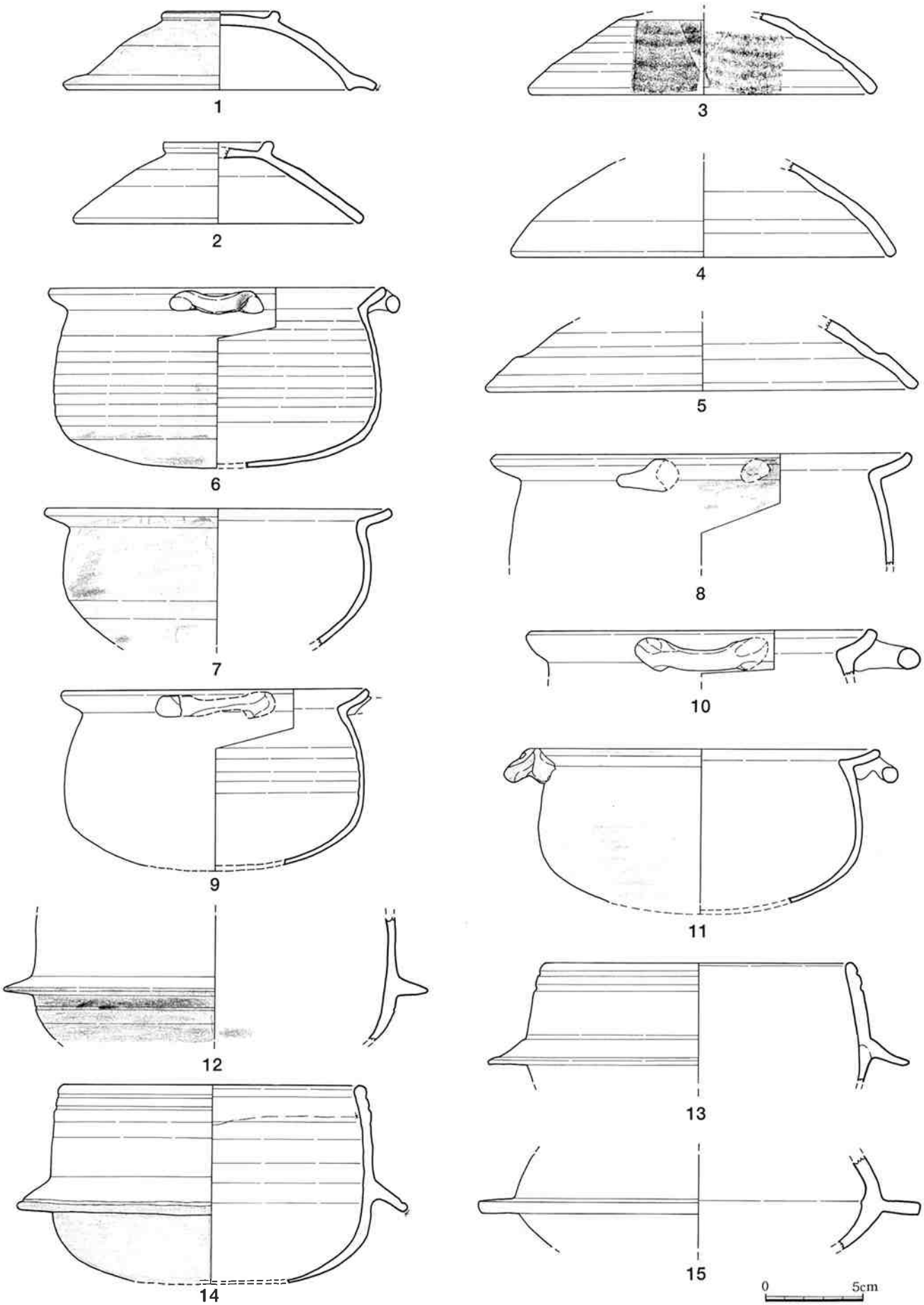
注：法量の項の「－」は測定不可、形態的特徴の項「－」特記すべき事項なし

## 第27表　陶質土器観察一覧(3)

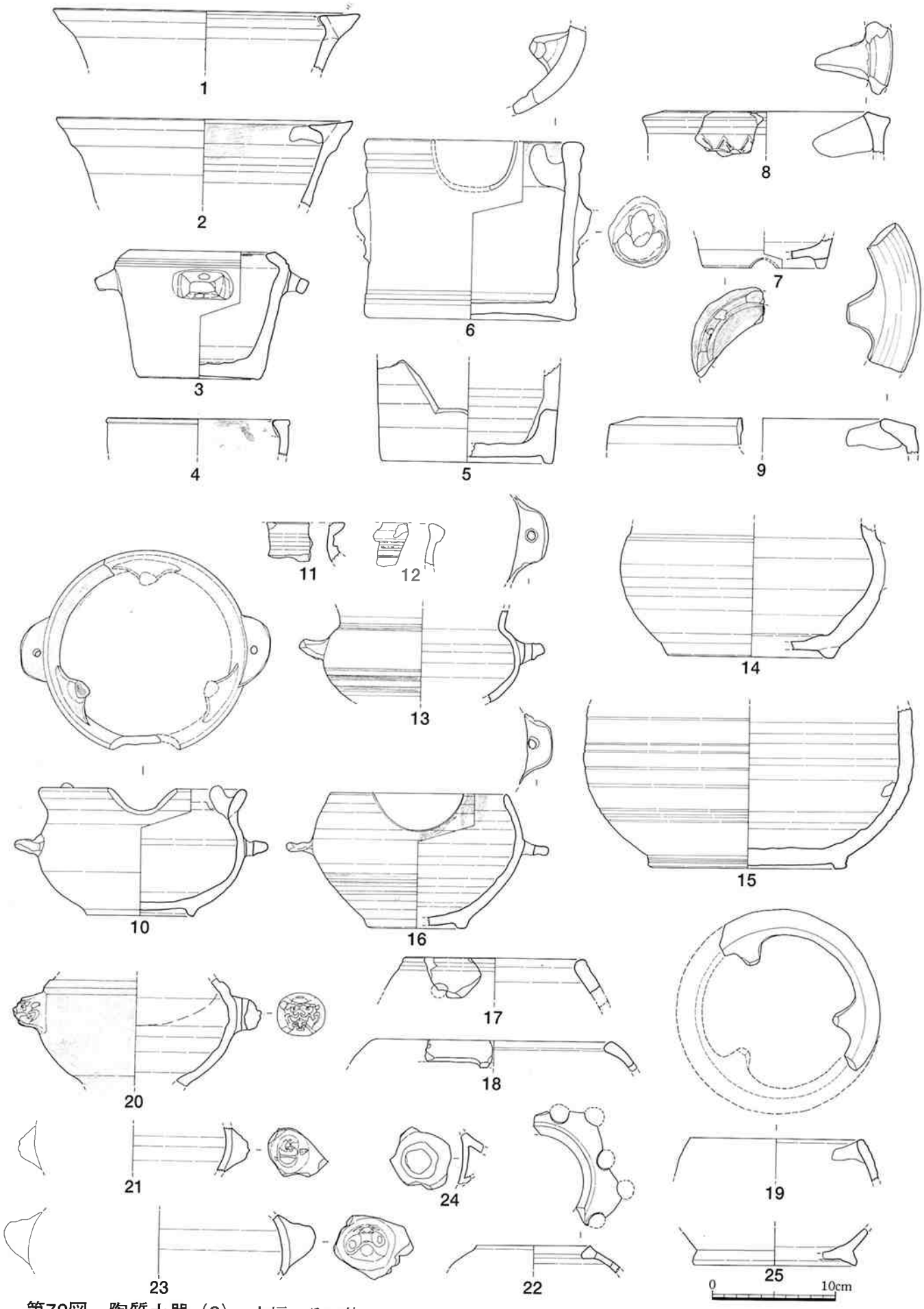
単位：cm

| 図 | 番号 | 器種 | 部位 | 口径 | 器高 | 底径 | 形態的特徴 | 器色 | 混入物 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第73図・図版56 | 22 | 急須 | 注口 | － | － | － | 外面に煤が付着 | 外面：灰褐色<br>内面：赤褐色<br>素地：灰赤褐色 | 白色粒<br>赤色粒<br>雲母 | と－12<br>遺物集中部西側畦 |
| | 23 | | | － | － | － | 外面に煤が付着 | 外面：暗灰褐色<br>内面：灰褐色<br>素地：灰色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | せ－17<br>黒褐色混礫土層 |
| | 24 | 灯明皿 | 口～底 | 11.8 | 2.3 | 5.4 | 口唇：尖り | 両面：橙褐色<br>素地：灰色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | と－11<br>黒色土層 |
| | 25 | | | 11.4 | 2.3 | 3.8 | 口唇：尖り | 両面：褐色<br>素地：灰色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | て－11<br>遺物集中部 |
| | 26 | | | 9.6 | 2.6 | 4.6 | 口唇：丸 | 両面：褐色<br>素地：灰色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | 15トレンチ東側<br>岩上黒色土層 |
| | 27 | 碗 | 口～底 | 10.4 | 3.7 | 5 | 口唇：丸 | 外面：黄褐色<br>内面：灰色<br>素地：灰褐色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | つ－11<br>地山直上黒色土層 |
| | 28 | 不明 | 底 | － | － | 9 | 特になし | 両面：橙褐色<br>素地：灰褐色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | と－12<br>遺物集中部西側畦 |
| 第74図・図版57 | 1 | 鉢Ⅰ | 口～底 | 20.2 | 9.7 | 10.1 | 口唇：舌状<br>文様：外面は九条の波状線刻文 | 両面：黄褐色<br>素地：灰褐色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | と－12<br>遺物集中部西側畦 |
| | 2 | | 口 | 17.6 | － | － | 口唇：舌状<br>文様：外面は四条の波状線刻文 | 両面：褐色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | 13トレンチ東側 |
| | 3 | 鉢Ⅱ | 底 | － | － | 9.6 | 底：稜が明確 | 両面：褐色<br>素地：灰褐色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | 13トレンチ東側 |
| | 4 | 鉢Ⅰ | 口 | 30 | － | － | 口唇：舌状<br>文様：波状線刻文、凹の圏線 | 外面：暗赤褐色<br>内面：橙褐色<br>素地：赤褐色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | つ－9<br>石段上黒色土層 |
| | 5 | 鉢Ⅰ<br>(小型) | 口 | 7 | － | － | 口唇：舌状 | 外面：灰褐色<br>内面：褐色<br>素地：灰色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | し－17<br>岩盤凹地内<br>黒色混礫土層 |
| | 6 | 鉢Ⅰ | 口 | 25 | － | － | 口唇：舌状に肥厚する<br>文様：外面は三条の波状線刻文 | 両面：褐色<br>素地：灰褐色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | せ－17<br>黒褐色混礫土層 |
| | 7 | | 口 | － | － | － | 口唇：舌状に肥厚する | 両面：暗褐色<br>素地：灰色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | き－17<br>崖部直下<br>黒色混礫土層 |
| | 8 | 鉢Ⅱ | 口 | － | － | － | 文様：朱を塗られる | 両面：褐色<br>素地：灰褐色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | ち－13<br>地山直上 |
| | 9 | | 口 | 29 | － | － | 口唇：方形<br>文様：二条の線刻文 | 両面：橙褐色<br>素地：灰褐色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | せ－15・16<br>岩盤上黒色土層 |
| | 10 | 鉢 | 胴 | － | － | － | 文様：外面は六条の波状線刻文、表面に朱が塗られる | 外面：暗褐色<br>内面：橙褐色<br>素地：橙褐色 | 白色粒<br>黒色粒<br>赤色粒 | と－12<br>遺物集中部西側畦 |
| | 11 | 鉢Ⅱ<br>(小型) | 口～底 | 8.2 | 5.1 | 4.3 | 口唇：凹みあり | 両面：褐色<br>素地：灰褐色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | て－12 |
| | 12 | | 底 | － | － | 4.6 | 特になし | 両面：灰褐色<br>素地：灰色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | て－12<br>遺物集中部 |
| | 13 | 鉢Ⅱ<br>(擂鉢) | 口 | 26.6 | － | 11 | すり目：密に刻む | 両面：橙褐色<br>素地：灰橙褐色 | 白色粒<br>黒色粒<br>赤色粒 | す－18<br>遺物礫集中部<br>黒色土層 |
| | 14 | | 口 | － | － | － | すり目：粗く刻む | 両面：褐色<br>素地：灰褐色 | 白色粒<br>黒色粒<br>赤色粒 | す－15<br>地山直上 |
| | 15 | | 底 | － | － | 12 | すり目：密に刻む | 両面：淡褐色<br>素地：灰色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | て－12<br>地山直上 |
| | 16 | 不明 | 胴 | － | － | － | 文様：口縁外周に凹凸線、表面に煤附着 | 外面：赤褐色<br>内面：褐色<br>素地：暗褐色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | て－12 |
| | 17 | | 胴 | － | － | － | 文様：口縁に凹凸の圏線、表面に朱が塗られる | 両面：暗褐色<br>素地：赤褐色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | て－12<br>遺物集中部 |
| | 18 | | 口 | 17.8 | － | － | 表面に朱が塗られる | 両面：褐色<br>素地：灰色 | 白色粒<br>黒色粒<br>赤色粒 | す－15<br>地山直上 |
| | 19 | | 胴～底 | － | － | － | 裏面に煤附着 | 外面：褐色<br>内面：黒色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | て－13<br>遺物集中部 |
| | 20 | | 底 | － | － | 4.2 | － | 両面：明褐色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | た－13<br>黒色土層 |
| | 21 | 小鉢 | 口～底 | － | － | － | 形態：方形<br>文様：緑釉が表裏に塗られる | 両面：赤褐色 | 赤色粒 | す－15<br>遺構57 |
| | 22 | 鉢 | 口 | 16.4 | － | － | 瓦質土器に類似 | 両面：灰色<br>素地：暗灰色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | 16トレンチ東側<br>岩上撹乱層 |
| | 23 | 不明 | 口 | － | － | － | 沖縄産施釉陶器に類似 | 両面：黒褐色<br>素地：暗灰色 | 白色粒<br>黒色粒<br>赤色粒 | せ－17<br>黒色土層 |
| | 24 | 碗 | 底 | － | － | 7.2 | 底：高台をつくる | 両面：橙褐色<br>素地：灰褐色 | 白色粒<br>黒色粒・赤色粒<br>雲母 | つ－13<br>黒色土層 |
| | 25 | 不明 | 口 | 13.4 | － | － | 口唇：平<br>素焼き？に類似 | 両面：灰色 | 白色粒<br>黒色粒<br>赤色粒 | す－15<br>地山直上 |

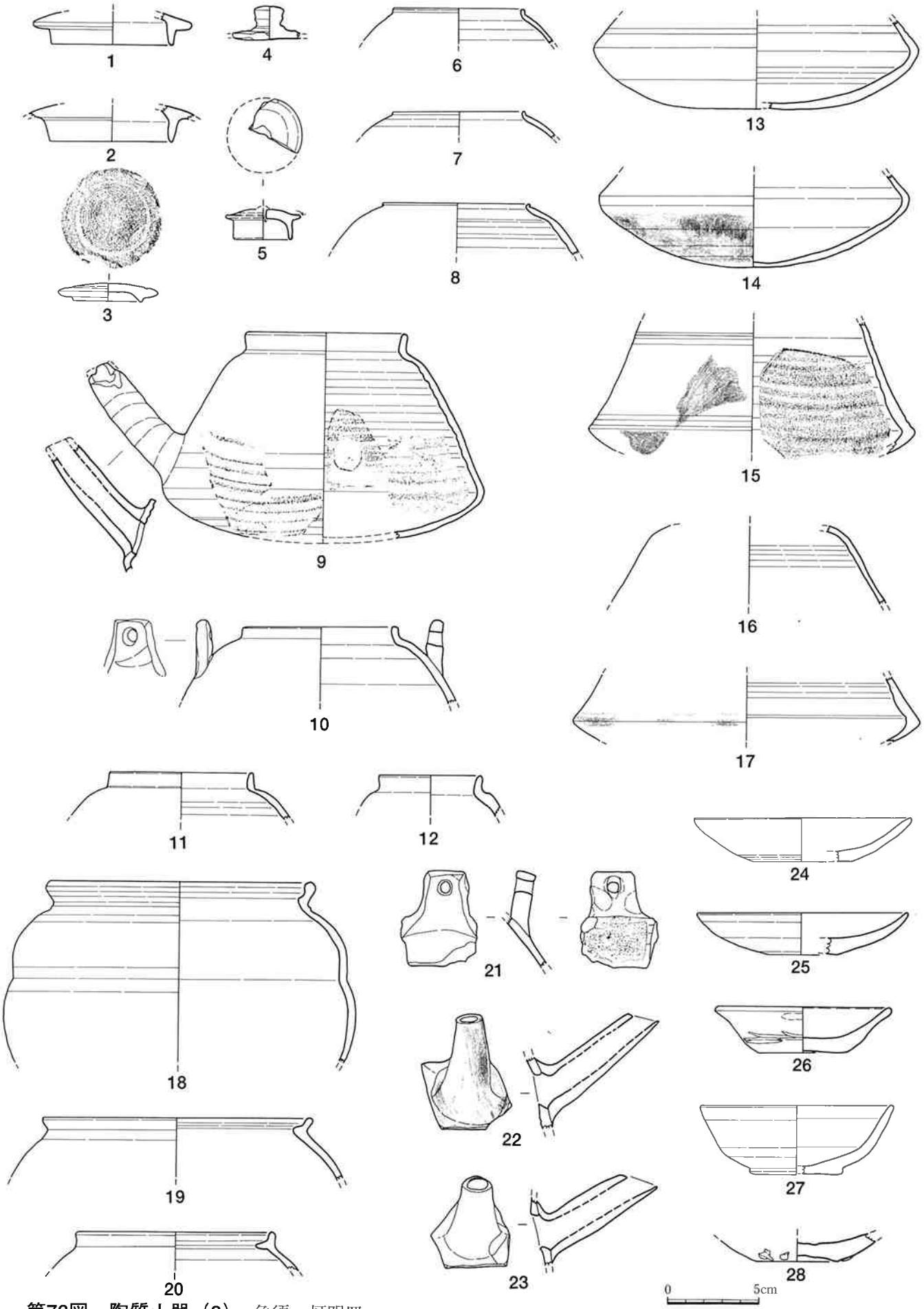
注：法量の項の「－」は測定不可、形態的特徴の項「－」特記すべき事項なし



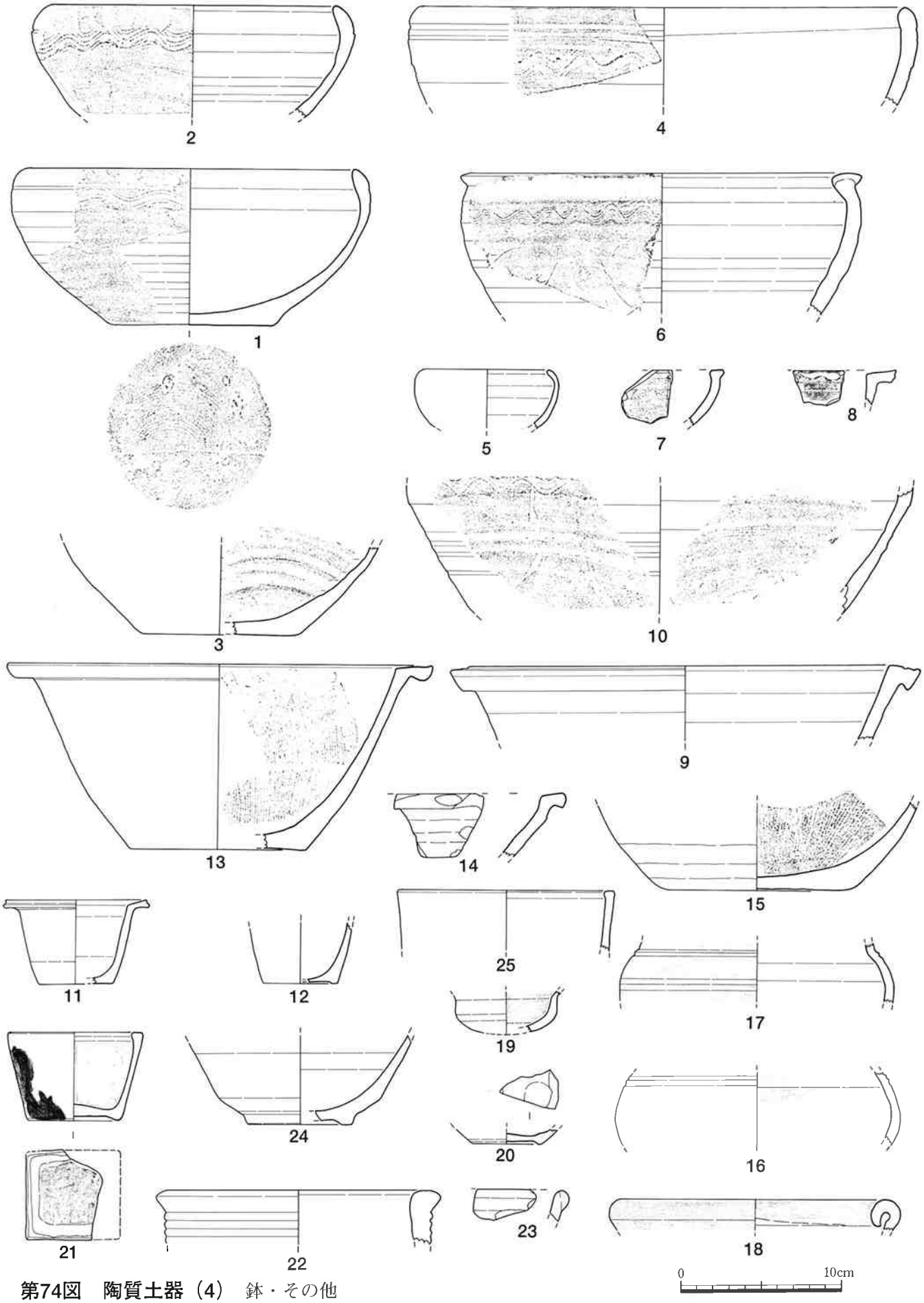

**第71図　陶質土器（1）** 蓋・鍋




**第72図　陶質土器（2）**　火炉・その他




**第73図　陶質土器（3）**　急須・灯明Ⅲ




**第74図　陶質土器（4）** 鉢・その他

## 第21節　瓦質土器

瓦質土器（第75·76図）は一般に還元焔で焼かれたものをいうが本項では、これらを**Ⅰ類**、酸化焔で焼かれたものを**Ⅱ類**、Ⅰ類と同様に還元焔によると思われるが現在までに、沖縄諸島で未確認の薄い焼き物を**Ⅲ類**として大別し、本項で扱う。分類については第　表の観察表「分類」の最初に記述する。Ⅱ類は一部に陶質土器で扱われている[註1]が、厚みが有り、大振りな点で瓦質土器に近いと思われ、Ⅲ類は薄手で硬質であるが、類例が少なく、詳細の検討は今後の資料の追加をまって検討したい。器種は鉢、擂鉢、火炉、他の種類がみられる。

**鉢：**大と小に分かれ、いずれも内彎に肥厚する。図７は大で口縁部に三条の波状の凸帯文を施し、図１は小で口縁部が内彎し、波状の凸帯文を二～三条、さらに胴下部に一条施し、その間に回転型押しの施文具[註2]で草花文を施すが、その種類は１の花と葉、茎が生えた形、２・３・４・５・８のように大きな花と葉が絡んだ形であるが、３と４では前者花弁が先端に大きくなるタイプ、後者花弁が細長いなど若干の違いがみられ、８は花弁が菊花状になるものなど意匠にバリエーションがみられる。

**擂鉢：**図10と図11であるが、前者は灰褐色、後者は赤褐色である。いずれも擂り目の間隔は大きく、幅も1.9㎜である。

**火炉：**炉は肥厚し、内部に突起をもつもの（A）、穿孔するもの（B）、赤色で外側に肥厚し、内部に突起を有するもの（C）、空洞を有するもの（D）、方形で内側に突起を有するもの（E）、方形で空洞になるもの（F）、馬蹄形のもの（G）があり、さらにこれらは細分が可能である。また、Bについては手あぶりの可能性も考えられる。

**蓋：**図12は撮みがあるかどうかは破損しているため、不明である。

**その他：**図14は筒状で中央を穿孔し、形状から土製錘の可能性が考えられるが断定はできない。図13・16・17は薄手で焼成がよく、軽い点で共通するが、図13は壺、図16は鉢、図17は不明である。本品の出自については今後の資料の追加をまって検討するが、形態が瓦質に類似するためここで扱う。

＜註＞

註１．當銘由嗣・他「喜友名貝塚・喜友名グスク－宜野湾北中城（伊佐～普天間）道路改築事業に伴う緊急発掘調査報告書」（Ⅰ）『沖縄県文化財調査報告書第134集』沖縄県教育委員会 1999.3　p131

註２．上原清乃・他「湧田古窯跡（Ⅳ）－県民広場地下駐車場建設に係る発掘調査－」『沖縄県文化財調査報告書第136集』沖縄県教育委員会　1999.3　p100

### 第28表　瓦質土器出土状況

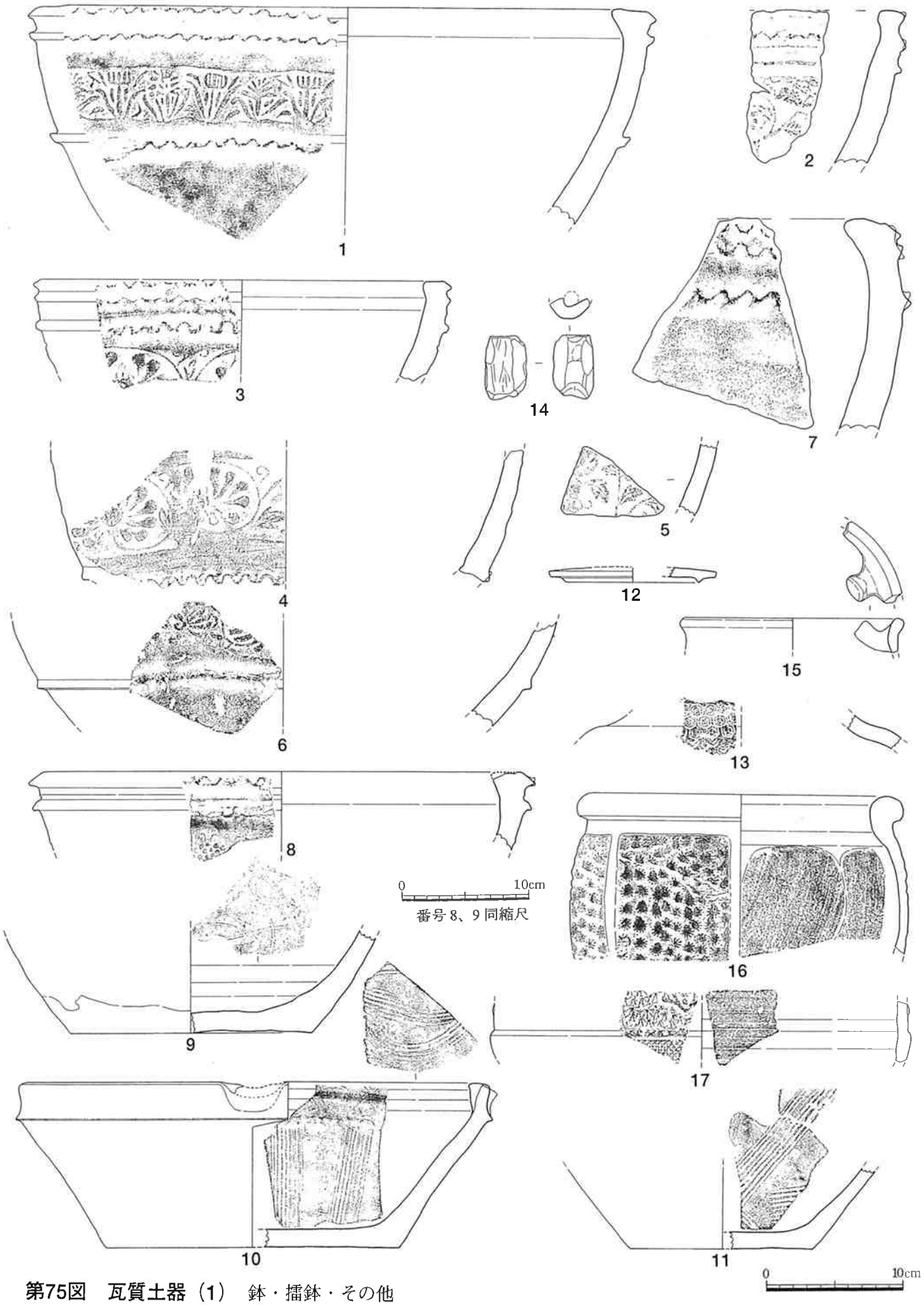
| 器種 | | 出土地 | トレンチ | 黒色土層 | 地山直上 | 遺構 | き・し-17 岩盤凹地内 地山直上 | き・し-17 岩盤凹地内 中層 | き・し-17 黒色混礫土層 墓口前面 | す-18 部黒色土層 石灰岩礫集中 | せ-15・16・17 黒色土層 へばりついた岩盤に | せ-15・16・17 旧階段 土層 茶褐色混礫 横2列右下 | せ-15・16・17 旧階段 黒色土層 下の石垣横 | せ-15・16・17 旧階段 色混礫土層 下石垣横黒 | せ-15・16・17 灰層 | せ-15・16・17 黒色土層 | せ-15・16・17 混礫土層 黒褐色 | せ-15・16・17 混礫土層 茶褐色 | つ-13・14 黒色土層 | た-11 地山直上 | ち-9 黒色土層 石段上 | て・と-11・12・13 遺物集中部 | 不明 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 鉢 | | 口縁 | 1 | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | 4 |
| | | 胴部 | | | | 3 | | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | | | 2 | 7 |
| | | 底部 | | | | 4 | | | | | | 1 | | | | | 1 | | | | | | | 6 |
| 擂鉢? | | 口縁 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 擂鉢 | | 口縁 | | | | 1 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | 2 |
| | | 胴部 | | 1 | | | | | | | 1 | | | | | | | | 1 | | | | | 3 |
| | | 底部 | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | 3 |
| 花鉢 | | 口縁 | 1 | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 2 |
| 火炉 | G 火入部 | 口～底 | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | 2 | | 3 |
| | | 口縁 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | 2 |
| | | 胴部 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | 1 | 2 |
| | | 底部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 1 | 3 |
| | G炉部 | 底部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 | | 4 |
| | E | 口縁 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | 2 |
| | | 底部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 |
| | 不明 | 口縁 | | | | 1 | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | 2 |
| | | 底部 | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | 1 | | | | 2 |
| その他 | | 胴部 | | 1 | 2 | 3 | | | 1 | | | | | | 1 | | | 1 | | | | | 1 | 10 |
| | | 不明 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 合計 | | | 3 | 2 | 2 | 16 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 2 | 3 | 1 | 1 | 1 | 1 | 13 | 5 | 60 |

## 第29表　瓦質土器観察一覧

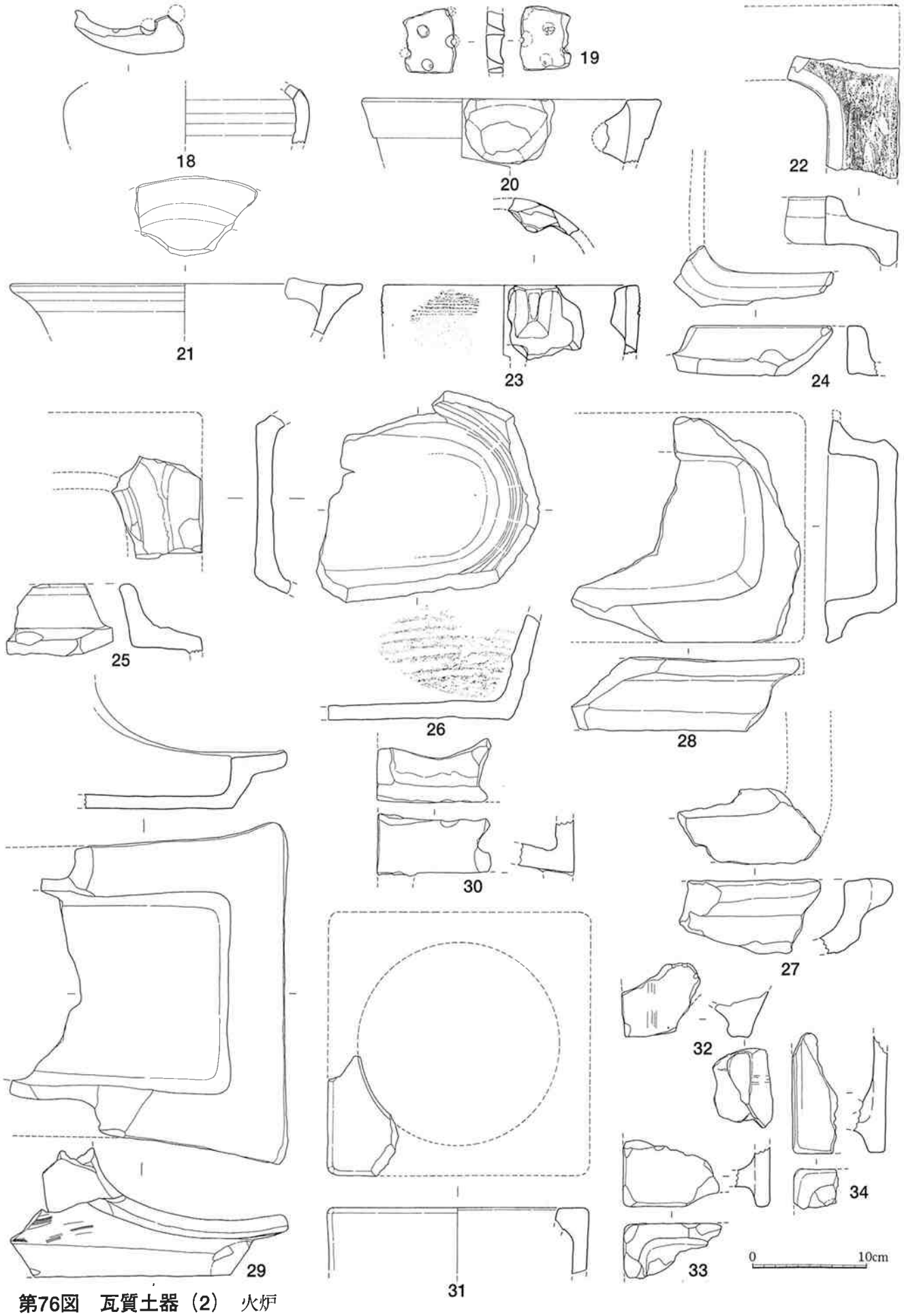
単位：cm

| 図 | 番号 | 器種 | 部位 | 口径 | 器高 | 底径 | 器厚(mm) | 分類 | 観察事項 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第75図・図版58 | 1 | 鉢 | 口 | 44.2 | — | — | 14.6 | Ⅰ小 | 形態:口縁は内部肥厚。文様:口縁に二条、胴下部に一条の波状文、その間に2種類の花文の型押し。色調:暗灰色。混和材:黒褐色粒、砂細粒。器面調整:刷毛撫で。焼成:良好。 | す・せ—13<br>遺構41内 |
| | 2 | | | — | — | — | 20.3 | | 形態:口縁は内部に若干肥厚。文様:口縁に二条の波状凸帯文、その下部に凸帯文、胴部に花文(牡丹文)の型押し。色調:暗灰色、内部は明灰色。混和材:茶褐色粒・黒細粒。器面調整:刷毛目。焼成:良好。 | て—12 |
| | 3 | | | 29.6 | — | — | 17.1 | | 形態:口縁は内部に肥厚。文様:口縁部に三条の波状凸帯文に型押しで牡丹唐草文、花弁は先端部が太くなり、立体感がある。色調:暗灰色、内部は黒灰色。混和材:砂粒混入。器面調整:内外面とも横刷毛目。焼成:やや良好。 | し・す—18<br>遺構1内 |
| | 4 | | 胴 | — | — | — | 15.3 | | 文様:胴下部に一条の波状凸帯文に型押しで牡丹唐草文、花弁は先端部が太く、葉は葉脈もみられ、立体感がある。3と同一個体。色調:暗灰色、内部は黒灰色。混和材:砂粒混入。器面調整:内外面とも横刷毛目。焼成:やや良好。 | せ—17<br>茶褐色混礫土層 |
| | 5 | | | — | — | — | 12.7 | | 形態:一。文様:花唐草文で立体感。色調:暗灰色。混和材:砂細粒。器面調整:撫で。焼成:やや良好。 | 15トレンチ東側<br>岩上黒色土層 |
| | 6 | | | — | — | — | 12.7 | | 形態:一。文様:胴下部に凸帯文、花唐草文で花弁は細長い。色調:外面は明灰色、内部は暗灰褐色。混和材:褐色粒。器面調整:横撫で。焼成:やや不良。 | ち—13<br>地山直上 |
| | 7 | | 口 | — | — | — | 25.3 | Ⅰ大 | 形態:口縁は内彎肥厚。文様:口縁部に三条の波状凸帯文。色調:やや明灰色、中は暗灰色でサンドイッチ状。混和材:細粒。器面調整:外面ヘラ削り。焼成:やや不良。 | せ—15岩盤直下の土壙内最上部 |
| | 8 | | | 39.6 | — | — | 16.0 | Ⅰ小 | 形態:口縁は緩やかな内彎。文様:口縁部に波状凸帯文、菊唐草文。色調:茶褐色。混和材:細粒。器面調整:撫で。焼成:やや良好。 | し—15<br>地山直上 |
| | 9 | | 底 | — | — | 20.6 | 13.7 | Ⅰ小 | 形態:脚部は若干膨らむ。文様:なし。色調:暗灰色。混和材:灰褐色粒。器面調整:外面の底部近くはヘラ削り、他は刷毛目、内側は轆轤痕。焼成:やや良好。 | せ—17<br>黒褐色混礫土層 |
| | 10 | 擂鉢 | 口～底 | 36 | 11.7 | 21.2 | 13.3 | Ⅰ | 形態:口縁は「く」字状に曲がる。器高は低い。文様:内部に擂り目、幅20㎜で擂り目は間隔が30㎜。色調:暗灰色、中は明灰色。混和材:黒細粒。器面調整:刷毛目。焼成:やや良好。 | ち—14<br>黒色土層 |
| | 11 | | 底 | — | — | 12.4 | 10.3 | Ⅱ | 形態:底部の立ち上がりはストレート。文様:内部に擂り目の幅21.5㎜。色調:赤褐色、中は明灰色。混和材:金雲母、白色少量。器面調整:器面剥落。焼成:やや良好。 | た—13<br>地山直上 遺構49 |
| | 12 | 蓋 | 口 | — | — | — | 6.0 | Ⅰ | 形態:撮みは不明、短い脚あり。文様:無文。色調:灰色。混和材:白・褐色細粒。器面調整:轆轤痕。焼成:良好。 | そ—17<br>撹乱土壙 |
| | 13 | 壺 | 頸 | — | — | — | 8.0 | Ⅰ | 形態:頸部、肩部に稜線。文様:8㎜大の亀甲文を型押しする。色調:表は黒色、内部は明灰色。混和材:砂、金雲母細粒。器面調整:刷毛目。焼成:やや良好。 | 西地区<br>M・N～23表土 |
| | 14 | その他 | | — | — | — | 9.9 | Ⅰ | 形態:筒状、内径12.5㎜、外径29.6㎜。文様:なし。色調:灰色。混和材:砂粒少量。器面調整:削り。焼成:やや不良。 | つ—11<br>地山直上岩盤 |
| | 15 | 火炉 | 口 | 16.4 | — | — | 7.6 | ⅠA | 形態:口縁は外反で突起の先端は円筒状。文様:なし。色調:外は灰色、中は淡灰色。混和材:砂細粒少量。器面調整:刷毛撫で。焼成:やや悪い。 | す—15<br>地山直上 遺構57 |
| | 16 | 壺 | 口 | 22.2 | — | — | 6.0 | Ⅲ | 形態:口縁は肥厚。うり形。文様:外面に径7㎜の小花を型とした文様の重ね。色調:外面は黒灰色。混和材:石英、褐色粒少量。器面調整:内面は刷毛目が縦位に顕著。焼成:良好。 | と—12<br>遺物集中部0～20 |
| | 17 | 不明 | 胴 | — | — | — | 6.9 | Ⅲ | 形態:段をなす。文様:外面は段をなし、上段は鳥の足跡と浮文、下段は格子文の組み合わせ。色調:外面は黒色、内部は淡灰色。混和材:石英、褐色粒少量。器面調整:内面は轆轤痕。焼成:良好。 | 12トレンチ東側 |
| 第76図・図版59 | 18 | 火炉 | 胴 | — | — | — | 11.2 | ⅠB | 形態:内彎、穿孔(12.1㎜)、胴径(22.2㎝)。文様:無文。色調:外面は色を塗ったためか、暗灰色、内面は明灰色。混和材:白色粒。器面調整:外面はヘラ磨き、内面は轆轤痕。焼成:良好。 | て—12<br>遺物集中部<br>黒色土層 |
| | 19 | | | — | — | — | 11.5 | | 形態:穿孔(9㎜)が5個確認される、片面からの穿孔、灰落としか。文様:なし。色調:外面は朱色か。混和材:砂粒、雲母。器面調整:外面ヘラ撫で、内面横撫で。焼成:良好。 | そ—17<br>黒色混礫土層 |
| | 20 | | 口 | 25.8 | — | — | 13.1 | ⅡG | 形態:有段33.6㎜、内部に突起、炭が付着。文様:無文。色調:外面は暗橙色、内部は褐色。混和材:砂粒少量。器面調整:外面は横撫で。焼成:やや良い。 | 15トレンチ東側<br>岩上黒色土層<br>最上部 |
| | 21 | | | 30.4 | — | — | 10.1 | | 形態:外反、内部に突起、炭が付着。文様:無文。色調:外面は明橙色、内部は茶褐色。混和材:茶褐色粒、金雲母。器面調整:轆轤痕。焼成:良好。 | す・せ—13<br>遺構41内 |
| | 22 | | | — | — | — | 13.4 | ⅡE | 形態:方形、口縁部は36㎜立ち上がり、袋状。文様:なし。色調:外面は橙褐色、内部はわずかに灰色。混和材:金雲母、白色粒を少量。器面調整:外面は削りがある。焼成:やや脆い。 | せ—17北側トレンチ<br>黒褐色混礫階段2 |
| | 23 | | | 17.8 | — | — | 10.6 | ⅡF | 形態:内唇部、突起、炭の付着。孔有り。口唇に接着のための櫛目。文様:なし。色調:赤褐色。混和材:砂粒、金雲母多量混入。器面調整:ヘラ磨き。焼成:良い。 | て—12<br>遺物集中部 |
| | 24 | | | — | — | — | 13.5 | ⅡE | 形態:口縁は38.5㎜立ち上がる。文様:なし。色調:表面は赤褐色、内部は褐色。混和材:細粒。器面調整:刷毛撫で。焼成:かなり良好。 | せ—17<br>黒色土層0～30 |
| | 25 | | | — | — | — | 16.5 | | 形態:方形で口縁部は50㎜立ち上がり、袋状。文様:なし。色調:外面は赤褐色、裏・内は茶褐色。混和材:細粒。器面調整:撫でと削り。焼成:かなり良い。 | て—12<br>遺物集中部 |
| | 26 | | 底 | — | — | 23.5 | 10.4 | ⅡG | 形態:底部は楕円。文様:なし。色調:明赤褐色。混和材:金雲母少量。器面調整:外面は底部近くにヘラ削り、内面は轆轤痕が明瞭。焼成:良好。 | た—40<br>黒色土層20～40 |
| | 27 | | 口 | — | — | — | 19.6 | ⅡG | 形態:長方形、口縁「L」字、鍔幅4.15cm、内唇に炭が付着。文様:なし。色調:暗橙色、内部は褐色～灰褐色。混和材:籾殻、貝殻、白色細粒。器面調整:器面剥落。焼成:やや不良。 | 15トレンチ東側<br>黒色土層 |
| | 28 | | 口～底 | 12.6 | 5.8 | 12.5 | 15.5 | ⅠG | 形態:長方形で、口縁は「L」字で、鍔幅3.4cm。文様:なし。色調:暗橙色、内部は明灰色。混和材:白色、赤褐色細粒。器面調整:器面一部剥落。底部は斜めに削り、他は指撫で。焼成:良好。 | と—12<br>遺物集中部0～20 |
| | 29 | | | 16.9 | 5 | 17.5 | 13.4 | | 形態:底部は端が長方形で他端は楕円形で高くなる可能性。「L」字の口縁は鍔状で角は張る。鍔幅4.4cm。文様:なし。色調:暗橙～橙色。混和材:金雲母少量。器面調整:底部の縁はヘラ削り、内面は撫で。焼成:かなり良い。 | て—12 |
| | 30 | | 底 | — | — | — | 14.7 | ⅡE | 形態:方形、脚有り。文様:なし。色調:外面は暗灰色、内部は明灰色。混和材:細粒。器面調整:外部はヘラ撫で、内部は指撫で。焼成:良い。 | た—14<br>落込み上面 |
| | 31 | | 口 | 22.3 | — | — | 12.2 | ⅡF | 形態:方形(22.3㎝)で2重口縁(内径17.5㎝)。文様:なし。色調:暗橙色。混和材:金雲母、砂粒細粒。器面調整:外面はヘラ磨き、内面撫で。焼成:かなり良い。 | て—12<br>黒褐色礫混り層<br>0～10 |
| | 32 | | 底 | — | — | — | 薄手 | ⅡF | 形態:方形の可能性。脚か。文様:なし。色調:外面は橙色、内面は明灰色。混和材:赤褐色粒、白粒。器面調整:雑な仕上げ。焼成:良好。 | て—12 |
| | 33 | | | — | — | — | 14.6 | | 形態:方形、脚。文様:なし。色調:外面は茶褐色、内面は明褐色。混和材:金雲母、砂粒。器面調整:外面はヘラ磨き、内面は撫で。焼成:良好。 | て—12<br>遺物集中部<br>0～20 |
| | 34 | | | — | — | — | 11.9 | | 形態:方形で空洞の脚。文様:なし。色調:内外面とも赤褐色。混和材:砂粒、金雲母、多量混入。器面調整:外面磨き。焼成:かなり良好。 | て—13<br>遺物集中部 |

注：法量の項「—」は測定不可、観察の項「—」は不明。




**第75図　瓦質土器（1）**　鉢・擂鉢・その他




**第76図　瓦質土器（2）**　火炉

## 第22節　土器

今回扱った資料（第77図）は第30表の観察表に詳細を記し、その他の資料は第31表の出土状況表に出土数を記した。第77図23は沖縄貝塚時代前期の大山式と考えられる土器片であるが、細片のため詳細は不明である。同図１～５は宮古式土器の壺であり、多量の砂粒や赤色粒を含んでいるのが特徴である。同図11・21は底部に脚を付け、口縁部へ直線的に立ち上がる器物である。部位別に特徴的なものを挙げると口縁部は同図７・８の皿と考えられる内彎したもの、同図９の断面L字のもの、同図10の直口するもの、同図12の波状のもの、胴部は同図13・15の穴を開けたもの、同図14の波状凸帯を貼付するもの、底部は同図６の胴部に膨らみを持つもの、同図16の僅かに高台を作るもの、同図17・18の上げ底で脚をつくるもの、同図19のベタ底のもの、同図20のほぼ垂直に立ち上がるもの、同図22の厚みがあるものなどが出土している。

### 第30表　土器観察一覧

単位：cm

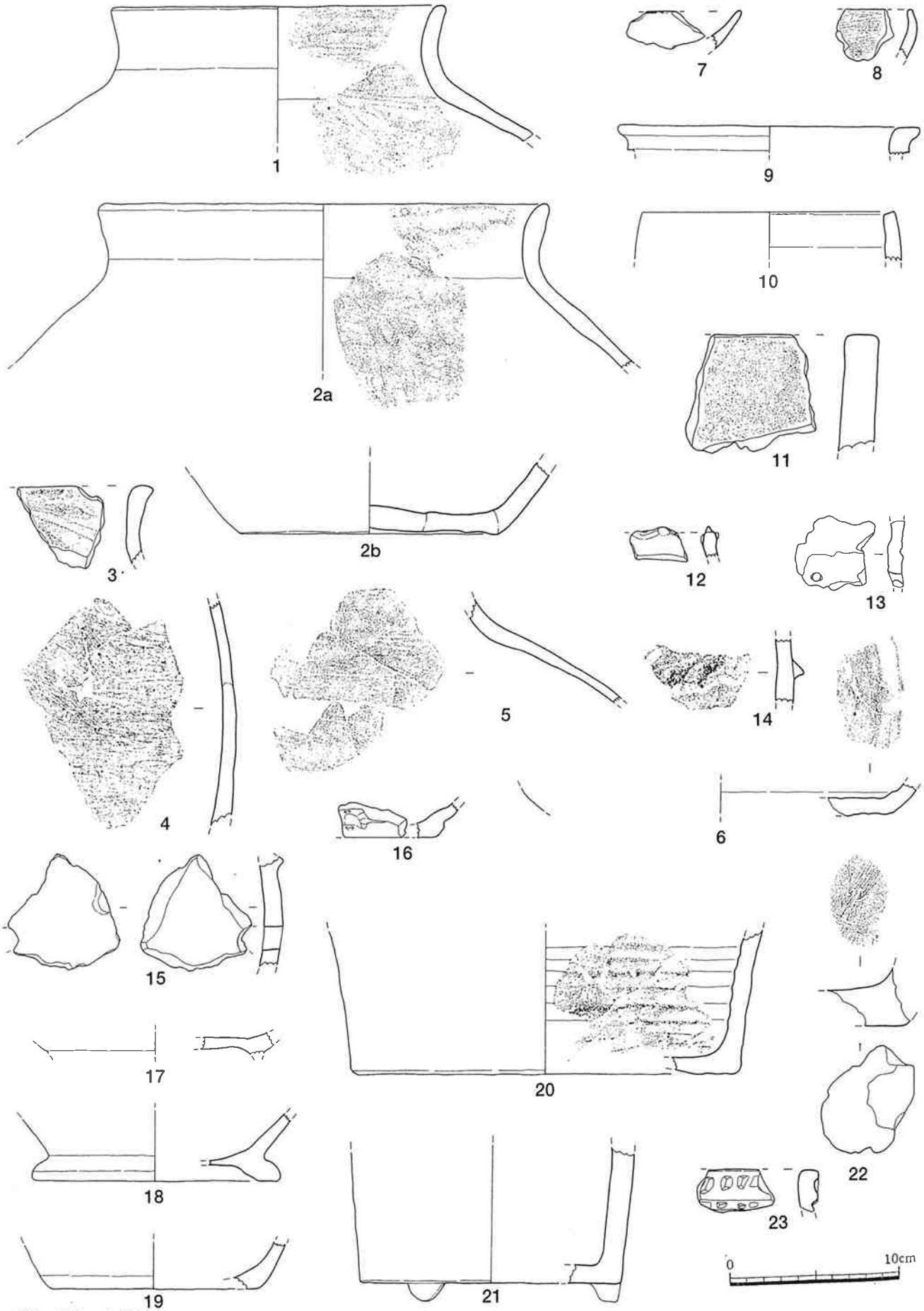
| 図 | 番号 | 器種 | 部位 | 口径 | 器高 | 底径 | 形態的特徴 | 器色 | 焼成 | 器面調整 | 混入物 | 出土地 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第77図・図版60 | 1 | 壺 | 口 | 19.6 | － | － | 口唇：丸い | 表：褐色<br>裏：暗褐色 | 良好 | 表：磨<br>裏：指撫 | 砂粒(多)<br>赤色粒 | せ－15<br>岩盤直下黒色土層 | 宮古式土器 |
| | 2a | | | 27.2 | － | － | 口唇：丸い | 表：褐色<br>裏：暗褐色 | 良好 | 表：磨<br>裏：指撫 | 砂粒(多)<br>赤色粒 | せ－16<br>炭層（2層） | 宮古式土器 |
| | 2b | | 底 | － | － | 15.4 | 底：稜が明瞭 | 表：褐色<br>裏：暗褐色 | 良好 | 表：磨<br>裏：指撫 | 砂粒(多)<br>赤色粒 | せ・そ－17<br>旧階段横2列石列<br>撹乱層 | 宮古式土器 |
| | 3 | | 口 | － | － | － | 口唇：舌状 | 表：褐色<br>裏：暗褐色 | 良好 | 表：磨<br>裏：指撫 | 砂粒(多)<br>赤色粒 | せ－13<br>地山直上 | 宮古式土器 |
| | 4 | | 胴 | － | － | － | 胴：球状に膨らむ | 表：褐色<br>裏：暗褐色 | 良好 | 表：箆削・指撫<br>裏：指撫 | 砂粒(多)<br>赤色粒 | せ－17<br>東西畦<br>黒色混礫土層2層 | 宮古式土器 |
| | 5 | | | － | － | － | 胴：球状に膨らむ | 表：褐色<br>裏：暗褐色 | 良好 | 表：箆削<br>裏：指撫 | 砂粒(多)<br>赤色粒 | せ－16・17<br>旧階段下石垣横<br>黒色混礫土層 | 宮古式土器 |
| | 6 | 不明 | | － | － | － | 底：稜が不明瞭 | 表：黒褐色<br>裏：褐色 | 良好 | 指撫 | 白色粒<br>赤色粒 | さ－17<br>崖部直下<br>黒色混礫土層 | 表に煤付着 |
| | 7 | | 口 | － | － | － | 口唇：尖 | 表裏：橙褐色 | 悪い | 指撫 | 白色粒<br>赤色粒<br>雲母 | す－18<br>遺物集中部<br>黒色土層 | － |
| | 8 | | | － | － | － | 口唇：尖 | 表裏：橙褐色 | 良好 | 刷毛目痕<br>指撫 | 白色粒<br>赤色粒 | せ－17<br>黒色土層 | － |
| | 9 | | 口 | 18.4 | － | － | 口縁：外反 | 表裏：淡灰褐色 | 良好 | 磨 | 白色粒<br>黒色粒 | せ－17<br>東西畦<br>黒色混礫土層2層 | － |
| | 10 | | | 15.2 | － | － | 口唇：平 | 表：淡橙褐色<br>裏：灰色 | 良好 | 磨 | 砂粒<br>黒色粒<br>雲母 | た－14<br>黒色土層 | － |
| | 11 | | | － | － | － | 口唇：平 | 表裏：暗赤褐色<br>素地：黒色 | 良好 | 指撫<br>箆削 | 白色粒 | 15トレンチ東側<br>黒色土層 | － |
| | 12 | | 口 | － | － | － | 口縁：波状 | 表：橙褐色<br>裏：淡灰色 | 良好 | 指撫 | 赤色粒 | た－14<br>黒色土層 | － |
| | 13 | | 胴 | － | － | － | 胴：孔を穿つ | 表：暗褐色<br>裏：淡灰色 | 良好 | 指撫 | 白色粒<br>赤色粒<br>雲母 | せ－17<br>黒色土層 | － |
| | 14 | | | － | － | － | 胴：波状に凸帯を貼付 | 表：暗褐色<br>裏：暗灰色 | 良好 | 指撫 | 白色粒<br>黒色粒 | せ・そ－17<br>旧階段横2列石列付近<br>黒色混礫土層2層 | － |
| | 15 | | | － | － | － | 胴：孔を穿つ | 表：暗褐色<br>裏：白褐色 | 良好 | 指撫 | 砂粒<br>白色粒<br>黒色粒 | と－12<br>遺物集中部<br>西側畦 | － |
| | 16 | | 底 | － | － | 12.4 | 底：高台を作る | 表裏：暗褐色 | 良好 | 指撫 | 白色粒 | ち－13<br>地上直上 | － |
| | 17 | | | － | － | 13.2 | 底：上げ底で脚を作る | 表裏：暗灰色 | 良好 | 箆削 | 白色粒<br>赤色粒<br>雲母 | す－15<br>撹乱層 | － |
| | 18 | | | － | － | 14.8 | 底：上げ底で脚を作る | 表：灰赤褐色<br>裏：灰色 | 良好 | 指撫 | 貝片<br>赤色粒<br>雲母 | 13トレンチ東側 | － |
| | 19 | | | － | － | － | 底：稜が不明瞭 | 表：赤褐色<br>裏：灰褐色 | 良好 | 指撫<br>箆削 | 白色粒<br>黒色粒<br>雲母 | 16トレンチ東側<br>岩盤上<br>黒色土層 | － |
| | 20 | | 底 | － | － | 23.4 | 底：稜が不明瞭 | 表裏：褐色 | 良好 | 輪積痕<br>指撫 | 白色粒<br>赤色粒<br>雲母 | ち－12<br>黒色混礫土層 | － |
| | 21 | | | － | － | 15.6 | 底：脚を付ける | 表裏：暗褐色<br>素地：黒色 | 良好 | 指撫 | 白色粒 | た－13<br>茶褐色混礫土層 | － |
| | 22 | | 不明 | － | － | － | 器厚がかなり厚い | 表裏：暗赤褐色<br>素地：黒色 | 良好 | 箆削 | 貝片<br>黒色粒 | つ－14<br>瓦礫層 | － |
| | 23 | | 口 | － | － | － | 文様：押捺刻文 | 表裏：黒褐色 | 不良 | 指撫 | 砂粒 | 不明 | － |

注：法量の項の「－」は測定不可、観察の項の「－」は特記すべき事項なし

### 第31表　土器出土状況

| 器種・分類 ＼ 出土地 | | トレンチ | 表採・撹乱 | 黒色土層 | 黒色混礫土層 | 地山直上 | 遺構 | こ－17 岩盤凹地内撹乱層近代壙 | さ・し－17 岩盤凹地内瓦集中部 | さ・し－17 岩盤凹地内黒色混礫土層 | せ・そ－15・16・17 黒色土層 | せ・そ－15・16・17 黒色混礫土層 | せ・そ－15・16・17 旧階段下の石垣北側横黒色土層 | せ・そ－15・16・17 旧階段横2列右列下黒色混礫土層 | せ・そ－15・16・17 岩盤にへばりついた黒色土層 | た・ち－12・13・14 石垣下瓦集中部 | た・ち－12・13・14 石積と岩盤の間黒褐色土層 | た・ち－12・13・14 黒色土層・黒褐色混礫土層・茶褐色混礫土層・遺物集中部 | つ－14 瓦礫層 | て・と－11・12・13 遺物集中部 | 不明 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 宮古式壺 | 口縁 | | | 1 | 1 | 2 | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 5 |
| 宮古式壺 | 胴部 | | 1 | 1 | | | 1 | | | | | | | | | | 1 | | | | | 4 |
| 脚付器物 | 口縁 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 脚付器物 | 胴部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| 脚付器物 | 底部 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | 3 |
| 不明 | 内彎 口縁 | | | 1 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 2 |
| 不明 | L字 口縁 | 1 | | | | 1 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | 3 |
| 不明 | 直口 口縁 | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 1 |
| 不明 | 波状 口縁 | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 1 |
| 不明 | 外反 口縁 | | | | 1 | | | | | | 1 | 3 | | 1 | | | | | | | | 6 |
| 不明 | 胴部 | 12 | 5 | 33*1 | 14 | 36 | 61 | 1 | 9 | 1 | 22 | 30 | 3 | 10 | 4 | 3 | 10 | 24 | 1 | 4 | 35 | 319 |
| 不明 | 底部 | 2 | | 1 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | 2 | 1 | 7 |
| 不明 | 上げ底 底部 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 2 |
| 合計 | | 17 | 7 | 38 | 16 | 39 | 62 | 1 | 9 | 1 | 25 | 34 | 3 | 11 | 4 | 3 | 11 | 28 | 2 | 7 | 37 | 355 |

注：第77図にある遺物は集計に含めていない（観察一覧表を参考）
＊：有孔




第77図　土器

## 第23節　硬質土器（炮烙[註1]）

ここで扱う硬質土器（炮烙）とは、胎土は精選され、砂粒・黒色粒・赤色粒・雲母を混入し、轆轤引きや指撫によって成形されるもので、焼成は悪く、触れると粉末が指に付着する。器体表面は乳白色を基本とし、灰色の素地をサンドウィッチ状に挟み込むようになっている。壺屋古窯跡Ⅰ[註2]で報告されている「フライパン状製品」や鹿児島県の浜町遺跡[註3]で報告されている炮烙（ほうろく）と器形が類似している。平成13年2月10・11日に開催された九州近世陶磁学会にて今回出土した資料の所見を求めたところ、学会に集まった各都道府県の埋蔵文化財関係者から炮烙であるという意見を頂いたので、用途は炮烙と考えられる。

＜註＞

註1 炮烙とは素焼き土鍋の一種で物を炮るのに用いる庖厨具である。また河内国埴田・筑前国柳河よりでるものは埴田炮烙といわれ茶器として賞用される。茶の湯では炭手前に必要な道具で土鍋ともいい、炭手前は風炉の灰を入れ、灰杓手の付属品を添えて持ち出すようである(加藤唐九郎 編『原色陶器大辞典』株式会社淡交社 1993年)

註2.島　弘『壺屋古窯群Ⅰ』那覇市教育委員会 1992年

註3.『浜町遺跡』鹿児島県立埋蔵文化財センター 2000年

### 第32表　硬質土器出土状況

| 器種 ＼ 出土地 | | トレンチ | 黒色土層 | 黒色混礫土層 | 地山直上 | 遺構 | き・し－17 混礫土層 | せ・そ－15・16・17 黒色土層 | 黒色混礫土層 | 北側横黒色土層 | 旧階段下の石垣 | 下黒色混礫土層 | 旧階段横2列石列 | 岩盤にへばりつく | た・ち－12・13・14 黒色土層 | 混礫土層 | 混礫土層 | 中部土層 | ち－11 北側畦 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | 前面 | 黒褐色 | | | | | | | 黒褐色 | 茶褐色 | 遺物集 | | | |
| 鉢 | 口～底 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 1 |
| | 口縁 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | 1 | 4 | | | | | 1 | | 1 | | 1 | 1 | 12 |
| | 胴部 | 1 | 2 | | 1 | 1 | | 1 | 1 | | | | | | | 1 | | | | 8 |
| | 耳 | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | 2 |
| | 底部 | | | 1 | 1 | 1 | 1 | | 1 | | | | | | | 4 | | | | 9 |
| 浅鉢 | 口縁 | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | 2 |
| | 底部 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | 1 |
| 皿 | 口縁 | | | | 1 | | | | | | | | | | | 3 | | | | 4 |
| 不明 | 口縁 | | 1 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | 2 |
| | 胴部 | | 3 | 2 | 1 | | | 2 | 1 | 1 | | 1 | | | | | | | | 11 |
| | 底部 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 1 |
| 合計 | | 2 | 7 | 4 | 5 | 2 | 1 | 6 | 8 | 1 | | 1 | | 3 | | 12 | | | 1 | 53 |

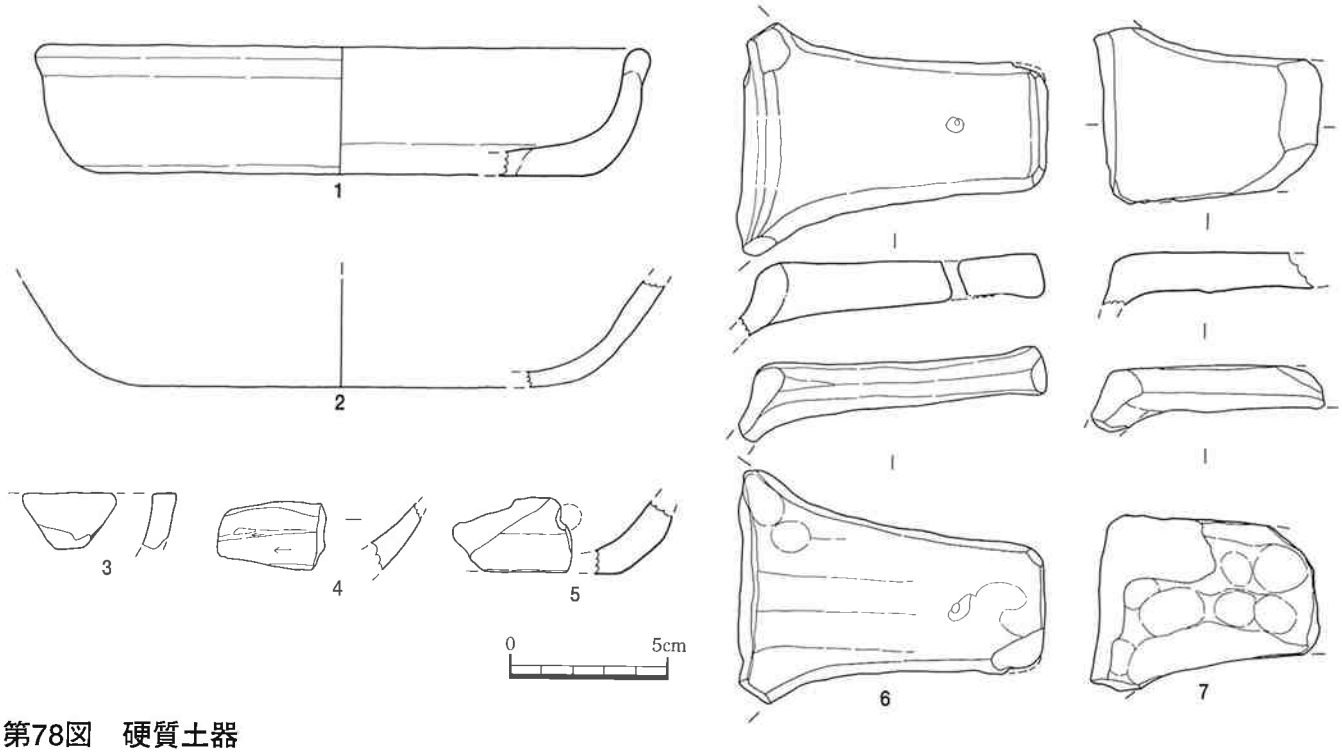
注：第78図にある遺物は集計表には含めていない（観察一覧を参考）

### 第33表　硬質土器観察一覧

単位：cm

| 図 | 番号 | 器種 | 部位 | 口径 器高 底径 | 形態的特徴 | 器色 | 焼成 | 器面調整 | 成形 | 混入物 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第78図・図版61 | 1 | 炮烙 | 口～底 | 19.4 4 15.4 | 口唇：丸 | 表：黒褐色 裏：褐色 | 悪い | － | 轆轤 | 黒色粒 赤色粒 | せ－17 暗褐色混礫土層 |
| | 2 | | 底 | － － 13 | － | 表：茶褐色 裏：淡褐色 素地：淡灰色 | 悪い | － | 轆轤 | 黒色粒 | す－15 地山直上 遺構57 |
| | 3 | | 口 | － － － | 口唇：平 | 表：茶褐色 裏：淡褐色 | 悪い | － | 轆轤 | 黒色粒 雲母 | ち－12 地山直上 |
| | 4 | | 胴 | － － － | － | 表裏：淡褐色 素地：灰色 | 悪い | 指撫 篦痕 | 轆轤 | 砂粒 黒色粒 | た－13 黒色土層 |
| | 5 | | 底 | － － － | － | 表：黒褐色 裏：淡褐色 | 悪い | － | 轆轤 | 黒色粒 | ち－12 |
| | 6 | | 把手 | － － － | 把手：孔を穿つ | 表裏：淡褐色 素地：淡灰白色 | 悪い | － | － | 黒色粒 | せ－15・16 岩盤 黒色土層 |
| | 7 | | 把手 | － － － | － | 表裏：乳白色 素地：淡黒色 | 悪い | 指圧 | － | 黒色粒 雲母 | せ－15・16 岩盤 黒色土層 |

注：法量の項の「－」は測定不可、観察の項「－」は不明




第78図　硬質土器

## 第24節　類須恵器

須恵器の胴部破片が７点出土し、その内の５点を第79図に図示した。いずれも壺の破片で、肩部近く（図2・3）、胴部（図1）、底部近く（図5）である。これらは白色の微細粒が多量混入し、「カムィヤキ」[註1]の特徴を示している。資料はいずれも遺跡の南西端の崖部との境界から出土している。

<註>

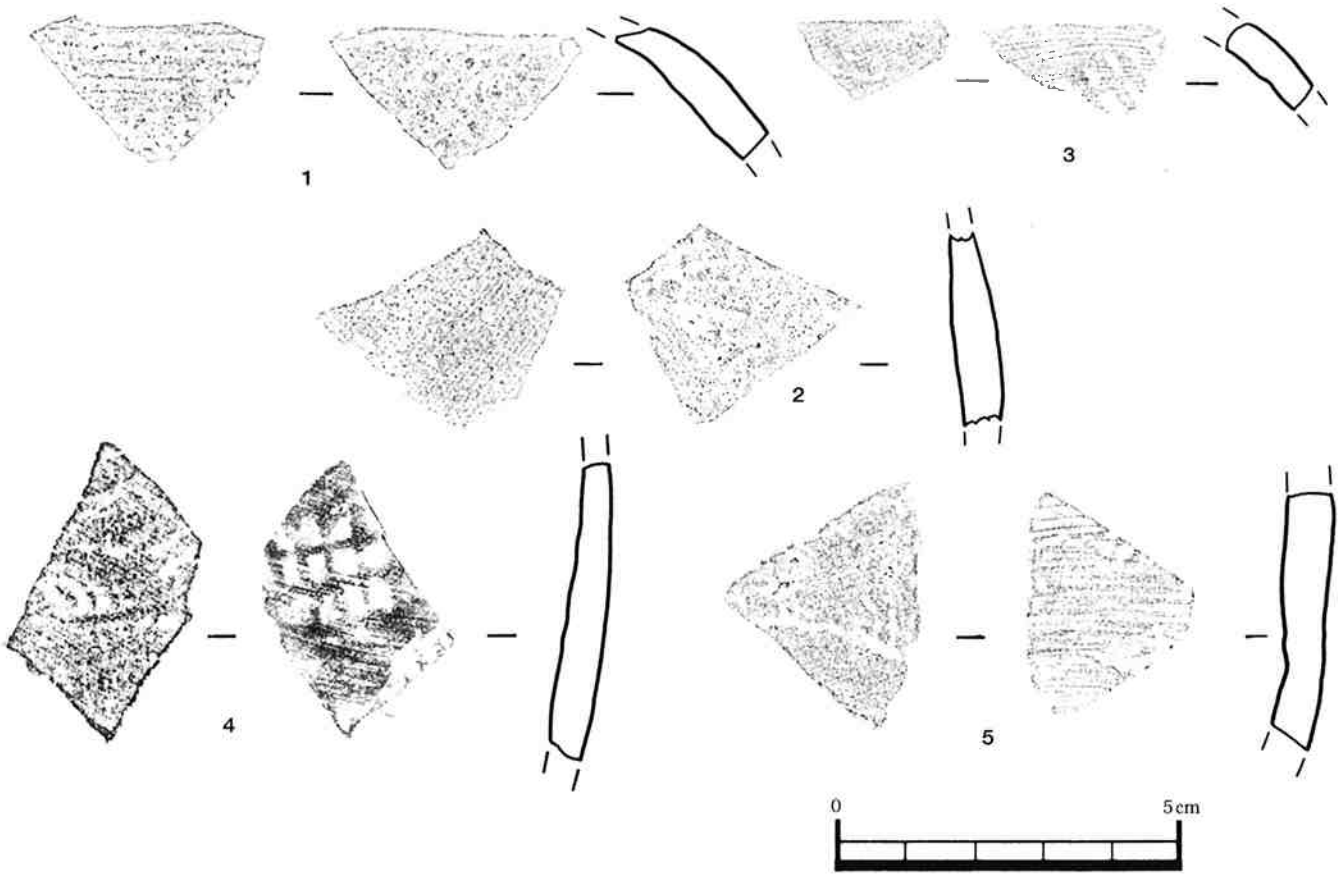
註１ａ．新東晃一・青崎和憲　「カムィヤキ古窯跡群Ⅰ　昭和59年度重要遺跡確認調査」『伊仙町埋蔵文化財発掘調査報告書(3)』伊仙町教育委員会　1971.9.30

ｂ．新東晃一・青崎和憲・中村耕治　「カムィヤキ古窯跡群Ⅱ　ため池等整備事業（木乃又地区）に伴う発掘調査」『伊仙町文化財調査報告書(5)』　伊仙町教育委員会　1985.3

### 第34表　類須恵器観察一覧

単位：cm

| 図 | 番号 | 器種 | 部位 | 観察事項 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|---|
| 第79図・図版62 | 1 | 壺 | 胴部 | **器面調整**：外面ー叩き文。**器色**：明灰色。**混入物**：白色の微細粒１㎜前後が混入、割と多い。焼成良好。**器厚**：5.3㎜。 | せー16　10～30 |
| | 2 | | | **器面調整**：内面ー叩き文。**器色**：茶褐色と暗灰色のサンドイッチ状。**混入物**：僅少。焼成やや良好。**器厚**：5.1㎜。 | せー17黒色混礫土層 0～50 |
| | 3 | | | **器面調整**：内面ー叩き文。**器色**：器表面は明灰色、内部は茶褐色のサンドイッチ状。**混入物**：微細粒。少量混入。焼成やや良好。**器厚**：5.3㎜。 | せー17黒色土層 |
| | 4 | | | **器面調整**：外面ー轆轤痕。内面ー叩き文と轆轤痕。**器色**：器表面は灰色、内部は暗茶色。**混入物**：白色の微細粒。焼成やや良好。**器厚**：6.0㎜。底部近く。 | つー14黒色土層 |
| | 5 | | | **器面調整**：内面に叩き文。**器色**：器表面は明灰色。内部は暗灰色。白色の微細粒混入。焼成やや良好。**器厚**：6.5㎜。外面に積み痕。 | しー17 黒色混礫土層崖部 |




第79図　類須恵器

## 第25節　円盤状製品

本製品は日常生活において使用したものを円形に打割調整した二次利用品である。

天界寺東において167点出土した。うち、完形率は52%であり、完形品の直径を計測したものが、第35表である。やや小型のものと中型が多く見られ、素材と大きさを相関関係を表したものが第81図である。本遺跡の円盤状製品の大きさの主体は2㎝～4㎝台である。周辺遺跡の首里城南殿では2㎝～3㎝台、首里城西側（下之御庭より西側[註1]）では2㎝～5㎝台、御細工所跡[註2]は5㎝台が製品の大きさの主体である。

御細工所は生産遺跡であり本遺跡と性格が異なるが、首里城との中間地点に所在していることもあり、地理的条件が同じであるため比較の対象とした。なお、御細工所跡の大きさの中心は5㎝台であり、同じ生産遺跡の湧田古窯跡や壺屋古窯跡[註3]と同様に若干径が大きいものが主体となる。大きさの中心は首里城南殿が2㎝台、首里城西側が3㎝台であることから、本遺跡は3㎝台を中心とする若干径が小さいものが主体となる平均的な遺跡と思われる。

素材については、首里城などの近くであるという地理的条件から種類が豊富であり、小型の製品を製作するための材料となる碗類や小型の壺で器壁の薄いものが多い。

本遺跡から出土する各器種の底部を利用した円盤状製品は、三つのタイプに分けられる。

底部Ⅰ類：他の遺跡にも見られる高台を残すタイプ

底部Ⅱ類：皿など比較的高台の直径が大きい器種は高台内を利用するタイプ

底部Ⅲ類：高台をきれいに割り取るタイプ

底部Ⅲ類が周辺の首里城等の遺跡に比べて多く出土した。

その他の部位の製作方法はほとんどが表面からの打割調整であり、他遺跡との違いはない。

出土状況については、調査区のほぼ全面から出土した。北東部と南西部の一部にまとまって出土したところがある。その製作や用途を考える上で参考になると思われる。ここでは、特徴的なものを図示した。

なお、第80図15は貝を利用した一次製品で、未調整の白碁石に類似するが、厚さ3㎜と碁石に成形するには薄いため、ここでは、円く打割調整した製品として扱った。

付記：他に碁石が3個あり、大きさは22㎜（2個）、17㎜（1個）で、てー13、たー14暗褐色土、せー19茶褐色混礫土層で出土した。

### 第35表　円盤状製品観察一覧

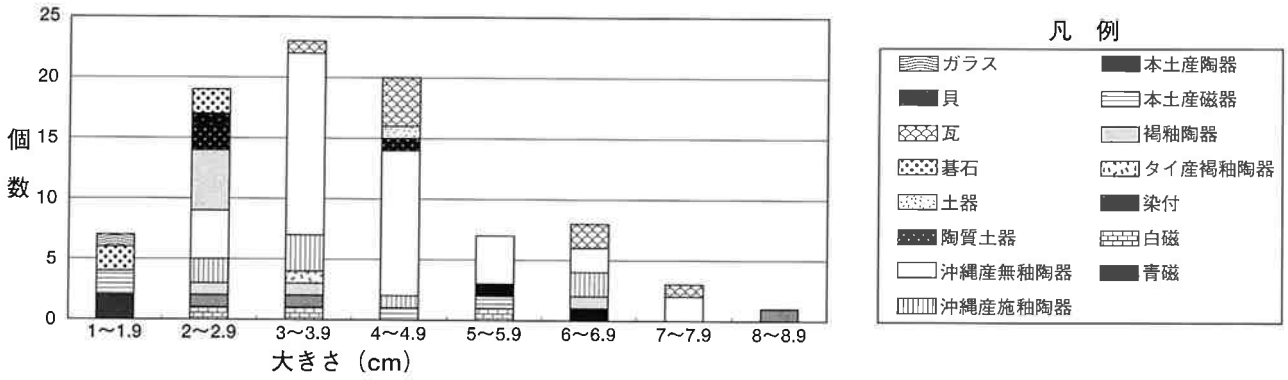
| 図 | 番号 | 素材 | 長径(cm) | 短径(cm) | 厚さa(cm) | 厚さb(cm) | 重さ(g) | 使用部位 | 完・破 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第80図・図版63 | 1 | 沖無 | 7.60 | 6.80 | 1.30 | | 107.20 | 胴 | 完 | そ－11　撹乱土壙内 |
| | 2 | 沖無 | 3.70 | 3.70 | 1.20 | | 25.30 | 胴 | 完 | て－12　遺物集中部 |
| | 3 | 沖無 | 6.50 | 6.40 | 1.20 | | 62.00 | 擂針－胴 | 完 | す－18　遺物礫集中部　黒色土層 20～40 |
| | 4 | 沖無 | 5.20 | 5.10 | 1.30 | | 55.00 | 胴 | 完 | す・せ－18　黒色土層 0～30 |
| | 5 | 沖無 | 3.30 | 3.20 | 1.20 | | 18.70 | 胴 | 完 | と－11　黒色土層 0～10 |
| | 6 | 瓦 | 4.40 | 4.30 | 1.50 | | 34.00 | 灰－平瓦 | 完 | さ－17　岩盤凹地内地山直上瓦集中部 190～220 |
| | 7 | タイ産褐釉 | 3.10 | 3.00 | 0.70 | | 11.70 | 胴 | 完 | さ－17　岩盤凹地内コーラル層 |
| | 8 | 褐釉 | 2.30 | 2.10 | 0.90 | | 7.00 | 胴 | 完 | つ－14　瓦礫層 |
| | 9 | 沖施？ | 3.40 | 3.20 | 0.60 | | 9.60 | 胴－黒釉 | 完 | と－11　黒色土層 0～10 |
| | 10 | 白磁 | 5.90 | 5.80 | 0.90 | 1.20 | 51.00 | 皿－底 | 完 | 黒色土層 80～90 |
| | 11 | 白磁 | 3.60 | 3.40 | 0.90 | 1.20 | 13.90 | 小碗－底 | 完 | て－11　岩盤上黒色土層 |
| | 12 | 白磁 | 2.70 | 2.60 | 0.40 | 1.00 | 8.60 | 小碗－底 | 完 | て－12　遺物集中部 |
| | 13 | 陶質 | 4.10 | 4.10 | 0.40 | | 11.20 | 胴 | 完 | せ－17　黒褐色混礫土層 |
| | 14 | 陶質 | 2.40 | 2.30 | 0.40 | | 2.80 | 胴 | 完 | せ－17　黒褐色混礫土層 |
| | 15 | 貝 | 2.60 | 2.50 | 0.30 | | 3.40 | ヤコウガイの体層 | 完 | そ－11　地山直上 |
| | 16 | 染付 | 3.60 | 3.50 | 0.40 | | 7.90 | 胴 | 完 | そ－12　黒色土層 0～20 |
| | 17 | 沖施 | 3.80 | 3.70 | 0.40 | 1.10 | 14.00 | 蓋 | 完 | す・せ－13　遺構41 |
| | 18 | 染付 | 8.00 | 4.80 | 0.50 | 1.17 | 53.00 | 蓋 | 破 | せ・そ－13　遺構57 |
| | 19 | 瓦 | 7.00 | 6.30 | 1.70 | | 94.00 | 灰－平瓦 | 完 | と－11　黒色土層 0～10 |
| | 20 | 沖施 | 6.80 | 6.50 | 1.46 | | 119.00 | 底 | 完 | て－12　遺物集中部 |

<註>

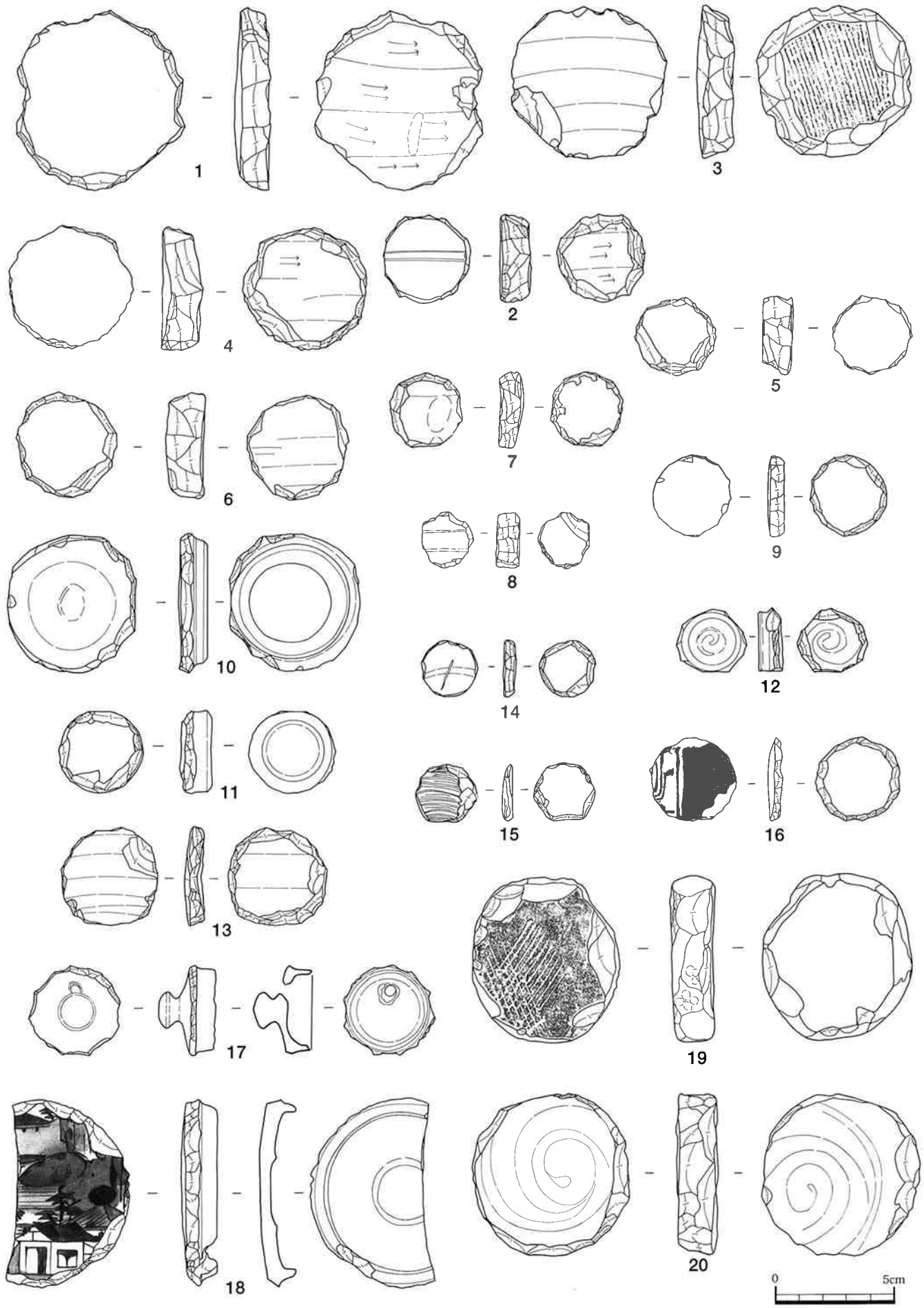
註１．沖縄県教育委員会「円盤状製品」『首里城跡』南殿・北殿跡の遺構調査報告　1995年３月
註２．島袋　春美「円盤状製品」『御細工所跡』那覇市教育委員会　1991年３月
註３．島袋　春美「円盤状製品」『壺屋古窯群Ⅰ』那覇市教育委員会　1992年３月

## 第36表　円盤状製品出土状況

| 大きさ(cm)・種類 ＼ 出土地 | | トレンチ | 表採・撹乱 | 黒色土層 | 黒色混礫土層 | 地山直上 | 遺構 | さ・し－17 岩盤凹地内 コーラル層 | さ・し－17 岩盤凹地内 地山直上 | さ・し－17 岩盤凹地内 瓦集中部 | さ・し－17 いた黒色土層 岩盤にへばりつ | せ－16・17 黒色土層 | せ－16・17 暗褐色混礫土層 | せ－16・17 黒色混礫土層 | せ－16・17 地山直上 | す・せ－18 黒色土層 | す・せ－18 黒色土層 遺物礫集中部 | そ－11 撹乱土壙内 | た－14 落ち込み上面 | ち－13 石垣裏込め内 | つ－9 石段上黒色土層 | つ－13・14 黒褐色混礫土層 | つ－13・14 遺構集中部 岩盤付近 | つ－13・14 瓦礫層 | て・と－11・12・13 岩盤上黒色土層 | て・と－11・12・13 遺物集中部 | 不明 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1～1.9 | 青磁 | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | 本土産磁器 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 1 | | 2 |
| | 碁石 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 2 |
| | ガラス | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 2～2.9 | 白磁 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 |
| | 染付 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 褐釉陶器 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 1 |
| | 本土産磁器 | | | 1 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | 沖縄産施釉陶器 | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | 1 | | 4 |
| | 沖縄産無釉陶器 | | | 1 | | | | | | | | | 1 | | | 1 | | 1 | | | | | | | | 1 | | 5 |
| | 陶質土器 | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | 貝 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 碁石 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 2 |
| 3～3.9 | 白磁 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 |
| | 染付 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 褐釉陶器 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | タイ産褐釉陶器 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 沖縄産施釉陶器 | | | 1 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | 3 |
| | 沖縄産無釉陶器 | | 1 | 2 | | 2 | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | 1 | | | | 2 | 5 | | 15 |
| | 瓦 | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 4～4.9 | 本土産磁器 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 |
| | 沖縄産施釉陶器 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 |
| | 沖縄産無釉陶器 | 1 | | 2 | | 2 | | | | | | 1 | | 1 | | | 2 | | | | | | | | | 3 | | 12 |
| | 陶質土器 | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 土器 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| | 瓦 | | | | | 2 | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 |
| 5～5.9 | 白磁 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 本土産磁器 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 |
| | 本土産陶器 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 沖縄産無釉陶器 | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 | | 4 |
| 6～6.9 | 本土産陶器 | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 褐釉陶器 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 |
| | 沖縄産施釉陶器 | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | | 2 |
| | 沖縄産無釉陶器 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 2 |
| | 瓦 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 2 |
| 7～7.9 | 沖縄産無釉陶器 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | 2 |
| | 瓦 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 8～8.9 | 染付 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 合計 | | 4 | 1 | 16 | 4 | 9 | 2 | 1 | 1 | 2 | | 2 | 1 | 7 | 1 | 1 | 5 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 3 | 19 | 2 | 88 |




第81図　円盤状製品の大きさと素材の相関




第80図　円盤状製品

## 第26節　煙管

天界寺東区で出土した煙管は29点である。出土状況は調査地区全体でみた場合、北東と南側から主に出土している。て－12遺物集中部とす－15遺構30で数点、まとまった検出が見られ、共伴遺物の種類によっては時代背景がみられると思う。

煙管の種類は、煙管に羅宇[註1]を挿して使用し、雁首と吸口がセットになるものもある「羅宇キセル」（第　82図１～13）と、羅宇の要らない火皿から吸い口まで繋がっている「延べキセル」（第82図14）がある。本遺跡では羅宇キセルが主流で、その内、最も多く得られているのは雁首にはパイプ型（図５）と釣鐘型（図１）の２種がある。延べキセルは僅か２点であった。今回出土した資料の中で興味深いのは、釣鐘型キセルの製作途中と思われる資料（第82図４）や、原材料と考えられる資料（同図３）が得られたという点である。他遺跡から出土する釣鐘型キセルの類例は、石を加工したものが多いが、天界寺で出土したのはすべて瓦質で、図３の原材料と考えられる資料には、瓦の布目痕とみられる面が一部残っている。これは釣鐘型キセルが瓦の破損品などを加工し、現地で製作されていたと推測させる資料である。

材質別に見ると内訳は羅宇キセルは、瓦質はすべて釣鐘型キセルで完形品１点、原材料・製作途中資料４点、他は沖縄産無釉陶器が12点、沖縄産施釉陶器が４点、青銅が８点で、延べキセルは青銅１点、真鍮１点である。出土した煙管の残存状況が良好な資料の中から、材質別に代表的な資料を数点図化した。詳細については第37表にまとめて記載する。

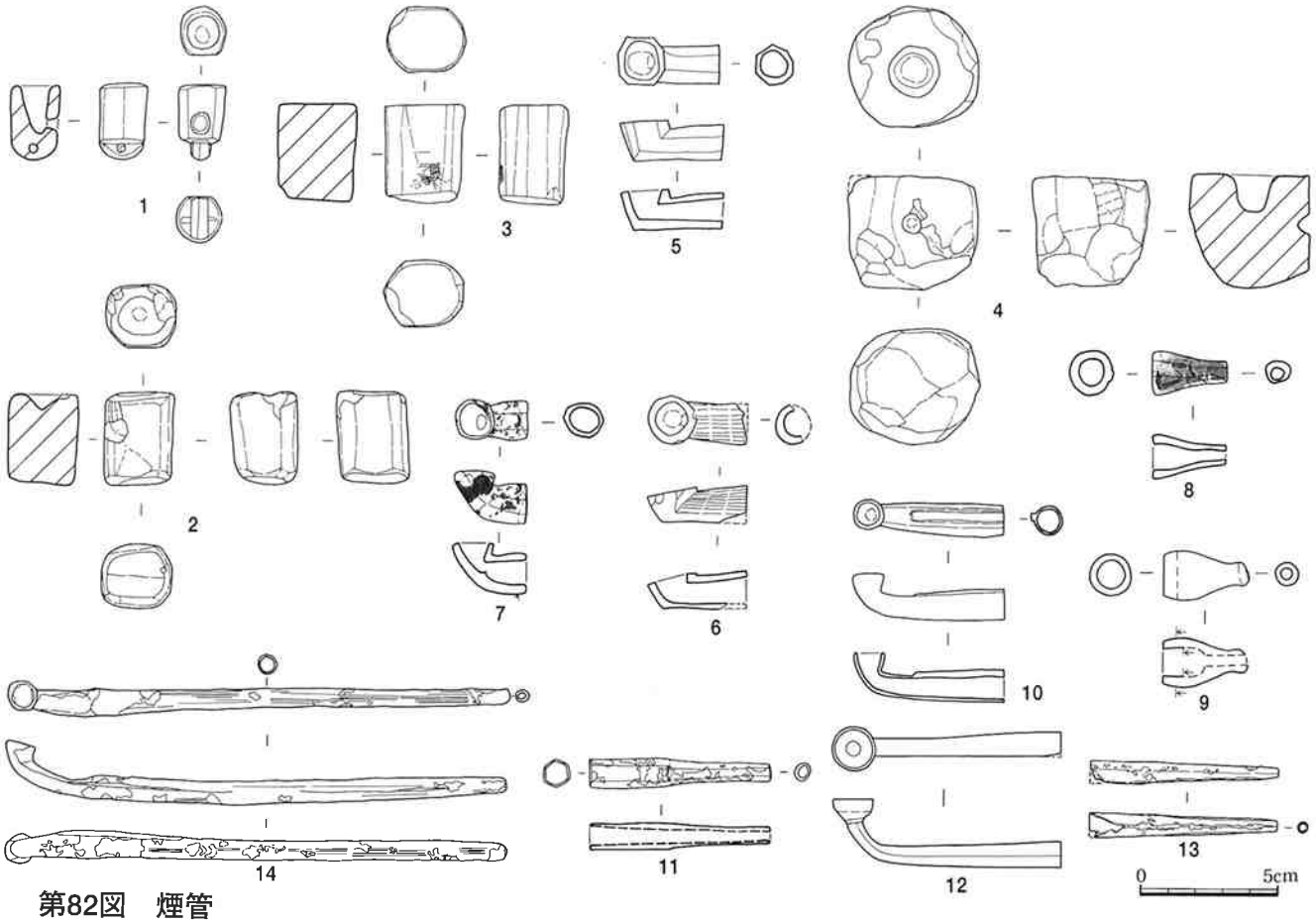
＜註＞

註１　羅宇とはキセルの雁首と吸い口とをつなぐ竹の管のこと。

＜参考文献＞


・『大辞林』　第二版　松村明「編」　三省堂

・『きせる』　たばこと塩の博物館　財団法人たばこ産業弘済会　昭和63年３月

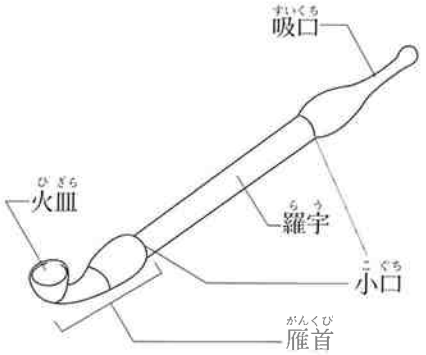

第82図　煙管

## 第37表　煙管観察一覧

単位：cm

| 図 | 番号 | 材質 | 器種 | 火皿 | 羅宇接続部 | 吸い口 | 高さ | 長さ | 素地 | 釉色 | 観察事項 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第82図・図版64 | 1 | 瓦質 | 釣鐘型 | 1.8<br>1.3 | 0.7 | — | 2.8 | 1.7 | 内面は灰白色、外面は灰色 | — | 火皿外縁は使用のため摩滅する。紐を付けて使用するための直径0.3cmの小穴がある。 | す－15 地山直上<br>遺構30 |
| | 2 | 瓦質 | 釣鐘型<br>(未製品) | 2.5<br>1.4 | — | — | 3.4 | 2.7 | 灰色 | — | 製作途中。火皿縁部を欠損。 | 不明 |
| | 3 | 瓦質 | 釣鐘型<br>(未製品) | — | — | — | 3.5 | 2.3 | 橙褐色 | — | 部分的に欠けている。釣鐘型の原材料と考えられる。 | ち－14 石積と岩盤の間 黒褐色土層 |
| | 4 | 瓦質 | 釣鐘型 | 1.7 | 0.6 | — | 3.7 | 4.8 | 淡橙褐色と灰色 | — | 製作途中のものと思われる。図1（完形の釣鐘型）と比較して、火皿と羅宇接続部分を繋ぐと、火皿がもっと深くなり、表面全体ももっと削る必要がある。 | す－18 遺構1内 |
| | 5 | 沖無 | 雁首 | 1.6<br>1.2 | 1.2<br>0.8 | — | 1.5 | 3.7 | 暗褐色 | — | 胴部は8面に成形。欠損部分が少なく使用頻度が少ないものと考えられる。 | す－16 地山直上<br>黒色土層 |
| | 6 | 沖無 | 雁首 | 1.7<br>1.1 | — | — | 1.3 | 3.6 | 内面は赤褐色、外面は黒褐色 | — | 形状は丸形。火皿縁の欠損、火皿外側下部は使用により摩滅していると思われる。 | せ－17 黒色土層<br>60～80 |
| | 7 | 沖施 | 雁首 | 1.5<br>1.1 | 1.5 | — | 1.9 | 2.6 | 白色 | 緑色 | 部分的に釉剥がれ、石灰分の付着が見られる。火皿内面には煤けた部分が残る。 | せ－17 黒色混礫土層 90～110 |
| | 8 | 沖施 | 吸い口 | — | 1.6<br>0.9 | 0.8<br>0.4 | 1.6 | 2.9 | 白色 | 緑色 | 羅宇接続部分の膨らみは、釉が剥がれており、横方向に幅1㎜以下の刷毛目痕がある。吸い口部分は、指先でひねるように成形されている。7と対になると思う。 | て－12 遺物集中部<br>0～20 |
| | 9 | 沖施 | 吸い口 | — | 1.5<br>1.0 | 0.9<br>0.4 | 1.6 | 3.0 | 灰白色 | 透明 | 羅宇接続部分は釉が掛かっておらず、橙褐色に変色。釉は内面半分の所まで掛かる。 | せ－16<br>暗褐色混礫土層 |
| | 10 | 青銅 | 雁首 | 1.1<br>0.8 | 1.1<br>0.8 | | 1.7 | 5.4 | — | — | 溶接部分に幅3㎜長さ3.2㎝の合金を張り付けている。 | て－12 遺物集中部 |
| | 11 | 青銅 | 吸い口 | — | 0.9<br>0.8 | 0.6<br>0.4 | 1.1 | 7.6 | — | — | 羅宇接続部分は六角形に成形。 | て－12 遺物集中部<br>0～20 |
| | 12 | 青銅 | 雁首 | 0.6<br>0.4 | 0.8 | | 1.1 | 6.6 | — | — | 丸く成形される。 | す－15<br>遺構30 |
| | 13 | 青銅 | 吸い口 | — | — | 1.0<br>0.9 | 0.9 | 3.5 | — | — | 12と一対かと思う。 | す－15<br>遺構30 |
| | 14 | 真鍮 | 延べキセル | 1.1<br>0.9 | — | 0.6<br>0.4 | 2.4 | 18 | — | — | 羅宇部分に線が入る。 | て－13<br>遺物集中部 |

注：火皿・羅宇接続部・吸い口は上段：外径、下段：内径




**＜キセルの名称＞**『キセル』たばこと塩の博物館1988年

1．火皿（ひざら）：　たばこを詰める椀形の部分。

2．雁首（がんくび）：広義では、きせるの頭部全体をいい「火皿」と「火皿のつけ根から、羅宇と接合する部分」までをさす。狭義では、「火皿を除いた部分をさし、「雁首」という名称は、この部分が渡り鳥の雁の首に似ているので名付けられたといわれる。

3．肩（かた）：初期のきせるの中には、羅宇を挿入する部分にひとまわり径の大きい管を接合している形のものがある。この管を肩と呼ぶ。

4．小口（こぐち）：羅宇きせるの、雁首と吸口の羅宇に接する部分をさす。

5．胴（どう）：羅宇きせるの場合、雁首の火皿と小口に挟まれた部分と、吸口の唇をつける口元と小口に挟まれた部分をさす。延べきせるの場合は、火皿と吸口の間の中間部分をさす。

6．吸口（すいくち）：広義では、きせるの尾部全体をさし、狭義では、唇をつける口元の部分をさす。

## 第27節　骨製品

歯ブラシ、箸、棒状、板状、ボタンなどの製品が出土した。

### a．歯ブラシ

ウシの四肢骨を約11.4㎝～13.5㎝の棒状に加工し、頭部は植毛する為の小孔と柄部からなる。頭部は先端の形がA：丸とB：角を為すものであり、植毛孔はイ：３列とロ：４列、柄部は先端が①：尖るもの、②：丸味を持つもの、③：角を持つもの、④：三角形になるものがある。これらは柄部の端部に孔を作り、青銅の棒を通した例は12例中10個を数える。これらはすべて同位置に小孔を有することから推して、本品には標準に装備していたものと考えられる。また、頭部は第83図9に見られるように非常に細い銅線を縦に通し、その上に植毛していたと考えられる。本品と同様の例が今までに首里城跡や、近世の遺跡からも報告がなされている。本品の出土しているグリットも、て・と－12・13の遺物集中部で出土していることから、近代のものと考えられる。

**第38表　歯ブラシ観察一覧**

単位：㎜/g

| 図版 | 番号 | 残存 | 長さ | 頭部幅×厚 | 重さ | 観察事項 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第83図・図版65 | 1 | 完形 | 132.5 | 頭部 11.6×4.3<br>頸部 5.8×5.8<br>柄部 10.8×5.8 | 8.3 | A·ロ·①　柄部表面に4条の沈線有り。先端は孔を施し青銅の金具をはめ込む。 | と-12<br>遺物集中部 |
| | 2 | | 135.2 | 頭部 12.3×4.7<br>頸部 6.9×5.8<br>柄部 14.1×6.9 | 12.8 | B·ロ·③　柄部先端に青銅の金具と棒をはめ込む。全体的に湾曲し、頸部も他に比べ太く、骨の材質感が残る。 | と-12<br>遺物集中部<br>0～20 |
| | 3 | | 123.8 | 頭部 9.3×4.4<br>頸部 5.1×4.3<br>柄部 11.1×5.5 | 7.6 | A·イ·①　柄部のほぼ中央を幅3㎜、長さ18㎜に削り、その中に英字の銘有り。先端は、孔を施し青銅の金具と棒をはめ込む。僅かに湾曲がある。 | と-12<br>遺物集中部 |
| | 4 | | 131.5 | 頭部 10.8×4.7<br>頸部 4.8×5.3<br>柄部 11.7×6.8 | 9.8 | A·イ·①　研磨は顕著で光沢もある。柄部先端は、孔を施し青銅の棒を通す。湾曲しながらも若干のひねりもある。 | と-12<br>遺物集中部<br>0～20 |
| | 5 | | 114.5 | 頭部 8.6×4.1<br>頸部 4.6×4.0<br>柄部 11.3×4.6 | 6.2 | A·イ·②　研磨は顕著。柄部のほぼ中央に英字の銘有り。緩やかに湾曲している。最も小ぶり。 | と-12<br>遺物集中部<br>0～20 |
| | 6 | 柄部 | － | 頸部 計測不可<br>頸部 5.6×4.8<br>柄部 11.3×7.1 | 7.0 | 頭部欠損·④　表面は柄の形に沿って、沈線を施す。先端は尖り、三角形でくり抜かれている。孔の大きさは約7㎜である。その下に孔を施し、青銅の棒を通す。全体的に湾曲し、ひねりも見られる。骨の材質感も残る。 | て-12<br>遺物集中部 |
| | 7 | | － | 頭部 計測不可<br>頸部 6.0×4.6<br>柄部 12.7×5.4 | 8.3 | 頭部欠損·②　研磨は顕著。柄部のほぼ中央に、両端が湾曲した約2㎝の3条の沈線有り。先端は孔を施しているが、青銅の棒は確認できない。 | と-12<br>遺物集中部 |
| | 8 | | － | 頭部 計測不可<br>頸部 計測不可<br>柄部 12.7×6.3 | 4.4 | 頭部欠損·③　柄部表面に4条の沈線有り。周縁に3本を1単位とした沈線が並ぶ。先端は、孔を施し青銅の金具と棒をはめ込む。破損側に穿孔した痕が見られる。 | て-13<br>遺物集中部 |
| | 9 | 頭部 | － | 頭部 10.5×4.5<br>頸部 6.0×4.3<br>柄部 計測不可 | 2.9 | A·イ·柄部欠損。植毛のためと思われる細い銅線が見られる。 | て-12<br>遺物集中部<br>0～20 |

### b．箸

第83図12は箸の先端と軸部で、横断面が3.9×3.1㎜の長方形を示し、先端は四角錐状に尖る。軸部は最大幅6.1×5.1㎜の長方形で管骨の部分を用い、遺物集中部から出土した。

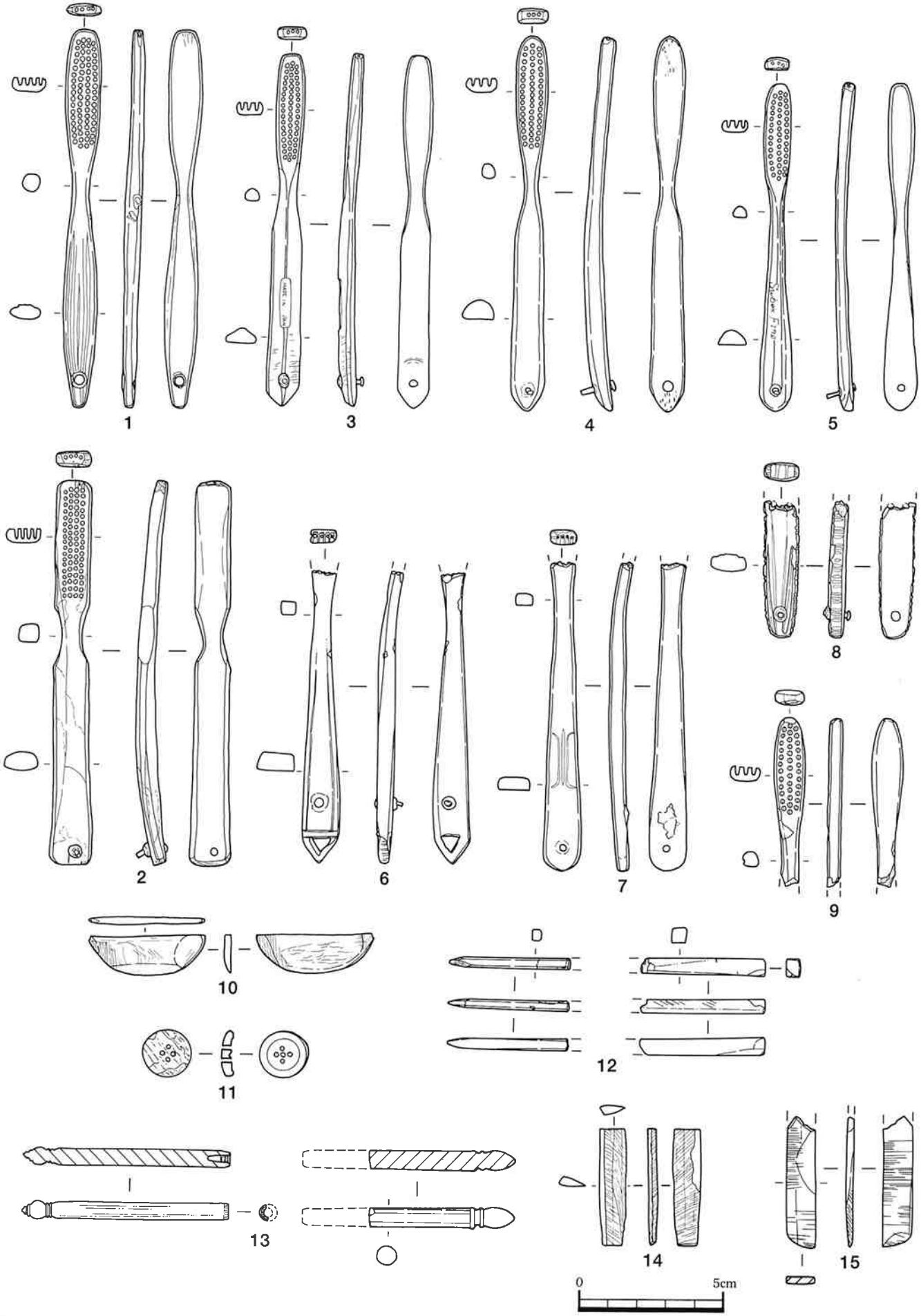
また、図版４－２に示したように**アホウドリ**の骨で作ったお箸が、せ－17**ヤコウガイ蓋集中部**の北西隅から出土した。

### c．棒状製品

13はほぼ完形品で長さ72.8㎜、横径5.9㎜を測る。表面に光沢があり、一端の外径は5.9㎜で内径3.0㎜、奥行き7.0㎜の孔を施し、端部は青色に変色する。他端は珠形を呈し、その両端は二条の溝を精巧に施し、一端は完結する。ち－13遺物集中部出土で、用途は一端に錆が付着することから青銅の部品が装着していたと考えられるが詳細は不明である。

### d．板状製品

第83図10はウシの骨を利用したもので、正面観は逆台形を呈する。全面研磨が施され、裏面は海綿組織が残存する。長辺の長さは40.5㎜、最大幅は13.1㎜、最大厚2.5㎜を測る。長辺から短辺にかけては弧状を描きその長辺の部分は刃部に相当すると考えられる。た－11地山直上の出土である。本品と同様の報告例は勝連城跡[註1]、伊原遺跡[註2]、宮古の住屋遺跡[註3]、ティラフグ遺跡内古墓[註4]にある。




**第83図　骨製品**　歯ブラシ、箸、ボタン、板状製品

同図14は四肢骨を幅3.1㎜の板状に加工したものであるが、下端は破損する。横断面は薄い三角形を呈する。表は四面を形成し、裏面は骨の剥離面が残る。全体に横、斜め、縦に研磨痕が顕著に見られる。先端に徐々に細くなることから、銛状の製品の可能性もある。と－12遺物集中部0～20㎝の出土である。

同図15も板状で幅9.7㎜、厚さ2.7㎜で端部に細くなり、一角は隅丸になる。全面に研磨痕があり、横位にはしる。た－14黒色土層の出土。

**e．ボタン**

図11は直径12㎜、厚さ37.8㎜、孔の大きさは1.7㎜である。孔は、4孔が貫通し、中央の孔は未貫通である。裏面に海面組織が露出している。17トレンチ岩上撹乱層の出土である。

**f．その他**

管骨を半裁したもの（そ－13・14石垣横の石列前面黒色土層40～60㎝）やブタの大腿骨の骨体の両端に切り傷、横キズ（図版84）の他に石灰の付着するもの（遺構30）が出土している。

<註>

註1．上原　静・盛本　勲・内間　靖「勝連城跡－北貝塚、二の郭および三の郭の遺構調査－(1)」『勝連村の文化財』第11集　勝連村教育委員会　1990．3

註2．島袋春美　他「伊原遺跡」『沖縄県文化財調査報告書』第73集　沖縄県教育委員会　1986．3

註3．砂辺和正「住屋遺跡　平良市新庁舎建設に伴う記録保存の為の緊急発掘調査既報」『平良市文化財報告書』第2集　平良市教育委員会　1992．3

註4．砂辺和正　「金属製鋲を伴う骨製品」『南島考古だより』第58号　沖縄考古学会　1997．10

## 第28節　貝製品

貝製品はホラガイやヤコウガイの製品が出土している。ヤコウガイは蓋の集中部もあり、天界寺におけるヤコウガイの在り方は興味深い。また、隣接する御細工所跡[註5]、首里城[註6]、孔子廟跡[註7]からも出土している。

6はホラガイの体層部の殻頂側の半分を用いたもので、殻頂は研磨加工を施し、体層部は殻頂に対して横位に打割調整で平らにする。殻軸も若干、剥離調整で取り除く。長さ135.1㎜、径116.3㎜、重さ273ｇを測る。殻頂は31.9㎜である。と－12遺物集中部西側畦の出土である。

図1は頭部が8.5㎜を測る半球状を呈し、軸部は直径4.3㎜の緩やかに湾曲する棒状の製品である。先端は破損するが、頭部直下に巻貝の成長線が見られ、その状況からイトマキボラ科の巻貝の軸部を利用したものと思われる。し－17崖部前面黒色混礫土層の出土である。本品と同様の例は今までに報告例はなく用途については今後の資料の追加を待ちたい。

**a．ヤコウガイ**

図3貝匙の柄の部分と考えられるものでヤコウガイの殻口を用いる。殻は風化気味で殻表は螺肋を研磨加工する。柄は最小幅36.8㎜、柄の端部は42.4㎜、厚さ7.2㎜を測り、端部に緩やかにカーブする。柄の細かな加工は認められない。つ－14黒色土層の出土である。

図4も貝匙の柄の部分と考えられるもので、最小幅41.5㎜、柄の端部の幅47.6㎜、厚さ3.2㎜を測り、殻表は生貝の青味を残し、肋部分は研磨し、平らに調整される。す－18遺構①内の出土である。

図5はヤコウガイの切り取り残存部である。殻軸および臍部の部分を中心に残存し、残存部は打割調整が顕著に見られる。貝匙を取ったあとのものと考えられる。せ－18石敷遺構下黒色混礫土層の出土である。

図2は先端を尖らしたもので横断面径4㎜を測る。材質は貝か石と考えられるが後者の可能性が高い。遺物集中部の出土である。

**b．ヤコウガイの蓋集中部**

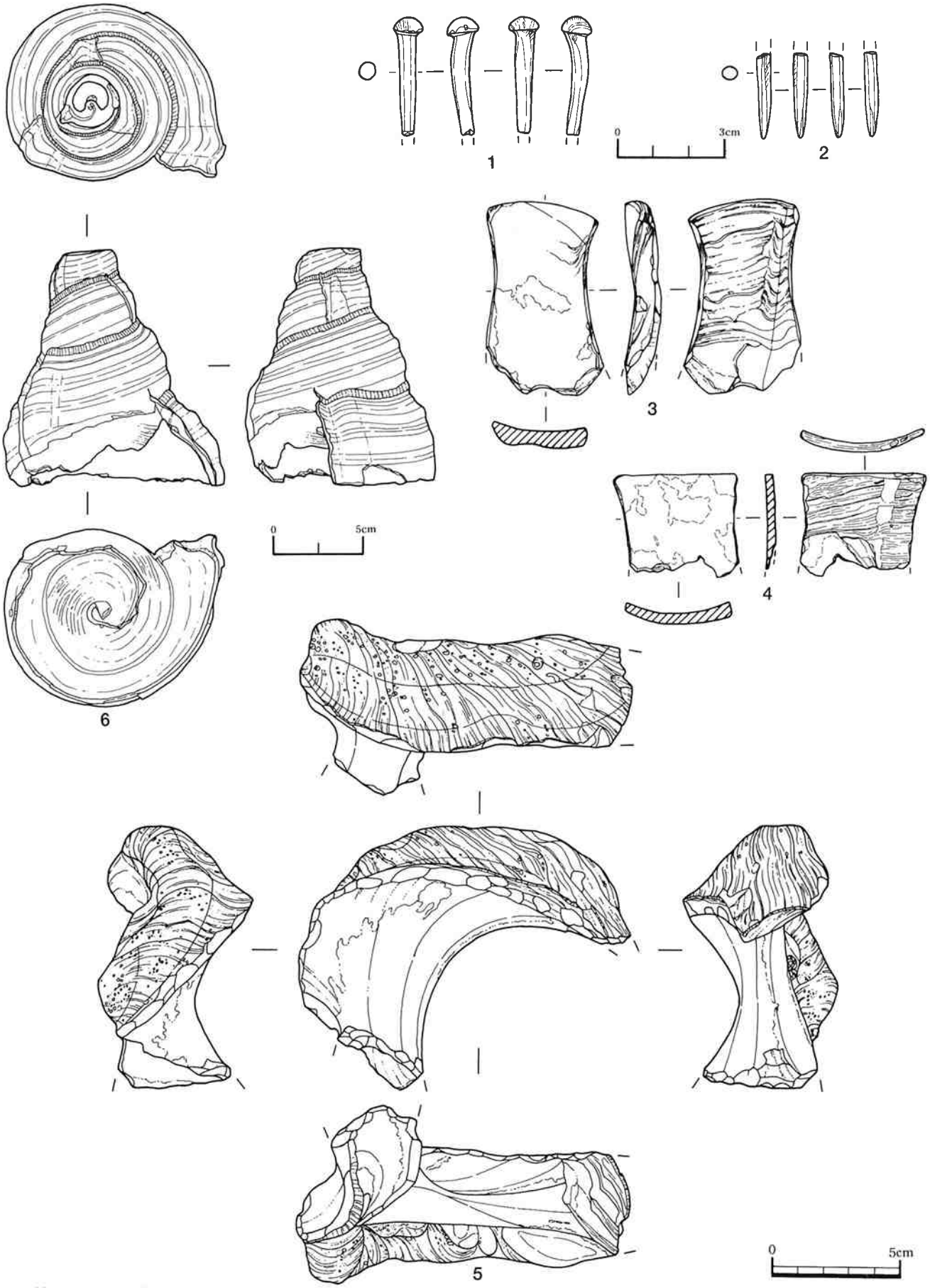
ヤコウガイの蓋が完形25点、破損9点、細片1点出土した。詳細は貝類の項（第49表）に譲る。

<註>

註1．金武正紀・島袋春美・島　弘他「御細工所跡－城西小学校建設工事に伴う緊急発掘調査報告－」『那覇市文化財調査報告書』第18集　那覇市教育委員会　1991．3

註2．上原　静、「首里城出土の貝殻」『考古学ジャーナル』311ニュー・サイエンス社　1989．2

註3．上原　静・島袋　洋「首里国学孔子廟」『文化課紀要』第7号　沖縄県教育文化課　1991．3




第84図　貝製品

## 第29節　銭貨

銭貨は総計80点出土している。有文銭が約36%、無文銭が60%、近・現代銭が約４%であり、出土数の31%である25枚がせ－17より出土している。

有文銭は29点出土している。その内寛永通寶が12点を占め、せ・そ－16・17からの出土が多い。ほかに可能性の高い銭貨として元豊通寶・元祐通寶・洪武通寶があり、元豊通寶がそ－13地山直上の黒色土層、元祐通寶が、ち－13石垣裏込め内より出土している。また、鉄銭が１点出土しているが茶褐色の錆が銭全体に生じているため、銭種の判別は困難である。無文銭は48点出土している。銭貨名は「出土銭貨の分類と特徴」［嵩元 1983］に拠り、径２㎝を基準として２㎝以上を無文銭、２㎝以下を鳩目銭とした。分類は「国内出土のいわゆる「無文銭」について」［是光 1993］に拠り下記の通りに分類を行った。

| 銭径 | 穿形 | 穿と銭径の対比 |
|---|---|---|
| A：2.2㎝～2.4㎝程度 | Ⅰ：方形を呈するもの | 1：穿が銭径約1/3程度 |
| B：1.5㎝～2.2㎝程度 | Ⅱ：円形に近いもの | 2：銭径の1/2以上を占める |
| C：1.5㎝以下 | Ⅲ：隅丸方形をしているもの | 3：穿が極端に大きく輪部に接する状態のもの |

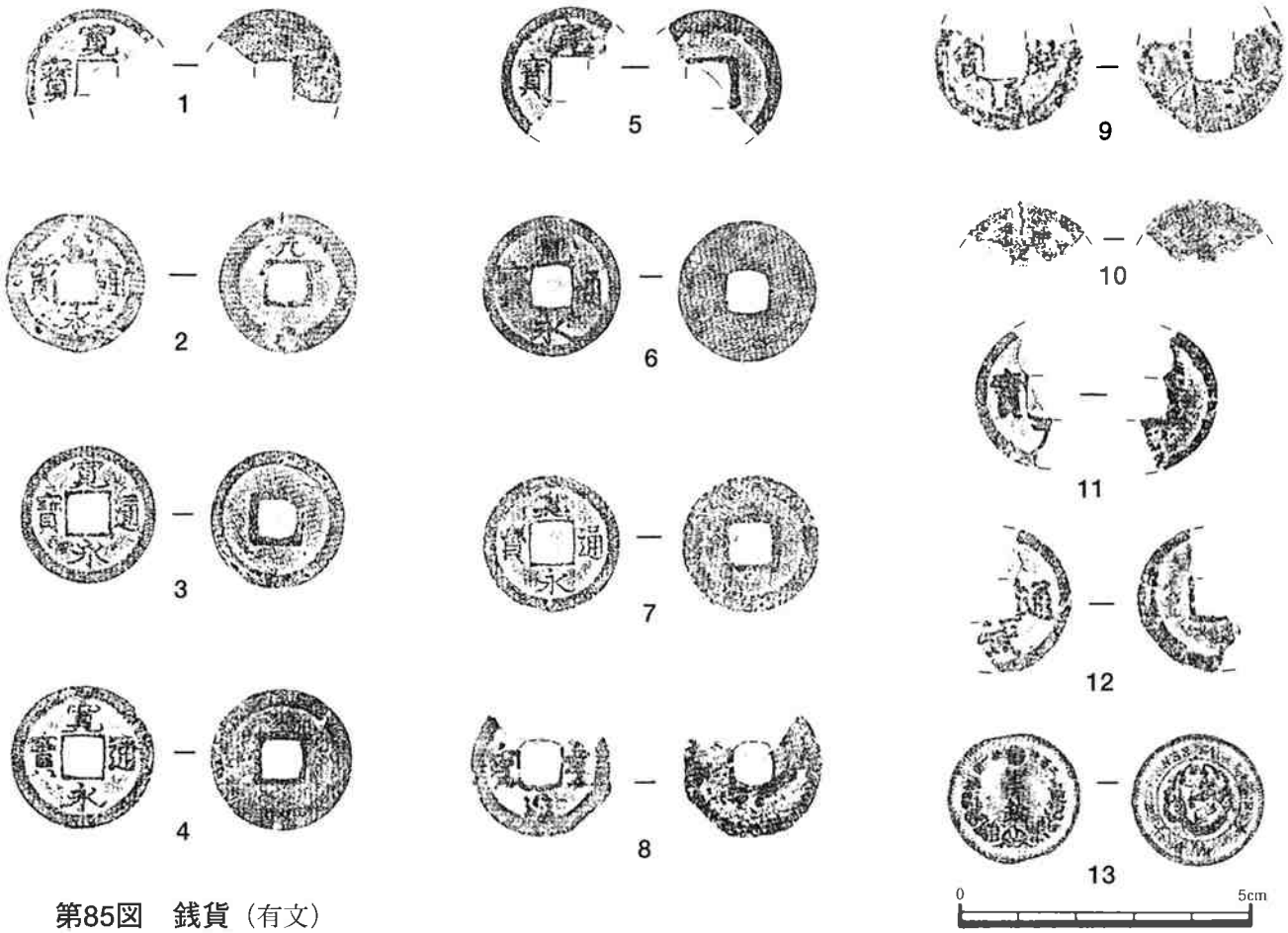
銭種別の出土は無文銭・鳩目銭ともにせ－17に集中し、その点数は19点であり、全体の約40%を占める。郭穴が極端に大きくて輪部に接する状態のタイプ「３」はその70%である６点が同グリットに集中して出土する。近・現代銭はいずれも出土地点不明である。半銭硬貨は「明治10年」の銭文がある。特徴ある銭貨の観察および全銭貨の出土状況を第39・40表に記した。


**参考文献**

・永井久美男　『日本出土銭総覧』　兵庫埋蔵銭調査会　1996年
・嵩元　政秀　「出土銭貨の分類と特徴」　『沖縄歴史地図＜考古編＞』　柏書房株式会社　1983年
・是光　吉基　「国内出土のいわゆる「無文銭」について」　『考古論集　－潮見　浩先生退官記念論文集－』　潮見　浩先生退官記念事業会　1993年


**第39表　銭貨出土状況**

| 銭種＼出土地 | トレンチ | こ－17 岩盤凹地内撹乱層 | し－17 岩盤凹地内 | 黒色混礫土層 | せ－16 暗褐色混礫土層 | せ－16 遺構191内 | せ－16 茶褐色混礫土層 地山直上 | せ－17 黒色土層 | せ－17 茶褐色混礫土層④層 | せ－17 旧階段二列右列下 | せ－17 黒色混礫土層 | 地山直上 | そ－17 黒色土層 | た－14 黒褐色土層 石積と岩盤の間 | ち－11 遺構134 | ち－12 | ち－13 石垣裏込め内 | ち－14 瓦礫層 | つ－18 瓦礫層 | つ－18 礫溜まり黒褐色土層 | 遺物集中部 | 表採 | 不明 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 寛永通寶　（1期） | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 寛永通寶　（3期） | | | | 1 | | | | 1 | | | 1 | | 1 | | | | | | | | 1 | | 1 | 6 |
| 寛永通寶　時期不明 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | 1 | 1 | 5 |
| 元豊通寶？ | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | 1 |
| 元祐通寶？ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 |
| 洪武通寶？ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| 鉄銭 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| 不明 | | | | | | | | 1 | | | 2 | 2 | | 1 | 1 | | | | | 1 | | | 5 | 13 |
| 無文銭　B－Ⅰ－1 | 4 | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | 2 | 8 |
| 無文銭？AorB－Ⅰ－1 or 2 | | 1 | | | | | | | | | 3 | | | | | | | | | | | | | 4 |
| 無文銭？B－Ⅰ－1 | | | | | | | | | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | | | 2 |
| 鳩目銭　B－ⅠorⅡ－2 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 鳩目銭　B－Ⅰ－1 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 鳩目銭　B－Ⅰ－2 | | | | | | 1 | | | | | 2 | 1 | | | | | | 2 | | | 1 | | 2 | 9 |
| 鳩目銭　B－Ⅰ－2' | 3 | | 1 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 5 |
| 鳩目銭　B－Ⅰ－3 | | | | | | | | | | | 3 | | | | | | | 1 | | | | | | 4 |
| 鳩目銭　B－Ⅲ－1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 鳩目銭　B－Ⅲ－2 | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | 3 | 5 |
| 鳩目銭　C－Ⅰ－2 | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 鳩目銭　C－Ⅰ－3 | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 鳩目銭　C－Ⅱ－3 | 1 | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | 2 | 4 |
| 鳩目銭　C－Ⅲ－2 | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 鳩目銭　C－Ⅲ－3 | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 半銭（明治） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| 1セント硬貨 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| 十円硬貨 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| 合　計 | 11 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 | 1 | 21 | 5 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 | 1 | 2 | 1 | 21 | 80 |

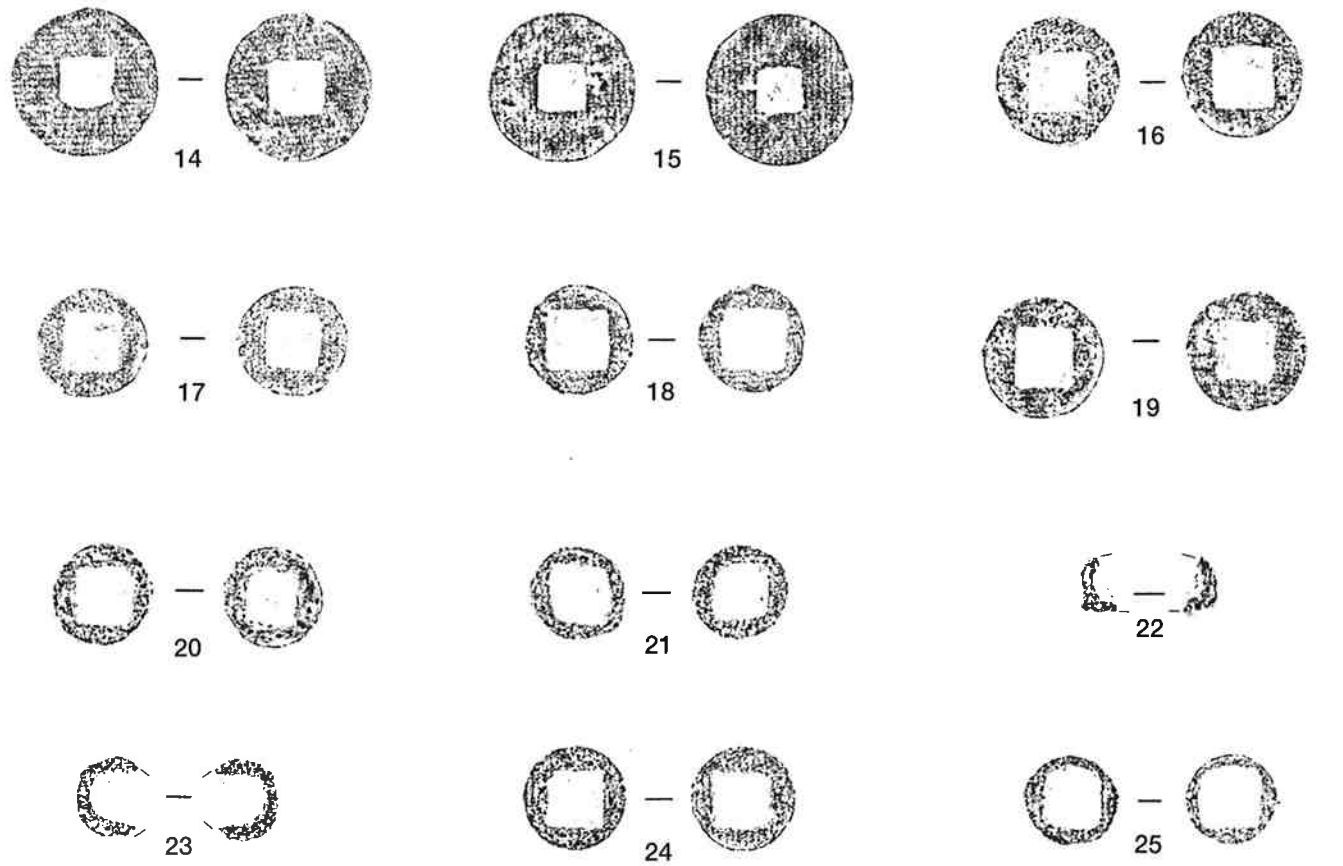



第85図　銭貨（有文）

## 第40表　銭貨観察一覧（1）

| 番号 | 銭文 | 銭種 | 完／破 | 背文 | 時代 初鋳年代 | 書体 | 外縁外径 外縁内径 (cm) | 外縁厚 内面厚 (mm) | 孔径 縦×横 (mm) | 残存 重量 (g) | 観察事項 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 寛□□寶 | 寛永通寶（1期） | 破 | 不明 | 江戸 1636 | 楷書 | ― ― | 1.1 0.4 | ― 5.4 | 1.3 | 「永」「通」が欠落。銭文はやや潰れているものの、1期の特徴（ス貝寶・寛足が接する）がはっきりしている。 | せ―17 黒色土層 |
| 2 | ○永通寶 | 寛永通寶（3期） | 完 | 元 | 江戸 1697 | 楷書 | 2.3 1.7 | 1.0 0.7 | 6.1 6.3 | 2.2 | 「寛」は錆により潰れている。鋳不足に因ると思われる孔が2個谷部に開く。薄肉。 | せ―16 暗褐色混礫土層 |
| 3 | 寛永通寶 | 寛永通寶（3期） | 完 | 無文 | 江戸 1697 | 楷書 | 2.3 1.9 | 1.0 0.8 | 6.4 6.4 | 2.5 | 浅彫りだが銭文は明瞭。穿内角部に鋳造時のバリが残る。 | そ―17 黒色土層 |
| 4 | 寛永通寶 | 寛永通寶（3期） | 完 | 無文 | 江戸 1697 | 楷書 | 2.4 1.9 | 1.0 0.8 | 6.5 6.6 | 2.9 | 浅彫りで銭文は不明瞭。「寶」が潰れる。背には鋳不足に因ると思われる凹部が2ヶ所認められる。 | せ―17 黒色混礫土層 |
| 5 | 寛□□寶 | 寛永通寶（3期） | 破 | 無文 | 江戸 1697 | 楷書 | ― ― | 1.2 0.8 | 6.2 ― | 1.5 | 「永」「通」欠落。細縁。「寶」は鋳造時に潰れたと思われる。 | 不明 |
| 6 | 寛永通寶 | 寛永通寶（3期） | 完 | 無文 | 江戸 1697 | 楷書 | 2.3 1.9 | 0.6 0.5 | 6.9 6.7 | 2.0 | 薄肉で細縁タイプに含まれる。面・背とも研磨されていると思われ「寛」「寶」が不明瞭。特に背の研磨が顕著で輪郭が谷部とほぼ水平になるまでなされている。輪側部に鋳不足によると思われる欠けが1ヶ所認められる。 | て―12 遺物集中部 |
| 7 | 寛永通寶 | 寛永通寶（3期） | 完 | 無文 | 江戸 1697 | 楷書 | 2.3 1.8 | 0.9 0.7 | 6.9 7.0 | 2.1 | 面側の輪の一部に鋳肌が残るが、背は谷部の一部まで研磨がなされる。銭全体に鋳不足による小さな凹部がみられる。「寛」「寶」にかけて、その背に鋳溜まりと思われる凸部がある。 | せ―17 黒色土層 |
| 8 | □豊通寶 ? | 元豊通寶 ? | 破 | 不明 | 北宋 1078 | 行書 ? | 2.4 1.8 | 1.2 0.7 | ― 6.0 | 2.3 | 全体に不均等で銭文は不明瞭。面・背は研磨されていると考えられる。その書体より北宋の元豊通寶の可能性あり。また模鋳銭の可能性あり。 | そ―13 地山直上 黒色土層 |
| 9 | □祐通寶 ? | 元祐通寶 ? | 破 | 不明 | 北宋 1086 | 行書 | 2.5 1.9 | 1.6 0.9 | ― 6.3 | 2.9 | 全体が緑白色と黒色の錆に覆われる。銭文は不明瞭だが、行書の「通」「寶」と思われる文字が認められ、また第2文字が「祐」と判読できると思われることから、北宋の元祐通寶の可能性がある。背は輪谷・郭が著しく不明瞭である。 | つ―18 瓦礫層 |
| 10 | □□□○ | 不明 | 破 | 不明 | 不明 | 不明 | ― ― | 1.3 0.9 | ― ― | 1.1 | 全体を緑白色の錆に覆われる。破損部断面がケロイド状に溶ける谷から輪にかけて鋳走りがあり、輪側には鋳型から溶けた金属が溢れた痕が認められる。鋳造時の不良品の可能性がある。 | つ―18 礫溜まり 黒褐色土層 |
| 11 | □○□寶 □□○寶 | 不明 | 破 | 不明 | 不明 | 真書 ? | ― ― | 1.0 0.4 | 5.2 ― | 0.9 | 細縁。全体を薄黄緑色の錆で覆う。各所に赤錆の盛り上がりが認められる。銭文は明瞭。第2文字が欠落するものの、「元」の可能性あり。 | 遺構134 0～30 |
| 12 | □武通□ ? | 不明 | 破 | 不明 | 不明 | 楷書 ? | ― ― | 1.6 0.7 | 4.6 ― | 1.7 | 細縁で、輪・谷・郭の各部に鋳肌が残る。銭文は不明瞭。第2・3文字が残存し、第2文字が「武」の可能性あり。 | 不明 |
| 13 | 半銭 | 半銭 | 完 | 大日本 明治十年 1/2SEN | ― | 楷書 | 2.2 ― | 1.2 ― | 無 | 3.6 | 明治期の貨幣。表に「半銭」「二百枚換一圓」、背に「大日本　明治十年　1／2SEN」と龍の浮き彫りがある。銭文は明瞭。 | 不明 |

凡例　○＝判読不可能　□＝欠損




第86図　銭貨（無文）

## 第40表　銭貨観察一覧（2）

| 番号 | 銭貨名 | 完/破 | 直径(cm) | 孔径(cm) | 厚さ(mm) | 残存量(g) | 分類 | 観察事項 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 14 | 無文銭 | 完 | 2.1 | 0.7 | 0.9 | 2.1 | B－Ⅰ－1 | 周縁部に輪と谷の境界線とも考えられる浅い溝がみられる。淡緑褐色である。 | 16トレンチ　東側岩上　黒色土層1～10 |
| 15 | 無文銭 | 完 | 2.1 | 0.7 | 0.7 | 1.6 | B－Ⅰ－1 | 全体を暗緑色の錆に覆われる。孔径は比較的小さい。数ヶ所に暗茶褐色の錆膨れが見られ、穿から外縁に向けて湯走りと思われる凸部を認める。 | 16トレンチ　東側岩上　黒色土層1～10 |
| 16 | 鳩目銭 | 完 | 1.8 | 0.9 | 0.5 | 0.6 | B－Ⅰ－2 | 全体に鋳肌が残る。また全体に緑灰色の錆が薄く覆う。周縁部に欠けが認められる。 | せ－17　黒色混礫土層120～130 |
| 17 | 鳩目銭 | 完 | 1.6 | 0.8 | 0.7 | 0.8 | B－Ⅰ－2 | 数ヶ所に緑白色の錆が認められる。周縁部にバリ・欠けがあり、鋳膨れと思われる凸部がある。鋳肌が残る。 | せ－17　東西畦　黒色混礫土層②層 |
| 18 | 鳩目銭 | 完 | 1.6 | 0.9 | 0.3 | 0.5 | B－Ⅰ－3 | 暗緑色の錆に覆われる。穿の角が丸くなっている。 | せ－17　東西畦　黒色混礫土層②層 |
| 19 | 鳩目銭 | 完 | 1.7 | 0.8 | 0.3 | 0.6 | B－Ⅲ－1 | 淡緑白色の錆に覆われる。肉薄、湯走りと思われる凸部が認められる。鋳肌と思われる細かい凹凸が見られる。 | せ－17　東西畦　黒色混礫土層②層 |
| 20 | 鳩目銭 | 完 | 1.4 | 0.8 | 0.5 | 0.5 | C－Ⅰ－2 | 淡緑白色の錆に覆われる。表面が粗く凹凸が目立つ。周縁部および穿内にバリが残る。 | せ－17　黒色混礫土層110～120 |
| 21 | 鳩目銭 | 完 | 1.3 | 0.8 | 0.4 | 0.3 | C－Ⅰ－3 | 淡緑白色の錆に覆われる。銭形はやや楕円形を呈する。周縁部および穿内にバリが残る。 | せ－17　黒色混礫土層110～120 |
| 22 | 鳩目銭 | 破 | 0.9 | － | 0.2 | 0.2 | C－Ⅱ－3 | 約1/2残存する。全体を淡褐色の錆で覆われる。周縁部に鋳造時の湯竿と繋がる部位と思われるバリが残る。 | 15トレンチ　東側岩上黒色土層 |
| 23 | 鳩目銭 | 破 | 1.2 | 0.6 | 0.3 | 0.1 | C－Ⅱ－3 | 全体が淡褐色の錆に覆われる。穿形は円に近い多角形をなす。周縁部にバリを残す。 | 不明 |
| 24 | 鳩目銭 | 完 | 1.5 | 0.8 | 0.3 | 0.4 | C－Ⅲ－2 | 淡緑白色の錆に覆われる。鋳肌が残る。穿内の角の一つが明瞭ではない。 | せ－17　黒色混礫土層110～120 |
| 25 | 鳩目銭 | 完 | 1.3 | 0.9 | 0.4 | 0.1 | C－Ⅲ－3 | 暗緑色の錆の上に緑白色の錆が生じる。穿辺のうち2辺は方形、他の2辺は円形となる。穿内および周縁部にバリが残る。 | せ－17　東西畦　黒色混礫土層②層 |

## 第30節　青銅製品

1．簪

簪及び髪飾り類は総数 17 点出土した。これら出土資料は民俗事例及び型式により分類を行い、Ⅰ類からⅦ類までを設定した。以下その詳細を説明する。

Ⅰ類…男性の本簪である「髪差」。花・首・ムディ・竿部からなる。花部は花形の飾りで、ムディは首・竿より細く、ねじり模様が施されている。竿は四角柱で先端にいくに従い太くなり、先端部は四角錐である。

Ⅱ類…男性の副簪である「押差」。カブ・首・ムディ・竿からなる。カブは耳掻き状、首・竿は六角柱である。竿は先端にいくに従い細くなる。ムディはⅠ類とは異なり首ー竿間の稜の交差点であり、双方の稜が互いに交わるため、山形模様となる。

Ⅲ類…女性の本簪である「ジーファー」。カブ・首・ムディ・竿からなる。カブは匙状を呈し、首・ムディ・竿部は基本的にⅡ類に準じる。竿は先端に行くに従い太くなり、先端部は六角錐となる。

Ⅳ類…基本的にⅡ類に準ずるが、カブの形状が匙状である型式。

Ⅴ類…器形はⅣ類に類似するが小型の型式。

Ⅵ類…上記の型式に分類できない簪様の資料。

Ⅶ類…プラスチック製。

実測図を第87図、写真を図版68に、またその詳細を観察表（第41表）に記す。

**Ⅰ類**（第87図１）残存部はムディ・竿部で、ムディには不明瞭ながらねじり模様が確認できる。竿の全長は3.76cmで通常の髪差の約1/2のサイズである。

**Ⅱ類**（第87図２～４）２は完形であるが２つに分かれ竿部で２ヶ所屈曲する。稜が不明瞭でムディが判然としない。３はムディより欠損する。カブの背中央に稜が認められる。４は竿部の中途より欠損しているが欠損部を楔状に二次加工してある。カブは約90度内側に屈曲する。

**Ⅲ類**（第87図５）カブ・首の上部が欠損する。ムディはやや不明瞭だが交差部は確認できる。地金は黄銅色を呈する。

**Ⅳ類**（第87図６）完形。カブは匙状であるがジーファーのように厚くなく、押差のカブを匙状に広げた様な形状。稜は首・竿共に明瞭で、ムディでは稜が互いに交差する。

Ⅱ類或いはⅣ 類（７・８）２点ともカブが欠落する。７は竿部のみ残存する。稜は明瞭で、先端部は極小。８は首部の中途より上が欠落する。首に稜は見られずムディは不明瞭。

**Ⅴ類**（第87図９）　１点出土。器形はジーファー、Ⅳ類に類似するが全長が6.73cmと短い。カブの形状は匙状で大きさは他の型式に比べ小さい。稜・ムディ共に明瞭。

**Ⅵ類**（第87図10～13）10は竿部のみ残存。断面形は扁平の六角形で先端部は極小。11は10程ではないが断面形が扁平の六角形で、竿部のみ残存する。12のカブは耳掻き状だが首は扁平の楕円形、竿は方形の扁平であり、幅は竿の方が広く、厚みは首の方が太い。13はカブ・首のみ残存する。

**Ⅶ類**（第87図14・15）　14はⅢ類の竿部に類似するがU字形にヘアピンの可能性を持つ。琥珀色で稜は見られない。15は完形のU字形のヘアピンで、断面形は0.44cmと細い。14と同様に琥珀色のプラスチック製。

Ⅳ類に関して、側差の「男の押差とやや似ているが、耳掻きの幅が広く、竿も７cmぐらいの長さ」（沖縄大百科事典　上巻）、「片側は耳掻き形、他の端は六角錐になっており、耳掻きの形のところから次第に太くなっており先端の太さはさしわたし５mmくらいである。長さは個人の髷の大きさに比例するが、ふつう10センチ内外である。」「三寸ほどの側差」（沖縄文化史事典）の記述に共通する点が幾つかあり、６は女性の副簪である「側差」の可能性が高い。またⅤ類に関して、「結髪できるようになる５歳頃にはハーユー〔端結。総角のこと〕にする。…簪も女簪（ジーファー）をさし、さし方によって男女の区別をする。」（沖縄大百科事典　上巻）、「…百姓の幼少女はタンヤマージーファーと称する真鍮の細い粗簪…」「男子未成年の髪型で…簪も女簪と同じもの…」「少年期の装束は…女髷を結い、女簪を…押し込んで差し…」（沖縄文化史事典）と、男女とも幼少時からジーファーを使用していたことが記述されており、８は形状がやや異なるが子供用の簪である可能性が考えられ、今後の資料増加を期待したい。

## 参考文献

・宝玲叢刊編纂委員会　『宝玲叢刊第五集　琉球風俗絵図』　本邦書籍株式会社　1982年

・沖縄大百科事典刊行事務局　『沖縄大百科事典　上巻』　沖縄タイムス社　1991年

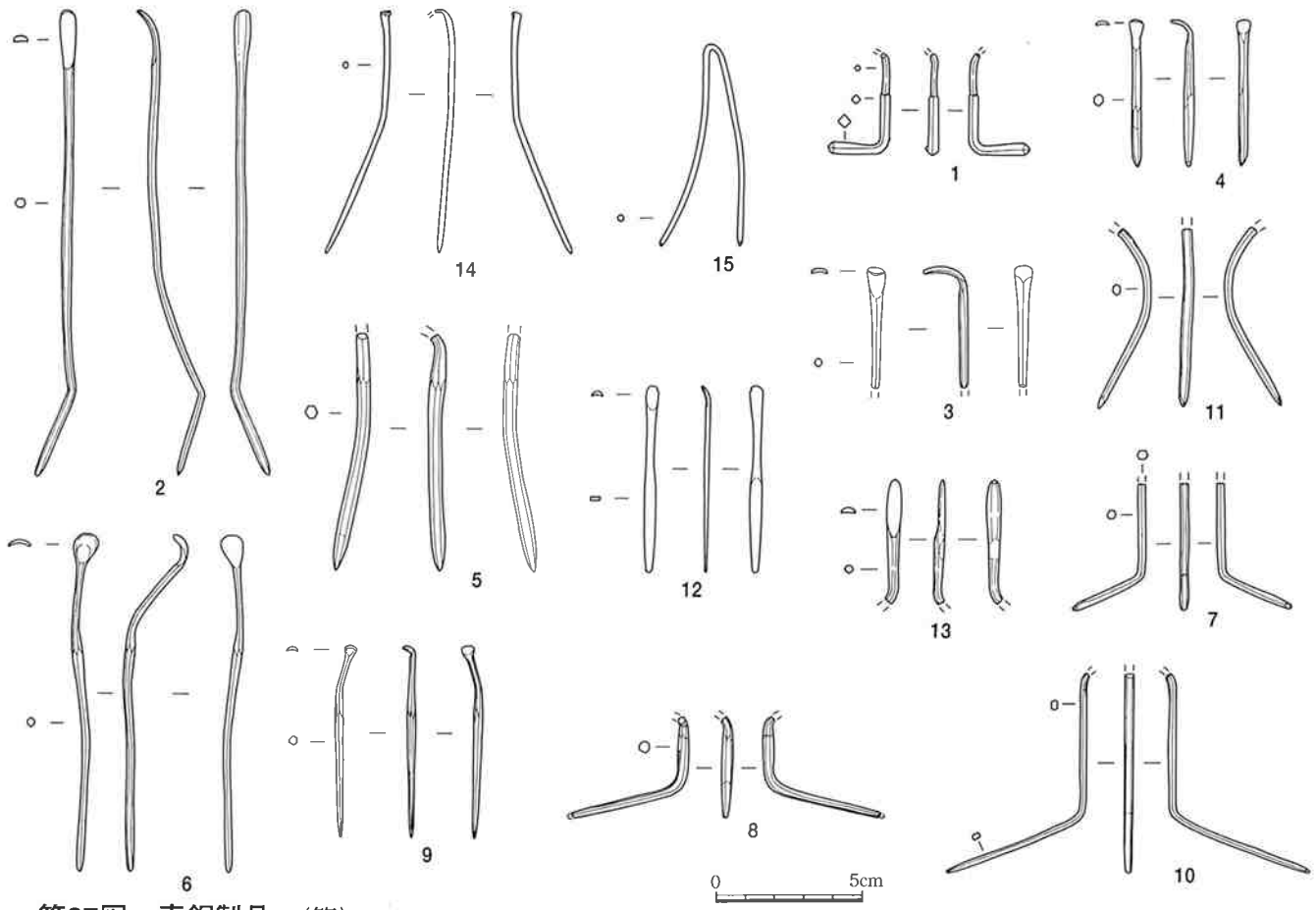
・琉球政府文化財保護委員会　『沖縄文化史事典』　東京堂出版　1972年

・大城精徳　「ジーファー 伝統の髪型を飾る」『日本の伝統工芸12　九州Ⅱ・沖縄』　株式会社ぎょうせい　1985年


## 第41表　簪観察一覧

単位：cm/g

| 第図87版図68 | 分類 | 器種 | 完・破 | 残存長 | 残存重量 | カブ 長軸 短軸 深さ | 首 最大幅 最小幅 長さ | ムディ 幅 長さ | 竿 最大幅 最小幅 長さ | 観察事項 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | Ⅰ類 | 髪差 | 破 | 5.13 | 1.9 | | — | 0.16<br>1.37<br>ねじれ有 | 0.29<br>0.22<br>3.76 | 花・首部が欠落する。ムディにはやや不鮮明だがねじりが確認できる。竿部が直角に屈曲する。通常の髪差に比べ長さ・大きさ共に約1/2である。 | 不明 |
| 2 | Ⅱ類 | 押差 | 完 | 16.52 | 6.2 | 2.17<br>0.48<br>— | 0.29<br>0.21<br>3.72 | 0.27<br>0.26 | 0.32<br>0.18<br>9.99 | 完形。首部で折れ2つに分かれる。竿部は2ケ所で屈曲する。各所で黄銅色の地金が露呈する。ムディ部は不明瞭。 | す—18黒色土層20～40遺物礫集中部 |
| 3 | Ⅱ類 | 押差 | 破 | 3.74 | 2.5 | 1.61<br>0.58<br>— | 0.34<br>0.23<br>3.02 | — | — | カブ・首部のみ残存。カブの背に不明瞭だが稜が認められ、根本付近でほぼ直角に屈曲する。首部中途より欠損する。 | ち—14地山直上 |
| 図なし | Ⅱ類 | 押差 | ほぼ完 | 13.42 | 2.8 | 1.64<br>0.61<br>— | 0.29<br>0.17<br>5.81 | 0.29<br>— | 0.29<br>0.06<br>6.01 | ほぼ完形。カブの先端が叩き潰されたように広がる。背には稜はない。ムディが不明瞭であり、首・竿の稜・面が交差せずに繋がる。竿先端の六角錐も不明瞭である。 | せ—15方形遺構内 |
| 4 | Ⅱ類 | 押差 | 破 | 5.15 | 2.2 | 1.18<br>0.39<br>— | 0.27<br>0.22<br>1.95 | 0.27<br>0.34 | 0.25<br>0.20<br>1.55 | 竿部が破損しているが、その先端が二次加工されている。カブは他の資料に比べやや小さい。ムディが不明瞭で、一部首・竿の稜・面が交差する。カブの背に稜は見られない。 | ち—14石積と岩盤の間黒褐色土層 |
| 5 | Ⅲ類 | ジーファー | 破 | 7.99 | 8.6 | — | — | 0.45<br>0.46 | 0.41<br>0.37<br>6.17 | 首の中途より上部が欠損している。ムディはやや不明瞭だが交差部は確認できる。地金は黄銅色。竿先端の六角錐部は稜が不明瞭となる。 | 不明 |
| 6 | Ⅳ類 | 側差？ | 完 | 12.35 | 3.7 | 1.03<br>0.72<br>0.17 | 0.25<br>0.16<br>3.01 | 0.28<br>0.15 | 0.28<br>0.14<br>7.51 | 完形。器形全体はⅡ類の押差に相似しているが、カブの形状が異なる。カブは押差の様に細長ではなくジーファーに近い匙型をしている。各部の稜は明瞭。竿先端の六角錐は極小。側差の可能性あり。 | さ—17・18崖部溝状遺構内 |
| 7 | Ⅱ類か Ⅳ類 | 押差か側差 | 破 | 5.77 | 2.0 | — | — | — | 0.23<br>0.18<br>5.77 | 竿部のみ残存。先端部は半球状であり、原状を保っているのか、欠損部の二次加工によるものなのかは判然としない。屈曲する。 | す・せ—18黒色混礫土層100～110 |
| 8 | Ⅱ類か Ⅳ類 | 押差か側差 | 破 | 6.40 | 1.2 | — | 0.27<br>0.21<br>0.65 | 0.31<br>0.28 | 0.33<br>0.11<br>5.40 | 首部中途より残存する。首・ムディは断面形が円形で竿は六角形を呈するため、山形は竿部のみに施される。竿先端部は欠損する。 | 16トレンチ東側岩上攪乱層 |
| 9 | Ⅴ類 | 不明 | 完 | 6.73 | 1.7 | 0.38<br>0.16<br>0.71 | 0.24<br>0.17<br>1.64 | 0.25<br>0.46 | 0.25<br>0.14<br>3.93 | 器形はⅣ類・ジーファーに似ている。カブが小さく匙型。稜・ムディは明瞭。ムディにてやや屈曲する。子供用の可能性あり。 | せ—17地山直上 |
| 図なし | Ⅵ類 | 不明 | ほぼ完 | 9.72 | 1.5 | 0.28<br>0.14<br>0.90 | — | — | 0.16<br>0.11<br>8.82 | 稜は竿先端部まで交差することなく続き、首・ムディを区分する特徴は見られない。カブの形状は扁平で先端は方形であり、竿に直角に付く。カブの角の一つは直角に欠けるが原状を保っているかは判然としない。 | 不明 |
| 10 | Ⅵ類 | 不明 | 破 | 9.77 | 3.1 | — | — | — | 0.27<br>0.19<br>9.77 | 竿部のみ残存。断面形は長方形に近い六角形であり、また断面の最大幅と最小幅の差があまりない。稜は明瞭。先端の六角錐は極小。屈曲する。 | せ—17黒色土層80～90 |
| 11 | Ⅵ類 | 不明 | 破 | 6.86 | 3.0 | — | — | — | 0.26<br>0.22<br>6.86 | 竿部のみ残存。断面形は正六角形ではなくやや細長を呈する。また断面の最大幅と最小幅の差がほとんどなく先端部へのびる。稜は明瞭だが六角錐への移行は明確ではない。屈曲する。 | せ—15岩盤に張り付く黒色土層 |
| 12 | Ⅵ類 | 不明 | 完 | 6.49 | 1.7 | 0.40<br>0.34<br>0.92 | 0.32<br>0.13<br>1.93 | 0.36<br>0.73 | 0.36<br>0.02<br>3.66 | 器形は首が扁平な楕円形で竿は扁平な方形であり、竿は首の半分以下の薄さ。カブは耳掻き状。首は細く竿で広くなる。 | て—12遺物集中部 |
| 13 | Ⅵ類 | 不明 | 破 | 4.17 | 2.0 | 0.45<br>0.32<br>2.00 | 0.32<br>0.23<br>2.17 | — | — | カブ・首部のみ残存。カブの背は首との境界が不明瞭。カブは円柱のはしを削り取ったような形状。首部の稜は不明瞭であり判然としない。首欠損部で屈曲する。 | と—11黒色土層0～10 |
| 14 | Ⅶ類 | 不明 | 破 | 10.29 | 1.2 | — | — | — | 0.44<br>0.33<br>10.29 | 琥珀色のプラスチック製。中央部より先端部に欠けて白く濁る。稜はなく円柱形で先端部は円錐形を呈する。形状としてはジーファーの竿部に類似するがU字形のヘアピンの可能性も考えられる。 | 不明 |
| 15 | Ⅶ類 | 不明 | 完 | 15.13 | 0.5 | — | — | — | 0.19<br>0.17<br>15.13 | U字形のヘアピン。琥珀色のプラスチック製。稜はなく円柱形で先端部は円錐形を呈する。 | 不明 |




**第87図　青銅製品**　（簪）

## 2．その他

かんざし以外の青銅製品は出土総数52点でその内訳は第42表に示した。

第88図1は上部が傘状に尖り、中央に棒を装着するもので、全体に錆が付着する。最大径 2.4 ㎝、棒状の径 0.3 ㎝を測る。形状から梵鐘の突起の可能性が考えられる。せ－14 地山直上の出土。

2は長さ 9.1 ㎝の頭部に幅 1.8 ㎝の筒状に作り、径 0.8 ㎝の孔を開ける。て－ 12 黒褐色礫土層 0 ～ 10 ㎝の出土。錆も少なく、他の遺物と考えあわせると近代遺物の可能性が高い。

3、4は青銅製の釘で、前者は頭部が丸く、長さ 3.2 ㎝、頭部径 0.8 ㎝で、せ－17 黒色混礫土層の出土。後者は角釘で、長さ 3.8 ㎝、頭部 0.65 ㎝、せ－17黒色混礫土層 120～130 ㎝の出土である。

6は幅 3.8 ㎝、厚さ 1.5 ㎜の青銅の板状製品で破損部近くに径 7 ㎜の孔の痕がみられる。て－12 遺物集中部の出土である。

7は厚さ 1.8 ㎝の板状の製品であるが、破片のため全体形は不明である。

9は青銅製の鈴で、径 1.0 ㎝の小振りであるが、全面に細い沈線で、魚文様を彫る。せ－17旧階段横の黒色混礫土層からの出土である。

5は最大幅 0.5 ㎝、横断面が厚さ 0.4 ㎝の正方形をなす製品で、て－12 遺物集中部の出土。

8は裁縫用具の指抜きで、厚さ1.5 ㎝の銅板を輪状に曲げ、幅 8 ㎜の楕円部分に 1 ㎜弱のくぼみを 5 列施す。

その他にサイフの金具、時計の文字盤、裁縫用の指ぬき、釘、金槌、鍋つるし（図版69）等がて・と－11・12の遺物集中部から出土している。

これらの青銅製品は天界寺の時期のものと近代～現代の時期のものに大きく分かれる。

第42表　青銅製品（その他）出土状況

| 分類＼出土地 | 15・17 トレンチ | さ−17 黒色土層 | し−17 混礫土層 | せ−14 地山直上 | せ−16・17 黒色混礫土層 | せ−17 黒色土層・地山直上 | せ−18 | て・と−12・13 遺物集中部 | た−8 石垣下 | た−13・14 西側崩壊土中 | つ−13 瓦礫層 | 不明 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 梵鐘突起？ | | | | 1 | | | | | | | | | 1 |
| 板状 | 1 | | 1 | | | 3 | | 6 | 2 | 2 | | 3 | 18 |
| 棒状 | | | 1 | | | 1 | | 1 | | | 2 | | 5 |
| 棒状　耳掻き | 1 | | | | 1 | | | | | | | 1 | 3 |
| 燭台 | | | | | | | | | 1 | | | | 1 |
| 金具 | | | | | | | | | 1 | | | | 1 |
| 円盤有孔 | | | | | | | | 1 | | | | | 1 |
| 蝶番 | | 1 | | | | | | 1 | | | | | 2 |
| リング　近代 | | | | | 1 | | | 4 | | | | | 5 |
| リング　現代 | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| 鍋釣り具 | | | | | | | | 1 | | | | | 1 |
| ボタン | | | | | | | | 1 | | | | | 1 |
| 針金 | | | | | 1 | 1 | | 1 | | 1 | | | 4 |
| サイフ金具 | | | | | | | | 1 | | | | | 1 |
| ピンセット | | | | | 1 | | | | | | | | 1 |
| 手榴弾破片 | 3 | | | | 1 | | | | | | | | 4 |
| 塊 | | | | | | | 1 | | | | | | 1 |
| 不明 | 1 | | | | | | | | | | | | 1 |
| 合計 | 6 | 1 | 2 | 1 | 5 | 5 | 1 | 17 | 4 | 3 | 2 | 5 | 52 |

## 第31節　鉄製品

鉄製品は釘、包丁、鎌の３点が得られた。

第88図12は完形の角釘である。頭部は短冊状をなす。身の方は腐蝕が著しく、銹が膨れあがり縦へのひび割れが生じている。身の断面は方形状をなす。頭部 1.1 × 0.5 ㎝、全長 8.1 ㎝を測る。つ−10 地山直上の出土。

同図10は包丁と思われる資料で、刃部は腐蝕が著しく、板状に剥離も見られる。また、刃先の半分と差し込み部から刃部へ延びる基部のところが欠失しているため、全体の長さは不明であるが、刃の背はまっすぐに伸びるようである。基部は長方形で、比較的腐蝕が少ない。柄 7.3 ㎝、刃部中央の幅 3.9 ㎝、厚さ３㎜をなす。12トレンチ東側出土。

同図11は鉄製の鎌で全形が窺える資料である。柄から刃先へほぼ直角にカーブを描き、逆Ｌ字状を呈している。刃身は大分使っていたためか腐蝕し刃こぼれが著しいが、刃先と柄の部分は比較的腐蝕が少ない。刃先の断面は両刃を呈している。背の部分には銹汗と砂などが混じり合ってしまったためか、砂や小石が付着している。柄断面は厚さ約４㎜の方形をなす。刃の中央部 3.5 ㎝欠損する。使用痕と思われる。刃部の長さ 11.3 ㎝、刃の厚さ４㎜、柄 5.8 ㎝をなす。て−12遺物集中部出土。

## 第32節　ガラス玉

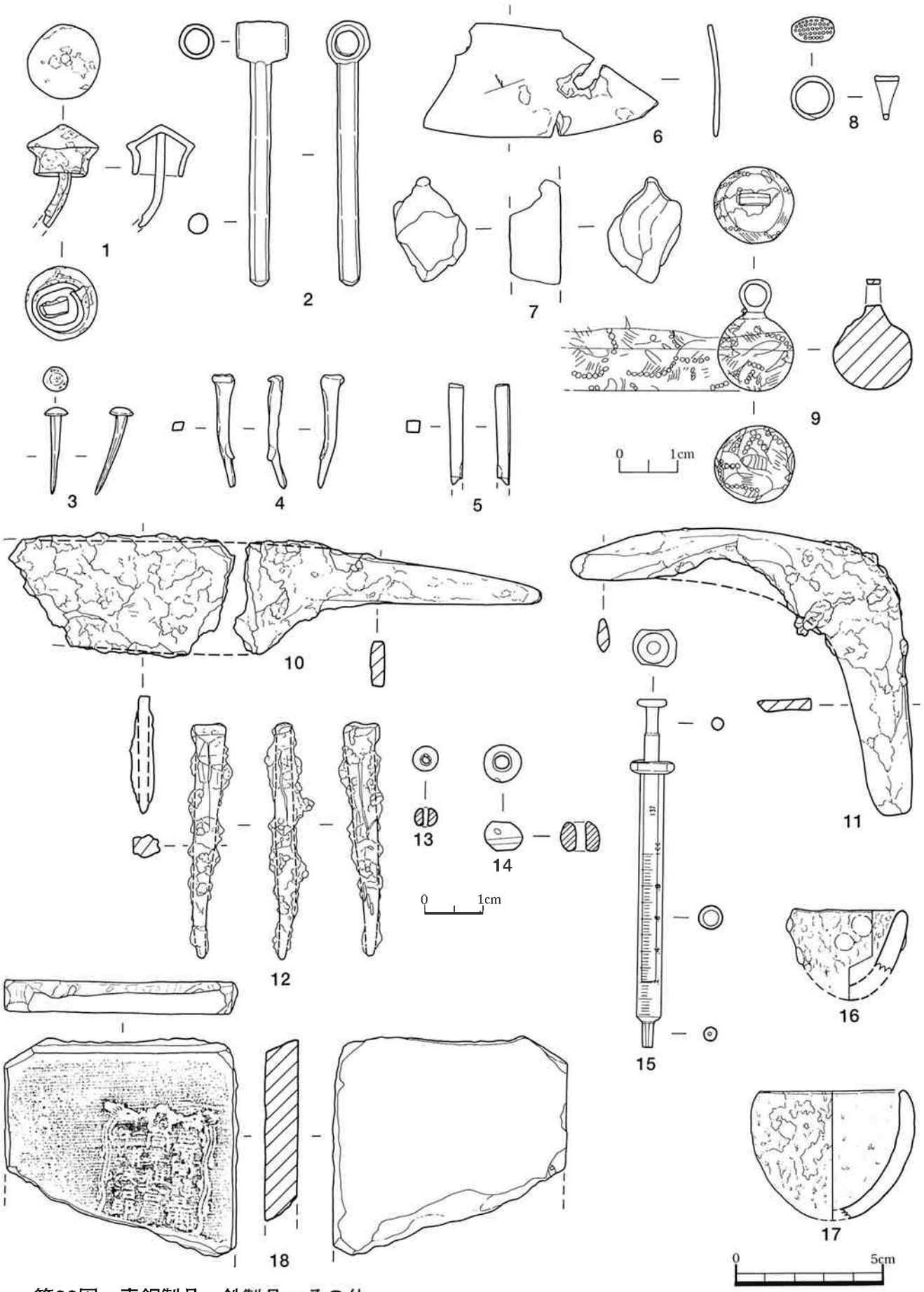
第88図13・14で径４㎜と7㎜で色は青緑色を呈する。後者は練りガラスの製法が窺える。いずれも、て−12遺物集中部、15トレンチ東側、岩上黒色土層10〜20㎝である。

## 第33節　坩堝

第88図16は口径 4.0 ㎝、17 は口径 5.3 ㎝で前者は直口、後者は内彎気味で、かなり火を受けていて、軽い。黒色で気泡が多い。いずれも、と−12遺物集中部から出土。

## 第34節　陶板

第88図18は幅 7.7 ㎝、厚さ1.1 ㎝、残存長 7.0 ㎝を測る。「三河陶器同業組合員杉浦浅次郎」の銘がある。胎土は10〜15㎜の石英・砂粒、5㎜前後の金雲母を少量混入し、焼成は良好である。陶器に比べて混入物が多い。と−12 遺物集中部０〜20 ㎝の出土である。




第88図　青銅製品・鉄製品・その他

## 第35節　石器・石製品

硯、石球、板状、棒状、石斧、叩き石、砥石、臼、建築材が出土している。その出土状況は第44表に示したとおりである。硯は26点出土したが、て・と－11・12・13で12点ともっとも多い。石球は6点得られ、計測は第43表に示した。サンゴ礫が主で、図2はサイズも大きく、石質も緑色片岩で調整も異なることから別の用途の可能性もある。また、す－15 遺構 30 から出土していることから用途を考える上で好資料であろう。石斧は2点出土したが、形状から先史時代のものと思われ、大山式土器（第77図23）も出土していることから遺跡が存在していたと考えられる。第90図9は礎石の一部と思われ、同様なものは御細工所跡からも報告されている。同図8は臼の破片である。これらは天界寺の時期のものと近代遺構（て・と－11・12・13の遺物集中部）に分けられる。

### 第43表　石球計測一覧

単位cm/g

| 計測 | 石質 | 残存 | 縦 | 横 | 重さ | 出土地 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | サンゴ石灰岩 | 完 | 3.5 | 3.9 | 35 | ち-11 北側畦 |
| 2 | サンゴ石灰岩 | 完 | 2.6 | 2.4 | 10 | す-15 0～20遺構30 |
| 3 | サンゴ石灰岩 | 完 | 3.2 | 3.4 | 30 | せ-17 東西畦 黒色混礫土層 |
| 4 | サンゴ石灰岩 | 完 | 5 | 4.8 | 80 | し-17 崖部石垣溝状遺構上 |
| 5 | サンゴ石灰岩 | 完 | 3 | 2.6 | 15 | そ-12 地山直上 |
| 6 | 緑色片岩 | 完 | 8.9 | 8.8 | 900 | す-15 遺構30 |

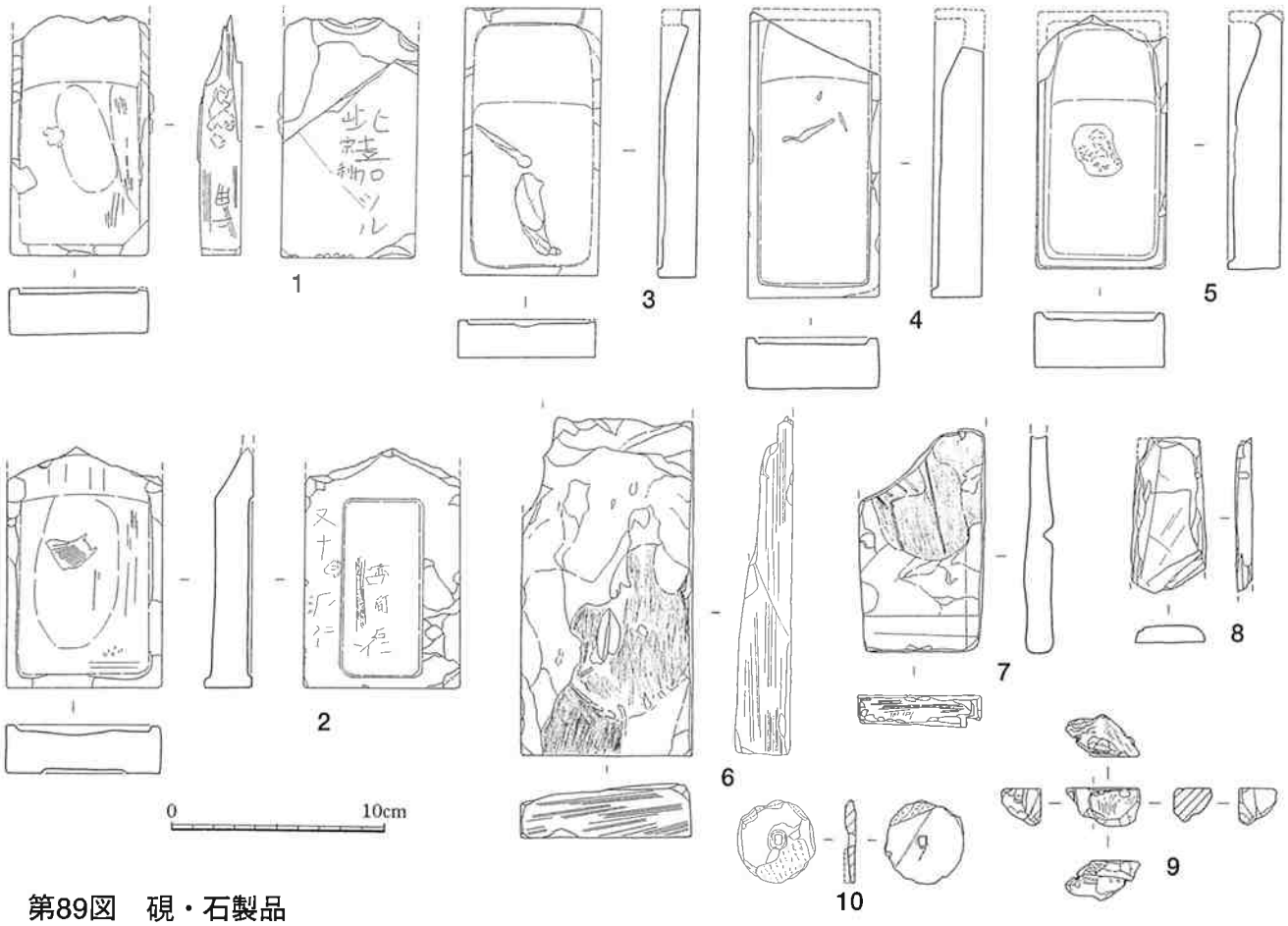
注：第90図1（計測5）、2（計測6）と同じ
附記：校正中に緑色片岩（230ｇ）、サンゴ石灰岩（30、40、80ｇ）が追加された。

### 第44表　石器・石製品・硯出土状況

| 種類＼出土地 | | 12・14トレンチ | し－17 | す－15 | す－18 | せ－16・17 | | そ－12 | せ－16 | た・ち－14 | ち－9 | つ－13・14 | | と－11 | て・と－11・12・13 | ち－11 | 不明 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 東側 | 崖部石垣溝状遺構 | 遺構30 | 礫集中部 | 黒色混礫土層 | 茶褐色混礫土層 | 地山直上 | 茶褐色混礫土層 | 石積と岩盤の間暗黄褐色土層 | 石段上 | 黒色土層 | 黒褐色混礫土層 | 撹乱層 | 遺物集中部 | 黒色土層 | | |
| 硯 | 頁岩 | 1 | | | | 1 | | | | 1 | 1 | 1 | | 1 | 4 | 1 | 1 | 12 |
| | 赤頁岩 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 粘板岩 | 1 | | | | | | | | | | | 1 | | 2 | | | 4 |
| | 凝灰岩 | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | 6 | | 1 | 9 |
| | 小計 | 2 | | | | 2 | | | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 12 | 1 | 2 | 26 |
| 石球 | | | 1 | 2 | | 1 | | 1 | | | | | | | | 1 | | 6 |
| 板状 | | | | | | | | | | 1 | | 1 | | | 1 | | | 3 |
| 棒状 | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | 2 |
| 石斧 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | 1 | 2 |
| 叩き石 | | | | | | | 1 | | | | | | | | 1 | | | 2 |
| 砥石 | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | 1 |
| 臼 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 1 |
| 建築材 | | | | | | | | 1 | | | 1 | | | | | | | 2 |
| 合　計 | | 2 | 1 | 2 | 1 | 3 | 2 | 2 | 1 | 3 | 2 | 4 | 1 | 1 | 14 | 2 | 4 | 45 |

### 第45表　石器・石製品観察一覧

| 図 | 番号 | 器種 | 観　察　事　項 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|
| 第90図・図版71 | 1 | 石球 | サンゴ石灰岩、研磨のために複数の調整面がみられる。 | そ－12　地山直上 |
| | 2 | 石球 | 緑色片岩、敲打による調整。 | す－15　遺構30内 |
| | 3 | 棒状 | 泥岩ノジュール。棒状の両端に敲打の痕。 | 不明 |
| | 4 | 叩き石 | 緑色片岩。凸部に敲打の痕がある。 | せ－16・17<br>旧階段下石垣横黒色混礫土層 |
| | 5 | 板状 | 粘板岩。 | つ－14　黒色土層 |
| | 6 | 砥石 | ?岩。両面ともかなり研磨される。 | つ－14　黒色土層 |
| | 7 | その他 | 砂岩（島尻層）。両面に研磨痕。 | さ－17・18<br>岩盤凹地内石敷遺構一部 |
| | 8 | 臼 | 砂岩（島尻層）。皿状に加工、表面は研磨し、裏面は敲打の調整。 | せ－17　黒色土層　30～50 |
| | 9 | 基石 | 閃緑岩、中央に孔がある。建物の礎石の一部か、<br>御細工所跡の出土か。 | 石積み一部 |
| | 10 | その他 | 砂岩（島尻層）。大きな剥離が複数みられる。 | さ－18　崖部溝状遺構直上<br>黒色混礫土層 |
| | 11 | 石斧 | 緑色片岩。石斧だが、胴中部で棒状に細くなる。<br>刃は破損するが、量感があり両刃の可能性も考えられる。<br>先史時代の遺物と考えられる。 | 不明 |
| | 12 | 石斧 | 緑色片岩。 | す－18　礫集中部黒色土層 40～50 |
| | 13 | その他 | 砂岩（嘉陽層）。礫を利用、自然の剥離の可能性もあり。 | し－17　地山直上 |
| 第89図図版70 | 9 | 石製品 | メノウ、不定形、2面に研磨の痕があり、径2㎜の孔の痕がみられる。用途は不明であるが、同様の材質は湧田古窯跡で煙管が出土。 | ち－13　黒色土層　30～40 |
| | 10 | 有孔製品 | 粘板岩、板状であるが、打割により、円形になる。<br>ほぼ中央に6.1㎝×4.9㎝の孔を片面から施す。 | て－12　遺物集中部 |

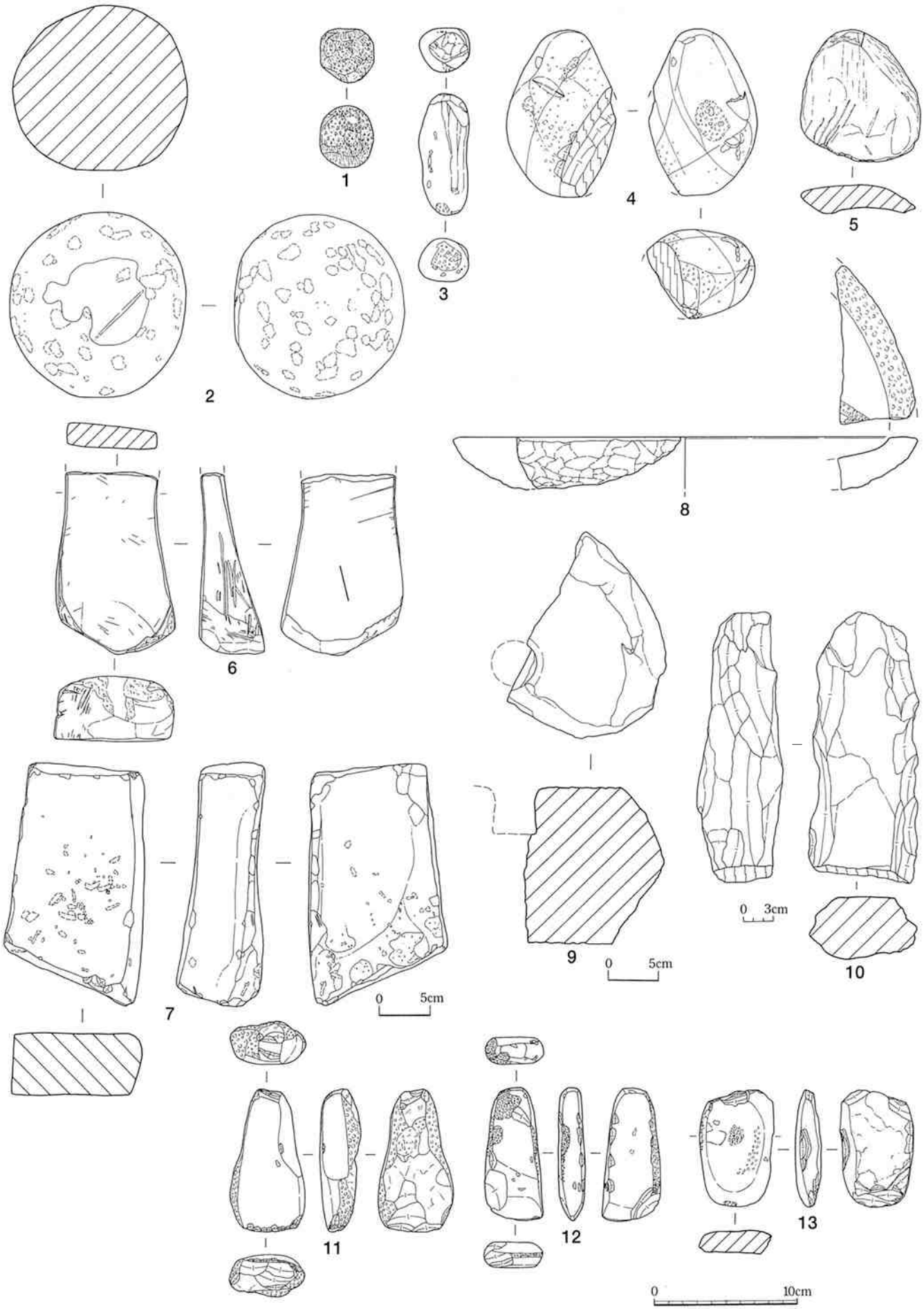



第89図　硯・石製品

第46表　硯観察一覧

単位:cm

| 図 | 番号 | 長 | 厚さ | 幅 | 観察事項 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 第89図・図版70 | 1 | 11 | 2.1 | 6.4 | 墨受け部破損。表面5×2.5の削り面。使用痕か。側面に「二用」か「目」の銘有。裏面は「山宗利」の丁寧な文字の上からさらに「比嘉ツル」と雑な字で書かれている。疑灰岩。 | て-12遺物集中部 |
| | 2 | 11.1 | 2.2 | 7.2 | 墨受け部欠損。縁に「又吉□仁」、中央に「當間　石」の銘有、裏面の中央は3.8×8.2、深さ2.5mmにくぼむ。輝緑疑灰岩(シャールシュタイン)。 | た-14 石積と岩盤の間暗黄褐色土層 |
| | 3 | 12.7 | 1.8 | 6.3 | 墨受け部、縁は破損。裏面は一部破損。頁岩。 | た-14 石積と岩盤の間暗黄褐色土層 |
| | 4 | 13.2 | 2.3 | 6.2 | 細身である。粘板岩。 | て-12 |
| | 5 | 11.9 | 2.5 | 6.1 | 小振り、4に材質が似る。表面は中央部が禿げ、墨擦りの痕か。部分的に墨が残る。側面・裏面は禿げる。疑灰岩。 | て-13遺物集中部 |
| | 6 | 15.5 | 2.5 | 8 | 長径の端が破損。表面は丁寧に研磨、側面は横斜位に研磨痕がはしる。頁岩。 | て-12 |
| | 7 | 10.3 | 1.3 | 5.7 | 表面は三面の削り面があるが浅い。上部は破損する。裏面は斜めに幅4.8mm、深さ3mmの「V」字の溝。側面は片側に節理面がある。疑灰岩。 | と-12遺物集中部 |
| | 8 | 7.2 | 0.8 | 3.5 | 一面のみ研磨、他は破損、砥石かもしれない。粘板岩。 | つ-13北側畦黒褐色混礫土層 |




第90図　石器・石製品

## 第36節　瓦

瓦は破片総数6,600個で、高麗瓦と明式瓦と大和瓦に大別できる。

1．高麗瓦

破片が遺構48・49と表土層下部で各１個出土している。いずれも淡灰色である。

2．大和瓦

第93図11は細い凸帯文を用いて、鱗と鳥の嘴に似る文様を施し、裏面は指痕がみられる。厚さ15㎜、胎土は白色細粒を含み、灰褐色を呈し焼成はややもろい。形状から瓦の可能性が考えられる。せ－17地山直上の出土。第93図10は残存部が47.1㎜（垂れ長）、厚さ21.6㎜で、無文の軒瓦で大和瓦系と考えられる。外面は燻しのために暗灰色を呈し、胎土に白色細粒を少量含み、焼成はやや良い。ち－12地山直上の出土。類例は御細工所跡[aE1]第51図７に酷似する。その他に25点の破片が出土している。

3．明式瓦

明式瓦は軒瓦と瓦があり、これらはそれぞれ丸瓦と平瓦に分けられる。

軒瓦の丸・平は意匠から細分が可能である。分類のために模式図（第91図）を示し、名称を付した。以下、図の名称を元にあわせてそれぞれの分類について記述する。

A．軒丸瓦

文様は花の種類から大きく５種類に分けられ、また花弁、花芯、葉、蔓、茎などの形状からさらに、細分が可能である。花弁はⅠ～Ⅲ類は花が上方に開き、Ⅳ～Ⅴ類は瓦当全体に広がるタイプである。

**Ⅰ類**：凸帯文で表現するタイプで、花弁－左右に１枚、花芯－３本、葉は下位に扇状に４枚配す。

a（第92図 1）全体形は割と整い、花芯は上端に太くなる。珠文も径7.6㎜と若干太く、間隔19.9㎜である。灰褐色で焼成はややもろい。類例は那覇市天界寺跡[aI2]第57図６がある。

b（第92図 2）全体形はａが崩れた感じで、花弁、花芯の区別が不明瞭でａより凸帯文が細い。花芯も同様に細く長くなり、花弁との区別は、はっきりしない。珠文の径は9.4㎜、間隔は10.4～22.4㎜と不揃いである。灰褐色で焼成はややもろい感を受ける。せ－17黒色混礫土層。類例は御細工所跡[aE1]第50図2にある。

**Ⅱ類**：花弁は左右に各１枚で外縁がわずかにくびれ、花芯はほぼ隅丸方形、茎は２本で真っ直ぐにのびる。

a（第92図 3）は全体に形が整い、立体的である。花弁の縁は外側に盛り上がり、上方に緩やかにくびれ外反する。花芯は隅丸の格子文で、葉は左右に各２枚、さらに下部に蔓状の文様を呈し、二叉になる。茎は破損のため不明。暗灰褐色を呈し、焼成はややもろい。珠文は破損しているため、大きさおよび間隔は不明である。つ－14瓦礫層の出土。類例は那覇市天界寺跡[aI2]第57図2、湧田古窯跡(Ⅰ)[aE3]第96図２首里城奉神門第52図９にある。

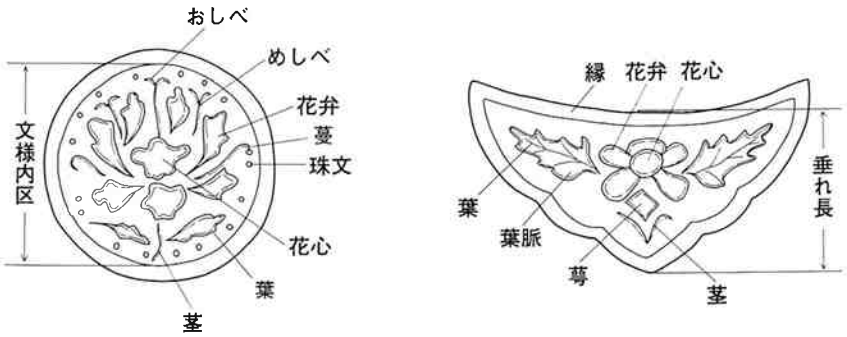
b（第92図 4）は表面が剥落するが、外縁に盛り上がる。花芯は幅25.3㎜を測る。葉は２枚、蔓ははっきりしない。珠文径11.0㎜、間隔9.8㎜～12.3㎜と不揃いである。色調は橙色で焼成はややもろい。第２層の出土。

**Ⅲ類**：(第92図５）は花弁が二枚で花弁の内側に二段、外側に一段のくびれがみられ、花弁全体に丸味がある。花芯は円形で「V」字に刻印し、３つに分割する。葉は下部に銀杏葉に似た葉を左右に各２枚、扇状に配す。蔓は花と葉の界から左右各一本出て、茎は二条の凸体で左に彎曲する。文様内区は10.2㎝、珠文径4.3㎜、間隔11.8㎜。暗灰褐色を呈する、類例は天界寺跡[aI2]第57図３首里城奉神門第52図6にある。

**Ⅳ類**：(第92図６）は花弁、花芯がⅢ類と酷似するが、茎のくびれる方向、葉の枚数（３枚あるいは１枚）蔓が二本で先端で二叉になり、異なるため分けた。色調は明灰褐色を呈し、焼成もやや悪い。文様内区8.15㎝、珠文径4.7㎜、間隔11.3㎜を測る。せ－16旧階段下石垣横の黒色土層出土。類例は天界寺跡[aI2]第57図4・5、御細工所跡[aE1]第50図2にある。

**Ⅴ類**：花弁が６枚以上を有するタイプである。以下、花弁の先端や茎、葉の状況で細分できる。

a（第92図 7）全体形は不明であるが、花弁の枚数からここに分類できる。模様内区の




**第91図　明式軒丸・軒平模式図**

花は小振りで、花弁脇から蔓が出る。珠文径は５㎜、間隔20㎜を測る。模様は中央が盛り上がり、立体的である。暗灰褐色、焼成はもろい。てー12遺物集中部の出土。

**b**（第92図 8）花弁は左右に各３枚、下部に１枚で先端は凸状を呈し、花芯は子房は径31.1㎜×19.6㎜の横楕円で饅頭形。柱頭は二叉に割れる。葉は左右に２枚で羽状複葉。茎は縦に直線状に１本。珠文径4.6㎜、間隔17.9㎜である。出土地不明。類例は湧田古窯跡（Ⅰ）[註3]第96図 6がある。

**c**（第92図 9）花弁は左右に４枚、下部は萼と思われるものがある。花芯は子房径39.9㎜×25.8㎜の横楕円で下部は縦位に短沈線状の模様がみられる。葉は左右に２枚、複葉である。花、葉とも**b**より一回り大きくなる。珠文径4.1㎜、間隔21.6㎜を測る。明灰色、焼成良好。せー16黒色混礫土層、炭層上からの出土。

**d**（第92図 10）花弁は前者より大きく、先端が内にくびれる。花芯は小さく、茎は「く」字に曲がり、葉は細くなる。珠文径3.5㎜、つー14瓦礫層の出土。御細工所跡[註1]第50図5・6・7天界寺跡[註2]第58、湧田古窯跡（Ⅰ）[註3]第96図10がある。

**e**（第92図 11）花弁はさらに大きくなり、茎は短く、横にわずかにみられる。花芯は摩滅するが、格子状を呈する。珠文径4.5㎜、間隔23.4㎜、とー12遺物集中部の出土。

**f**（第92図 12）花弁の占める割合がさらに大きくなる。茎は摩滅で不明、葉は略化が進む。花芯は格子文で表す。同図11より略化が進む。しー17岩盤凹地、中層の出土。

**Ⅵ類**：（第92図 13）花は牡丹状で花脈を凸帯文で表現。下半分に半円状に葉を配置。花芯は27.7㎜、縦長の楕円である。三本の凸帯文で表現、珠文径7.1㎜、間隔38.5㎜焼成もかなり良い。せー17黒色土層の出土。

B．軒平瓦

文様は大きく５種類に分けられ、軒丸同様に花弁、花芯、葉、茎などの形により細分することができる。

**Ⅰ類**（第93図 1･2）花弁は二枚で先端は各々３つに割れる。花芯はやや正円で格子状。茎は破損の為不明であるが、他の例からすると緩やかに彎曲する。葉は左右各３枚で最上部は複葉で面を構成し、立体的。15トレンチ東側岩上黒色土層0～10㎝。類例は天界寺跡[註2]第59図3にある。首里城奉神門[註4]第53図12

**Ⅱ類a**（第93図 3）花弁は４枚で構成し花芯は横長の楕円の格子文。葉は６枚、最上部は複葉。茎は縦位に構成。周縁は幅14.6㎜を測る。器面はしっかり残り、文様も明瞭である。首里城奉神門[註4]第52図9

**Ⅱ類b**（第93図 2）花弁は２枚、花芯は楕円状、葉は６枚で最上部は複葉。茎は縦位に２本平行に伸びる。周縁は幅16.1㎜を測る。器面が剥落し、文様は明瞭でないが花・葉は面的である。せー16黒色混礫土層炭層上の出土。

**Ⅲ類**（第93図 6）花は上部に半円形に広がり、蔓が縁に向かってのびる。葉の枚数は不明であるが、最上部の葉は複葉で葉脈は明瞭である。花芯は破損の為不明。周縁は幅30㎜を測る。類例は天界寺跡[註2]第59図1がある。

**第47表　軒瓦出土状況**

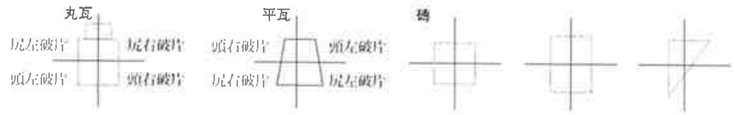
| 分類＼出土地 | | | トレンチ | 表採・撹乱 | 黒色土層 | 黒色混礫土層 | 地山直上 | 遺構 | し・すー17・18 | | | | せ・そー15・16・17 | | | | | | たー13 | ちー11 | ち・つー13・14 | | | て・とー11・12・13 | た・ちー12・13・14 | | 不明 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | 墓口前面黒色混礫土層/崖部 | 方形遺構内最上部 | 遺物礫集中部黒色土層 | 岩盤凹地内中層丸集中部 | 旧階段下 | | | 黒色土層 | 黒色混礫土層 | 東西畦ピット①内 | 石垣下瓦集中部 | | 石積と岩盤の間黒褐色土層 | 瓦礫層 | 岩盤付近遺構集中部 | 遺物集中部 | 黒色土層・黒褐色混礫土層・茶褐色混礫土層 | | |
| | | | | | | | | | | | | | 石垣横黒色混礫土層 | 石垣横の焼土の炭集中部より | 横２列右列下 | | | | | | | | | | | | | |
| 丸 | Ⅰ | b | | | | | 1 | 4 | | | | | | | | | 1 | | | | | | 1 | 1 | | 2 | 10 |
| | Ⅱ | a | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 2 |
| | | b | | | 1 | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| | | 縁 | | | 1 | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| | Ⅲ | a | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 |
| | Ⅲor Ⅳ | | | | 1 | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | Ⅳ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 4 |
| | Ⅴ | a | | | | | | | | | | | | | | 2 | 1 | | | | | 1 | | | | | 4 |
| | | b | 1 | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 |
| | | d | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 4 |
| | | e・f | 2 | | | | | | | | 1 | 1 | | 1 | | 1 | 1 | | | | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | | 9 |
| | | 縁 | | | | | | 1 | | | | | | | | | 1 | | | | | | 2 | 1 | 1 | | 9 |
| | 不明 | | 2 | | | 1 | | 2 | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | 2 |
| | 破片 | | 1 | 1 | | | 2 | 4 | 1 | | | | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | | | | | 1 | 2 | | 4 | | 7 |
| | 小計 | | 6 | 1 | 3 | 1 | 3 | 21 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | 7 | 7 | 0 | 0 | 0 | 1 | 3 | 10 | 4 | 6 | 2 | 22 |
| 平 | Ⅰ | | 1 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | 82 |
| | Ⅱ | a | 1 | | | | 1 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | b | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | 1 | | 6 |
| | Ⅲ | | | 1 | | | | 4 | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | 1 |
| | Ⅳ | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | 3 | 1 | 10 |
| | Ⅴ | a | 3 | | | | 1 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | 1 | | | 1 | 2 |
| | | b | | | 1 | | 1 | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | 1 | | | 8 |
| | Ⅵ | | | | | | 3 | | | | | | | | | | 1 | | | | | | 1 | 2 | | 2 | 8 |
| | 小計 | | 5 | 1 | 1 | 0 | 6 | 6 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 3 | 3 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 3 | 5 | 4 | 44 |
| 破片 | | | 5 | | 1 | 2 | 2 | 3 | | 1 | | | | | 2 | | 8 | | 1 | 1 | | 1 | | 1 | 2 | 1 | 31 |
| 合計 | | | 16 | 2 | 5 | 3 | 11 | 30 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | 2 | 3 | 10 | 18 | 1 | 3 | 1 | 1 | 4 | 12 | 8 | 13 | 7 | 157 |

註：図示した資料は集計には加えてない

## 第48表　瓦出土状況

| 分類 | | 出土地 | トレンチ | 表採・撹乱 | 黒色土層 | 黒色混礫土層 | 地山直上 | 遺構 | さ・し-17 岩盤凹地 瓦集中部 | さ・し-17 岩盤凹地 黒色混礫土層 | し・す-18 方形遺構内最上部 | す-18 遺物集中部黒色土層20〜40 | せ-13-14 岩盤上の黒色土層 | そ-11 撹乱土壙内 | そ-12・13・14 石列黒色土層 | せ・そ-15・16・17 旧階段下 黒色土層・黒色混礫土層・茶褐色土層・地山直上 | せ・そ-18 石敷遺構下地山直上 | そ-13・14 壁面に漆喰のある方形遺構 | た-13 石垣下瓦集中部 | た-14 黒色土層・黒褐色混礫土層 | た・ち-12・13・14 黒色土層・黒褐色混礫土層・茶褐色混礫土層 | ち-9 石段上黒色土層 | ち・つ 13・14 瓦礫層 | て・と-11・12・13 岩盤上黒色土層 | て・と-11・12・13 遺物集中部 | 不明 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 高麗 | 平瓦 | 胴破片 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 大和 | 丸瓦 | 側破 ¦ 上下破 | | | 1 | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 ¦ 3 |
| | | 軒丸 | 1 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | 平瓦 | 頭右破片 ¦ 頭左破片 | | | 1 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 ¦ 1 |
| | | 尻右破片 ¦ 尻左破片 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 ¦ 0 |
| | | 側破 ¦ 上下破 | 1 ¦ 1 | | 2 | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 ¦ 1 | 2 ¦ 6 |
| | | 胴破片 | 1 | | | | | 7 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | 1 | 10 |
| | 小計 | | 4 | 0 | 4 | 0 | 0 | 13 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 3 | 26 |
| 明 | 丸瓦 | 尻左破片 ¦ 尻右破片 | 18 ¦ 6 | 2 ¦ 1 | 3 ¦ 2 | 2 | 6 ¦ 4 | 48 ¦ 44 | 9 ¦ 8 | 7 ¦ 2 | 2 | 1 ¦ 1 | 1 | | | 30 ¦ 11 | | | | | 9 ¦ 5 | 1 ¦ 1 | 11 ¦ 4 | | 11 ¦ 3 | 7 ¦ 6 | 167 ¦ 99 |
| | | 頭左破片 ¦ 頭右破片 | 10 ¦ 4 | 3 | 5 ¦ 1 | 1 | 10 ¦ 3 | 17 ¦ 18 | 15 ¦ 3 | 2 ¦ 1 | | | | | | 17 ¦ 13 | | | | | 7 ¦ 6 | 4 | 9 ¦ 1 | | 13 ¦ 3 | 1 | 114 ¦ 53 |
| | | 側破 ¦ 上下破 | 47 ¦ 26 | 2 ¦ 2 | 18 ¦ 9 | 1 ¦ 1 | 40 ¦ 34 | 101 ¦ 75 | 2 ¦ 4 | 2 ¦ 4 | 3 ¦ 5 | 6 ¦ 9 | 1 | | | 45 ¦ 51 | | 2 ¦ 1 | 1 ¦ 3 | | 37 ¦ 43 | 10 ¦ 9 | 14 ¦ 24 | 2 | 9 ¦ 10 | 13 ¦ 5 | 354 ¦ 317 |
| | | 完形 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | 胴破片 | 46 | 2 | 18 | 1 | 40 | 125 | 1 | 3 | 3 | 9 | 2 | | | 46 | | 3 | 5 | | 45 | 8 | 46 | | 7 | 3 | 413 |
| | 平瓦 | 頭右破片 ¦ 頭左破片 | 7 ¦ 10 | 2 ¦ 4 | 5 ¦ 16 | 1 ¦ 5 | 4 ¦ 8 | 69 ¦ 52 | 7 ¦ 19 | 4 | 1 | 1 ¦ 3 | | | 1 | 25 ¦ 41 | | | 2 | | 8 ¦ 19 | 4 ¦ 1 | 5 ¦ 13 | | 2 ¦ 9 | 10 ¦ 7 | 150 ¦ 215 |
| | | 尻右破片 ¦ 尻左破片 | 9 ¦ 13 | 5 ¦ 5 | 9 ¦ 11 | | 9 ¦ 15 | 50 ¦ 59 | 6 ¦ 18 | 5 ¦ 6 | 1 | 4 ¦ 3 | | | | 19 ¦ 29 | 2 | 2 | 2 | | 6 ¦ 21 | 1 ¦ 2 | 1 ¦ 13 | | 3 ¦ 11 | 14 ¦ 12 | 148 ¦ 218 |
| | | 側破 ¦ 上下破 | 121 ¦ 84 | 44 ¦ 11 | 48 ¦ 23 | 12 ¦ 20 | 101 ¦ 55 | 325 ¦ 175 | 27 ¦ 8 | 10 ¦ 6 | 7 ¦ 1 | 10 ¦ 7 | 7 ¦ 10 | | 3 | 122 ¦ 92 | 5 ¦ 1 | 28 ¦ 3 | 18 ¦ 10 | | 179 ¦ 87 | 37 ¦ 23 | 82 ¦ 66 | 5 ¦ 5 | 26 ¦ 20 | 61 ¦ 34 | 1275 ¦ 744 |
| | | 胴破片 | 271 | 12 | 119 | 23 | 196 | 425 | 15 | 41 | 13 | 20 | 11 | | 1 | 146 | 3 | 8 | 15 | | 136 | 10 | 108 | 4 | 33 | 40 | 1650 |
| | | 軒平 | | | 1 | | | 1 | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | 4 |
| | 小計 | | 672 | 95 | 288 | 67 | 525 | 1585 | 142 | 93 | 36 | 74 | 32 | 0 | 5 | 689 | 11 | 47 | 56 | 0 | 608 | 111 | 397 | 16 | 160 | 213 | 5922 |
| 磚 | 正方形 | 完形 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 | | 3 |
| | | 角破片 | 10 | | 13 | 7 | 6 | 24 | 2 | | | | | 3 | | 30 | | 1 | 1 | 4 | | 1 | 11 | | 8 | 9 | 130 |
| | | 線破片 | 13 | 3 | 12 | 8 | 16 | 50 | 4 | 1 | 2 | 1 | | 3 | | 21 | | | 1 | 5 | | 1 | 12 | | 3 | 8 | 164 |
| | | 胴破片 | 11 | 1 | 8 | 3 | 20 | 69 | | 2 | 2 | | 2 | 2 | 1 | 20 | | 1 | | 3 | | | 12 | | | 4 | 161 |
| | | 石段 | | | 1 | 1 | 2 | | | | | | | | | 4 | | | | | | | 1 | | | 1 | 10 |
| | 長方形 | 胴破片 | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | 三角形 | 完形 | 1 | | 2 | | 1 | | 1 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 6 |
| | | 胴破片 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 小計 | | 35 | 4 | 37 | 19 | 47 | 144 | 7 | 3 | 4 | 1 | 2 | 8 | 1 | 76 | 0 | 2 | 2 | 12 | 0 | 2 | 37 | 0 | 12 | 22 | 477 |
| 合計 | | | 711 | 99 | 329 | 86 | 572 | 1743 | 149 | 96 | 40 | 75 | 34 | 8 | 6 | 766 | 11 | 49 | 58 | 12 | 608 | 113 | 434 | 17 | 172 | 238 | 6426 |

凡例



Ⅳ類（第93図５）破損の為、花弁、葉は不明。花芯は24.8㎜を測り、やや正円で中央が窪む。茎は右に彎曲する。つ－13･14岩盤付近遺構集中部の出土。類例は天界寺跡[註2]第59図2。首里城奉神門[註4]第53図15がある。

Ⅴ類ａ（第93図８）花弁は放射状に６枚、花芯は径26.0㎜の横楕円で饅頭型を呈する。葉の枚数は破損しているため不明であるが、最上部は複葉である。文様は面になり、立体的である。茎は破損しているため不明。縁は幅13.7㎜を測る。せ－15岩盤付近黒色土層の出土。

Ⅴ類ｂ（第93図７）完形で、逆三角形で３段の弧状を描きながら下に尖る。花弁は５枚、花芯は25.7㎜饅頭型、葉は２枚で複葉になる。全体に平面的で内部の葉脈は認められない。茎は下にやや「Ｖ」字状になる。全体に面的であるが具象性にかける。て－11遺物集中部0～20㎝の出土。類例は天界寺跡[註2]第59図４・5がある。

Ⅵ類（第93図９）破損の為、全体形は不明。文様全体が葉脈を強調し、抽象する。花は５枚と推定され、花芯の縦楕円（2.3㎝）の格子文、葉は格子文でかなり略化し、複葉がわずかにみられる。Ⅵ類の最も新しいタイプ。ち－13遺物集中部0～20㎝の出土。類例は天界寺跡[註2]第59図6～9、湧田古窯跡（Ⅰ）[註3]第98図22、首里城奉神門[註4]第53図4がある。

Ｃ．平・丸瓦

丸瓦－1,543個、平瓦－4,455個が出土している。出土状況（第48表）をみると特に多い所は、ち・つ－13・14瓦礫層（434個）、た－13・14の石積みと岩盤黒色・黒褐色混礫土層（678個）、せ・そ－16・17（700個）、さ・し－17・18の瓦集中部・黒色混礫土層（211個）、遺構内（1,743個）である。いずれも琉球石灰岩の岩盤が基盤となり、柱穴などのはっきりした遺構は確認できない。しかし、遺構に関係する瓦がまとまってみられることからこれらの場所に建物の跡が想定される。

丸・平の瓦は下のような例を図及び図版に示した。

図版14は丸瓦のほぼ完形品で、縁部に斜めに２本の沈線が施される。幅13.5㎝、長さ17.5㎝を測り、橙褐色を呈し、焼成はかなり良い。16トレンチ東側岩上の出土。

また、丸瓦の胴中ほどに釘穴を有するものがあり、明褐色で焼成はよい。遺構134（す－15）、丸瓦が出土。

第93図13は平瓦の一種であるが、外面に線刻模様が施されているのでここに報告する。文様は横に３本の沈線文と中位に「□」と縦に２本の短沈線を施す。焼成・胎土は、灰褐色で厚さは1.6㎝を測る。つ－14瓦礫層の出土。

＜註＞

註１.金武正紀・島袋春美・島　弘・他「御細工所跡－城西小学校建設工事に伴う緊急発掘調査報告－」『那覇市文化財調査報告書』第18集　那覇市教育委員会　1991年

註２.島　弘・「天界寺跡」『那覇市文化財調査報告書』第43集　那覇市教育委員会　2000年

註３.大城　慧・島袋　洋・金城亀信「湧田古窯跡（Ⅰ）－県庁舎行政棟建設に係る発掘調査－」『沖縄県文化財調査報告書』第111集　沖縄県教育委員会　1993年

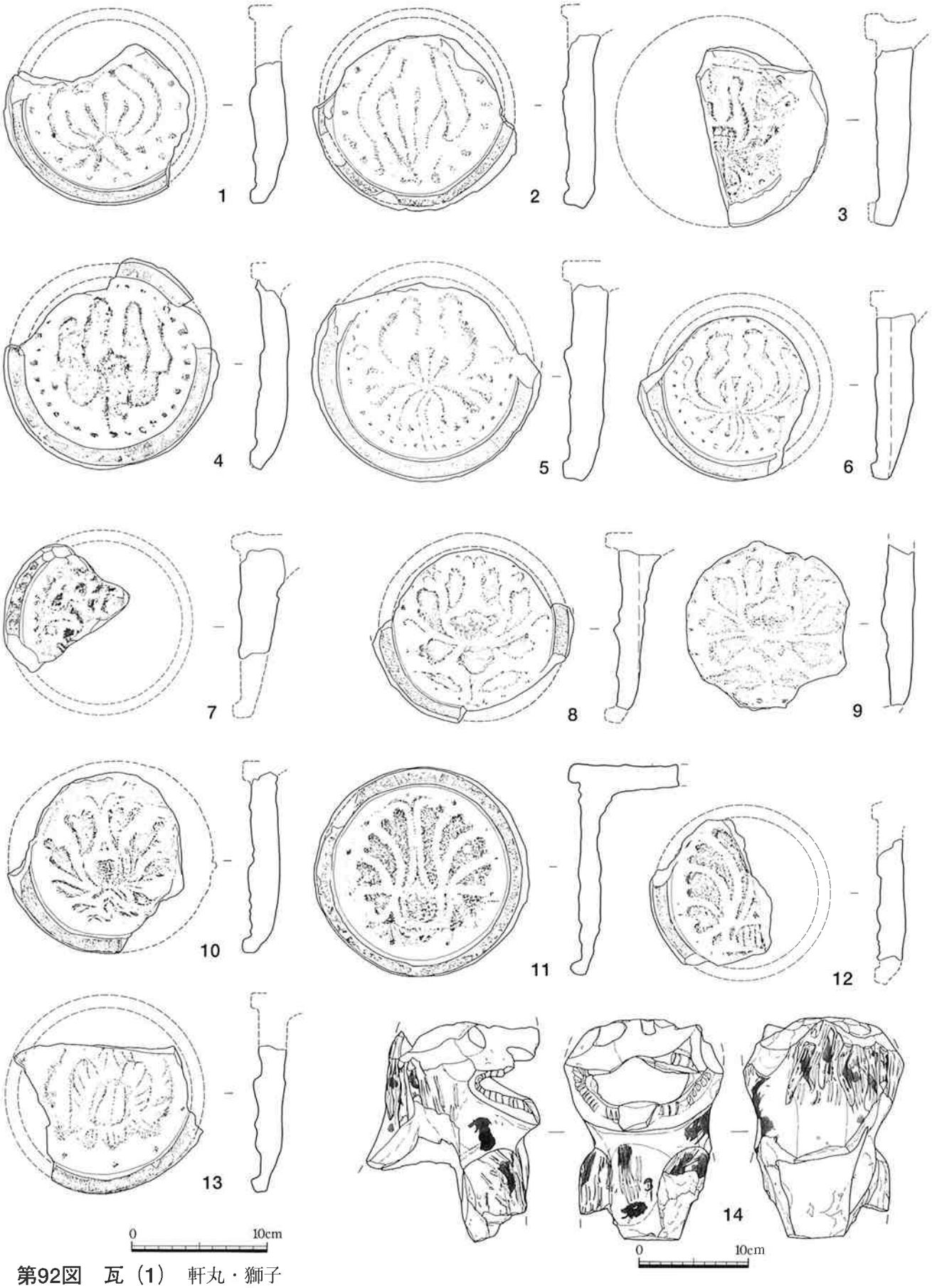
註４.金城亀信・長嶺　均「首里城跡－御庭跡・奉神門跡の遺構調査報告」『沖縄県文化財調査報告書』第133集　沖縄県教育委員会　1998.3

## 第37節　磚

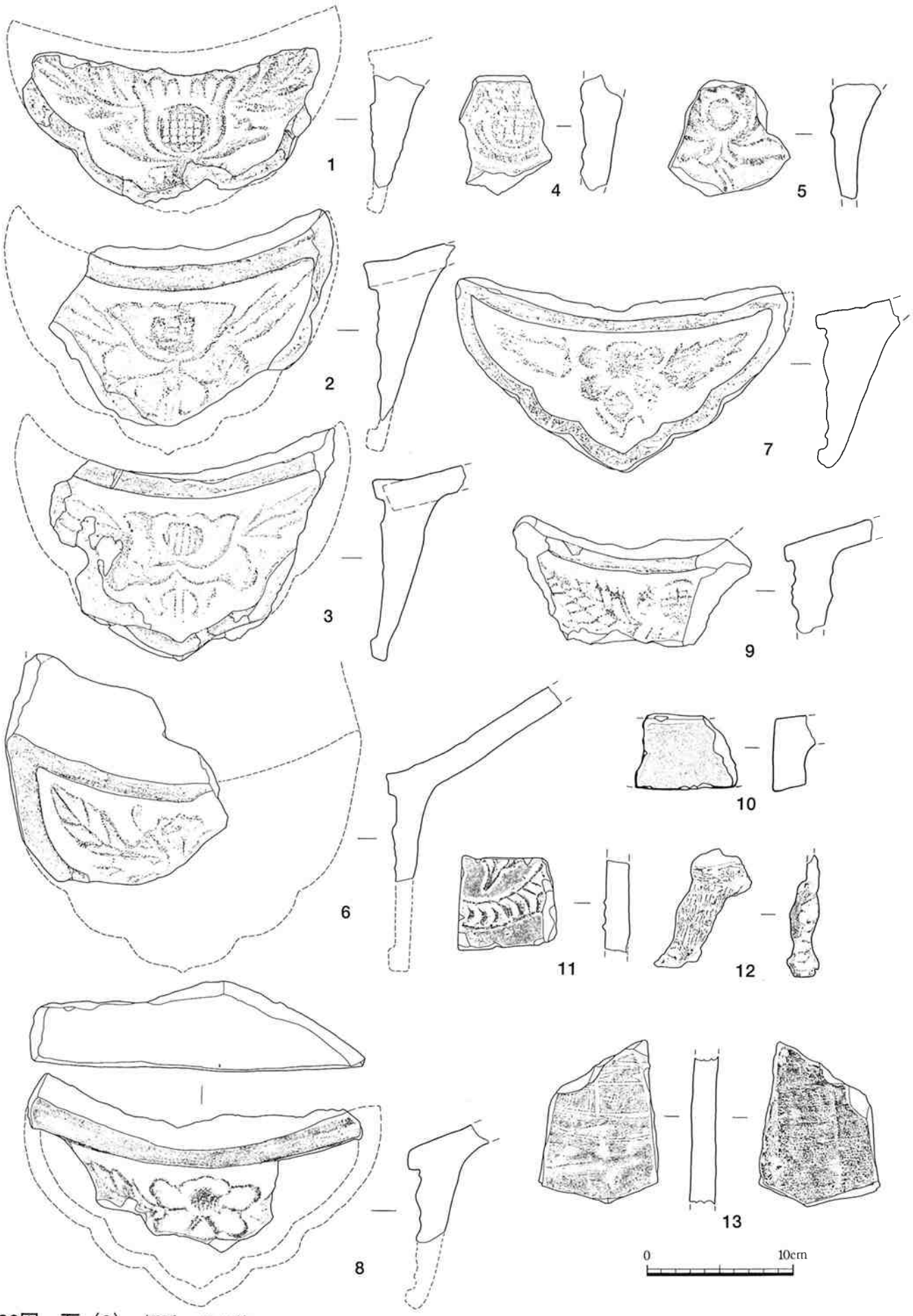
磚は正方形、長方形、三角形があるが、完形品は少なく、縁破片が多い。正方形は468点、長方形は２点、三角形は６点で瓦に比べて出土量は少ない。主に遺構内で出土している詳細は第48表に示した。

## 第38節　獅子

第92図14は陶製のシーサーで、頭部と胴下部は欠損、顔は口から舌を出す。後頭部は幅9㎜の粘土帯を五条貼り付け、更に叉状の工具で施文し、獣毛を表す。ほかに足、胴部にも施される。墨で部分的に彩色、焼成非常に良好、橙褐色を呈し、せ－12遺物集中部の出土である。第93図12は表に短沈線の線刻文と単ベラの施文があり、検討の結果、前者の左上顎に接合できた。と－12遺物集中部０～20㎝であることから近代の遺物と考えられる。




第92図　瓦（1）　軒丸・獅子




第93図　瓦（2）　軒平・その他

## 第39節　自然遺物

### 1．貝類

巻貝（腹足綱）22科57種、二枚貝（斧足綱）17科40種である。出土状況をみるとオキナワヤマタニシが943個体、海に生息するカンギク61個体、マガキガイ60個体、チョウセンサザエ54個体、オハグロガイ35個体（うち21個体は、て－12・13）出土している。ハナビラダカラは８個でうち、７個体が完形で出土している。

二枚貝はウラツキガイ 214個体、アラスジケマンガイ81個体、シレナシジミ4個体などが出土し、ウラツキガイの個体数の多さが目に付く。[註1] ついでアラスジケマンガイ[註2]が多い。

出土地別にみると、せ－15・16・17・18の旧階段下黒色混礫層でオキナワヤマタニシや他の陸産貝が多く出土し、全体の遺構内でも陸産貝が他に比べて多いことから穴や樹下に落ちて自然死したものと考えられる。

ち・つ－13・14ではカンギク54個体出土している。し・す－17・18の方形状遺構でウラツキガイ68個体出土している。近代遺物の多い、て・と－12・13の遺物集中部ではオハグロガイ・マガキガイ・チョウセンサザエが多いが、特にオハグロガイの完形の出土が目立つ。ウラツキガイ48個体、ハマグリ、オキシジミなど近代の食生活を想像させる。オハグロガイは隣接する御細工所跡[註3]からも出土している。

**・ヤコウガイ**

ヤコウガイの殻と蓋は他に比べて出土量が抜き出ており、殻の出土総数は175個、蓋は170個でほぼ同数である。その出土地は主にせ・そ－15・16・17に集中する。蓋・殻の残存別の出土状況は第95・96図に示した。これによると殻は体層の破片が最も多いが、発掘・整理時の破損を考えるとⅠｅやⅢａもⅠａの破損として考えられ、それから察すると殻の有効利用が想定される。また、**ヤコウガイ蓋集中部（す・せ－18・19）**で蓋が34個出土し、９割が完形で（巻首図版2－⑩）、これらの大きさ・破損状況を第51表に示した。これによると大きさは２つの大きさのグループ（第94図）がある。蓋の剥離及び破損部は模式図（第97図）の③～④の部分に集中し、蓋を打撃するのに一定の方向性が認められる。これは殻の利用或いは採肉のための痕跡と捉えられ、第１打撃の位置と考えられる。ヤコウガイは首里城[註4]や御細工所跡、孔子廟跡[註5]、湧田古窯跡[註6]では他の貝殻に比べて大量に出土する。第84図3・4の板状の製品、有孔、「切り取り残存部」（第97図）など、この時期の遺跡に共通してみられる。琉球王府時代の「交易」の貴重な遺物[註7]である。

＜註＞

註１．アマモに生息し、大変美味。（久保弘文・黒住耐二『沖縄の海の貝・陸の貝』沖縄出版 1995）

註２．内湾・干潟に生息し、おつゆ用（久保弘文・黒住耐二『沖縄の海の貝・陸の貝』沖縄出版 1995）

註３．金武正紀・島袋春美・島　弘「御細工所跡－城西小学校建設工事に伴う緊急発掘調査報告－」『那覇市文化財調査報告書』第18集　那覇市教育委員会 1991.3　（て・と－遺物集中部は城西小学校のチリ捨て場だったという話もある。）

註４．上原　静　「首里城出土の貝殻」『考古学ジャーナル』311ニュー・サイエンス社 1989

註５．上原　静・島袋　洋「国学・孔子廟の調査」『文化課紀要』第７号 1994

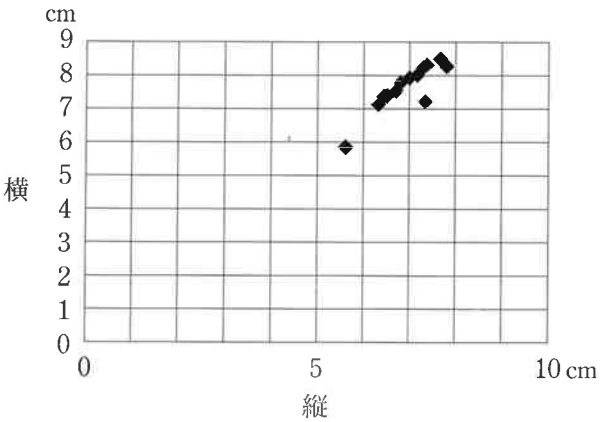
註６．金城　透・仲座久宜・上原清乃「湧田古窯跡（Ⅳ）－県民広場地下駐車場建設に係る発掘調査－」『沖縄県文化財調査報告書第136集』沖縄県教育委員会 1999.3

註７．真栄平房昭「第10章　琉球王国における海産物貿易」『海人の世界』 同文館出版 1998

**第49表　ヤコウガイ蓋集中部観察一覧**　単位cm

| 番号 | 残存 | 剥離状況 | 縦 | 横 | 番号 | 残存 | 剥離状況 | 縦 | 横 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 0 | 完形 | 3にひび | 7.2 | 8 | 18 | 完形 | 4～5 | 7.1 | 7.8 |
| 1 | 完形 | 無 | 7.4 | 8.3 | 19 | 完形 | 7.5～8.5 | 6.7 | 7.6 |
| 2 | 完形 | 無 | 6.5 | 7.4 | 20 | 完形 | 2.5にひび | 6.4 | 7.3 |
| 3 | 完形 | 4にひび | 7.3 | 8.1 | 21 | 完形 | 無 | 6.2 | 7.1 |
| 5 | 完形 | 無 | 7.4 | 7.3 | 22 | 2～10上 | 破損 | － | 7.6 |
| 6 | 完形 | 3～4 | 6.7 | 7.6 | 23 | | 0.5～2、4～5にひび | － | 8 |
| 7 | 2～3欠 | 6～7 | 6.4 | 7.1 | 24 | 完形 | 3にひび | 7.2 | 8.1 |
| 8 | 完形 | 3～4 | 6.5 | 7.5 | 25 | 4～9上 | 破損 | 6.1 | 6.8 |
| 9 | 完形 | 3～4 | 7.4 | 8.2 | 26 | 7～12上 | 破損 | 5.4 | 6.1 |
| 10 | 完形 | 3～4 | 5.6 | 5.9 | 27 | 2～9上 | 破損 | 5.5 | － |
| 11 | 完形 | 4～5 | 7 | 7.9 | 28 | 15～9上 | 破損 | － | 6.6 |
| 12 | 3～8上 | 破損 | 7.8 | － | 29 | 完形 | 剥離 | 7.3 | 8 |
| 13 | 完形 | 2.5～9、14～16 | 7.8 | 8.3 | 30 | 完形 | 無 | 5.2 | 5.9 |
| 14 | 完形 | 3.5～6 | 7.7 | 8.5 | 31 | 3～13上 | 破損 | － | 7.4 |
| 15 | 完形 | 無 | 6.6 | 7.4 | 32 | 16～2上 | 破損 | － | － |
| 16 | 完形 | 無 | 6.5 | 7.5 | 33 | 完形 | 無 | 7.1 | 8.3 |
| 17 | 1～2欠 | 破損 | 6.8 | 7.8 | 34 | 16～9上 | 破損 | － | 7.2 |

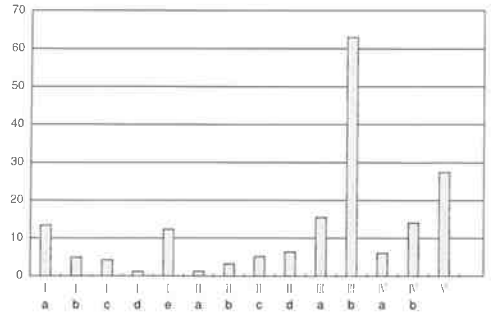
注：「－」は計測不可




**第94図　ヤコウガイ蓋の大きさ分布**

## 第50表　ヤコウガイ殻出土状況

| 残存部＼出土地 | | トレンチ | 表土・撹乱 | 黒色土層 | 黒色混礫土層 | 地山直上 | 遺構 | さ・し－17 崖下にへばりついた黒色土中 | さ・し－17 溝状遺構内黒色混礫土層 | さ・し－17 地山直上黒色土層 | す・せ－18 黒色混礫土層 | す・せ－18 石灰岩礫集中部黒色土層 | す・せ－18 石敷遺構下黒色混礫土層 | せ・そ－17 旧階段横2列石列付近黒色混礫土層 | せ・そ－17 黒色土層 | せ・そ－17 黒色混礫土層 | せ・そ－17 黒褐色混礫土層 | せ・そ－17 地山直上 | つ－12・13・14 黒色土層 | つ－12・13・14 黒色混礫土層 | つ－12・13・14 岩盤付近遺構集中部 | つ－12・13・14 瓦礫層 | て・と－11・12・13 遺物集中部 | 不明 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | a | | | 2 | 2 | 1 | 1 | | | | 1 | | | | 3 | | | | | | | | 3 | | 13 |
| | b | | | | | | 1 | | | | | 1 | | 1 | 1 | | | | | | | 1 | | | 5 |
| | c | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 1 | 4 |
| | d | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | e | | | 2 | | | 1 | | | | | | | 1 | 1 | | 1 | 1 | 1 | | 1 | 1 | 2 | | 12 |
| Ⅱ | a | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | b | | | | | | 1 | | | | | 1 | | | | | | | 1 | | | | | | 3 |
| | c | | | 1 | | | | | | | 1 | 2 | | | | | | | | | | | 1 | | 5 |
| | d | | | | | | 1 | | | | 1 | | | | 1 | | 1 | | 1 | | | | 1 | | 6 |
| Ⅲ | a | 2 | | 2 | 2 | | 2 | | 1 | | | 1 | 1 | | | | 2 | | 1 | | | | 1 | | 15 |
| | b | 3 | 1 | 11 | 3 | 3 | 6 | 1 | 1 | | 2 | 1 | | 5 | 4 | 1 | 4 | 2 | | 1 | | | 13 | 1 | 63 |
| Ⅳ | a | | 1 | | | | | | | | | | | | | 3 | | 1 | 1 | | | | | | 6 |
| | b | | | 1 | | 1 | 2 | 1 | | | 2 | 1 | | 2 | 2 | | | 1 | | 1 | | | | | 14 |
| Ⅴ | | 2 | | 5 | | 1 | 2 | 1 | | 1 | 1 | | | 2 | 1 | 1 | 1 | | | | | | 8 | 1 | 27 |
| 合計 | | 7 | 2 | 25 | 8 | 7 | 17 | 3 | 2 | 1 | 8 | 7 | 1 | 11 | 13 | 5 | 9 | 5 | 5 | 2 | 1 | 2 | 31 | 3 | 175 |

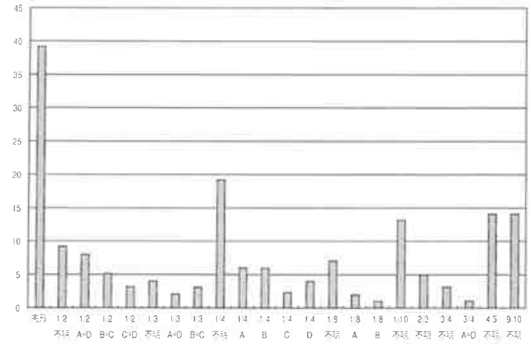



第95図　ヤコウガイ殻の残存部

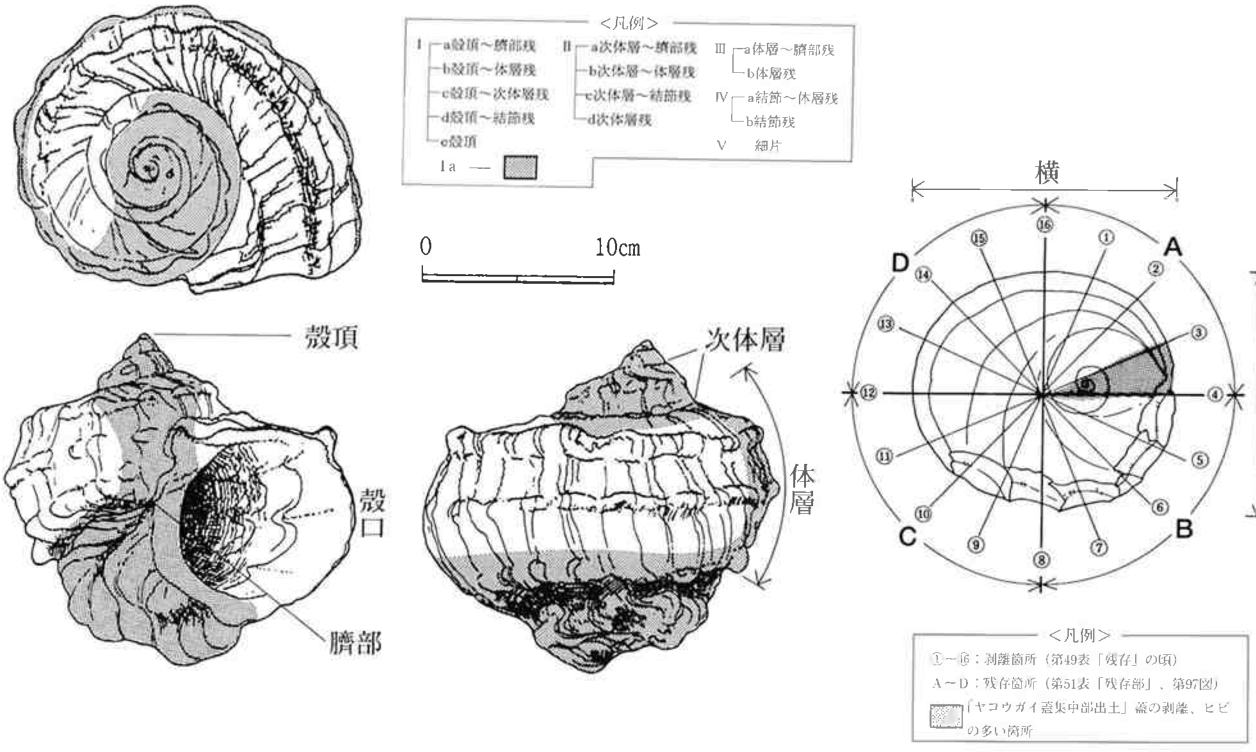
## 第51表　ヤコウガイ蓋出土状況

| 残存部＼出土地 | | トレンチ | 黒色土層 | 黒色混礫土層 | 地山直上 | 遺構 | ヤコウガイ蓋集中部 | さ・し－17・18 岩盤凹地内土層 | さ・し－17・18 崖下にへばりついた黒色土中 | さ・し－17・18 地山直上 | す・せ－18 石灰岩礫集中部黒色土層 | す・せ－18 石敷遺構内 | せ・そ－15・16・17 旧階段下石垣裏込め内 | せ・そ－15・16・17 黒色土層 | せ・そ－15・16・17 黒色混礫土層 | せ・そ－15・16・17 黒褐色混礫土層 | せ・そ－15・16・17 地山直上 | そ－18 石敷遺構下黒色混礫土層 | た－12 馬の頭骨付近より地山直上 | た－13・14 石垣下瓦集中部 | た－13・14 石積と岩盤の間黒褐色土層 | つ－13・14 北側畦黒褐色混礫土層 | つ－13・14 瓦礫層 | つ－13・14 黒色土層 | て・と－11・12・13 遺物集中部 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 完形 | | 1 | 2 | | | 2 | 21 | 1 | | 2 | | | 2 | 2 | 1 | 2 | 2 | | | 1 | | | | | | 39 |
| 1/2 | | | | | 1 | | 2 | | | | 1 | | | 2 | | | 1 | | | 1 | | | | | 1 | 9 |
| | A・D | | | | 2 | 1 | | | | | | 1 | 1 | 1 | | | | 1 | | | | | | | 1 | 8 |
| | B・C | | | 1 | | 1 | | | | | | 1 | 2 | | | | | | | | | | | | | 5 |
| | C・D | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | 1 | 3 |
| 1/3 | | | | 1 | | 1 | | | | | 1 | | | | 1 | | | | | | | | | | | 4 |
| | A・D | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | B・C | | | | | | | | | | 1 | | 1 | | | | | | | | | 1 | | | | 3 |
| 1/4 | | | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | | | 2 | | 1 | | | | | | 1 | 1 | | 1 | | | 5 | 19 |
| | A | | | | | 2 | | | | | | 1 | 1 | 1 | | | 1 | | | | | | | | | 6 |
| | B | 1 | | | 3 | | | | | | | | 1 | | | 1 | | | | | | | | | | 6 |
| | C | | | | | | | 1 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | D | | | | 1 | | | | | | 2 | 1 | | | | | | | | | | | | | | 4 |
| 1/8 | | | 1 | | 1 | | | 1 | | | | | | | | | 1 | | | | | | | 1 | 2 | 7 |
| | A | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | 1 | | | | | 2 |
| | B | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 1/10 | | | 1 | 1 | 3 | 3 | | | | | 1 | | 1 | | | 2 | 1 | | | | | | | | | 13 |
| 2/3 | | | | | | | 3 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 1 | 5 |
| 3/4 | | | 1 | | | | | | 1 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 3 |
| | A・D | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 1 |
| 4/5 | | 2 | | | | 1 | 3 | 1 | | | | | 1 | 1 | 2 | | 1 | | | | | | 2 | | | 14 |
| 9/10 | | | | 3 | 1 | 1 | 5 | | | | | | 1 | 2 | | | | | | | | | | | 1 | 14 |
| 合計 | | 4 | 7 | 8 | 15 | 13 | 35 | 6 | 1 | 2 | 9 | 6 | 14 | 10 | 5 | 5 | 7 | 1 | 1 | 3 | 1 | 2 | 2 | 1 | 12 | 170 |

注　第97図に凡例あり




第96図　ヤコウガイ蓋の残存部




第97図　ヤコウガイ殻と蓋の模式図

## 第52表　貝類出土状況(1)巻貝

| 番号 | 科名 | 貝種名 | 生息地 | トレンチ | | | 表採・撹乱 | | | 黒色土層 | | | 遺構 | | | さ・し－17 岩盤凹地黒色混礫土層 | | | さ・し－17 溝状遺構内黒色混礫土層 | | | す・せ－18 黒色混礫土層 | | | せ－15・16・17・18 石垣直上黒色混礫土層 | | | せ－15・16・17・18 旧階段下の石垣北側横黒色土層 | | | せ－15・16・17・18 旧階段横2列右列下魚骨集中部 | | | せ－15・16・17・18 旧階段石列下灰集中部 | | | せ－15・16・17・18 黒色土層 | | | せ－15・16・17・18 黒色混礫土層 | | | せ－15・16・17・18 地山直上 | | | ち・つ－14 石積みと岩盤の間黒褐色土層 | | | ち・つ－14 瓦礫層 | | | て・と－11・12・13 遺物集中部 | | | 不明 | | | 合計 | | | 個体数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 出土地 | 完形 | 殻頂 | 破片 | 完形 | 殻頂 | 破片 | 完形 | 殻頂 | 破片 | 完形 | 殻頂 | 破片 | 完形 | 殻頂 | 破片 | 完形 | 殻頂 | 破片 | 完形 | 殻頂 | 破片 | 完形 | 殻頂 | 破片 | 完形 | 殻頂 | 破片 | 完形 | 殻頂 | 破片 | 完形 | 殻頂 | 破片 | 完形 | 殻頂 | 破片 | 完形 | 殻頂 | 破片 | 完形 | 殻頂 | 破片 | 完形 | 殻頂 | 破片 | 完形 | 殻頂 | 破片 | 完形 | 殻頂 | 破片 | 完形 | 殻頂 | 破片 | |
| 1 | ニシキウズ科 | ムラサキウズ | Ⅰ－3－a | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 2 | | ベニシリダカ | Ⅰ－4－a | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 0 | 1 | △ |
| 3 | | ギンタカハマ | Ⅰ－4－a | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 4 | | サラサバテイラ | Ⅰ－4－a | | 1 | 4 | | | | | 1 | | | 2 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 1 | 1 | | 1 | 4 | | | | | | | | | 1 | | | | 1 | 6 | 11 | 7 |
| 5 | リュウテン科 | チョウセンサザエ | Ⅰ－3－a | | 2 | | | 1 | 2 | 3 | 2 | 1 | 3 | 3 | 3 | 1 | | | | | | | 2 | 1 | | | 2 | 4 | 5 | 1 | | | | 1 | | 1 | 2 | 5 | 1 | 7 | 2 | 3 | 2 | 3 | 1 | | | | 1 | 2 | | 2 | | 2 | 1 | | | 27 | 27 | 18 | 54 |
| 6 | | チョウセンサザエの蓋 | Ⅰ－3－a | 1 | 1 | | 1 | | | 5 | | | 1 | | | 3 | | | | | | 1 | | | 2 | | | | | | | | | | | | 2 | | | 3 | | | 1 | | | | | | 1 | | | | | | | 1 | | 21 | 2 | 0 | 23 |
| 7 | | カンギク | Ⅱ－1－b | | | | | | | | | | 2 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | 1 | 1 | 1 | 29 | 25 | 1 | | | | | | | | | | 33 | 28 | 2 | 61 |
| 8 | アマオブネ科 | オオマルアマオブネ | Ⅰ－1－a | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 9 | | アマオブネ | Ⅰ－1－b | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 0 | 0 | 2 |
| 10 | | アマオブネ科不明 | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 0 | 0 | 2 |
| 11 | ヤマタニシ科 | オキナワヤマタニシ | Ⅴ－8 | 1 | 1 | | | | | 3 | 3 | 1 | 47 | 9 | 4 | 1 | | | | | | | | | 12 | 2 | 3 | 10 | 4 | | | | | 204 | 336 | | 2 | 1 | | 221 | 40 | 18 | 19 | 1 | | 24 | 2 | | | | | | | | | | | 544 | 399 | 26 | 943 |
| 12 | タニシ科 | ヒメタニシ | Ⅳ－6－c | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 13 | オニノツノガイ科 | オニノツノガイ | Ⅰ－2－c | | | | | | | | 3 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 6 | 0 | 6 |
| 14 | | ウミニナカニモリ | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | 3 | 4 | 0 | 7 |
| 15 | | クワノミカニモリ | Ⅰ－1－a | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 1 | 2 | 0 | 3 |
| 16 | トウガタカワニナ科 | スグカワニナ | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 17 | | タイワンカワニナ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | 1 | 0 | 2 |
| 18 | ウミニナ科 | ヘナタリ | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | 1 | 3 | 1 | 4 |
| 19 | | ウミニナ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | 0 | 2 |
| 20 | ソデボラ科 | オハグロガイ | Ⅱ－2－c | 2 | | | | | | 4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | 5 | | | | | | | | | 21 | | | | 1 | | 33 | 2 | 0 | 35 |
| 21 | | マガキガイ | Ⅰ－2－c | | 3 | | | 1 | | 1 | 21 | | 1 | 4 | | | 1 | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | 6 | | | 5 | | | 3 | | | | | | | | | 7 | 5 | | | 1 | | 10 | 50 | 0 | 60 |
| 22 | | クモガイ | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 | | | | 1 | 1 | 2 | 2 |
| 23 | | ラクダガイ | Ⅰ－4－c | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 24 | タカラガイ科 | ナツメモドキ | Ⅰ－2－a | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 25 | | ヤクジマダカラ | Ⅰ－2－a | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 26 | | コモンダカラ | Ⅰ－2－a | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 0 | 0 | 2 |
| 27 | | ハナマルユキ | Ⅰ－3－a | | | | | | | 1 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 | 1 | | | | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 4 | 1 | 6 |
| 28 | | ハナビラダカラ | Ⅰ－1－a | 1 | | | 1 | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | | | 1 | | | | | | | | | 1 | | | | | | 7 | 1 | 0 | 8 |
| 29 | | ホシダカラ | Ⅰ－2－c | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 0 | 1 | △ |
| 30 | | ホシキヌタ | Ⅰ－2－a | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 31 | | タカラガイ科不明 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 1 | 2 | 1 |
| 32 | アヤボラ科 | ミツカドボラ | Ⅰ－2－a | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | 1 | | 1 | | | | 1 | 0 | 2 | 1 |
| 33 | | ホラガイ | Ⅰ－4－a | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 0 | 1 | 3 | 1 |
| 34 | トウカムリ科 | トウカムリ？ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 0 | 0 | 1 | △ |
| 35 | オキニシ科 | オキニシ | Ⅰ－3－a | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 36 | アクキガイ科 | ガンゼキボラ | Ⅰ－4－a | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 37 | | ツノレイシガイ | Ⅰ－3－a | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | 0 | 0 | 3 |
| 38 | | シラクモガイ | Ⅰ－3－a | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 39 | | レイシガイ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 40 | オリイレヨフバイ科 | イボヨフバイ | Ⅱ－1－c | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 0 | 1 | 1 |
| 41 | エゾバイ科 | シマベッコウバイ | Ⅱ－1－c | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | 0 | 0 | 3 |
| 42 | イトマキボラ科 | イトマキボラ | Ⅰ－2－a | | | | | | | | | | | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 | | | | | | | | | 2 | | | | | | 5 | 1 | 0 | 6 |
| 43 | | ナガイトマキボラ | Ⅰ－2－a | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 0 | 0 | 1 | △ |
| 44 | | ヒメイトマキボラ | Ⅰ－1－a | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 45 | イモガイ科 | マダライモ | Ⅰ－1－a | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 0 | 0 | 2 |
| 46 | | サヤガタイモ | Ⅰ－1－a | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 47 | | ヤキイモ | Ⅰ－2－c | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 48 | | キヌカツギ | Ⅰ－2－a | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 0 | 0 | 2 |
| 49 | | イモガイ科不明 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 50 | キセルガイ科 | ツヤギセル | Ⅴ－8 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 2 | | | | | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 1 | 2 | 3 |
| 51 | カサマイマイ科 | イトマンマイマイ | | | | | | | | | | | 2 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | 2 | 0 | 5 |
| 52 | ナンバンマイマイ科 | シュリマイマイ | Ⅴ－8 | | | | | | | | | | 3 | 1 | 3 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 2 | 1 | | | | | | 1 | 3 | 2 | | | | | | | | | 1 | | | | | | 8 | 3 | 7 | 11 |
| 53 | オナジマイマイ科 | シュリケマイマイ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | 5 | 0 | 8 |
| 54 | | オキナワウスカワマイマイ | Ⅴ－9 | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | 3 | 5 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 | 9 | 0 | 13 |
| 55 | 巻貝不明 | A | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 1 | 0 | 1 | 1 |
| 56 | | B | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | 0 | 0 | 3 |
| 57 | | C | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | 0 | 0 | 3 |
| 合計 | | | | 5 | 10 | 4 | 3 | 2 | 2 | 25 | 30 | 3 | 63 | 28 | 12 | 7 | 1 | 2 | 0 | 1 | 1 | 2 | 3 | 1 | 14 | 2 | 5 | 17 | 11 | 1 | 2 | 0 | 0 | 221 | 351 | 4 | 11 | 15 | 2 | 240 | 59 | 29 | 38 | 13 | 6 | 54 | 27 | 1 | 2 | 2 | 0 | 41 | 9 | 10 | 1 | 3 | 0 | 746 | 567 | 83 | 1313 |
| 個体数 | | | | 15 | | | 5 | | | 55 | | | 91 | | | 8 | | | 1 | | | 5 | | | 16 | | | 28 | | | 2 | | | 572 | | | 26 | | | 299 | | | 51 | | | 81 | | | 4 | | | 50 | | | 4 | | | 1313 | | | |

## 第53表　貝類出土状況(2)二枚貝

| 番号 | 綱名 | 科名 | 貝種名 | 生息地 | 表採・攪乱 | | | | | 黒色土層 | | | | | 遺構 | | | | | さ−17 岩盤凹地内中層瓦集中部 | | | | | し−17 崖部前面黒色混礫土層 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 完形L | 完形R | 殻頂L | 殻頂R | 破片 | 完形L | 完形R | 殻頂L | 殻頂R | 破片 | 完形L | 完形R | 殻頂L | 殻頂R | 破片 | 完形L | 完形R | 殻頂L | 殻頂R | 破片 | 完形L | 完形R | 殻頂L | 殻頂R | 破片 |
| 1 | 斧足綱 | フネガイ科 | エガイ | Ⅰ−1−a | | | | | | | | | | | 1 | | | | 1 | | | | | | | | | | |
| 2 | | | リュウキュウサルボウ | Ⅱ−2−c | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | | ウグイスガイ科 | ミドリアオリガイ | Ⅰ−1−a | | | | | | | | | | | 1 | | | | 1 | | | | | | | | | | |
| 4 | | | クロチョウガイ | Ⅰ−4−a | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 | | ベッコウガキ科 | カキの一種(A) | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 1 | | | | | | | | | | |
| 6 | | | カキの一種(B) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 | | イタヤガイ科 | ツキヒガイ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 | | | イタヤガイ | Ⅰ−1−c | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | |
| 9 | | | ホタテガイ? | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | | ウミギク科 | メンガイ | Ⅰ−2−a | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | |
| 11 | | ネズミノテガイ科 | モグラノテガイ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12 | | ツキガイ科 | ウラキツキガイ | Ⅱ−2−c | 1 | 3 | | | | 1 | | | | | 3 | 2 | | 1 | | 1 | 1 | | | | | 1 | | | |
| 13 | | | ヒメツキガイ | Ⅱ−2−c | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 14 | | キクザル科 | シロザル | Ⅰ−2−a | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 15 | | | キクザルガイ科不明 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 16 | | ザルガイ科 | リュウキュウザルガイ | Ⅱ−2−c | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 17 | | | カワラガイ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 18 | | シャコガイ科 | シラナミ | Ⅰ−2−a | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 19 | | | ヒレジャコ | Ⅰ−2−c | | | | | 2 | | | | | | | | | | 3 | | | | | | | | | | |
| 20 | | | ヒメジャコ | Ⅰ−2−a | | | | | 2 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | |
| 21 | | バカガイ科 | リュウキュウバカガイ | Ⅱ−2−c | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 22 | | チドリマスオガイ科 | イソハマグリ | Ⅰ−1−c | | | | | | | | | | | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | | |
| 23 | | ニッコウガイ科 | ニッコウガイ | Ⅱ−2−c | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 24 | | | ヒメニッコウガイ | Ⅱ−2−c | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 25 | | | リュウキュウシラトリ | Ⅱ−1−c | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 26 | | | サメザラ | Ⅰ−2−c | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 27 | | | モチヅキザラ | Ⅰ−2−c | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 28 | | シオサザナミ科 | マスオガイ | Ⅱ−1−c | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | |
| 29 | | | リュウキュウマスオガイ | Ⅱ−1−c | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 30 | | シジミ科 | シレナシジミ | Ⅲ−0−c | | | | | 1 | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | |
| 31 | | | タイワンシジミ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 32 | | マルスダレガイ科 | ヌノメガイ | Ⅱ−1−c | | | | | 2 | | | 1 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | |
| 33 | | | ホソスジイナミガイ | Ⅱ−1−c | 2 | | | | | | | | | | 1 | | 1 | | 1 | | | | | | | | | | |
| 34 | | | アラスジケマンガイ | Ⅲ−1−c | 3 | 2 | | | | | 1 | | | | 3 | 8 | 4 | 7 | 1 | 2 | 2 | | | | | | | | |
| 35 | | | ユウカゲハマグリ | Ⅱ−1−c | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 36 | | | サラサガイ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 37 | | | オイノカガミ | Ⅱ−1−c | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 38 | | | スダレハマグリ | Ⅱ−1−c | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | |
| 39 | | | ハマグリ | Ⅱ−1−c | | | 1 | | 1 | | | | | | | 1 | 2 | 2 | 1 | | | | | | | | | | |
| 40 | | | オキシジミ | Ⅰ−c | | | 1 | | | | | | | | | 1 | 1 | 1 | | | | 1 | | | | | | | |
| 41 | 頭足綱 | 科不明 | イカ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 42 | | オウムガイ科 | オウムガイ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 43 | ウニ綱 | ナガウニ科 | パイプウニ | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | | | | | 6 | 5 | 2 | 0 | 9 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 11 | 15 | 10 | 13 | 10 | 3 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 個体数 | | | | | 8 | | | | | 2 | | | | | 28 | | | | | 4 | | | | | 1 | | | | |

| 番号 | 貝種名 | し・す−18 方形遺構内 | | | | | す・せ−18 黒色土層遺物集中部 | | | | | す・せ−18 黒色混礫土層 | | | | | せ−15・16・17 旧階段下の石垣北側横黒色土層 | | | | | せ−15・16・17 石垣裏込め内 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 完形L | 完形R | 殻頂L | 殻頂R | 破片 | 完形L | 完形R | 殻頂L | 殻頂R | 破片 | 完形L | 完形R | 殻頂L | 殻頂R | 破片 | 完形L | 完形R | 殻頂L | 殻頂R | 破片 | 完形L | 完形R | 殻頂L | 殻頂R | 破片 |
| 1 | エガイ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | リュウキュウサルボウ | | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 | | | | | | | | | | |
| 3 | ミドリアオリガイ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | クロチョウガイ | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | |
| 5 | カキの一種(A) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 | カキの一種(B) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 | ツキヒガイ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 | イタヤガイ | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | 1 | | | | | |
| 9 | ホタテガイ? | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | メンガイ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 11 | モグラノテガイ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12 | ウラキツキガイ | 66 | 65 | 2 | 2 | 2 | 4 | 2 | | 1 | | | | | | | 21 | 19 | 2 | 1 | | | 1 | | | |
| 13 | ヒメツキガイ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 14 | シロザル | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 15 | キクザルガイ科不明 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 16 | リュウキュウザルガイ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 17 | カワラガイ | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 18 | シラナミ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 19 | ヒレジャコ | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 20 | ヒメジャコ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 21 | リュウキュウバカガイ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 22 | イソハマグリ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 23 | ニッコウガイ | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 24 | ヒメニッコウガイ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 25 | リュウキュウシラトリ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 26 | サメザラ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 27 | モチヅキザラ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 28 | マスオガイ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 29 | リュウキュウマスオガイ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 30 | シレナシジミ | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | 1 | | | | | | | | |
| 31 | タイワンシジミ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 32 | ヌノメガイ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 33 | ホソスジイナミガイ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 34 | アラスジケマンガイ | | | | | | 4 | 4 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | | | | 1 | 1 | | | | | | | | |
| 35 | ユウカゲハマグリ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 36 | サラサガイ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 37 | オイノカガミ | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 38 | スダレハマグリ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 39 | ハマグリ | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 40 | オキシジミ | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | |
| 41 | イカ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 42 | オウムガイ | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 43 | パイプウニ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | | 67 | 65 | 2 | 2 | 2 | 8 | 8 | 1 | 4 | 4 | 4 | 2 | 0 | 0 | 2 | 22 | 21 | 2 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 |
| 個体数 | | 69 | | | | | 12 | | | | | 4 | | | | | 24 | | | | | 1 | | | | |

| 番号 | 貝種名 | せ−15・16・17 地山直上 | | | | | せ−15・16・17 黒色土層 | | | | | せ−15・16・17 黒褐色混礫土層 | | | | | そ−17 旧階段横2列右列下瓦集中部 | | | | | た−8 石垣下黒色混礫土層 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 完形L | 完形R | 殻頂L | 殻頂R | 破片 | 完形L | 完形R | 殻頂L | 殻頂R | 破片 | 完形L | 完形R | 殻頂L | 殻頂R | 破片 | 完形L | 完形R | 殻頂L | 殻頂R | 破片 | 完形L | 完形R | 殻頂L | 殻頂R | 破片 |
| 1 | エガイ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | リュウキュウサルボウ | | 1 | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | ミドリアオリガイ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | クロチョウガイ | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 | カキの一種(A) | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | |
| 6 | カキの一種(B) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 | ツキヒガイ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 | イタヤガイ | | | | | 2 | | | | | 1 | | | | | 4 | | | | | | | | | | |
| 9 | ホタテガイ? | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | メンガイ | 1 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 11 | モグラノテガイ | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | |
| 12 | ウラキツキガイ | 44 | 45 | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | 1 | 1 | 1 | 4 | 2 | | | | | | | | | | | | | |
| 13 | ヒメツキガイ | | 1 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 14 | シロザル | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 15 | キクザルガイ科不明 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 16 | リュウキュウザルガイ | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | |
| 17 | カワラガイ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 18 | シラナミ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 19 | ヒレジャコ | | | | | 3 | | | | | 1 | | | | | 1 | | | | | 2 | | | | | |
| 20 | ヒメジャコ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 21 | リュウキュウバカガイ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 22 | イソハマグリ | 2 | 2 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 23 | ニッコウガイ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 24 | ヒメニッコウガイ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 25 | リュウキュウシラトリ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 26 | サメザラ | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 27 | モチヅキザラ | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 28 | マスオガイ | | | 1 | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 29 | リュウキュウマスオガイ | | | | | 2 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 30 | シレナシジミ | | 1 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | 1 | | 1 | | | | | |
| 31 | タイワンシジミ | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 32 | ヌノメガイ | 1 | | | | | | | | | | | | | | 2 | | 1 | | | | | | | | |
| 33 | ホソスジイナミガイ | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 34 | アラスジケマンガイ | 16 | 12 | 5 | 5 | 1 | 3 | 5 | 2 | 1 | | 2 | 3 | | | 1 | 2 | 2 | | 1 | | 1 | 1 | | | |
| 35 | ユウカゲハマグリ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 36 | サラサガイ | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | |
| 37 | オイノカガミ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 38 | スダレハマグリ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 39 | ハマグリ | 2 | | | 1 | 1 | | | | | | | | | 1 | 1 | | 1 | 1 | | | | | | | |
| 40 | オキシジミ | 1 | | | 1 | 1 | | | | | 1 | | | 2 | 1 | 2 | | | | 1 | | | | | | |
| 41 | イカ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 42 | オウムガイ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 43 | パイプウニ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | | 68 | 63 | 11 | 12 | 15 | 6 | 12 | 3 | 2 | 5 | 7 | 7 | 2 | 2 | 12 | 4 | 5 | 2 | 2 | 3 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 個体数 | | 80 | | | | | 15 | | | | | 9 | | | | | 7 | | | | | 1 | | | | |

| 番号 | 貝種名 | た−14 茶褐色混礫土層 | | | | | た−14 石積と岩盤の間黒褐色土層 | | | | | て−12 黒褐色礫混り層 | | | | | ち・と−11・12 黒色土層 | | | | | ち・と−11・12 遺物集中部 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 完形L | 完形R | 殻頂L | 殻頂R | 破片 | 完形L | 完形R | 殻頂L | 殻頂R | 破片 | 完形L | 完形R | 殻頂L | 殻頂R | 破片 | 完形L | 完形R | 殻頂L | 殻頂R | 破片 | 完形L | 完形R | 殻頂L | 殻頂R | 破片 |
| 1 | エガイ | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | リュウキュウサルボウ | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 2 |
| 3 | ミドリアオリガイ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | クロチョウガイ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 | カキの一種(A) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | |
| 6 | カキの一種(B) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 | ツキヒガイ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| 8 | イタヤガイ | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | |
| 9 | ホタテガイ? | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | メンガイ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | 1 |
| 11 | モグラノテガイ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12 | ウラキツキガイ | 1 | 3 | | | | | | | | | | | | | | | 5 | | 1 | | 48 | 48 | 3 | | |
| 13 | ヒメツキガイ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | |
| 14 | シロザル | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 15 | キクザルガイ科不明 | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | |
| 16 | リュウキュウザルガイ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 17 | カワラガイ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | |
| 18 | シラナミ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | |
| 19 | ヒレジャコ | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | 2 | 2 | | | 1 | | |
| 20 | ヒメジャコ | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | |
| 21 | リュウキュウバカガイ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 2 | | | |
| 22 | イソハマグリ | 2 | | | | | | 1 | | | | 2 | | | | | 11 | 13 | 5 | 5 | | | | | | |
| 23 | ニッコウガイ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 24 | ヒメニッコウガイ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | |
| 25 | リュウキュウシラトリ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | |
| 26 | サメザラ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 27 | モチヅキザラ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 28 | マスオガイ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | |
| 29 | リュウキュウマスオガイ | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | |
| 30 | シレナシジミ | | | | | 1 | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | |
| 31 | タイワンシジミ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 32 | ヌノメガイ | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 | | | 1 | 4 | 2 | | 2 | 1 |
| 33 | ホソスジイナミガイ | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 1 | | | | | 1 | | | | |
| 34 | アラスジケマンガイ | | | | | | | 2 | | | | 9 | 6 | 2 | 1 | | 10 | 12 | 3 | 2 | 7 | 1 | | 1 | 1 | |
| 35 | ユウカゲハマグリ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | |
| 36 | サラサガイ | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 1 | | | | | | | | | |
| 37 | オイノカガミ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 38 | スダレハマグリ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 39 | ハマグリ | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | 14 | 6 | 1 | 2 | |
| 40 | オキシジミ | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 | 1 | | | 5 | 4 | 1 | | |
| 41 | イカ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 42 | オウムガイ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 43 | パイプウニ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | | 3 | 3 | 1 | 0 | 4 | 0 | 4 | 0 | 0 | 0 | 11 | 10 | 2 | 1 | 5 | 23 | 32 | 10 | 11 | 10 | 81 | 71 | 8 | 6 | 6 |
| 個体数 | | 4 | | | | | 4 | | | | | 13 | | | | | 43 | | | | | 89 | | | | |

| 番号 | 貝種名 | 不明 | | | | | 合計 | | | | | 個体数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 完形L | 完形R | 殻頂L | 殻頂R | 破片 | 完形L | 完形R | 殻頂L | 殻頂R | 破片 | |
| 1 | エガイ | | | | | | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 2 | リュウキュウサルボウ | | | | | | 2 | 3 | 0 | 0 | 4 | 3 |
| 3 | ミドリアオリガイ | | | | | | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 4 | クロチョウガイ | | | | | | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 |
| 5 | カキの一種(A) | | | | | | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 |
| 6 | カキの一種(B) | | | | 1 | | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 7 | ツキヒガイ | | | | | | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 8 | イタヤガイ | | | | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 13 | △ |
| 9 | ホタテガイ? | | | | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | △ |
| 10 | メンガイ | | | | | | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 3 |
| 11 | モグラノテガイ | | | | | | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 12 | ウラキツキガイ | | | | | | 195 | 202 | 12 | 10 | 5 | 214 |
| 13 | ヒメツキガイ | | | | | | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 14 | シロザル | | | | | | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 15 | キクザルガイ科不明 | | | | | | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 16 | リュウキュウザルガイ | | | | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | △ |
| 17 | カワラガイ | | | | | | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| 18 | シラナミ | | | | | | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 19 | ヒレジャコ | | | | | 1 | 0 | 0 | 1 | 2 | 18 | 2 |
| 20 | ヒメジャコ | | | | | | 1 | 2 | 0 | 0 | 4 | 2 |
| 21 | リュウキュウバカガイ | | | | | | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 22 | イソハマグリ | | | | | | 18 | 16 | 7 | 5 | 0 | 25 |
| 23 | ニッコウガイ | | | | | | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 24 | ヒメニッコウガイ | | | | | | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 25 | リュウキュウシラトリ | | | | | | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 26 | サメザラ | | | | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | △ |
| 27 | モチヅキザラ | | | | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | △ |
| 28 | マスオガイ | | | | | | 1 | 2 | 1 | 1 | 0 | 3 |
| 29 | リュウキュウマスオガイ | | | | | | 1 | 1 | 1 | 0 | 2 | 2 |
| 30 | シレナシジミ | | | | | | 2 | 3 | 1 | 0 | 5 | 4 |
| 31 | タイワンシジミ | | | | | | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 32 | ヌノメガイ | | 1 | | | | 5 | 6 | 1 | 2 | 7 | 8 |
| 33 | ホソスジイナミガイ | | | | | | 5 | 2 | 1 | 0 | 1 | 6 |
| 34 | アラスジケマンガイ | 1 | | | | | 60 | 62 | 18 | 19 | 11 | 81 |
| 35 | ユウカゲハマグリ | | | | | | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 36 | サラサガイ | | | | | | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 37 | オイノカガミ | | | | | | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 38 | スダレハマグリ | | | | | | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 39 | ハマグリ | | | | | | 16 | 8 | 6 | 9 | 4 | 25 |
| 40 | オキシジミ | | | | | | 7 | 6 | 7 | 4 | 5 | 14 |
| 41 | イカ | | | | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | △ |
| 42 | オウムガイ | | | | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | △ |
| 43 | パイプウニ | | | | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | △ |
| 合計 | | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 327 | 331 | 58 | 57 | 91 | 420 |
| 個体数 | | 2 | | | | | 389 | | | | | |

注　合計と個体数は必ずしも一致しない(完形と殻頂それぞれの多い方を合計し個体数とした)

## 2．魚、鳥、獣類遺体

### (1). はじめに

金子浩昌

天界寺跡ー東地区における動物遺体は近世における肉食の文化の一端をよく示している。それらと併せて論ずべきこともあろう。報告に当たり、沖縄県立埋蔵文化財センターの島袋洋氏並びに瑞慶覧尚美氏、玉城恵美利氏、島袋春美氏には大変にお世話になった。厚く御礼申し上げたい。

### (2). 動物遺存体種名一覧

軟骨魚綱　Class Chondrichthyes
　サメ目　Order Lamniformes
　　ネズミザメ科　Family Lamnidae
　　属・種不明　Gen.et sp.indet.
　　メジロザメ科　Family Carcharhinidae
　　属・種不明　Gen.et sp.indet.
硬骨魚綱　Class Osteichthyes
　ボラ目　Order Mugilida
　　カマス科　Family Sphyraenidae
　ダツ目　Order Belonida
　　ダツ科　Family Belonidae
　　ダツ属の一種　*Storongylura sp.*
　スズキ目　Order Perciformes
　　サバ科　Family Scombridae
　　マグロ類　Thunnus sp.
　　イシダイ科　Family Oplegnathidae
　　属・種不明　Gen.et sp.indet.
　　タイ科　Family Sparidae
　　クロダイ属の一種　*Acanthopagrus sp.*
　　マダイ属？　Pagrus ?
　　種不明　sp.indet.
　　イサキ科　Family Pomadasyidae
　　コロダイ　*Plectrorhynchus pictus*
　　フエダイ科　Family Lutjanidae
　　属・種不明　Gen.et sp.indet.
　　フエフキダイ科　Family Lethrinidae
　　ハマフエフキ　*Lethrinus nebulosus*
　　属・種不明　Gen.et sp.indet.
　　ベラ科　Family Labrdae
　　コブダイ　*Semicossyphus reticulatus*
　　タキベラ　*Bodianus perditio*
　　ブダイ科　Family Scaridae
　　ナガブダイ　*Scarus rubroviolaceus*
　　イロブダイ　*Bolbometopom bicolor*
　　ナンヨウブダイ　*Scarus gibbus*
　　属・種不明　Gen.et sp.indet
　ハタ科　Family Serranidae.
　　属・種不明　Gen.et sp.indet.
　フグ目　Order Tetraodontiformes
　　モンガラカワハギ科　Family Balistidae
　　カワハギ類　*Bolistidae gen.et sp.indet.*
　　ハリセンボン科　Family Diodontidae
　　ハリセンボン　*Diodon holacanthus Linné*
爬虫綱　Class Reptilia
　　有隣目(ヘビ亜目）Order Ophidia
　　科・属不明　Fam.et gen.indet
鳥綱　Class Aves
　キジ目　Order Galliformes
　　キジ科　Family Phasianidae
　　ニワトリ　*Gallus gallus var. domesticus*
　ガンカモ目　Order Anseriformes
　　ガンカモ科　Family Auatidae
　　属・種不明　Gen.et sp.indet.
哺乳綱　Class Mammalia
　霊長目　Order Primates
　　ヒト科　Family Hominidae
　　ヒト　*Home sapiens*
　齧歯目　Order Rodentia
　　ネズミ科　Family Muridae
　　属・種不明　Gen.et sp.indet.
　食肉目　Order Carnivora
　　イヌ科　Family Canidae
　　イヌ　*Canis familiaris*
　海牛目　Order Sirennia
　　ジュゴン科　Family Dugongidae
　　ジュゴン　*Dugong dugong*
　寄蹄目　Order Perissodactyla
　　ウマ科　Family Equidae
　　ウマ　*Equus caballus*
　偶蹄目　Order Artiodactyla
　　イノシシ科　Family Suidae
　　ブタ　*Sus scrofa var. domesticus*
　　ウシ科　Family Bovidae
　　ウシ　*Bos taurus*
　　ヤギ　*Capura hirucus*

### (3) 動物遺体の記載

**魚類**

**サメ類：**ネズミザメ類、メジロザメ類の椎体が出土している。

**カマス：**歯骨1点が検出されているのみである。完存する標本ではないが、大形個体である。

**ダツ類：**歯骨1点があったのみである。

**ハタ類：**標本はやや多いが、フエダイ科の標本とまぎらわしいものもある。

**クロダイ類：**検出数は2点で少なかった。前上顎骨長22.0㎜の標本がある。

**マダイ？：**沖縄での検出は稀であるが、ここではクロダイと同様に出土していたことが注目された。前上顎骨長28.0㎜、歯骨全長44.1㎜、骨体が13.0㎜と厚い標本である。

**フエダイ類：**確認された標本はごく少なかったが、ハタ類との違いが明かでない標本もあり、実際はさらに多かったことも考えられる。歯骨全長70.0㎜に達する標本があった。

**フエフキダイ科：ハマフエフキダイは**多くの標本があり、主体種である。大小の個体があり、前上顎骨長40.0㎜台が左右で4点、30.0㎜台が4点、他は20.0㎜台で9点であった。

**ベラ科：**コブダイは咽頭骨が検出されていないが、大型の前上顎骨長があり、これらはおそらくコブダイのものと思われる。歯骨全長35.0㎜～40.0㎜に達している。タキベラは咽頭骨が1点があったのみである。

**ブダイ科：**ナガブダイ、イロブダイ、ナンヨウブダイが知られている。標本数はいずれも少ない。ナガフダイの下咽頭骨は縦に半分に切断されていた。歯の部分の幅30.0㎜位になる標本である。ナンヨウブダイの下咽頭骨1点は歯幅13.3㎜である。

**ハタ類／フエダイ類：**やや多く検出されている。計測可能の標本は少ないが前上顎骨長45.0㎜、歯骨長60.0㎜と大型標本が多い。

**カワハギ類：**前上顎骨長30.0㎜になる標本1点がある。

**鳥　類**

**カモ類：**上腕骨・脛骨が出土し、後者は輪切りにするような切痕がある。いずれも、て・と－12·13遺物集中部から出土。

**ニワトリ：**検出が圧倒的に多い。烏口骨、肩甲骨、指趾骨の検出は少なかったが、これらは解体時に破損される率が高かったこと、発掘時に回収できなかったことなどが関係するであろう。ただし、他の骨格も完存標本が少ないのは、鳥骨故に止む得ないことであった。第73表に計測値を示した。

**尺骨：**標本は小さい。ち－11遺構134の遠位骨端には骨端外側を斜めに切った切痕がみられた。

**大腿骨：**と－12遺物集中部西畦出土のものは大形になる。せ－17黒色混礫土層90～110㎝の標本も大きい。小型はせ－16岩盤直下土壙内炭集中部、せ－17黒色混礫土層の標本がある。

**脛骨：**せ－16炭層の標本は小さい。若しくはこれよりも少し大きい標本もある。

**中足骨：**せ－16黒色混礫土層炭層上、そ－13遺構54から出土したのは小さい方で、て－12遺物集中部、近位骨端未骨化標本がある。

**哺乳類**

**イヌ：**一個体分出土しているが、頭骨は頭蓋部分がなく、胴骨の一部と主要四肢骨は確認されている。主にた－11地山直上から出土していることから、おそらく当初は一個体の埋葬があったのであろうが、後に撹乱を受けて骨

**第54表　鳥類出土一覧**

| 種類 | 部位 | | 右/左 | 出土地 | 個数 |
|---|---|---|---|---|---|
| カモ類 | 上腕骨 | 近位端 | 右 | と－12遺物集中部0～20 | 1 |
| | 尺骨 | 遠位端 | 不明 | つ－11黒色土層10～20 | 1 |
| | 脛骨 | 骨体 | 左 | て－13遺物集中部 | ① |
| 種不明 | 上腕骨 | 骨体 | 右 | と－12遺物集中部0～20 | 1 |
| | 尺骨 | 完存 | 左 | と－12遺物集中部0～20 | 1 |
| | 破片 | | 不明 | せ－17黒色混礫土層110～120 | 1 |

凡例　○：キズ有り

**第55表　イヌ出土一覧**

| 部位 | | 右/左 | 出土地 | 個数 |
|---|---|---|---|---|
| 下顎骨 | 犬歯 | 右 | た－11地山直上 | 1 |
| | 破片 | 左 | と－12遺物集中部 | (1) |
| 椎体 | 棘突起 | | た－11地山直上 | 3 |
| | 胸椎 | | | 4 |
| | 腰椎 | | | 4 |
| | 破片 | | | 1 |
| 肋骨 | | 右 | た－11地山直上 | 3 |
| | | | し・す－18遺構1 | 1 |
| | | 左 | た－11地山直上 | 3 |
| | | | た－11地山直上 | 33 |
| 肩甲骨 | 遠位端 | 右 | つ－14黒色土層 | 1 |
| 上腕骨 | 完存 | 右 | た－11地山直上 | 1 |
| 橈骨 | 完存 | 右 | た－11地山直上 | 1 |
| 尺骨 | 骨体～遠位部 | 右 | た－11地山直上 | 1 |
| 寛骨 | 腸骨部 | 左 | た－11地山直上 | 1 |
| | 腸骨部～坐骨 | 右 | | 1 |
| | 坐骨 | 左 | | 1 |
| 大腿骨 | 完存 | 右 | た－11地山直上 | 1 |
| | 近位部～遠位部 | 左 | | 1 |
| | 遠位骨端のみ | 左 | せ－13遺構44 | 1 |
| 脛骨 | 完存 | 右 | た－11地山直上 | 1 |
| 中手骨 | Ⅱ完存 | 右 | た－11地山直上 | 1 |
| | Ⅲ近位端 | 左 | | 1 |
| | Ⅴ近位端 | 左 | | 1 |
| 腓骨 | 近位部 | 左 | た－11地山直上 | 1 |
| | 骨体 | 不 | | 1 |
| | 遠位部 | 左 | | 1 |
| 中足骨 | 完存 | 左 | た－11地山直上 | 1 |
| | Ⅱ・Ⅲ近位端～遠位部 | 右 | | 1 |
| | Ⅳ完存 | 右 | | 1 |
| | Ⅳ近位端～遠位部 | 右 | | 1 |
| | Ⅴ完存 | 左 | | 1 |
| | Ⅴ近位端 | 左 | ち－10地山直上 | 1 |
| 基節骨 | | | せ－17旧階段横2列下魚骨集中部 | 4 |
| | | | そ－17旧階段横2列右列下灰集中部 | 1 |
| | | | た－11地山直上 | 1 |

凡例　( )：幼

が散逸などしているものと思われる。下顎骨、上腕骨、橈骨、寛骨、大腿骨、脛骨などが一部破損しながらも大体の形状を残していた。計測値は第74表に示した。

**ブタ：**各地点から出土し、全体の出土量は多い。と－11の遺物集中地点で多く、近世遺物と考えられる。

**椎骨：**分散して出土しているが、軸椎から第7頚椎までの一括出土標本がある。しかし、各椎骨は切り離された状態であった。類例のない解体の方法である。環椎が中央で左右に二分されている例もあった。

**歯牙：**M3の萌出している標本はない。

**上腕骨：**骨体部を残す標本が大部分である。遠位骨端を欠き、骨体部は打ち割られている。滑車上孔は開口していない。

**橈骨：**完存する標本はない。近位骨端と骨体部を残す標本が多い。近位骨端骨の化骨は不完全である。大小さまざまである。骨体は、ほぼ中央で刃物で切断されたり、打ち割られている。

**尺骨：**近位部から骨体部を残す標本があり、これにも大小の標本をみる。近位骨端はすべて外れる。完存する標本がないので、全体の形態が窺えないが、現代ブタよりも骨体の湾曲は弱い。しかし、滑車切痕の形状にはイノシシと異なり、幅広く、骨稜など鈍い。

**寛骨：**寛骨臼部を残して、腸骨、恥骨、坐骨部を切断。大形標本が多い。

**大腿骨：**多くは破損している。イノシシにみる外側稜は弱くなる傾向がみられる。

**脛骨：**遠位骨端を残し、骨端骨の化骨した例をみる。大小の標本をみる。
遠位骨端に近い内側に金属刃物による切痕をみる。

**距骨：**大きさの違いをみる。また踵骨との関節面にみる骨溝の形状などイノシシとの相違点が大きい。
踵骨、距骨との関節面にイノシシにはみられない形質がみられた。

**ウ　シ：**出土量は少ない。頭骨、椎骨の一部、四肢骨も上腕骨、橈骨は各1点、尺骨、大腿骨、脛骨が2～3点という数である。頭骨では後頭骨を縦に割った例が1点あり、尺骨では近位骨端を残す2点があった。

**ヤ　ギ：**出土量は少ない。

**第56表　ウマ出土一覧**

| 部位 | | 右/左 | 出土地 | 個数 |
|---|---|---|---|---|
| 上顎骨 | 歯：P3 | 左 | せ－18石敷遺構直上黒色土層 | 1 |
| 下顎骨 | 歯：P2 | 右 | 表採 | 1 |
| | 歯：I2 | 右 | せ－16時間色混雑土層 | 1 |
| | 歯：I2 | 左 | せ－15・16岩盤にへばりついた黒色土層 | 1 |
| 橈骨 | 骨体 | 右 | す－18遺物雑集中部黒色土層20～40 | 1 |
| 尺骨 | 近位部～骨体 | 右 | す－18黒色土層 | 1 |
| 大腿骨 | 骨頭のみ | 右 | さ－17・18岩部溝状遺構黒色混雑土層 | 1 |
| 破片 | | 不明 | し・す－17遺構8 | 1 |

**第57表　ウマ出土量**

| 部位 ＼ 出土地 | | た－12 馬の頭骨付近 地山直上 右 | 左 | 不明 |
|---|---|---|---|---|
| 上顎骨 | I1～M3 | 1 | | |
| | I1～I1～P2.M3 | | 1 | |
| 下顎骨 | I1～C.P4 | 1 | | |
| | I1～C | | 1 | |
| 椎体 | 頚椎 | | | 1 |
| | 仙骨 | | | 3 |
| | 胸椎 | | | 11 |
| | 腰椎 | | | 6 |
| 肋骨 | 近位～ | 16 | 12 | |
| | 破片 | | 12 | |
| 肩甲骨 | 骨体～遠位端 | 1 | | |
| 上腕骨 | 完存 | | 1 | |
| | 近位端 | 1 | | |
| 橈骨 | 完存 | 1 | 1 | |
| 尺骨 | 完存 | 1 | 1 | |
| 手根骨 | 第２手根骨 | 1 | 1 | |
| | 第３手根骨 | 1 | 1 | |
| | 第４手根骨 | 1 | | |
| | 橈側手根骨 | 1 | 1 | |
| | 中間手根骨 | 1 | 1 | |
| | 尺側手根骨 | 1 | 1 | |
| | 副手根骨 | | 1 | |
| 中手骨 | 完存 | 1 | 1 | |
| 寛骨 | 腸骨部～坐骨 | 1 | 1 | |
| 大腿骨 | 完存 | 1 | 1 | |
| 膝蓋骨 | 完存 | 1 | 1 | |
| 脛骨 | 完存 | 1 | | |
| | 近位端 | | 1 | |
| 腓骨 | | | | 1 |
| 距骨 | | 1 | | |
| 足根骨 | 中心足根骨 | 1 | | |
| 中足骨 | 完存 | 1 | | |
| | 近位部～遠位端 | | 1 | |
| 基節骨 | | 2 | 2 | |
| 中節骨 | | 4 | 3 | |
| 末節骨 | | 2 | 2 | |
| 種子骨 | | | | 10 |
| 合　計 | | 44 | 48 | 32 |

## ＜ウマの埋葬遺体＞

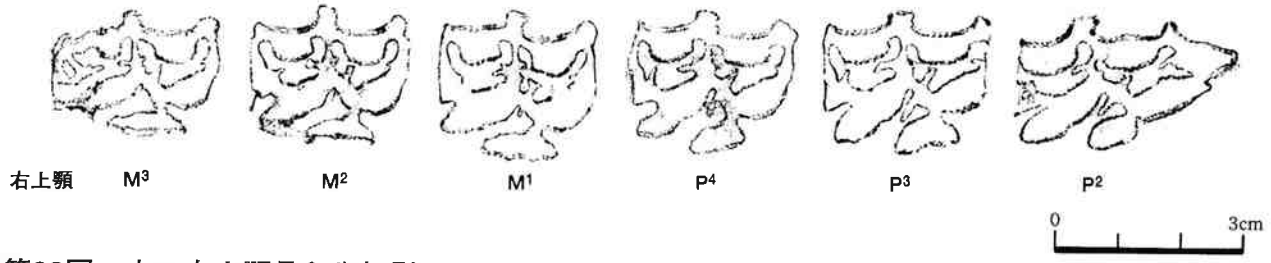
**性：**雄

**年齢：**右上顎骨臼歯の計測された数値のうち、頬側の値を参考にすると６～７才位と推定される。いわば青年期の個体で若年齢であったと推定される。

**ウマの骨格：**完存する四肢のうち右側脛骨について計測した。全長320.2㎜である（第99図）。日本の中型の小の在来馬である御崎馬よりも小さく、トカラ馬との中間の大きさになる。日本の古代から中、近世まで含めて、もっとも一般的な馬の大きさは、在来馬と比較すると、御崎馬か、その小型になる。本標本は、南島の産であることから、本土産のウマよりもやや小さいことが考えられる。

**第58表　ウマ歯根部分岐点の高さ**　　単位：㎜

| | Ｐ２ | Ｐ３ | Ｐ４ | Ｍ１ | Ｍ２ | Ｍ３ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 内縁 | 46.9 | 54.6 | 51.8 | 46.5 | 51.4 | 49.1 |
| 外縁 | 52 | 60.2 | 56.6 | 49.3 | 54.5 | 52.5 |



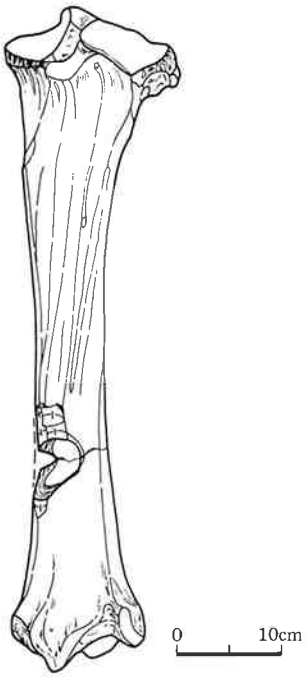

**第98図　ウマ右上顎骨臼歯拓影**

なお、計測した脛骨には深い切痕があった。内側の中央やや下部にV字状に切り込まれた打撃切痕で、その目的、意図について知ることができない。筆者がこれまでにみてきた本土のウマの埋葬例にこうした切痕をもつような例をみることはなかった。

**・ウマの埋葬について**

遺体は右側臥の姿勢で、肩、肘、股、膝の関節はほとんど曲げず、手根、足根部のみを強く曲げていた。頭胴は伸展させていた。このような姿勢は、ウマの埋葬としてはやや特殊のように思われる。

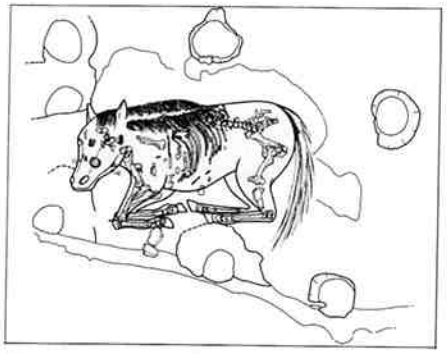
ウマの埋葬に当たって、頭胴を伸展させ、側臥の状態をとるのは、ごく自然といえよう。本土での中世くらいまでの埋葬例では、おおよそこうした姿勢がとられているのではないかと思われる。この時期の埋葬は単体でもあり、埋葬地の広さにあまり限られることがなかったことにもよると思われる。しかし、四肢は肩、肘、膝の関節部で折り曲げることが多く、自然の姿勢であろう。肘、膝関節が曲がれば、手根、足根も曲がるのが自然である。しかし、天界寺例は、手根、足根の曲げのみが強く、不自然な感じがする。土壙の大きさに合わせるように、手(根)首、足(根)首部分を折り曲げたのであろう。このウマが死亡したのが、この場所であったかどうか不明であるが、若し別の場所で死んだとすれば、ここまで運んでこなければならず、その場合には前、後肢を結んで、つり下げるようにして運び、そのまま横にすると、前、後肢が交差した状態になる。そのような姿勢の出土例もある。天界寺例は、そのような足の交差がないから、この場所に近い所で自然死したものであろう。もともと、足を伸ばしたかたちで埋葬するつもりが、土壙が狭く手根、足根以下を折り曲げたのか、あるいは、この部分に何か意図があって曲げるということがあったかも知れない。なお、別にのべているように右脛骨に切り込みがあり、こうした点については、今後のウマの埋葬後の追加と検討を待って考察しなければならない。



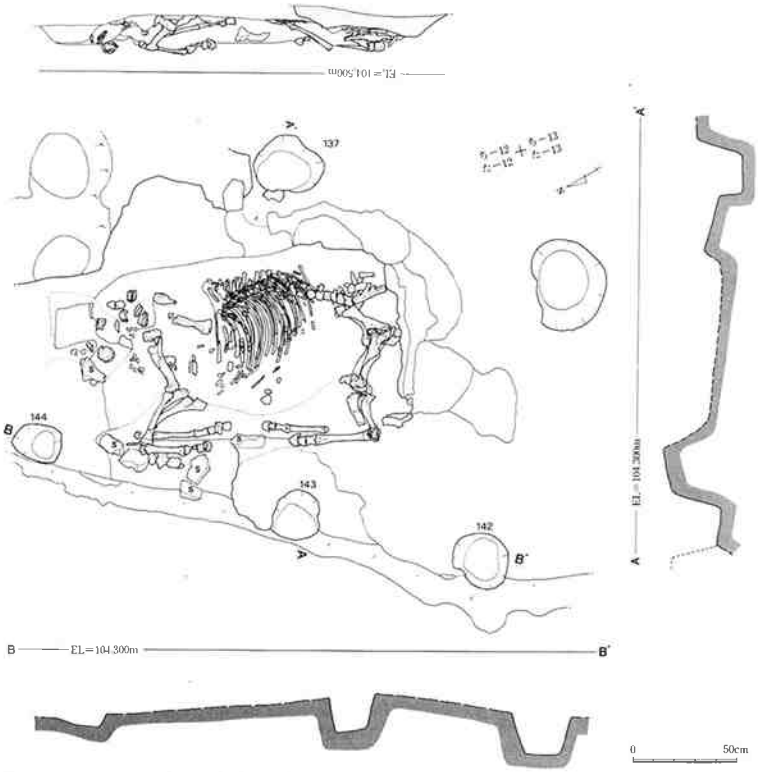

**第99図　ウマ右脛骨**

〈参考文献〉

西中川　駿「古代遺跡出土骨からみたわが国の牛、馬の渡来時期とその経路に関する研究」『科学研究費補助金、一般研究（B）、研究成果報告書』1991年



**第11図　ウマ埋葬模式図**（想定）




**第10図　ウマ埋葬遺構　（た－12）**

## 第59表　サメ脊椎骨出土一覧

| 種類 | 計測L | 計測厚 | 出土地 | 個数 |
|---|---|---|---|---|
| メジロザメ類 | 25 | 9.7 | そ-18 石敷遺構下地山直上 | 1 |
| | 16.5 | 6.2 | そ-11 地山直上 | 1 |
| | 20.1 | 7.8 | た-14 岩盤にへばりついた黒色土層 | 1 |
| | 20.4 | 7.6 | | 1 |
| | 20.4 | 7.8 | | 1 |
| | 20.4 | 7.9 | | 1 |
| | 20.7 | 7.8 | | 1 |
| | 20.3 | 7.7 | た-14 黒色土層 | 1 |
| | — | — | た-14 茶褐色混礫土層 | 5 |
| | — | — | ち-12 地山直上 | 1 |
| | 18.7 | 8.8 | ち-13 石垣裏込め内 | 1 |
| | 26.3 | 10.1 | | 1 |
| | 22.9 | 10.4 | つ-14 黒色土層 | 1 |
| | 20.1 | 9.5 | て-12 遺物集中部 | 1 |
| | 21.6 | 8.6 | | 1 |
| | 22 | 8.2 | | 1 |
| | 28 | 16 | | 1 |
| | 28.8 | 18.6 | | 1 |
| | 3.8 | 6.9 | | 1 |
| | 16.5 | 7.1 | | 1 |
| | 21.4 | 9.2 | | 1 |
| | 22.9 | 9.5 | | 1 |
| | 18.4 | 8.8 | | 1 |
| | 19.4 | 9.4 | | 1 |
| | 20.2 | 8.2 | | 1 |
| | 20.7 | 10.2 | | 1 |
| | — | — | | 2 |
| | 23 | 8.4 | て-13 遺物集中部 | 1 |
| | — | 7.5 | | 1 |
| | 18.2 | 7.5 | と-11 黒色土層 | 1 |
| | 19.3 | 7.7 | と-12 遺物集中部 | 1 |
| | 19.8 | 9.3 | | 1 |
| | 22.4 | 8.7 | | 1 |
| | 24.1 | 8.7 | | 1 |
| | 26.1 | 15.5 | | 1 |
| | — | — | | 5 |
| | 22.9 | 8.5 | と-12 遺物集中部 西側畦 | 1 |
| | 24.5 | 9.6 | | 1 |
| | — | — | 魚骨集中部 | 2 |
| | — | — | 不明 | 1 |
| ネズミザメ類 | — | — | 12トレンチ東側 | 1 |
| | 30.8 | 13 | て-12 遺物集中部 | 1 |
| | 31.1 | 14.9 | | 1 |
| | 35.4 | 14.7 | | 1 |
| | — | 12.1 | | 1 |
| | 31 | 12.1 | と-12 遺物集中部 | 1 |
| | — | — | | 1 |
| | 24.9 | 12.3 | と-12 遺物集中部西側畦 | 1 |
| | 30.2 | 14.3 | | 1 |

## 第60表　ジュゴン出土一覧

| 部位 | 出土地 | 個数 |
|---|---|---|
| 肋骨 | す・せ-18黒色混礫土層100～110 | 1 |

## 第61表　種不明出土一覧

| 種類 | 部位 | | 右/左 | 出土地 | 個数 |
|---|---|---|---|---|---|
| ウシ or ウマ | 肋骨 | 破片 | 不明 | と-12 遺物集中部 | 1 |
| | | | | つ-10 遺構184 | 1 |
| | 棘突起 | | | 表採 | 1 |
| 種不明 | 肋骨 | | 左 | と-12 遺物集中部 | 2 |
| | | | | と-12 遺物集中部 | 1 |
| | 破片 | | | せ-17 黒色混礫土層90～110 | ① |
| | | | | つ-11 黒色土層10～20 | ① |

凡例　○：キズ有り

## 第62表　ウシ出土一覧

| 部位 | | 右/左 | 出土地 | 個数 |
|---|---|---|---|---|
| 頭蓋骨 | 後頭顆 | 右 | ち-12 黒色土層 | 1 |
| | 耳骨 | | ち-12 黒色土層 | 1 |
| | 舌骨 | 不明 | と-12 西側畦遺物集中部 | 1 |
| 環椎？ | | 不明 | ち-12 黒色土層 | 1 |
| 肋骨 | | 不明 | て-12 遺物集中部 | 1 |
| 上腕骨 | 骨体 | 左 | 不明 | 〈1〉 |
| 橈骨 | 破片 | 不明 | せ-17 黒色土層 | 1 |
| 尺骨 | 近位骨端はずれ | 右 | つ-12 地山直上 | 1 |
| | 近位部 | | す・せ-18 黒色土層 | 1 |
| | 骨体 | | ち-10 地山直上 | 1 |
| 大腿骨 | 骨頭のみ | 不明 | そ-13 地山直上 | 1 |
| | 骨頭のみ | | せ-15・16 黒色土層 | 1 |
| | 遠位骨端はずれ | 右 | ち-14 黒色土層 | 1 |
| 脛骨 | 遠位部 | 右 | す-18 遺物集中部黒色土層 | ① |
| | 破片 | 左 | せ-17 黒色土層 | 1 |
| 距骨 | | 左 | す・せ-18 黒色土層 | ① |
| 踵骨 | 近位骨端はずれ～遠位端 | 左 | し-17 岩盤凹地内中層瓦集中部 | 1 |
| | 近位端 | 右 | し-18 地山直上黒色土層 | 1 |
| 破片 | | 不明 | せ-17 暗褐色混礫土層 | ① |
| | | | し-17 地山直上 | ① |

凡例＜＞：半欠、○：キズ有り

## 第63表　ウシ歯出土一覧

| 部位 | | 右/左 | 出土地 | 個数 |
|---|---|---|---|---|
| 上顎骨 | M2 | 左 | 不明 | 1 |
| 下顎骨 | P2 | 左 | 15トレンチ東側レストハウス横岩上北側撹乱層 | 1 |
| | M2 | 右 | せ-17 黒色混礫土層 | 1 |
| 歯 | 破片 | 不明 | せ-17 黒色土層 | 1 |

## 第64表　ネズミ出土一覧

| 部位 | 右/左 | 出土地 | 個数 |
|---|---|---|---|
| 寛骨 | 左 | と-12 遺物集中部 | 1 |
| 大腿骨 | 左 | た-11 地山直上 | 1 |

## 第65表　ヘビ出土一覧

| 部位 | 右/左 | 出土地 | 個数 |
|---|---|---|---|
| 脊椎骨 | 不明 | そ-17 旧階段横2列右列下灰集中部 | 5 |

## 第66表　ヒト出土一覧

| 部位 | 右/左 | 出土地 | 個数 |
|---|---|---|---|
| 頭蓋骨 | 不明 | と-12 遺物集中部0～20 | 4 |

## 第67表　ヤギ歯出土一覧

| 部位 | | 右/左 | 出土地 | 個数 |
|---|---|---|---|---|
| 上顎骨 | M2 | 左 | 15トレンチ東側岩上黒色土層 | 1 |
| | M3 | | す・せ-13 遺構41 | 1 |
| 下顎骨 | M1 | 左 | 15トレンチ東側岩上黒色土層 | 1 |
| | M3 | | と-12 遺物集中部西側畦 | 1 |
| | dm3.4 M1.2 | 右 | せ-17 黒褐色混礫土層 | 1 |
| | M1 | | 16トレンチ東側岩上撹乱層中 | 1 |
| | M1 | | せ・そ-13 遺構57 | 1 |

## 第68表　ニワトリ出土量

| 部位＼出土地 | | 15トレンチ東側岩上黒色土層 | 遺構 | き・し-17 岩盤間地内瓦集中部 | せ-15・16 旧階段下土壙内炭集中部 | せ-16 旧階段下の石垣北側横地山直上 | せ-17 新階段一部 | せ-17 黒色混礫土層 | そ-13・14 壁面に漆喰のある方形遺構内 | そ-17 旧階段横2列石列下灰集中部 | た-14 黒色土層 | ち-12 地山直上 | ち-14 石積みと岩盤の間暗黄褐色土層 | つ-14 黒色土層 | て-12 遺物集中部 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 右：左：不明 | 右：左：不明 | 右：左：不明 | 右：左：不明 | 右：左：不明 | 右：左：不明 | 右：左：不明 | 右：左：不明 | 右：左：不明 | 右：左：不明 | 右：左：不明 | 右：左：不明 | 右：左：不明 | 右：左：不明 | 右：左：不明 |
| 頭蓋骨 | | | | | | | | | | | | | | | | 0：0：1 |
| 鳥口骨 | 完存 | | 2 | | 1：1 | | | | | | | | | | 1 | 3：1：0 |
| 鎖骨 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 0：0：1 |
| 肩甲骨 | 遠位端 | | | | 1 | | | | | | | | | | | 1：0：0 |
| 仙骨 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 0：0：1 |
| 上腕骨 | 近位端 | | | | | | | | | | 1 | | | | | 0：1：0 |
| | 近位端～遠位部 | | | | | | | | | | | | | | 1 | 0：1：0 |
| | 近位部～遠位部 | | | | | | 1 | | | | | | | | | 1：0：0 |
| | 近位部～遠位端 | | | | | | 1 | | | 1 | | | | | 1 | 2：1：0 |
| | 骨体 | | | | | | 2 | | | 1 | 1 | | | | | 3：1：0 |
| | 遠位端 | | 1 | | | | | | | | 1 | | | | 1 | 3：0：0 |
| 尺骨 | 完存 | | | | | | | 1 | | | | | | | | 0：1：0 |
| | 近位端 | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 | 2：0：0 |
| | 近位端～遠位部 | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1：0：0 |
| | 近位部 | | | | | | 1 | | | | | | | | | 1：0：0 |
| | 近位部～遠位端 | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1：0：0 |
| | 遠位部 | | | | | | | | | | | | | 1 | | 0：1：0 |
| | 遠位端 | | | | 1 | | | | | | | | | | | 0：1：0 |
| 大腿骨 | 完存 | | 1 | | | | | | | | | | | | 1：1 | 1：2：0 |
| | 近位端 | | | | 1 | | | | | | | | | | 1：1 | 2：2：0 |
| | 近位端～遠位部 | | | | | | | | | | | | 1 | | | 0：1：0 |
| | 近位端～骨体 | | 1 | | | | | 1 | | | | | | | 1 | 0：2：0 |
| | 近位部～遠位端 | | | | | | 2 | | | | | | | | | 2：0：0 |
| | 近位部～遠位部 | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | | 0：2：0 |
| | 骨体 | | | | | | 2 | 〈1〉 | | | 1 | | | | | 3：0：1 |
| 脛骨 | 完存 | | 1 | | | | 1 | | | | | | | | 1 | 1：2：0 |
| | 近位端 | | | | | | | 1 | | | | | | | 1 | 1：1：0 |
| | 近位部～遠位部 | | | | | 1 | | | | | | | | | | 0：1：0 |
| | 骨体 | 1 | 1 | | | | 1 | | | | | 1 | | 2 | 1：2 | 4：5：0 |
| | 骨体～遠位部 | | | | | | | | | | | | | | 2 | 2：0：0 |
| | 遠位部 | | | | | | | 1 | | | | | 2 | | | 0：3：0 |
| | 遠位端 | | 1 | | | 1 | | | | | | 1 | | | 2 | 2：3：0 |
| | 遠位骨端はずれ | | | | | | | | | | | | 1 | | | 0：1：0 |
| 腓骨 | | | | 4 | | | | | | | | | | | | 0：0：4 |
| 中足骨 | 完存 | | 〆1：〆1 | | | | | ♂1 | | 〆1 | | | | | | 2：2：0 |
| | 近位端 | | | | | | | | | | | | | | 2 | 0：2：0 |
| | 近位部 | | | | | | | 1 | | | | | | | | 0：1：0 |
| | 近位部～遠位部 | | | 〆1 | | | | | | | | | | | | 0：1：0 |
| | 骨体 | | | | | | | | | | | | | | 1 | 0：0：1 |
| | 遠位部 | | | 1 | | | | | | | | | | 〆1：1 | | 1：2：0 |
| | 近位端 | | | | | | | 1 | | | | | | | | 1：0：0 |
| 合計 | | 0：1：0 | 5：5：6 | 0：2：0 | 3：2：0 | 1：0：0 | 0：1：0 | 13：5：1 | 0：1：0 | 2：1：0 | 2：2：0 | 0：2：0 | 0：1：0 | 3：5：0 | 11：13：2 | 40：41：9 |

凡例　＜＞：半欠

## 第69表　ブタ歯出土状況

| 部位＼出土地 | | 右 | | | | | | | | | 左 | | | | | | | | | | | | 合計 | 個体数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | I1 | I2 | I3 | C | | | M1 | M2 | M3 | I1 | I2 | I3 | C | | | | P4 | M1 | M2 | M3 | | | |
| | | i1 | i2 | i3 | c | m3 | m4 | | | | i1 | i2 | i3 | c | m2 | m3 | m4 | | | | | | | |
| 上顎骨 | 15トレンチ東側レストハウス横岩上北側縄品層 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| | せ-16 炭層 | | 1 | | ♂1 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | 0 | 1 |
| | せ-17旧階段横2列右列下魚骨集中部 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | 1 |
| | て-12 遺物集中部 | 1 | | | | | | | | | | | 1 | 〆1 | | | | 1 | | | | | 1 | 1 |
| | 合計 | 2 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | | 4 | 4 |
| | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 9 | 0 |
| 下顎骨 | 遺構 | | | | | | | | | | | | | ♂1 | | | | | | | | | 1 | 1 |
| | し-18地山直上 黒色土層 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 | 1 |
| | す-19 黒色土層 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 0 |
| | せ-16 炭層 | ♂〔1〕 | | | ♂〔1〕 | | | ♂〔1〕 | ♂〈1〉 | | ♂〔1〕 | ♂〔1〕 | | | | | | | ♂〔1〕 | | | | 1 | 1 |
| | | | ♂〔1〕 | | | ♂〔1〕 | ♂〔1〕 | | | | | ♂〔1〕 | | | ♂〔1〕 | ♂〔1〕 | ♂〔1〕 | | | | | | 7 | 7 |
| | と-12 遺物集中部 | 1 | | | ♂1 | | | | 〈1〉 | 〔2〕 | | | | ♂2 | | | | | | | | | 7 | 7 |
| | 合計 | 2 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 1 | 2 | 2 | 1 | 1 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | | 16 | 2 |
| | | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 8 | 6 |

凡例　「」：未萌出、＜＞：半欠、（）：キズ有り

（出土していない部位は省略した）

## 第70表　ヤギ出土量

| 部位＼出土地 | | 12トレンチ東側 | 遺構 | し-17 岩盤間地内中層瓦集中部 | す-18 遺物礫集中部 | せ-15 岩盤にへばりついた黒色土層 | せ-16 暗褐色混礫土層 | た-14 黒色土層 | ち-9 石段上黒色土層 | ち-12 黒色土層 | ち-13 地山直上 | て-12 遺物集中部 | 不明 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 右：左：不明 | 右：左：不明 | 右：左：不明 | 右：左：不明 | 右：左：不明 | 右：左：不明 | 右：左：不明 | 右：左：不明 | 右：左：不明 | 右：左：不明 | 右：左：不明 | 右：左：不明 | 右：左：不明 |
| 頭蓋骨 | 角突起 | | | | | | | | | | | 1 | 1 | 0：0：1 |
| 下顎骨 | 破片 | | 1 | | | | | | | | | | | 1：0：0 |
| 椎体 | 胸椎 | | 1 | | | | | | | | | | | 1：0：0 |
| 肩甲骨 | 遠位部 | | | | | 1 | | | | | | | | 1：0：0 |
| 上腕骨 | 近位骨端はずれ | | | | | | | | | | | 〔1〕 | | 0：1：0 |
| | 近位部 | | | | | | | | | 1 | | | | 0：1：0 |
| | 近位部～遠位端 | | ① | | | | | | | | | | | 0：1：0 |
| | 骨体 | | | | | 1 | 1 | | | | | | | 1：1：0 |
| | 骨体～遠位部 | | 1 | | | | 1 | | | | | | | 1：1：0 |
| | 遠位部 | | | | | | | | 1 | | | | | 1：0：0 |
| 橈骨 | 近位端 | | | | | | 1 | | | | | 1 | | 2：0：0 |
| | 近位端～遠位部 | | | | | | | | | | | 1 | | 1：0：0 |
| | 近位部 | | | | | | | 1 | | | | | | 0：1：0 |
| | 骨体 | | | | | | 1 | | | | | | | 0：1：0 |
| | 骨体～遠位部 | | | | | | ① | | | | | | | 0：1：0 |
| | 遠位端 | | | | | | | | | | 1 | | | 0：1：0 |
| 尺骨 | 近位部 | 1 | | | | | | | | | 1 | | | 2：0：0 |
| | 骨体～遠位部 | | 〔1〕 | | | | | | | | | | | 0：1：0 |
| 中手骨 | 近位端～遠位部 | | 1 | | | | | | | | | | | 1：0：0 |
| 大腿骨 | 骨頭のみ | | | | | | | 1 | | | | | | 1：0：0 |
| | 両端はずれ | | 1① | | | | | | | | | | | 0：2：0 |
| | 近位部 | | 1 | | | | | | | | | | | 1：0：0 |
| | 近位部～遠位部 | | | | | | 1 | | | | | | | 1：0：0 |
| | 骨体 | | | 1 | | | 1 ① | | | | | | | 2：1：0 |
| 脛骨 | 近位骨端はずれ | | | | | | | | | | | 〔1〕 | | 0：1：0 |
| | 近位骨端はずれ～骨体 | | 1 | | | | | | | | | | | 0：1：0 |
| | 近位部～遠位部 | | 1 | | | | | | | | | | | 0：1：0 |
| | 骨体 | | | | 1 | | | | | | | | | 0：1：0 |
| | 骨体～遠位骨端はずれ | | 1 | | | | | | | | | | | 1：0：0 |
| | 遠位部 | | | | | | 1 | | | | | 1 | ① | 1：2：0 |
| | 遠位骨端はずれ | | | | | | | | | | | 〔1〕 | | 0：1：0 |
| 中足骨 | 近位端 | | | | | | | | | | | 1 | | 0：1：0 |
| | 近位端～遠位部 | | | | 1 | | | | | | | | | 0：1：0 |
| | 遠位端 | | | | | | | | | | 1 | | | 1：0：0 |
| 合計 | | 1：0：0 | 5：6：1 | 1：0：0 | 0：2：0 | 1：1：0 | 4：5：0 | 1：1：0 | 1：0：0 | 0：1：0 | 2：1：0 | 2：5：1 | 0：1：0 | 19：22：2 |

凡例　〔〕：幼、○：キズ有り

## 第73表　ニワトリ計測一覧

| 部位 | 左右 | 計測部位 | 計測値 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|
| hu(上腕骨) | 左 | GL | 79 | と-12 遺物集中部 西側畦 |
| | | Bd | 16.7 | |
| | | Ba | 17.7 | |
| | 左 | Bp | 18.8 | ち-14 黒色土層0～20 |
| | 右 | Ba | 17.7 | ち-12 畦 |
| | 右 | Ba | 16.8 | せ-17 旧階段横2列右列下 茶褐色混礫土層 |
| fe(大腿骨) | 右 | Bp | 13.1 | せ-16 岩盤直下大土壙内 炭集中部 |
| | 右 | Sd | 8.2 | せ-17 黒色混礫土層 110～120 |
| | | Ba | 17.3 | |
| | 右 | Sd | 9.4 | せ-17 黒色混礫土層 90～110 |
| | 右 | Sd | 8.9 | せ-16 遺構190 |
| | 左 | Sd | 7.6 | つ-14 黒色土層 |
| | 左 | Bp | 14.1 | せ-17 黒色混礫土層 110～120 |
| | 左 | Bp | 20.2 | と-12 遺物集中部 西側畦 |
| | | Bd | 22 | |
| tib(脛骨) | 右 | Ba | 12.4 | せ-16 旧階段下の石垣北側横 地山直上 |
| | 左 | GL | 107.7 | と-12 遺物集中部 西側畦 |
| | | GLC | 104.4 | |
| | | Bp | 18.5 | |
| | 右 | GL | 86.5 | せ-16 炭層 |
| 烏口骨 | 右 | GL | 53.5± | す-16 遺構55 |
| | 右 | GL | 49 | し・す18遺構1 |
| | 左 | GL | 40 | せ-15・16 岩盤直下大土壙内　炭集中部 |
| ul(尺骨) | 左 | GL | 60± | せ-17 黒色混礫土層 120～130 |
| mt(中足骨) | 右 | GL | 58.9 | せ-16 黒色混礫土層 炭層上 |
| | | Bp | 14.2 | |
| | | Ba | 13.1 | |
| | 左 | GL | 64.2 | そ-13 遺構54 |
| | 左 | Bp | 18 | て-12 遺物集中部 |

## 第74表　イヌ計測一覧

| 部位 | 左右 | 計測部位 | 計測値 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|
| rad(橈骨) | 右 | GL | 135.3 | た-11 地山直上 |
| | | Bp | 14.9 | |
| | | Bd | 20.5 | |
| | | 中央径 | 11.2 | |
| | | 前後 | 7.5 | |
| tib(脛骨) | 右 | GL | 150.1 | た-11 地山直上 |
| | | Bp | 29.7 | |
| | | Bd | 19.3 | |
| | | 中央径 | 11.9 | |
| | | 前後 | 10.5 | |
| fe(大腿骨) | 右 | GL | 150.7 | た-11 地山直上 |
| | | GL(骨頭まで) | 149.9 | |
| | | Bp | 32.3 | |
| | | Bd | 26.7 | |
| | | 中央径 | 11.9 | |
| | | 前後 | 12.2 | |
| pel(寛骨) | 右 | 幅 | 16.2 | た-11 地山直上 |
| | | 厚 | 8.9 | |
| scap(肩甲骨) | 右 | 幅 | 25.5×16.2 | つ-14 黒色土層 |
| hu(上腕骨) | 右 | GL | 137.6 | た-11 地山直上 |
| | | 中央左右径 | 12 | |
| | | 前後 | 15.2 | |
| md(下顎骨) | 右 | 枝高 | 45.7 | た-11 地山直上 |
| | | 咬筋窩深 | 7.4 | |
| | | C(犬歯) | 9.4×6.0 | |

## 第75表　カモ類計測一覧

| 部位 | 左右 | 計測部位 | 計測値 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|
| hu(上腕骨) | 右 | Bp | 25 | と-12 遺物集中部 0～20 |

## 第76表　ウシ計測一覧

| 部位 | 左右 | 計測部位 | 計測値 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|
| ul(尺骨) | 右 | SDO | 53.2 | す・せ-18 黒色土層 0～30 |
| | 右 | SDO | 64 | つ-12 地山直上 |
| | | DPA | 76.2 | |
| tib(脛骨) | 右 | Sd | 35.3 | す-18 遺物礫集中部 黒色土層 20～40 |

## 第77表　ヤギ計測一覧

| 部位 | 左右 | 計測部位 | 計測値 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|
| hu(上腕骨) | 左 | Sd | 12.2 | す・せ-13 遺構41 |
| | | Bd | 24 | |
| fe(大腿骨) | 左 | Sd | 13.4 | す・せ-13 遺構41 |
| tib(脛骨) | 左 | Sd | 12 | せ-13 遺構44 |
| scap(肩甲骨) | 右 | SLC | 12.5 | せ-15 岩盤にへばりついた 黒色土層 |
| rad(橈骨) | 右 | Bp | 24.7 | て-12 遺物集中部 |
| | | CD | 14.2 | |
| | 左 | Bd | 22.7 | ち-13 地山直上 |
| ul(尺骨) | 右 | SDO | 18.8 | 12トレンチ東側 |
| | | DPA | 21.3 | |
| mc(中手骨) | 右 | Bp | 19.6 | す・せ-13 遺構41 |
| mt(中足骨) | 左 | Bp | 16.1 | て-12 遺物集中部 0～20 |
| | 右 | Bd | 17.8 | ち-13 地山直上 |

## 第78表　ウマ計測一覧

| 部位 | 左右 | 計測部位 | 計測値 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|
| 下顎骨(P2) | 右 | | 22.5×15.3 | 表採 |
| ul(尺骨) | 右 | DPA | 56.7 | す-18 黒色土層 |
| tib(脛骨) | 右 | GL | 320.2 | た-12 馬の頭骨付近 地山直上 |

## 第79表　ブタ計測一覧

| 部位 | 左右 | 計測部位 | 計測値 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|
| hu(上腕骨) | 右 | Sd | 17.1 | て-11 遺物集中部0～20 |
| | 左 | Sd | 17 | せ-16 黒褐色混礫土層 |
| | 左 | Sd | 16 | て-11 東側畦 |
| 距骨 | 左 | GLI | 40.1 | せ-17 東西畦ピット①内 |
| | | Bd | 23.9 | |
| | 左 | GLI | 36.1 | せ-16 暗褐色混礫土層 |
| | | Bd | 21.2 | |
| scap(肩甲骨) | 右 | SLC | 22.0± | つ-14 黒色土層 |
| | | GLP | 28.3− | |
| | 右 | SLC | 27.4 | そ-13・14 壁面の漆喰のある方形遺構内 |
| pel(寛骨) | 右 | SC | 22.6 | て-13 遺物集中部 |
| | | LS | 34 | |
| fe(大腿骨) | 右 | Sd | 15 | す-18 石灰岩礫集中部 黒色土層 50～70 |
| | 左 | Sd | 12.8 | 15トレンチ東側岩上 黒色土層 0～10 |
| | 左 | Sd | 16 | せ-17 黒褐色混礫土層 |
| tib(脛骨) | 右 | Bd | 30.1 | ち-9 石段上黒色土層 |
| | 右 | Sd | 12.6 | せ-17 黒色土層 0～30 |
| | | Bd | 22 | |
| | 右 | Sd | 18.1 | せ-17 黒色土層 0～30 |
| | 左 | Sd | 15.8 | せ-17 黒褐色混礫土層 90～100 |
| | 左 | Sd | 12 | せ-13 岩盤上黒色土層 |
| rad(橈骨) | 右 | Sd | 17.8 | せ-17 黒褐色混礫土層 |
| | 左 | Bp | 31.5 | 不明 |
| | 左 | Bp | 26.2 | せ-17 黒色混礫土層 90～110 |
| | 左 | Bp | 23.5 | し-17 地山直上黒色土層 |
| | | Sd | 12.5 | |
| ul(尺骨) | 右 | SDO | 29.2 | せ-17 黒色混礫土層 90～110 |
| | | DPA | 31 | |
| | 右 | DPA | 32.7 | せ-17 暗褐色混礫土層 |

## 第40節　ガラス製品

本遺跡出土のガラス製品（図版85）は111点で、完形は54点で、青、茶、透明、白などの色がある。これらは底部の形を主に分類し、さらに高さ、頸の長さなどからA：アンプル瓶、B：小瓶、C：インク瓶、D：底が正方形、E：底が円形、F：底が楕円形、G：底が楕円で口唇が太い「**味の素**」の銘、H：底を円の両端をカットしたものI：インク瓶に大きく分類し、詳細は第　表の観察一覧に示した。なかには、底面や側面に銘があるものがあり、これから年代を求める参考となる。その例としては12の「**精錡水**」、13の側面に「**水虫液　25ｇ**」、「**陸軍衛生材料**」、14の「k-4533」、15は「**元・素**」、41は「**墨の元**」などがある。そのほとんどが近世の遺物集中部から出土している。

### 第80表　ガラス計測一覧

単位：mm

| 番号 | 口径 | 高さ | 底径 | 色 | 観察事項 | 出土地 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 6.5 | 37.6 | | 透明 | アンプル、厚さ6.9、形・丸。分類：A | て－12 |
| 2 | 8 | 43.1 | | 透明 | アンプル、厚さ8.6。分類：A | て－12 |
| 3 | 21.3 | 52.6 | 23.8 | 青 | 小瓶4　分類：B 4 | と－11　黒色土層0～10cm |
| 4 | 23.9 | 41.8 | 51.1 | 青 | 薬品瓶？底形：円形。分類：C蓋 | て－12 |
| 5 | 25.7 | 62.1 | 41.2 | 青 | 底形：正方形。分類：D | つ－12　黒褐色礫混り層 |
| 6 | 24.3 | 131 | 41.1 | 茶 | 底形：正方形。分類：D　薬瓶 | 撹乱 |
| 7 | 25.8 | 79.8 | 29.8 | 茶 | 底形：正方形。分類：D | 撹乱 |
| 8 | 24.4 | 54.3 | 36.8 | 透明 | 底形：正方形。分類：D | て－12　遺物集中部 |
| 9 | 23.9 | 57.9 | 40.2 | 透明 | 底形：正方形。分類：D | た－13　黒色土層40～50cm |
| 10 | 34.1 | 63.3 | 43.2 | 透明 | 底形：正方形。分類：D | て－13　遺物集中部 |
| 11 | 20 | 42.9 | 30.5 | 透明 | 底形：正方形。分類：D | て－13　遺物集中部 |
| 12 | 13.8 | 66.6 | 25.5 | 透明 | 底形：正方形。分類：D | と－12　遺物集中部 |
| 13 | 15.3 | 77.8 | 22 | 透明 | 口唇はネジ式、側面は胴上部は丸、下部は角、側面「水虫液　25ｇ」、対面「陸軍衛生材料」。底形：長方形。分類：E | て－12　遺物集中部黒色土層 |
| 14 | 22.1 | 98.2 | 46.3 | 透明 | 側面胴上部丸、下部は角、口唇ネジ式、光沢、化粧水か。底形：長方形。分類：E | て－12 |
| 15 | 17.6 | 94.5 | 28.4 | 透明 | 長頸、側面方形、口唇は幅広。底形：長方形。底面「元・素」。分類：E | こ－17　岩盤凹地内 |
| 16 | 24.8 | 95.4 | 46.4 | 透明 | 長頸、側面方形、口唇は幅広。底形：長方形。底面「元・素」。分類：E | と－12　遺物集中部 |
| 17 | 20.6 | 53.4 | 33.7 | 透明 | 底形：円形。分類：F | て－12 |
| 18 | 22.1 | 91.9 | 32.1 | 透明 | 光沢がある。口唇太い。底形：円形。底面不安定。分類：F | と－12　遺物集中部 |
| 19 | 42.8 | 79.1 | 44.9 | 透明 | 厚手。マミーの瓶？。底形：円形。分類：F | そ－17　撹乱土壙 |
| 20 | 41.3 | 43.4 | 45.8 | 青 | 口唇が太くなる。ネジ式。底形：円形。底面不安定。分類：F | て－12 |
| 21 | 37.3 | 77.6 | 50.2 | 透明 | 口唇はネジ式。筒状、光沢。底形：円形。分類：F | て－13　遺物集中部 |
| 22 | 38.4 | 51.4 | 50 | 青 | 口唇太くなる。ネジ式。底形：円形。分類：F | て－13　遺物集中部 |
| 23 | 26 | 68.1 | 33.7 | 青 | 縦に型を合わせた線が見られる。底形：円形。分類：F | て－12　遺物集中部 |
| 24 | 23.6 | 64 | 46 | 青 | 底部と肩部が尖る。底形：円形。分類：F | と－12　遺物集中部0～20cm |
| 25 | 19.1 | 71.2 | 20.2 | 透明 | 筒状、光沢がある。口唇の断面－丸。底形：円形。分類：F | て－12　遺物集中部 |
| 26 | 27.2 | 84.6 | 35.9 | 茶 | 薬品瓶か。底形：円形。分類：F | と－12　遺物集中部 |
| 27 | 26.6 | 50.5 | 35.6 | 茶 | 薬品瓶か。底形：円形。分類：F | て－13　遺物集中部 |
| 28 | 17.9 | 93 | 45.9 | 透明 | 底形：楕円。目盛りあり、分類：G | て－13　遺物集中部 |
| 29 | 21.2 | 85.8 | 28.3 | 透明 | 底形:楕円。口縁はネジ式、光沢がある。平面形は口縁に細くなる。化粧品の瓶か。分類:G | ち－9　石段上黒色土層 |
| 30 | 19.6 | 99.6 | 38.7 | 透明 | 口唇が太い。胴上部に幅広くなる。底形：楕円。底面「味の素」。分類：H | ち－13　黒褐色礫混り層0～10cm |
| 31 | 13.3 | 38.2 | 15.5 | 透明 | 小瓶1　分類：B 1 | て－13　遺物集中部 |
| 32 | 14.2 | 51.7 | 16 | 青 | 小瓶2　分類：B 2 | と－12　遺物集中部0～20cm |
| 33 | 9.4 | 48 | 12.9 | 透明 | 小瓶2　分類：B 2 | と－12　遺物集中部 |
| 34 | 12.2 | 50.7 | 14.7 | 透明 | 小瓶2　分類：B 2 | て－13　遺物集中部 |
| 35 | 22.7 | 40.9 | 44.7 | 青 | 小瓶3　分類：B 3 | て－12 |
| 36 | 14.5 | 52.5 | 18.5 | 透明 | 小瓶3　分類：B 3 | て－13　遺物集中部 |
| 37 | 14.9 | 54.8 | 19.1 | 透明 | 小瓶3　分類：B 3 | と－12　遺物集中部0～20cm |
| 38 | 15.2 | 51.4 | 22.1 | 透明 | 小瓶4　光沢。分類：B 4 | と－12　遺物集中部0～20cm |
| 39 | 22.3 | 38.3 | 54.4 | 透明 | インク瓶。分類：C | て－13　遺物集中部 |
| 40 | 22.8 | 40.2 | 40.2 | 青 | 底形：円形の両側をカット。底面「墨の元」。分類：I | て－12 |
| 41 | 25.6 | 42.8 | 47.3 | 青 | 底形：円形の両側をカット。底面「墨の元」。分類：I | と－12　遺物集中部0～20cm |
| 42 | － | 40.4 | － | 青 | 下部は磨りへり面が複数みられる。分類：蓋 | 16トレンチ　岩上撹乱層東側 |
| 43 | － | 27.5 | 30.9 | 透明 | 下の磨りへりなし。分類：蓋 | と－12　遺物集中部0～20cm |
| 44 | 20.6 | 57.6 | 39 | 透明 | 若干高くなる。底形：円形。下のすり減り磨りなし。分類：蓋 | て－12 |
| 45 | － | 43.9 | － | 青 | 底形：縦長。下部は磨りへり面が複数。分類：蓋 | 16トレンチ　岩上　黒色土層東側 |
| 46 | － | － | － | 透明 | 頭：長方形。分類：蓋 | と－12　遺物集中部 |

### 第81表　ガラス出土状況

| 色＼グリット | トレンチ | 表採 | 地山直上 | こ－17 近代土壙 | さ－17・18 | せ－17 | そ－13・14 | ち－9 石段上黒色土層 | ち－12 | ち－13 | つ－12 | て－12・13 遺物集中部 | と－11・12 表採 | 不明 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 透明 | 3 | | 6 | | | 5 | 4 | | 6 | 5 | | 6 | 2 | 1 | 38 |
| 青 | 2 | | 2 | | | 1 | | | | | 1 | 6 | | | 12 |
| 茶 | | 1 | 2 | | | | | | | 3 | | 4 | 2 | 1 | 13 |
| 白 | 15 | | 3 | 1 | | 2 | | 1 | 1(タイル) | 4 | | 5 | 2 | 2 | 35 |
| 緑 | | | 1 | | 1 | 3 | | | 2 | 1 | | | | | 8 |
| 紫 | 1 | | | | | | | | | | | 1 | | | 2 |
| 黄 | 1 | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 黒 | | | 1 | | | | | | | | | 1 | | | 2 |
| 合計 | 22 | 1 | 15 | 1 | 1 | 11 | 4 | 1 | 8 | 13 | 1 | 23 | 6 | 4 | 111 |

## 第71表　ブタ出土量

| 部位 | 出土地 | 15トレンチ東側 岩上黒色土層 最上部 | | | 遺構 | | | さ・し−17 溝状遺構内 黒色混礫土層 | | | し−17 崖部墓口前面 黒色混礫土層 | | | し−17 岩盤凹地 黒色混礫土層 | | | し・す−18 方形遺構内 | | | す−18 石灰岩礫 礫集中部 黒色土層 | | | せ−13 岩盤上の 黒色土層 | | | せ−17 黒色土層 | | | せ−17 黒色混礫土層 | | | そ−13・14 壁面に漆喰のある 方形遺構内 | | | そ−17 旧階段横2列 石列下 灰集中部 | | | ち−9 石段上 黒色土層 | | | ち−12 黒色土層 | | | ち−13 地山直上 | | | ち−14 石積みと岩盤の間黒褐色土層 | | | つ−13・14 岩盤付近 遺構集中部 | | | つ−14 黒色土層 | | | て−11 東側畦 | | | て・と−11 遺物集中部 | | | 不明 | | | 合計 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 右 | 左 | 不明 | 右 | 左 | 不明 | 右 | 左 | 不明 | 右 | 左 | 不明 | 右 | 左 | 不明 | 右 | 左 | 不明 | 右 | 左 | 不明 | 右 | 左 | 不明 | 右 | 左 | 不明 | 右 | 左 | 不明 | 右 | 左 | 不明 | 右 | 左 | 不明 | 右 | 左 | 不明 | 右 | 左 | 不明 | 右 | 左 | 不明 | 右 | 左 | 不明 | 右 | 左 | 不明 | 右 | 左 | 不明 | 右 | 左 | 不明 | 右 | 左 | 不明 | 右 | 左 | 不明 | 右 | 左 | 不明 |
| 頭蓋骨 | 頭頂骨 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ① | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | 2 | 0 | 0 |
| | 頭頂骨〜前頭骨 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |1| | | | | | 0 | 1 | 0 |
| | 前頭骨 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | 1 | 1 | 0 |
| | 後頭骨頸静脈突起 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 0 | 1 | 0 |
| | 後頭顆 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 0 | 1 | 0 |
| | 口顎骨 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 1 | 0 |
| 下顎骨 | 下顎角 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 1 | | | | | 2 | 1 | 0 |
| | 関節突起 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | 1 | 0 | 0 |
| | 破片 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 0 | 0 | 1 |
| 椎体 | 椎体 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 0 | 0 | 3 |
| | 環椎 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 0 | 0 | 1 |
| | 胸骨 | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 0 | 2 |
| | 腰椎 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 5 | | | | 0 | 0 | 5 |
| | 棘突起 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 3 | | | | 0 | 0 | 6 |
| | 破片 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 6 | | | | 0 | 0 | 6 |
| 肋骨 | 近位〜 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 | | | | | | | | | 1 | | | | | | 4 | | | | | | 6 | 2 | 0 |
| | 破片 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | 3 | | | | | | | 1 | | | | | | | 1 | | | 2 | | | | | | | | | 2 | | | | | | 21 | | | | 0 | 0 | 31 |
| 肩甲骨 | 骨体 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 2 | 2 | 0 |
| | 遠位部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ① | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | 3 | 0 | 0 |
| | 遠位端 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | 3 | 1 | 0 |
| 上腕骨 | 骨頭のみ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 0 | 0 |
| | 近位骨端はずれ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 〈1〉 | | 〈1〉 | | | | | | | | | | | | | | | 〈1〉 | | | | | | | | | | | | | 〈1〉 | | | | | 2 | 2 | 0 |
| | 近位部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 0 | 1 | 0 |
| | 近位骨端のみ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 〈1〉 | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | 1 | 2 | 0 |
| | 骨体 | | 〈1〉 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 〈1〉 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 〈1〉 | 〈1〉 | | | | | 2 | 3 | 0 |
| | 骨体〜遠位部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 0 | 1 | 0 |
| | 遠位部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 〈1〉 | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 | | 2 | | | | | | 3 | 5 | 0 |
| | 遠位骨端はずれ | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 0 | 0 |
| | 遠位端 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | 1 | 0 | 0 |
| 橈骨 | 両端はずれ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ① | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 0 | 0 |
| | 近位部〜骨体 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 0 | 0 |
| | 近位端 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 1 | | 1 | 2 | 0 |
| | 近位端〜遠位部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 0 | 0 |
| | 近位端〜遠位骨端はずれ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 1 | 0 |
| | 近位部 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 0 | 0 |
| | 遠位骨端はずれ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | 1 | 1 | 0 |
| | 遠位骨端のみ | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | 1 | 1 | 0 |
| | 遠位部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | 1 | | | | | | 2 | 0 | 0 |
| 尺骨 | 近位端 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 0 | 1 | 0 |
| | 近位骨端はずれ〜骨体 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 2 | 0 |
| | 近位骨端はずれ〜遠位部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ① | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 0 | 0 |
| | 骨体 | | | | | | | | | | | | | | ① | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 1 | | | | | | 2 | | | 1 | | 3 | 5 | 0 |
| 中手骨 | II (近位端〜遠位骨端はずれ) | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 1 | 0 |
| | III (近位端〜遠位部) | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 1 | 0 |
| | III (近位端〜遠位骨端はずれ) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | 1 | | 2 | 2 | 0 |
| | IV (近位端〜遠位骨端はずれ) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | 1 | 0 | 0 |
| | V (近位端〜遠位骨端はずれ) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 | | | 4 | 0 | 0 |
| | 近位端〜遠位骨端はずれ | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 1 | 0 |
| 寛骨 | 腸骨部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ① | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1① | | | | | 2 | 3 | 0 |
| | 臼部 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2① | | | | | | 3 | 1 | 0 |
| | 坐骨 | | | | | ① | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 1 | | | | | 3 | 2 | 0 |
| 大腿骨 | 骨頭のみ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 0 | 1 | 0 |
| | 大転子 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 0 | 1 | 0 |
| | 近位骨端はずれ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 〈2〉 | | | | | 1 | 2 | 0 |
| | 近位骨端はずれ〜遠位部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 0 | 0 |
| | 近位部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | 〈2〉 | | | | | 1 | 3 | 0 |
| | 骨体 | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | 1① | | | | | | 2 | 4 | 0 |
| | 遠位部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1〈1〉 | | | | | | 3 | 0 | 0 |
| | 遠位骨端はずれ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | ① | | | | | | 2 | 0 | 0 |
| | 遠位骨端のみ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 〈1〉 | 〈2〉 | | | | | 1 | 2 | 0 |
| 脛骨 | 両端はずれ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 1 | 0 |
| | 近位部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ① | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | 0 |
| | 近位部〜遠位端 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 0 | 0 |
| | 近位部〜遠位骨端はずれ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 0 | 1 | 0 |
| | 骨体 | | ① | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | 1 | 1 | | 1 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 3 | 6 | 0 |
| | 骨体〜遠位端 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ① | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 0 | 0 |
| | 骨体〜遠位骨端はずれ | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 0 | 0 |
| | 遠位骨端はずれ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 2 | 0 |
| | 破片 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | 1 | 1 | 0 |
| 腓骨 | 破片 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 0 | 0 | 2 |
| 距骨 | 完存 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1① | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 2 | 0 |
| 踵骨 | 近位骨端はずれ〜遠位部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 1 | 0 |
| | 近位骨端はずれ〜遠位端 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 1 | 0 |
| | 近位骨端〜遠位端 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ① | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 1 | 0 |
| | 近位部〜遠位端 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ① | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 2 | 0 |
| | 骨体 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ① | | | | | | 1 | 0 | 0 |
| | 遠位端 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 0 | 0 |
| 中足骨 | III (完存) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 | 0 | 0 |
| | III (近位端) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | 1 | 1 | 0 |
| | IV (近位端〜遠位骨端はずれ) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | 1 | 0 | 0 |
| | IV (近位端〜遠位部) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 0 | 0 |
| | V (近位端〜遠位部) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 1 | 0 |
| | V (近位端〜遠位骨端はずれ) | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 0 | 0 |
| | 近位端〜遠位骨端はずれ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 0 | 0 |
| 中手・中足骨 | 破片 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 0 | 3 |
| 破片 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ① | | | | 0 | 0 | 1 |
| 合計 | | 2 | 5 | 0 | 4 | 7 | 4 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 5 | 2 | 1 | 12 | 15 | 6 | 2 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 2 | 7 | 8 | 4 | 3 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 4 | 6 | 2 | 1 | 1 | 0 | 38 | 30 | 40 | 2 | 3 | 0 | 88 | 83 | 61 |

凡例 | |：幼、〈 〉：半欠、○：キズ有り、（ ）：破片

## 第72表　魚類出土状況

| 種目 | | | 出土地 / 部位 | | 15トレンチ東側岩上黒色土層 | 遺構 | さ－17・18崖部石垣状遺構上黒色混礫土層 | し－17岩盤凹地内中層瓦集中部 | し－18地山直上 | す－15 | す－17黒色土層 | せ－15岩盤にへばりついた黒色土層 | せ－16茶褐色混礫土層 | せ－16黒色土層 | せ－17黒色混礫土層 | せ・そ－17旧階段横2列下茶褐色混礫土層3層 | た－12馬の頭骨付近より地山直上 | て－12遺物集中部 | 魚骨集中部 | 不明 | 合計 | 個体数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ボラ目 | カマス科 | カマス | 顎骨 | R | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | L | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ダツ目 | ダツ科 | ダツ属 | 顎骨 | R | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 | | 1 |
| | | | | L | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| スズキ目 | サバ科 | マグロ類 | 背鰭棘 | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | | 1 |
| | イシダイ科 | 種不明 | 顎骨 | R | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 1 | — |
| | | | | L | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | タイ科 | クロダイ属 | 顎骨 | R | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 | | 1 |
| | | | | L | | | | | | | | | 1 | | | | | | | 1 | | |
| | | | 主上顎骨 | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 1 | 1 |
| | | | 前頭骨 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| | | マダイ属？ | 顎骨 | R | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | | 1 |
| | | | | L | | | | | | | | | 1 | | 1 | | | | | 1 | 1 | 2 |
| | | 種不明 | 背鰭棘 | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 |
| | | | 腎鰭血管間棘 | R | | | | | | | 1 | | | | 1 | | | | | 1 | | 1 |
| | イサキ科 | コロダイ | 主上顎骨 | R | | | | | | | | | | | 2 | | | | | 2 | | 5 |
| | | | | L | | | | | | | | | | | | | | | | | | — |
| | フエダイ科 | 種不明 | 顎骨 | R | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | 2 | 2 |
| | | | | L | | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 | | 1 | 1 |
| | | | 前鰓蓋骨 | R | | 3 | | | | | 1 | | 1 | | | | | | 1 | 1 | 1 | 3 | 3 |
| | | | 主鰓蓋骨 | R | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 1 | 3 | 3 | 3 |
| | | | | L | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | 1 | 1 |
| | フエフキダイ科 | ハマフエフキ | 顎骨 | R | 1 | 1 | | | 1 | 3 | | 1 | 1 | 3 | 2 | 2 | | 2 | 2 | 1 | 11 | 12 | |
| | | | | L | 2 | 1 | | | | 1 | 1 | | 1 | | 1 | | | 1 | 6 | 1 | 2 | 8 | 10 | 12 |
| | | | 副楔骨 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| | | | 主上顎骨 | R | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | 2 | 8 | 8 |
| | | | | L | | | | | | | | | | 1 | 1 | 1 | | 1 | 5 | | | 5 | 3 | 5 |
| | | | 口蓋骨 | R | | | | | 1 | | | | | | 2 | 1 | | | 2 | 2 | | 7 | 1 | 7 |
| | | | 方骨 | R | | | | | | | | | 1 | | | | | | 5 | 1 | 1 | 5 | 6 | 6 |
| | | | 舌顎 | R | | | | | 1 | | | | | | | | | 1 | 1 | 2 | 4 | 1 | 1 | 5 | 10 | 10 |
| | | | 前鰓蓋骨 | R | | 2 | | | 1 | 1 | | | | | | 2 | | | 1 | 3 | 3 | 1 | 1 | 4 | 3 | 4 |
| | | | 主鰓蓋骨 | R | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 3 | 3 | | | 1 | 6 | 6 |
| | | | 角骨 | R | | | | | | 1 | | | | | 1 | 2 | | | 1 | | 2 | | | 2 | 2 |
| | | 種不明 | 咽頭骨 | R | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | L | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | |
| | ベラ科 | コブダイ | 咽頭骨 | R | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 1 | 2 | 1 | 5 | 5 |
| | | | | L | | | | | | | | | 1 | | | | | | 3 | | ① | | | | | |
| | | | 顎骨 | R | 1 | | | 1 | | | | | | | | 1 | | 1 | 2 | 3 | 5 | | 2 | 5 | 11 | 11 |
| | | | | L | 1 | | | | | | | | | | | | | | 1 | 3 | 2 | | | 3 | 4 | |
| | | タキベラ | 咽頭骨 | R | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | L | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ブダイ科 | ナガブダイ | 咽頭骨 | R | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 | 1 | |
| | | | | L | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | イロブダイ | 顎骨 | R | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | 1 | |
| | | | | L | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | ナンヨウブダイ | 咽頭骨 | R | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | |
| | | | | L | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | 1 | | |
| | | 種不明 | 顎骨 | R | | 2 | | | | 1 | | | | | 1 | | | | | | | | | 2 | 2 | |
| | | | | L | | | | | | | | 1 | | | | | | 1 | | | 1 | 1 | 4 | | | |
| | ハタ科 | A | 顎骨 | R | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 1 | 3 | 1 | 4 | | |
| | | | | L | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | B | 顎骨 | R | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | 2 | | 2 | | |
| | | | | L | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 種不明 | | R | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 2 | | 1 | 2 | 2 | | |
| | | | | L | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | 1 | 1 | | | |
| | | | 方骨 | R | | | | | | 1 | | | | 1 | | | | | | | 1 | 1 | 1 | 1 | | |
| | | | 前鰓蓋骨 | | 1 | | | | | | | | | | 1 | | | | | | 1 | 1 | 3 | 3 | | |
| | | | 角骨 | R | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | 1 | 1 | | |
| | | | 腎鰭血管間棘 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 2 | | 2 | | 2 | | |
| | | | 尾椎 | | | 1 | | | | | | | | | 2 | | | | 2 | 1 | | 4 | 2 | 4 | | |
| | ハタ科or フエダイ科 | 種不明 | 顎骨 | R | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | 3 | 3 | | |
| | | | | L | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | 1 | 1 | | |
| | | | 主上顎骨 | R | | 2 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | 1 | | |
| | | | 擬鎖骨 | R | | | | | | | | | | | 1 | 2 | | | | | 1 | | 2 | 5 | 5 | |
| | | | 方骨 | R | 1 | | | | | | | | | | 2 | 1 | | | | | | | 2 | 1 | 2 | |
| フグ目 | モンガラカワハギ科 | カワハギ類 | 顎骨 | R | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | 2 | 1 | 2 | |
| | | | | L | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 | | |
| | ハリセンボン科 | ハリセンボン | 顎骨 | 歯骨 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| | | | | 棘 | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | 1 | | |
| 科・種不明 | | | 咽頭骨 | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | 1 | 1 | | |
| | | | 主上顎骨 | R | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | 2 | 2 | | |
| | | | | L | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 前鰓蓋骨 | R | | | | | | | | | | | | | | | 6 | 5 | | 6 | 6 | 6 | | |
| | | | | L | | | | | | | | | | | | | | | 3 | 1 | | 3 | 1 | 3 | | |
| | | | 角骨 | R | | | | | | | | | 1 | | | 1 | | | | 1 | | 1 | 2 | 2 | | |
| | | | | L | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | |
| | | | 背鰭棘（第1or2） | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 2 | | |
| | | | 腎鰭血管間棘 | | | 1 | | | | | 1 | | | | | | | | | | 1 | | 2 | 2 | | |
| | | | 第2腎鰭棘 | | | 3 | | 1 | | 1 | | 1 | | 6 | | 7 | | 1 | | | | 10 | | 30 | | |
| | | | 脊椎骨 | | 1 | 2 | | 1 | | 3 | 4 | | 2 | 17 | | 9 | | | | 23 | | 193 | | 70 | | 325 | |
| | | | 尾椎 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | 1 | | |
| 個体数 | | | | | 1 | 11 | | — | 1 | 6 | 2 | 2 | 1 | 8 | 1 | 10 | 1 | 2 | 10 | 26 | 14 | | | | 151 |

凡例　○：キズ有り　　上顎骨　R前上顎骨　L前上顎骨　R上咽頭骨　L上咽頭骨　歯骨　R歯骨　L歯骨　下咽頭骨

第84表　本土産磁器出土状況

| 系統 | 器種 | 分類 | 部位 | トレンチ | 表採・撹乱 | 黒色土層 | 黒色混礫土層 | 地山直上 | 遺構 | こ−17 近代土壙 | さ・し−17・18 岩盤凹 瓦集中部 | さ・し−17・18 地内 黒色混礫土層 | さ・し−17・18 石垣上遺構上 黒色混礫土層 | さ・し−17・18 墓口？前面 黒色混礫土層崖部 | さ・し−17・18 遺物礫集中部 | す・せ−18 石敷遺構下黒色 混礫土層 | す・せ−18 黒色土層 | す・せ−18 遺物礫集中部 | せ・そ−15・16・17 黒色土層 | せ・そ−15・16・17 黒色混礫土層 | せ・そ−15・16・17 礫集中部 | せ・そ−15・16・17 旧階段横2列 右列下茶褐色混礫土層 | せ・そ−15・16・17 南側畦 旧階段直上 | た・ち・つ−12・13・14 黒色土層 黒色混礫土層 遺物集中部 | た・ち・つ−12・13・14 岩盤付近 遺構集中部 | ち−11 北側畦 | て・と−11・12・13 遺物集中部 | て・と−11・12・13 岩盤上黒色土層 | て・と−11・12・13 南側畦 | 不明 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 肥前系 | 碗 | 直口 | 口縁 | 1 |  |  | 1 | 1 | 3 |  |  |  |  |  | 1 |  |  |  | 1 |  |  |  |  | 1 |  |  |  |  |  | 1 | 10 |
| 肥前系 | 碗 | 筒 | 口縁 |  |  |  | 1 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 2 | 2 |  |  |  |  |  |  | 1 |  |  |  | 6 |
| 肥前系 | 碗 | 筒 | 胴部 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 2 |  |  |  |  |  | 1 | 3 |
| 肥前系 | 碗 |  | 口〜底 |  |  |  |  |  | 1 |  |  |  |  |  | 1 |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |  |  |  |  |  |  | 3 |
| 肥前系 | 碗 |  | 口縁 | 1 |  | 1 | 1 | 1 | 6 |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 2 |  |  | 1 |  | 1 |  |  | 2 |  |  | 1 | 17 |
| 肥前系 | 碗 |  | 胴部 | 2 | 1 | 2 | 6 | 5 | 4 |  | 2 |  |  | 2 |  | 1 |  |  | 2 | 4 |  |  |  | 6 |  |  | 2 |  |  |  | 39 |
| 肥前系 | 碗 |  | 底部 | 1 |  |  | 2 | 1 | 4 |  |  |  |  | 1 |  |  |  | 1 |  | 1 |  |  |  |  |  |  | 1 |  |  | 1 | 13 |
| 肥前系 | 小碗 |  | 口縁 |  |  |  | 2 |  | 2 |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 | 1 |  |  |  |  |  |  | 2 |  |  |  | 8 |
| 肥前系 | 小碗 |  | 胴部 | 1 |  |  | 1 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 3 |
| 肥前系 | 小碗 |  | 底部 | 1 |  |  | 1 |  | 1 |  | 1 |  |  |  |  |  |  |  | 1 |  | 1 |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 | 7 |
| 肥前系 | 皿 |  | 口縁 | 3 | 2 | 1 | 1 | 2 |  | 2 | 3 |  |  | 1 |  |  |  | 1 | 2 | 4 |  | 1 |  | 3 | 1 |  | 3 |  |  |  | 30 |
| 肥前系 | 皿 |  | 胴部 | 1 |  |  | 3 | 3 |  |  | 1 |  |  |  |  |  |  |  | 5 | 4 |  |  | 1 | 4 |  |  | 2 |  |  |  | 24 |
| 肥前系 | 皿 |  | 底部 |  |  |  | 3 | 2 |  |  |  |  |  |  | 1 |  |  |  | 1 | 1 |  |  |  | 3 |  |  | 3 |  |  | 1 | 15 |
| 肥前系 | 深鉢 |  | 胴部 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |
| 肥前系 | 瓶 |  | 口縁 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |  |  |  | 1 |
| 肥前系 | 瓶 |  | 胴部 |  |  |  |  |  | 1 |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |  |  |  |  | 1 |  |  | 2 |  |  |  | 5 |
| 肥前系 | 瓶 |  | 底部 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |  |  |  | 1 |
| 型紙摺り | 碗 | 外反 | 口〜底 |  |  |  | 2 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |  |  |  |  |  |  | 12 |  |  |  | 15 |
| 型紙摺り | 碗 | 外反 | 口縁 | 25 |  | 3 | 2 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |  |  | 1 |  |  |  |  | 29 |  |  | 7 | 68 |
| 型紙摺り | 碗 | 外反 | 胴部 | 22 | 1 | 1 | 2 | 2 |  |  |  |  |  | 1 |  |  |  |  | 1 | 1 |  |  |  | 2 | 1 |  | 8 | 1 |  | 4 | 47 |
| 型紙摺り | 碗 | 外反 | 底部 | 13 | 1 |  | 2 |  |  |  |  |  | 2 |  | 1 |  |  |  | 1 |  |  |  |  | 1 |  |  | 10 | 1 |  | 1 | 33 |
| 型紙摺り | 碗 | 直口 | 口〜底 | 1 |  |  | 2 |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 14 |  |  | 2 | 20 |
| 型紙摺り | 碗 | 直口 | 口縁 | 15 | 1 | 3 | 3 | 1 |  |  |  | 1 |  | 2 |  | 1 |  |  | 1 | 1 |  |  |  | 7 |  |  | 30 |  |  | 13 | 79 |
| 型紙摺り | 碗 | 直口 | 胴部 | 15 |  | 4 | 3 | 1 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |  |  |  |  | 2 |  |  | 10 |  |  | 9 | 45 |
| 型紙摺り | 碗 | 直口 | 底部 | 7 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 | 2 |  |  |  |  |  |  | 5 |  | 1 | 6 | 22 |
| 型紙摺り | 小碗 | 直口 | 口縁 |  |  | 1 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |
| 型紙摺り | 皿 |  | 口〜底 | 1 | 1 | 1 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 | 1 |  |  |  |  |  |  | 8 |  |  | 3 | 16 |
| 型紙摺り | 皿 |  | 口縁 | 3 |  |  |  | 3 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 3 |  |  | 2 |  |  | 1 | 12 |
| 型紙摺り | 皿 |  | 胴部 | 2 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |  |  |  |  |  | 1 |  |  | 1 |  |  |  | 5 |
| 型紙摺り | 皿 |  | 底部 | 5 |  |  |  | 2 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 3 |  |  |  |  | 3 |  |  | 3 |  |  |  | 16 |
| 型紙摺り | 香炉 |  | 口・底 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |  |  |  |  |  | 1 | 2 |
| 型紙摺り | 他 |  | 口縁 | 1 | 1 | 1 |  | 1 | 1 |  |  | 1 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |  |  |  |  |  | 2 | 9 |
| 型紙摺り | 他 |  | 胴部 | 1 | 1 |  |  | 1 |  |  |  | 1 |  |  |  |  |  |  | 1 | 1 |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |  | 7 |
| 銅版転写 | 碗 | 直口 | 口〜底 | 2 | 1 |  | 1 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 19 |  |  | 1 | 24 |
| 銅版転写 | 碗 | 直口 | 口縁 | 6 |  |  | 1 |  | 1 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |  |  | 9 |  |  |  | 18 |
| 銅版転写 | 碗 | 直口 | 胴部 | 1 | 1 |  |  | 1 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 | 5 |
| 銅版転写 | 碗 | 直口 | 底部 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 2 |  |  | 2 | 4 |
| 銅版転写 | 小碗 | 外反 | 口〜底 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 4 |  | 1 |  | 5 |
| 銅版転写 | 小碗 | 外反 | 底部 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |  |  |  | 1 |
| 銅版転写 | 小碗 | 直口 | 口〜底 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 4 |  |  |  | 4 |
| 銅版転写 | 小碗 | 直口 | 口縁 | 1 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |
| 銅版転写 | 小碗 | 直口 | 底部 | 1 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |
| 銅版転写 | 小碗 |  | 口〜底 | 17 |  |  |  | 1 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 2 |  |  | 48 |  |  | 2 | 70 |
| 銅版転写 | 小碗 |  | 口縁 | 21 | 1 | 5 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |  |  |  |  | 6 |  |  | 18 |  | 1 | 5 | 58 |
| 銅版転写 | 小碗 |  | 胴部 | 5 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 2 |  |  | 4 | 11 |
| 銅版転写 | 小碗 |  | 底部 | 9 |  | 1 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |  |  |  |  | 1 | 1 |  | 9 |  |  | 3 | 25 |
| 銅版転写 | 皿 | 直口 | 胴部 | 2 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 2 |
| 銅版転写 | 皿 | 直口 | 底部 | 14 |  | 1 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |  |  | 3 |  |  | 4 | 23 |
| 銅版転写 | 皿 |  | 口〜底 | 9 |  | 1 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 9 |  |  |  | 19 |
| 銅版転写 | 皿 |  | 口縁 | 8 | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |  |  | 8 |  |  | 3 | 28 |
| 銅版転写 | 皿 |  | 底部 | 1 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |
| 銅版転写 | 蓋 |  | 口〜底 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |  |  |  | 1 |
| 銅版転写 | 蓋 |  | 胴部 | 1 |  |  |  |  | 1 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 2 |
| 銅版転写 | 不明 |  | 胴部 | 2 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 2 |
| クロム青磁 | 碗 |  | 口縁 | 1 |  |  | 1 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 2 |
| クロム青磁 | 小碗 | 直口 | 口〜底 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 | 1 |  |  |  |  |  |  | 17 |  |  | 1 | 20 |
| クロム青磁 | 小碗 | 直口 | 口縁 | 10 |  | 3 | 2 | 4 |  |  |  |  |  | 1 |  |  |  |  | 6 | 6 |  |  | 1 | 6 |  |  | 7 | 1 |  | 9 | 56 |
| クロム青磁 | 小碗 |  | 口〜底 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |  |  |  | 1 |
| クロム青磁 | 小碗 |  | 口縁 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |  |  |  |  |  |  |  |  | 5 |  | 1 | 2 | 9 |
| クロム青磁 | 小碗 |  | 胴部 | 5 |  | 1 | 1 |  |  |  |  |  |  | 4 |  |  |  |  | 3 |  |  |  |  | 1 |  |  | 2 |  |  | 5 | 22 |
| クロム青磁 | 小碗 |  | 底部 | 5 |  | 2 | 1 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 7 | 1 |  |  |  |  |  |  | 4 |  |  | 4 | 24 |
| クロム青磁 | 皿 | 直口 | 底部 |  |  | 1 |  | 2 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |  |  |  |  |  |  | 4 |
| クロム青磁 | 皿 |  | 口〜底 | 1 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 2 |  |  |  | 3 |
| クロム青磁 | 皿 |  | 口縁 | 2 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |  |  |  | 3 |
| クロム青磁 | 皿 |  | 胴部 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |  |  |  |  | 1 | 2 |
| クロム青磁 | 杯 |  | 口〜底 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 2 |  |  |  | 2 |
| クロム青磁 | 杯 |  | 口縁 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |  |  |  |  |  | 1 | 2 |
| クロム青磁 | 香炉 | 大型 | 口縁 |  | 1 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |
| クロム青磁 | 急須 |  | 口縁 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |
| クロム青磁 | 他 |  | 胴 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |
| 不明 | 碗 | 直口 | 口〜底 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |  |  |  |  |  |  |  | 1 |  |  |  | 2 |
| 不明 | 碗 | 外反 | 口〜底 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |  |  |  | 1 |
| 不明 | 碗 |  | 口〜底 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 2 |  |  | 4 |  |  | 1 | 7 |
| 不明 | 碗 |  | 口縁 | 9 | 1 | 1 |  | 1 | 1 |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |  |  |  |  | 8 |  |  | 6 |  |  | 3 | 31 |
| 不明 | 碗 |  | 胴部 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 2 |  |  |  | 1 |  |  | 1 |  |  |  | 4 |
| 不明 | 碗 |  | 底部 | 2 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |  |  |  | 3 |
| 不明 | 小碗 | 外反 | 口〜底 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 2 | 2 |
| 不明 | 小碗 | 外反 | 口縁 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |  |  | 2 |  |  |  | 3 |
| 不明 | 小碗 | 直口 | 口〜底 | 1 |  | 1 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 | 4 |  |  |  | 7 |
| 不明 | 小碗 | 直口 | 口縁 | 2 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 3 |  |  |  | 5 |
| 不明 | 小碗 |  | 口〜底 | 7 |  | 1 | 3 | 1 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |  |  |  | 1 |  |  | 35 | 2 |  | 2 | 53 |
| 不明 | 小碗 |  | 口縁 | 20 | 3 | 4 | 4 | 6 | 10 | 2 | 1 | 1 | 1 |  | 1 |  |  |  | 8 | 7 |  |  |  | 3 |  |  | 27 |  |  | 7 | 105 |
| 不明 | 小碗 |  | 胴部 | 4 |  | 4 | 4 | 4 | 4 |  |  | 2 |  |  |  |  |  |  | 2 | 4 |  |  |  | 2 | 1 |  | 1 |  |  | 3 | 35 |
| 不明 | 小碗 |  | 底部 | 20 | 1 | 3 | 2 | 5 | 5 |  |  | 1 |  | 1 |  |  |  |  | 6 | 4 |  |  |  | 2 |  |  | 15 |  |  | 4 | 69 |
| 不明 | 碗or小碗 |  | 口・胴 | 13 | 1 | 2 | 5 | 6 |  | 1 |  | 3 |  | 1 |  |  |  | 1 | 9 | 7 |  | 1 |  | 6 |  |  | 13 |  |  | 13 | 82 |
| 不明 | 皿 | 外反 | 口縁 | 1 |  | 1 |  | 1 |  |  |  | 1 |  | 1 |  |  |  |  |  | 2 |  |  | 1 | 1 |  |  | 1 |  |  | 1 | 11 |
| 不明 | 皿 | 小 | 口〜底 |  |  |  |  |  | 1 |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |  |  |  |  |  |  |  | 2 |  |  |  | 4 |
| 不明 | 皿 | 小 | 口縁 | 1 | 1 |  |  | 2 | 2 |  |  |  |  |  |  | 1 |  |  | 2 |  |  |  |  |  |  |  | 4 |  |  | 1 | 14 |
| 不明 | 皿 | 小 | 底部 | 4 | 2 | 3 | 5 | 2 | 7 |  | 2 |  |  |  |  |  |  |  | 3 | 3 | 1 |  |  | 3 |  | 1 | 5 |  |  | 2 | 43 |
| 不明 | 皿 |  | 胴部 | 3 |  | 2 | 4 | 1 | 2 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |  |  |  | 2 |  |  | 2 |  |  | 1 | 18 |
| 不明 | 碗or皿 | 直口 | 口縁 | 1 |  | 1 | 1 | 2 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |  |  | 1 |  |  |  | 7 |
| 不明 | 急須 |  | 口〜底 |  |  | 1 | 3 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 11 |  |  | 1 | 16 |
| 不明 | 急須 |  | 口縁 | 3 |  | 1 | 1 | 1 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 | 1 |  |  |  | 2 | 1 |  | 24 |  |  | 6 | 41 |
| 不明 | 急須 |  | 胴部 | 18 |  | 1 | 1 | 2 |  |  |  |  |  |  |  | 1 |  |  |  | 1 |  |  |  | 8 |  |  | 14 |  |  | 6 | 52 |
| 不明 | 急須 |  | 底部 | 7 |  |  |  |  | 1 |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 | 2 |  |  |  | 3 |  |  | 15 |  |  | 2 | 31 |
| 不明 | 急須 |  | 耳 |  |  |  |  | 1 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |  |  | 4 |  | 1 |  | 7 |
| 不明 | 段重 |  | 口〜底 |  |  |  | 1 | 1 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 | 1 |  |  |  |  |  |  | 3 |  |  |  | 7 |
| 不明 | 段重 |  | 胴部 | 1 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |  |  |  |  |  |  | 2 |
| 不明 | 鉢 | 小 | 口〜底 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |  |  |  | 1 |
| 不明 | 鉢 | 八角 | 口縁 |  |  |  |  |  | 1 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 2 |
| 不明 | 鉢 |  | 胴部 | 1 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |
| 不明 | 鉢 |  | 底部 | 1 |  | 1 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 2 |
| 不明 | 杯 |  | 口縁 | 1 |  | 1 | 2 |  | 1 |  |  |  |  |  | 1 |  |  |  | 1 |  |  |  |  |  |  |  | 7 |  |  | 1 | 15 |
| 不明 | 杯 |  | 胴部 | 1 |  |  | 1 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |  |  | 7 |  |  | 1 | 11 |
| 不明 | 杯 |  | 底部 | 1 |  |  | 1 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 3 |  |  |  | 2 |  |  | 10 |  |  | 1 | 18 |
| 不明 | 瓶 |  | 口縁 |  |  |  |  |  | 1 |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 | 1 |  |  |  |  |  |  | 1 |  |  |  | 4 |
| 不明 | 瓶 |  | 胴部 | 1 |  |  |  | 2 | 2 |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 | 1 |  |  |  | 1 |  |  | 4 |  |  |  | 12 |
| 不明 | 水注 |  | 口縁 |  |  |  | 1 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |
| 不明 | 蓋 | 急須 | 口〜底 | 1 |  |  | 2 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 2 |  |  | 5 |  |  | 1 | 11 |
| 不明 | 蓋 |  | 口〜底 | 2 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |  |  |  | 3 |
| 不明 | 蓋 |  | 口縁 | 1 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |  | 1 |  |  |  | 3 |
| 不明 | 香炉 |  | 口縁 | 1 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |  |  | 2 | 4 |
| 不明 | 香炉 |  | 底部 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 2 |  |  |  | 2 |
| 不明 | 壺 |  | 胴・底 | 1 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 2 |
| 不明 | 他 |  | 口〜底 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 | 1 |
| 不明 | 他 |  | 口縁 | 3 | 1 |  |  |  | 1 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |  |  | 1 |  |  | 1 | 8 |
| 不明 | 他 |  | 胴部 | 26 | 1 | 13 | 7 | 13 | 8 |  |  | 1 |  | 1 |  | 1 |  | 1 | 16 | 8 |  | 1 |  | 8 |  |  | 19 |  | 1 | 6 | 131 |
| 不明 | 他 |  | 底部 | 4 |  |  | 3 | 2 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1 |  |  |  |  | 1 |  |  | 2 |  |  | 1 | 14 |
| 合計 |  |  |  | 408 | 26 | 76 | 98 | 88 | 73 | 5 | 10 | 12 | 3 | 16 | 7 | 5 | 1 | 6 | 105 | 86 | 2 | 5 | 3 | 128 | 7 | 2 | 592 | 5 | 7 | 173 | 1949 |

注　第42〜46図にある遺物は集計に含めていない（観察一覧を参考）
　　不明：近代か？時期の曖昧なものとまとめた

## 第85表　沖縄産施釉陶器出土状況

| 器種・分類 | | | 出土地 | トレンチ | 表採・撹乱 | 黒色土層 | 黒色混礫土層 | 地山直上 | 遺構 | さ・し－17・18 岩盤凹地内 瓦集中部 | 黒色混礫土層 | 地山直上 | 黒色土層 | 黒色混礫土層 | 地山直上 | 黒色混礫土層 石垣上遺構上 | 崖部黒色混礫土層 | 黒色混礫土層 墓口？前面 | せ・そ－15・16・17 黒色土層 | 黒色混礫土層 | 黒褐色混礫土層 | 地山直上 | 石垣裏込め内 | 礫集中部 | 石列下灰集中部 旧階段横2列 | す・せ－18 黒色土層 | 黒色混礫土層 | 地山直上 | 遺物礫集中部 | 黒色混礫土層 石敷遺構下 | 地山直上 石敷遺構下 | そ－13・14 方形遺構内 壁面に漆喰のある | た・ち・つ－12・13・14 黒色土層 遺物集中部 黒色混礫土層 | 瓦礫層 | に－17 近代土壙 | て・と－11・12・13 遺物集中部 | 黒色土層 | 黒褐色混礫土層 | 不明 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 碗 | 灰釉 | | 口縁 | 15 | 1 | 33 | 18 | 23 | 29 | 3 | | | | | | | 4 | | 63 | 42 | 2 | | | | | | | 24 | 4 | | | 29 | 2 | 2 | 7 | | | 13 | 314 |
| | | | 胴部 | 10 | | 5 | 11 | 19 | 3 | 2 | 3 | | | | | | 2 | 2 | 29 | 34 | 1 | | | 1 | | | | 4 | | | 1 | 22 | | 1 | 2 | 1 | | 18 | 171 |
| | | | 底部 | 7 | 1 | 11 | 3 | 14 | 2 | 1 | | | | | | | 2 | | 23 | 18 | 1 | | | | | | | 7 | 1 | | | 23 | | | 11 | 1 | | 3 | 129 |
| | 黒釉 | | 口縁 | 5 | 1 | 8 | 14 | 14 | 4 | 1 | | | | | | | 6 | 1 | 29 | 42 | | | | 1 | | 1 | | 12 | | | | 9 | | | 3 | 1 | | 15 | 167 |
| | | | 胴部 | 4 | | 20 | 6 | 12 | 2 | 1 | | | | | | | 2 | | 25 | 21 | | | | | | | | 7 | 1 | | | 14 | | 1 | 2 | | | 4 | 122 |
| | | | 底部 | 5 | 2 | 4 | 3 | 3 | | | | | | | | | | | 17 | 8 | | | | | | | | 11 | | | | 3 | | | 5 | | | 5 | 66 |
| | カケワケ | | 口縁 | 3 | | 3 | 3 | 9 | | 1 | 1 | | | | | | 1 | | 13 | 8 | 2 | | | 1 | | | | 6 | | | | 8 | | | 1 | | | 3 | 63 |
| | | | 胴部 | 7 | 1 | 9 | 4 | 15 | 2 | 2 | | | | | | | 5 | 1 | 21 | 9 | 2 | | | | | | | 8 | 1 | | 2 | 13 | | | 7 | | | 8 | 117 |
| | | | 底部 | 7 | | 4 | | 1 | 1 | | 1 | | | | | | | | 5 | 4 | 6 | | | | | 2 | 2 | 5 | | | | 3 | | | 2 | 3 | | 2 | 48 |
| | 白化粧有り | | 口～底 | 1 | 2 | | | 2 | 2 | | | | | | | | | | 3 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 17 | | | 5 | 33 |
| | | | 口縁 | 37 | 1 | 21 | 14 | 22 | 11 | 3 | 1 | | | | | | 1 | 2 | 36 | 49 | 2 | | | | | 2 | | 5 | 2 | | | 32 | 1 | | 31 | 2 | | 13 | 288 |
| | | | 胴部 | 23 | 2 | 12 | 9 | 8 | 9 | 1 | 1 | | | | | | 2 | 1 | 25 | 19 | 1 | | | | | | | 1 | 2 | | 2 | 13 | | | 11 | 1 | | 17 | 160 |
| | | | 底部 | 22 | 1 | 3 | 3 | 3 | 2 | 1 | | | | | | | 3 | 2 | 7 | 10 | 1 | | | | | | | | | | 2 | 6 | | | 25 | 3 | | 6 | 100 |
| 小碗 | 灰釉 | | 口縁 | 3 | | 2 | 2 | 1 | 4 | | | | | | | | | | 5 | 4 | | | | | | | | 3 | | | | 2 | | | 1 | 1 | | 3 | 31 |
| | | | 胴部 | | | | 2 | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | 1 | | | | | | | 2 | | | 1 | 8 |
| | | | 底部 | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | 2 | 5 |
| | 黒釉 | | 口・胴・底 | 1 | | 1 | 1 | 3 | 1 | | | | | | | | 1 | | 4 | 3 | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | 1 | 17 |
| | カケワケ | | 口縁 | | | 6 | 4 | 5 | 7 | 3 | 1 | | | | | | 3 | | 4 | 6 | | | | | | | | 5 | | | | 3 | | 1 | | | | 1 | 49 |
| | | | 胴部 | 2 | | 2 | 3 | 1 | 6 | | | | | | | | 3 | | 6 | 3 | | | | | | | | 2 | | | | 3 | | | | | | 2 | 33 |
| | | | 底部 | | 2 | 10 | 1 | 7 | 2 | 1 | | | | | | | 1 | | 6 | 8 | | | | | | 1 | | 2 | | | | 7 | | | | | | 1 | 49 |
| | 白化粧有り | | 口～底 | | | 2 | 1 | 1 | 2 | 1 | | | | | | | 1 | | 4 | 3 | | | | | | | | | | | | | | | 7 | | | | 22 |
| | | | 口縁 | 10 | | 6 | 9 | 5 | 9 | | 1 | | | | | | | | 17 | 16 | | | | | | | | 2 | | | 1 | 12 | | | 2 | 1 | | 6 | 97 |
| | | | 胴部 | 3 | | 2 | | 4 | 1 | | | | | | | | 1 | | 1 | 5 | | | | | | | | 1 | | | | 3 | | | | 1 | | | 22 |
| | | | 底部 | 7 | 2 | 3 | | 2 | 1 | 1 | | | | | | | 1 | 1 | 10 | 7 | 1 | | | | | | | 4 | | | | 8 | | 1 | 10 | | | 5 | 64 |
| 碗or小碗 | | | 胴部 | 2 | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | 6 |
| 皿 | 中 | 灰釉 | 胴部 | | | 4 | | 3 | 2 | | | | | | | | 2 | 1 | 12 | 3 | | | | | | | | 3 | | | | 1 | | | | 1 | | 1 | 33 |
| | | 白化粧有り | 口縁 | 8 | 1 | 5 | 1 | 6 | 3 | 2 | | | | | | | | 2 | 8 | 10 | | | | 1 | | | | 1 | | | | 3 | | | 5 | | | 3 | 59 |
| | | | 底部 | 20 | | 2 | 1 | | 2 | | | | | | | | 2 | | 2 | 4 | | | | | | | | 1 | | 1 | | 3 | | | 4 | 2 | | 3 | 47 |
| | 小 | カケワケ | 口・底 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | 白化粧有り | 口縁 | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 3 | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 7 |
| | 黒釉 | | 口縁 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| | 不明 | | 口・胴・底 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 5 |
| 鉢 | 灰釉 | | 口縁 | 1 | 2 | | 1 | 1 | 3 | | | | | | | | | | 9 | 1 | 8 | | | | | | | 4 | | | | 7 | | 1 | 1 | 2 | 1 | 2 | 44 |
| | | | 胴部 | 1 | 2 | 1 | | 3 | 4 | | | | 1 | | 1 | | | | 22 | 4 | 1 | | | | | 1 | | 4 | | | 1 | 12 | | | 2 | | 1 | 1 | 62 |
| | | | 底部 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | 3 | | 1 | | | | | | | 1 | | | | 1 | | | 1 | 1 | | 1 | 11 |
| | 黒釉 | | 口縁 | | 3 | | | 1 | 2 | | | | | | 1 | | | | 5 | | 2 | | | | | 1 | | 1 | 1 | | | 7 | | | 1 | | | 3 | 29 |
| | | | 胴部 | | | 2 | | 1 | | | | | | | | | | | 2 | | 2 | | | | | | | 2 | | | | 1 | | | | | | | 10 |
| | | | 底部 | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | 1 | | | | | | 1 | | | 1 | | | 1 | 9 |
| | カケワケ | | 口縁 | 13 | 10 | 1 | | 2 | 4 | 1 | | | 1 | | | | | | 14 | 1 | 5 | | | | | 1 | | 1 | 1 | | | 15 | | | 35 | 3 | 1 | 11 | 120 |
| | | | 胴部 | 18 | 19 | 3 | | 3 | 2 | 1 | | | | | | | | | 32 | 12 | 13 | | | | 1 | 3 | | 3 | 2 | | 2 | 42 | | | 45 | 4 | 9 | 15 | 229 |
| | | | 底部 | 2 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 1 | | | | 1 | | | 15 | 2 | | 3 | 28 |
| | 白化粧有り | | 口縁 | | 3 | | | 2 | 2 | | | | | | | | | | 1 | 1 | 1 | | | | | | | 1 | 1 | | | 1 | | | 2 | | 1 | | 17 |
| | | | 胴部 | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | 2 | | | | | | 1 | | 1 | | | 1 | | | | | | | | 8 |
| | 不明 | | 口・胴・底 | 3 | 6 | | | 1 | 1 | 1 | | | | | | | | | 2 | 1 | | | | | | 1 | 1 | | | | | 6 | | | 3 | 1 | 3 | 8 | 38 |
| 鍋 | 黒釉 | | 口縁 | | | 1 | | | 1 | | | | 2 | | 1 | | | | 2 | 4 | | | | | | | | | | | | 5 | | | | | | | 16 |
| | | | 胴部 | 3 | 1 | | | 3 | 2 | | | | 1 | | 1 | | | 1 | 11 | 5 | | | | | | | | 2 | | | | 7 | | | 4 | | 1 | 6 | 48 |
| | 白化粧有り | | 底部 | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 不明 | | 口・胴・底 | 4 | 6 | 2 | | 7 | 7 | 1 | | | 2 | | | | | | 22 | 15 | 2 | | | | 1 | | | 3 | | 2 | | 19 | 2 | 1 | 4 | 1 | 1 | 9 | 111 |
| 壺 | 白化粧有り | | 胴・底 | 1 | 1 | | | 1 | | | | | | 1 | | | | | 1 | 1 | | | | 1 | | | | 1 | | | | | | | | | | 1 | 9 |
| 油壺 | 黒釉 | | 口縁 | | | | | | | | | | | | | | | | 4 | 2 | | | | | | | | | | | | 3 | | | 14 | 1 | | | 24 |
| | | | 胴部 | 14 | 1 | | | | 3 | | | 6 | 1 | | | | | 1 | 13 | 1 | 1 | | | | | 2 | | 2 | 6 | 1 | | 6 | 1 | | 17 | | | 5 | 81 |
| | | | 底部 | 6 | | | | | 1 | | | | | | | | | | 8 | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | 1 | | 10 | 1 | | | 31 |
| 急須 | 大 | 黒釉 | 胴部 | 5 | 7 | 1 | | 1 | 1 | | | | | 3 | 3 | | | | 20 | 11 | | 1 | 1 | | | 3 | 2 | | 6 | | 3 | | | | 4 | 2 | | 9 | 90 |
| | | | 底部 | 1 | | | | | | | | | | | 1 | | | | 7 | 1 | | | 1 | | | | | | | | | 2 | | | 1 | | | 2 | 16 |
| | | 灰釉 | 胴部 | | 2 | | | | 1 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | | | | 1 | | | 8 |
| | 中 | 黒釉 | 口縁 | 2 | 1 | | | 1 | | | | | | | 1 | | | | 6 | 1 | 2 | | | | | 1 | | | | | | 1 | | | 5 | | | 1 | 22 |
| | | | 胴部 | 2 | 1 | | | | | | | | | 1 | | | | | 5 | 3 | | | | | | | | 3 | | | | 1 | | | 3 | 1 | | 2 | 22 |
| | | 白化粧有り | 胴部 | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | | 底部 | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 4 | | | 2 | 10 |
| | | 灰釉 | 胴部 | | 3 | 1 | | 2 | | | | | | | 1 | | | | 3 | 2 | | | | | | | | 1 | | | | 3 | | | | | | 1 | 20 |
| | | | 底部 | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | 3 | | | | | | | | | 2 | | | | 1 | | | 1 | 1 | | | 10 |
| | 小 | 黒釉 | 口縁 | | | | 2 | 1 | | 1 | | | | 1 | | | | | 7 | 3 | | | 1 | | | 1 | | 1 | | 1 | | 2 | | | | | | | 23 |
| | | | 胴部 | 1 | 1 | | 1 | 1 | | | | | | 1 | | | | | 2 | 2 | | | | | | | | 1 | | 1 | | 6 | | | 2 | | | 1 | 20 |
| | | | 底部 | | 1 | | | 2 | | | | | | | | | | | 1 | 3 | | | | | | 1 | | | | | | 3 | | | | 1 | | 1 | 14 |
| | | 白化粧有り | 口縁 | 2 | 4 | | | 1 | 1 | | | | | | | 1 | | | 10 | 7 | 3 | | | | | 2 | | 2 | | | | 2 | | | 10 | 2 | | 4 | 52 |
| | | | 胴部 | 2 | 5 | 2 | | 3 | 2 | 3 | | | | 1 | 1 | 2 | | 2 | 27 | 18 | 4 | | | | | | 1 | 3 | | | | 12 | | | 13 | 3 | 1 | 9 | 112 |
| | | | 底部 | | 6 | | 1 | 1 | 4 | | | | | | | | | | 9 | 3 | 2 | | | | | | | 3 | | | | 2 | | | 14 | | 2 | 3 | 50 |
| | | 灰釉 | 底部 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | 黒釉 | 口縁 | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 1 | | | | | | 1 | | 1 | | | | 2 | | | | | | 1 | 8 |
| | | | 胴部 | | 5 | | | 1 | 3 | | | | | 2 | | | | | 4 | 5 | | | | | | 1 | 2 | 8 | | | 1 | 7 | | | 1 | 1 | | 3 | 44 |
| | | 白化粧有り | 口～底 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 2 |
| | | | 口縁 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 3 | 1 | 6 |
| | | | 胴部 | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | | | | 5 |
| | | 灰釉 | 口縁 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | 2 |
| | | 不明 | 口・胴・底 | 1 | 2 | | | 1 | 2 | | | | | | 1 | | | | | 1 | | | | | | | | | | 1 | | 4 | | | 2 | | | 2 | 17 |
| 酒器 | 黒釉 | | 口・底 | | 1 | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 |
| | 白化粧有り | | 胴・底 | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 3 |
| 水滴 | 灰釉 | | 胴部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 1 |
| | 黒釉 | | 口・胴 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | 2 |
| | 白化粧有り | | 注口 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 |
| | 不明 | | 注口 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 |
| 蓋 | アンダガーミ | 黒釉 | 口～底 | 1 | | | 1 | 1 | | 1 | | | | 1 | | | | | 3 | 2 | 1 | | | | | 1 | | | | | | | | | 3 | | 1 | 7 | 23 |
| | | | 口縁 | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | 1 | 4 |
| | | | 胴部 | | 1 | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | 5 |
| | | | 撮み | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 1 |
| | 急須 | 灰釉 | 底部 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | 黒釉 | 撮み | | | | | | 2 | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | 1 | | | | | | 1 | | | 1 | | | 7 |
| | | | 口縁 | | | | | 1 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 3 | | | | | | 1 | 7 |
| | | | 胴部 | | 1 | | | | 1 | | | | | 1 | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | 7 |
| | | | 底部 | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | 白化粧有り | 撮み | | | | | | 1 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | | 口～底 | | 3 | | 1 | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | 1 | | | | 4 | | | 5 | 2 | | | 17 |
| | | | 口縁 | | 1 | | | 1 | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 3 | | | 3 | 9 |
| | | | 胴部 | | 1 | | | | | 1 | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 4 | | | | 12 |
| | 鍋 | 黒釉・灰釉 | 口縁 | 3 | 5 | | | 4 | 3 | | 2 | | 1 | 1 | | | | | 18 | 15 | | | | | | 1 | | 1 | | 1 | | 3 | | | 11 | 2 | | 10 | 92 |
| | | 黒釉 | 胴部 | 1 | | | | 1 | 2 | | | | | | | | | | 7 | 2 | | | | | | | | 3 | | | | 15 | | | 1 | | | | 21 |
| | | | 底部 | | 2 | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | 2 | 1 | | | | | | | | 1 | | | | 4 | | | | 1 | | | 10 |
| 瓶 | 灰釉 | | 口・胴・底 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 1 | | | 1 | | | | | | 1 | | | 1 | | | | | 1 | 1 | | | | 1 | | | | | | 1 | 18 |
| | 黒釉 | | 口・胴・底 | 2 | 1 | 1 | | 2 | 2 | | | | | | | | | | 4 | 2 | | | | | | | | 6 | | | | 7 | | | 2 | | | 5 | 34 |
| | 白化粧有り | | 口縁 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 1 | 2 | | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 | | | 2 | 8 |
| | | | 胴部 | 4 | 3 | 2 | | 5 | 1 | | | | | | | | | 1 | 4 | 5 | | | | | | | | | | | | 5 | | | 6 | | 1 | 2 | 39 |
| | | | 底部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | 3 | | | | 4 |
| | 不明 | | 口・胴・底 | 1 | | | | | 2 | 1 | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | 1 | | | | 2 | | | | | | | 8 |
| 嘉瓶 | 黒釉 | | 口縁 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 不明 | | 胴部 | 1 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| 花瓶 | 不明 | | 口～底 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 小瓶 | 灰釉 | | 口縁 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 2 |
| | 黒釉 | | 胴部 | | | | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 | | | 1 | 4 |
| 壺or壺 | 黒釉 | | 胴部 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | 3 | 1 | | | | | | | 1 | | | | | | | | 1 | | | | 7 |
| 灯明具 | 黒釉 | | 口・胴・底 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | 1 | | | 3 | | | | 7 |
| 火取 | 筒型 | 黒釉 | 口・底 | 2 | 2 | | | 6 | 1 | 2 | | | | | | | | | 6 | 3 | 2 | | | | | 1 | 1 | 2 | | | | 6 | | | 5 | | | 1 | 40 |
| | 白化粧有り | | 口・胴・底 | 2 | 5 | | | 1 | | 1 | | | | | | 2 | | | 7 | 3 | 2 | | | | | 1 | | 2 | 1 | | | 7 | | | 16 | 2 | | | 52 |
| | 内湾 | 黒釉 | 口・胴 | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | 2 | | | | | 3 | | | | | | 1 | 10 |
| 香炉 | 黒釉 | | 口～底 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| | | | 口縁 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| | 白化粧有り | | 口縁 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | 1 | 3 |
| 火炉 | 直口 | 黒釉 | 口縁 | | 2 | | | 3 | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | 1 | | | | 3 | | | 4 | | | 3 | 18 |
| | | | 胴部 | 1 | | | | 1 | | | | | | | | | | | 7 | | 2 | | | | | 1 | | 2 | | | | 1 | | | 1 | | | | 16 |
| | | カケワケ | 口縁 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | 2 |
| | 内湾 | 不明 | 口縁 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | 2 |
| | | | 胴部 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 2 |
| | 外反 | 黒釉 | 耳 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 1 |
| | 筒型 | 黒釉 | 胴部 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 2 |
| | 白化粧有り | | 口縁 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | | | | | | | 2 |
| | 灰釉 | | 口・胴 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | 2 | | 1 | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | 5 |
| 火鉢or炉 | 不明 | | 口・胴・底 | 1 | | | | | 2 | | | 1 | | 1 | | | | | | 1 | | | | | | | | 2 | | | | 4 | | | 1 | | | | 13 |
| 他 | 灰・黒・黄褐・白 | | 胴・底・耳 | 7 | 4 | 6 | | 2 | 2 | | | | 1 | | | | | | 18 | 11 | | 1 | | 1 | | 2 | | 7 | | | | 24 | | | | | | 8 | 94 |
| 合計 | | | | 317 | 156 | 204 | 124 | 260 | 180 | 39 | 11 | 7 | 7 | 21 | 9 | 9 | 44 | 18 | 749 | 513 | 77 | 3 | 3 | 6 | 2 | 34 | 21 | 2 | 212 | 18 | 10 | 13 | 523 | 8 | 8 | 459 | 56 | 26 | 301 | 4450 |

注　第52～64図にある遺物は集計に含めていない（観察一覧を参考）

## 第82表　染付出土状況

| 器種・分類 | | | | 出土地 | トレンチ | 表採・攪乱 | 黒色土層 | 黒色混礫土層 | 地山直上 | 遺構 | さ・し—17・18 | | | | | す・せ—18 | | せ・そ—15・16・17 | | | | | | | ち—13・14 | | つ—11・13・14 | | | て・と—11・12・13 | | 不明 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | | | 崖部 | 地山直上 | 岩盤凹地内 | | | | | 旧階段下 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | 溝状遺構黒色混礫土層 | | 上層 | 中層瓦集中部 | 黒色混礫土層 | 遺物礫集中部 | 黒色混礫土層 | 黒色土層 | 黒色混礫土層 | 地山直上 | 石垣北側の横 | 地山直上 | 茶褐色混礫土層 | 上階段の下部 | 横2列石列炭入り | 土壙直上 | 遺物集中部 | 黒褐色土層石積と岩盤の間 | 北側畦 | 瓦礫層 | 岩盤付近遺構集中部 | 岩盤上黒色土層 | 遺物集中部 | | |
| 碗 | A | 外反 | | 口～底 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | | 口縁 | 1 | 1 | 11 | 1 | 7 | | | | 1 | | 3 | 1 | | 4 | 2 | | 2 | | 1 | | 1 | 1 | 1 | | | | 3 | 2 | 43 |
| | | | | 胴部 | | | 1 | 1 | 1 | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | 1 | | 2 | | 1 | 1 | 10 |
| | | 直口 | | 口～底 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | 3 |
| | | | | 口縁 | 12 | 2 | 16 | 8 | 13 | 7 | 3 | | 1 | | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | | 1 | 1 | | | | | 4 | 1 | | | 2 | 5 | 91 |
| | | | | 胴部 | 1 | | 2 | 1 | 1 | 1 | | | | | 1 | | 1 | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | 1 | 11 |
| | | | | 底部 | | | 1 | 2 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 |
| | | | | 口縁 | 4 | 1 | 2 | 2 | 1 | 24 | | | | | | | | 1 | 2 | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | 39 |
| | | | | 胴部 | 10 | 2 | 18 | 9 | 16 | 25 | 2 | | 4 | | 1 | | 2 | 5 | 9 | | | | | | | | 2 | | 2 | | 5 | 6 | 118 |
| | | | | 底部 | 5 | 3 | 5 | 3 | 6 | 8 | | | | | 1 | 1 | 1 | 2 | 4 | | | | | | | 1 | | | | 1 | 4 | 5 | 50 |
| | B | 外反 | | 口～底 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | | 口縁 | | 1 | 2 | | 2 | | 1 | | | | | 1 | | | 3 | | | | | | | | | | | | 3 | 1 | 14 |
| | | | | 胴部 | 1 | 2 | 2 | 1 | 3 | | | | | | 1 | 1 | | 2 | 2 | | | | | | | | | | | | | | 15 |
| | | | | 底部 | 2 | 2 | 7 | 1 | 10 | 3 | 1 | | | | 1 | | | 3 | 7 | | | | | | 1 | | 1 | | 2 | | 3 | 3 | 47 |
| | | 直口 | | 底部 | | | 1 | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | | | 底部 | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | | 口～底 | 1 | | | | | 2 | | | | | | 1 | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | 6 |
| | | | | 口縁 | 1 | | 2 | 5 | 4 | 4 | 1 | | | | 2 | | | 2 | 2 | 1 | | | | | 1 | 1 | 2 | | | | | 5 | 33 |
| | | | | 胴部 | | | 2 | 1 | 3 | 1 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | 2 | 12 |
| | | | | 底部 | 2 | | | | 1 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | 6 |
| 小碗 | A | 外反 | | 口～底 | | | | | | 3 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 3 | 2 | 9 |
| | | | | 口縁 | 1 | | 5 | | 4 | | | | | | | 1 | | 4 | | | | | | | | | | | | | 3 | | 18 |
| | | | | 胴部 | | 1 | 3 | | 3 | 1 | | | | | | | | 1 | 3 | | | | | | | 1 | | | | | 1 | | 14 |
| | | | | 底部 | 1 | | 3 | 1 | | 1 | | | | | | 2 | 1 | | 2 | | | | | | | | | | 1 | | 4 | 1 | 17 |
| | | 直口 | | 口～底 | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | 1 | | | | 5 |
| | | | | 口縁 | 1 | | 2 | 3 | | 5 | | | | | | 1 | | 1 | 2 | | | | | | | | | | | | | | 15 |
| | | | | 胴部 | | | 2 | 3 | 2 | | | | | | | | 1 | 1 | 3 | | | | | | 1 | | | | | | | 1 | 14 |
| | | | | 底部 | 4 | | 3 | 2 | 1 | 3 | 1 | | 1 | | | 3 | | | 2 | | | | 1 | | 1 | | | | | | 1 | 2 | 25 |
| | B | 外反 | | 口縁 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | 2 |
| | | | | 胴部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 |
| | | | | 底部 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | 1 | | 2 |
| 皿 | | 小 | 外反 | 口～底 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 2 |
| | | | | 胴部 | 2 | | | 2 | | | | | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 6 |
| | | 外反 | | 口縁 | 1 | 1 | 5 | 1 | 2 | 1 | | | | | | | 1 | 1 | 2 | | | | | | | | | 1 | 1 | | 1 | | 18 |
| | | | | 底部 | | | 1 | 1 | | 1 | | | | | | | | | 1 | | | | | | | 1 | | | 1 | | | | 6 |
| | | 直口 | | 口～底 | 1 | | | | 2 | 2 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | 1 | | | | 1 | 8 |
| | | | | 口縁 | 6 | 1 | 3 | 4 | 4 | 1 | | | 2 | | 1 | | 1 | 3 | 5 | | | | 1 | 1 | | 3 | 1 | 2 | | | 2 | 1 | 42 |
| | | | | 胴部 | | | 1 | 2 | 2 | | | | | | | 1 | | | 1 | | 1 | | | | | | | | 1 | | | 1 | 10 |
| | | | | 底部 | | | 1 | | 2 | 1 | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | 7 |
| | | 大 | | 口縁 | | 1 | 2 | | | | | | | | 1 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | 5 |
| | | | | 底部 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | 中 | | 口縁 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | | 底部 | | 1 | 1 | | | | 1 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | 6 |
| | | 小 | | 口～底 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 2 |
| | | 口縁 | | | 1 | | 4 | 1 | 1 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | 1 | 1 | 13 |
| | | 胴部 | | | | | 6 | | 8 | | | | 1 | | 1 | | | 2 | | | | | | | 1 | 1 | 3 | | | | | | 23 |
| | | 底部 | | | 2 | 1 | 10 | 1 | 10 | 6 | | | 2 | | | 1 | 2 | 2 | 2 | | | | | | 1 | | 1 | 2 | | | 1 | 3 | 47 |
| 鉢 | A | 外反 | | 口～底 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | | 口縁 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 |
| | | | | 底部 | | | | | | 1 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | 直口 | | 口～底 | | | 4 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 6 |
| | | | | 口縁 | 1 | | | | 1 | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| | | 口縁 | | | | | | 1 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| | | 胴部 | | | 6 | 2 | 1 | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | 2 | | 12 |
| | | 底部 | | | | 3 | 1 | | | | | | | | | | 1 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | 6 |
| | B | 外反 | | 口～底 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | C | 口縁 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 盤 | | 胴部 | | | | | | | | | | | | | | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| 杯 | | 外反 | | 口～底 | 1 | | | | | | | | | | 1 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| | | | | 口縁 | | | | | | 1 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | 3 |
| | | 直口 | | 口～底 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | 口縁 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | 底部 | | | | | | | 1 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| 蓋 | | 胴部 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | 口～底 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 |
| 瓶 | | 口縁 | | | | | 4 | 1 | | 3 | | | | | | | | | 1 | | | | | | 1 | | | | | | 1 | | 11 |
| | | 胴部 | | | | 2 | 2 | 1 | 4 | 3 | | | 1 | | | 1 | | 1 | 1 | 2 | | | | | | | | | | | | | 18 |
| | | 底部 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | 頸部 | | | | | | | 2 | 1 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 |
| 蓮華 | | | | | | 3 | 1 | 1 | 1 | | | | | | | 2 | | 2 | | | | | | | | | | | | | 1 | 2 | 13 |
| 他 | | 胴部 | | | 1 | | | 1 | 4 | 2 | | | | | | | | 1 | 2 | | | | 1 | | | 2 | | | | | | 1 | 16 |
| | | 底部 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 合計 | | | | | 71 | 31 | 139 | 62 | 127 | 124 | 10 | 1 | 15 | 1 | 19 | 23 | 19 | 46 | 68 | 3 | 5 | 3 | 2 | 7 | 11 | 14 | 12 | 9 | 11 | 1 | 58 | 50 | 942 |

注 第28～32図にある遺物は集計に含めていない（観察一覧を参考）
A:景徳鎮の可能性あり、B:福建・広東系、C:漳州窯

# 第Ⅵ章　総　括

今回の調査成果について、前章までに略述した。ここでは今一度成果のまとめを行うとともに、若干の課題点についてふれてみたい。

今回の調査地域は文献資料などからすると天界寺の寺域の東側一帯にあたる。今回の発掘調査対象地域は、平成７年に那覇市教育委員会が実施した調査範囲の東側である（第４図）。発掘調査の結果、調査範囲のほぼ中央から南側にかけて琉球石灰岩岩盤が隆起しており、調査範囲の北側に空間的な広がりがみられる。検出された遺構や遺物からすると、16世紀頃からこの一帯が利用され始めたものとみられ、文献にみる創建（1450～56年）～廃寺（明治末期頃）という天界寺の歴史からすると、新しい時期の頃の様子をみせる地域として把握されよう。

隆起してみられる琉球石灰岩岩盤を境に、北側と南側では堆積層の状況や検出された遺構に違いがみられた。北側地区は上面を覆っていた造成層を除去した段階で、東側は岩盤が露出した。岩盤は西側へ階段状に低くなっており、未撹乱の遺物包含層は西側に厚く堆積している。遺物包含層は本地区のほぼ全面にみられるが、石垣擁壁内で途切れ、以西には認められなかった。層厚は厚く残ったところで約60㎝を測り、ジャリの混入具合（上部の約50㎝はジャリが多く、下部の約10㎝はジャリの混入が少ない）により２層に分けられる。しかしながら、出土遺物（青磁、白磁、染付、本土産陶磁器、沖縄産施釉・無釉陶器など）にはほとんど変化はみられなかった。包含層の下は直接琉球石灰岩岩盤になるが、包含層のみられなかった西側は赤土（マージ）が露出する（第19図）。

遺構は土壙（３基）、ウマの埋葬遺構、石垣、石囲い遺構、石積み遺構、ピット群などが検出された。土壙は３基とも岩盤を掘り込んでおり、基本的には平面形が長方形状を呈す（第13図）。北側の２基は壁面に石積み化粧を施したものは注意される。いずれの土壙も16～17世紀頃の遺物が主体で、備前焼の擂り鉢が出土している。

ウマの埋葬遺構は約1.6ｍ×約0.9ｍの大きさの長方形状を呈し、検出された（第19図）。本土産の馬よりもやや小型のようで、埋葬方法を知るひとつの手がかりとなろう。また、上屋がかかっていたものとみられ（第10図）、その近くから16世紀前半～中頃の染付皿（第30図14）が得られている。

石垣は幅が約1.2ｍで、北側地区を広く囲っていた可能性も考えられる。前述の土壙よりは後出のものである。石囲い遺構は石垣西端部の南側に接して検出（第９図）され、漆喰を施す部分も見受けられる（第９図）。時期的には石垣遺構とほぼ同じかとみられるが、機能面などは不明である。

石積み遺構は天界寺の境内と綾門大道との境をなす石垣のようである。南接して検出された、ほぼ同じ方向に延びる石積みは境内の施設の一部をなすとみられるが、詳細は掴めない。ピット群は詳細な状況は掴めなかったが、主要な出土遺物にそれほどの時間差はみられなかった（第１表）。

次ぎに南側地区の状況についてみる。本地区も石垣擁壁の内側と外側で状況が異なり、擁壁内側（東側）は比較的新しい時期までの造成層や遺構が確認され、擁壁外側（西側）は未撹乱の遺物包含層はみられず、基盤の琉球石灰岩岩盤を利用した遺構や地山の赤土を掘り込んだ遺構が直接表土下に検出された。また、南西側では南側を遮る岩盤の下方に向かう敷石遺構が検出され、その周辺では岩盤の凹部を塞ぐように埋めた状況なども確認できた。

まず、石積み擁壁及び造成土を除去した段階で石敷遺構とジャリ敷遺構、石列遺構、階段状遺構が検出された。状況的にはほとんど同時期の遺構かとみられ、関連性も想定できるが、詳細な把握はできなかった。これらの遺構の北側に階段状遺構が、西側に石列遺構が確認されている（第15図１）。階段状遺構は中央の突出した岩盤の上に向かうようであり、当時は岩盤の上部もなんらかの形で利用されていたものと推察される。石列遺構は南北方向に延びるもので、自然のままの石灰岩小礫（10㎝～20㎝）を利用している。階段状遺構の西側まで延びており、この場所と西側の地域を画す意味合いのものかもしれない。

階段状遺構の部分は掘り下げると旧階段、それを切るように石垣遺構が重複して確認され、この場所が重要な位置を占めていたものと考えられる（第15図）。この部分にだけみられる小範囲の土層が堆積しており、この場所を選んで造成がなされたものとみられる。旧階段が積み上げられている土層からは17世紀後半頃の陶磁器類が比較的多いことから、その頃に造成されたものと考えられる。また、旧階段や石垣遺構を覆っている土層からは沖縄産陶器が目立ち、18世紀頃に埋められたもののようである。それからすると、前述の階段状遺構やジャリ敷遺構、石敷遺構、石列遺構などは18世紀以降につくられた可能性が高く、天界寺の終末に近い頃のものかと推察される。

西側（石垣擁壁の外側）では南北方向に延びる溝状遺構、その南端部をなすとみられる舛状遺構、舛状遺構

の南東側及び北側（溝状遺構の西側）に土壙、後者の土壙の南側一帯（溝状遺構の西側）にピット群が検出されている（第17図）。また、東側の琉球石灰岩岩盤に近接して楕円形状に岩盤を掘り込んだ土壙が確認されている。これらの遺構は検出された状況からすると、関連し合うものとして把握されよう。

ヤコウガイの蓋集中部は東側の突出した岩盤に近接して検出されている（第18図）。岩盤露出レベルで確認されており、この場所の初期の利用状況を窺わせている。ヤコウガイの蓋は縦方向になっており、ピットや石列部なども考え合わせると、何らかの意図された空間であったかと推察される。その北側に検出されている土壙（突出した岩盤に接する）も、この空間の一部をなすものかもしれない（第19図）。敷石遺構は今回の調査区の南西隅で検出され（第16図）、あまり人目につかないような配慮をした場所であったかとみられる。

今回の調査では那覇市教育委員会の報告[註1]にあるような古い時期の遺構や造成土などの確認はできなかった。天界寺境内の場所による利用の在り方などについても、今後、検討していく必要があろう。

次ぎに出土遺物についてみよう。14世紀後半～近代の幅広い時期の遺物が得られている。陶磁器類は中国産、タイ産、ベトナム産、本土産、沖縄産のものがみられ、その他にタイ産半練土器、陶質土器、瓦質土器、土器、硬質土器、類須恵器、円盤状製品、煙管、骨製品、貝製品、銭貨、青銅製品、鉄製品、ガラス玉、坩堝、陶板、石器・石製品、瓦、磚、獅子、自然遺物（貝・骨）、ガラス製品など多種多様なものが得られている。

南北両地区の遺構からの主要な出土遺物（第100図）からすると、この地域一帯は16世紀頃以降に利用されたものと解され、各遺構の形成はある時期オーバーラップしながら、利用場所を広げていったものと想定される。これらの遺構とは別に、北側区域の北東隅（て・と－11・12）で遺物集中部が検出された。出土した遺物が白化粧を施した呉須絵付けの沖縄産施釉陶器が目立ち、その他にも近・現代の遺物が主体であった。名前の彫られた硯なども得られている。時期的にはかなり新しくなるものの、その時期の様相を窺わせるものと思料される。

各遺物についてみると、注意されるものも少なくない。青磁では第23図14の鍔縁の鉢、第25図18・19のすかしの香炉、白磁では定形化した灯明皿（第26図26～28）がある。翡翠釉の皿、黄釉磁器の鉢（第37図17）、小碗（第37図18）なども、あまり例をみないものである。天目は量的に少なかったものの、瀬戸天目かとみられるもの（第35図８・10）が注意されよう。

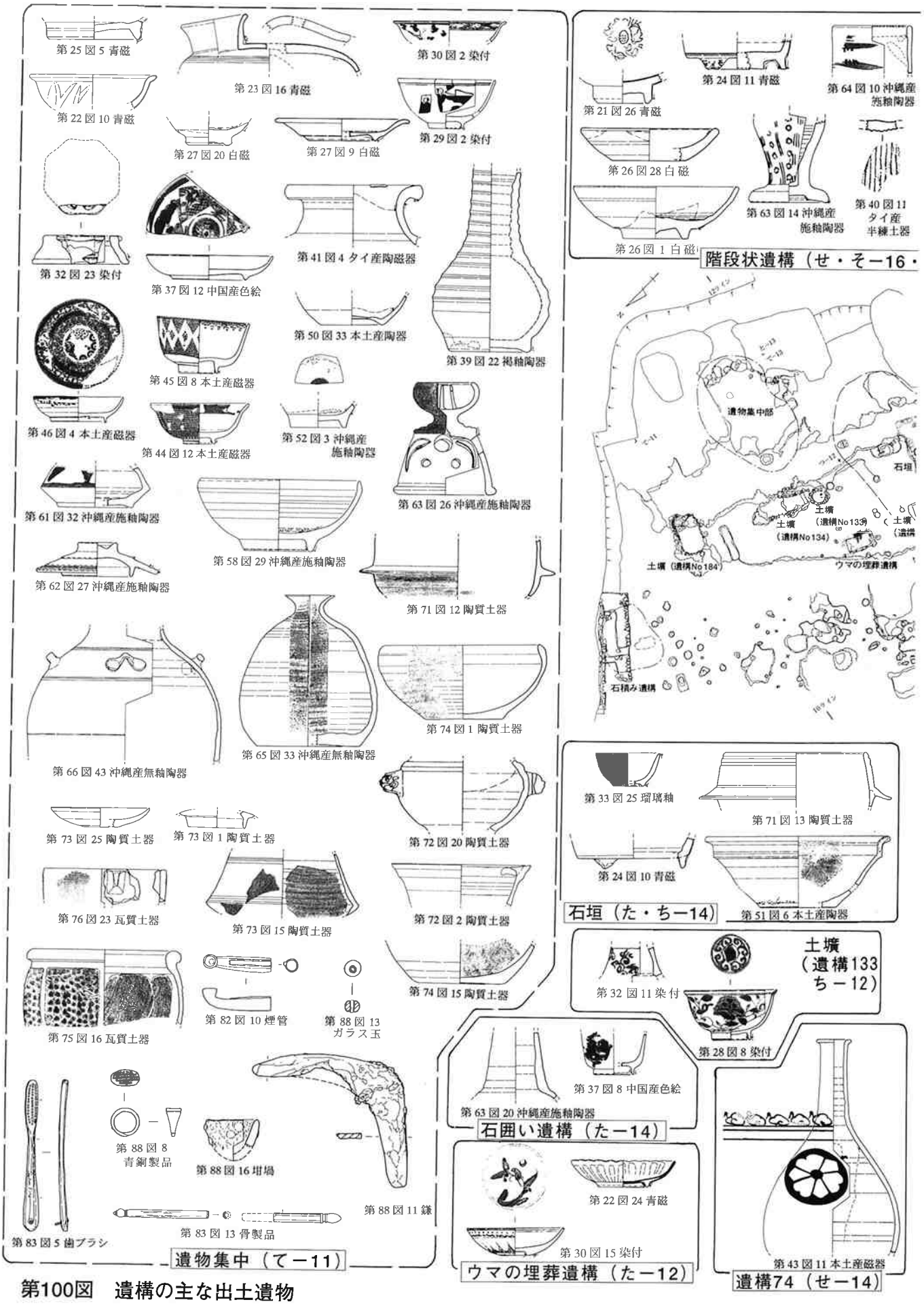
これらの中国産以外に、ベトナム産のものかとみられる青磁蓮弁文碗の底部（第34図１）、翡翠釉の皿（第34図２）、タイ産の白褐釉人物水滴の破片資料（第41図15）なども注意される。特に、後者の遺物はこれまでに報告例をきかないもので、タイ産陶磁器も比較的種類が多かったことを窺わせている。天界寺のような特殊な場所に限られるものなのか、資料の増加を待って検討する必要があろう。

本土産磁器は17・18世紀頃の肥前系のものが主流をなし、器種も豊富で、南側区域を中心に出土している。近代以降の型紙刷りなどは北側区域の遺物集中部（て・と－11・12）から多く得られている。本土産陶器では備前焼の擂り鉢が北側区域の下部遺構から主に出土している。沖縄産の施釉・無釉陶器、陶質土器、瓦質土器は多種多様で量も豊富である。出土状況は本土産磁器と似通っており、南側区域と北側区域の遺物集中部に偏る傾向がみられた。湧田古窯[註2]、壺屋古窯[註3]の成果などもあり、詳細な検討を加える時期にきているのかもしれない。また、硬質土器としたものは素地や成形法が特徴的で、鹿児島県浜町遺跡[註4]の炮烙と類似し、また、壺屋古窯のフライパン状製品とも類似する。

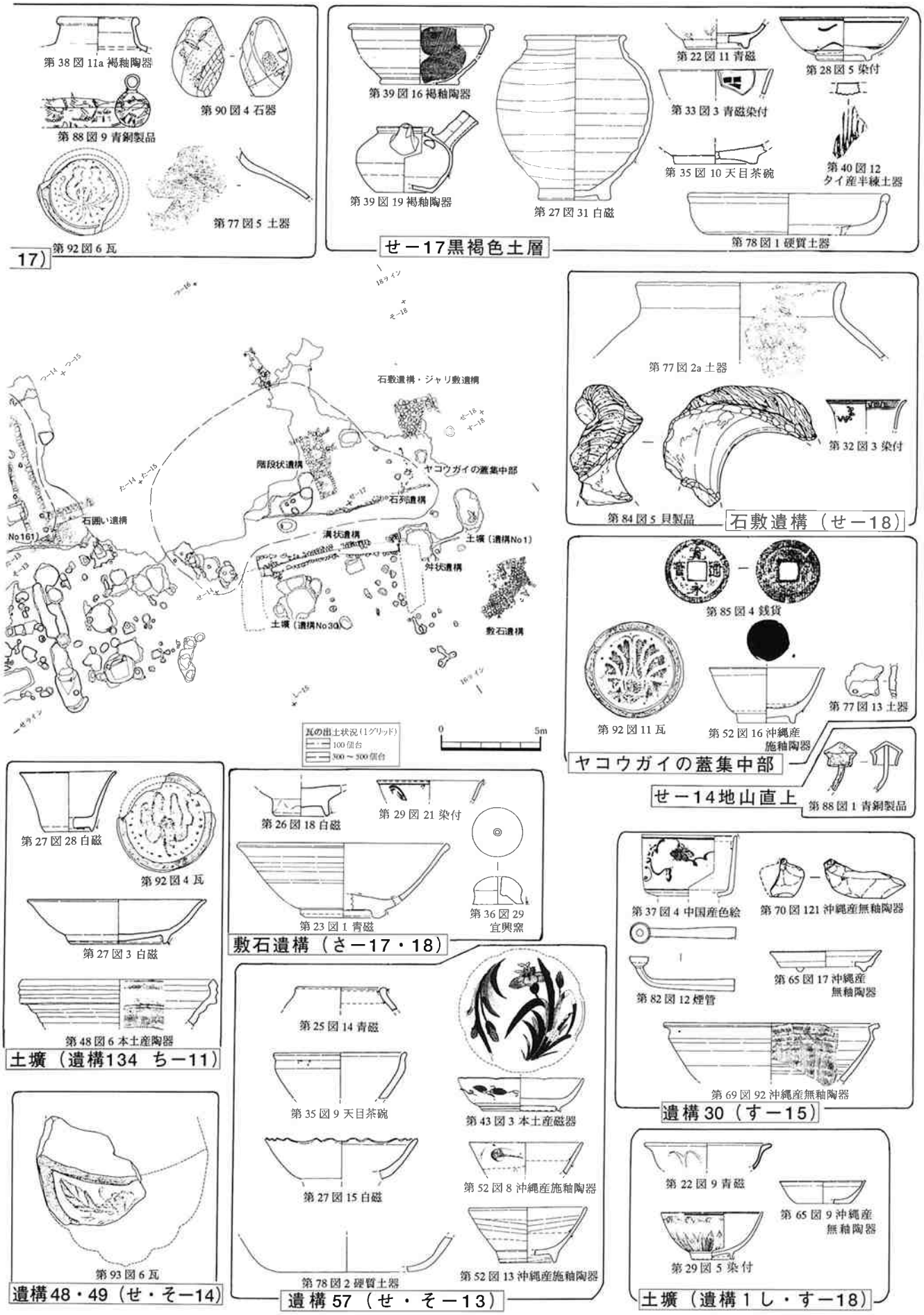
煙管では釣鐘型の雁首がすべて瓦質であり、制作行程をおもわせる資料（第82図３～４）の出土は注目される。また、銭貨は無文銭が多く、有文銭は寛永通宝が主体で、いずれも南側区域に集中していることが注意されよう。ヤコウガイは匙製品だけでなく、蓋の集中部もあり、また、近接する御細工所跡[註5]孔子廟[註6]からも多くのヤコウガイが報告されていることなどを考え合わせると興味深い。石器では石球やメノウ製品などが注意される。大量に得られている瓦のほとんどは明式瓦であり、軒丸瓦・軒平瓦の瓦当文様は湧田古窯や首里城[註7]などから報告されているものの範疇に含まれる。

＜註＞

註１．金武　正紀・島　弘「天界寺跡」『那覇市文化財調査報告書 第43集』那覇市教育委員会　2000.3
註２．大城　慧・金城　亀信「湧田古窯跡（Ⅰ）」『沖縄県文化財調査報告書 第111集』　沖縄県教育委員会　1993.3
註３．島　弘「壺屋古窯群Ⅰ」『那覇市文化財調査報告書 第23集』那覇市教育委員会　1992.3
註４．「浜町遺跡」鹿児島県立埋蔵文化財センター　2000
註５．金武　正紀・島　弘「御細工所跡」『那覇市文化財調査報告書 第18集』那覇市教育委員会　1991.3
註６．「首里国学孔子廟」『文化課紀要』第７号　沖縄県教育委員会　1991.3
註７．大城　慧　「首里城跡」『沖縄県文化財調査報告書 第133集』沖縄県教育委員会　1998.3

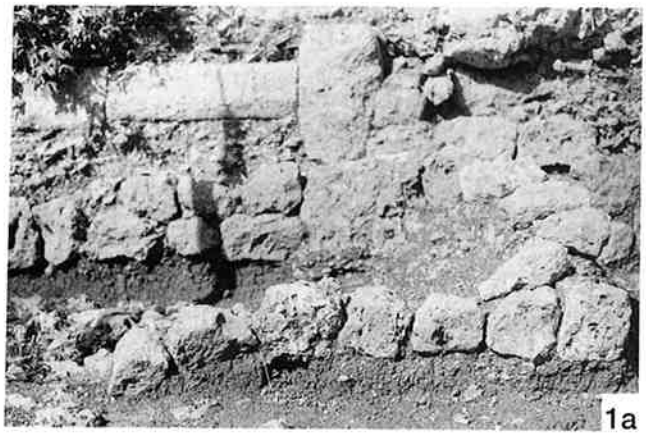


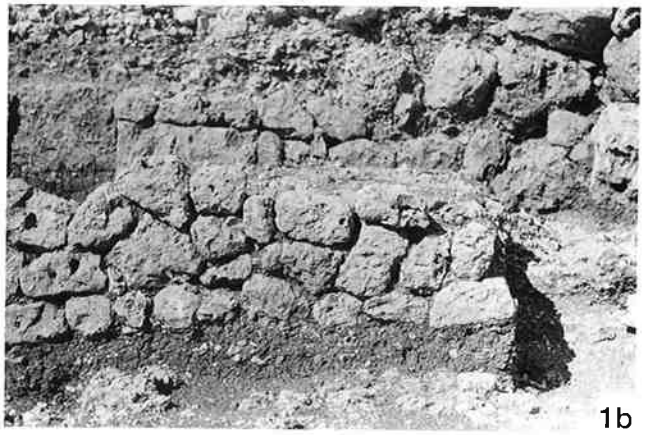

第100図　遺構の主な出土遺物

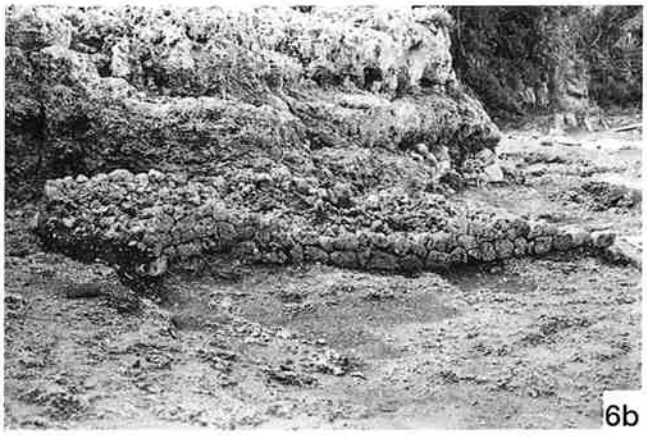

第38図11a 褐釉陶器
第90図4 石器
第88図9 青銅製品
第77図5 土器
第92図6 瓦
17)
第39図16 褐釉陶器
第22図11 青磁
第28図5 染付
第33図3 青磁染付
第39図19 褐釉陶器
第27図31 白磁
第35図10 天目茶碗
第40図12 タイ産半練土器
第78図1 硬質土器
せ－17黒褐色土層
第77図2a 土器
第32図3 染付
第84図5 貝製品
石敷遺構（せ－18）
石敷遺構・ジャリ敷遺構
階段状遺構
ヤコウガイの蓋集中部
石列遺構
石囲い遺構
No161
溝状遺構
土壙（遺構No1）
舟状遺構
土壙（遺構No30）
敷石遺構
瓦の出土状況（1グリッド）
100個台
300～500個台
0
5m
第85図4 銭貨
第92図11 瓦
第52図16 沖縄産施釉陶器
第77図13 土器
ヤコウガイの蓋集中部
せ－14地山直上
第88図1 青銅製品
第27図28 白磁
第92図4 瓦
第27図3 白磁
第48図6 本土産陶器
土壙（遺構134 ち－11）
第26図18 白磁
第29図21 染付
第23図1 青磁
第36図29 宜興窯
敷石遺構（さ－17・18）
第37図4 中国産色絵
第70図121 沖縄産無釉陶器
第82図12 煙管
第65図17 沖縄産無釉陶器
第69図92 沖縄産無釉陶器
遺構30（す－15）
第25図14 青磁
第35図9 天目茶碗
第43図3 本土産磁器
第27図15 白磁
第52図8 沖縄産施釉陶器
第78図2 硬質土器
第52図13 沖縄産施釉陶器
遺構57（せ・そ－13）
第93図6 瓦
遺構48・49（せ・そ－14）
第22図9 青磁
第65図9 沖縄産無釉陶器
第29図5 染付
土壙（遺構1し・す－18）

# 図　　版

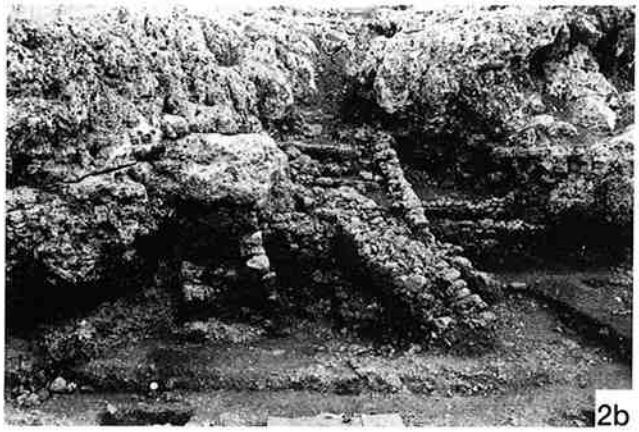
図版１　上：調査地区全景　　下：調査地区南側

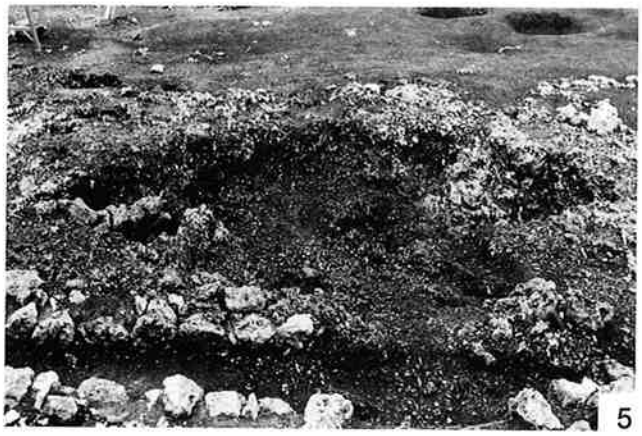


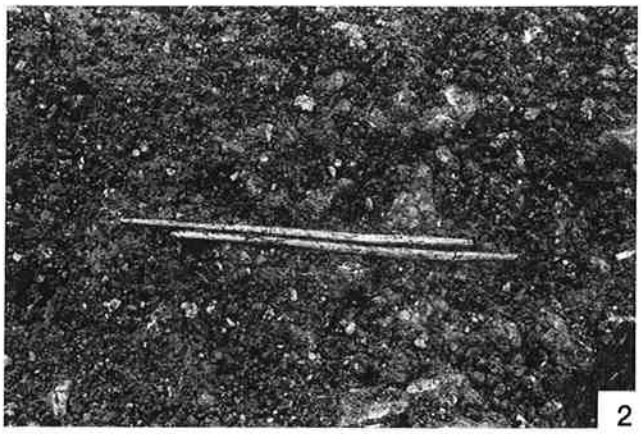



図版２　遺構検出状況Ａ　1a.b. 石積み遺構（ち・つ－９）　2. 石囲い遺構（た－14）　3. 黒色土層（つ－11南壁）
4. 土壙（ち－11・12）　5. ウマ埋葬遺構（た－12）　6a.b. 石垣（た・ち－14）

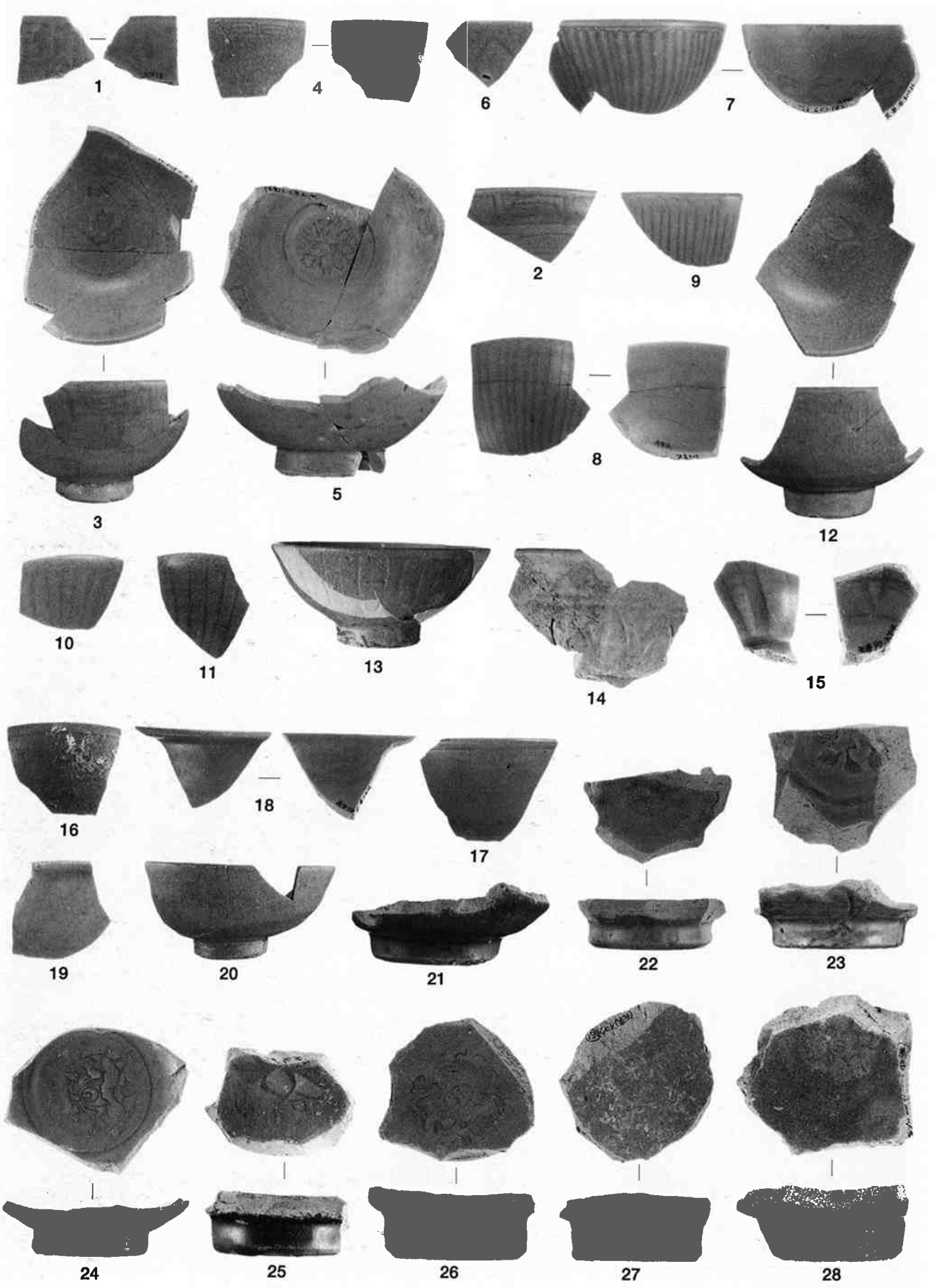




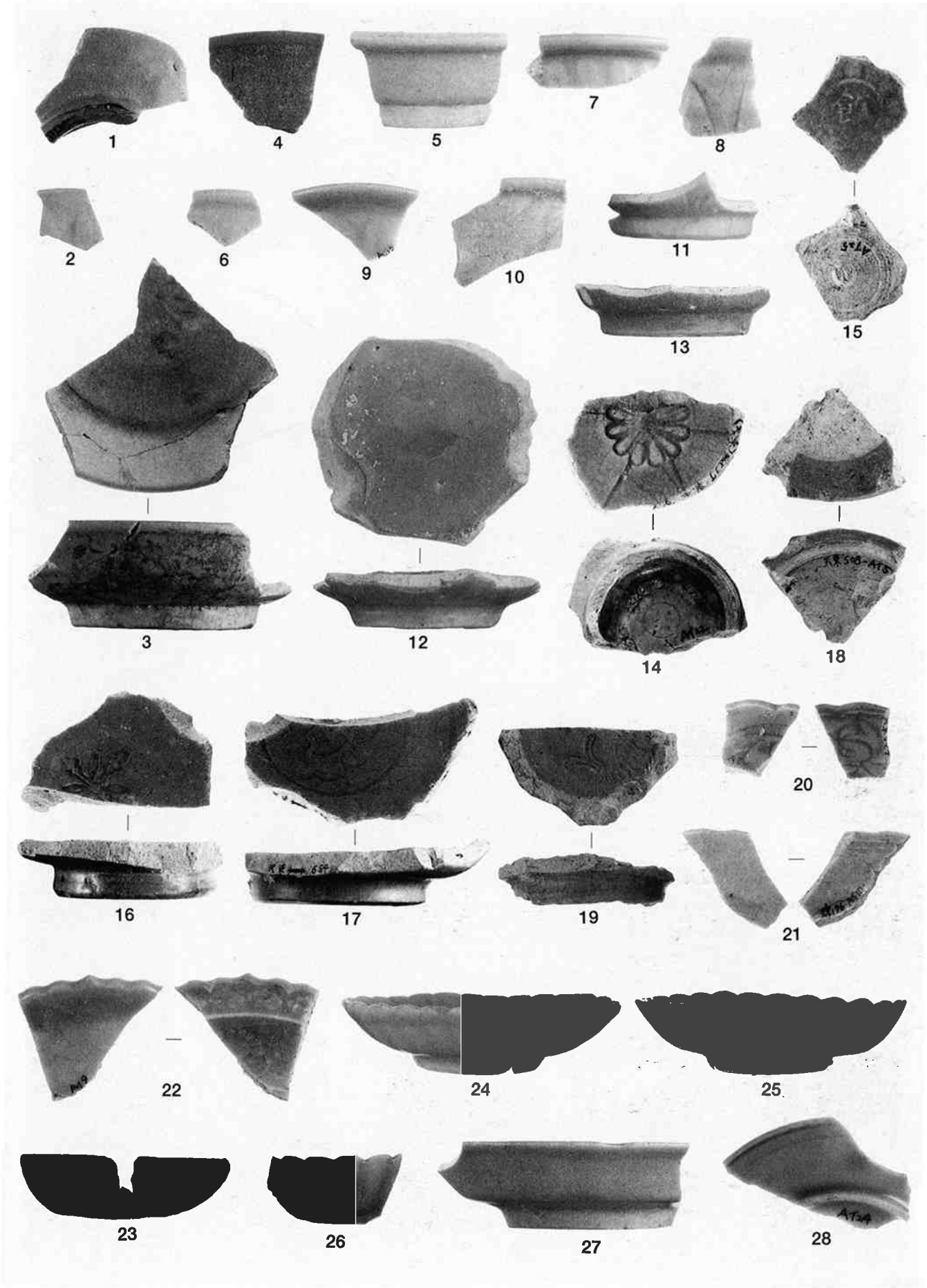
図版 3　遺構検出状況 B　1. 石列遺構（す－16～18）　2a.b.c. 階段状遺構（せ・そ－16・17）　3. 石敷遺構（せ－18）
4. 土壙、溝状遺構、舛状遺構、柱穴（し・す－15～18、地山面）　5. 土壙完掘（No.30、す－15）　6. 土壙断面（No.48.49、せ・そ－14）



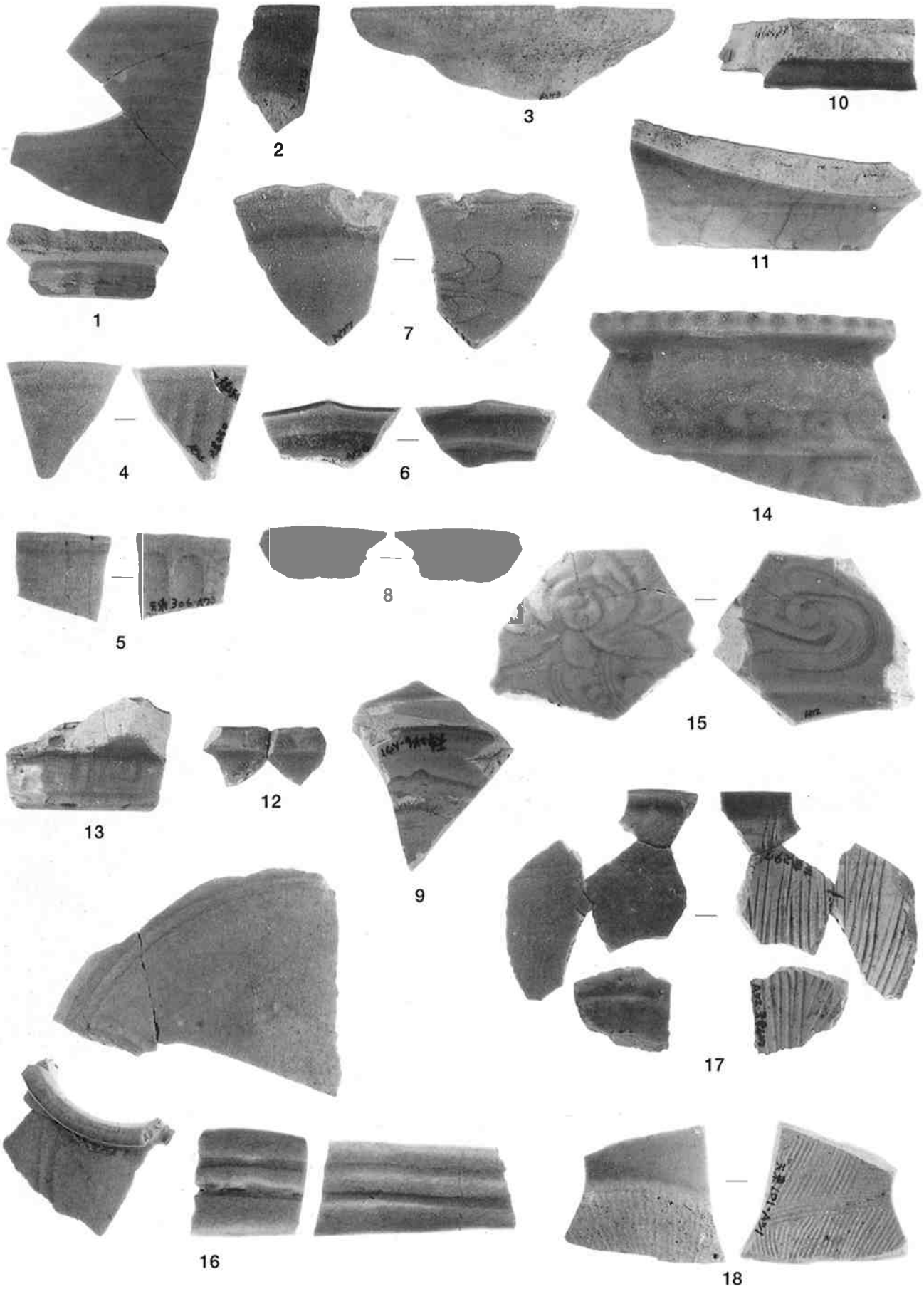
図版 4　遺物検出状況、他　1. ヤコウガイの蓋集中部（す・せ－18）　2. 箸状骨製品（す－17）　3. 褐釉陶器壺
4. 肥前磁器瓶（せ－15）　5. 沖縄産無釉陶器皿（せ－17）　6a.b. 発掘調査作業状況　7. 遺構実測作業状況



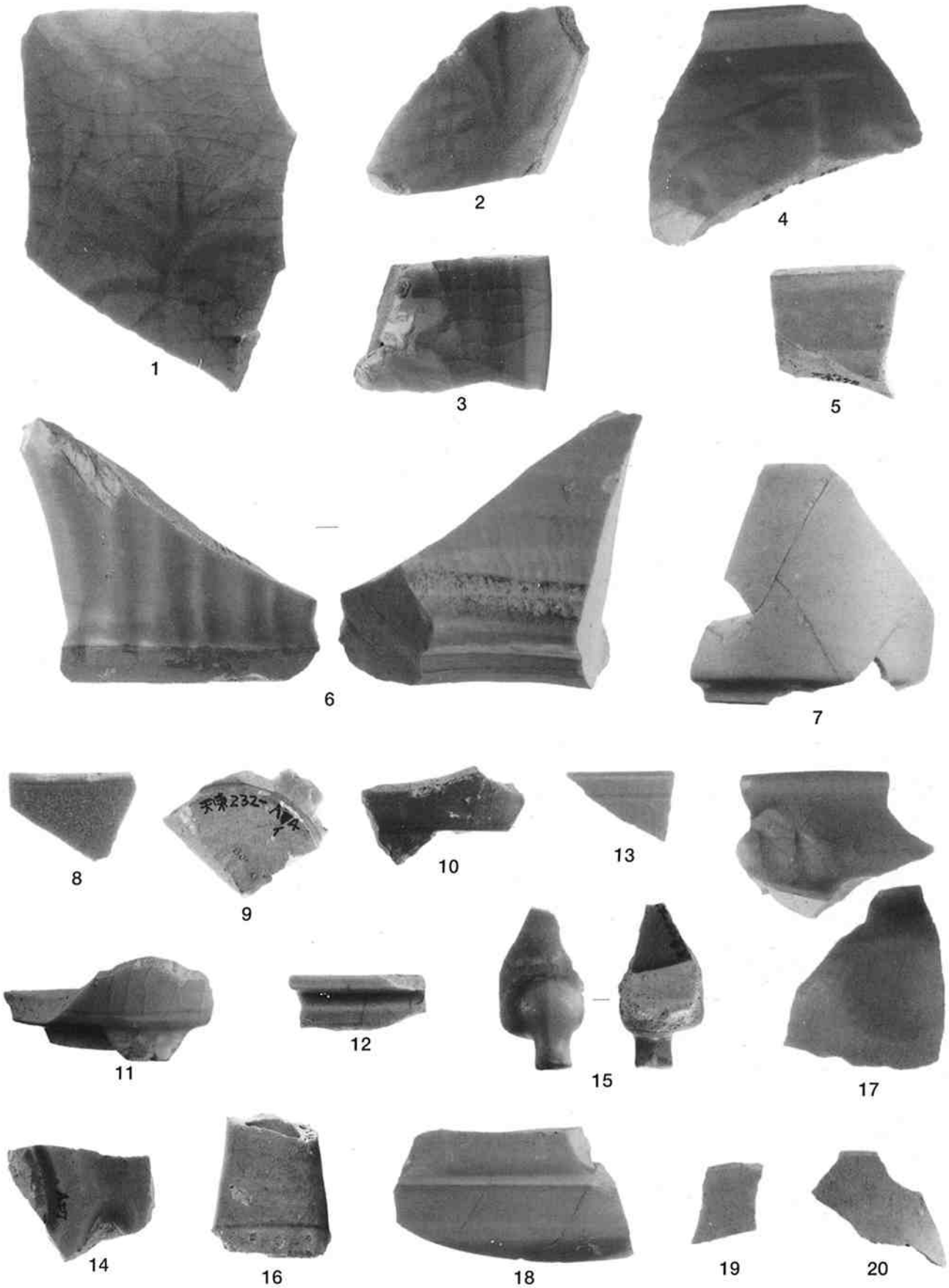

図版５　青磁（1）



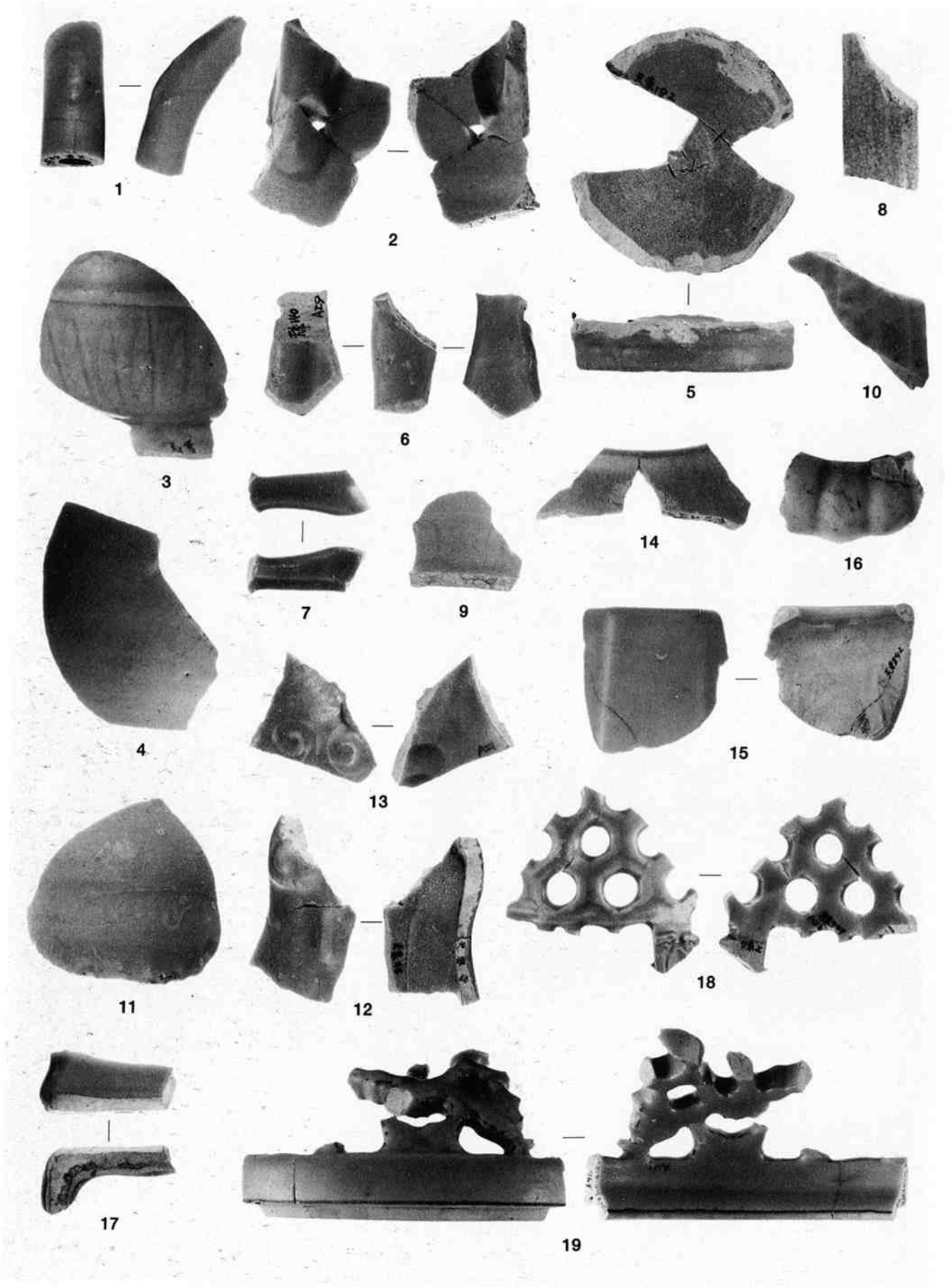

図版6　青磁（2）



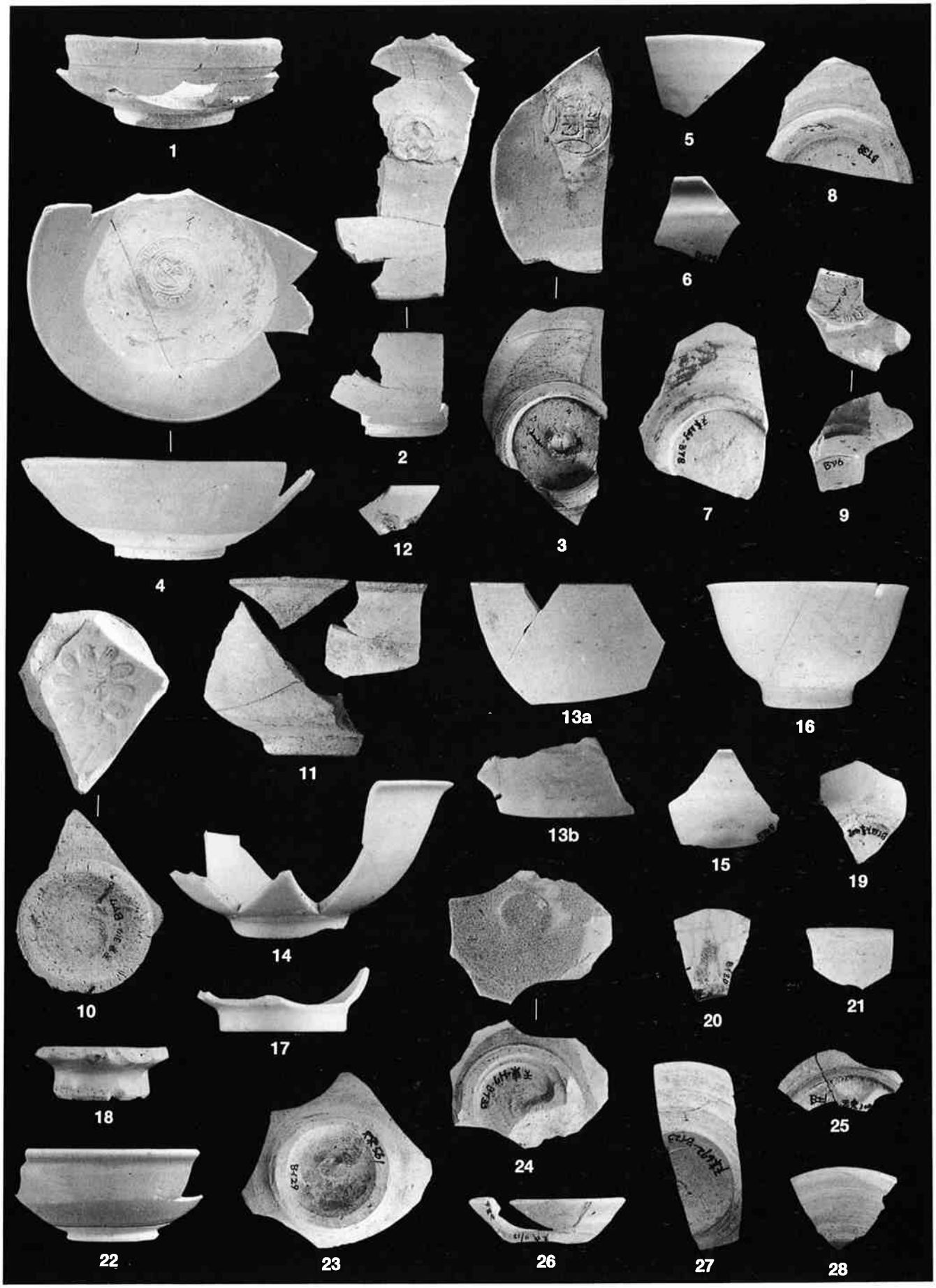

図版7　青磁（3）



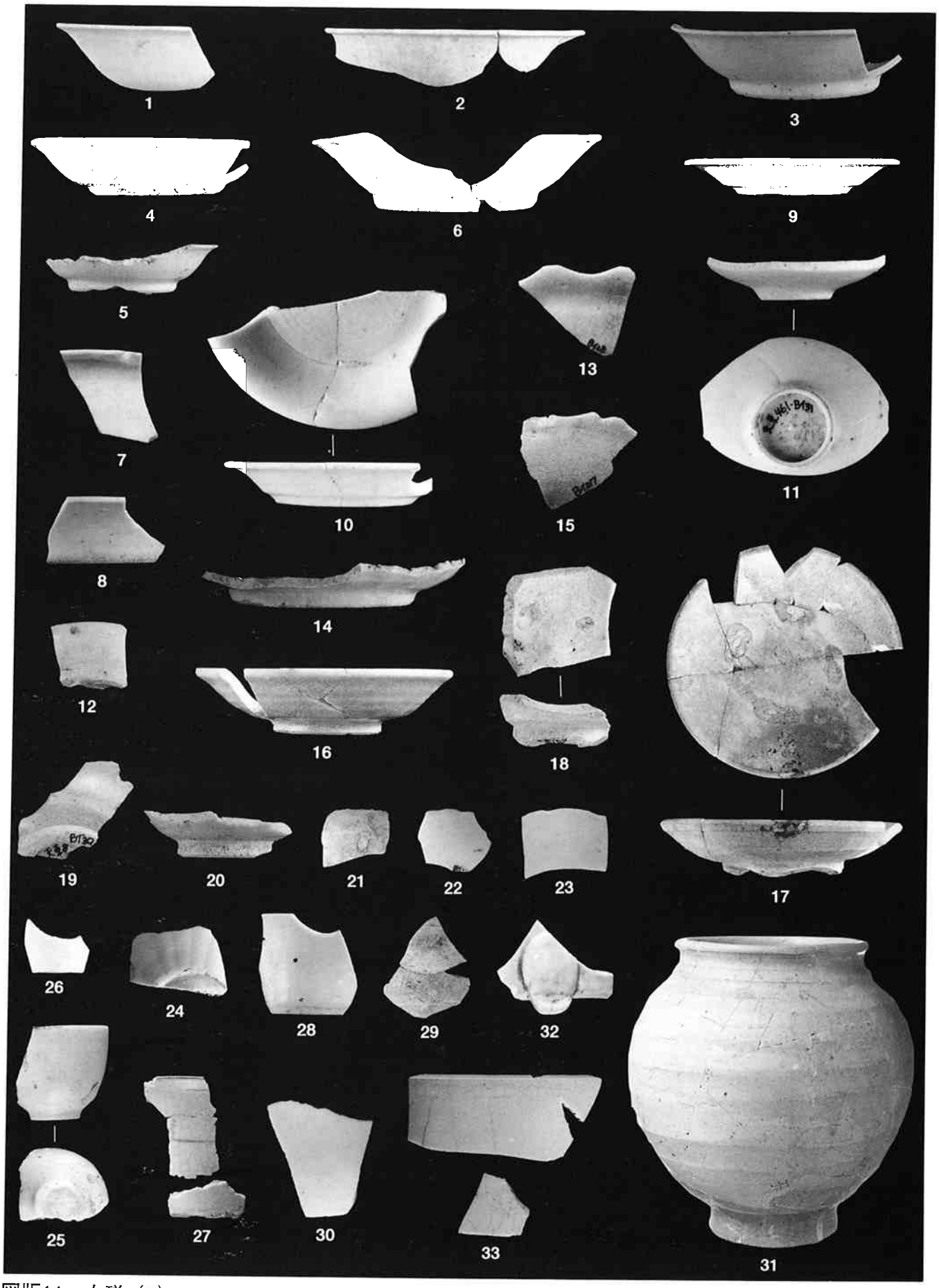

図版8　青磁（4）



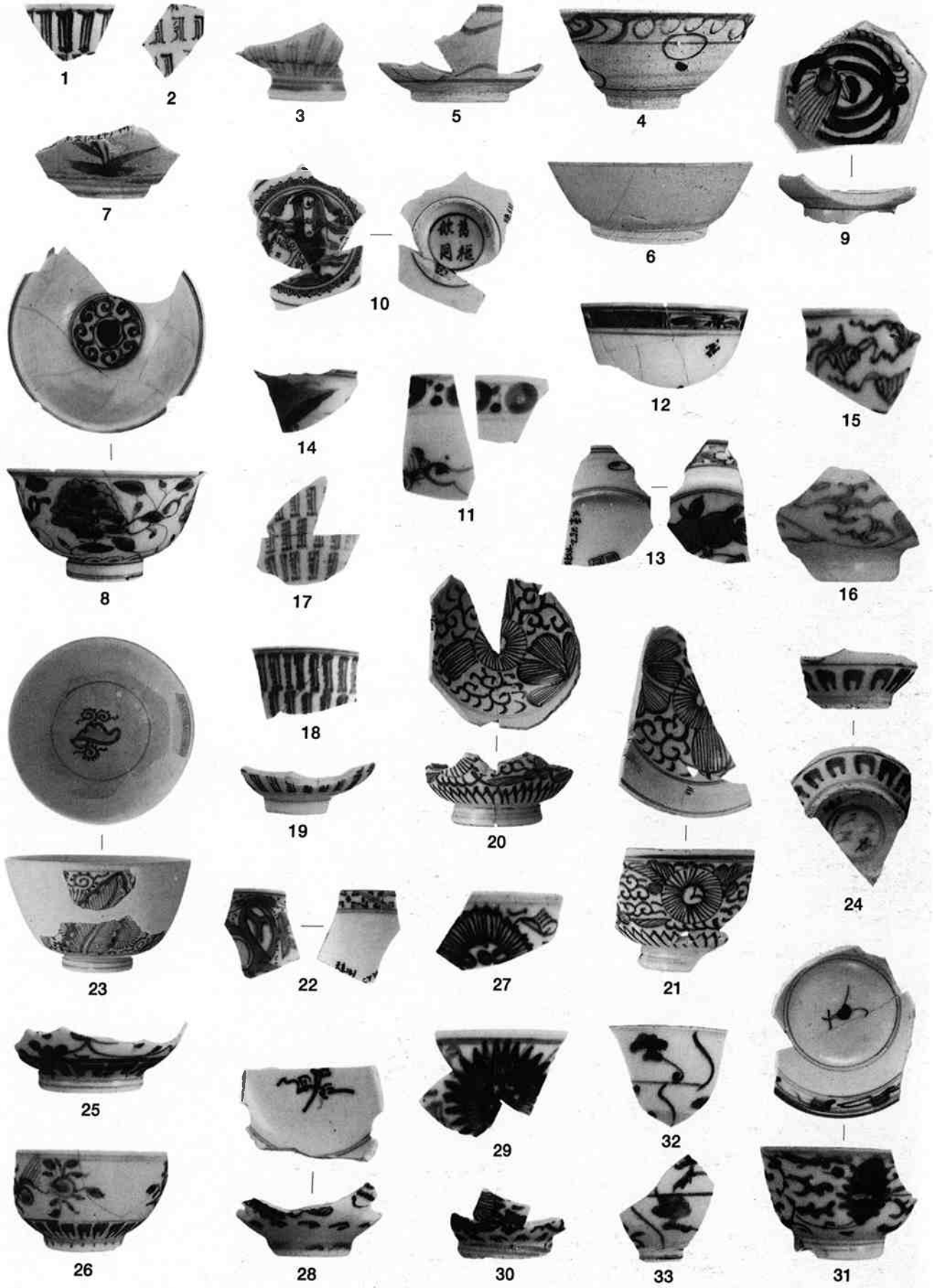

図版 9　青磁（5）


1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13a
13b
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28

図版10　白磁（1）


1
2
3
4
6
9
5
13
7
10
15
11
8
14
12
16
18
17
19
20
21
22
23
26
24
28
29
32
25
27
30
33
31

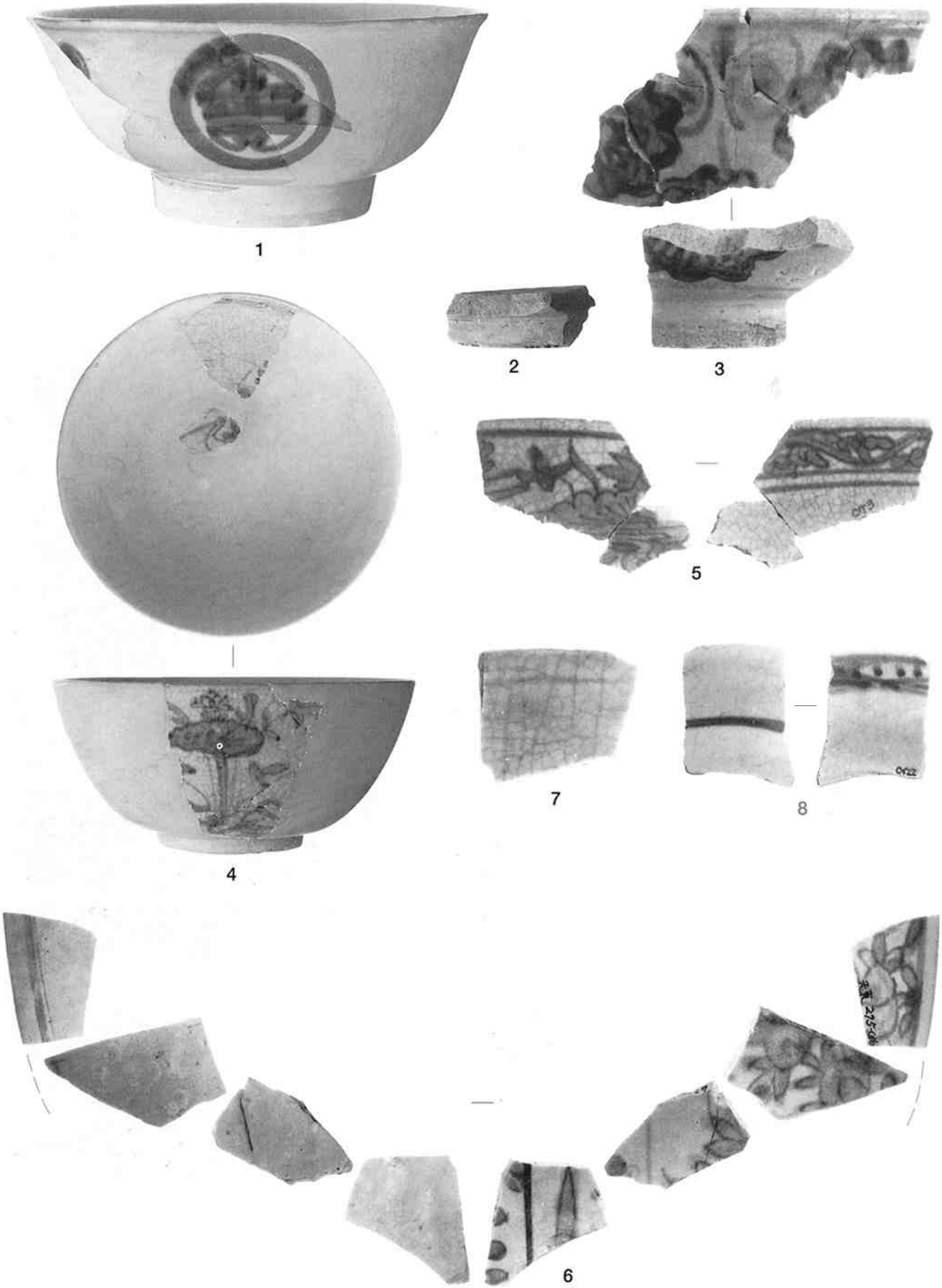
図版11　白磁（2）


1
2
3
5
4
7
10
6
9
8
14
11
12
15
13
17
16
18
19
20
24
23
22
27
21
25
29
32
26
28
30
33
31

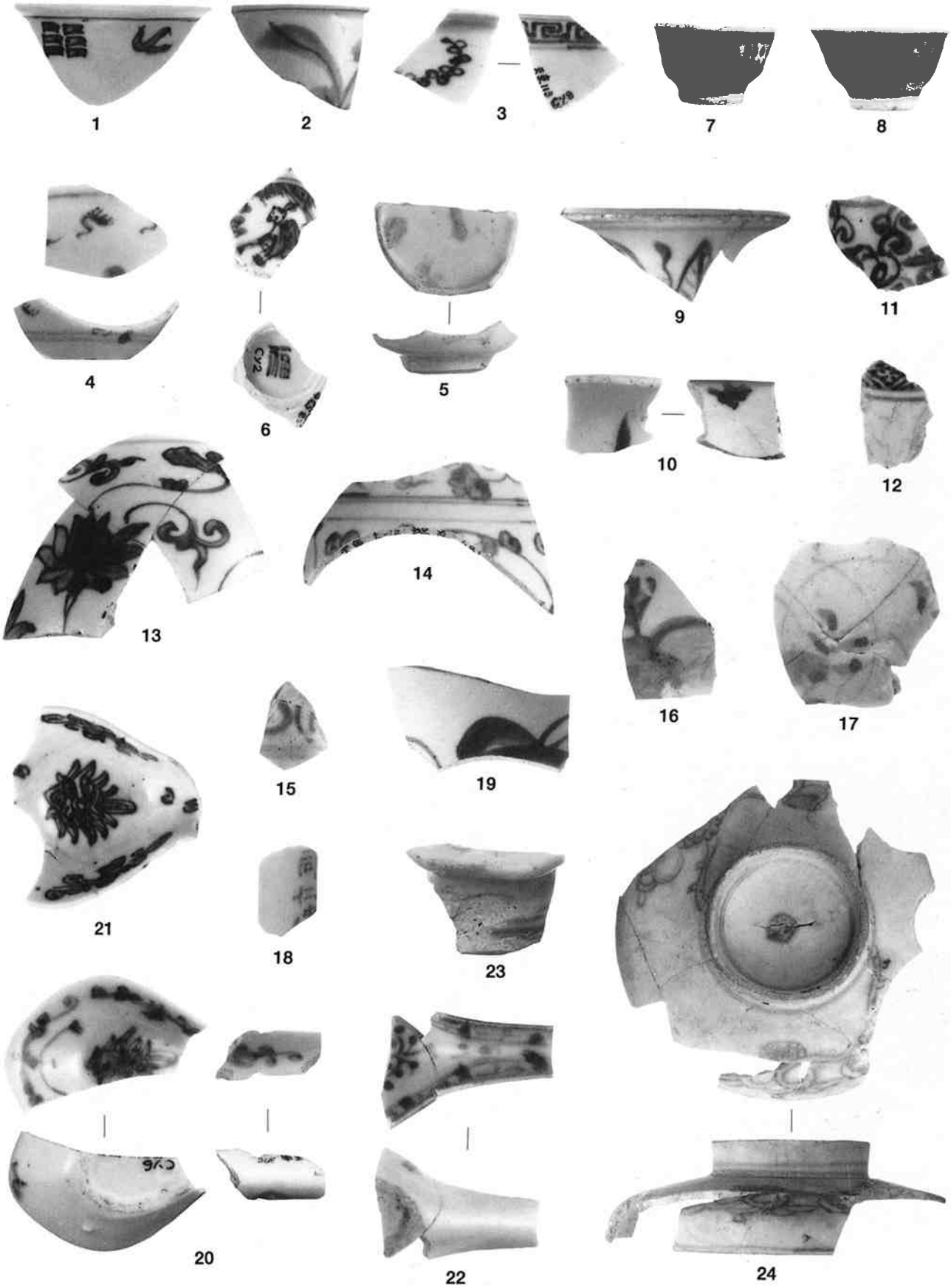
図版12　染付（1）

図版13　染付（2）

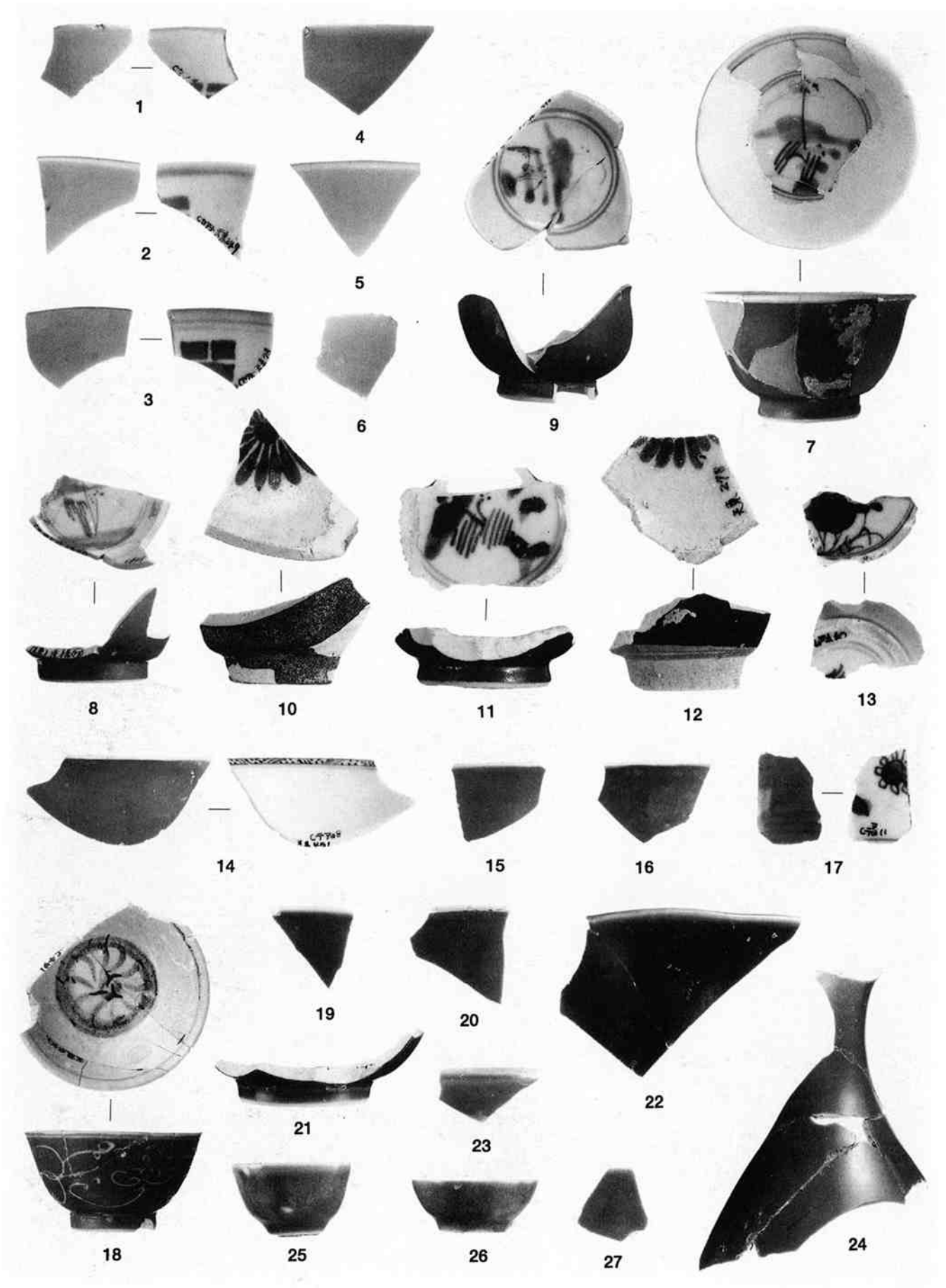
図版14　染付（3）



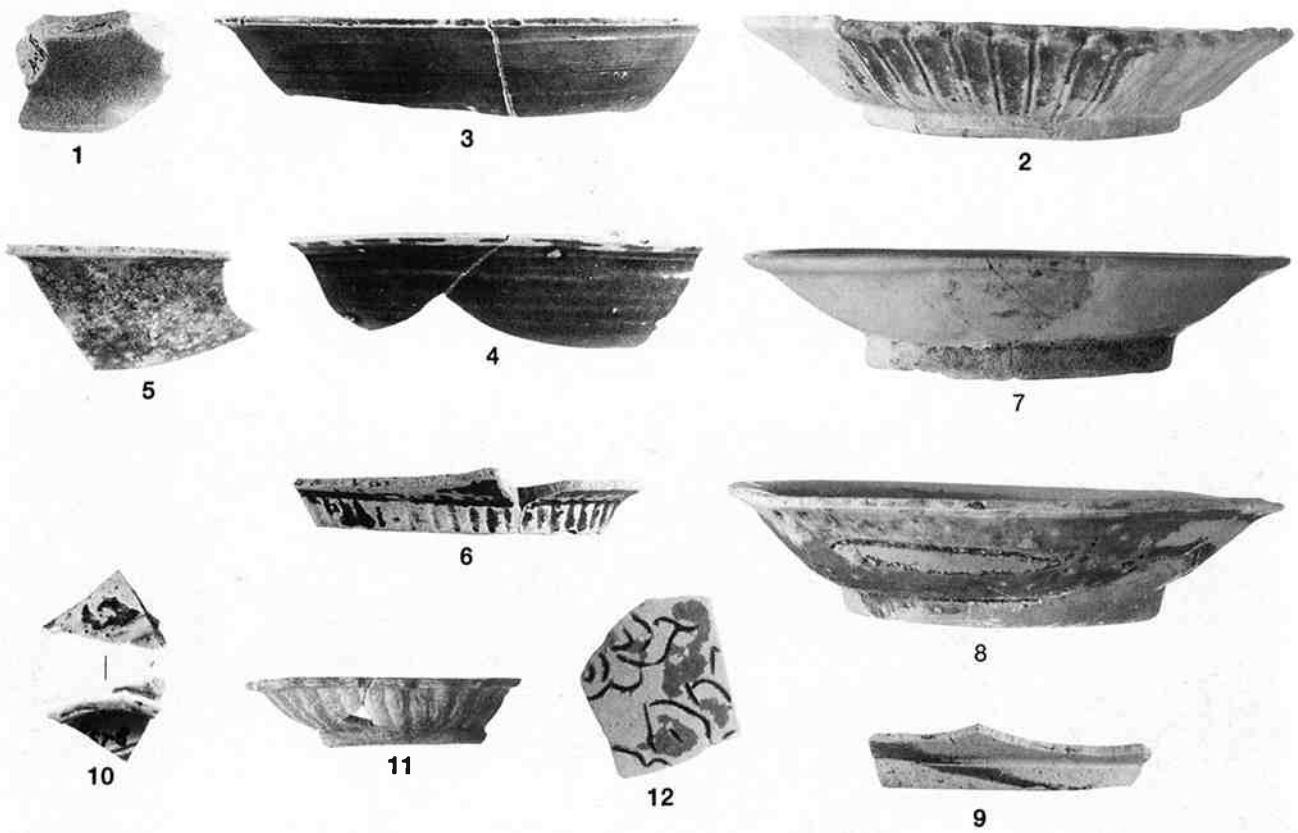

図版15　染付（4）



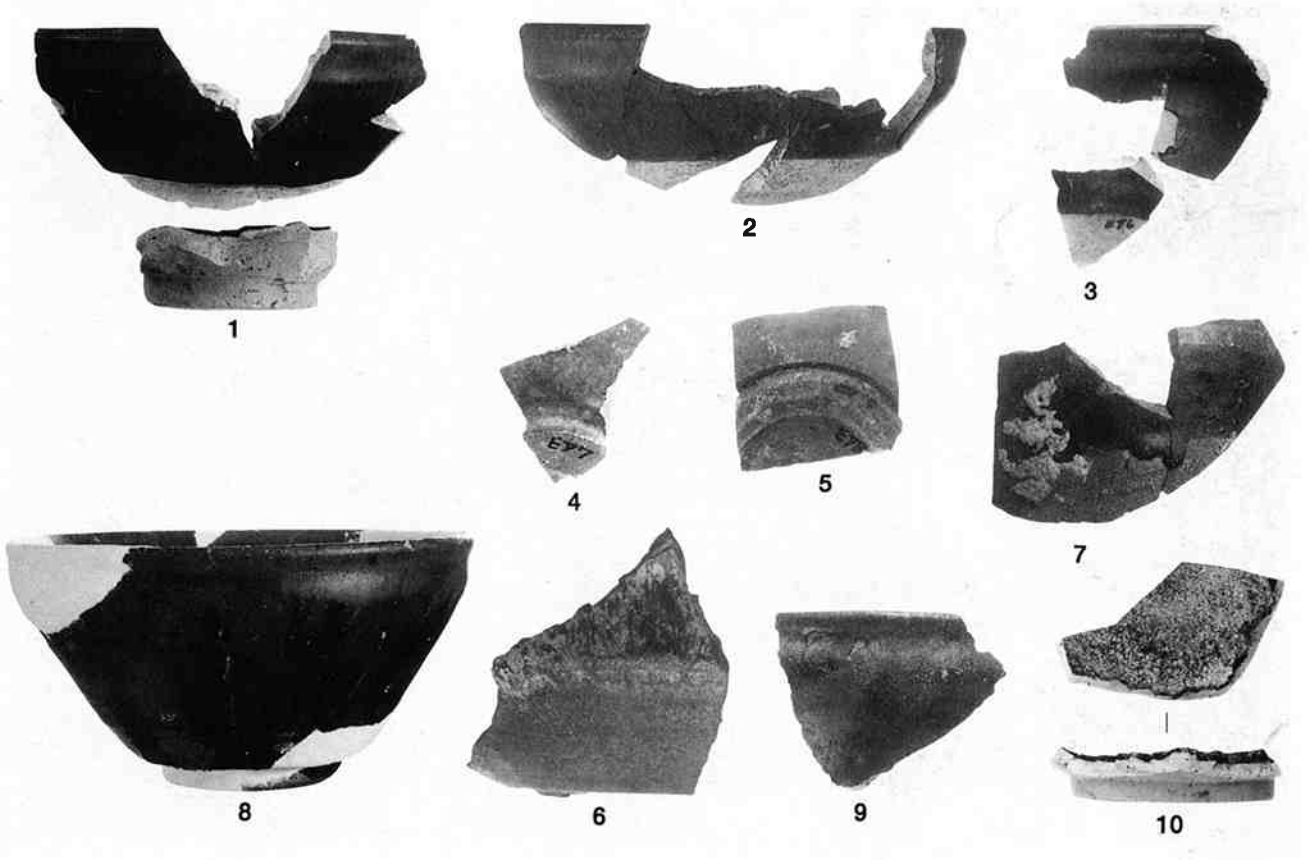

図版16　染付（5）



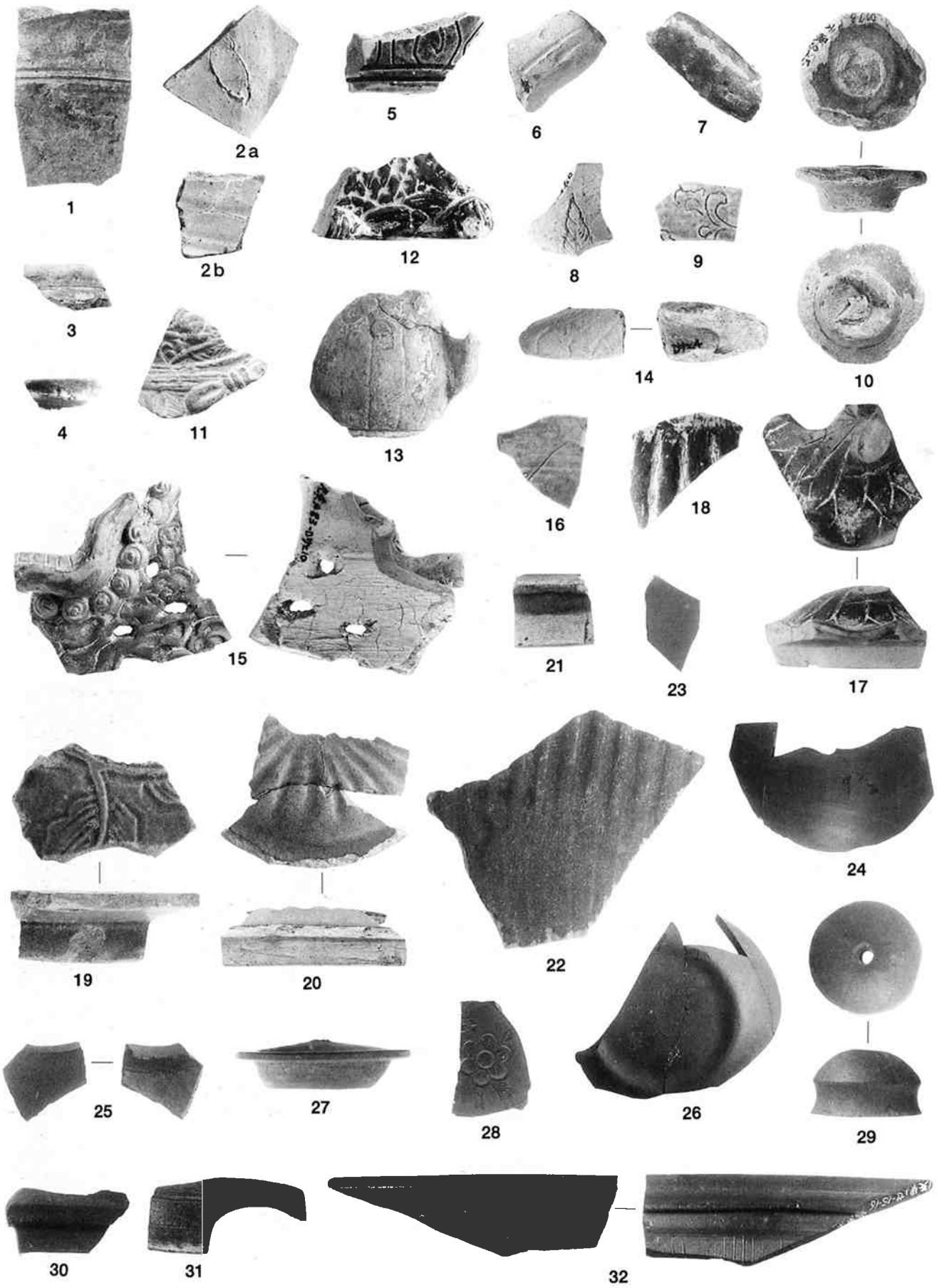

図版17　青磁染付・鉄釉染付・瑠璃釉



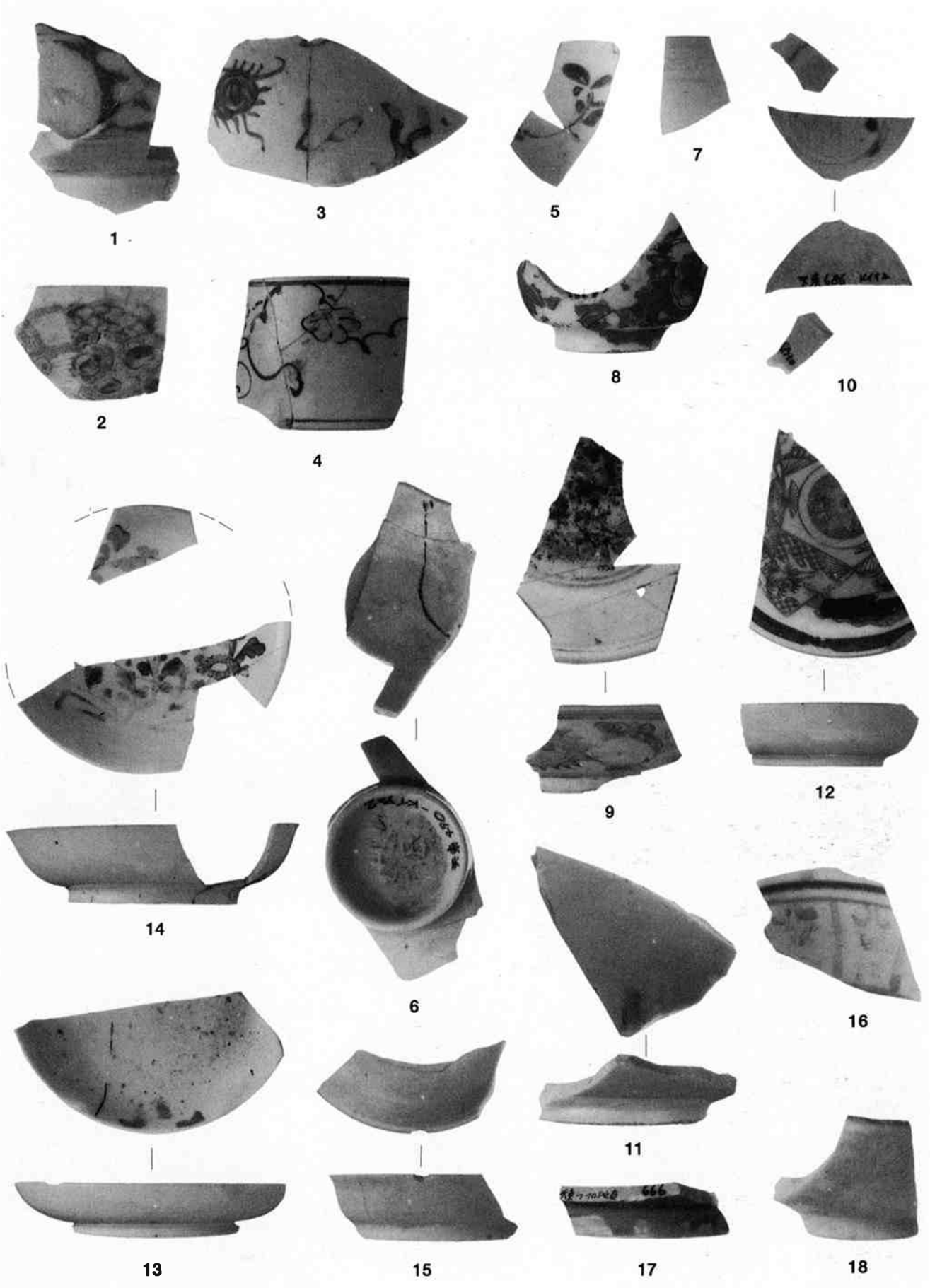

図版18　ベトナム産陶磁器・翡翠釉



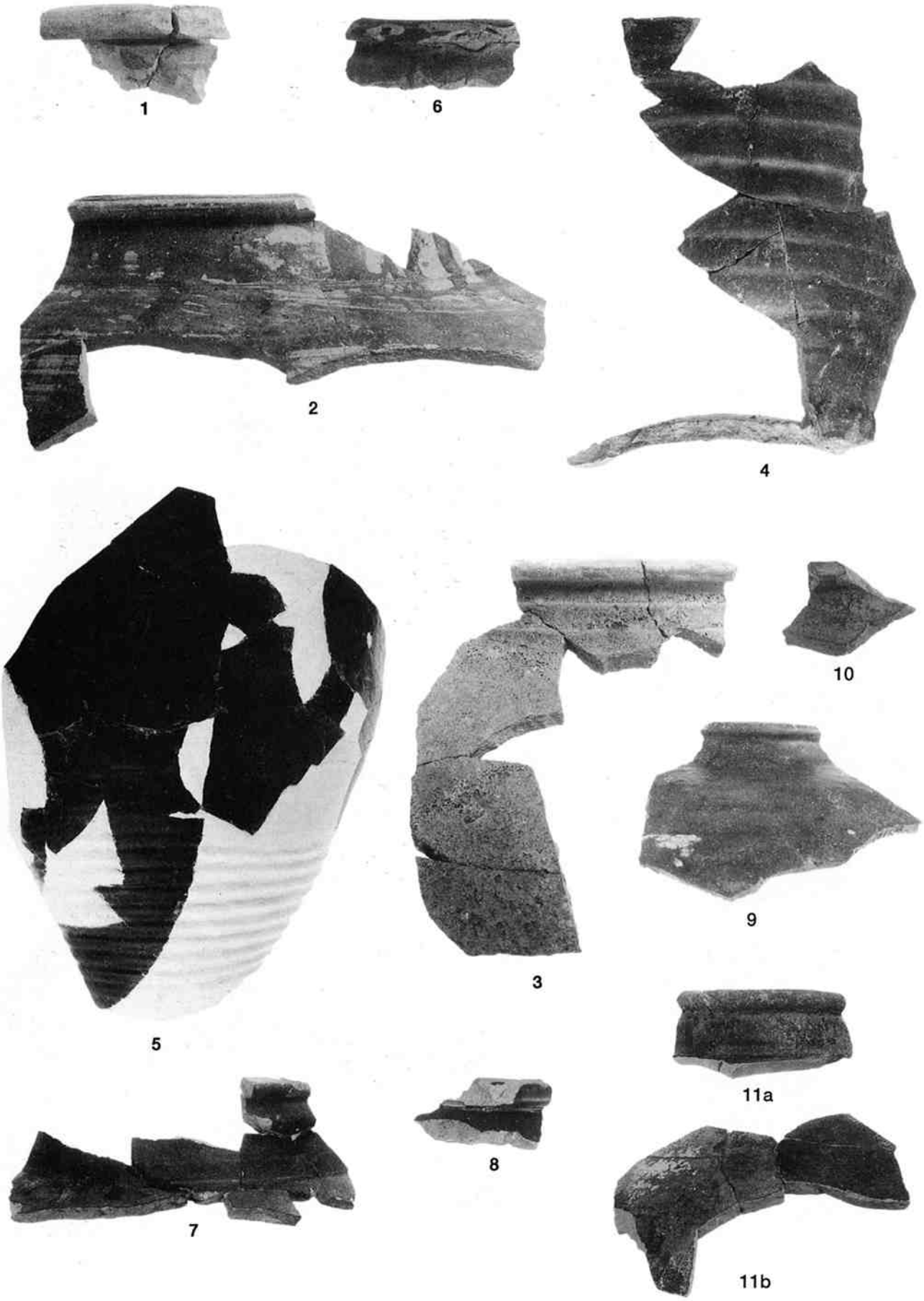

図版19　天目茶碗




図版20　三彩・銅緑釉・褐釉磁器・宜興窯

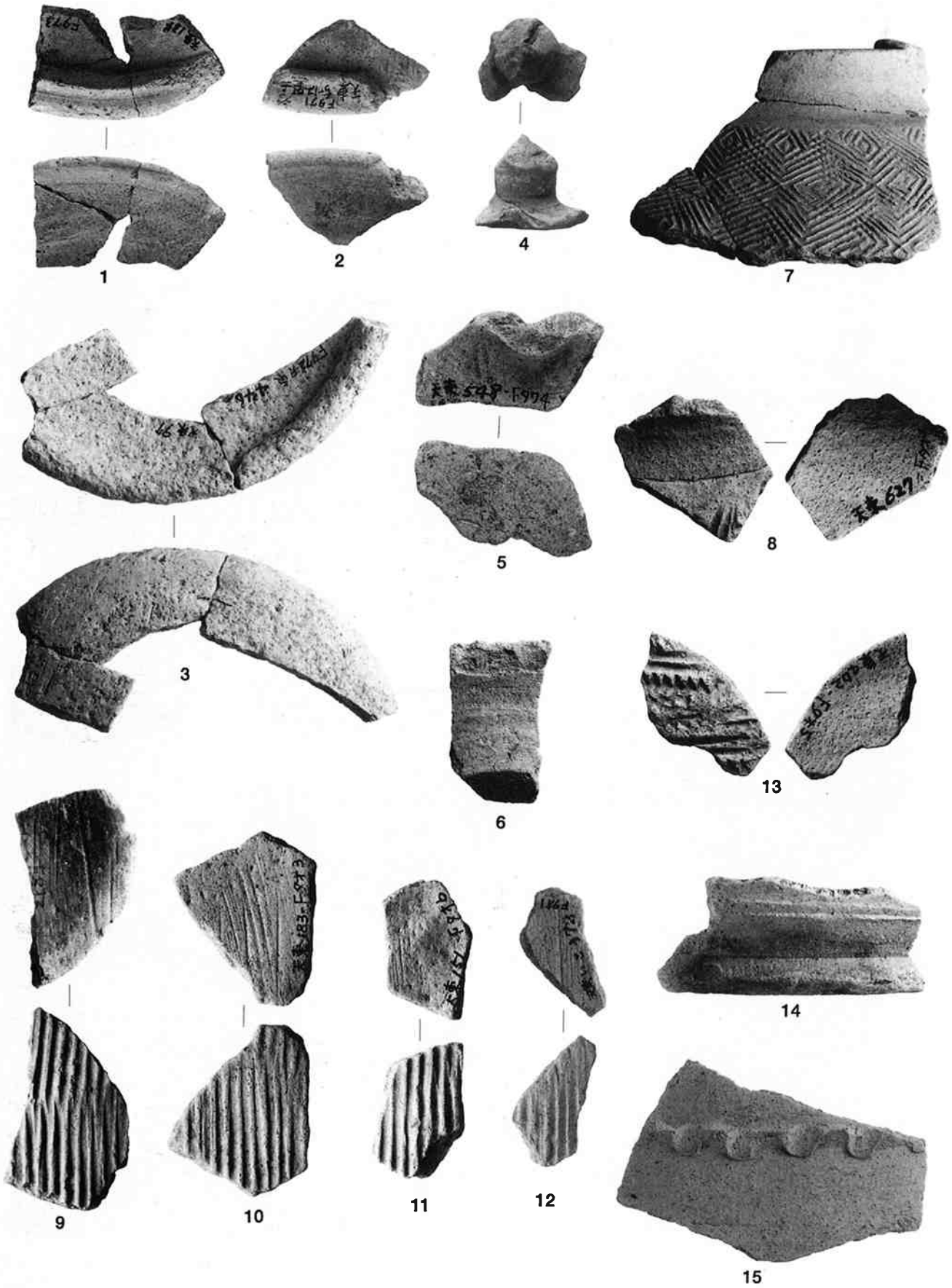



図版21　中国産色絵・黄釉磁器

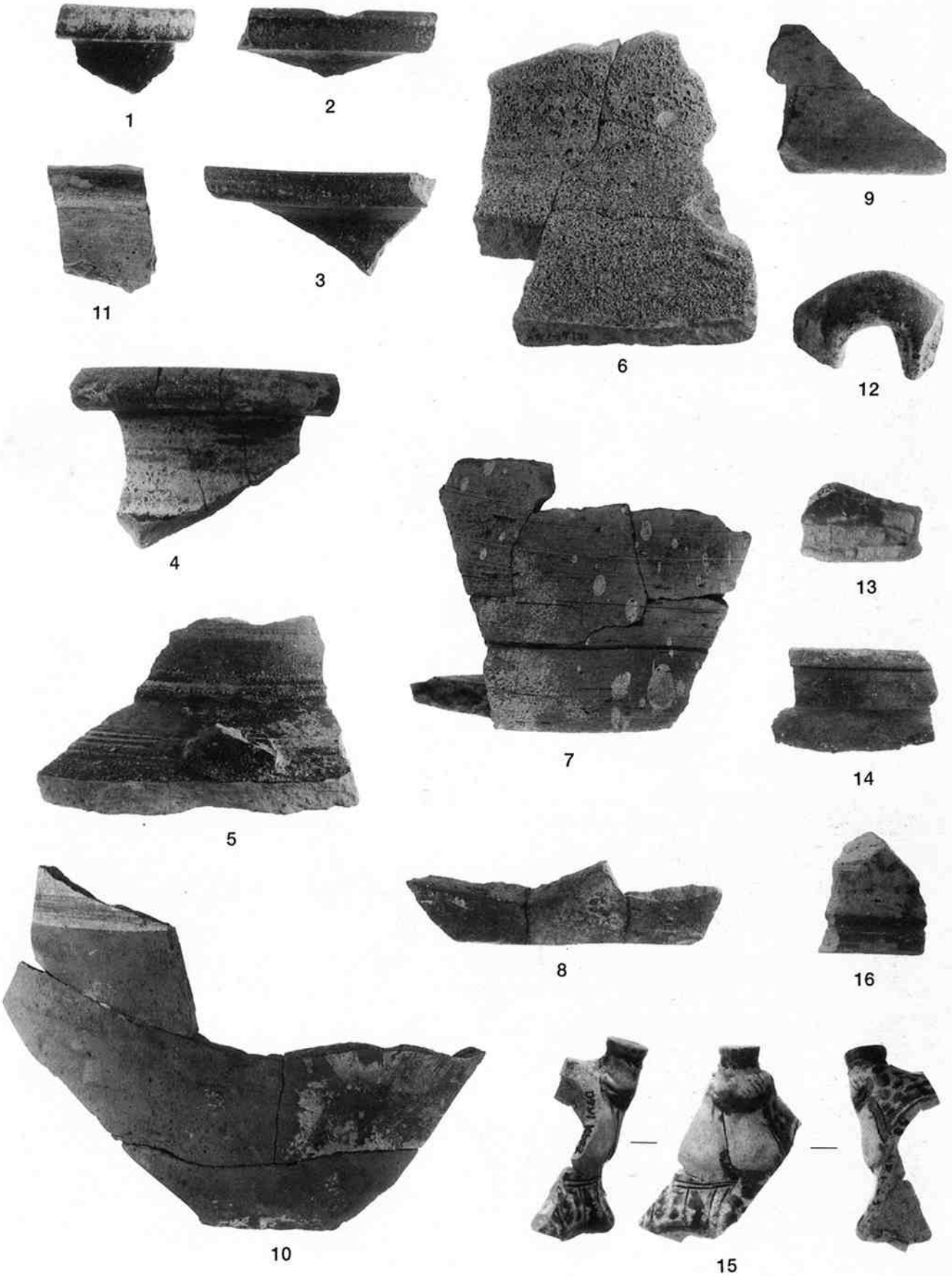



図版22　褐釉陶器（1）

図版23　褐釉陶器（2）



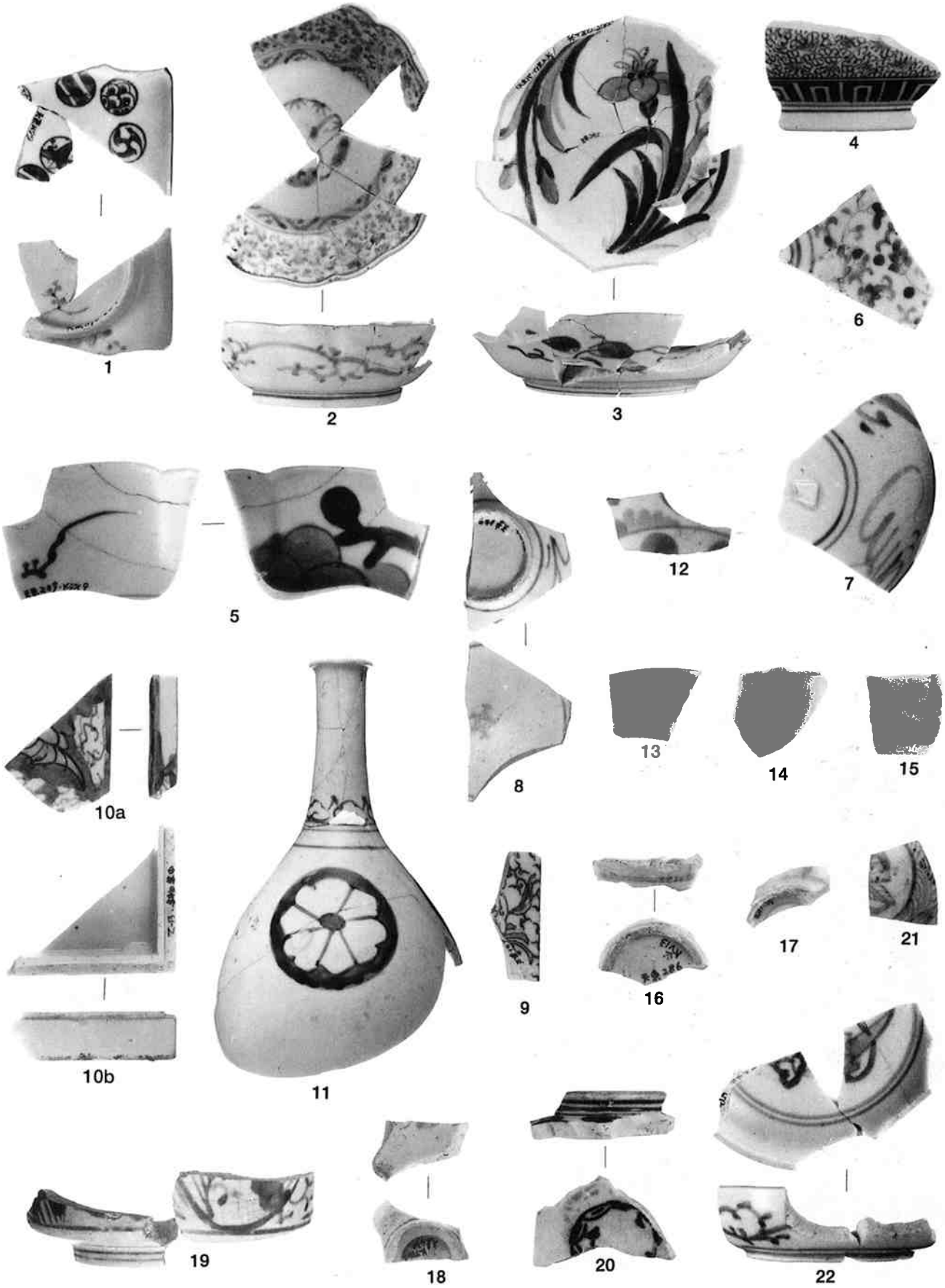

図版24　タイ産半練土器




図版25　タイ産陶磁器

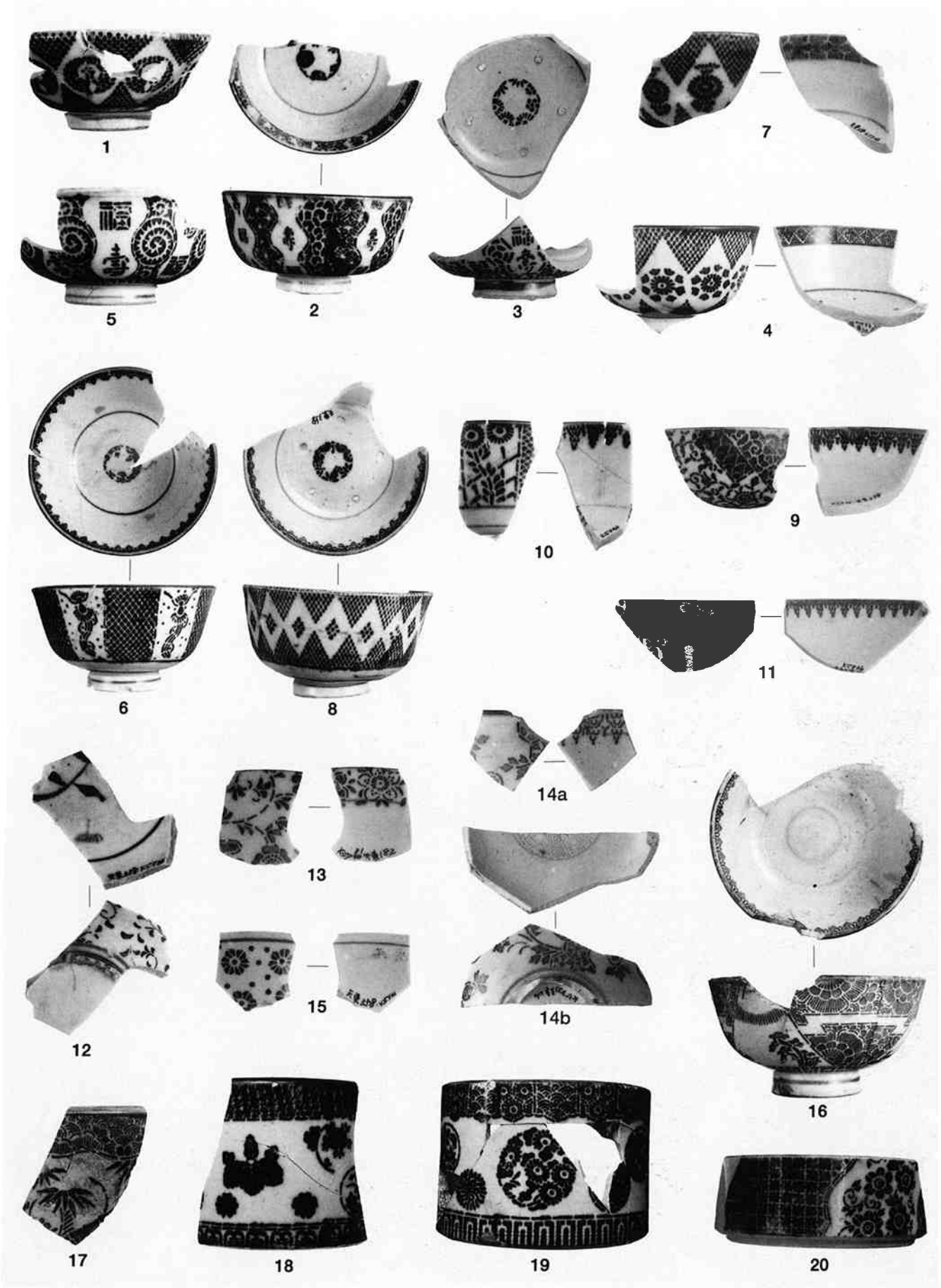
1
2
4
5
7
3
6
8
9
10
13
11
14
15
16
17
18
20
22
24
12
19
21
23
25
26
27
28
29
30
31

図版26　本土産磁器（1）

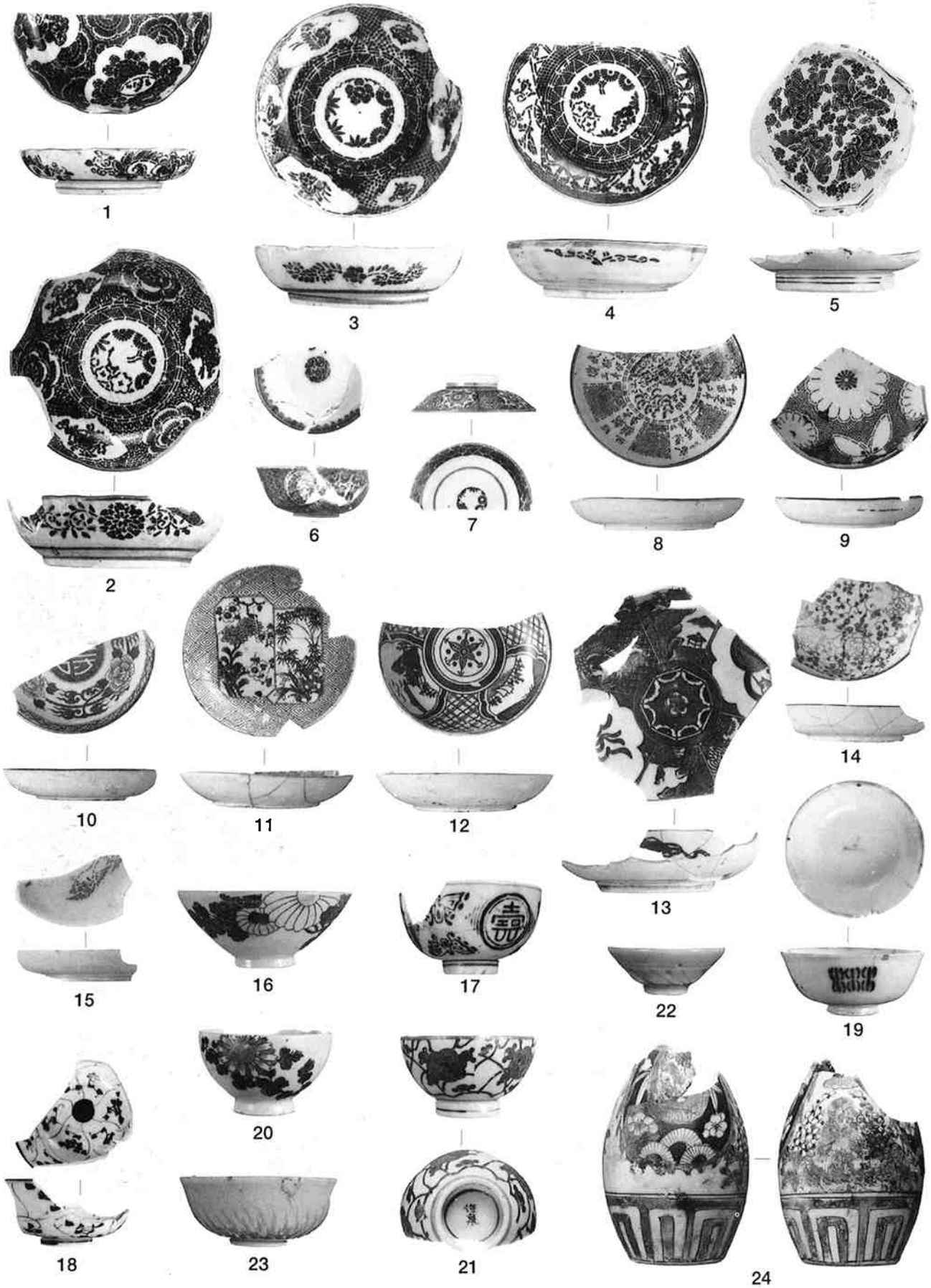



図版27　本土産磁器（2）

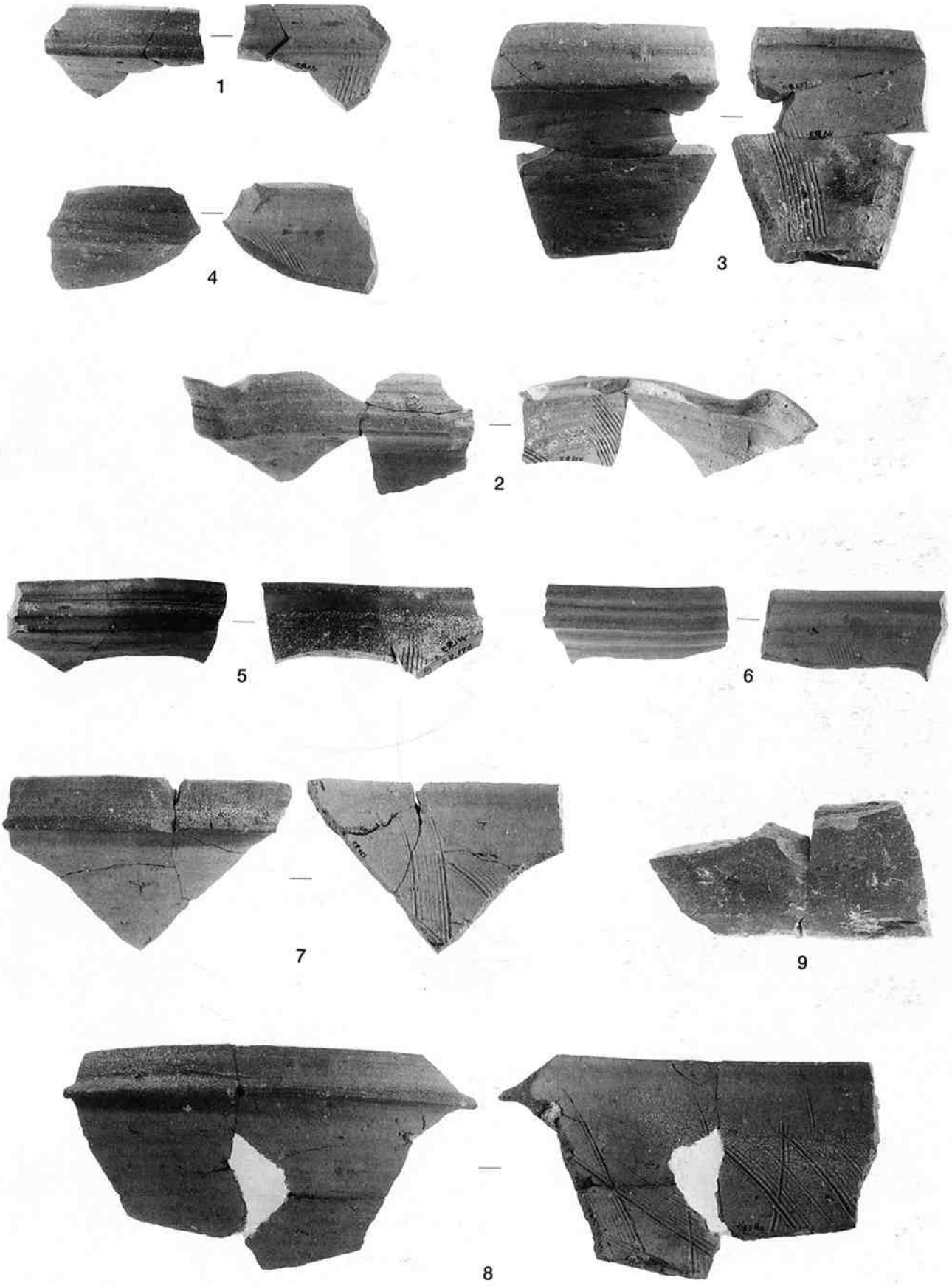
図版28　本土産磁器（3）



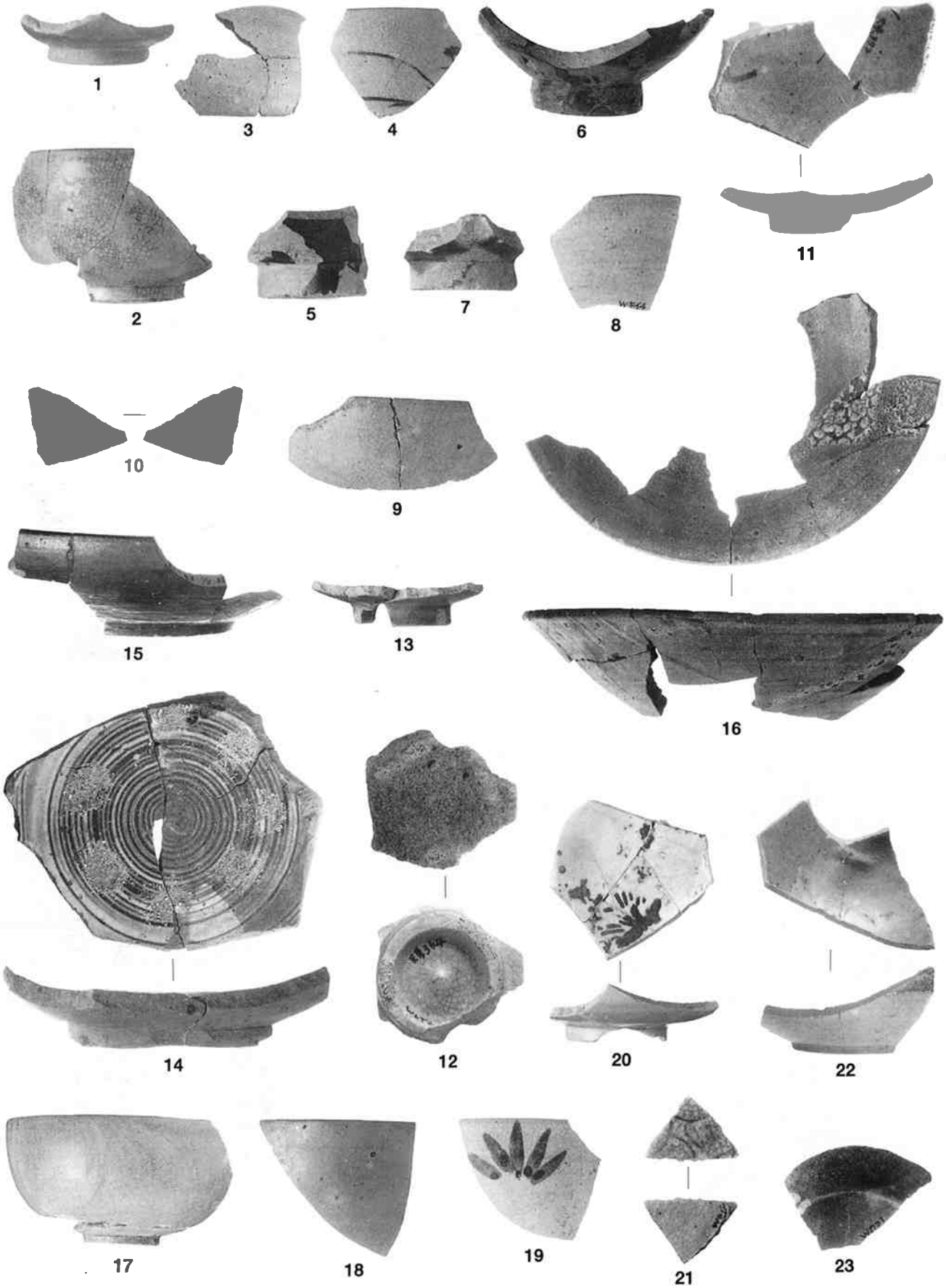

図版29　本土産磁器（4）



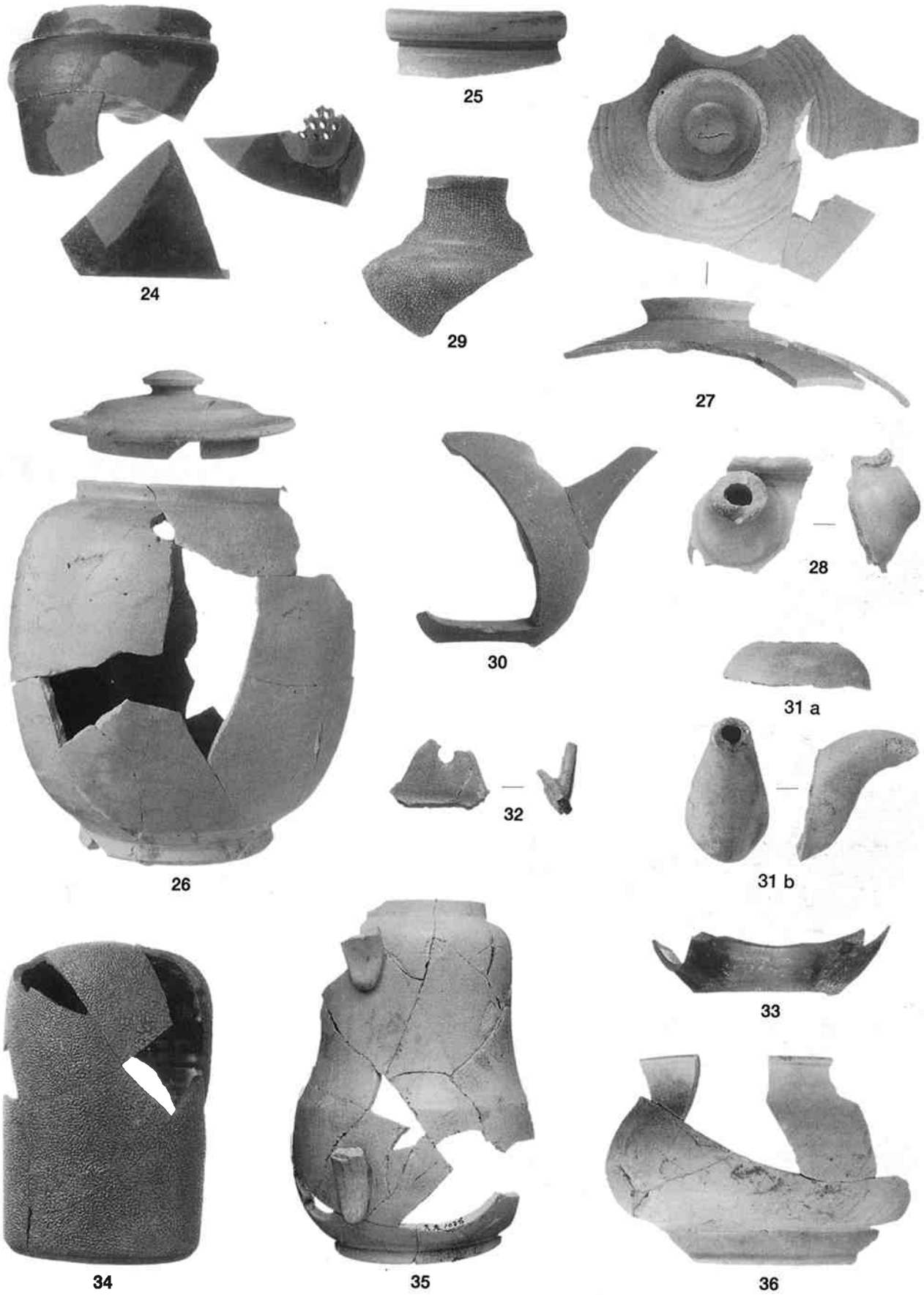

図版30　本土産磁器（5）



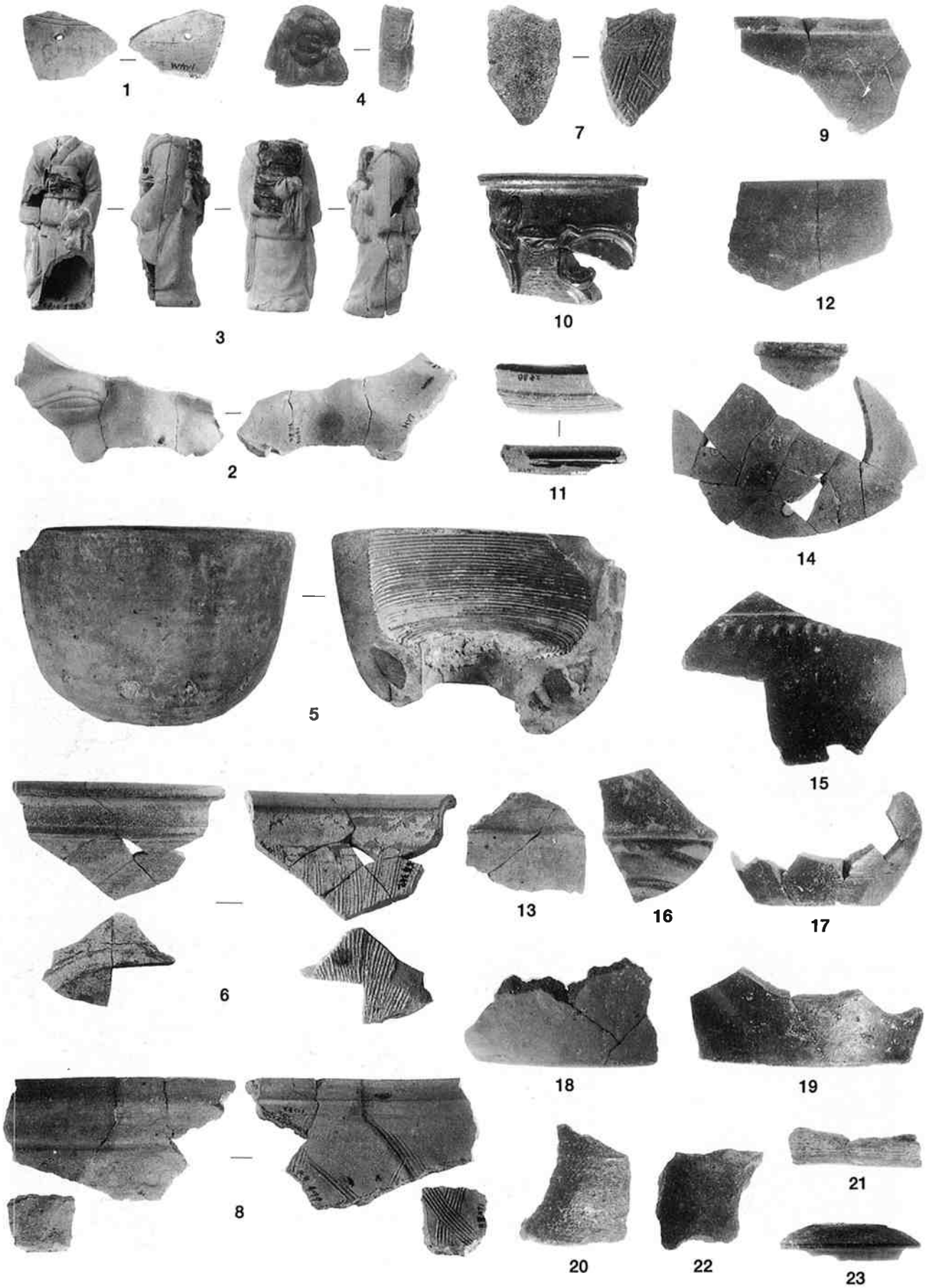

図版31　本土産陶器（1）



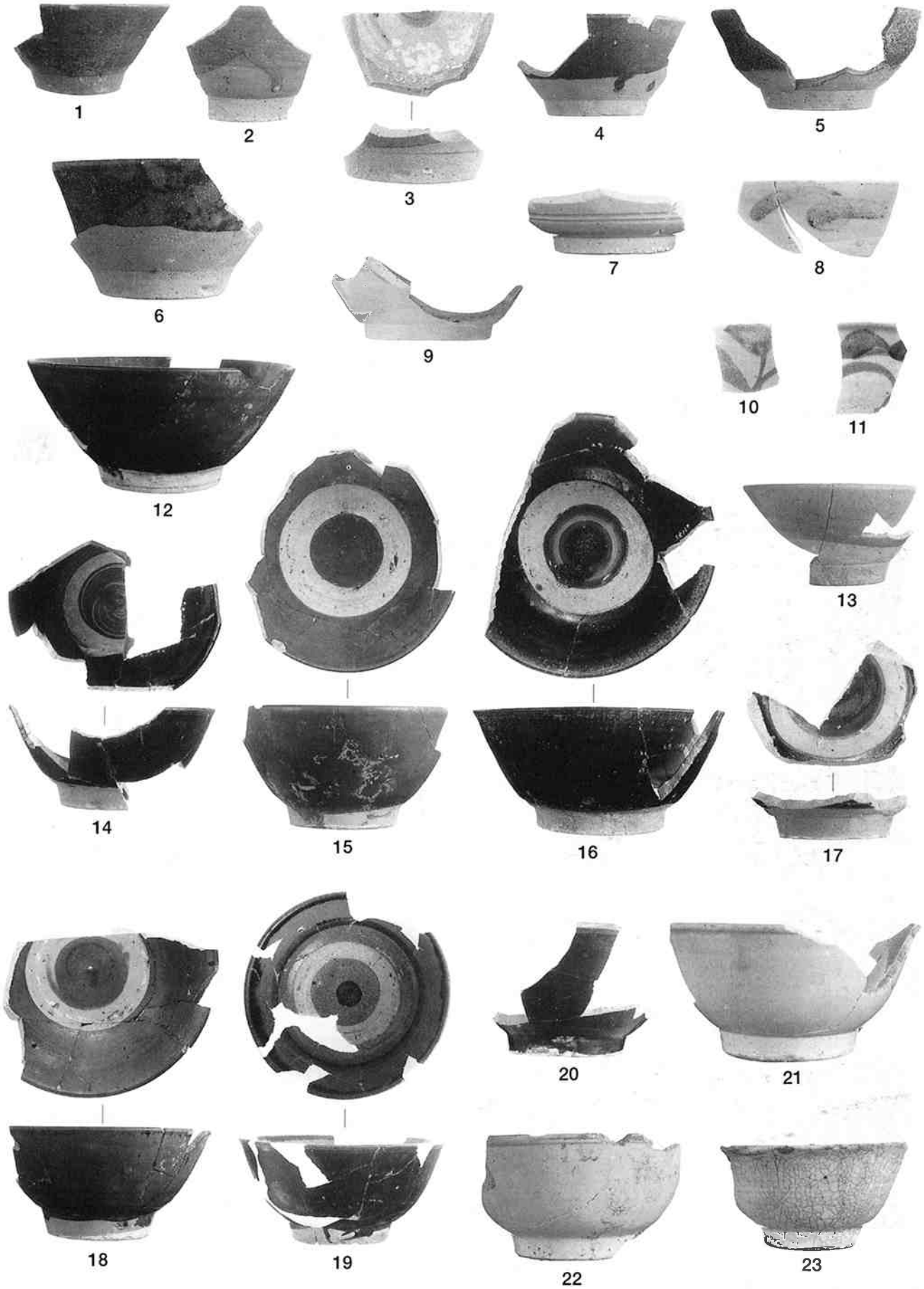

図版32　本土産陶器（2）



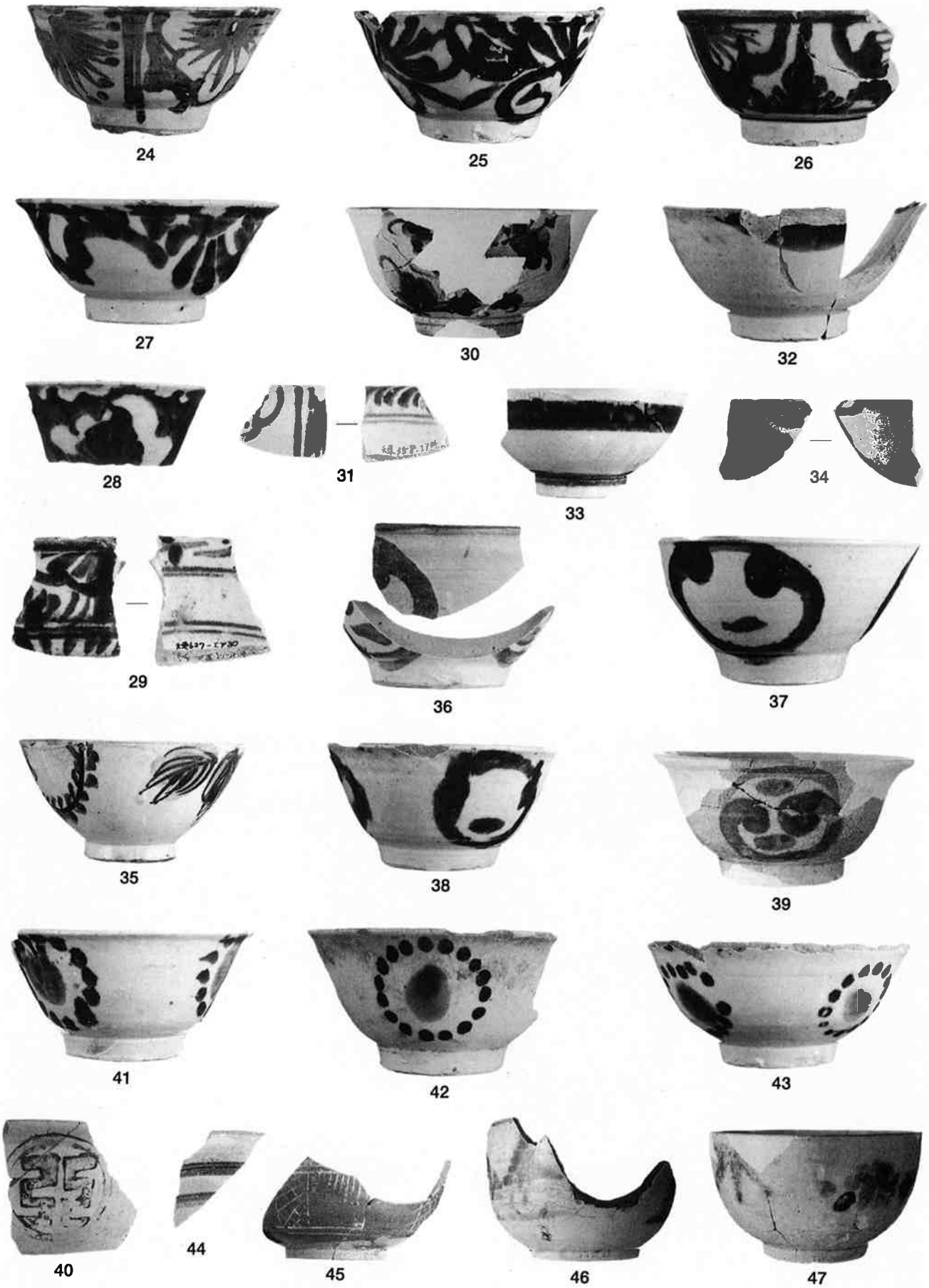

図版33　本土産陶器（3）



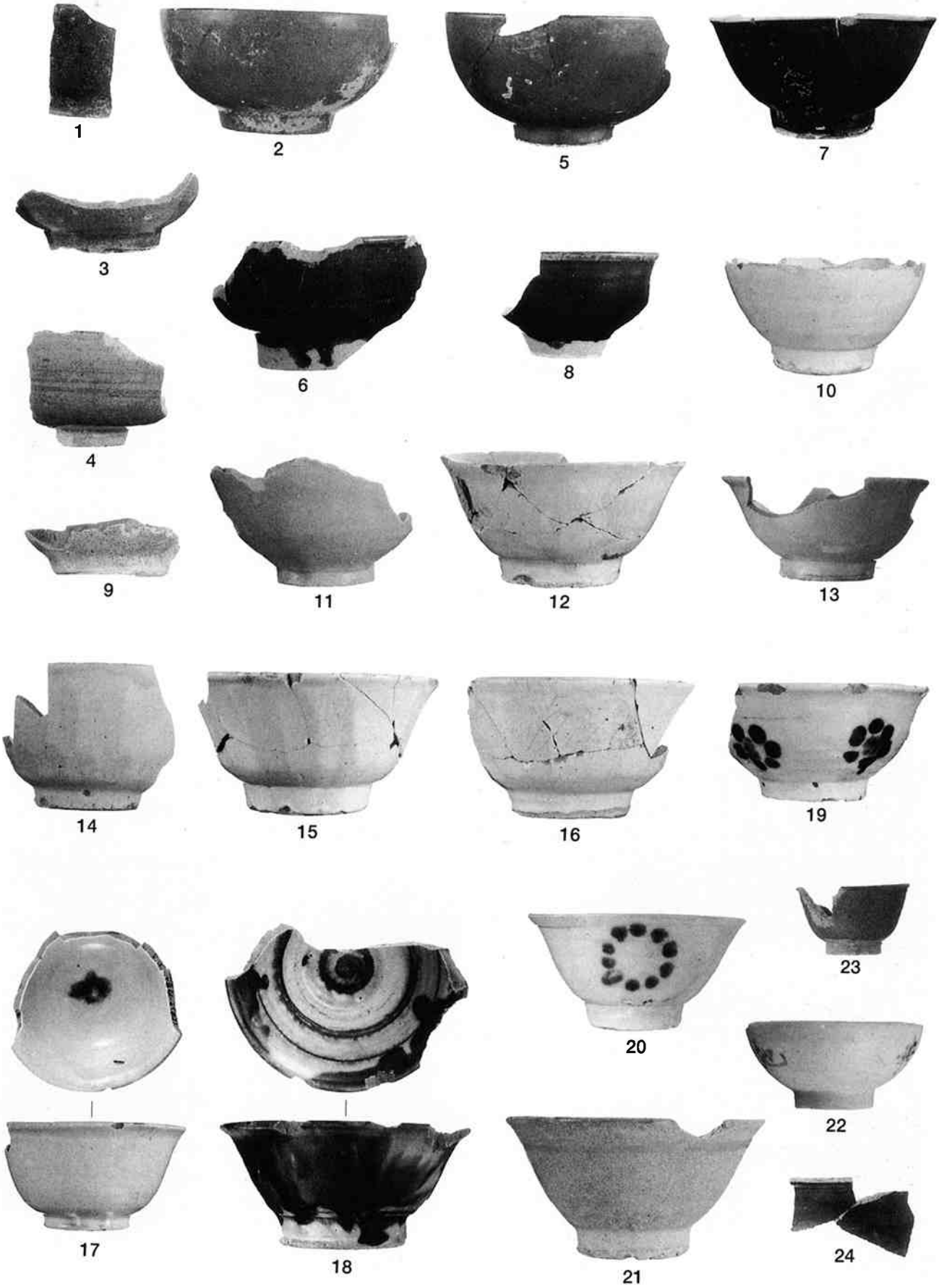

図版34　本土産陶器（4）



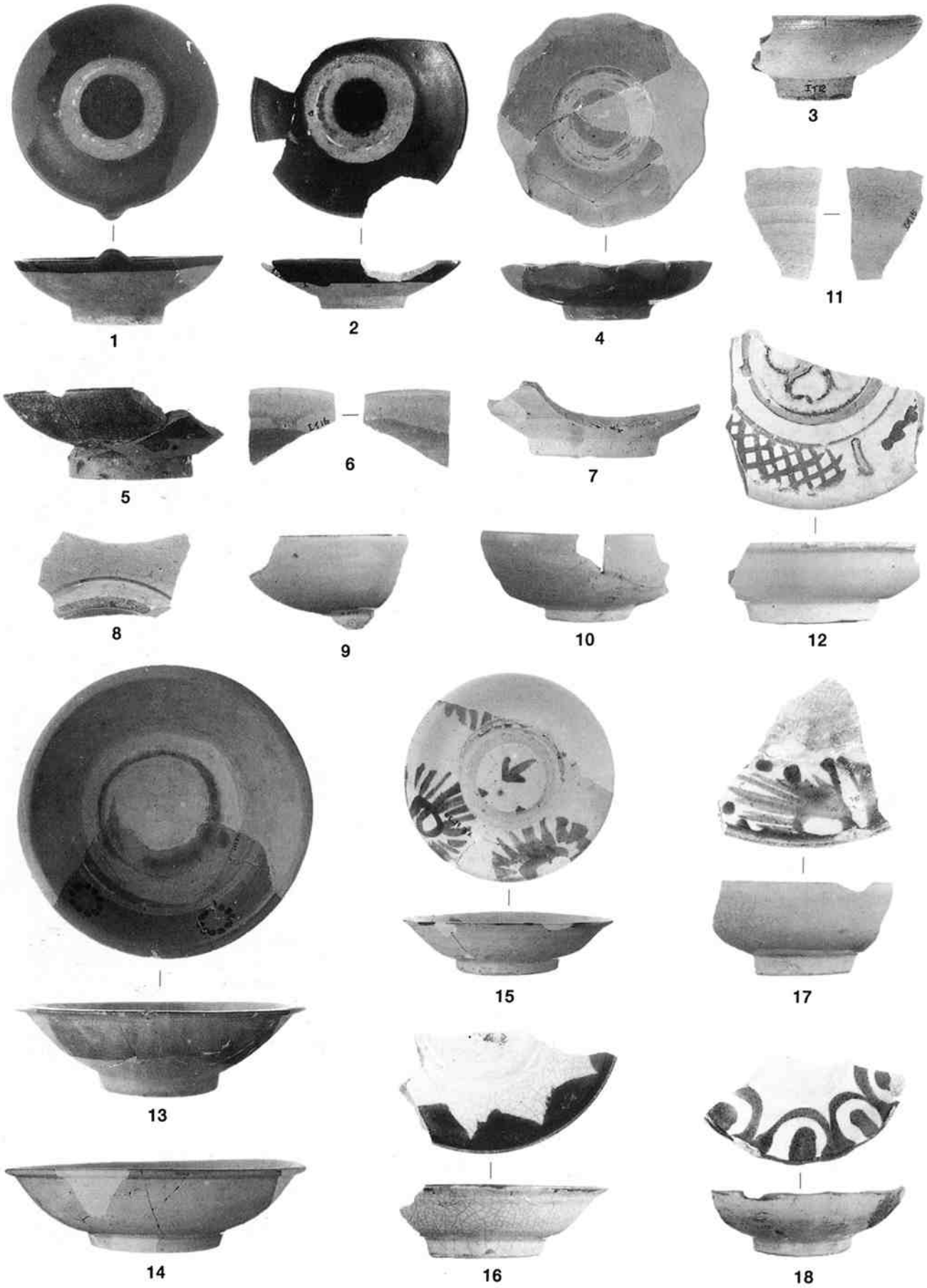

図版35　沖縄産施釉陶器（1）



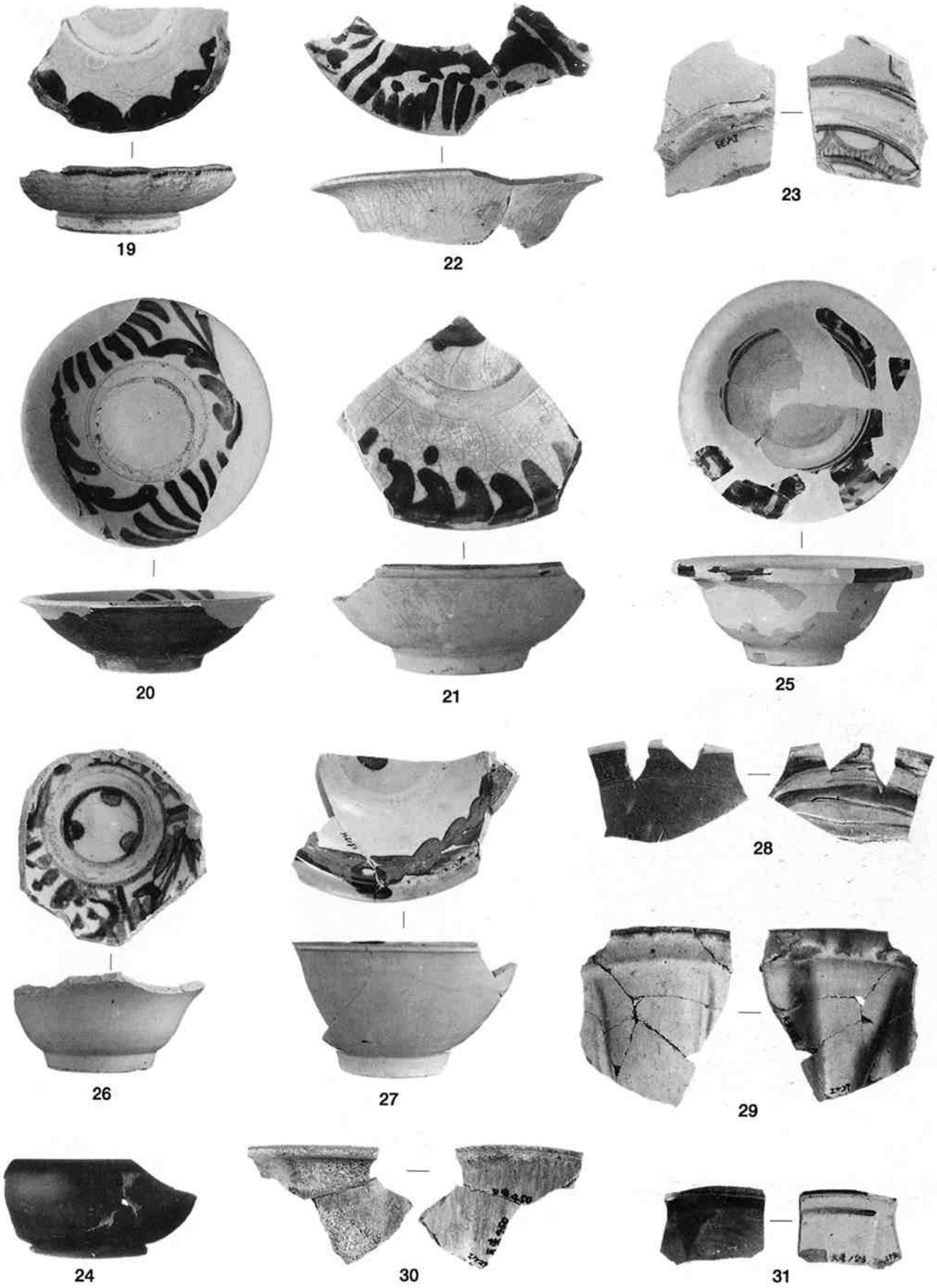

図版36　沖縄産施釉陶器（2）



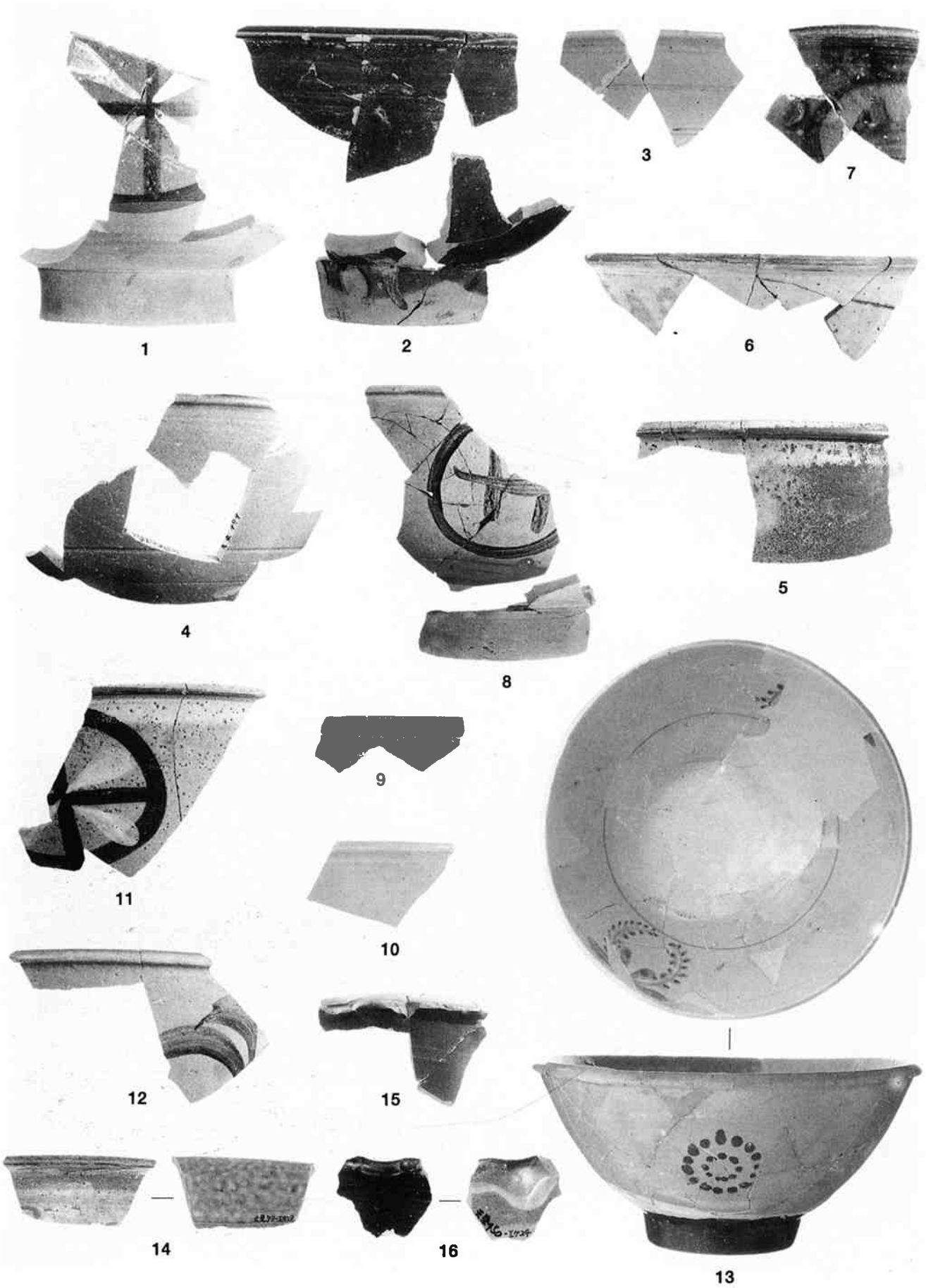

図版37　沖縄産施釉陶器（3）



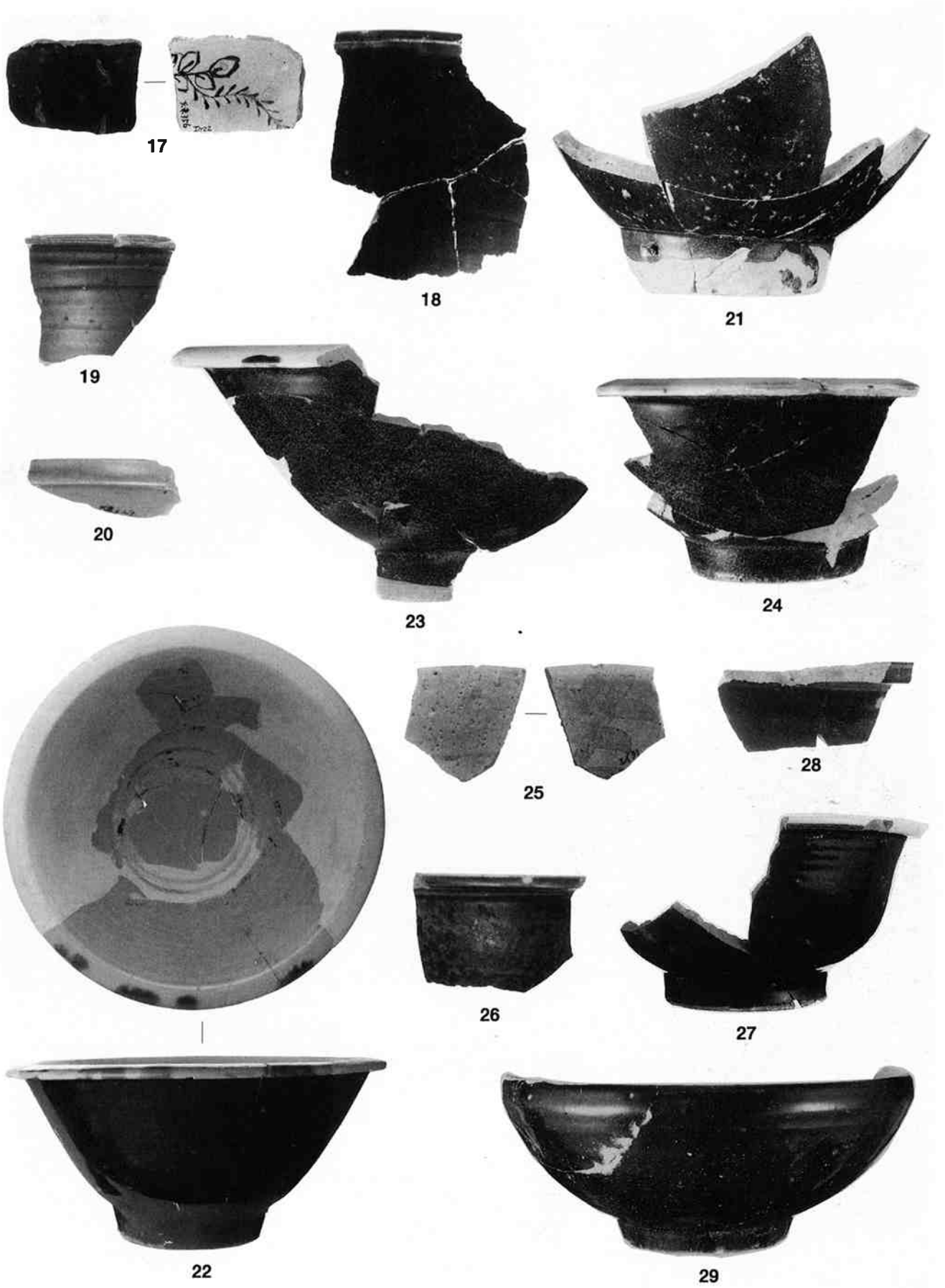

図版38　沖縄産施釉陶器（4）



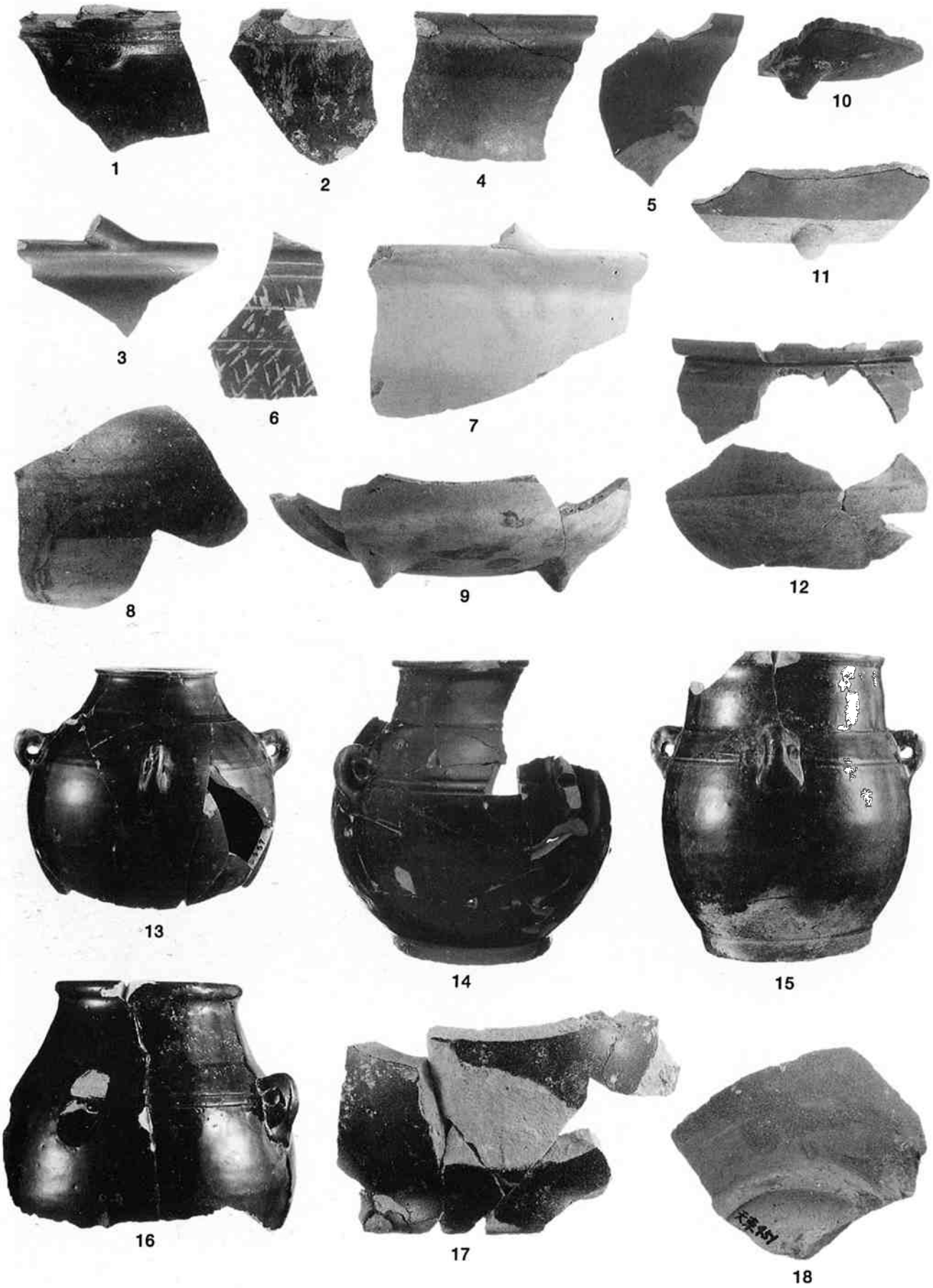

図版39　沖縄産施釉陶器（5）



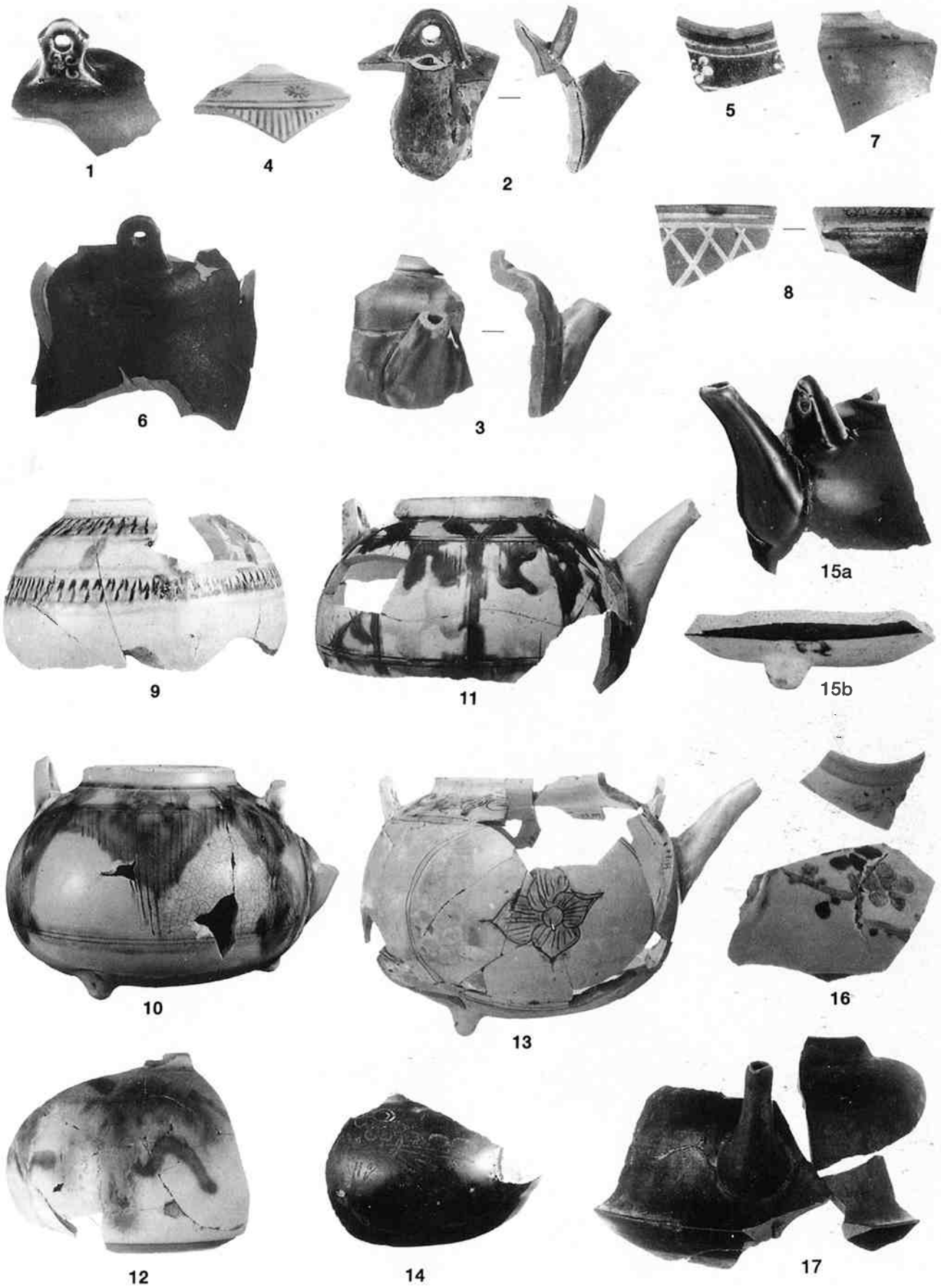

図版40　沖縄産施釉陶器（6）



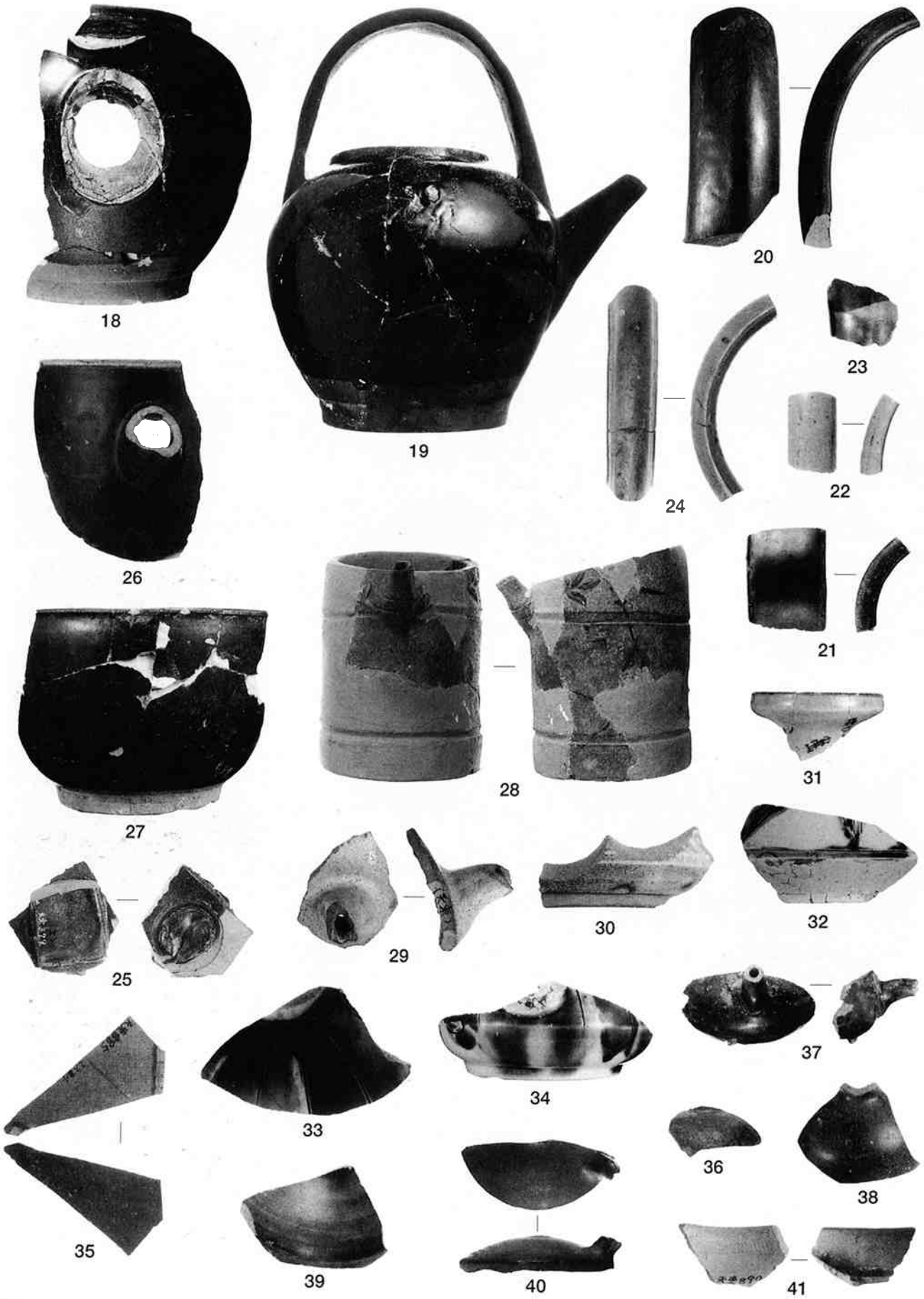

図版41　沖縄産施釉陶器（7）



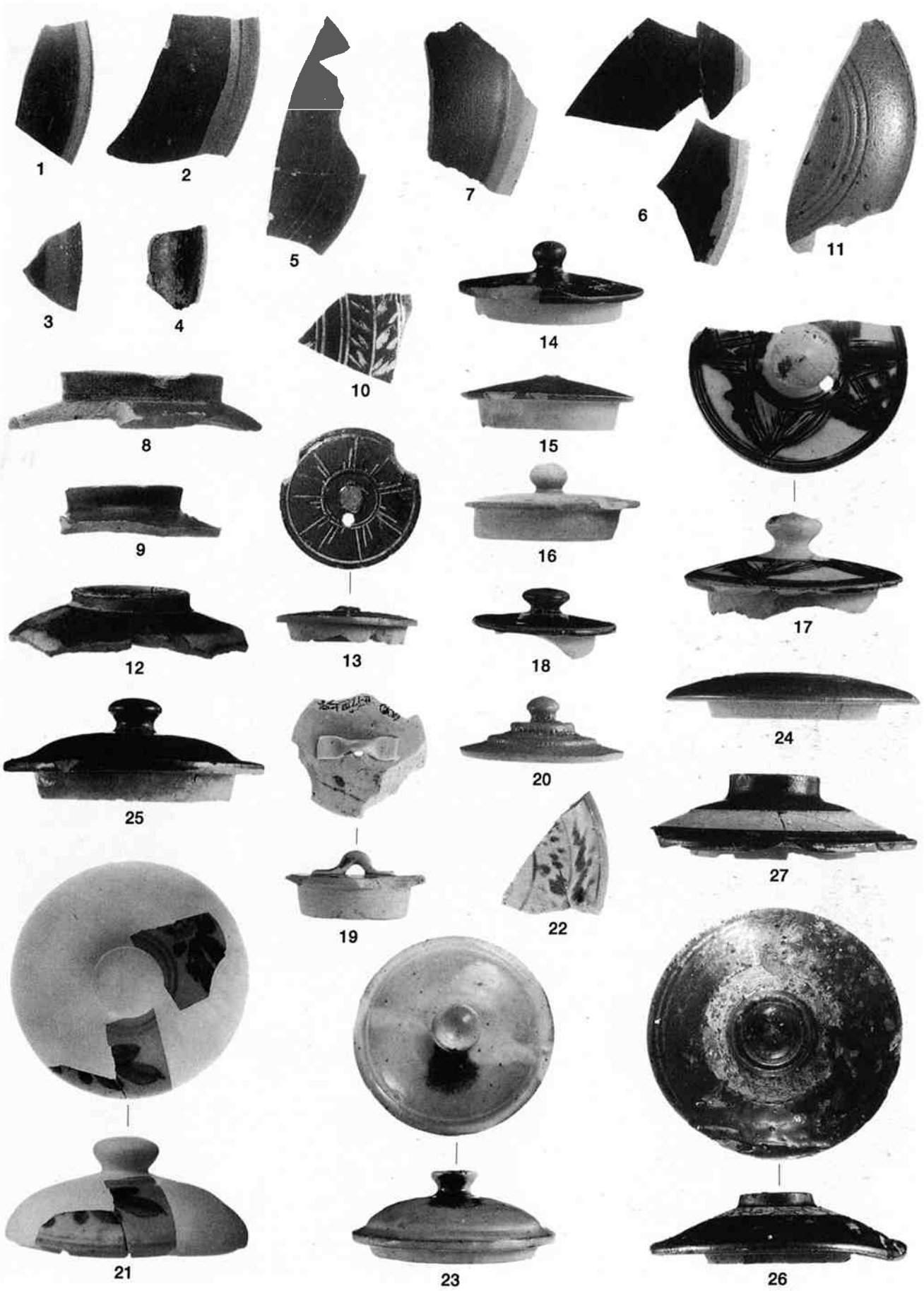

図版42　沖縄産施釉陶器（8）




図版43　沖縄産施釉陶器（9）

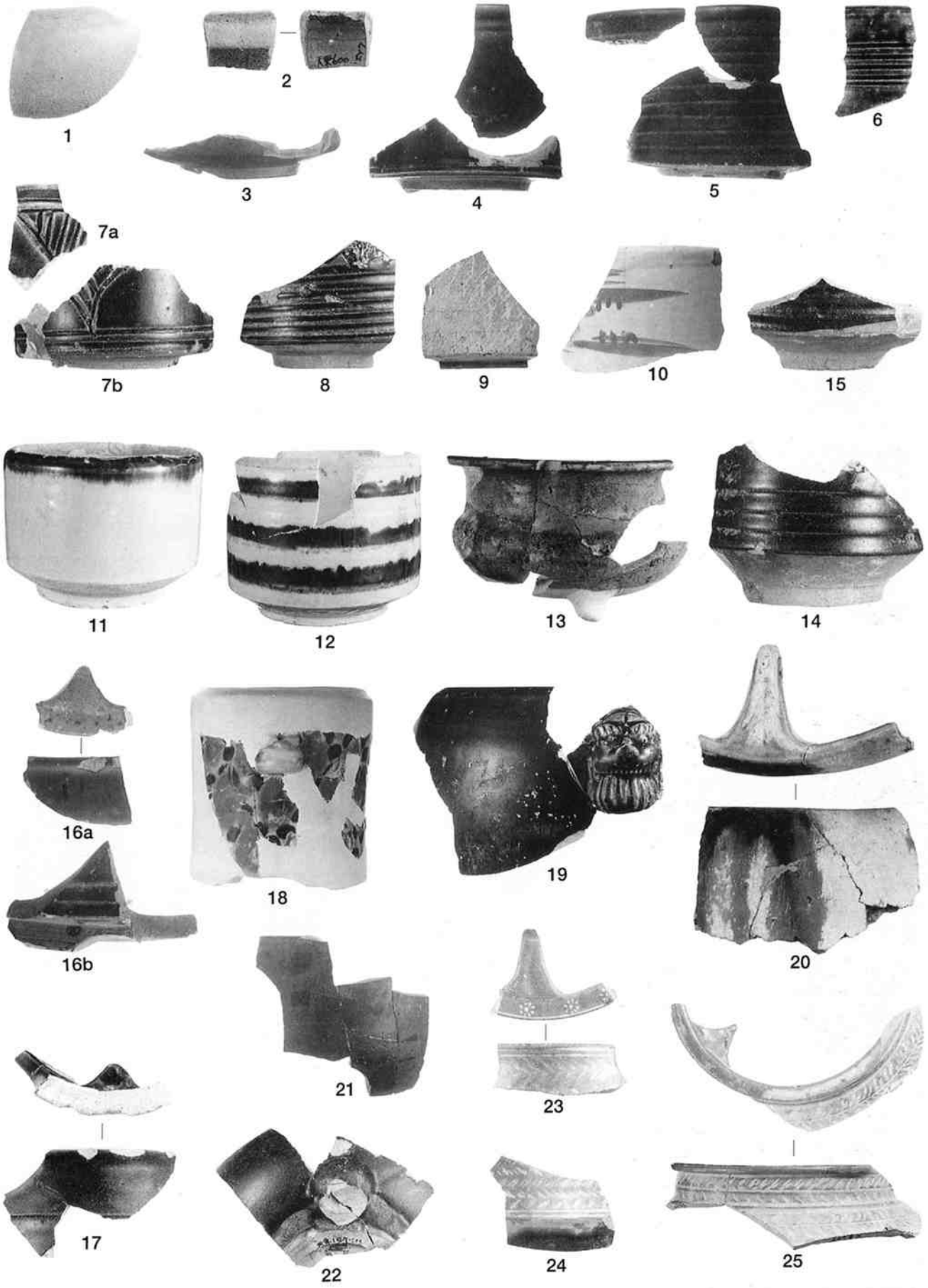



図版44　沖縄産施釉陶器（10）

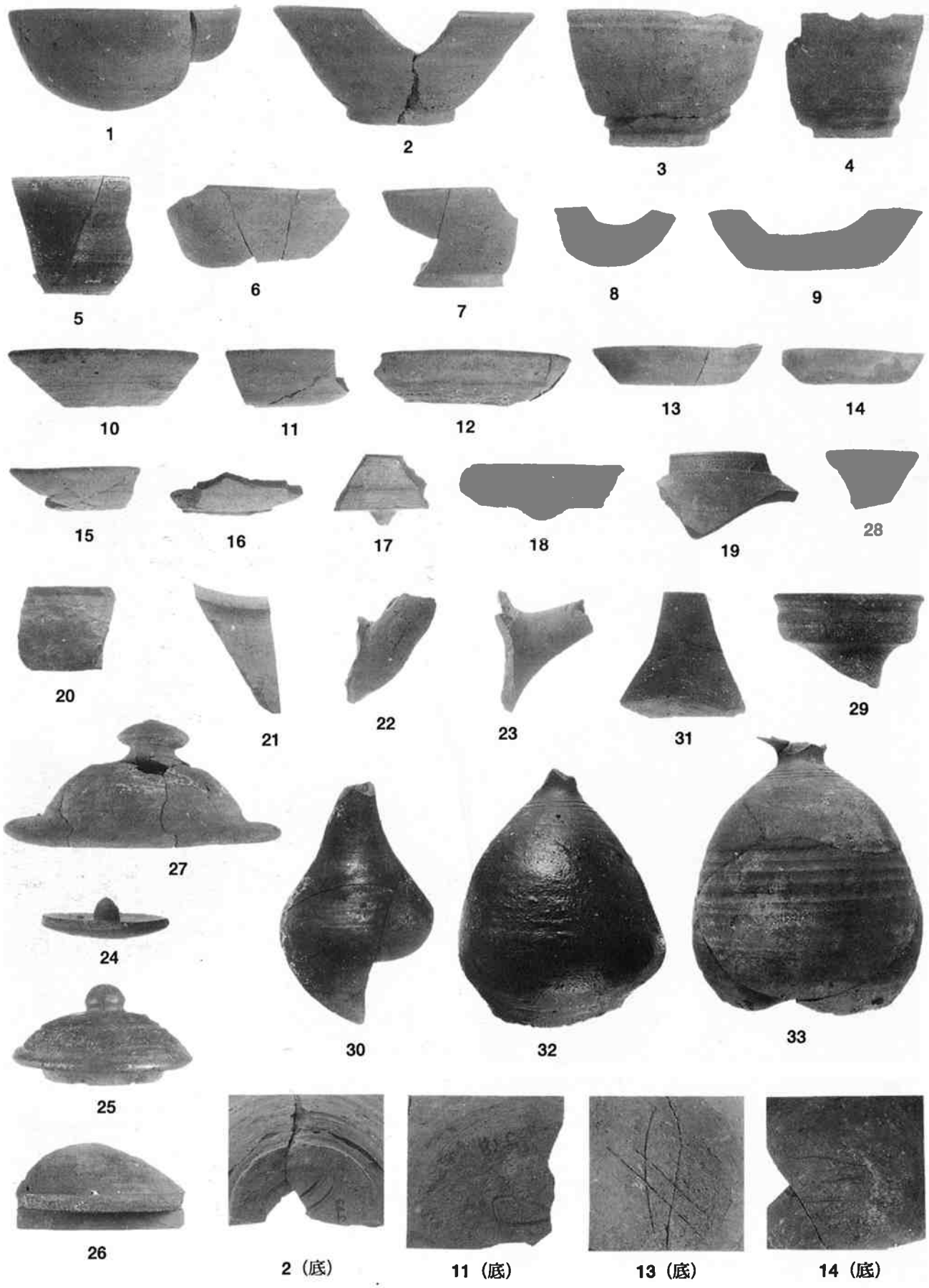



図版45　沖縄産施釉陶器（11）

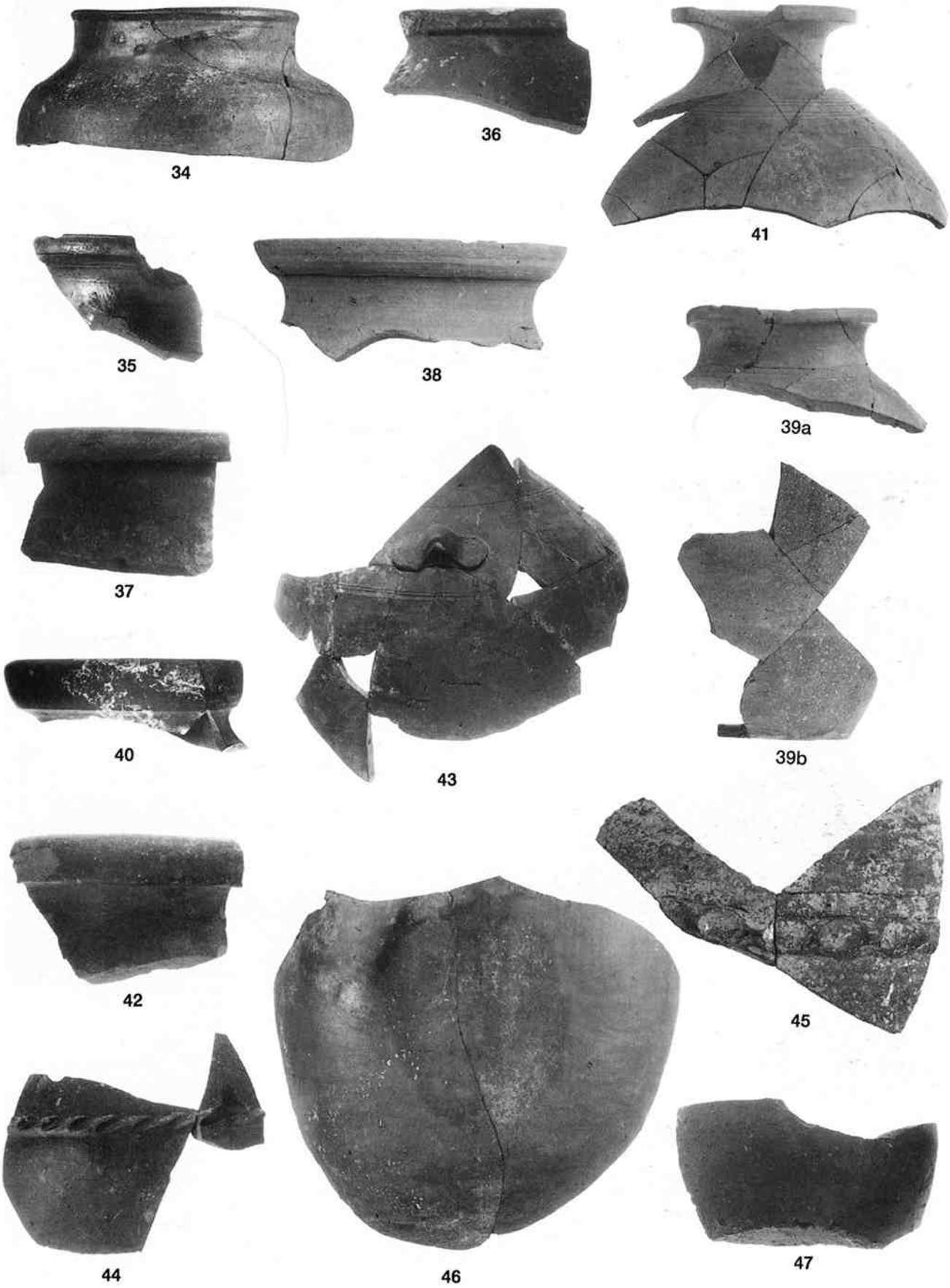
図版46　沖縄産施釉陶器（12）



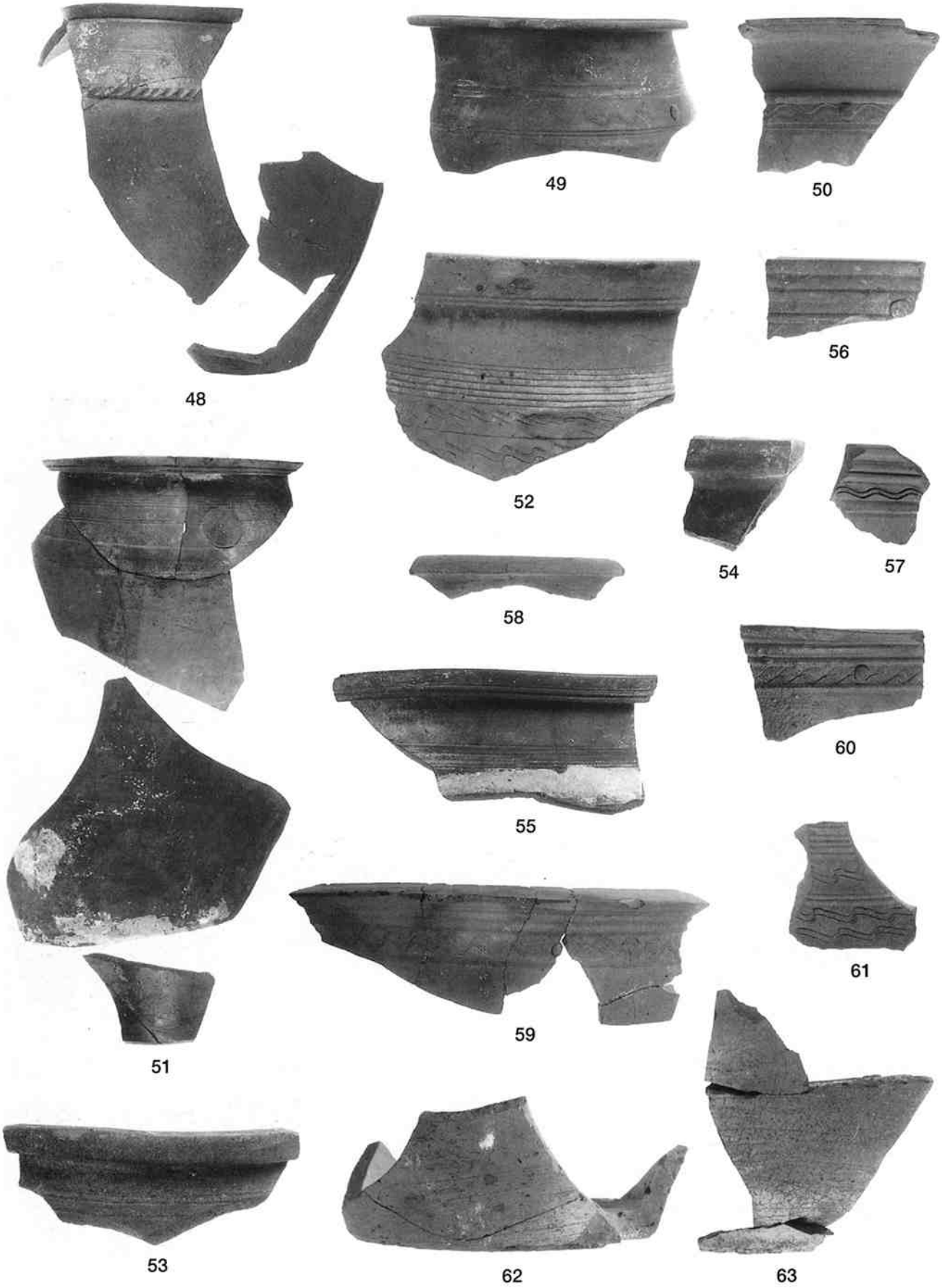

図版47　沖縄産施釉陶器（13）



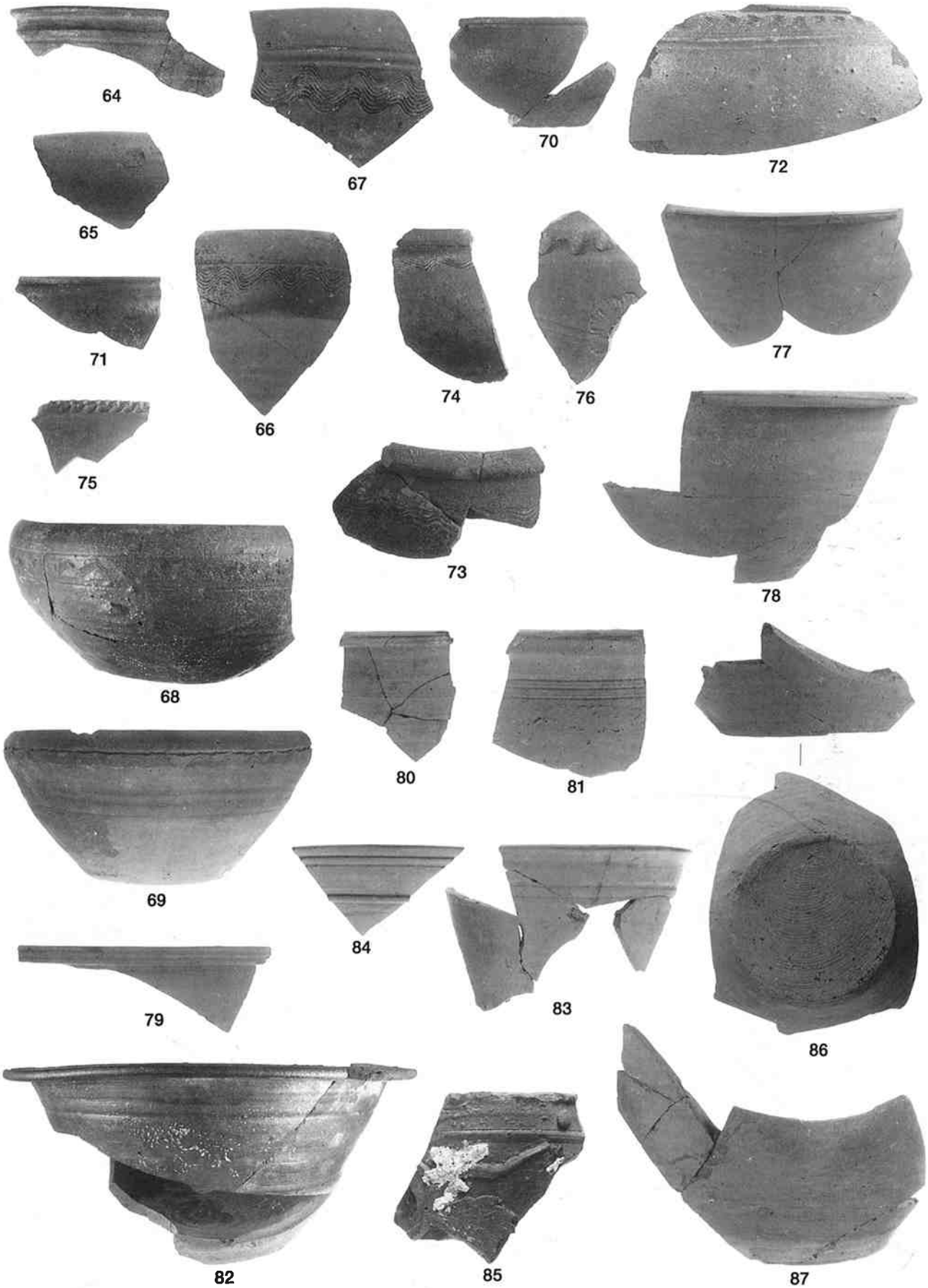

図版48　沖縄産無釉陶器（1）



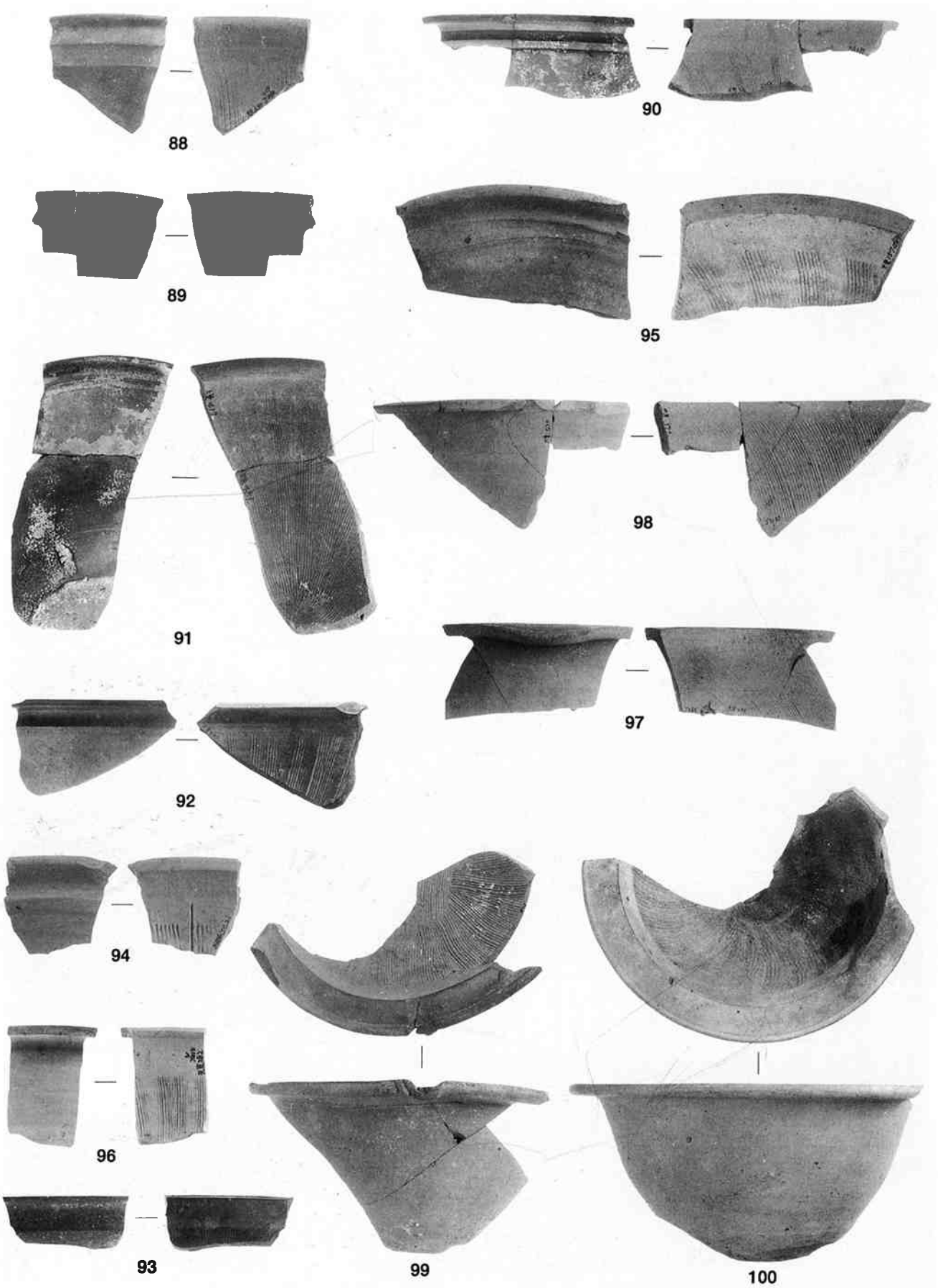

図版49　沖縄産無釉陶器（2）



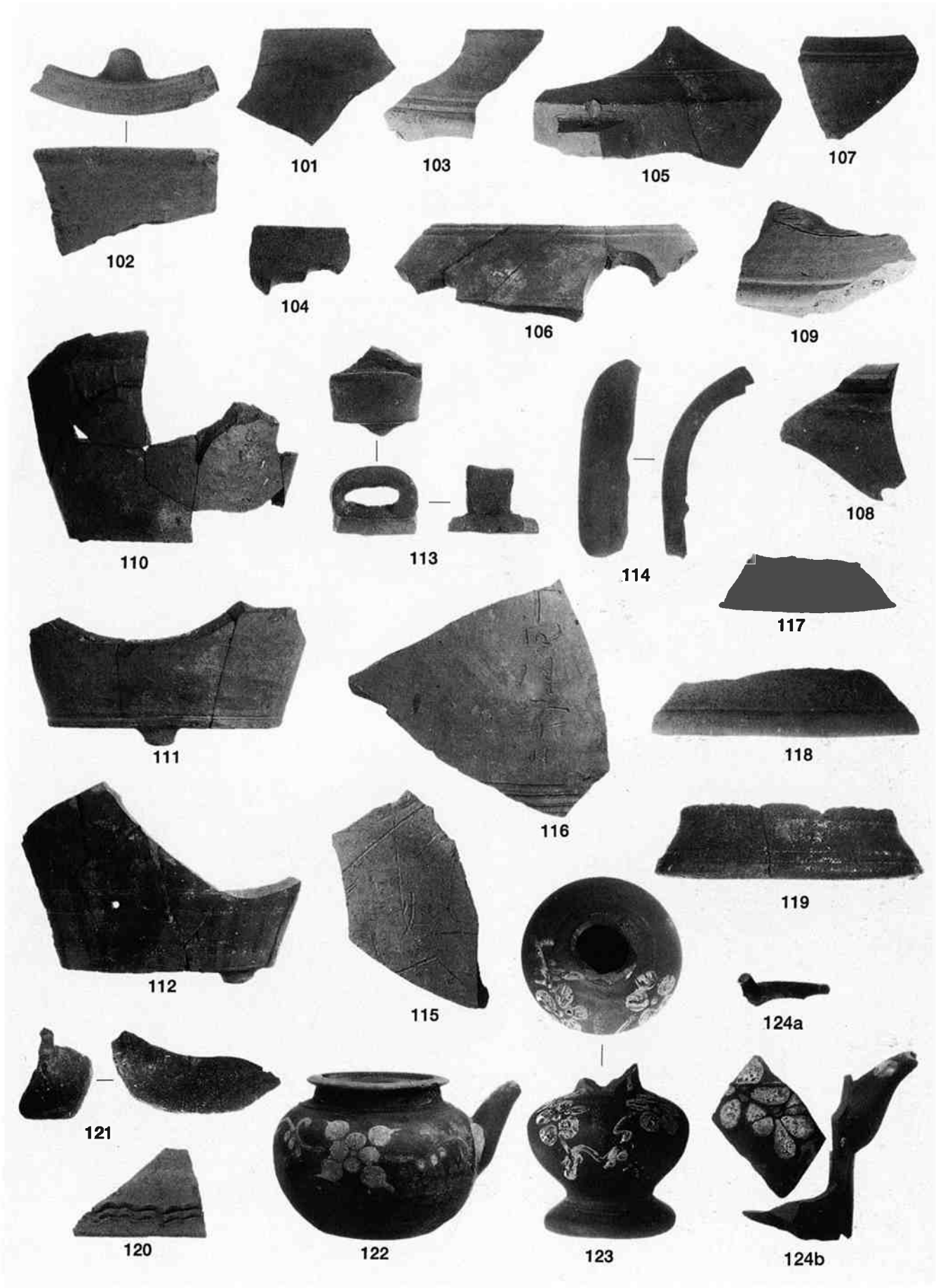

図版50　沖縄産無釉陶器（3）



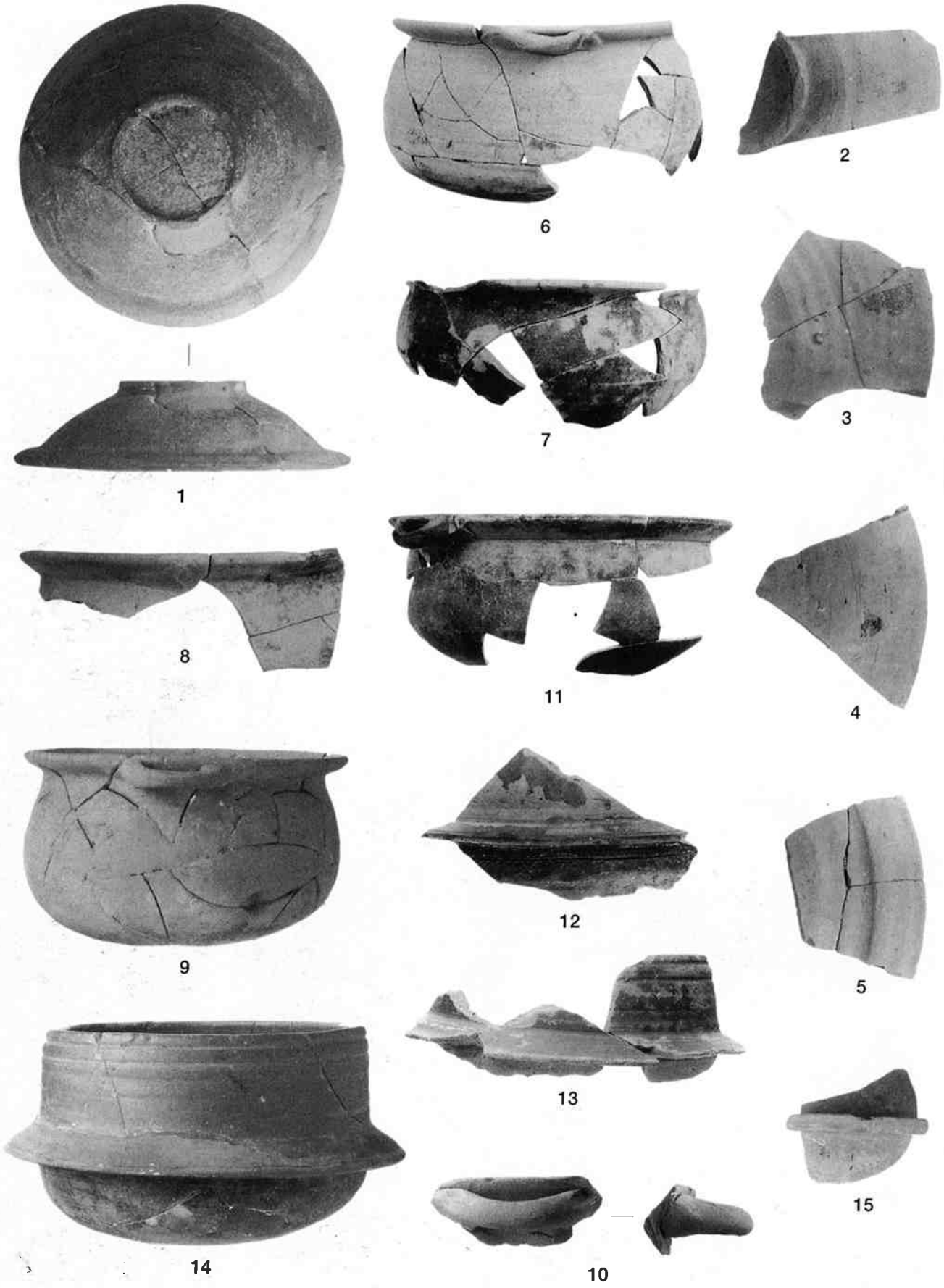

図版51　沖縄産無釉陶器（4）



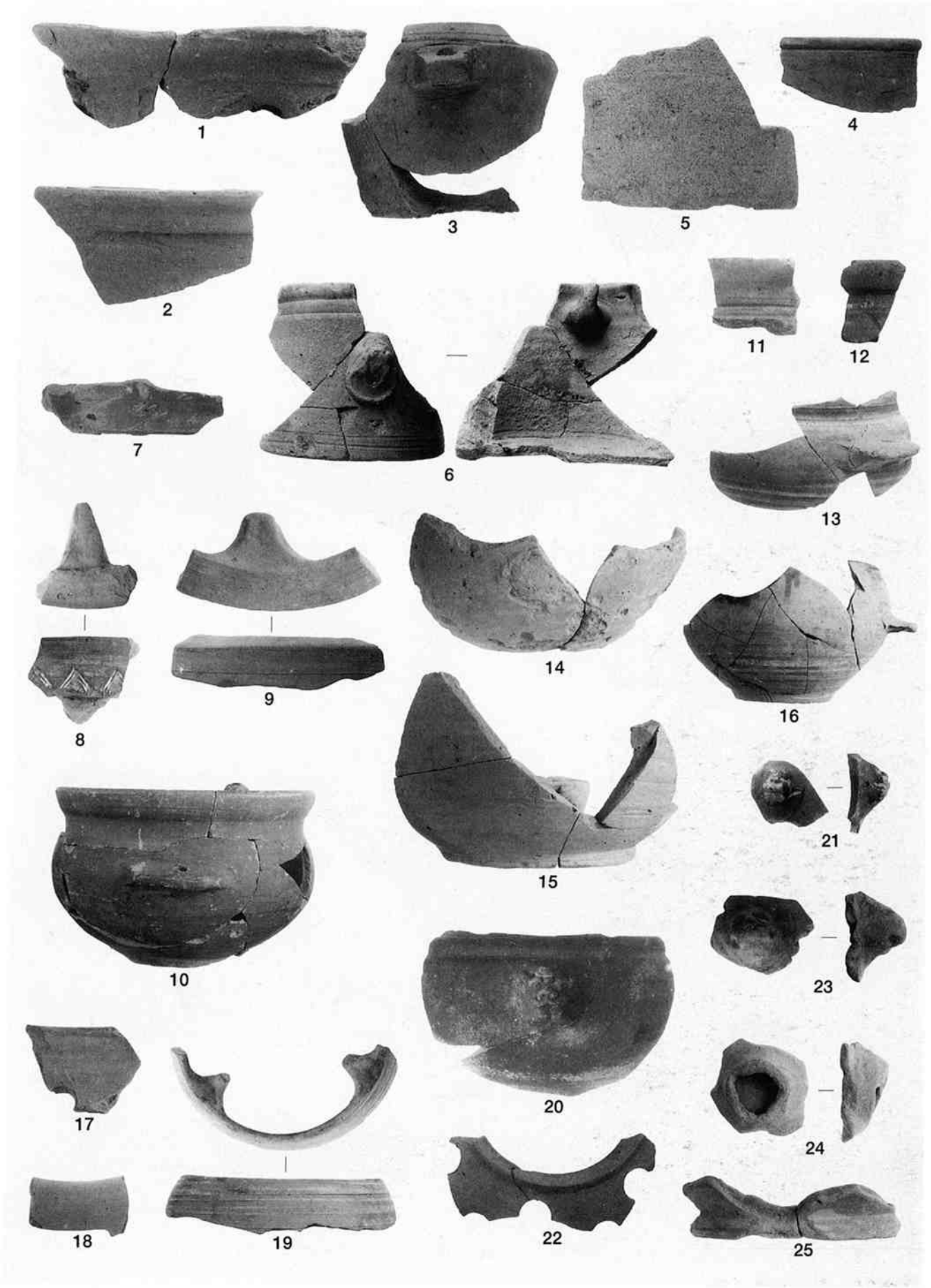

図版52　沖縄産無釉陶器（５）



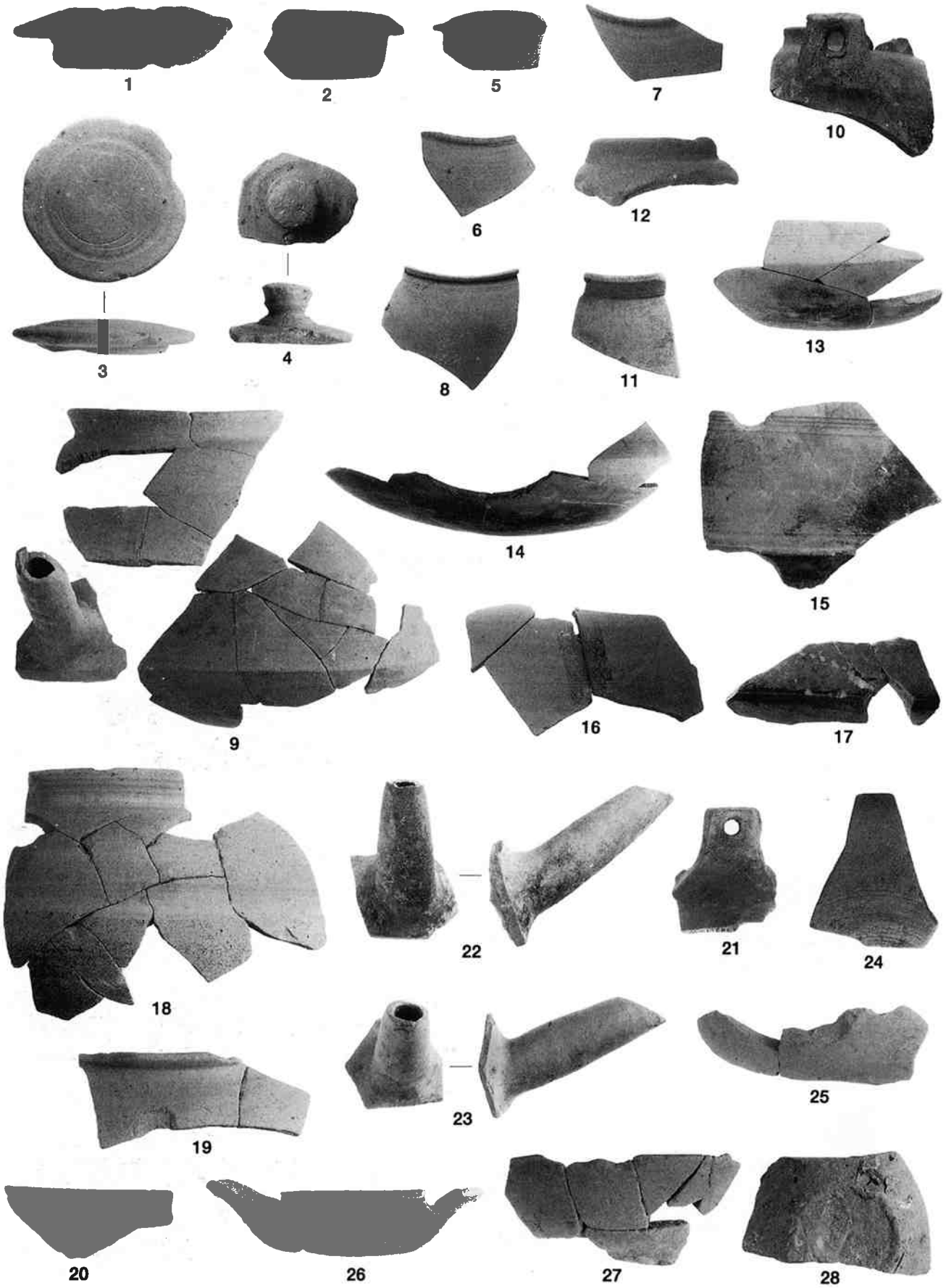

図版53　沖縄産無釉陶器（6）



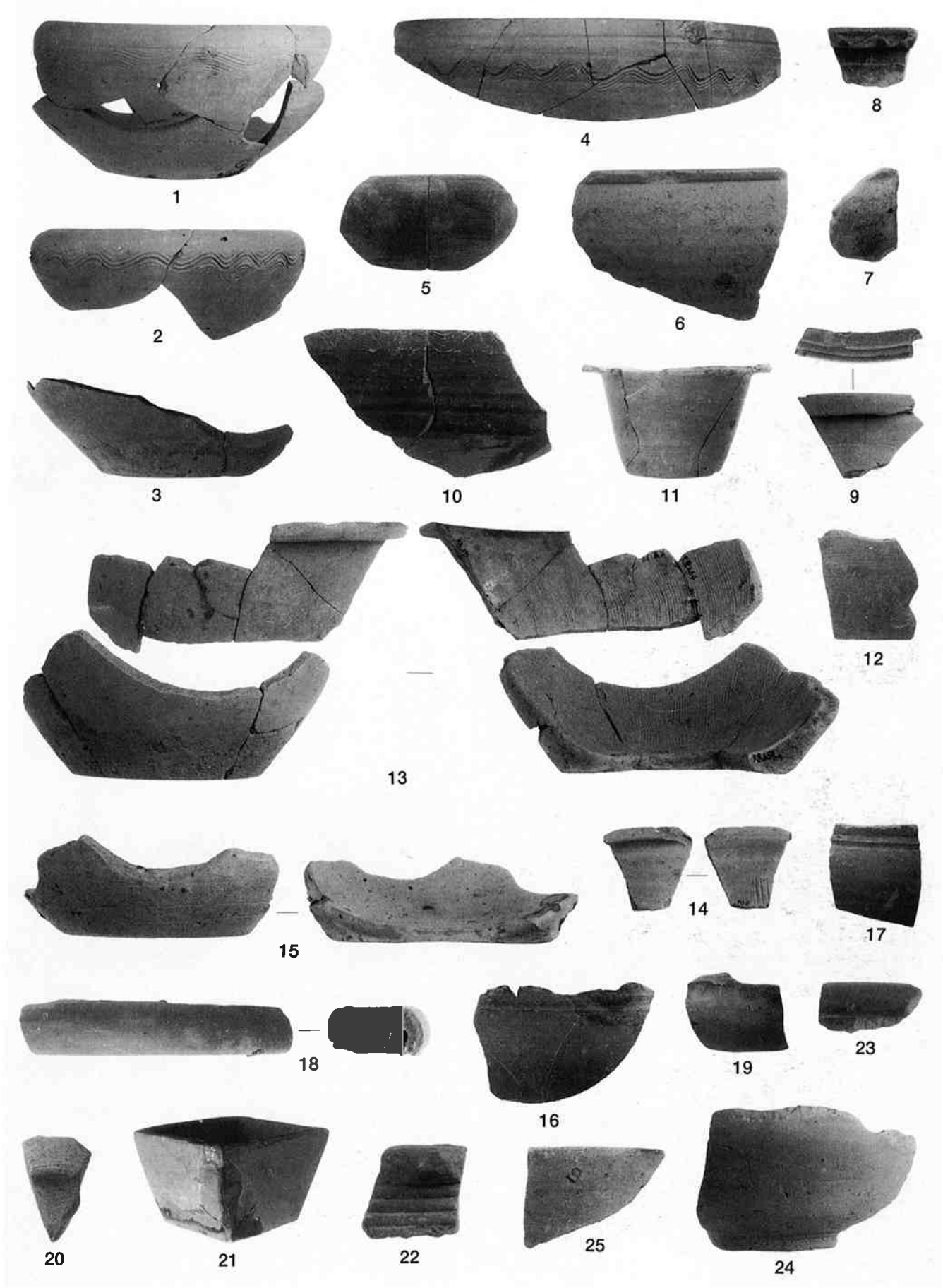

図版54　陶質土器（1）



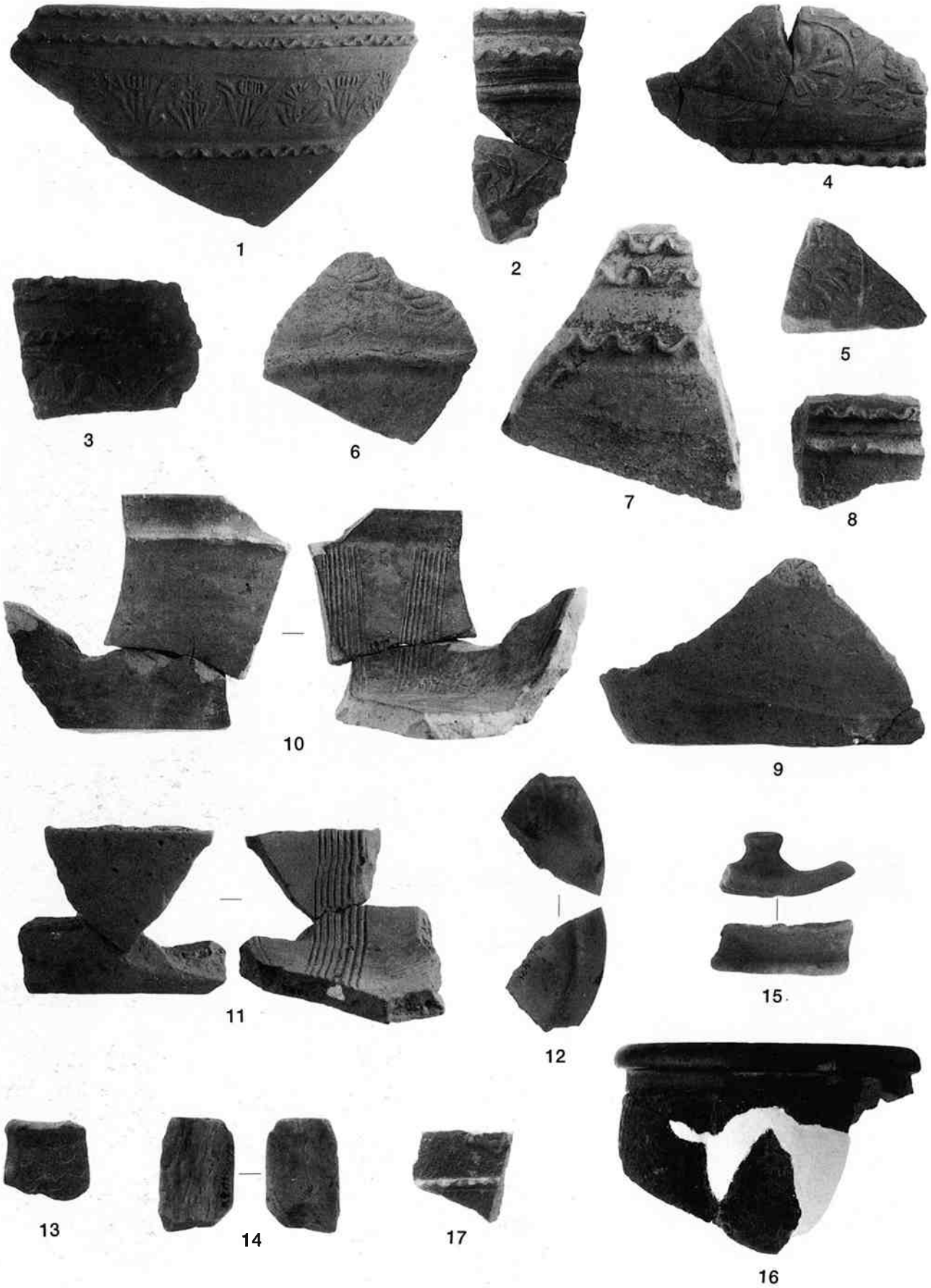

図版55　陶質土器（2）



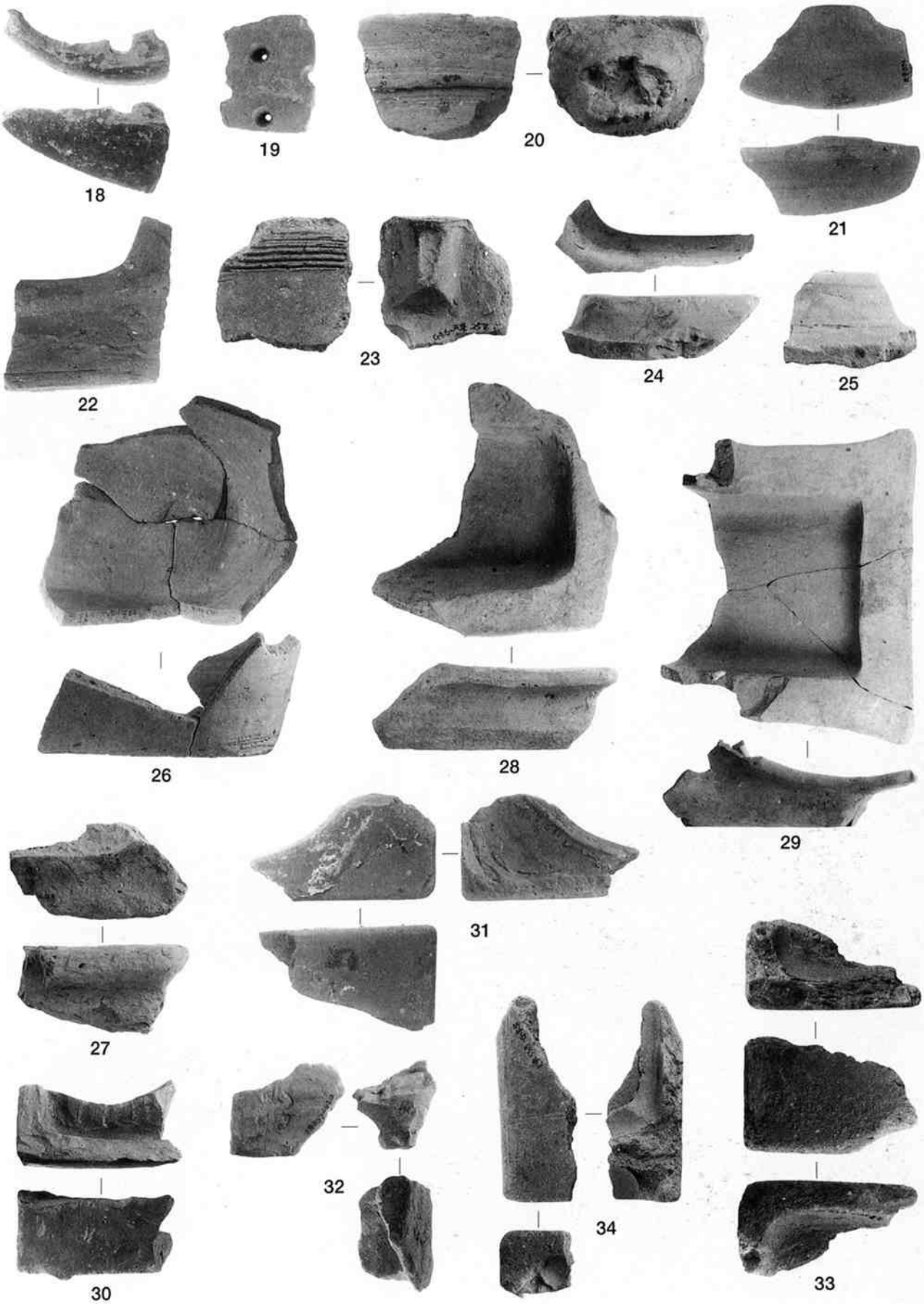

図版56　陶質土器（3）



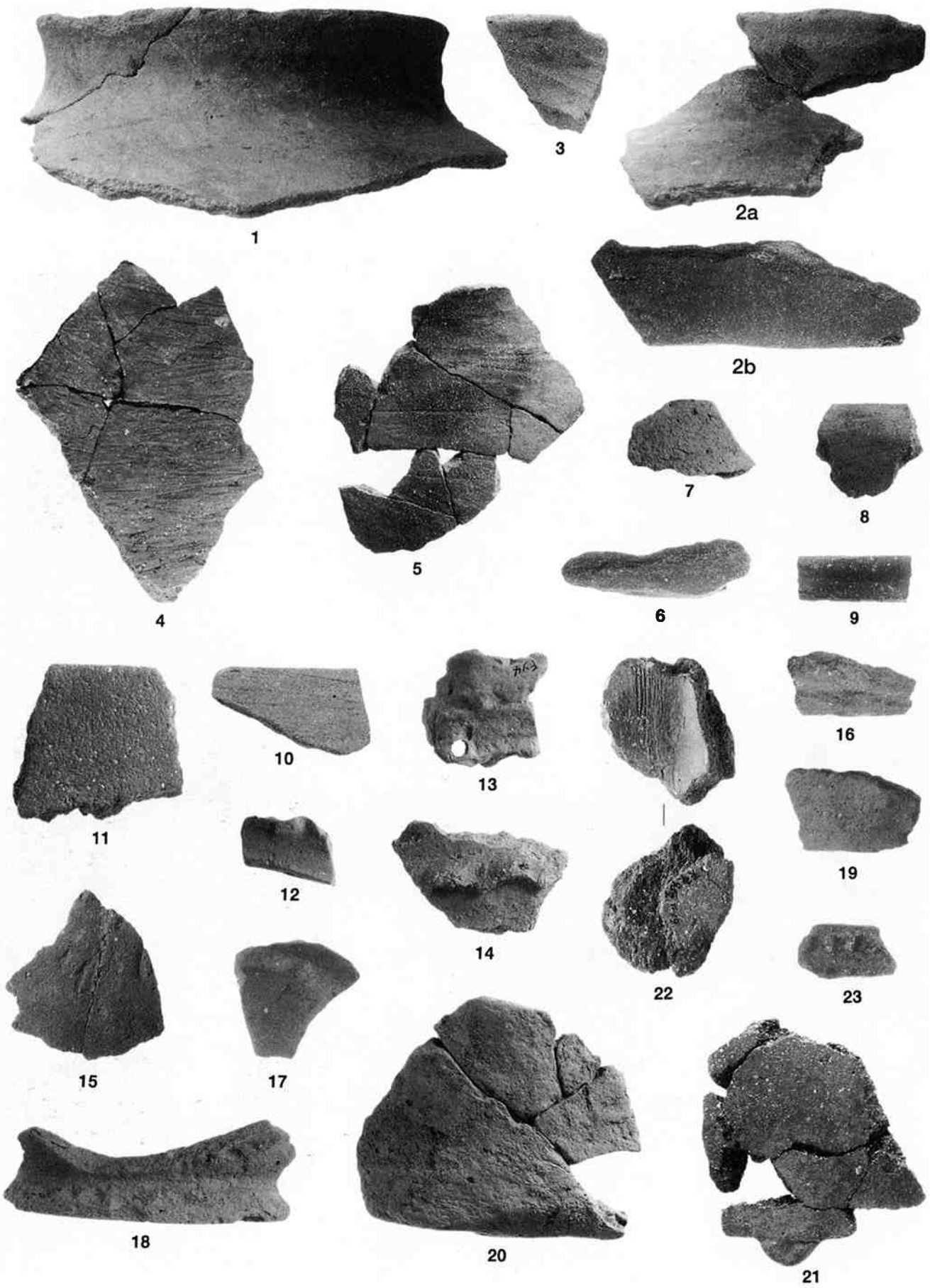

図版57　陶質土器（4）



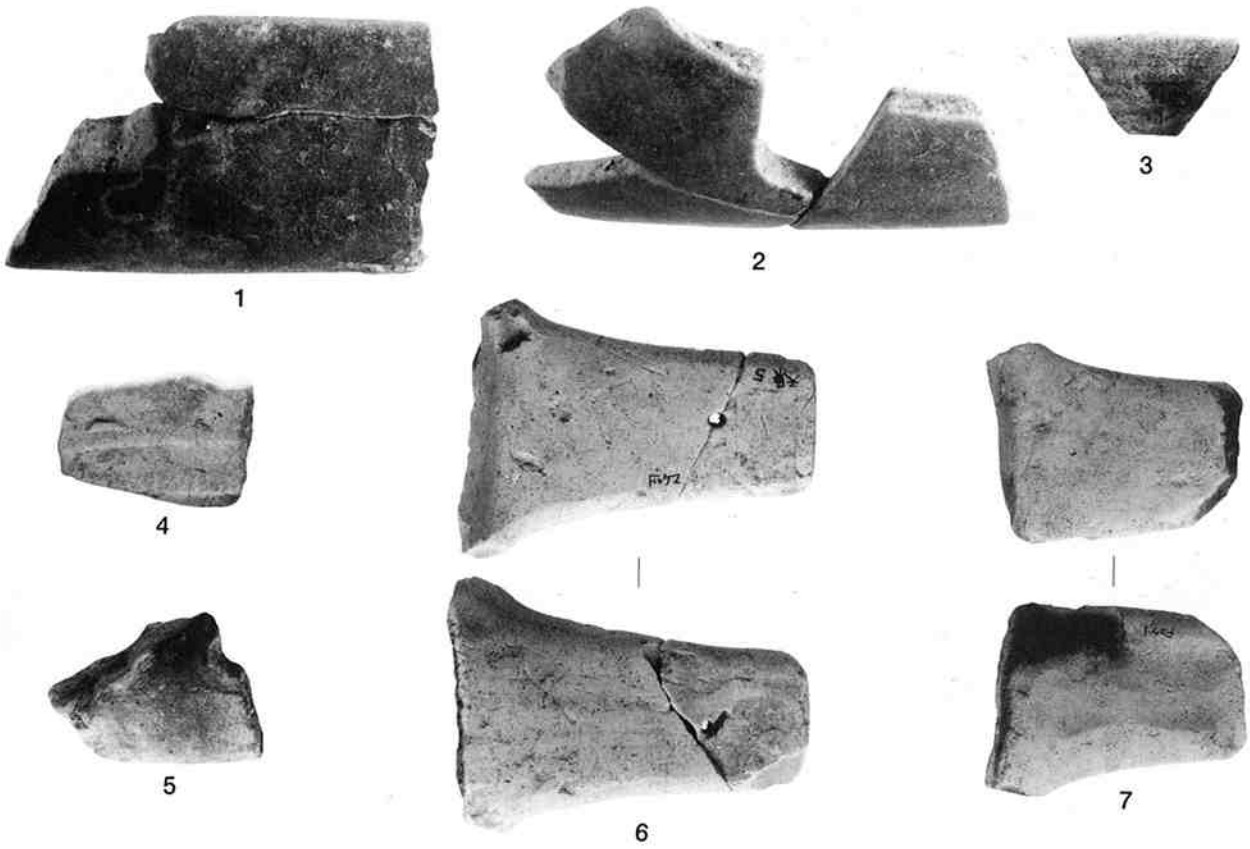

図版58　瓦質土器（1）



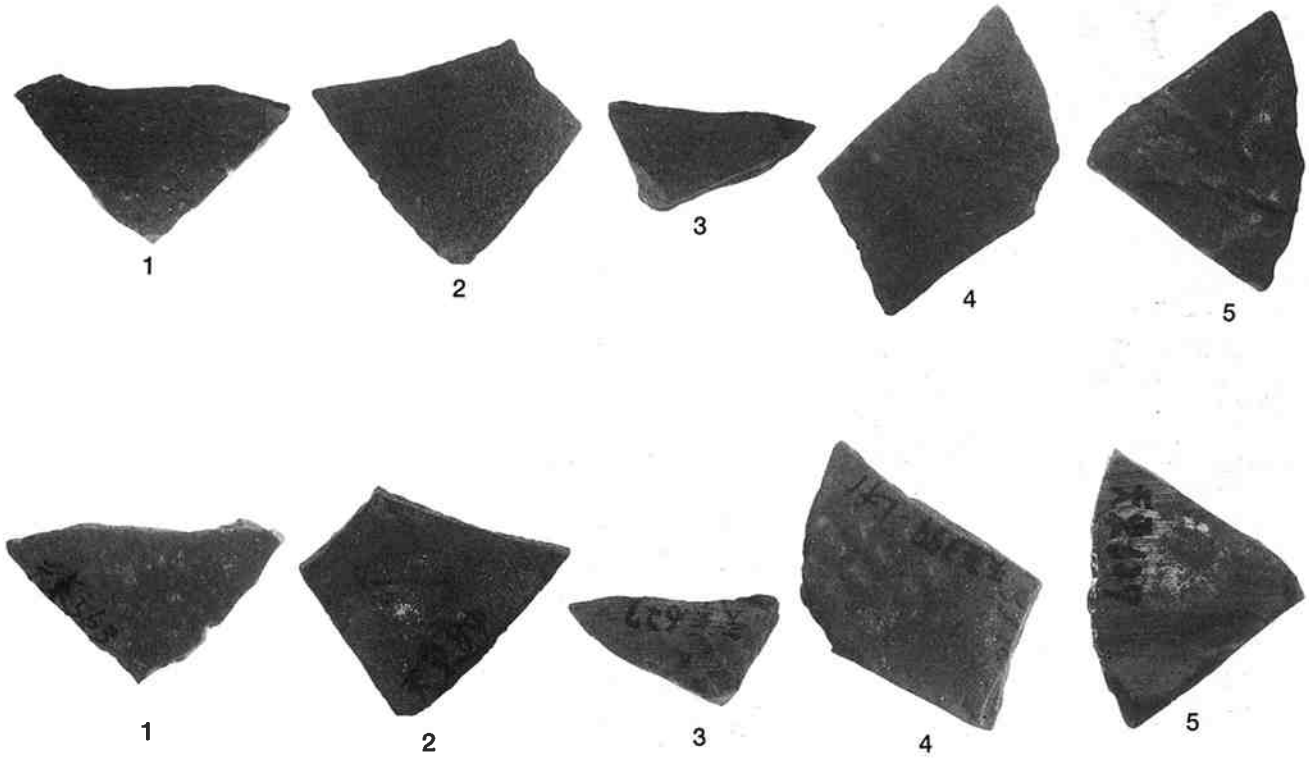

図版59　瓦質土器（2）



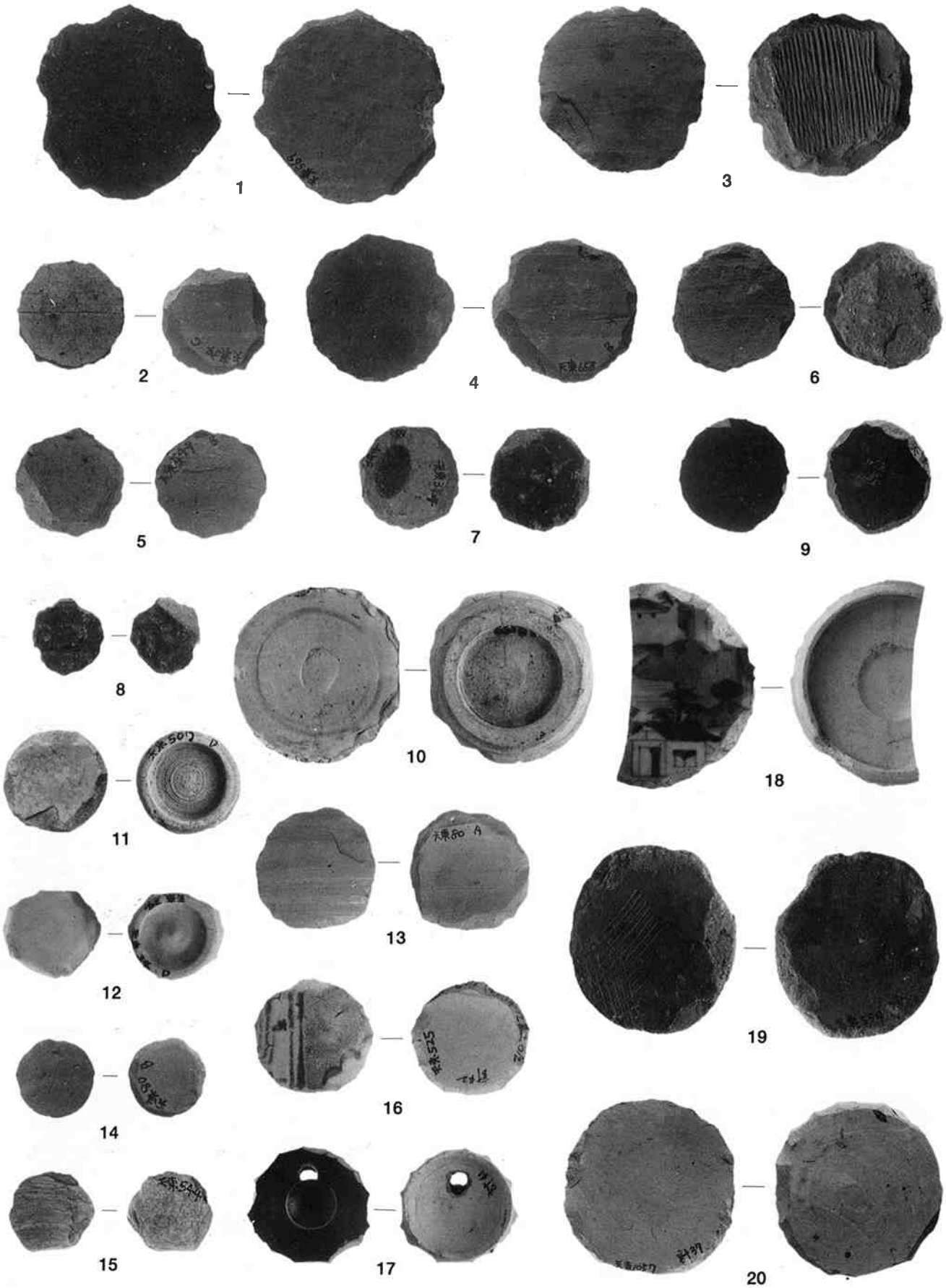

図版60　土器



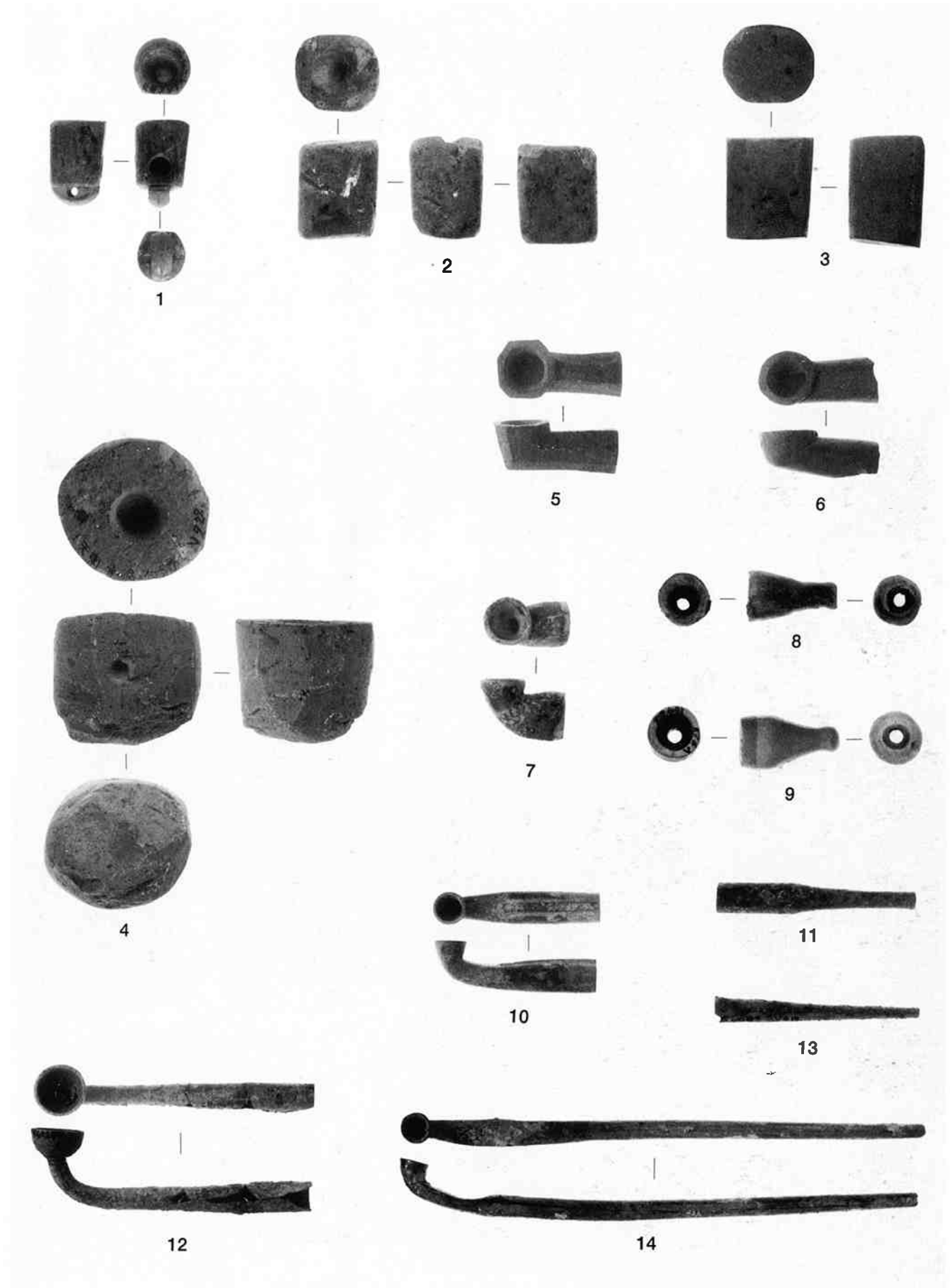

図版61　硬質土器



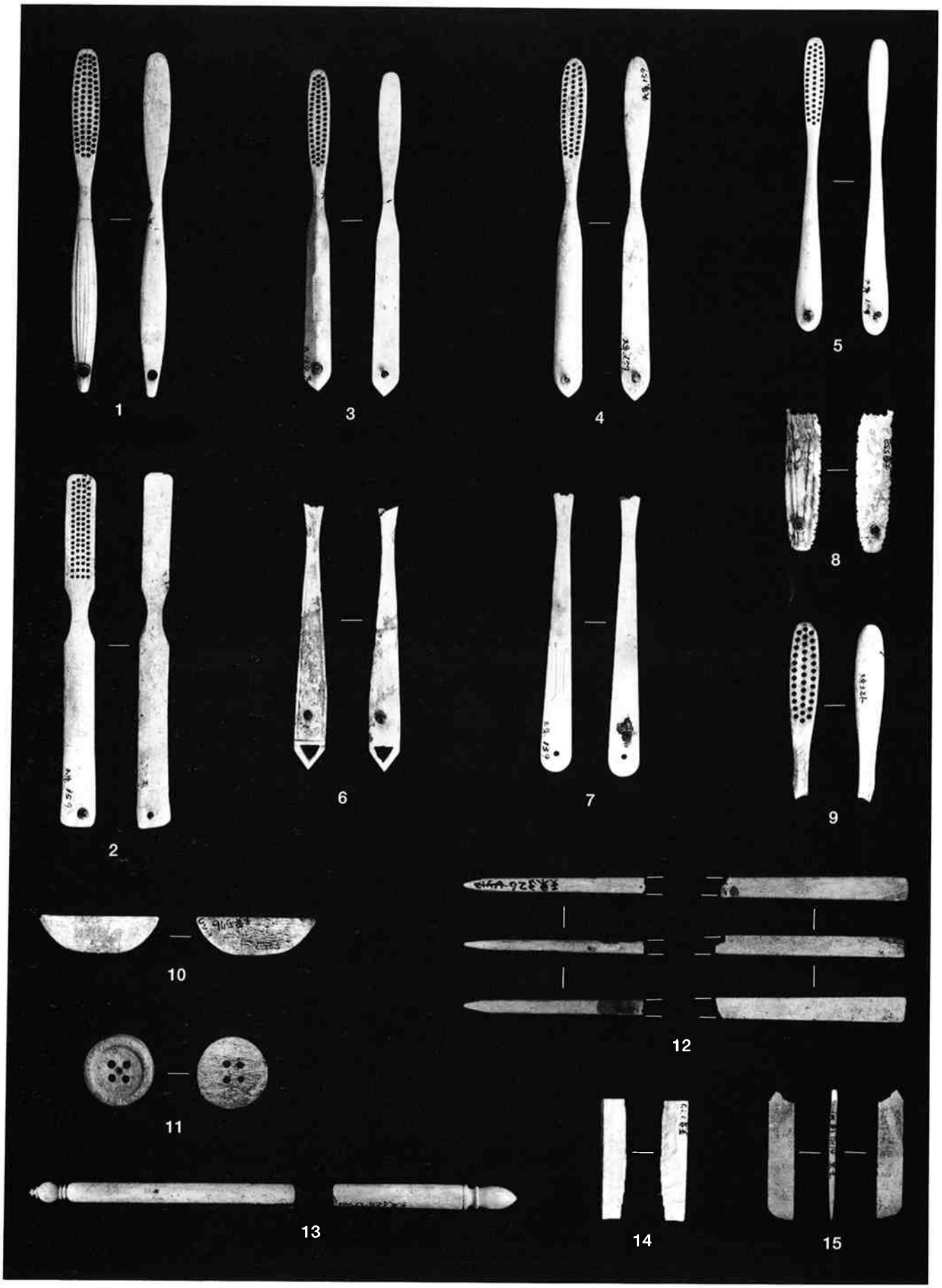

図版62　類須恵器（上：表　下：裏）



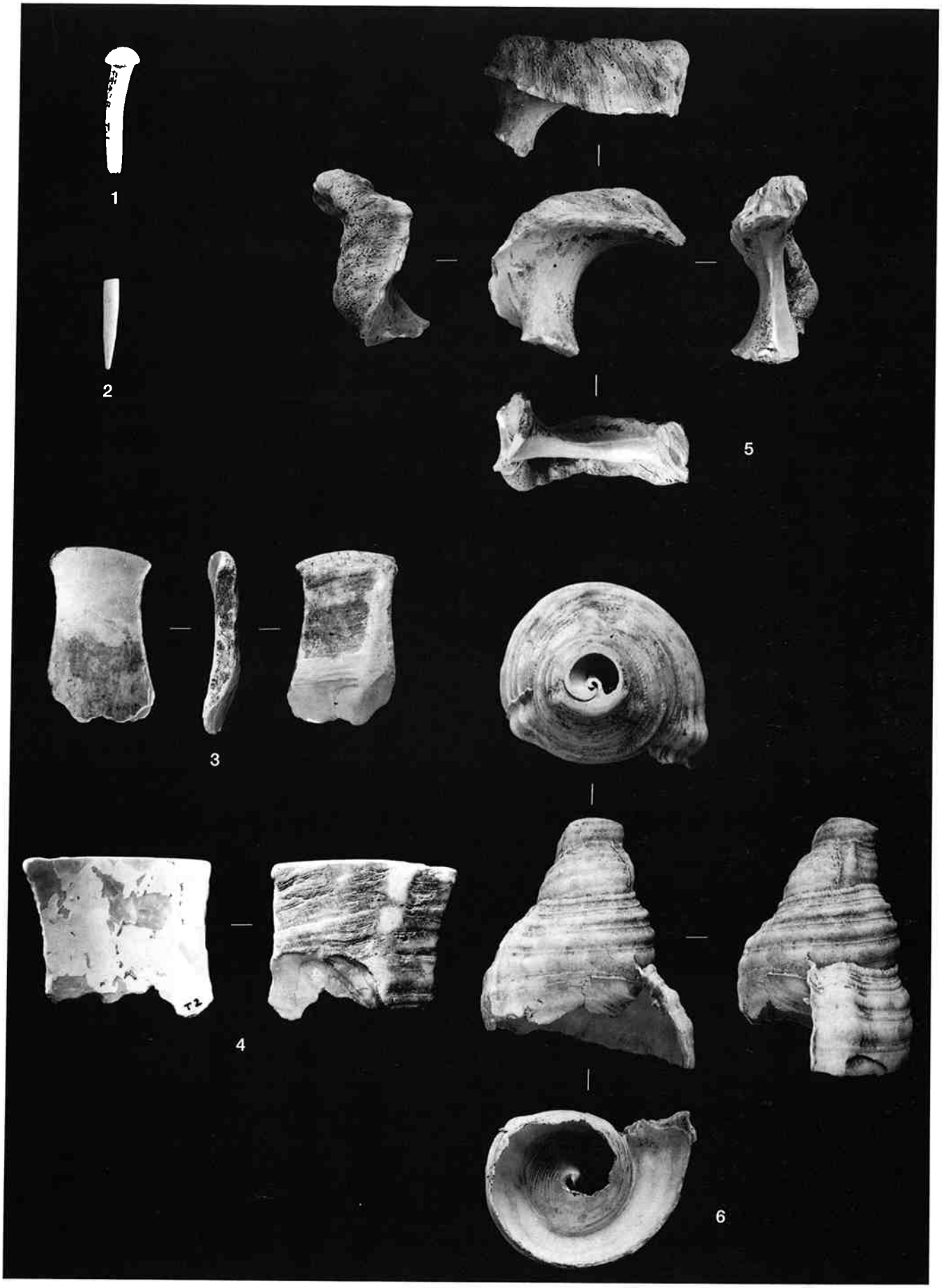

図版63　円盤状製品



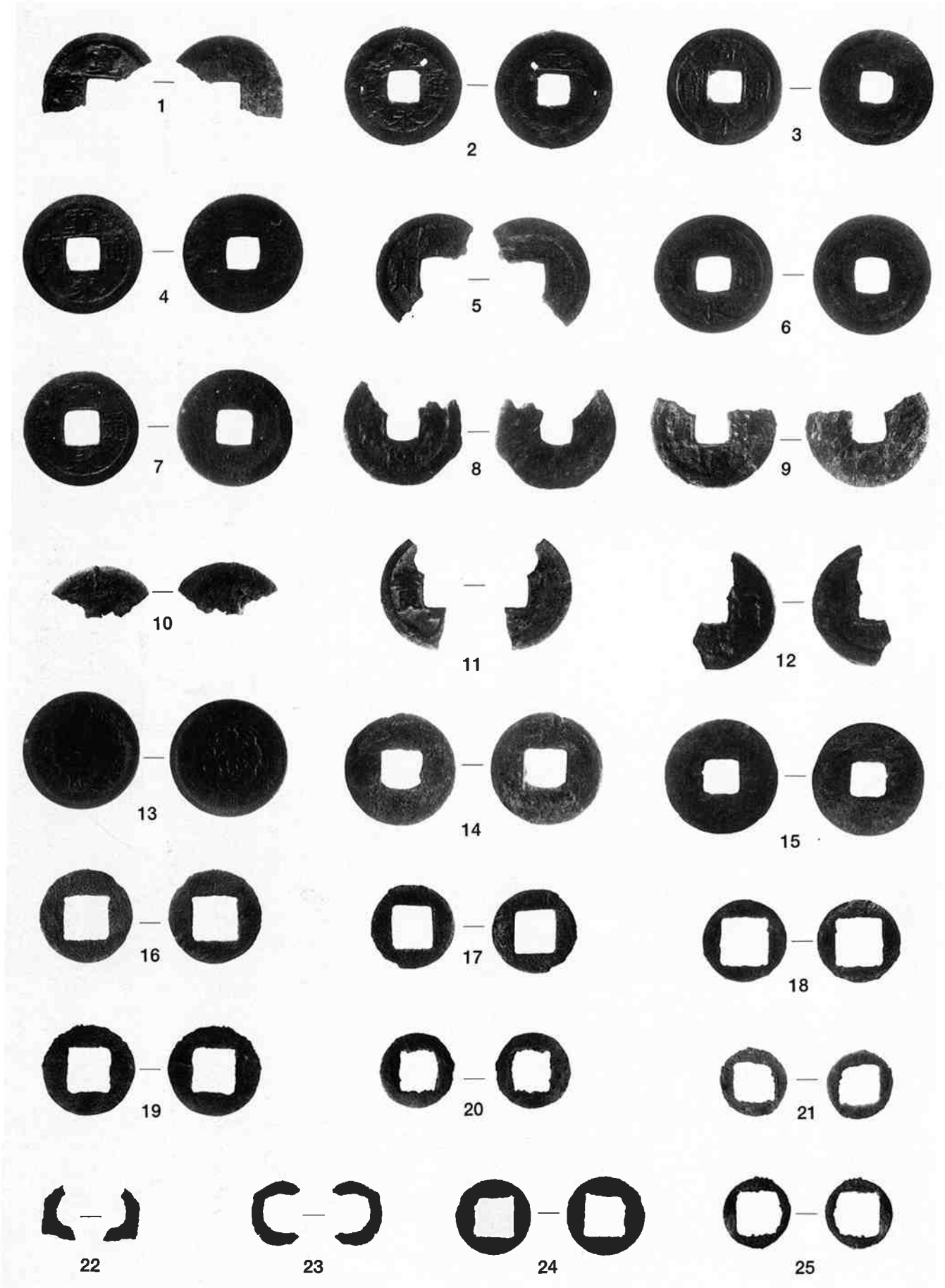

図版64　煙管



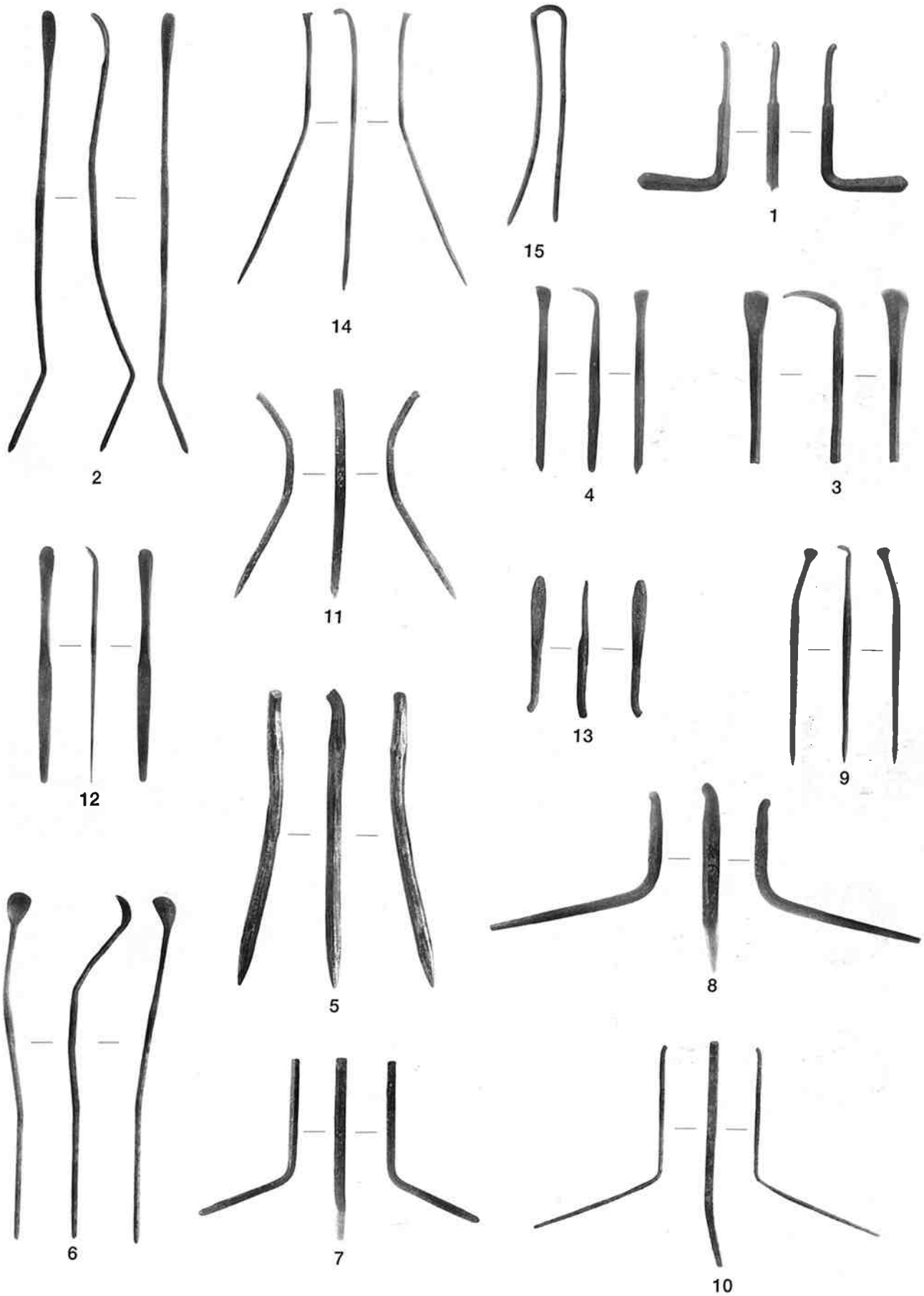

図版65　骨製品



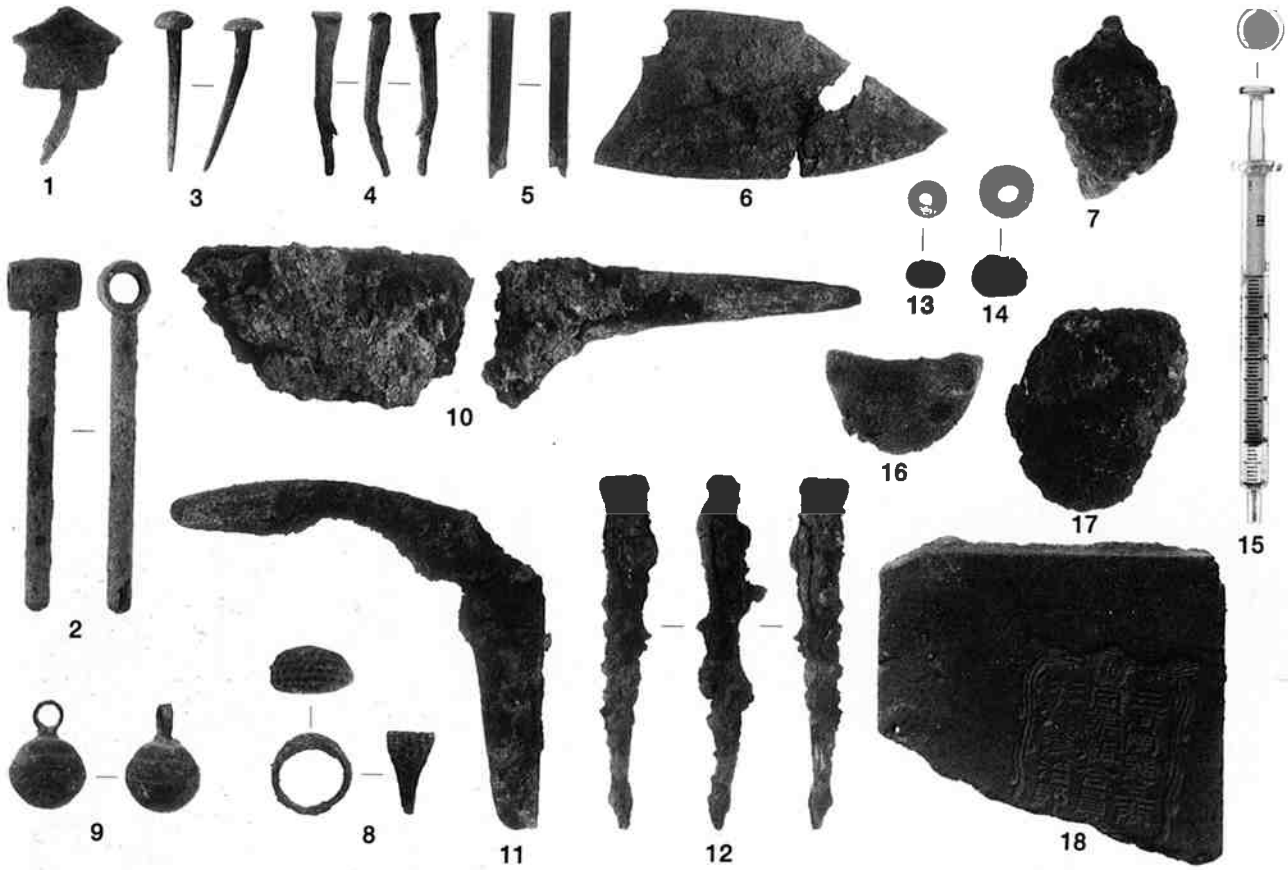

図版66　貝製品

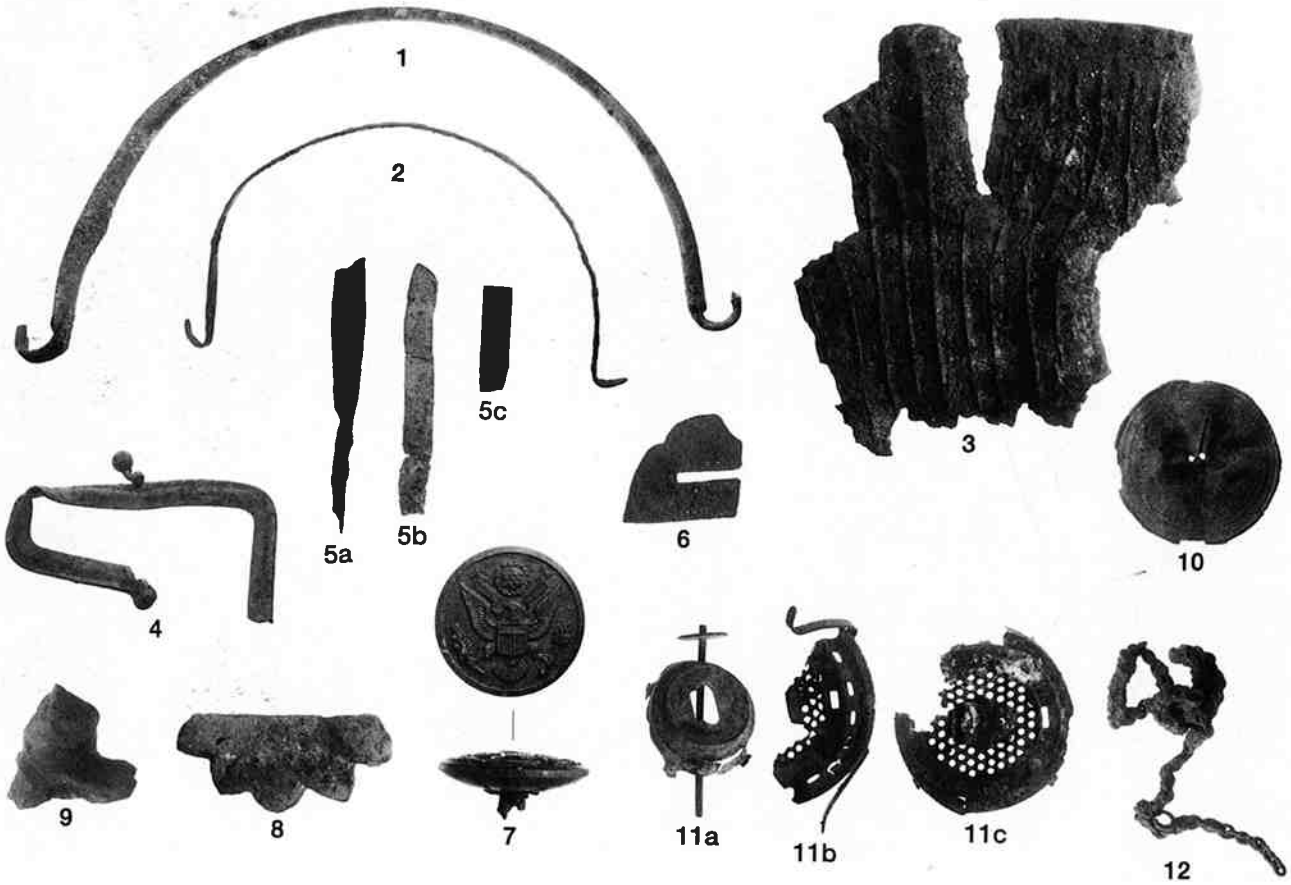



図版67　銭貨（有文・無文）

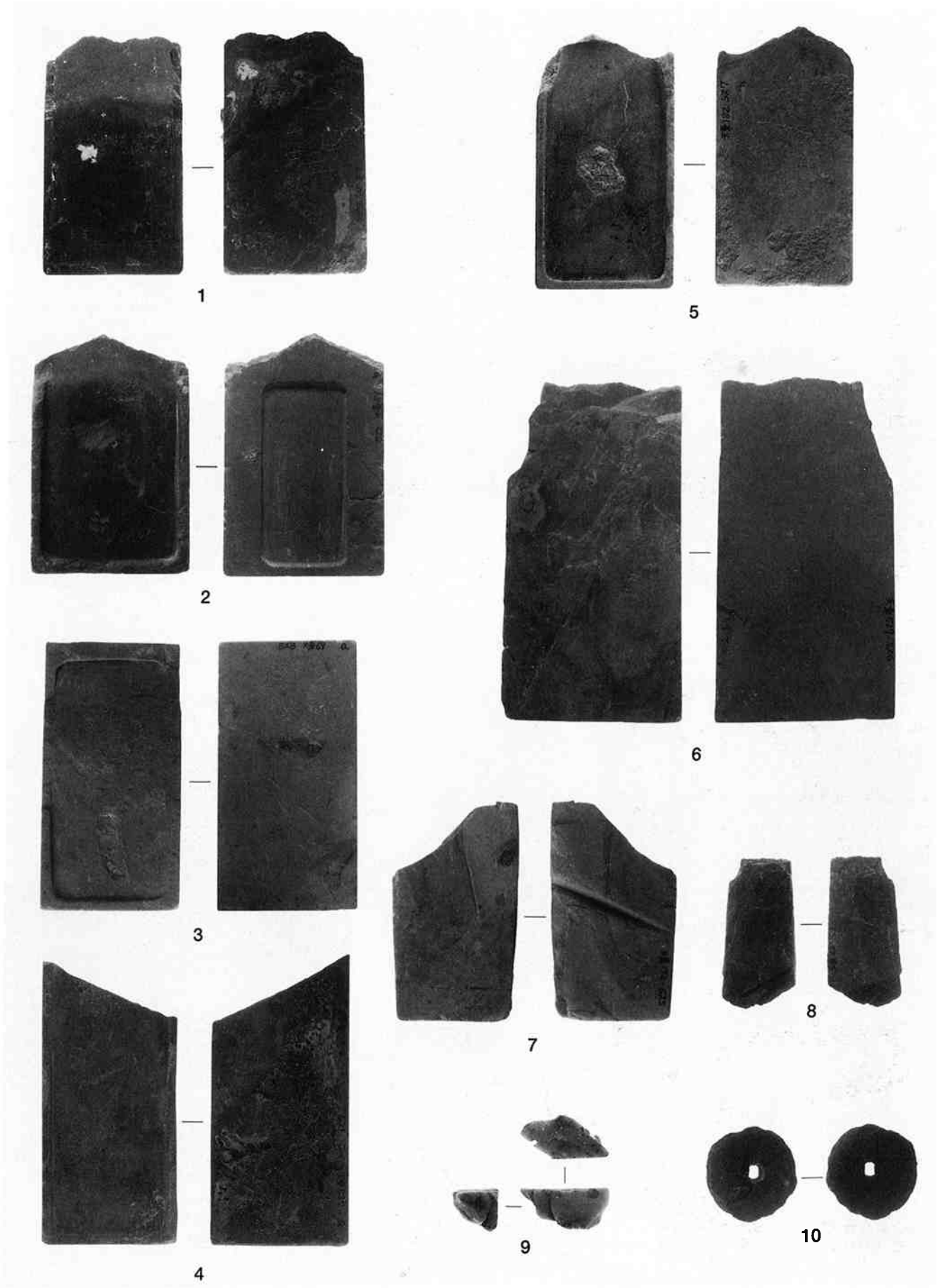



図版68　青銅製品

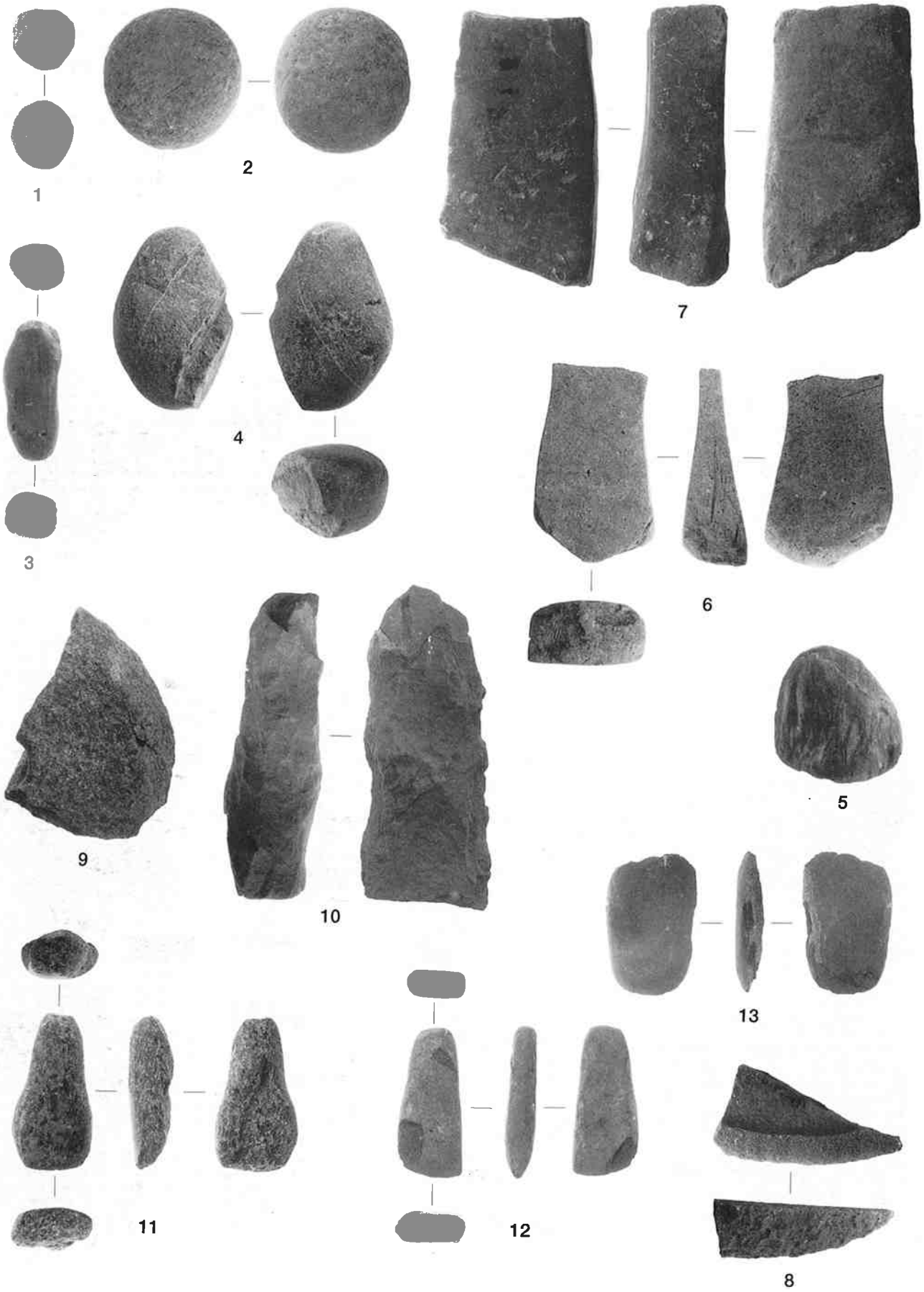


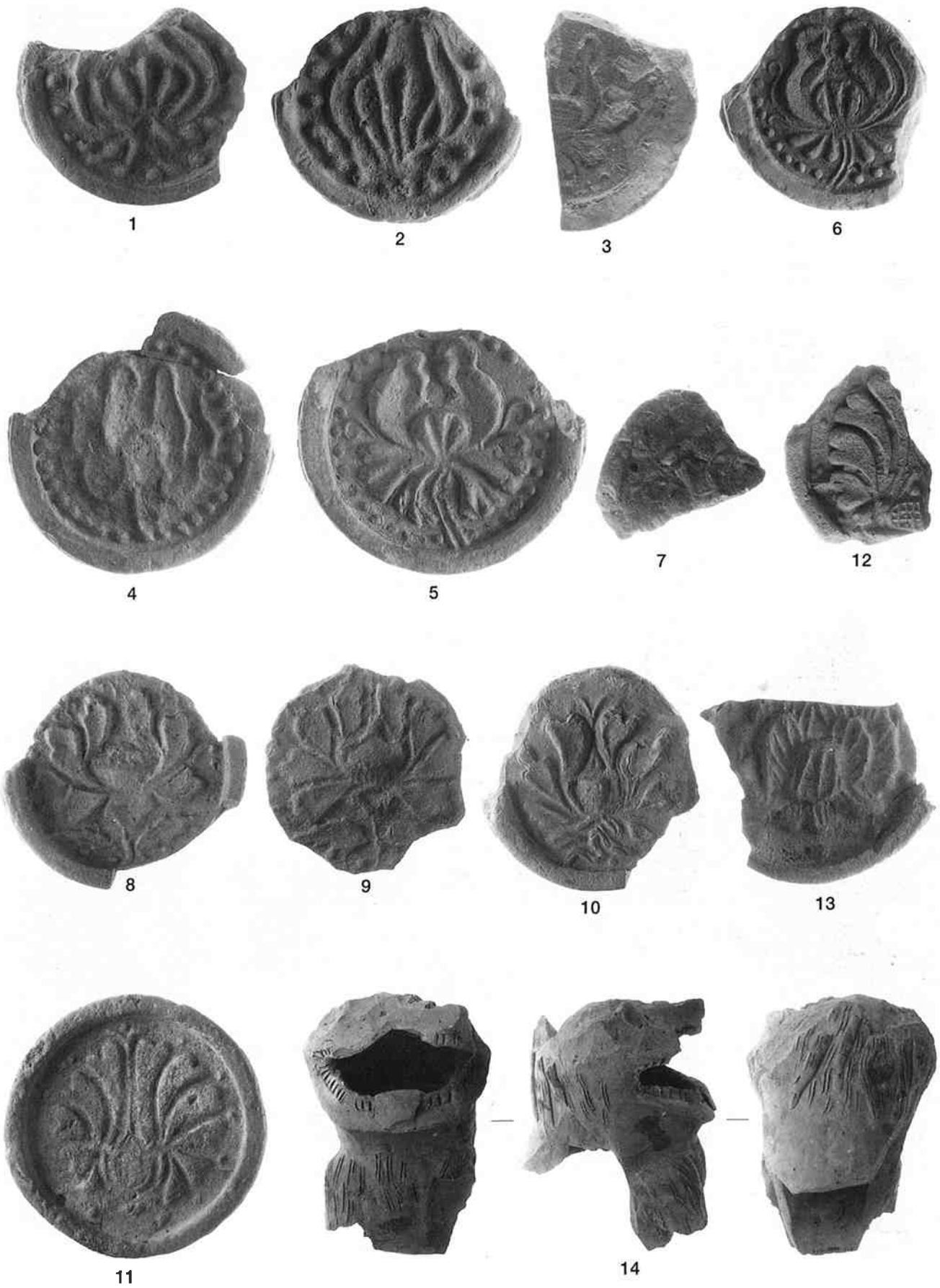

**図版69　上：下　青銅製品・鉄製品・その他**　（下：写真のみ）



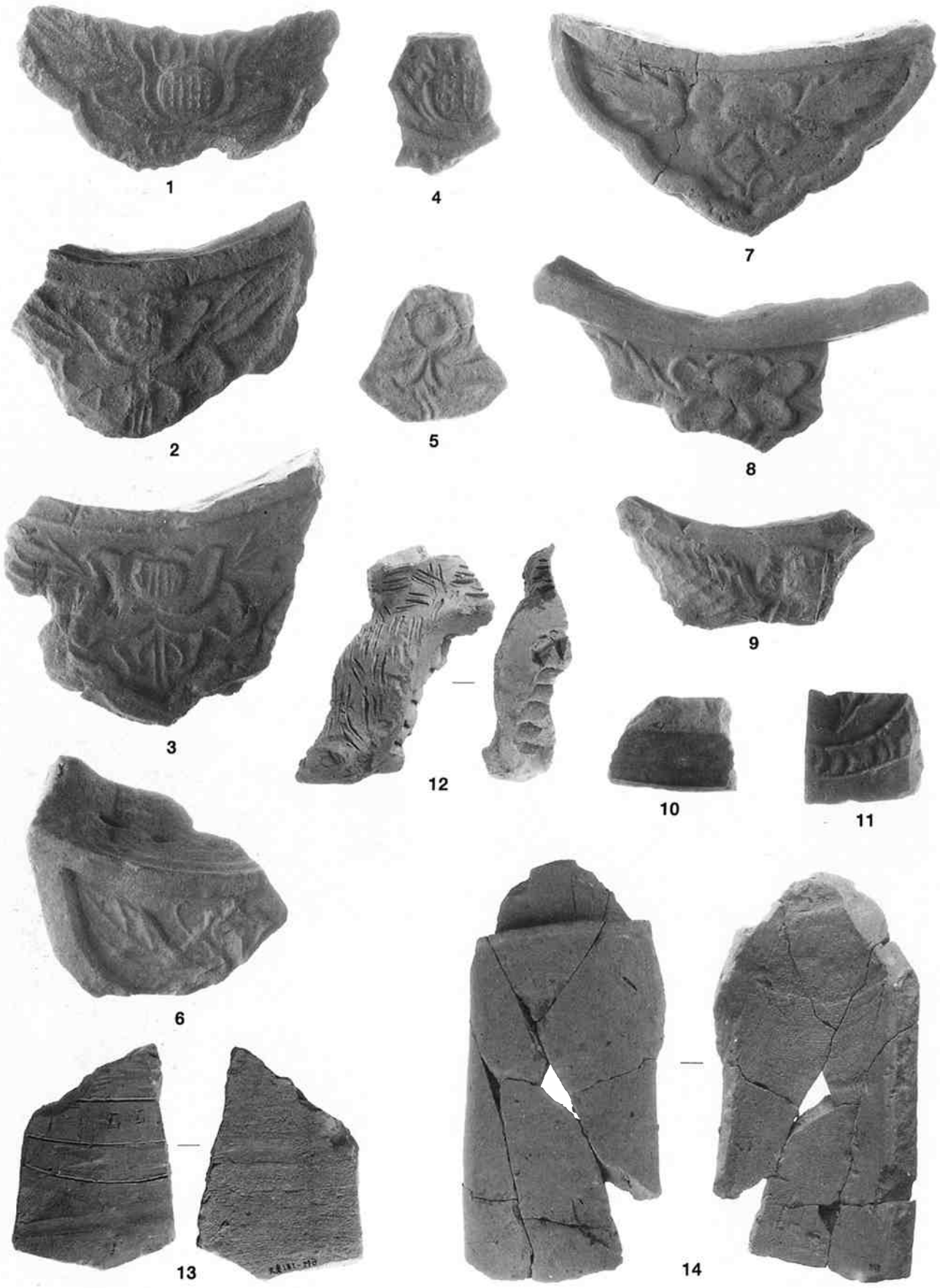

図版70　硯・石製品



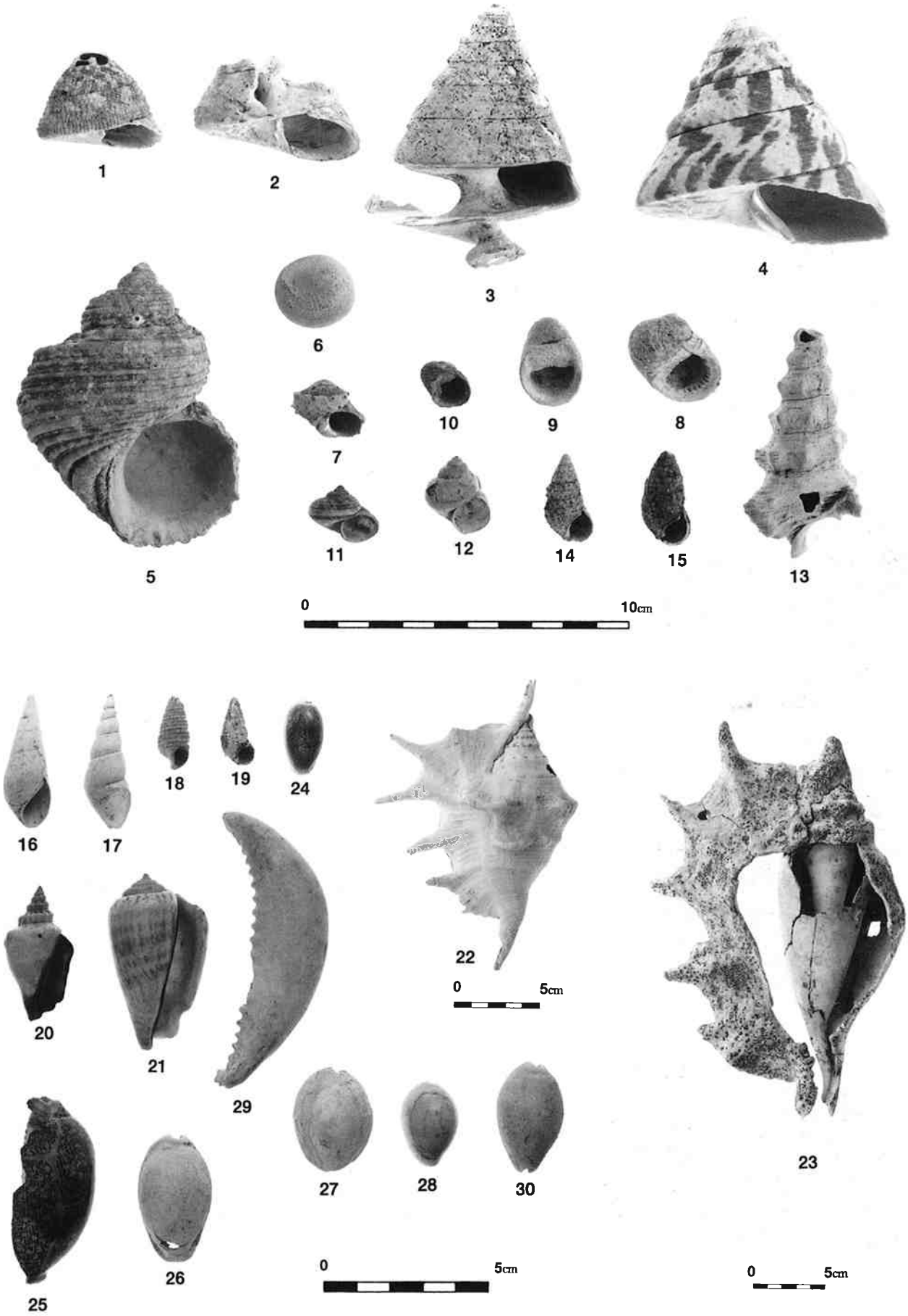

図版71　石器・石製品



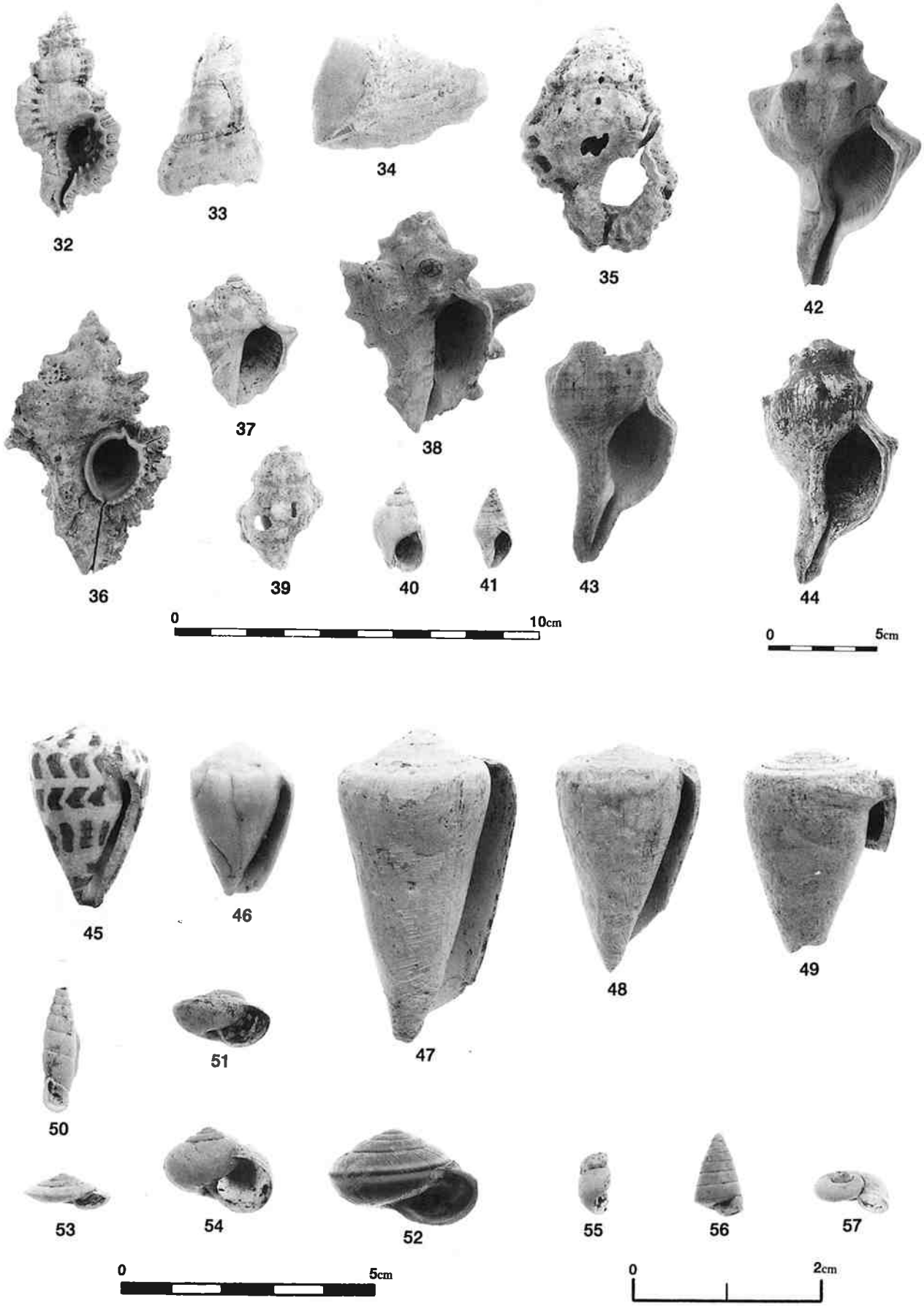

**図版72　瓦（1）軒丸・獅子**



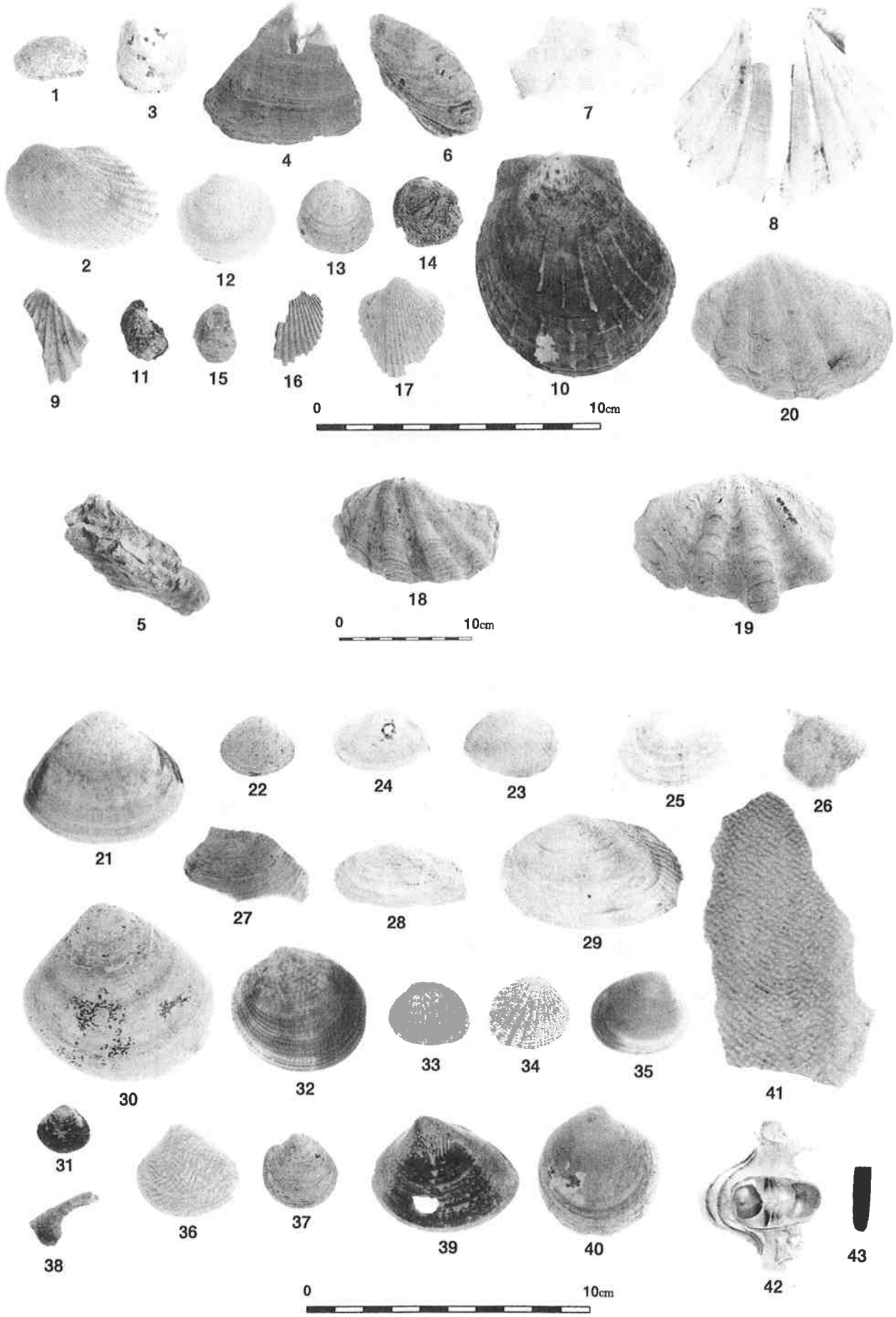

**図版73　瓦（2）** 軒平・丸瓦・その他




図版74　貝（1）巻貝（番号は表と一致）




**図版75　貝（２）**巻貝（番号は表と一致）




図版76　貝（３）二枚貝（番号は表と一致）

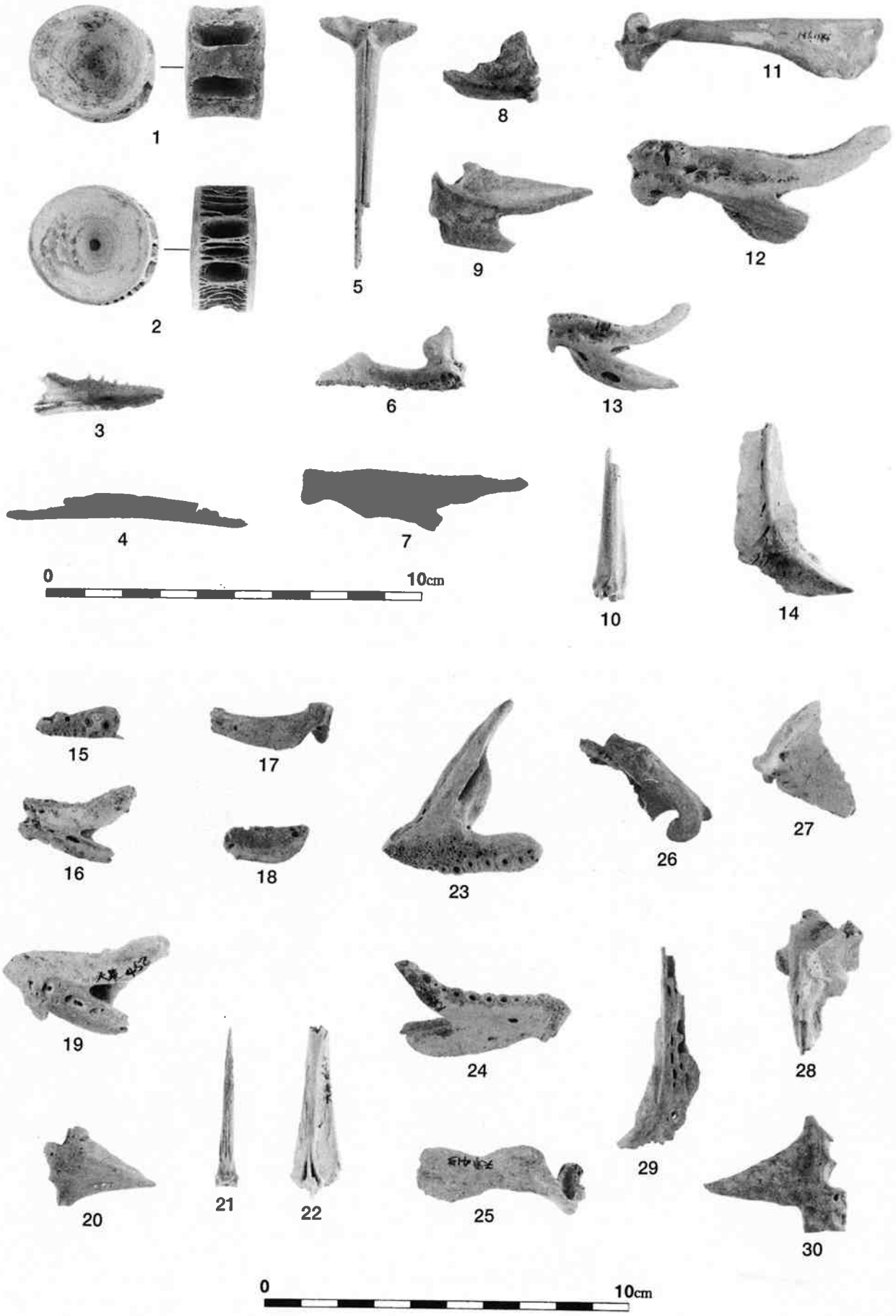
図版77　上・下：サカナ

上

1. メジロザメ　脊椎骨
2. ネズミザメ　脊椎骨
3. カマス科　右　歯骨
4. ダツ科　右　歯骨
5. マグロ類　背鰭棘
6. ハタ科　左　前上顎骨
7. ハタ科　右　歯骨
8. ハタ科　左　方骨
9. ハタ科　右　角骨
10. ハタ科　臀鰭血管間棘
11. ハタ科 or フエダイ科　左　主上顎骨
12. フエダイ科　左　歯骨
13. フエダイ科　左　歯骨
14. フエダイ科　右　前鰓蓋骨

下

15. タイ科　クロダイ　右　前上顎骨
16. タイ科　クロダイ　左　歯骨
17. タイ科　クロダイ　左　主上顎骨
18. タイ科　マダイ　左　前上顎骨
19. タイ科　マダイ　左　歯骨
20. タイ科　マダイ　左　角骨
21. タイ科　背鰭棘(第２)
22. タイ科　臀鰭血管間棘
23. フエフキダイ科　ハマフエフキ　右　前上顎骨
24. フエフキダイ科　ハマフエフキ　左　歯骨
25. フエフキダイ科　ハマフエフキ　右　主上顎骨
26. フエフキダイ科　ハマフエフキ　右　口蓋骨
27. フエフキダイ科　ハマフエフキ　右　方骨
28. フエフキダイ科　ハマフエフキ　右　舌顎
29. フエフキダイ科　ハマフエフキ　左　前鰓蓋骨
30. フエフキダイ科　ハマフエフキ　左　角骨




図版77　骨(1) 上・下：サカナ

**図版78　上：サカナ・下：ニワトリ・カモ類**

**上：サカナ**

31. ベラ科　コブダイ　左　前上顎骨
32. ベラ科　コブダイ　左　歯骨
33. ベラ科　コブダイ　下咽頭骨
34. ベラ科　タキベラ　下咽頭骨
35. ベラ科　右　角骨
36. ブダイ科　ナンヨウブダイ　左　上咽頭骨
37. ブダイ科　ナンヨウブダイ　下咽頭骨
38. ブダイ科　左　前上顎骨
39. ブダイ科　右　歯骨
40. モンガラカワハギ科　左　前上顎骨
41. 種不明　第2臀鰭棘

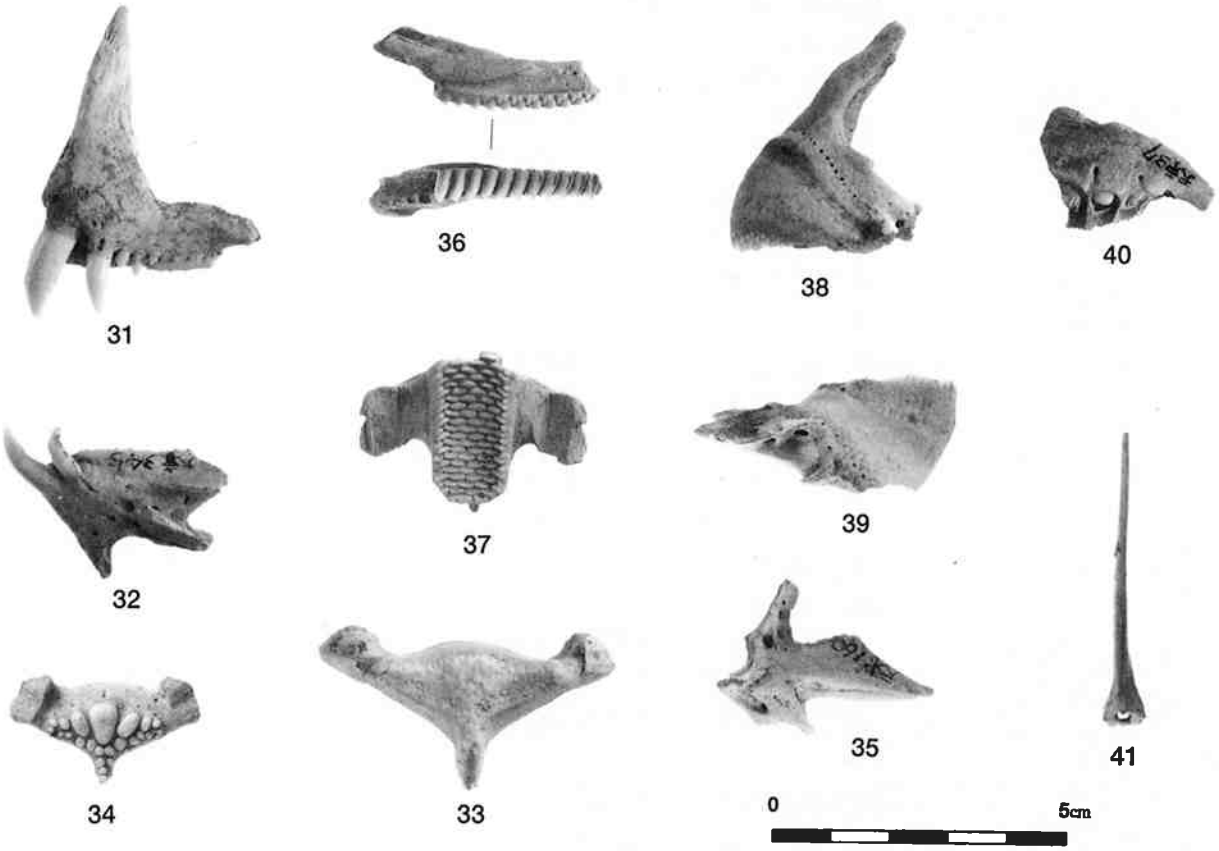
**下：ニワトリ・カモ類**

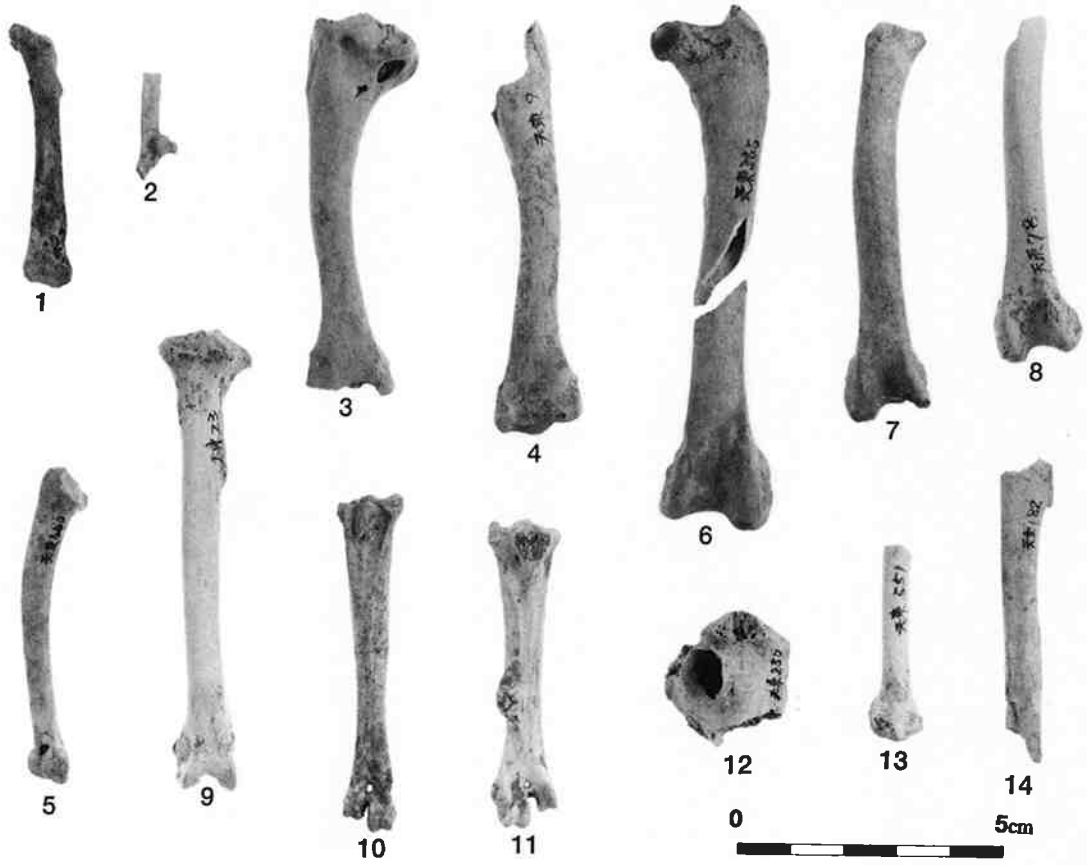
**ニワトリ**

1. 右　烏口骨　完存
2. 右　肩甲骨　遠位端
3. 左　上腕骨　近位端～遠位部
4. 右　上腕骨　近位部～遠位端
5. 左　尺骨　完存
6. 左　大腿骨　完存
7. 右　大腿骨　近位部～遠位端
8. 右　大腿骨　近位部～遠位端
9. 右　脛骨　完存
10. 左　中足骨　♀　完存
11. 右　中足骨　♂　完存

**カモ類**

12. 右　上腕骨　近位端
13. 左　尺骨　遠位端
14. 左　脛骨　骨体　キズあり




図版78　骨(2) 上：サカナ、下：ニワトリ・カモ類

**図版79　上・下：イヌ**

上

1. 右　下顎骨　犬歯
2. 胸椎
3. 腰椎

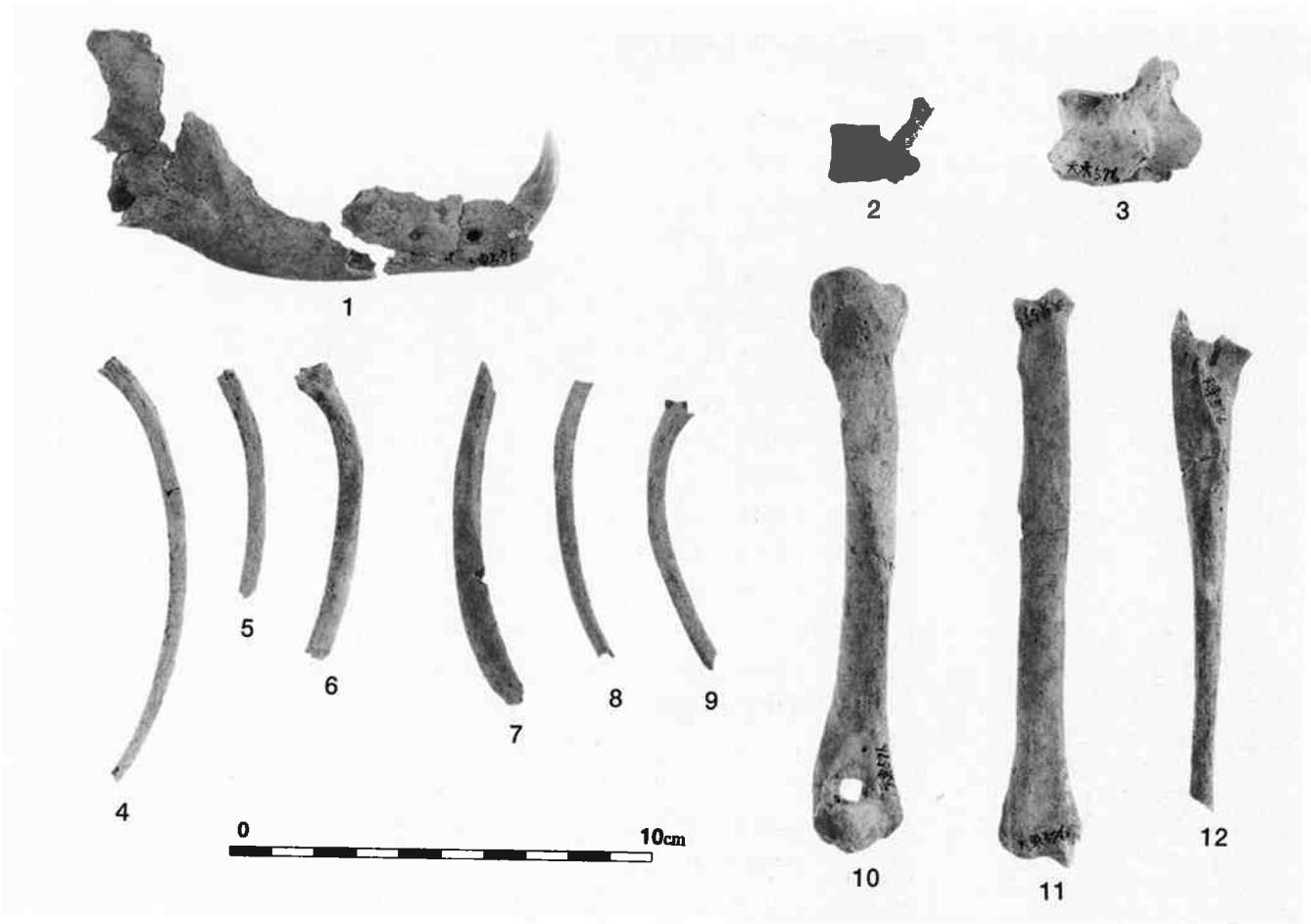
4～6. 左　肋骨

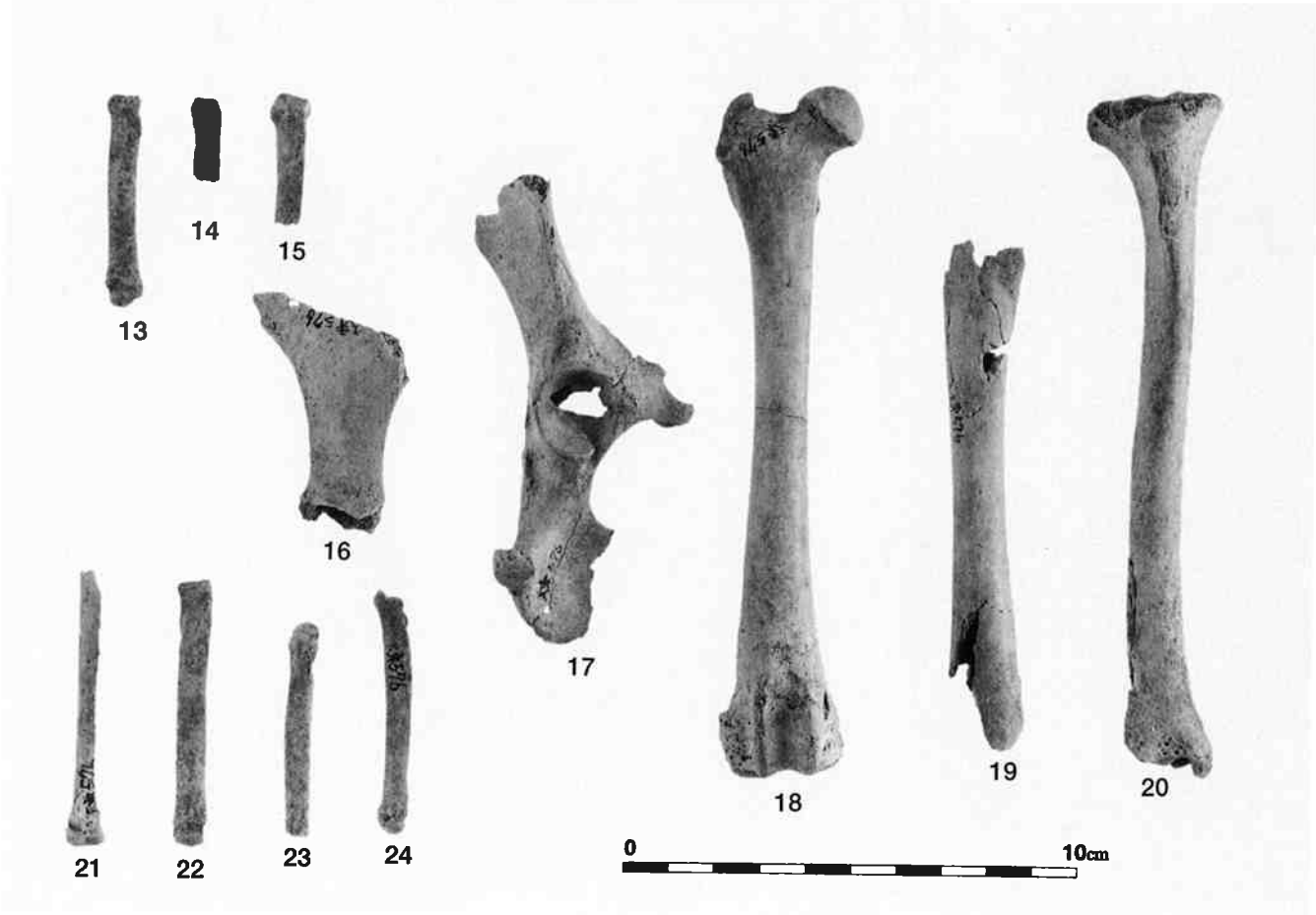
7～9. 右　肋骨

10. 右　上腕骨　完存
11. 右　橈骨　　完存
12. 右　尺骨　　骨体～遠位部

下

13. 右　中手骨　Ⅱ　完存
14. 左　中手骨　Ⅲ　近位端
15. 左　中手骨　Ⅴ　近位端
16. 左　寛骨　　腸骨部
17. 右　寛骨　　腸骨部～坐骨
18. 右　大腿骨　完存
19. 左　大腿骨　近位部～遠位部
20. 右　脛骨　　完存
21. 左　腓骨　　遠位部
22. 左　中足骨　Ⅲ　完存
23. 左　中足骨　Ⅳ　近位端～遠位部
24. 右　中足骨　Ⅴ　完存




図版79　骨(3) 上・下：イヌ

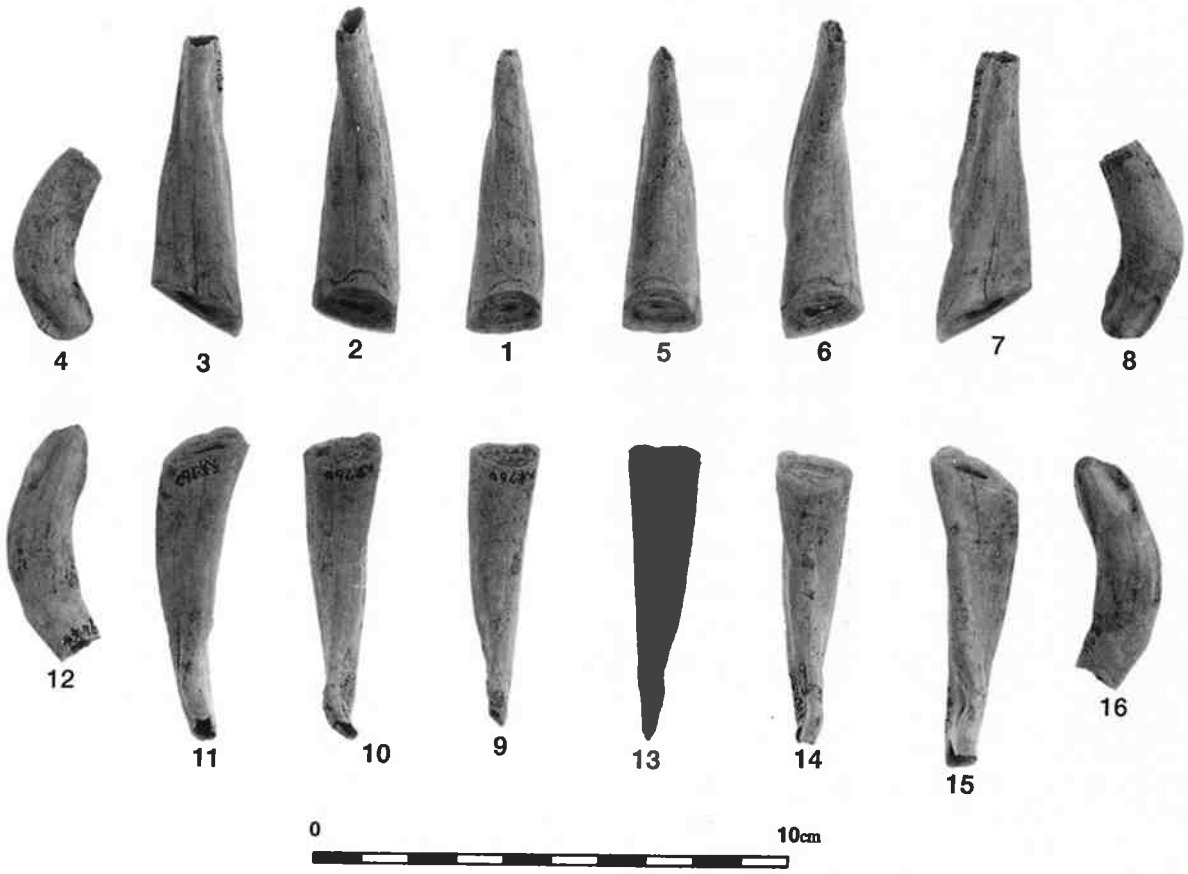
図版80　上・下：ウマ(1)

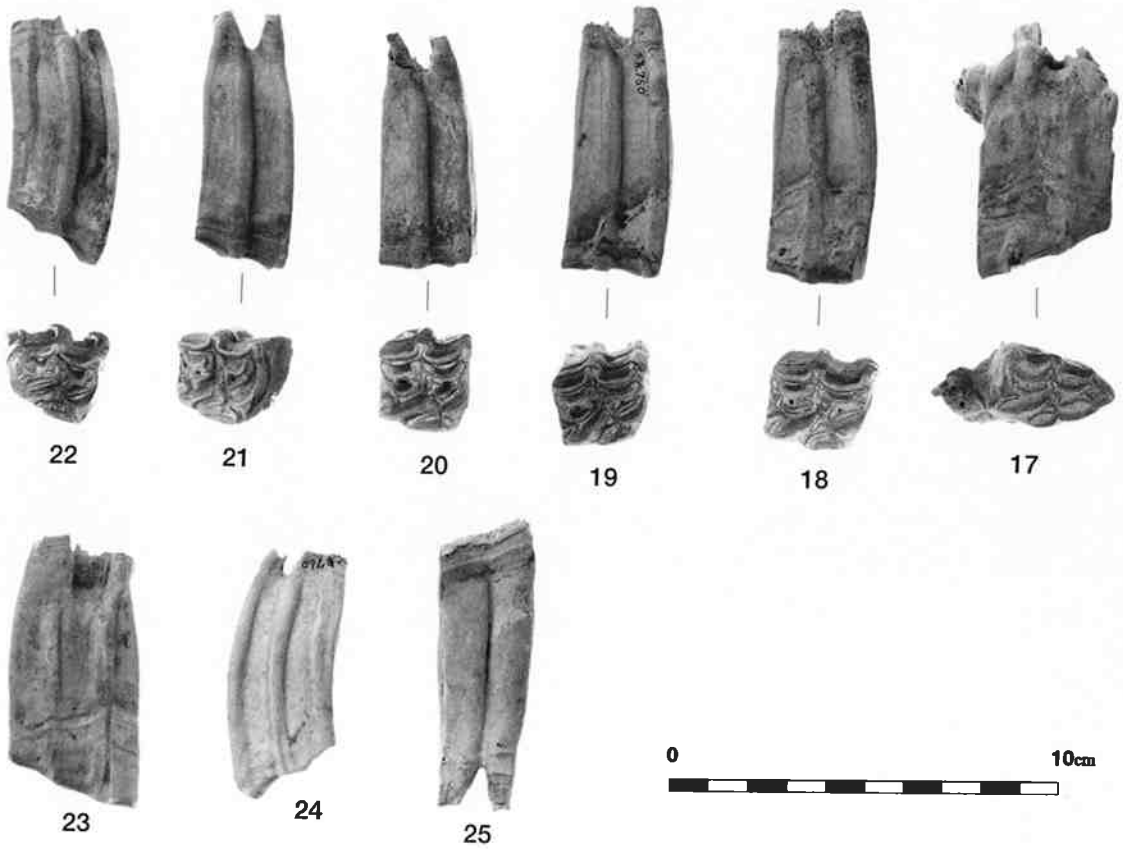
上

1. 左　上顎骨　$I^1$
2. 左　上顎骨　$I^2$
3. 左　上顎骨　$I^3$
4. 左　上顎骨　犬歯
5. 右　上顎骨　$I^1$
6. 右　上顎骨　$I^2$
7. 右　上顎骨　$I^3$
8. 右　上顎骨　犬歯
9. 左　下顎骨　$I_1$
10. 左　下顎骨　$I_2$
11. 左　下顎骨　$I_3$
12. 左　下顎骨　犬歯
13. 右　下顎骨　$I_1$
14. 右　下顎骨　$I_2$
15. 右　下顎骨　$I_3$
16. 右　下顎骨　犬歯

下

17. 右　上顎骨　$P^2$
18. 右　上顎骨　$P^3$
19. 右　上顎骨　$P^4$
20. 右　上顎骨　$M^1$
21. 右　上顎骨　$M^2$
22. 右　上顎骨　$M^3$
23. 左　上顎骨　$P^2$
24. 左　上顎骨　$M^3$
25. 右　下顎骨　$P_4$

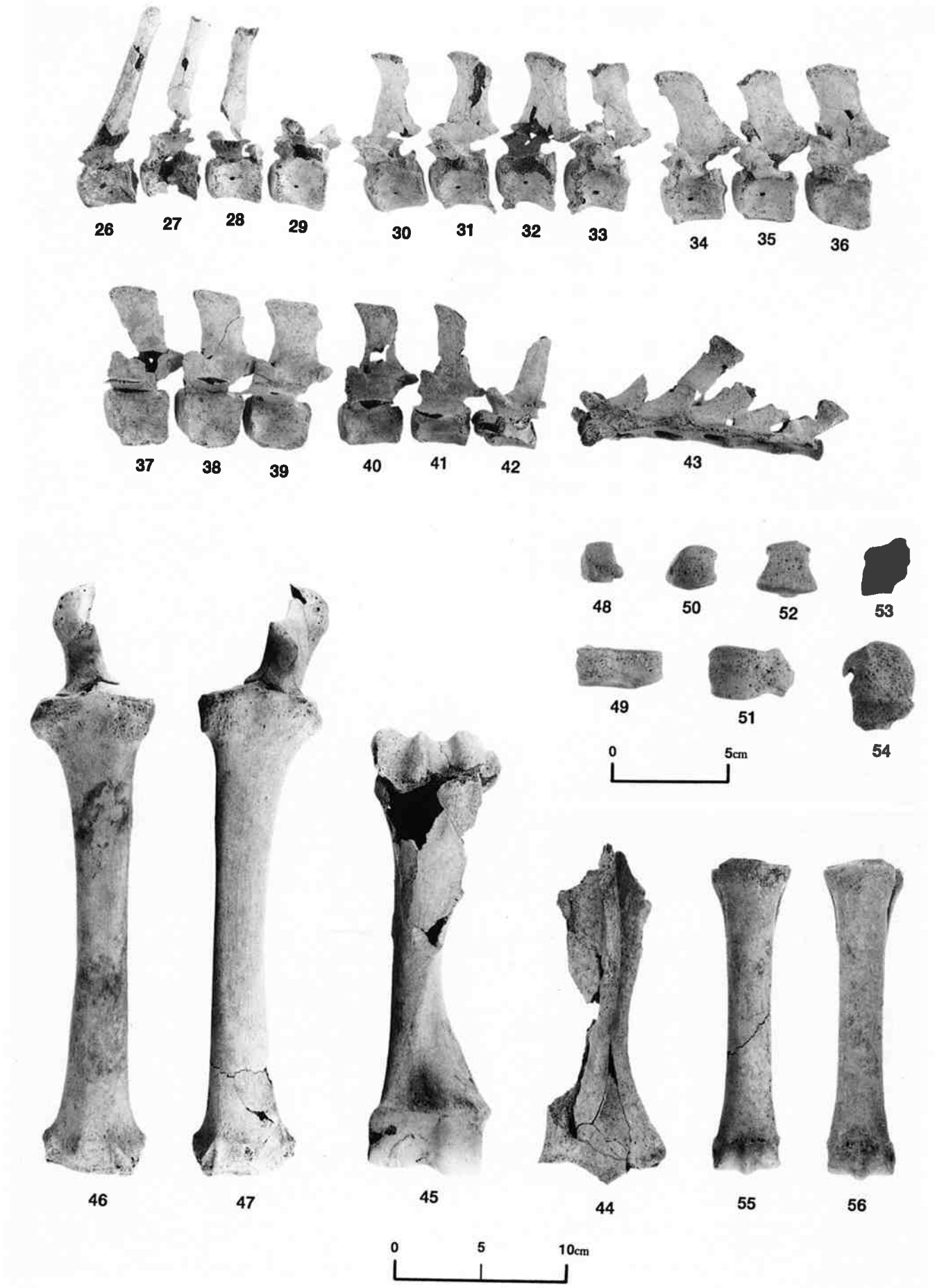



図版80　骨（4）上・下：ウマ（1）

**図版81　ウマ(2)**

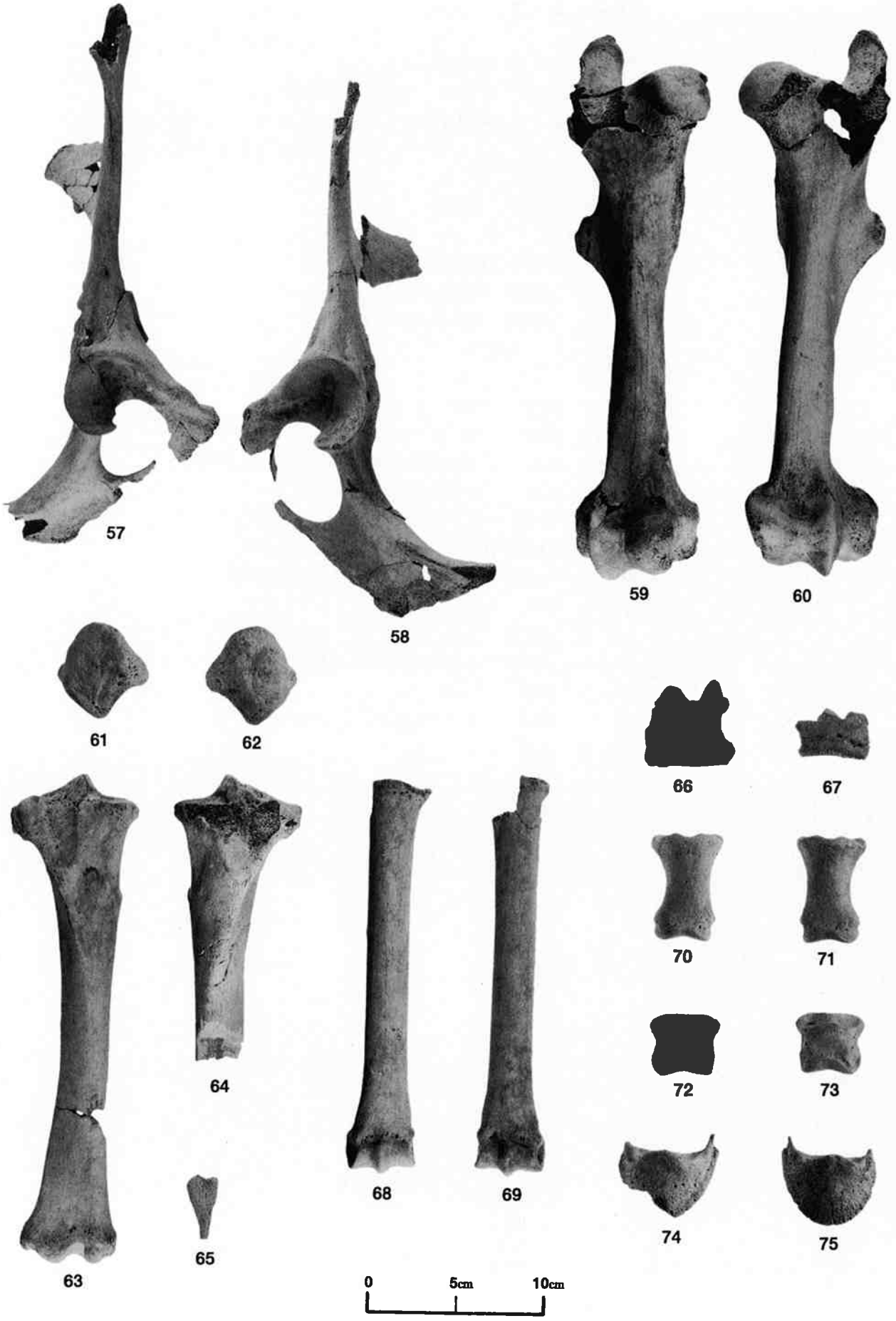
26～36. 胸椎１～11
37～42. 腰椎１～６
43. 仙骨
44. 右　肩甲骨　骨体～遠位端
45. 左　上腕骨　完存
46. 右　橈骨·尺骨　完存
47. 左　橈骨·尺骨　完存
48. 右　第２手根骨
49. 右　第３手根骨
50. 右　第４手根骨
51. 右　橈側手根骨
52. 右　中間手根骨
53. 右　尺側手根骨
54. 左　副手根骨
55. 右　中手骨　完存
56. 左　中手骨　完存


26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
48
50
52
53
49
51
54
0
5cm
46
47
45
44
55
56
0
5
10cm

図版81　骨(5) ウマ(2)

図版82　ウマ(3)

57. 右　寛骨　　腸骨部～坐骨
58. 左　寛骨　　腸骨部～坐骨
59. 右　大腿骨　完存
60. 左　大腿骨　完存
61. 右　膝蓋骨
62. 左　膝蓋骨
63. 右　脛骨　　完存
64. 左　脛骨　　近位端
65. 右　腓骨　　近位端
66. 右　距骨
67. 右　中心足根骨
68. 右　中足骨　完存
69. 左　中足骨　近位部～遠位端
70. 右　基節骨
71. 左　基節骨
72. 右　中節骨
73. 左　中節骨
74. 右　末節骨
75. 左　末節骨




図版82　骨(6) ウマ(3)

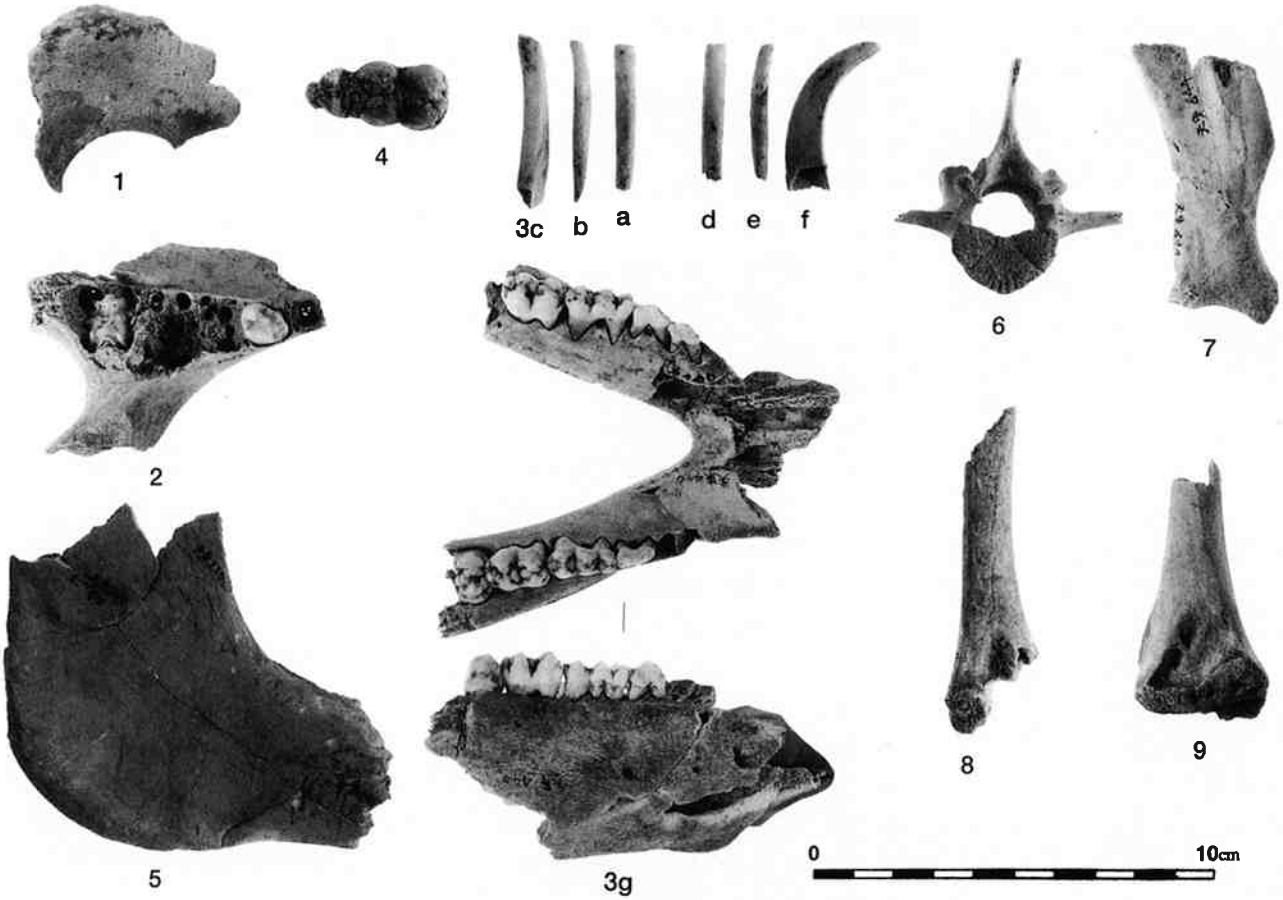
**図版83　上・下：ブタ**

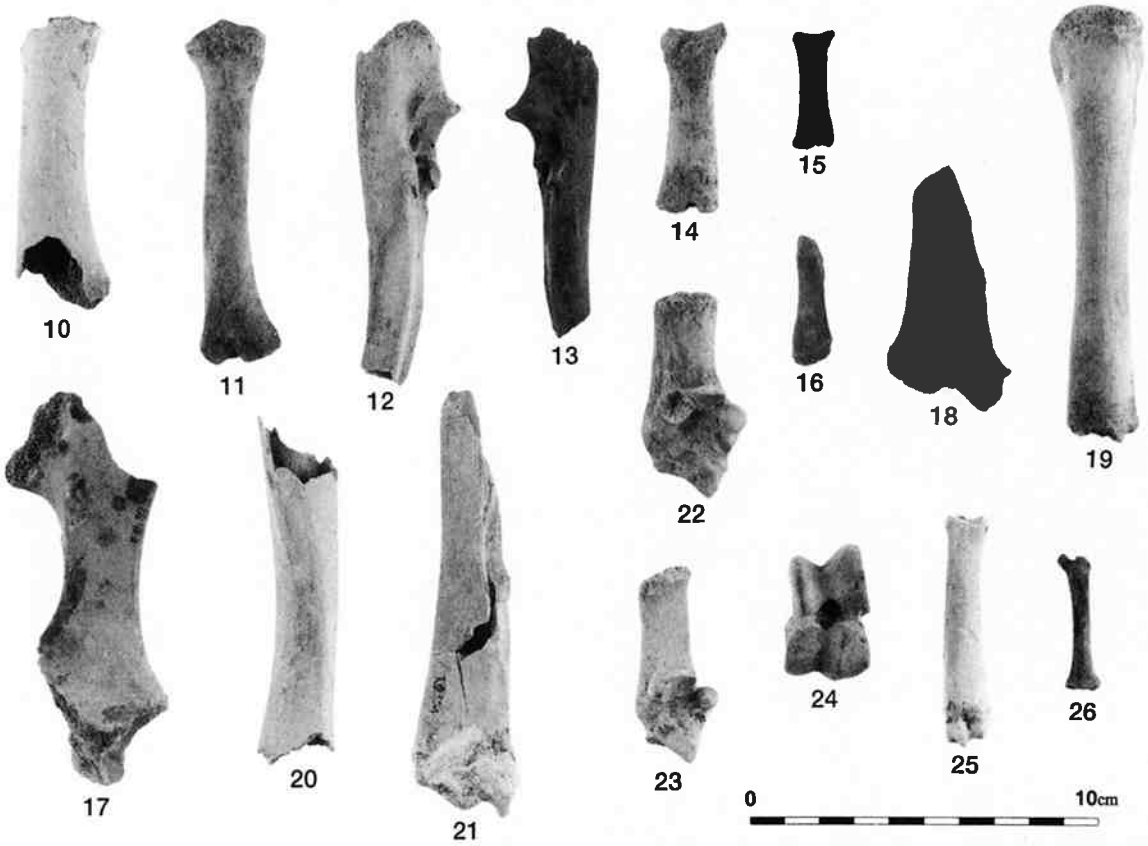
上

1. 頭蓋骨　右　前頭骨
2. 左　上顎骨　$P^4$ $M^{1\sim3}$（前出）歯欠損
3. 下顎骨　♂　キズあり　┌左 a. $I_1$　b. $i_2$　c. $I_2$　g. $dm_{2,3,4}$ $M_1$
   　　└右 d. $I_1$　e. $i_2$　f. C　g. $dm_{3,4}$ $M_{1,2(半欠)}$
4. 右　下顎骨　M‹3›
5. 右　下顎骨　下顎角
6. 腰椎
7. 右　肩甲骨　遠位端
8. 左　上腕骨　骨体～遠位部
9. 右　上腕骨　遠位骨端はずれ

下

10. 右　橈骨　骨体　キズあり
11. 左　橈骨　近位端～遠位骨端はずれ
12. 右　尺骨　近位骨端はずれ～遠位部　キズあり
13. 左　尺骨　近位骨端はずれ～骨体
14. 左　中手骨　Ⅲ　近位端～遠位骨端はずれ
15. 左　中手骨　Ⅲ　近位端～遠位骨端はずれ
16. 右　中手骨　Ⅴ　近位端～遠位骨端はずれ
17. 右　寛骨　腸骨部
18. 右　大腿骨　遠位骨端はずれ　キズあり
19. 右　大腿骨　近位骨端はずれ～遠位部
20. 右　脛骨　骨体
21. 右　脛骨　骨体～遠位端　キズあり
22. 左　踵骨
23. 左　踵骨
24. 左　距骨
25. 右　中足骨　Ⅲ　完存
26. 右　中足骨　Ⅴ　近位端～遠位骨端はずれ


1
4
3c
b
a
d
e
f
6
7
2
8
9
5
3g
0
10cm


10
11
12
13
14
15
16
18
19
22
17
20
21
23
24
25
26
0
10cm

図版83　骨(7) 上・下：ブタ

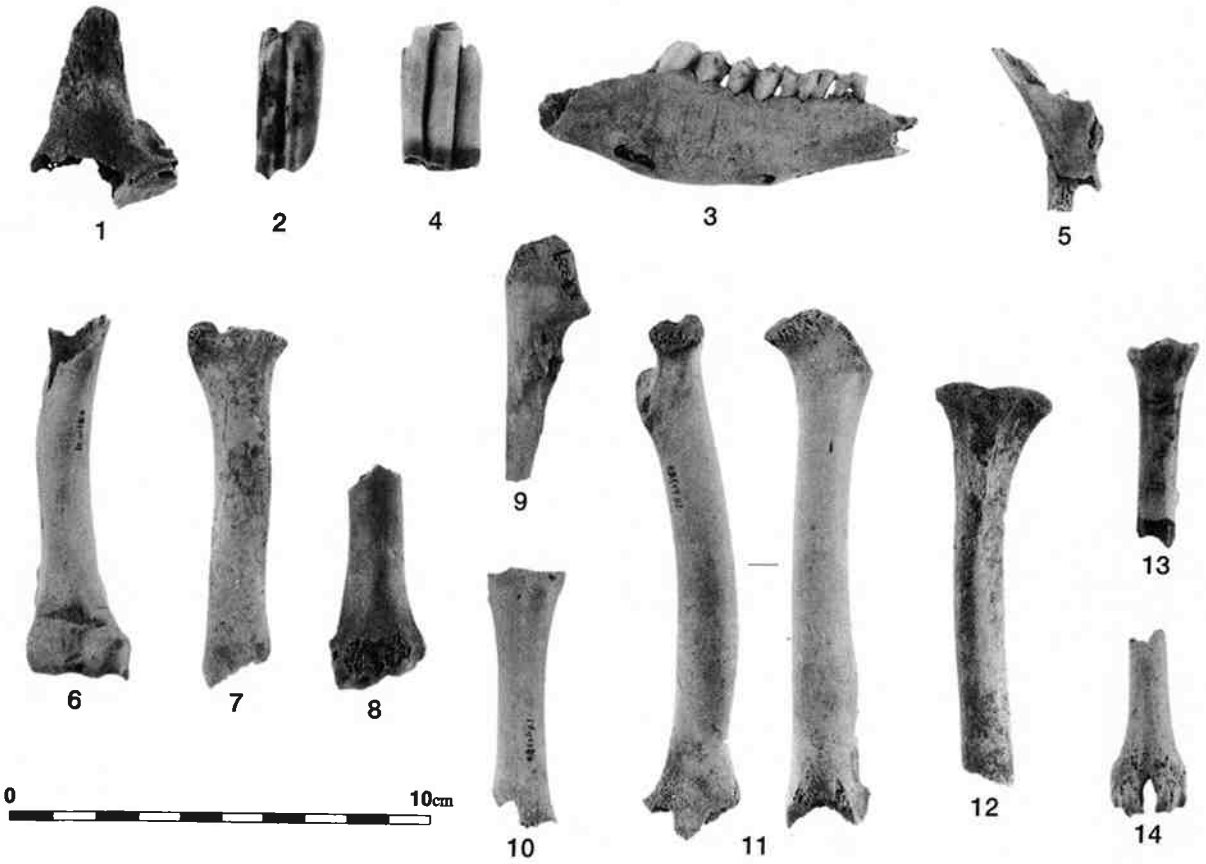
図版84　上：ヤギ・下：ウシ

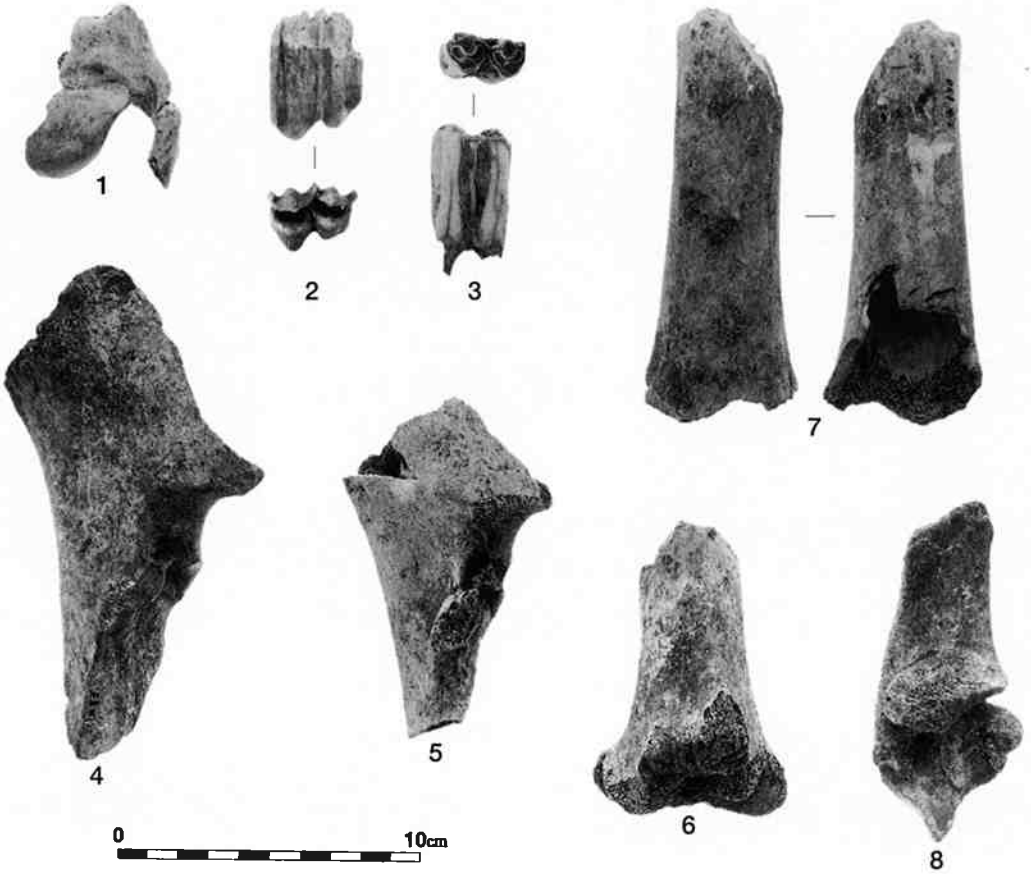
上：ヤギ

1. 頭蓋骨　　角突起
2. 左　上顎骨　$M^3$
3. 右　下顎骨　$dm_{3,4}$ $M_{1,2}$
4. 左　下顎骨　$M_3$
5. 右　肩甲骨　遠位部
6. 左　上腕骨　近位部～遠位端　キズあり
7. 右　橈骨　　近位端～遠位部
8. 左　橈骨　　遠位端
9. 右　尺骨　　近位部
10. 右　中手骨　近位端～遠位部
11. 左　大腿骨　両端はずれ　キズあり
12. 左　脛骨　　近位骨端はずれ～骨体
13. 左　中足骨　近位端
14. 右　中足骨　遠位端

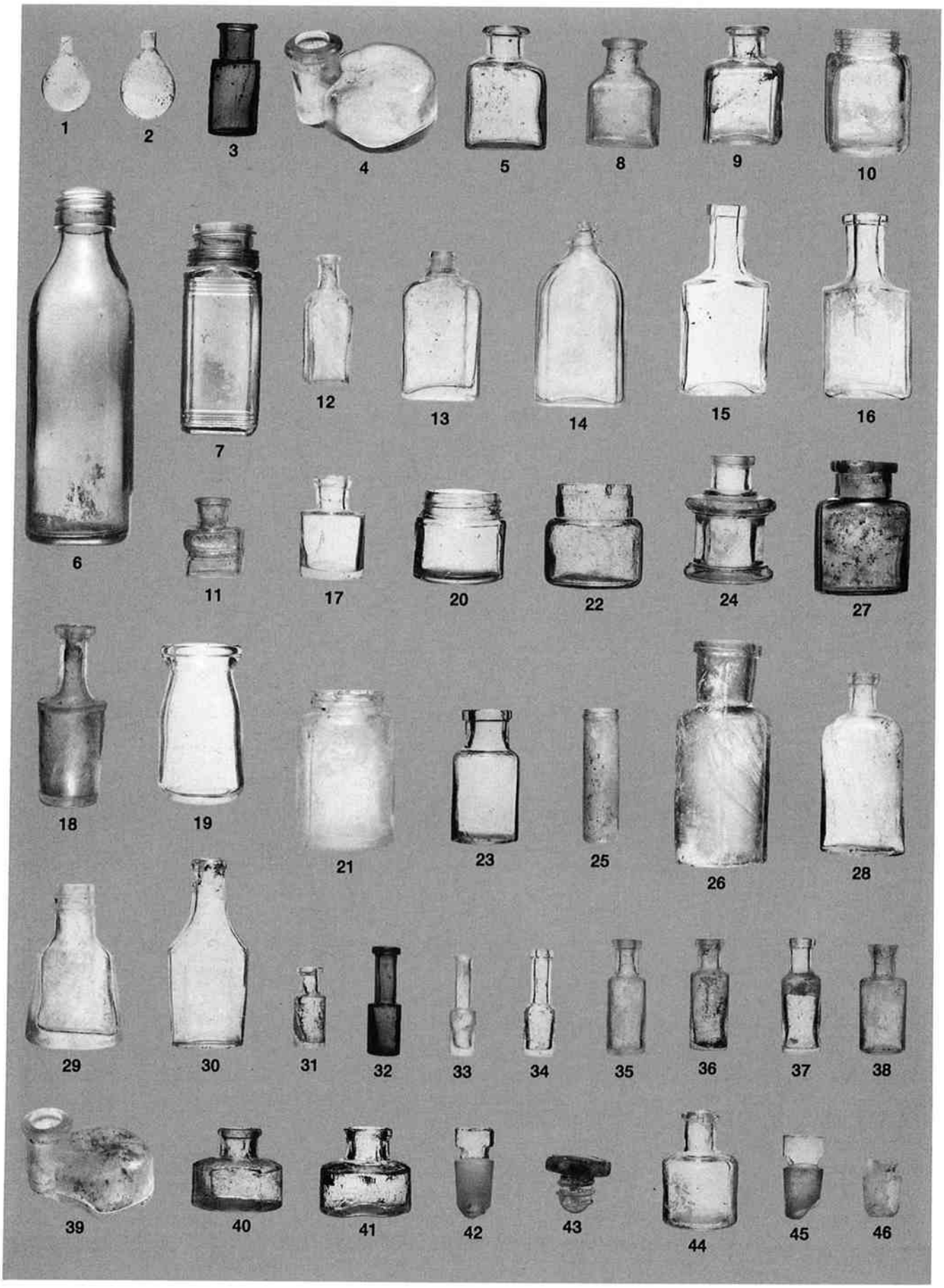
下：ウシ

1. 頭蓋骨　右　後頭顆
2. 左　上顎骨　$M^2$
3. 右　下顎骨　$M_2$
4. 右　尺骨　　近位骨端はずれ
5. 右　尺骨　　近位部
6. 右　大腿骨　遠位骨端はずれ
7. 右　脛骨　　遠位部　キズあり
8. 左　踵骨




図版84　骨（8）上：ヤギ、下：ウシ


1
2
3
4
5
8
9
10
6
7
12
13
14
15
16
11
17
20
22
24
27
18
19
21
23
25
26
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46

図版85　ガラス製品

今回報告する天界寺跡東地区の資料整理はひとつの試みとして、遺物の注記方法を「天東○○○（数字）」という表記で行った。本表は、注記１～1065の番号と対照する出土地一覧である。ただし、遺構の注記は「遺構○○○（数字）」とし、グリットや層序については、本文中のグリット設定と層序を参照。

・1066以降の番号は天界寺西地区の資料整理の際出てきた、東地区のものである。1066以前の番号で西地区より出土の物は（西地区）と表記した。

・番号が重複するものは遺物の集計では不明として扱った。

## 第86表　ナンバーリング：出土地対照一覧

| ナンバーリング | 出　土　地 | 調査日 |
|---|---|---|
| 1 | ち-13地山直上 | 96.09.11 |
| 2 | せ-17地山直上 | 96.11.08 |
| 3 | さ-17岩盤凹地礫層（120～190レベル） | 96.10.31 |
| 4 | て-12石灰岩礫層直上黒色混礫層 | 96.11.26 |
| 5 | す-18遺物礫集中部黒色土層（20～40レベル） | 96.09.10 |
| 7 | さ-17岩盤凹地理土瓦集中部（60～90レベル） | 96.11.07 |
| 8 | せ-15・16岩盤直下大土壙内炭集中部 | 96.10.31 |
| 9 | せ-17旧階段横２列右列下茶褐色混礫土層（4層） | 96.11.14 |
| 12 | す・せ-13遺構41 | |
| 14 | ち-9地山直上 | 96.08.02 |
| 15 | せ-17旧階段横２列石列下魚骨集中部 | 96.11.13 |
| 17 | と-12遺物集中部西側畦 | 96.08.16 |
| 18 | し-17岩盤凹地内中層瓦集中部 | 96.11.27 |
| 19 | 16トレンチ東側岩上黒色土層（0～10レベル） | 96.06.06 |
| 20 | せ-15岩盤直下の大土壙内最上部 | 96.10.30 |
| 21 | て-13遺物集中部 | 96.08.07 |
| 22 | つ-13北側畦黒褐色混礫土層 | 96.09.12 |
| 23 | せ-16炭層 | 96.11.01 |
| 24 | ち-13西側畦黒褐色礫混り層 | 96.09.12 |
| 25 | せ-18礫集中部北側畦 | 96.10.11 |
| 26 | 表採 | 96.08.20 |
| 27 | ち-13黒褐色混礫り層 | 96.09.05 |
| 31 | と-11遺物集中部（0～10レベル） | 96.07.02 |
| 32 | と-11南側畦 | 96.08.16 |
| 33 | ち-13瓦礫層黒色土層 | 96.08.14 |
| 34 | て-12遺物集中部 | 96.06.28 |
| 35 | つ-13遺物集中部（0～20レベル） | 96.07.04 |
| 36 | て-12遺物集中部 | 96.06.28 |
| 37 | 表採 | 96.08.14 |
| 38 | つ-11北側畦 | 96.08.14 |
| 39 | す-18遺物礫集中部黒色土層（20～40レベル） | 96.09.09 |
| 40 | せ-17東西畦ピット1内 | 96.10.28 |
| 41 | さ-17岩盤凹地内瓦集中部（3層） | 96.10.30 |
| 42 | す-18遺物礫集中部黒色土層（20～40レベル） | 96.09.09 |
| 43 | 15トレンチ東側岩上黒色土層（0～10レベル） | 96.06.05 |
| 44 | 15トレンチ東側レストハウス横　岩上北側撹乱層 | 96.06.04 |
| 45 | さ-17・18敷石遺構直上黒色混礫土層崖部 | 96.10.11 |
| 47 | ち-12地山直上 | 96.09.11 |
| 49 | ち-13石垣上黒色土層中 | 96.09.12 |
| 50 | そ-17旧階段横２列石列下灰集中部 | 96.11.01 |
| 51 | さ-17・18敷石遺構上崖部 | 96.10.11 |
| 52 | ち-12黒色土層（20～30レベル） | 96.07.09 |
| 53 | そ-18石敷遺構一部 | 96.10.16 |
| 54 | そ-17旧階段横２列石列下灰集中部 | 96.11.01 |
| 56 | つ-14黒色土層 | 96.08.09 |
| 57 | す-18石灰岩礫集中部黒色土層（50～70レベル） | 96.09.17 |
| 59 | ち-13石垣裏込め内 | 96.10.25 |
| 67 | し-16地山直上 | 96.08.08 |
| 69 | と-12遺物集中部（0～20レベル） | 96.06.28 |
| 70 | こ-17岩盤凹地内撹乱層近代抗 | 96.10.30 |
| 71 | 16トレンチ東側岩上黒色土層（0～10レベル） | 96.06.06 |
| 72 | せ-15岩盤にへばりついた黒色土層 | 96.07.05 |
| 73 | せ-17東西畦　混礫土層瓦集中部（2層） | 96.10.31 |
| 74 | 15トレンチ東側岩上黒色土層最上部 | 96.06.04 |
| 74 | て-11遺物集中部（0～20レベル） | 96.06.28 |
| 75 | て-11遺物集中部（0～20レベル） | 96.06.28 |
| 76 | と-12遺物集中部西側畦 | 96.08.16 |
| 77 | て-12遺物集中部 | 96.08.08 |
| 78 | せ-17黒色混礫土層（90～110レベル） | 96.09.26 |
| 79 | せ-17黒色混礫土層（100～130レベル） | 96.10.18 |
| 80 | せ-17黒褐色混礫土層 | 96.09.06 |
| 81 | す-16・17撹乱層 | 96.07.09 |
| 82 | せ-17礫集中部（90レベル） | 96.10.18 |
| 83 | し-17岩盤凹地内黒色混礫土層（30～40レベル） | 96.10.16 |
| 84 | し-17黒色混礫土層崖部 | 96.10.11 |
| 85 | さ-17岩盤凹地埋土（0～80レベル） | 96.11.07 |
| 86 | せ-17黒色混礫土層（90～110レベル） | 96.09.26 |
| 87 | せ-16黒色混礫土層（2層） | 96.11.06 |
| 88 | 16トレンチ東側岩上黒色土層（0～10レベル） | 96.06.05 |
| 89 | て-12遺物集中部岩盤直上 | 96.08.09 |
| 90 | た-14礫集中部 | 96.08.01 |
| 91 | す-18撹乱層 | 96.07.09 |
| 92 | た-12地山直上清掃中 | 96.08.02 |
| 93 | 15トレンチ東側岩上黒色土層（0～10レベル） | 96.06.05 |
| 94 | ち-11黒色土層（0～10レベル） | 96.07.04 |
| 95 | 15トレンチ東側岩上黒色土層（0～10レベル） | 96.06.06 |
| 96 | た-13黒色土層（0～20レベル） | 96.07.04 |
| 97 | す-18黒色土層 | 96.08.19 |
| 98 | て-12遺物集中部黒色土層 | 96.08.08 |
| 99 | ち-14黒色土層（20～40レベル） | 96.07.05 |
| 100 | て-12遺物集中部（0～20レベル） | 96.06.27 |
| 101 | す-19黒色土層（30～50レベル） | 96.09.19 |
| 102 | せ-17旧階段横の２列の石列の間黒色混礫土層 | 96.10.11 |
| 103 | て-12黒褐色礫混り層（0～10レベル） | 96.09.05 |
| 104 | そ-11撹乱土壙内 | 96.08.08 |
| 105 | せ-16黒色混礫土層炭層上 | 96.11.01 |
| 106 | せ-17地山直上 | 96.10.24 |
| 107 | せ-17（北側）黒色混礫土層（110～120レベル） | 96.09.20 |
| 108 | す-17地山直上清掃中 | 96.07.23 |
| 109 | て-12黒褐色礫混り層 | 96.09.05 |
| 110 | せ-16・17旧階段下石垣横黒色混礫土層 | 96.11.05 |
| 111 | せ-18茶褐色混り礫土層 | 96.08.19 |
| 113 | せ-18石敷遺構直上黒色土層 | 96.09.09 |
| 114 | せ-16旧階段下の石垣北側横黒色土層（10～20レベル） | 96.10.01 |
| 115 | ち-13黒褐色礫混り層 | 96.09.05 |
| 116 | せ-16・17旧階段下石垣横黒色混礫土層 | 96.11.05 |
| 117 | せ-16旧階段下の石垣北側横地山直上 | 96.10.01 |
| 118 | せ-16地山直上茶褐色混礫土層 | 96.11.01 |
| 119 | せ-16黒褐色混礫土層 | 96.09.06 |
| 120 | せ-16黒色混礫土層（120～130レベル） | 96.10.25 |
| 121 | せ-17黒色混礫土層（120～130レベル） | 96.10.15 |
| 122 | た-13石垣上黒色土層中 | 96.09.12 |
| 123 | つ-13地山直上 | 96.09.12 |
| 124 | た-13石垣下瓦集中部下地山直上 | 96.11.19 |
| 125 | ち-12地山直上 | 96.10.29 |
| 126 | せ-18黒色土層 | 96.09.05 |
| 127 | さ-17岩盤凹地埋土 | 96.11.07 |
| 128 | た-13地山直上 | 96.10.29 |
| 129 | ち-13石垣上黒色土層中 | 96.09.12 |
| 130 | す-18遺物礫集中部黒色土層（20～40レベル） | 96.09.09 |
| 131 | せ・そ-17旧階段横２列石列下茶褐色土層（3層） | 96.11.14 |
| 132 | た-12地山直上 | 96.10.30 |
| 133 | せ-18石灰岩礫集中部上面黒色土層（40～50レベル） | 96.09.09 |
| 134 | す-19黒色土層 | 96.08.20 |
| 135 | 15トレンチ東側岩上黒色土層最上部 | 96.06.04 |
| 136 | せ・そ-17旧階段横２列石列下茶褐色混礫土層（3層） | 96.11.14 |
| 137 | さ-17岩盤凹地（0～80レベル） | 96.11.07 |
| 138 | ち-12黒色土層（30～40レベル） | 96.07.11 |
| 139 | と-12遺物集中部 | 96.06.28 |
| 140 | せ-17黒色土層（30～50レベル） | 96.06.28 |
| 141 | て-12遺物集中部 | 96.08.08 |
| 142 | せ-15岩盤にへばりついた黒色土層 | 96.07.05 |
| 143 | ち-11黒色土層（10～20レベル） | 96.07.04 |
| 144 | せ-16茶褐色混礫土層 | 96.11.06 |
| 145 | 16トレンチ東側岩上黒色土層（0～10レベル） | 96.06.05 |
| 146 | 16トレンチ東側岩上黒色土層（0～10レベル） | 96.06.06 |
| 147 | せ-17黒色土層（60～70レベル） | 96.08.09 |
| 148 | せ-17黒色土層（0～30レベル） | 96.06.27 |
| 149 | ち-13黒褐色礫混り層 | 96.09.05 |
| 150 | せ-17旧階段横２列石列炭入り土壙直上 | 96.11.05 |
| 151 | せ-16石垣南側横旧階段下茶褐色混礫土層（3層） | 96.11.14 |
| 152 | せ-17旧階段側面石積一部 | 96.11.05 |
| 153 | ち-9石段上黒色土層 | 96.07.23 |
| 154 | 15トレンチ東側岩上黒色土層（10～20レベル） | 96.06.05 |
| 155 | と-12遺物集中部西側畦 | 96.08.16 |
| 156 | と-12遺物集中部 | 96.07.01 |
| 157 | ち-9石段上黒色土層 | 96.07.23 |
| 158 | て-11遺物集中部（0～20レベル） | 96.06.28 |
| 159 | と-12遺物集中部（0～20レベル） | 96.07.01 |
| 160 | せ-17旧階段横２列右列下黒色混礫土層 | 96.11.05 |
| 161 | 15トレンチ東側岩上黒色土層（0～10レベル） | 96.07.01 |
| 162 | つ-14瓦礫層 | 96.08.15 |
| 163 | て-12 | 96.06.28 |
| 164 | ち-14石積みと岩盤の間暗黄褐色土層 | 96.08.02 |
| 165 | 表採 | 96.06.04 |
| 166 | と-12遺物集中部 | 96.07.01 |
| 167 | 15トレンチ東側岩上黒色土層（20～30レベル） | 96.06.06 |
| 168 | て-12遺物集中部 | 96.06.28 |
| 169 | 16トレンチ東側岩上黒色土層（0～10レベル） | 96.06.06 |
| 170 | そ-12石列遺構の残土中より黒色土層 | 96.08.02 |
| 171 | 15トレンチ東側岩上黒色土層（0～10レベル） | 96.06.06 |
| 172 | と-12遺物集中部 | 96.07.01 |

## 第86表　ナンバーリング：出土地対照一覧

| ナンバーリング | 出　土　地 | 調査日 |
|---|---|---|
| 173 | た-13表採 | 96.07.09 |
| 175 | ち-14瓦礫層 | 96.08.15 |
| 176 | つ-14瓦礫層 | 96.07.30 |
| 177 | ち-12畦 | 96.08.06 |
| 178 | 撹乱層 | 96.07.26 |
| 179 | つ-9石積上黒色土層 | 96.07.23 |
| 180 | と-12遺物集中部（0～20レベル） | 96.06.28 |
| 181 | つ-14瓦礫層 | 96.08.14 |
| 182 | て-13遺物集中部 | 96.08.07 |
| 183 | せ-16・17旧階段下石垣横黒色混礫土層 | 96.11.05 |
| 184 | た-13黒色土層（30～40レベル） | 96.07.11 |
| 185 | 15トレンチ黒色土層 | 96.06.06 |
| 186 | せ・そ-17旧階段横２列石列付近黒色混礫土層 | 96.11.05 |
| 187 | す-16岩盤上の上面 | 96.07.22 |
| 189 | せ-18石灰岩礫集中部黒色土層 | 96.09.17 |
| 190 | し-15地山直上 | 96.08.08 |
| 191 | つ-13瓦礫層 | 96.08.09 |
| 192 | て-12遺物集中部（0～20レベル） | 96.06.28 |
| 193 | ち-14遺物集中部（20～40レベル） | 96.07.04 |
| 194 | そ-13・14石囲い遺構内 | 96.07.24 |
| 195 | せ-16灰層（2層） | 96.11.06 |
| 196 | し-17岩盤凹地内中層瓦集中部 | |
| 197 | さ・し-17敷石直上黒色混礫土層 | 96.10.09 |
| 198 | 16トレンチ東側岩上撹乱層中 | 96.06.04 |
| 199 | ち-9地山直上 | 96.11.20 |
| 200 | こ-17近代土壙 | 96.10.31 |
| 201 | た-8石垣下黒色混礫土層 | 96.10.24 |
| 202 | つ-12黒褐色礫混り層（10～20レベル） | 96.09.06 |
| 203 | つ-13黒褐色礫混り層（10～20レベル） | 96.09.06 |
| 204 | つ-11地山直上 | 96.10.30 |
| 205 | せ-17旧階段横２列石列炭入り土壙直上 | 96.11.14 |
| 206 | せ-17東西畦　茶褐色混礫土層（3層） | 96.11.01 |
| 207 | て-12黒褐色礫混り層（0～10レベル） | 96.09.05 |
| 208 | ち-13地山直上 | 96.10.29 |
| 209 | と-11黒色土層（0～10レベル） | 96.07.03 |
| 211 | ち-12黒色土層（20～30レベル） | 96.07.11 |
| 212 | せ-16石垣裏込め内 | 96.11.14 |
| 213 | ち-12地山直上 | 96.09.11 |
| 214 | ち-13黒褐色礫混り層 | 96.09.05 |
| 215 | し-17岩盤凹地内中層瓦集中部 | 96.11.27 |
| 216 | て-12黒褐色混礫層 | 96.09.05 |
| 217 | て-12遺物集中部（0～20レベル） | 96.06.28 |
| 218 | た-13茶褐色混礫土層 | 96.09.05 |
| 219 | て-12黒褐色礫混り層（0～10レベル） | 96.09.05 |
| 220 | て-12黒褐色礫混り層（0～10レベル） | 96.09.05 |
| 221 | せ-16上階段の下部 | 96.09.25 |
| 222 | た-14岩盤にへばりついた黒色土層 | 96.09.06 |
| 223 | ち-12地山直上 | 96.09.11 |
| 224 | 15トレンチ東側岩上黒色土層（0～10レベル） | 96.06.06 |
| 225 | し-17岩盤凹地内上層 | 96.11.27 |
| 226 | さ-17崖部直下石灰岩礫層 | 96.10.16 |
| 227 | つ-14瓦礫層 | 96.08.14 |
| 228 | つ-13瓦礫層 | 96.08.09 |
| 229 | せ-16黒褐色混礫土層 | 96.09.06 |
| 230 | と-12遺物集中部（0～20レベル） | 96.07.01 |
| 230 | と-12遺物集中部（0～20レベル） | 96.06.28 |
| 231 | つ-14瓦礫層 | 96.08.14 |
| 232 | さ-17岩盤凹地内地山直上瓦集中部（190～220レベル） | 96.10.31 |
| 233 | つ-11南側畦黒色混礫土層 | 96.09.12 |
| 234 | さ・し-17岩盤にへばりついた黒色土層中 | 96.10.09 |
| 235 | さ-17岩盤凹地（60～80レベル） | 96.10.18 |
| 236 | ち-13遺物集中部（0～20レベル） | 96.07.03 |
| 237 | て-12遺物集中部（0～20レベル） | 96.06.27 |
| 238 | た-12遺物集中部（0～20レベル） | 96.07.01 |
| 239 | つ-13・14岩盤付近遺構集中部 | 96.07.29 |
| 240 | つ-14瓦礫層 | 96.08.14 |
| 241 | て-12遺物集中部（0～20レベル） | 96.06.28 |
| 242 | 15トレンチ撹乱層 | 96.06.06 |
| 243 | 15トレンチ東側岩上黒色土層（0～10レベル） | 96.06.06 |
| 244 | さ-17岩盤凹地内地山直上瓦集中部（190～220レベル） | 96.10.31 |
| 245 | た-13石垣下瓦集中部 | 96.11.19 |
| 246 | と-12遺物集中部 | 96.07.01 |
| 247 | 15トレンチ東側岩上撹乱層 | 96.06.05 |
| 248 | て-12遺物集中部黒色土層 | 96.08.09 |
| 248 | せ-16黒色混礫土層炭層上 | 96.11.01 |
| 249 | ち-14遺物集中部（0～20レベル） | 96.07.03 |
| 250 | て-11岩盤上黒色土層 | 96.07.01 |
| 251 | 16トレンチ東側岩盤上黒色土層 | 96.06.05 |
| 252 | し・す-18方形遺構内最上部 | 96.07.25 |
| 253 | と-12遺物集中部（0～20レベル） | 96.07.01 |
| 254 | と-12遺物集中部（0～20レベル） | 96.07.01 |
| 255 | と-12遺物集中部（0～20レベル） | 96.07.01 |
| 256 | 16トレンチ東側岩上黒色土層最上部 | 96.06.04 |
| 258 | て-12遺物集中部 | 96.08.08 |

| ナンバーリング | 出　土　地 | 調査日 |
|---|---|---|
| 260 | せ-17茶褐色混礫土層（3層） | 96.11.02 |
| 261 | た-13西側崩壊土中 | 96.08.05 |
| 262 | ち-12北東側岩盤落ち込み | 96.08.02 |
| 263 | 14トレンチ東側 | 96.06.04 |
| 264 | す-18石垣清掃より崩土中より出土 | 96.07.03 |
| 265 | ち-9石段下黒色土層 | 96.07.24 |
| 266 | と-12遺物集中部 | 96.07.01 |
| 267 | ち-14礫集中部 | 96.08.01 |
| 268 | せ-16南側畦黒色土層（0～30レベル） | 96.09.04 |
| 270 | す-18石炭層・礫集中部黒色土層（40～50レベル） | 96.09.13 |
| 271 | 16トレンチ東側岩上黒色土層（0～10レベル） | 96.06.06 |
| 272 | 16トレンチ東側岩上撹乱層 | 96.06.05 |
| 273 | と-12遺物集中部西側畦 | 96.08.16 |
| 274 | て-12 | 96.06.27 |
| 275 | 13トレンチ東側 | 96.06.04 |
| 276 | ち-14瓦礫層 | 96.08.14 |
| 277 | た-14茶褐色混礫層 | 96.09.06 |
| 278 | 15トレンチ東側岩上黒色土層最上部 | 96.06.04 |
| 279 | つ-13黒色混礫土層（20～30レベル） | 96.09.10 |
| 280 | 15トレンチ黒色土層 | 96.06.06 |
| 281 | せ-16岩盤直下土壙内炭部集中 | |
| 282 | 表採 | 96.09.18 |
| 283 | せ-17茶褐色混礫土層（3層） | 96.11.01 |
| 284 | と-12遺物集中部（0～20レベル） | 96.07.01 |
| 285 | と-12遺物集中部（0～20レベル） | 96.07.01 |
| 286 | て-11東側畦 | 96.08.16 |
| 287 | つ-14瓦礫層 | 96.08.15 |
| 289 | 13トレンチ東側 | 96.06.04 |
| 290 | つ-13瓦礫層 | 96.07.30 |
| 291 | そ-17旧階段横２列右列下灰集中部 | 96.11.01 |
| 292 | せ-15・16石垣にへばりついた黒色土層 | 96.07.04 |
| 293 | て-11遺物集中部（0～20レベル） | 96.07.01 |
| 294 | せ-16・17石垣周辺の清掃の際出土崩土中より | 96.07.03 |
| 295 | 表採 | 96.08.05 |
| 297 | ち-13遺物集中部（20～40レベル） | 96.07.04 |
| 298 | 表採 | 96.07.24 |
| 299 | て-12遺物集中部 | 96.06.28 |
| 300 | 15トレンチ東側岩上黒色土層（0～10レベル） | 96.06.05 |
| 301 | と-12遺物集中部 | 96.07.01 |
| 302 | 17トレンチ東側岩上撹乱層 | 96.06.05 |
| 303 | 15トレンチ東側岩上黒色土層（0～10レベル） | 96.06.06 |
| 304 | 15トレンチ東側岩上黒色土層（20～30レベル） | 96.06.06 |
| 306 | 15トレンチ東側岩上黒色土層（0～10レベル） | 96.06.05 |
| 307 | せ-17新階段一部 | |
| 308 | て-11遺物集中部（0～20レベル） | 96.06.28 |
| 309 | て-12遺物集中部 | 96.08.08 |
| 310 | と-12遺物集中部（0～20レベル） | 96.07.01 |
| 311 | せ-17黒色混礫土層（120～130レベル） | 96.10.17 |
| 312 | せ-17黒色土層（60～80レベル） | 96.08.07 |
| 313 | 表採 | 96.09.18 |
| 314 | と-12遺物集中部 | 96.08.16 |
| 315 | 16トレンチ東側岩上黒色土層（0～10レベル） | 96.06.06 |
| 316 | せ-17東西畦　黒色混礫土層（2層） | 96.10.31 |
| 317 | そ-18西側畦　黒色混礫土層 | 96.10.11 |
| 318 | て・と-11・12表採 | 96.07.11 |
| 319 | て-11遺物集中部（0～20レベル） | 96.06.28 |
| 320 | し-17岩盤凹地内混礫土層（30～40レベル） | 96.10.17 |
| 321 | せ-15黒色土層 | 96.08.15 |
| 322 | せ-17東西畦　黒色混礫土層（2層） | 96.10.28 |
| 323 | し-17岩盤凹地内黒色混礫土層（0～20レベル） | 96.10.17 |
| 324 | し-17岩盤凹地内黒色混礫土層（30～40レベル） | 96.10.17 |
| 325 | つ-14瓦礫層 | 96.08.14 |
| 326 | て-12遺物集中部（0～20レベル） | 96.06.21 |
| 327 | て-12 | 96.06.28 |
| 327 | ち-14礫集中部 | 96.08.01 |
| 328 | て-12 | 96.06.28 |
| 329 | 12トレンチ東側 | 96.06.04 |
| 330 | す-14瓦礫層 | 96.08.15 |
| 331 | て-12 | 96.06.28 |
| 332 | と-12遺物集中部（0～20レベル） | 96.07.01 |
| 334 | て-11遺物集中部（0～20レベル） | 96.06.28 |
| 335 | て-11遺物集中部（0～20レベル） | 96.06.28 |
| 336 | て-11遺物集中部（0～20レベル） | 96.06.28 |
| 337 | つ-14瓦礫層 | 96.08.14 |
| 338 | て-11遺物集中部（0～20レベル） | 96.06.28 |
| 338 | つ-14瓦礫層 | 96.08.14 |
| 339 | 15トレンチ東側岩上撹乱層 | 96.06.05 |
| 341 | せ-12遺物集中部（0～20レベル） | 96.06.27 |
| 342 | つ-14瓦礫層 | 96.08.14 |
| 343 | 15トレンチ東側レストハウス横岩上撹乱層 | 96.06.04 |
| 344 | さ-17岩盤凹地コーラル層 | 96.10.30 |
| 345 | ち-13石垣裏込め内 | 96.10.25 |
| 345 | て-13遺物集中部（0～20レベル） | 96.08.07 |
| 346 | 15トレンチ東側岩上黒色土層（0～10レベル） | 96.06.06 |

## 第86表　ナンバーリング：出土地対照一覧

| ナンバーリング | 出土地 | 調査日 |
|---|---|---|
| 347 | せ-17黒色混礫土層（120～130レベル） | 96.10.15 |
| 349 | た-14石積みと岩盤の間黒褐色土層 | 96.08.02 |
| 350 | せ-17東西畦　黒色混礫土層 | 96.11.02 |
| 351 | つ-14瓦礫層 | 96.08.15 |
| 352 | そ-13・14壁面の漆喰のある方形遺構内 | 96.07.24 |
| 353 | て-12遺物集中部 | 96.06.28 |
| 354 | ち-9石段上黒色土層 | 96.07.24 |
| 355 | せ・そ-17旧階段横２列石列下茶褐色土層（3層） | 96.11.14 |
| 356 | せ-16黒色混礫土層炭層上 | 96.11.01 |
| 356 | と-12遺物集中部（0～20レベル） | 96.07.01 |
| 358 | と-12遺物集中部西側畦 | 96.08.16 |
| 359 | つ-14瓦礫層 | 96.08.14 |
| 362 | と-12遺物集中部西側畦 | 96.08.16 |
| 363 | し-17岩盤凹地内中層瓦集中部 | 96.11.27 |
| 364 | た-14暗褐色土層（40～50レベル） | 96.07.05 |
| 365 | と-12遺物集中部西側畦 | 96.08.16 |
| 366 | し-17岩盤凹地内中層瓦集中部 | 96.11.27 |
| 367 | せ-16・17旧階段下石垣横黒色混礫土層 | 96.11.05 |
| 367 | と-12遺物集中部西側畦 | 96.08.16 |
| 368 | て-12遺物集中部 | 96.06.28 |
| 370 | ち-13地山直上 | 96.09.11 |
| 371 | ち-11黒色土層（10～20レベル） | 96.07.05 |
| 372 | せ-16黒褐色混礫土層 | 96.09.06 |
| 373 | つ-13地山直上 | 96.11.19 |
| 374 | つ-12黒褐色混礫層（10～20レベル） | 96.09.06 |
| 375 | た-14黒褐色混礫土層 | 96.09.06 |
| 376 | せ-17黒色混礫土層（110～120レベル） | 96.10.15 |
| 377 | せ-17地山直上 | 96.09.20 |
| 378 | ち-12黒色土層（10～20レベル） | 96.07.09 |
| 379 | せ-17黒色土層（30～50レベル） | 96.07.01 |
| 380 | す-18黒色土層 | 96.08.19 |
| 391 | そ-16黒色土層（0～20レベル） | 96.07.01 |
| 392 | た-14黒色土層（20～40レベル） | 96.07.05 |
| 394 | て-12 | 96.06.27 |
| 394 | せ-17北側黒色黒色混礫土層（100～110レベル） | 96.09.20 |
| 395 | つ-11地山直上岩盤 | 96.08.01 |
| 396 | す・せ-18黒色混礫土層（100～110レベル） | 96.09.20 |
| 397 | せ-16石垣前面地山直上 | 96.09.20 |
| 398 | す・せ-16黒色土層（0～30レベル） | 96.08.09 |
| 399 | つ-14黒色土層 | 96.08.15 |
| 400 | せ-17地山直上 | 96.09.24 |
| 401 | せ-16黒色混礫土層（110～120レベル） | 96.11.06 |
| 402 | せ-17黒褐色混礫土層 | 96.09.19 |
| 403 | せ-17黒褐色混礫土層 | 96.09.19 |
| 404 | す-18地山直上（130レベル以下） | 96.09.24 |
| 405 | た-12地山直上東側 | 96.08.01 |
| 406 | た-13地山直上 | 96.11.29 |
| 407 | 岩盤凹地内中層瓦集中部 | 96.11.27 |
| 408 | し-17岩盤凹地内中層瓦集中部 | 96.11.27 |
| 409 | し-17岩盤凹地内中層瓦集中部 | 96.11.27 |
| 411 | つ-12地山直上 | 96.11.29 |
| 412 | し-17岩盤凹地内上層 | 96.11.27 |
| 413 | せ-17黒色混礫土層（110～120レベル） | 96.10.15 |
| 414 | そ-18石敷遺構下地山直上 | 96.10.16 |
| 415 | す・せ-18黒色混礫土層（100～110レベル） | 96.09.20 |
| 416 | そ-13・14黒色土層 | |
| 417 | ち-14遺物集中部（0～20レベル） | 96.07.04 |
| 418 | と-12遺物集中部西側畦 | 96.08.16 |
| 419 | と-12遺物集中部 | 96.07.01 |
| 420 | つ-14岩盤凹地内上層 | 96.08.16 |
| 421 | し-17岩盤凹地内上層 | 96.11.27 |
| 422 | て-11岩盤上黒色土層 | 96.07.01 |
| 423 | せ-15・16岩盤にへばりついた黒色土層 | 96.07.04 |
| 424 | せ-17黒色混礫土層（120～130レベル） | 96.10.15 |
| 425 | せ-17（南側）黒色混礫土層（110～120レベル） | 96.09.20 |
| 426 | せ-17黒色土層（30～70レベル） | 96.06.28 |
| 427 | せ-16旧階段下の石垣横の黒色土層中 | 96.09.26 |
| 428 | せ-18石敷遺構下山直上 | 96.10.17 |
| 429 | し-17溝状遺構直上黒色混礫土層崖部 | 96.10.11 |
| 430 | せ-17黒色混礫土層 | 96.10.15 |
| 431 | そ-18石敷遺構下地山直上 | 96.10.16 |
| 432 | せ-16地山直上 | 96.10.07 |
| 433 | せ-17黒色混礫土層（100～110レベル） | 96.09.18 |
| 434 | し-17地山直上 | 96.10.08 |
| 435 | と-11黒色土層（0～10レベル） | 96.07.01 |
| 436 | し-17墓口？前面黒色混礫土層崖部 | 96.10.15 |
| 437 | し-17岩盤凹地内黒色混礫土層（20～70レベル） | 96.10.16 |
| 438 | し-17前面黒色混礫土層崖部 | 96.10.15 |
| 439 | し-17岩盤凹地内（20～30レベル） | 96.10.16 |
| 440 | せ-16炭層 | 96.11.01 |
| 440 | す・せ-18黒色混礫土層（90～100レベル） | 96.09.20 |
| 441 | せ-18石敷遺構下黒色混礫土層（0～10レベル） | 96.10.17 |
| 442 | せ-17地山直上 | 96.10.15 |
| 443 | せ-16上階段の下部 | 96.09.25 |
| 444 | せ-16旧階段下の石垣北側横地山直上 | 96.10.02 |
| 445 | せ-17地山直上 | 96.10.18 |
| 446 | 15トレンチ東側レストハウス横岩上北側撹乱層 | 96.06.04 |
| 447 | つ-10地山直上 | 96.08.02 |
| 448 | 地山直上 | 96.08.06 |
| 449 | せ-17黒褐色混礫土層（90～100レベル） | 96.09.18 |
| 450 | せ-17黒褐色混礫土層 | 96.09.07 |
| 451 | つ-14瓦礫層 | 96.08.14 |
| 452 | 表土はぎの際に撹乱層中より瓦片集積部 | 96.06.05 |
| 453 | せ-17黒褐色混礫土層 | 96.09.07 |
| 454 | つ-14瓦礫層 | 96.08.14 |
| 455 | と-12遺物集中部 | 96.08.16 |
| 456 | つ-10地山直上 | 96.08.02 |
| 457 | つ-13黒色土層 | 96.08.09 |
| 458 | せ-17黒褐色混礫土層（100～130レベル） | 96.10.18 |
| 459 | し-17岩盤凹地内黒色混礫土層（20～80レベル） | 96.11.08 |
| 460 | さ-17崖部直下黒色混礫土層（0～40レベル） | 96.10.15 |
| 460 | し-17岩盤凹地内中層瓦集中部 | 96.11.27 |
| 461 | そ-17撹乱土壙 | 96.08.07 |
| 463 | し-17岩盤凹地内黒色混礫土層（20～70レベル） | 96.10.16 |
| 463 | せ-17黒色混礫土層（0～50レベル） | 96. |
| 464 | せ-17東西畦　黒色混礫土層（2層） | 96.10.28 |
| 465 | し-17岩盤凹地内上層 | 96.11.27 |
| 467 | た-13石垣下瓦集中部 | 96.11.19 |
| 467 | せ-17黒色土層（80～90レベル） | 96.08.08 |
| 468 | て-11土壙内 | 96.08.07 |
| 469 | つ-13黒色土層 | 96.08.09 |
| 470 | て-12 | 96.06.28 |
| 471 | せ-16旧階段下の石垣横の焼土の炭集中部より | 96.09.26 |
| 472 | せ-17旧階段下の石垣横の焼土の炭集中部より（110～130レベル） | 96.09.26 |
| 473 | し-17岩盤凹地内黒色混礫土層（20～30レベル） | 96.10.17 |
| 474 | せ-17地山直上 | 96.10.18 |
| 475 | し-17墓口？前面黒色混礫土層崖部 | 96.10.11 |
| 476 | せ-17黒色混礫土層（120～130レベル） | 96.10.17 |
| 477 | せ-16畦　黒褐色混礫土層 | 96.09.25 |
| 478 | せ-18石灰岩礫集中部黒色土層（50～70レベル） | 96.09.19 |
| 479 | せ-17暗褐色混礫土層 | 96.08.23 |
| 480 | せ-18石灰岩礫集中部黒色土層（40～50レベル） | 96.09.10 |
| 481 | つ-14瓦礫層 | 96.08.14 |
| 482 | ち-14石積みと岩盤の間黒褐色土層 | 96.08.02 |
| 484 | し-16表土 | 96.06.20 |
| 485 | て-12遺物集中部（0～20レベル） | 96.06.27 |
| 486 | て-11遺物集中部 | 96.07.01 |
| 487 | 表土下暗褐色土層上面 | 96.06.10 |
| 488 | せ-18黒色混礫土層（110～120レベル） | 96.09.24 |
| 489 | そ-19茶褐色混礫層 | 96.08.21 |
| 490 | さ-17・18敷石遺構上黒色混礫土層崖部 | 96.10.11 |
| 491 | つ-9石積上黒色土層 | 96.07.23 |
| 492 | た-14落込み上面瓦集中部 | 96.09.19 |
| 493 | て-12遺物集中部 | 96.06.28 |
| 494 | た-14落込み上面 | 96.09.19 |
| 495 | た-14落込み上面 | 96.09.19 |
| 496 | つ-13黒褐色混礫り層（0～10レベル） | 96.09.05 |
| 497 | す-18石灰岩礫集中部黒色土層（50～70レベル） | 96.09.19 |
| 498 | さ-17・18敷石遺構黒色混礫土層崖部 | 96.10.11 |
| 499 | せ-17黒褐色混礫土層（100～110レベル） | 96.09.10 |
| 500 | 旧階段下の石垣北側横黒色土層（0～10レベル） | 96.10.01 |
| 502 | た-14落込み上面 | 96.09.19 |
| 503 | つ-13黒褐色礫混り層 | 96.09.05 |
| 504 | せ-17黒色混礫土層（90～100レベル） | 96.09.04 |
| 505 | し-17石灰礫層崖部 | 96.10.11 |
| 506 | せ-19茶褐色混礫層 | 96.08.21 |
| 507 | て-11岩盤上黒色土層 | 96.07.01 |
| 508 | ち-12黒色混礫土層（20～30レベル） | 96.09.10 |
| 509 | た-14岩盤にへばりついた黒色土層 | 96.09.06 |
| 510 | つ-12黒褐色礫混り層 | 96.09.06 |
| 511 | き・し-17岩盤にへばりついた黒色土層中 | 96.10.09 |
| 512 | つ-12黒褐色礫混り層 | 96.09.06 |
| 513 | せ-15岩盤にへばりついた黒色土層 | 96.07.05 |
| 514 | そ-18地山直上西側畦 | 96.10.11 |
| 515 | せ-17・18黒色混礫土層 | |
| 516 | て-13遺物集中部 | 96.08.09 |
| 518 | せ-15黒色土層 | 96.08.15 |
| 519 | さ-17岩盤凹地内瓦集中部黒色混礫土層（80～100レベル） | 96.10.18 |
| 521 | す-15地山直上 | 96.07.25 |
| 522 | た-13地山直上 | 96.08.05 |
| 523 | せ-17黒色土層 | 96.06.27 |
| 524 | た-13黒色土層（40～50レベル） | 96.08.25 |
| 525 | そ-12黒色土層（0～20レベル） | 96.07.04 |
| 526 | せ-15・16岩盤にへばりついた黒色土層 | 96.07.04 |
| 527 | せ-15岩盤にへばりついた黒色土層 | 96.07.04 |
| 528 | せ-17旧階段横2列石列下魚骨集中部 | 96.11.13 |
| 529 | そ-17黒色土層（0～30レベル） | 96.07.04 |
| 530 | ち-9地山直上 | 96.08.06 |

## 第86表　ナンバーリング：出土地対照一覧

| ナンバーリング | 出　土　地 | 調査日 |
|---|---|---|
| 531 | た-13黒色土層（40～50レベル） | 96.08.02 |
| 532 | ち-14黒色土層（0～20レベル） | 96.07.04 |
| 533 | そ-13地山直上 | 96.07.23 |
| 534 | そ-13地山直上 | 96.08.06 |
| 535 | ち-9地山直上 | 96.08.05 |
| 536 | す-15撹乱層 | 96.07.08 |
| 537 | て-12 | 96.06.27 |
| 538 | せ-15岩盤にへばりついた黒色土層 | 96.07.05 |
| 539 | せ-17東西畦　茶褐色混礫土層（3層） | 96.11.02 |
| 540 | と-12遺物集中部西側畦 | 96.08.16 |
| 541 | ち-14遺物集中部（0～20レベル） | 96.07.04 |
| 542 | ち-11北側畦 | 96.08.14 |
| 543 | せ-17黒色土層 | 96.06.27 |
| 544 | そ-11地山直上 | 96.08.06 |
| 545 | て・と-11・12表採 | 96.07.01 |
| 546 | と-11黒色土層（0～10レベル） | 96.07.02 |
| 547 | せ-16黒色土層（0～20レベル） | 96.07.04 |
| 548 | せ-16黒褐色混礫土層 | 96.09.12 |
| 549 | と-11黒色土層（0～10レベル） | 96.07.02 |
| 550 | と-11黒色土層（0～10レベル） | 96.07.02 |
| 551 | つ-11黒色土層（10～20レベル） | 96.07.02 |
| 552 | せ-14地山直上 | 96.07.25 |
| 553 | と-13遺物集中部 | 96.08.07 |
| 554 | せ-17黒色土層 | 96.06.27 |
| 555 | ち-11地山直上 | 96.08.07 |
| 556 | つ-11黒色土層（20～30レベル） | 96.07.03 |
| 557 | そ-17黒色混礫土層 | 96.09.10 |
| 558 | て-13遺物集中部 | 96.08.07 |
| 559 | せ-17黒色土層（80～90レベル） | 96.08.08 |
| 560 | せ-17黒色土層（50～70レベル） | 96.07.04 |
| 561 | せ-17黒色土層（30～50レベル） | 96.07.03 |
| 562 | せ-13地山直上 | 96.10.25 |
| 563 | せ-16（0～30レベル） | 96.07.04 |
| 564 | す-18黒色土層 | 96.08.22 |
| 565 | す-14岩盤上黒色土層 | 96.07.09 |
| 566 | せ-14岩盤上の黒色土層 | 96.07.26 |
| 567 | せ-17暗褐色混礫土層 | 96.08.22 |
| 568 | せ-15・16岩盤にへばりついた黒色土層 | 96.07.04 |
| 569 | そ-11撹乱土壙内 | 96.08.06 |
| 570 | せ-15・16岩盤にへばりついた黒色土層 | 96.07.04 |
| 571 | せ-17黒色土層（60～80レベル） | 96.08.07 |
| 572 | せ-17黒色土層（0～30レベル） | 96.06.27 |
| 573 | て-16暗褐色混礫土層 | 96.08.22 |
| 574 | せ-15岩盤にへばりついた黒色土層 | 96.07.09 |
| 575 | す-17表採 | 96.07.24 |
| 576 | た-11地山直上 | 96.08.05 |
| 577 | す-18黒色土層（20～40レベル） | 96.09.09 |
| 578 | つ-14黒色土層 | 96.08.15 |
| 579 | た-13茶褐色礫溜り層 | 96.09.05 |
| 580 | す・せ-18黒色混礫土層 | 96.09.20 |
| 581 | た-12地山直上西側 | 96.08.01 |
| 582 | ち-10地山直上 | 96.07.26 |
| 583 | つ-13・14黒色土層 | 96.08.01 |
| 584 | せ-19茶褐色混礫層 | 96.08.20 |
| 585 | つ-14黒色土層 | 96.08.09 |
| 586 | ち-9撹乱土壙撹乱層 | 96.08.08 |
| 587 | せ-17黒色混礫土層（120～130レベル） | 96.010.24 |
| 588 | た-13北側畦黒色土層 | 96.08.14 |
| 589 | つ-14黒色土層 | 96.08.14 |
| 590 | た-12地山直上 | 96.08.14 |
| 591 | せ-17黒色混礫土層（110～120レベル） | 96.10.03 |
| 592 | ち-13黒色土層（20～30レベル） | 96.09.09 |
| 593 | そ-13・14石垣横の石列前面黒色土層（40～60レベル） | 96.07.24 |
| 594 | せ-17黒色土層（80～90レベル） | 96.08.08 |
| 595 | せ-17黒色混礫土層 | 96.11.19 |
| 596 | せ-17黒色混礫土層（0～50レベル） | |
| 597 | ち-14黒色土層 | 96.08.15 |
| 598 | さ-17岩盤凹地コーラル石灰岩礫層（120～190レベル） | 96.10.31 |
| 599 | し-17岩盤凹地内上層 | 96.11.27 |
| 600 | せ-17黒褐色混礫土層 | 96.09.06 |
| 601 | と-11黒色土層（0～10レベル） | 96.07.01 |
| 602 | ち-9石段上黒色土層 | 96.07.23 |
| 603 | ち-12地山直上岩盤 | 96.08.01 |
| 604 | せ・そ-17旧階段横2列石列付近黒色混礫土層 | 96.11.05 |
| 605 | ち-13石垣下地山直上 | 96.10.28 |
| 606 | ち-12黒色土層（0～10レベル） | 96.07.09 |
| 607 | つ-12黒色土層（30～40レベル） | 96.09.09 |
| 608 | た-12地山直上清掃中 | 96.08.01 |
| 609 | て-11岩盤上黒色土層 | 96.08.20 |
| 610 | ち-11地山直上 | 96.07.26 |
| 611 | せ-17地山直上 | 96.10.28 |
| 612 | せ-17黒色土層（80～90レベル） | 96.08.08 |
| 613 | ち-13石垣下黒色混礫土層 | 96.10.28 |
| 614 | せ-17黒色混礫土層（90～130レベル） | 96.10.17 |
| 615 | せ-16地山直上 | 96.10.28 |
| 616 | 地山直上 | 96.07.26 |
| 617 | た-14黒色土層（20～40レベル） | |
| 618 | そ-11撹乱土壙内 | 96.08.07 |
| 619 | せ-17暗褐色混礫土層 | 96.08.22 |
| 620 | す-18黒色土層 | 96.08.22 |
| 621 | せ-13岩盤上の黒色土層（多少炭あり） | 96.07.26 |
| 622 | せ-13地山直上 | 96.07.26 |
| 623 | せ-17黒色混礫土層（120～130レベル） | 96.10.15 |
| 624 | せ-13岩盤上の黒色土層 | |
| 625 | そ-14岩盤直上 | 96.07.24 |
| 626 | せ-17黒色土層（30～50レベル） | 96.07.03 |
| 627 | せ-17黒色土層（60～80レベル） | 96.08.07 |
| 628 | て・と-11・12黒色土層（0～10レベル） | 96.07.04 |
| 629 | ち-11黒色土層（30～40レベル） | 96.07.25 |
| 630 | せ-16暗褐色混礫土層 | 96.08.23 |
| 631 | せ-16暗褐色混礫土層 | 96.08.23 |
| 632 | た-14黒色土層（0～20レベル） | 96.07.04 |
| 633 | た-13地山直上清掃中採取 | 96.09.13 |
| 634 | せ-15岩盤付近黒色土層 | 96.07.09 |
| 635 | せ-17黒色混礫土層（110～120レベル） | 96.10.15 |
| 636 | つ-10地山直上清掃中 | 96.08.02 |
| 637 | せ-15・16岩盤にへばりついた黒色土層 | 96.07.04 |
| 638 | そ-12地山直上 | 96.08.05 |
| 639 | つ-14黒色土層 | 96.08.05 |
| 640 | た-14黒色土層（20～40レベル） | 96.07.08 |
| 641 | そ-13地山直上 | 96.07.23 |
| 642 | ち-12地山直上 | 96.08.01 |
| 643 | せ-17黒色土層（30～50レベル） | 96.06.28 |
| 644 | つ-14黒色土層 | 96.08.01 |
| 645 | す-18遺物礫集中部黒色土層（20～40レベル） | 96.09.09 |
| 646 | た-14石積みと岩盤の間黒褐色土層 | 96.08.02 |
| 647 | ち-14石積みと岩盤の間暗黄褐色土層 | 96.08.02 |
| 648 | た-14茶褐色混礫土層 | 96.09.06 |
| 649 | た-14石積みと岩盤の間暗黄褐色土層 | 96.08.02 |
| 650 | す-18遺物礫集中部黒色土層（20～40レベル） | 96.09.09 |
| 651 | せ-17東西畦　黒色混礫土層（2層） | 96.10.31 |
| 652 | し-17岩盤直下黒色混礫土層 | 96.10.31 |
| 653 | そ-12地山直上 | 96.08.02 |
| 654 | ち-9石段上試掘抗内黒色土層 | 96.08.02 |
| 655 | つ-9地山直上 | 96.08.02 |
| 656 | せ-16黒色土層（0～20レベル） | 96.07.03 |
| 657 | つ-14黒色土層 | 96.08.14 |
| 658 | す・せ-18黒色土層（0～30レベル） | 96.08.09 |
| 659 | せ-15岩盤直下黒色土層 | 96.10.28 |
| 660 | せ-17黒色混礫土層（120～130レベル） | 96.10.01 |
| 661 | す-15地山直上 | 96.07.24 |
| 662 | し-17岩盤凹地内黒色混礫土層（60～80レベル） | 96.10.18 |
| 663 | せ-17地山直上 | 96.10.18 |
| 664 | す-16地山直上黒色土層 | 96.07.23 |
| 665 | ち-11地山直上 | 96.07.26 |
| 666 | つ-10地山直上清掃中 | 96.07.25 |
| 667 | つ-11黒色土層（10～20レベル） | 96.07.03 |
| 668 | せ-16黒色土層（0～20レベル） | 96.07.03 |
| 669 | て-10地山直上 | 96.07.24 |
| 670 | し-17地山直上黒色土層 | 96.07.23 |
| 671 | た-13石垣下黒色混礫土層 | 96.10.24 |
| 672 | た-14黒色土層（20～40レベル） | 96.07.09 |
| 673 | ち-13黒色混礫土層（20～30レベル） | 96.09.10 |
| 674 | せ-16地山直上 | 96.10.28 |
| 675 | そ-14地山直上黒色土層中 | 96.07.23 |
| 676 | せ-12撹乱層 | 96.07.26 |
| 677 | せ-17黒色土層（60～70レベル） | 96.08.06 |
| 678 | ち-13黒色土層（30～40レベル） | 96.09.09 |
| 679 | つ-12黒褐色混礫層（10～20レベル） | 96.09.09 |
| 680 | せ-17地山直上 | 96.10.24 |
| 681 | た-12地山直上 | 96.11.19 |
| 682 | た-11地山直上 | 96.10.30 |
| 683 | ち-11地山直上 | 96.10.30 |
| 684 | つ-12黒色土層（20～30レベル） | 96.09.09 |
| 685 | ち-13石垣下黒色混礫土層 | 96.10.25 |
| 686 | と-11撹乱層 | 96.08.29 |
| 687 | た-12地山直上 | 96.10.30 |
| 688 | つ-13黒色土層 | 96.08.08 |
| 689 | す-16表採 | 96.07.24 |
| 690 | た-14石積みと岩盤の間暗黄褐色土層 | 96.08.12 |
| 691 | こ-17近代土壙 | 96.10.31 |
| 692 | せ-18石灰岩礫集中部上面黒色土層（40～50レベル） | 96.09.09 |
| 693 | つ-14石瓦礫層 | 96.08.09 |
| 694 | ち-11地山直上 | 96.10.29 |
| 695 | 15トレンチ東側岩上黒色土層（0～10レベル） | 96.06.05 |
| 696 | 15トレンチ東側岩山 | |
| 697 | せ-15岩盤直下黒色土層 | 96.10.28 |
| 698 | た-12地山直上　馬黒色土層中 | 96.08.01 |

## 第86表　ナンバーリング：出土地対照一覧

| ナンバーリング | 出　土　地 | 調査日 |
|---|---|---|
| 699 | す・せ-18石列下黒色混礫土層 | |
| 700 | つ-10地山直上 | 96.08.06 |
| 701 | つ-10地山直上 | 96.08.02 |
| 702 | つ-14黒色土層 | 96.08.09 |
| 703 | ち-14石積みと岩盤の間黒褐色土層 | 96.08.02 |
| 704 | つ-10地山直上 | 96.08.02 |
| 705 | つ-11地山直上 | 96.08.01 |
| 706 | つ-11地山直上 | 96.08.01 |
| 707 | 15トレンチ東側岩上撹乱層中 | 96.06.04 |
| 708 | 15トレンチ東側岩上撹乱層中 | 96.06.06 |
| 709 | す-18表採 | 96.07.08 |
| 710 | ち-14石積みと岩盤の間黒褐色土層 | 96.08.02 |
| 711 | そ-11土壙内 | 96.08.07 |
| 712 | 16トレンチ東側岩上黒色土層（0～10レベル） | 96.06.05 |
| 713 | そ-11撹乱土壙内 | 96.08.06 |
| 714 | ち-14石積みと岩盤の間黒褐色土層 | 96.08.02 |
| 715 | 15トレンチ東側岩上黒色土層中 | 96.06.05 |
| 716 | 15トレンチ東側岩上黒色土層（10～20レベル） | 96.06.06 |
| 717 | 18トレンチ東側岩上黒色土層最上部 | 96.06.05 |
| 718 | 表採 | 96.08.05 |
| 719 | 首里杜館横表採 | 96.06.05 |
| 720 | ち-14石積みと岩盤の間黒褐色土層 | 96.08.02 |
| 721 | た-12地山直上黒色土層中 | 96.08.01 |
| 722 | ち-14石積みと岩盤の間黒褐色土層 | 96.08.02 |
| 723 | 15トレンチ東側岩上 | |
| 724 | し-17撹乱層 | 96.07.23 |
| 725 | ち-14瓦礫層 | 96.08.15 |
| 726 | こ-12遺物集中部 | 96.06.27 |
| 727 | た-12地山直上黒色土層 | |
| 728 | と-12遺物集中部（0～20レベル） | 96.07.01 |
| 729 | て-12遺物集中部 | 96.08.08 |
| 730 | 18トレンチ東側岩上撹乱層 | 96.06.06 |
| 731 | 15トレンチ東側岩上黒色土層（0～10レベル） | 96.06.05 |
| 732 | た-12地山直上黒色土層 | 96.08.01 |
| 733 | そ-13地山直上黒色土層 | 96.07.23 |
| 734 | つ-14黒色土層 | 96.08.15 |
| 735 | た-14黒色土層（20～40レベル） | 96.07.08 |
| 736 | ち-14瓦礫層 | 96.08.09 |
| 737 | 15トレンチ東側岩上黒色土層（10～20レベル） | 96.06.06 |
| 738 | 15トレンチ東側岩上黒色土層 | 96.06.06 |
| 739 | 15トレンチ東側岩上黒色土層（0～10レベル） | 96.06.05 |
| 740 | す-18黒色土層 | 96.08.22 |
| 740 | す-18黒色土層 | 96.08.19 |
| 741 | つ-11地山直上 | 96.08.01 |
| 742 | ち-14石積みと岩盤の間黒色土層 | 96.08.02 |
| 743 | 首里杜館横表採 | 96.06.06 |
| 744 | ち-11地山直上 | 96.10.29 |
| 745 | て-12 | 96. |
| 746 | つ-9地山直上 | 96.08.02 |
| 747 | せ-16石垣下茶褐色混礫土層（3層） | 96.11.14 |
| 748 | て-12遺物集中部 | 96.08.08 |
| 749 | つ-14瓦礫層 | 96.08.09 |
| 750 | せ-17黒色混礫土層（90～110レベル） | 96.09.26 |
| 751 | ち-14石積みと岩盤の間黒褐色土層 | 96.08.02 |
| 752 | と-12遺物集中部（0～20レベル） | 96.06.28 |
| 753 | 首里杜館横重機による表土ハギの際に撹乱層中より出土 | 96.06.10 |
| 754 | 17トレンチ東側岩上撹乱層 | 96.06.05 |
| 755 | せ-17旧階段横の２列の石列の間黒色混礫土層 | 96.10.11 |
| 756 | 表採 | 96.06.13 |
| 757 | す-18礫集中部黒色土層（40～50レベル） | 96.09.13 |
| 758 | そ-12地山直上 | 96.12.12 |
| 759 | つ-14黒色土層 | 96.08.09 |
| 760 | た-12馬の頭骨付近より地山直上 | 96.08.01 |
| 761 | て-10 | 96.08.23 |
| 762 | て-12コーラル層 | 96.08.09 |
| 763 | そ-11撹乱土壙内 | 96.08.07 |
| 764 | 首里杜館横重機による表土ハギの際に黒色土層中より表土 | 96.06.13 |
| 765 | せ-16旧階段上面黒色混礫土層 | 96.09.18 |
| 766 | と-12遺物集中部 | 96.08.16 |
| 767 | さ-17崖部黒色混礫土層 | 96.10.28 |
| 768 | た-12馬の頭骨付近より地山直上 | 96.08.01 |
| 769 | せ-17東西畦　茶褐色土層（3層） | 96.11.01 |
| 770 | せ-16茶褐色混礫土層（3層） | 96.11.08 |
| 800 | と-12遺物集中部（0～20レベル） | 96.06.28 |
| 801 | て-12遺物集中部 | 96.06.28 |
| 802 | と-12遺物集中部（0～20レベル） | 96.07.01 |
| 803 | ち-14黒色土層（0～20レベル） | 96.07.04 |
| 804 | せ-15岩盤にへばりついた黒色土層 | 96.04.05 |
| 805 | つ-10地山直上 | 96.07.29 |
| 806 | て-12遺物集中部 | 96.07.08 |
| 807 | て-12遺物集中部 | 96.07.08 |
| 808 | て・と-11・12表採 | 96.07.01 |
| 809 | て-10地山直上 | 96.07.24 |
| 810 | す・せ-18黒色土層（0～30レベル） | 96.08.09 |
| 811 | せ-18（0～20レベル） | 96.08.16 |
| 812 | せ-17黒色混礫土層（110～120レベル） | |
| 820 | せ-17黒色土層（30～50レベル） | 96.07.01 |
| 821 | た-11地山直上 | 96.08.05 |
| 822 | M-23黒色混礫土層（0～10ラベル）西地区 | 96.08.20 |
| 823 | ち-11地山直上 | 96.10.29 |
| 824 | て-12黒褐色礫混り層（0～10レベル） | 96.09.05 |
| 825 | ち-13黒褐色礫混り層（0～10レベル） | 96.09.06 |
| 826 | 18トレンチ東側岩上撹乱層 | 96.06.08 |
| 827 | せ・そ-17旧階段横2列石列下褐色混礫土層（3層） | 96.11.14 |
| 828 | し-17崖部黒色混礫土層 | 96.10.11 |
| 829 | さ・し-17溝状遺構内黒色混礫土層 | 96.10.09 |
| 830 | と-12遺物集中部西側畦 | 96.08.16 |
| 831 | せ-17地山直上 | 96.10.15 |
| 832 | せ-18石敷遺構下黒色混礫土層 | 96.10.18 |
| 833 | し-17崖部黒色混礫土層 | 96.10.11 |
| 834 | す-18地山直上 | 96.10.03 |
| 835 | せ-17黒色混礫土層（120～130レベル） | 96.10.17 |
| 836 | せ-18地山直上北側畦 | 96.10.11 |
| 837 | す-15遺構30 | 96.10.07 |
| 838 | し-18地山直上 | 96.10.08 |
| 839 | そ-14遺構49 | 96.09.17 |
| 840 | す-15遺構30（20レベル～） | 96.09.18 |
| 841 | せ-17黒色混礫土層（120～130レベル） | 96.10.01 |
| 842 | せ-17黒色土層（50～60レベル） | 96.08.06 |
| 843 | つ-13黒褐色礫混り層（0～10レベル） | 96.09.05 |
| 844 | ち-12黒色混礫土層（20～30レベル） | 96.09.10 |
| 845 | せ-17地山直上 | 96.10.02 |
| 846 | せ-18石敷遺構下黒色混礫土層 | 96.10.18 |
| 847 | せ-15遺構32 | 96.10.04 |
| 848 | せ-18北側畦　黒色混礫土層 | 96.10.11 |
| 849 | せ-15遺構32 | 96.09.18 |
| 850 | せ-18石灰岩礫集中部黒色土層（40～50レベル） | 96.09.13 |
| 851 | 16トレンチ東側岩上黒色土層（1～10レベル） | 96.06.06 |
| 852 | せ-16遺構190 | 96.11.28 |
| 853 | ち-14暗褐色土層（40～50レベル） | 96.07.05 |
| 854 | せ-18地山直上石敷遺構下 | 96.10.18 |
| 855 | し-17岩盤凹地内中層瓦集中部 | 96.11.27 |
| 856 | ち-14石積みと岩盤の間暗黄褐色土層 | 96.08.02 |
| 857 | す-17黒色土層（50～60レベル） | 96.08.06 |
| 859 | せ-17地山直上 | 96.10.18 |
| 860 | せ・そ-14遺構48・49 | 96.11.28 |
| 861 | し-17岩盤凹地内中層瓦集中部 | 96.11.27 |
| 862 | し-17岩盤凹地内上層 | 96.11.27 |
| 863 | M・N-23表土・撹乱（西地区） | 96.06.11 |
| 864 | ち-13黒褐色礫混り層（0～10レベル） | 96.09.06 |
| 865 | せ-16遺構191 | 96.11.28 |
| 866 | た-14茶褐色混礫土層 | 96.09.06 |
| 867 | 16トレンチ東側岩上黒色土層（1～10レベル） | 96.06.05 |
| 868 | そ-11遺構181 | 96.12.01 |
| 869 | す-15遺構30（0～20レベル） | 96.09.18 |
| 870 | し・す-18方形遺構内 | 97.07.25 |
| 871 | せ-16旧階段下の石垣北側横黒色土層（0～10レベル） | 96.10.01 |
| 873 | せ・そ-13遺構57-C | 96.12.06 |
| 874 | す・せ-13遺構41 | 96.10.04 |
| 875 | し-15遺構28内 | 96.10.04 |
| 876 | と-11東壁畦 | 96.09.05 |
| 877 | せ-17旧階段横の2列の石列の間黒色混礫土層 | 96.10.11 |
| 878 | つ-14瓦礫層 | 96.08.09 |
| 879 | せ-16旧階段下の石垣北側横黒色土層（0～10レベル） | |
| 880 | せ-17遺構192直上石灰岩小礫層 | 96.11.27 |
| 881 | ち-14遺構168 | 96.11.24 |
| 882 | ち-14遺構168 | 96.11.24 |
| 883 | ち-12遺構133 | 96.11.25 |
| 883 | し・す-18遺構1 | 96.10.04 |
| 884 | ち-13地山直上 | 96.11.27 |
| 885 | す-18石灰岩礫集中部黒色土層（50～70レベル） | 96.09.18 |
| 886 | し・す-18遺構1 | 96.10.07 |
| 887 | せ-17北側トレンチ黒褐色混礫階段2 | 96.09.13 |
| 888 | し・す-18方形遺構内 | 96.07.25 |
| 889 | せ-16階段2上面 | 96.09.13 |
| 890 | つ-13黒褐色礫混り層（0～10レベル） | 96.09.05 |
| 891 | せ-16石垣直上黒色混礫土層 | 96.10.28 |
| 892 | 15トレンチ東側岩上黒色土層（1～10レベル） | 96.06.05 |
| 893 | つ-10地山直上 | 96.11.29 |
| 894 | せ-16遺構190 | 96.12.01 |
| 895 | 旧階段下の石垣北側横黒色土層（0～10レベル） | 96.10.01 |
| 896 | そ-11地山直上 | 96.12.01 |
| 897 | せ-14遺構48 | 96.09.18 |
| 898 | せ-17北側トレンチ黒褐色混礫階段2 | 96.09.13 |
| 899 | す-15遺構30（20レベル～） | 96.09.18 |
| 900 | そ-18石敷遺構下黒色混礫土層 | 96.10.16 |
| 901 | 15トレンチ東側岩上黒色土層（1～10レベル） | 96.01.05 |
| 902 | せ-17地山直上 | 96.10.18 |

## 第86表　ナンバーリング：出土地対照一覧

| ナンバーリング | 出土地 | 調査日 |
|---|---|---|
| 903 | し・す-18遺構1内 | 96.10.07 |
| 904 | し-17岩盤凹地内黒色混礫土層（40～60レベル） | 96.10.17 |
| 905 | せ-17地山直上 | 96.10.18 |
| 906 | せ-16石垣裏込め内 | 96.11.14 |
| 907 | ち-13黒色混礫土層（30～40レベル） | 96.09.10 |
| 908 | せ-17地山直上 | 96.11.08 |
| 909 | し-17岩盤凹地内中層瓦集中部 | 96.11.27 |
| 910 | せ-17黒褐色混礫土層 | 96.09.12 |
| 911 | す-17黒色土層（60～70レベル） | 96.08.06 |
| 912 | て-12遺物集中部 | 96.06.28 |
| 913 | そ-14地山直上 | 96.07.25 |
| 914 | 16トレンチ東側岩上黒色土層（1～10レベル） | 96.06.06 |
| 915 | つ-13黒褐色礫混り層（10～20レベル） | 96.09.06 |
| 916 | せ-17東西畦　黒色混礫土層（1層） | 96.10.28 |
| 917 | そ-13遺構54 | 96.09.18 |
| 918 | し-15遺構28内 | 96.10.04 |
| 919 | し・す-17遺構8 | 96.10.28 |
| 920 | つ-12黒色混礫土層（10～20レベル） | 96.09.10 |
| 921 | せ-12地山直上 | 96.07.26 |
| 922 | そ-14遺構49 | 96.09.18 |
| 923 | せ-17旧階段横2列石列下茶褐色混礫土層（4層） | 96.11.14 |
| 924 | せ-16南側畦旧階段直上黒色土層 | 96.09.10 |
| 925 | ち-11地山直上 | 96.10.29 |
| 926 | す・せ-13遺構41 | 96.10.04 |
| 927 | し・す-18遺構1内 | 96.10.07 |
| 928 | す-15遺構30（20レベル～） | 96.09.18 |
| 929 | つ-12黒褐色礫混り層（10～20レベル） | 96.09.06 |
| 930 | つ-13黒褐色礫混り層（10～20レベル） | 96.09.06 |
| 931 | 表採 | 96.09.13 |
| 932 | さ-17黒色混礫土層（0～50レベル） | 96.10.15 |
| 933 | さ-17黒色混礫土層（0～50レベル） | 96.10.15 |
| 934 | さ-17黒色混礫土層（0～50レベル） | 96.10.15 |
| 935 | 遺構194 | 96.11.27 |
| 936 | せ-17遺構192直上石灰岩小礫層 | 96.11.27 |
| 937 | せ-17黒色混礫土層（110～120レベル） | 96.10.01 |
| 938 | つ-12黒色混礫土層（30～40レベル） | 96.09.10 |
| 939 | て-13遺物集中部 | 96.08.07 |
| 940 | す-15遺構30（20レベル～） | 96.09.18 |
| 941 | さ-16遺構22 | |
| 942 | さ-16遺構61 | |
| 943 | し-15遺構28 | 96.12.04 |
| 944 | さ-16遺構66 | |
| 945 | さ-16遺構59 | |
| 946 | さ-16遺構62 | |
| 947 | せ-14遺構48 | 96.09.18 |
| 948 | ち-14岩盤付近遺物集中部 | 96.07.29 |
| 949 | と-12遺物集中部（0～20レベル） | 96.07.01 |
| 950 | せ-16黒色土層（0～20レベル） | 96.07.01 |
| 951 | す-15黒色土層（0～20レベル） | 96.07.05 |
| 952 | す-15遺構30（0～20レベル） | 96.09.18 |
| 953 | し-17岩盤凹地内中層瓦集中部 | 96.11.27 |
| 954 | す-18遺物礫集中黒色土層（20～40レベル） | 96.09.09 |
| 955 | し・す-18遺構1 | 96.10.07 |
| 956 | し-17崖部石垣状遺構上黒色混礫土層 | 96.10.11 |
| 957 | つ-10遺構184 | 96.11.29 |
| 958 | せ・そ-13遺構57-C | 96.12.06 |
| 959 | せ-16遺構190炭層中 | 96.12.01 |
| 960 | 15トレンチ東側岩上黒色土層（1～10レベル） | 96.06.05 |
| 961 | す-15遺構30（20レベル～） | 96.09.18 |
| 962 | せ-16遺構190炭層中 | 96.12.01 |
| 963 | た-12遺構142 | 96.11.27 |
| 964 | つ-10遺構184（3層） | 96.12.01 |
| 965 | せ-15岩盤直下黒色土層 | 96.10.28 |
| 966 | 遺構159 | 96.11.27 |
| 967 | す-15遺構30-b | 96.10.07 |
| 968 | せ・そ-13遺構57-C | 96.12.01 |
| 969 | た-14石積みと岩盤の間黒褐色土層 | 96.08.02 |
| 970 | つ-10遺構184（1層） | 96.12.04 |
| 971 | I-26礫溜り黒褐色土層（20～30レベル）西地区 | |
| 972 | し・す-18遺構1 | 96.10.04 |
| 973 | さ-17崖部直下石灰岩礫層 | 96.10.16 |
| 974 | 遺構169-a | 96.11.27 |
| 975 | ち-13遺構167 | 96.11.24 |
| 976 | し-17岩盤凹地内中層瓦集中部 | 96.11.27 |
| 977 | て-12遺物集中部 | 96.06.27 |
| 978 | と-12遺物集中部（0～20レベル） | 96.06.28 |
| 979 | て-12遺物集中部 | 96.07.08 |
| 980 | せ-16黒色土層（0～20レベル） | 96.07.01 |
| 981 | と-12遺物集中部（0～20レベル） | 96.07.01 |
| 982 | た-13黒色土層（0～10レベル） | 96.07.10 |
| 983 | た-14黒色土層（20～40レベル） | 96.07.04 |
| 984 | て-11岩盤上黒色土層 | 96.07.01 |
| 985 | た-11地山直上 | 96.07.29 |
| 986 | 15トレンチ東側岩上黒色土層（10～20レベル） | 96.06.06 |
| 987 | 12トレンチ東側 | 96.06.04 |
| 988 | と-12遺物集中部（0～20レベル） | 96.07.01 |
| 989 | た-13黒色土層（0～10レベル） | 96.07.10 |
| 990 | て-12遺物集中部 | 96.06.27 |
| 991 | と-12遺物集中部 | 96.08.16 |
| 992 | ち-14黒色土層（20～40レベル） | 96.07.04 |
| 993 | て-12遺物集中部（0～20レベル） | 96.06.28 |
| 994 | ち-12黒色土層（20～30レベル） | 96.07.10 |
| 995 | た-14黒色土層（20～40レベル） | 96.07.05 |
| 996 | た-14黒色土層（20～40レベル） | 96.07.08 |
| 997 | ち-14遺物集中部（0～20レベル） | 96.07.04 |
| 998 | ち-12地山直上 | 96.07.29 |
| 999 | ち-14黒色土層（20～40レベル） | 96.07.05 |
| 1000 | と-12遺物集中部（0～20レベル） | 96.06.28 |
| 1001 | し-18地山直上黒色土層 | 96.07.24 |
| 1002 | せ-16遺構190 | 96.11.29 |
| 1003 | ち-14黒色土層（0～20レベル） | 96.07.04 |
| 1004 | と-12遺物集中部西側畦 | 96.08.16 |
| 1005 | て-12遺物集中部 | 96.06.28 |
| 1006 | せ-16黒色土層（0～20レベル） | 96.07.02 |
| 1007 | ち-13黒色土層（30～40レベル） | 96.07.10 |
| 1008 | 15トレンチ東側レストハウス横　岩上北側撹乱層中 | 96.06.04 |
| 1009 | た-13黒色土層（10～20レベル） | 96.07.10 |
| 1010 | 遺物集中部（0～20レベル） | 96.07.01 |
| 1011 | ち-11黒色土層（10～20レベル） | 96.07.08 |
| 1012 | た-14暗褐色土層（40～50レベル） | 96.07.05 |
| 1013 | ち-9遺構174 | 96.11.29 |
| 1014 | さ-17・18遺構196 | 96.11.29 |
| 1015 | 遺構199 | |
| 1016 | ち-14遺構168 | 96.11.29 |
| 1017 | ち-9遺構175 | |
| 1018 | ち-9遺構182 | |
| 1019 | ち-11遺構134（2層） | 96.11.28 |
| 1020 | ち-11遺構134（1層） | 96.11.28 |
| 1021 | ち-11遺構134（2層） | 96.11.28 |
| 1022 | 遺構160 | |
| 1023 | つ-10遺構184 | 96.11.28 |
| 1024 | 遺構131 | |
| 1025 | ち-13遺構167 | 96.11.29 |
| 1026 | た-9遺構157-a | |
| 1027 | ち-9遺構176 | |
| 1028 | 遺構198 | 96.11.29 |
| 1029 | 遺構200 | |
| 1030 | せ・そ-14遺構48・49 | 96.11.28 |
| 1031 | 遺構169 | |
| 1032 | ち-12遺構132 | |
| 1033 | せ-15岩盤にへばりついた黒色土層 | 96.07.05 |
| 1034 | ち-14黒色土層（20～40レベル） | 96.07.05 |
| 1035 | 15トレンチ東側岩上黒色土層（0～10レベル） | 96.06.06 |
| 1036 | 15トレンチ東側岩上黒色土層 | 96.06.07 |
| 1037 | と-12遺物集中部西側畦 | 96.08.16 |
| 1038 | と-11遺物集中部（0～10レベル） | 96.07.02 |
| 1039 | と-12遺構集中部西側畦 | 96.08.16 |
| 1040 | ち-12黒色土層（20～30レベル） | 96.07.10 |
| 1041 | た-13黒色土層（30～40レベル） | 96.07.10 |
| 1042 | せ-18黒色土層 | 96.08.16 |
| 1043 | せ-16黒色土層（0～20レベル） | 96.07.02 |
| 1044 | せ-16黒色土層（0～20レベル） | 96.07.01 |
| 1045 | 11トレンチ東側 | 96.06.04 |
| 1046 | と-12遺物集中部西側畦 | 96.08.16 |
| 1047 | せ-15・16岩盤にへばりついた黒色土層 | 96.07.04 |
| 1048 | せ-18黒色土層 | 96.08.16 |
| 1049 | た-13黒色土層（0～10レベル） | 96.07.10 |
| 1050 | 16トレンチ東側岩上黒色土層 | 96.06.07 |
| 1051 | せ-16黒色土層（0～20レベル） | 96.07.02 |
| 1052 | つ-11黒色土層（0～10レベル） | 96.07.02 |
| 1053 | ち-11黒色土層（0～10レベル） | 96.07.04 |
| 1054 | M-24黒色混礫土層（西地区） | 96.08.19 |
| 1055 | て-12遺物集中部 | 96.07.08 |
| 1056 | ち-12黒色土層（0～10レベル） | 96.07.08 |
| 1057 | て-12遺物集中部 | 96.07.08 |
| 1058 | せ-18茶褐色混礫土層 | 96.08.16 |
| 1059 | せ-18茶色混礫土層 | 96.08.16 |
| 1060 | し-18地山直上黒色土層 | 96.07.24 |
| 1061 | と-12遺物集中部西側畦 | 96.08.16 |
| 1062 | せ-13地山直上 | 96.07.26 |
| 1063 | て-11南側畦 | 96.08.16 |
| 1064 | と-12黒色土層（0～20レベル） | 96.07.02 |
| 1065 | と-12遺物集中部西側畦 | 96.08.16 |
| 1629 | し-17岩盤凹地内地山直上（西地区より追加） | 96.10.15 |
| 2207 | し-17岩盤凹地内黒色混礫土層（20～70レベル）西地区より追加 | 96.10.16 |
| 5115 | た-10地山直上（西地区より追加） | 96.07.29 |
| 5117 | ち-12黒色土層（0～10レベル）西地区より追加 | 96.07.08 |
| 5118 | た-14黒色土層（20～40レベル）西地区より追加 | 96.07.05 |

沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書　第２集

# 天界寺跡（Ⅰ）

ー首里杜館地下駐車場入り口新設工事に伴う緊急発掘調査ー

発行年　平成13年（2001年）3月
発　行　沖縄県立埋蔵文化財センター
編　集　沖縄県立埋蔵文化財センター
〒903-0125　沖縄県中頭郡西原町字上原193-7
TEL　098（835）8751～8752
印　刷　〔協〕丸　正　印　刷
〒903-0211　沖縄県西原町小那覇1215番地
TEL　098（835）8181

© 沖縄県立埋蔵文化財センター　2001　Printed in Japan
許可なく本書の無断複製、転載、複写を禁ずる。